

練馬区高齢者基礎調査等 報告書

令和8年（2026年）3月
練馬区

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査概要	3
(1) 高齢者基礎調査	3
(2) 在宅介護実態調査	4
(3) 施設整備調査	5
2. 調査結果を見る上での注意事項	5
第2章 高齢者基礎調査	9
1. 回答者の基本属性	11
(1) 調査票の記入者	11
(2) 性別	12
(3) 年齢	13
(4) 居住地区	14
(5) 世帯の状況	16
(6) 暮らし向き	20
2. 住まい	21
(1) 住居形態	21
(2) 住まいへの入居を断られた経験	22
(3) 住まいへの入居を断られた理由	22
(4) 将来の住まいに関する不安	23
(5) 介護が必要になった場合に希望する暮らし方	24
3. 社会参加	26
(1) 外出状況	26
(2) 就労状況	30
(3) 地域活動への参加状況	34
(4) 孤立感	36
4. 健康・介護予防・フレイル予防	40
(1) 健康	40
(2) フレイルの認知度	42
(3) 介護予防・フレイル予防	43
5. 介護保険	46
(1) 要介護認定の状況	46
(2) 介護保険サービス	47
(3) 支給限度額に対する介護保険サービスの利用	54
(4) ケアマネジャーに対する満足度	55
(5) 介護保険サービスの利用による変化	57
(6) 介護保険料と介護サービスの利用料	58
6. 医療・在宅療養	61

(1) かかりつけ医等の状況	61
(2) 医療の受診形態	62
(3) 在宅療養	63
(4) リハビリ療養	66
(5) 人生の最終段階における医療・ケア	68
7. たすけあい	80
(1) 手助け	80
(2) 成年後見制度	81
8. 地域包括支援センター	83
(1) 地域包括支援センターの認知度	83
(2) 地域包括支援センターの満足度	84
(3) 地域包括支援センターに期待する役割	85
(4) 高齢者の虐待	86
(5) 認知症	88
9. 日常生活の状況	97
(1) 日常生活の中での困りごと	97
(2) 日常生活で困った場合の相談先	98
(3) 保健福祉や介護保険に関する情報の入手方法	99
(4) 高齢者だと思ふ年齢	100
(5) 将来の不安	101
(6) スマートフォン等の情報通信機器の使用状況	102
(7) 今後力を入れてほしい高齢者施策	109
10. 家族介護の状況	110
(1) 主な介護者	110
(2) 主な家族介護者の属性	110
(3) 介護期間	112
(4) 介護者の就労状況	113
(5) 調査対象者の介護以外の負担の状況	114
(6) 介護サービス利用時の家族介護者の感じ方	115
(7) 家族介護者の負担や困りごと	116
(8) 介護をされていてつらい時の相談先	117
(9) 在宅介護を継続する上で介護者自身が受けたい支援	118
(10) 特別養護老人ホームに申し込んだ理由（主な家族介護者）	119
(11) 家族介護者が特別養護老人ホームに期待すること	120
11. 特別養護老人ホーム入所申込みの状況	121
(1) 現在の生活場所	121
(2) 医療処置の状況	122
(3) 認知症の診断状況	123
(4) 入所の希望	123
(5) 特別養護老人ホームの最初の申込みからの経過期間	124

(6) 入所したい特別養護老人ホームのタイプ	125
(7) 特別養護老人ホームの申込み状況	126
(8) 申し込んでいる特別養護老人ホームから連絡がきた場合の対応	130
(9) 区外の特別養護老人ホームの入所申込み状況	131
(10) 特別養護老人ホーム以外の入所申込みの状況	134
(11) サービス等の充実による在宅生活の継続希望	137
(12) ショートステイの利用状況	139
12. 介護サービス事業所調査	143
(1) 事業所の概要	143
(2) 居宅介護支援事業所の考え	150
(3) 苦情対応	161
(4) サービスの質の向上	162
(5) 事業所の運営	164
(6) 要介護1・2の者の生活援助サービス等の地域支援事業への移行の効果・影響	175
(7) 地域との関わり	176
(8) 人材の確保・育成・定着	180
(9) 生産性向上に向けた取組	193
第3章 高齢者基礎調査（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）	197
1. 回答者の基本属性	199
(1) 要介護区分	199
(2) 調査票の記入者	199
(3) 性別	200
(4) 年齢	200
(5) 居住地区	201
(6) 世帯の状況	202
(7) 介護・介助の必要性	203
(8) 暮らし向き	203
2. 日常生活の状況	204
(1) からだを動かすこと	204
(2) 食べること	206
(3) 毎日の生活	209
3. 地域活動とたすけあい	210
(1) 地域づくりの推進	210
(2) 地域活動への参加状況	211
(3) たすけあい	215
4. 健康	219
(1) 健康状態	219
(2) 幸福度	219
(3) うつ傾向	220

(4) 喫煙の状況	220
(5) 現在治療中・後遺症のある病気	221
5. 認知症の相談窓口	222
(1) 認知症の症状がある人の有無	222
(2) 認知症に関する相談窓口の認知度	222
第4章 在宅介護実態調査	223
1. 本人の基本属性	225
(1) 年齢	225
(2) 性別	225
(3) 二次判定結果（要介護度）	225
(4) 障害高齢者の日常生活自立度	226
(5) 認知症高齢者の日常生活自立度	226
(6) 世帯類型	226
(7) 家族等による介護の頻度	227
(8) 介護のための離職の有無	228
(9) 施設等への入所・入居の検討状況	228
(10) サービス利用の組み合わせ	230
2. 主な介護者の基本属性	231
(1) 主な介護者の本人との関係	231
(2) 主な介護者の性別	231
(3) 主な介護者の年齢	231
3. 主な介護者の働き方と就労継続見込み	232
(1) 主な介護者の勤務形態	232
(2) 主な介護者の働き方の調整状況	233
(3) 主な介護者の就労継続の見込み	234
(4) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護	236
第5章 施設整備調査	241
1. 特別養護老人ホーム	243
2. ショートステイ	247
3. 介護老人保健施設	248
4. 有料老人ホーム	250
5. サービス付き高齢者向け住宅	252
6. 都市型軽費老人ホーム	254
7. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	257
8. 夜間対応型訪問介護	262
9. 地域密着型通所介護	266
10. 認知症対応型通所介護	270
11. 小規模多機能型居宅介護	274

12. 看護小規模多機能型居宅介護	278
13. 認知症対応型共同生活介護	282
第6章 参考資料	289

第1章 調査の概要

1. 調査概要

(1) 高齢者基礎調査

①調査の目的

令和9年度を計画の始期とする第10期練馬区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定のための基礎資料を得ることを目的とし、以下の調査を実施した。

②調査方法

いずれの調査も、郵送法（郵送配付・郵送回収）により実施した。また、②要支援・要介護認定者調査、④特別養護老人ホーム入所申込者調査を除きウェブサイトでの回答も可とした。

③調査期間

令和7年11月14日～令和7年12月15日

調査対象期日は、原則として令和7年10月1日現在とした。

④調査対象

各調査の調査対象者は、④特別養護老人ホーム入所申込者調査、⑤介護サービス事業所調査を除き住民基本台帳から無作為抽出した。無作為抽出は、調査間での対象者の重複を避け、所定の人数を抽出した。

調査種別	調査対象	図・表中での記載名
①高齢者一般調査	介護保険の認定を受けていない65歳以上の区民から無作為に2,500人を抽出した（総合事業対象者を含まない）。	高齢者一般
②要支援・要介護認定者調査	介護保険の認定を受けている65歳以上の区民から無作為に6,500人を抽出した（総合事業対象者を含む）。	要支援認定者 要介護認定者
③これから高齢期を迎える方の調査	介護保険の認定を受けていない55～64歳の区民から無作為に800人を抽出した。	これから高齢期
④特別養護老人ホーム入所申込者調査	特別養護老人ホーム入所申込者の方全員935人を対象とした。	【特養入所申込者】 全体 13ポイント以上 12ポイント以下
⑤介護サービス事業所調査	介護サービスを提供している区内の全事業所1,051事業所を対象とした。	介護サービス事業所
⑥介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	要介護認定（要介護1～5）を受けていない65歳以上の区民から無作為に3,900人を抽出した。	

※④特別養護老人ホーム入所申込者調査では、全体での集計の他に、練馬区特別養護老人ホーム入所基準の指数が13ポイント以上の方と12ポイント以下の方を分けて集計を行った。

⑤回収状況

No.	調査種別	対象者数	回収数			有効回収数	有効回収率
			紙媒体	ウェブサイト	合計		
①	高齢者一般調査	2,500	1,548	211	1,759	1,758	70.3%
②	要支援・要介護認定者調査	6,500	3,615	－	3,615	3,615	55.6%
	要支援認定者	2,200	1,505	－	1,505	1,505	68.4%
	要介護認定者	4,300	1,751	－	1,751	1,751	40.7%
③	これから高齢期を迎える方の調査	800	295	167	462	462	57.8%
④	特別養護老人ホーム入所申込者調査	935	423	－	423	422	45.1%
	12ポイント以下（指数低）	705	329	－	329	328	46.5%
	13ポイント以上（指数高）	230	94	－	94	94	40.9%
⑤	介護サービス事業所調査	1,051	270	316	586	586	55.8%
⑥	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	3,900	2,638	399	3,037	3,037	77.9%

※②要支援・要介護認定者調査では、要介護度が不明な回答も有効とするため、要支援認定者と要介護認定者の合計が全体を示す数値と一致しない。

（２）在宅介護実態調査

①調査の目的

「介護離職をなくしていくためにはどのようなサービスが必要か」といった観点から、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討するための基礎資料を得ることを目的とし、調査を実施した。調査項目は『在宅介護実態調査』として国が示した内容とした。

②調査方法

介護保険認定調査実施時に、介護保険認定調査員等が、調査対象者や調査に立ち会っている家族などに、聞き取り調査を行った。

③調査期間

令和7年8月1日～令和8年1月31日

④調査対象

区内で在宅生活をしている、要支援・要介護認定の更新申請または区分変更申請に伴う認定調査対象者とその家族で、「在宅介護実態調査」へのご協力の了解を得られた方。

⑤回収状況

対象者数	有効回答数（率）
607	607（100.0%）

(3) 施設整備調査

①調査の目的

第10期練馬区高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定のための基礎資料を得ることを目的とし、区内に所在する介護保険施設等を対象に、施設の利用状況等の調査を実施した。

②調査方法

電子メールでURLを配付し、ウェブサイトで回収した。

※地域密着型サービスについては、郵送による回答も受け付けた。

③調査期間

令和7年12月25日～令和8年1月30日

④回収状況

施設類型	施設数	回収数	回収率
1 特別養護老人ホーム	37施設	37施設	100.0%
2 ショートステイ	42施設	42施設	100.0%
3 介護老人保健施設	14施設	12施設	85.7%
4 有料老人ホーム	90施設	42施設	46.7%
5 サービス付き高齢者向け住宅	24施設	20施設	83.3%
6 都市型軽費老人ホーム	17施設	17施設	100.0%
7 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	8施設	8施設	100.0%
8 夜間対応型訪問介護	2施設	2施設	100.0%
9 地域密着型通所介護	93施設	91施設	97.8%
10 認知症対応型通所介護	10施設	10施設	100.0%
11 小規模多機能型居宅介護	13施設	13施設	100.0%
12 看護小規模多機能型居宅介護	10施設	10施設	100.0%
13 認知症対応型共同生活介護	39施設	39施設	100.0%

2. 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・図・表中の「-」は回答者が皆無のものである。
- ・回答はnを100%として百分率で算出している。小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が全体を示す数値と一致しないことがある。
- ・複数回答ができる質問では、回答比率の合計が100%を超える。
- ・複数の回答選択肢を1つにまとめて分析する場合、回答選択肢ごとの比率を合計した数値と、1つにまとめた比率の数値が異なる場合がある。
- ・本文、表、グラフにおいて、調査票の選択肢表記を簡略化している場合がある。

- ・クロス集計結果の図・表については、「無回答」があるため、全体の示す数値と一致しない。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。

【高齢者基礎調査】

- ・クロス集計の図表中では、居住地区の住所表記を下記のように記載する。

選択肢	記載名
旭丘1～2丁目、小竹町1～2丁目、栄町、羽沢1～3丁目、豊玉上1～2丁目、豊玉中1～4丁目、豊玉南1～3丁目、豊玉北1～6丁目、中村1～3丁目、中村南1～3丁目、中村北1～4丁目、桜台1～6丁目、練馬1～4丁目、向山1～4丁目、貫井1～5丁目	練馬
錦1～2丁目、氷川台1～4丁目、平和台1～4丁目、早宮1～4丁目、春日町1～6丁目、高松1～6丁目、北町1～8丁目、田柄1～5丁目、光が丘1～7丁目、旭町1～3丁目、土支田1～4丁目	光が丘
富士見台1～4丁目、南田中1～5丁目、高野台1～5丁目、谷原1～6丁目、三原台1～3丁目、石神井町1～8丁目、石神井台1～8丁目、下石神井1～6丁目、関町北1～5丁目、関町南1～4丁目、上石神井南町、立野町、上石神井1～4丁目、関町東1～2丁目	石神井
東大泉1～7丁目、西大泉1～6丁目、南大泉1～6丁目、大泉町1～6丁目、大泉学園町1～9丁目、西大泉町	大泉

- ・クロス集計の図表中では、サービス種別の選択肢表記を下記のように記載する。

選択肢	記載名
居宅介護支援	居宅介護支援
訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護	訪問系
通所介護、通所リハビリテーション、地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護	通所系
介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院、短期入所生活介護、短期入所療養介護	入所系
特定施設入居者生活介護、認知症高齢者グループホーム	居住系
福祉用具貸与・販売	福祉用具

【在宅介護実態調査】

- ・集計・分析に係る用語の定義は、以下のとおりとする。

〈 サービスの利用の分析に用いた用語の定義 〉

用語		定義
未利用		・「住宅改修」、「福祉用具貸与・購入」「特定福祉用具販売」のみを利用している方については、「未利用」として集計している。
訪問系		・（介護予防）訪問介護、（介護予防）訪問入浴介護、（介護予防）訪問看護、（介護予防）訪問リハビリテーション、（介護予防）居宅療養管理指導、夜間対応型訪問介護を「訪問系」として集計している。
通所系		・（介護予防）通所介護、（介護予防）通所リハビリテーション、（介護予防）認知症対応型通所介護を「通所系」として集計している。
短期系		・（介護予防）短期入所生活介護、（介護予防）短期入所療養介護を「短期系」として集計している。
その他	小規模多機能	・（介護予防）小規模多機能型居宅介護を「小規模多機能」として集計している。
	看護多機能	・看護小規模多機能型居宅介護を「看護多機能」として集計している。
	定期巡回	・定期巡回・随時対応型訪問介護看護を「定期巡回」として集計している。

〈 サービス利用の組み合わせの分析に用いた用語の定義 〉

用語	定義
未利用	・上表に同じ
訪問系のみ	・上表の「訪問系」もしくは「定期巡回」のみの利用を集計している。
訪問系を含む組み合わせ	・上表の「訪問系（もしくは定期巡回）」＋「通所系」、「訪問系（もしくは定期巡回）」＋「短期系」、「訪問系（もしくは定期巡回）」＋「通所系」＋「短期系」、「小規模多機能」、「看護多機能」の利用を集計している。
通所系・短期系のみ	・上表の「通所系」、「短期系」、「通所系」＋「短期系」の利用を集計している。

〈 障害高齢者の日常生活自立度 〉

用語	説明
J	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する。
	J 1 交通機関等を利用して外出する。
	J 2 隣近所へなら外出する。
A	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない。
	A 1 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する。
	A 2 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている。
B	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ。
	B 1 車いすに移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う。
	B 2 介助により車いすに移乗する。
C	1 日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する。
	C 1 自力で寝返りをうつ。
	C 2 自力では寝返りもうたない。

〈 認知症高齢者の日常生活自立度 〉

用語	説明
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内および社会的にほぼ自立している。
II	日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。
	II a 家庭外で上記IIの状態が見られる。
	II b 家庭内でも上記IIの状態が見られる。
III	日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。
	III a 日中を中心として上記IIIの状態が見られる。
	III b 夜間を中心として上記IIIの状態が見られる。
IV	日常生活に支障をきたすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。
M	著しい精神症状や周辺症状あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。

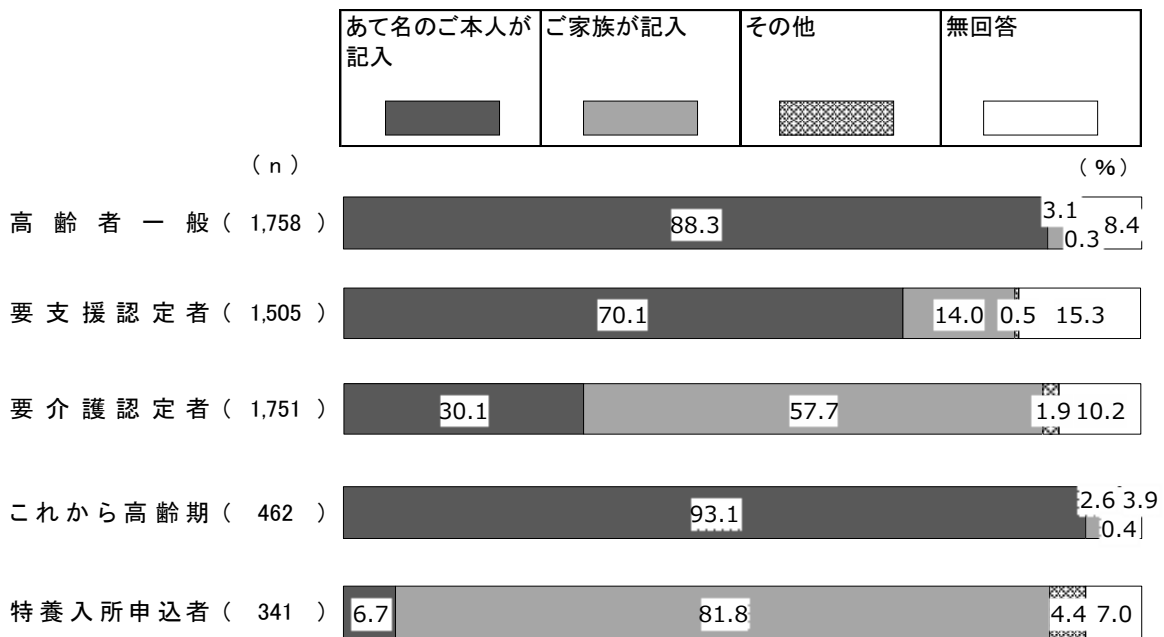
第2章 高齡者基礎調查

1. 回答者の基本属性

(1) 調査票の記入者

①記入者

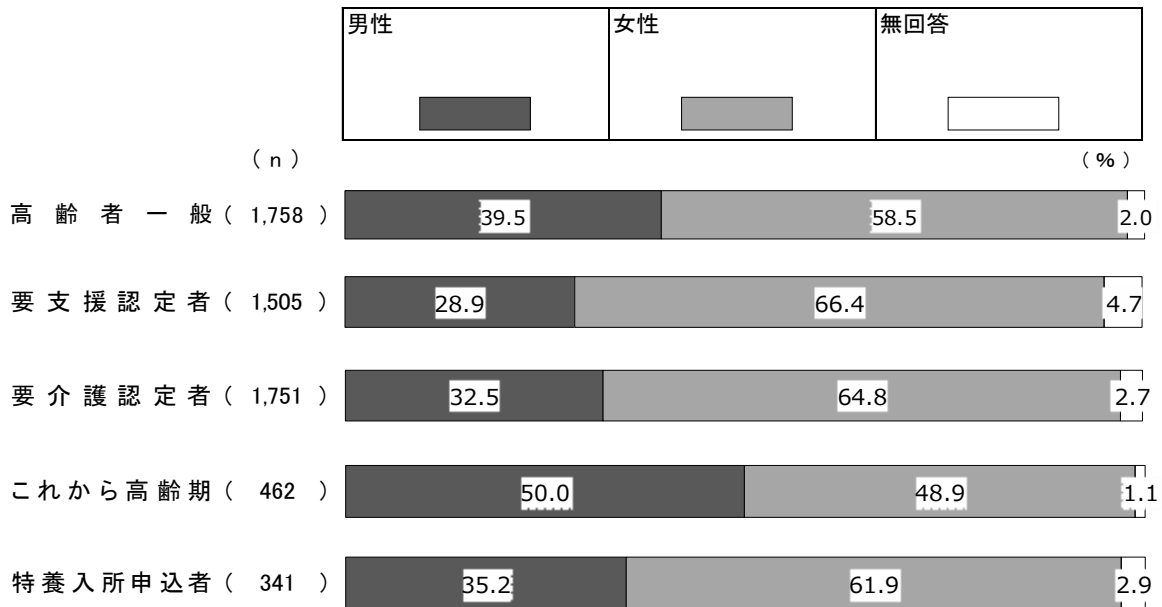
- 高齢者一般では、「あて名のご本人が記入」が88.3%、「ご家族が記入」が3.1%となっている。
- 要支援認定者では、「あて名のご本人が記入」が70.1%、「ご家族が記入」が14.0%となっている。
- 要介護認定者では、「ご家族が記入」が57.7%、「あて名のご本人が記入」が30.1%となっている。
- これから高齢期では、「あて名のご本人が記入」が93.1%、「ご家族が記入」が2.6%となっている。
- 特養入所申込者では、「ご家族が記入」が81.8%、「あて名のご本人が記入」が6.7%となっている。



(2) 性別

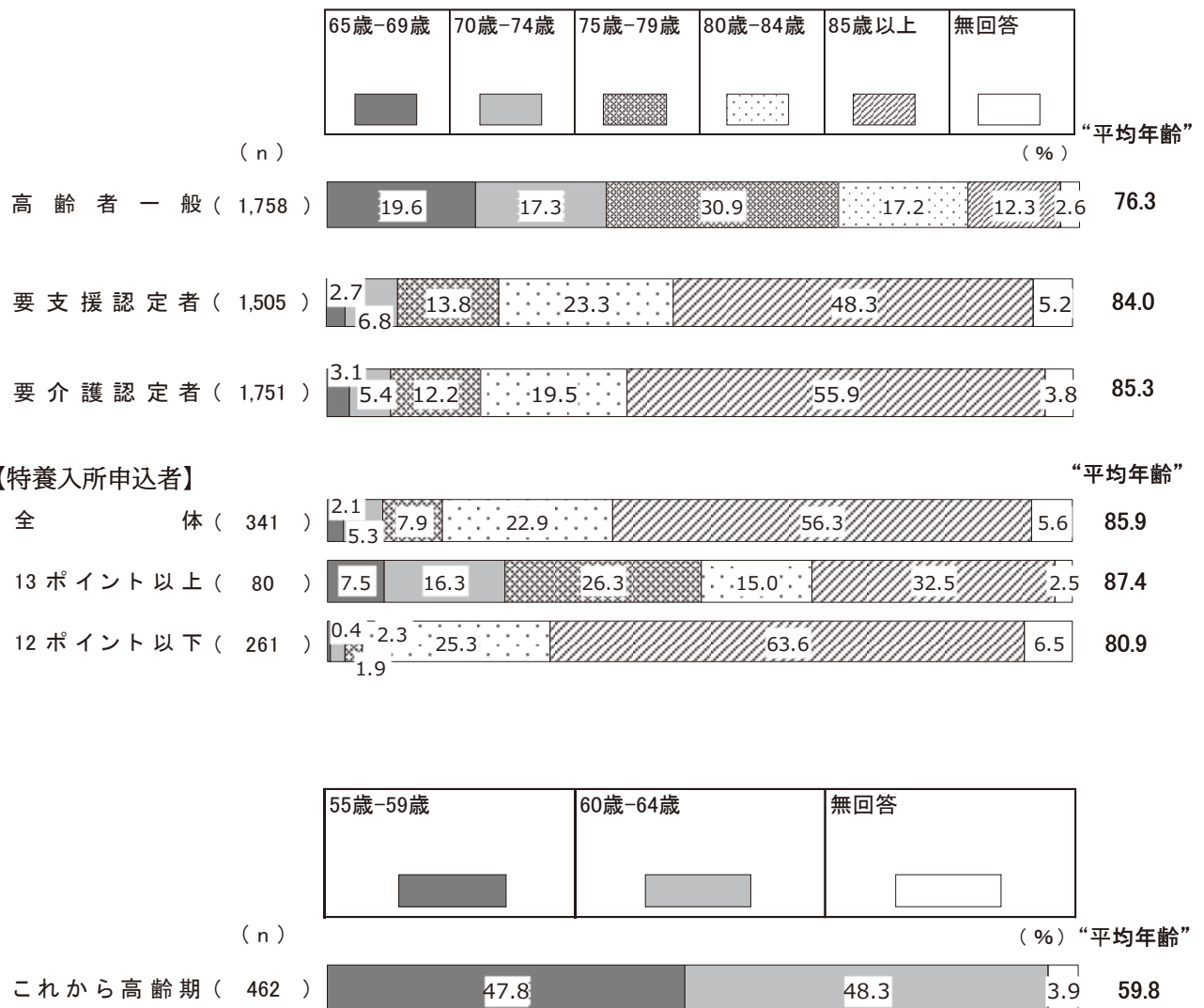
○高齢者一般、要支援認定者、要介護認定者および特養入所申込者では、「女性」の割合が高く、それぞれ58.5%、66.4%、64.8%、61.9%となっている。

○これから高齢期では、「男性」が50.0%となっている。



(3) 年齢

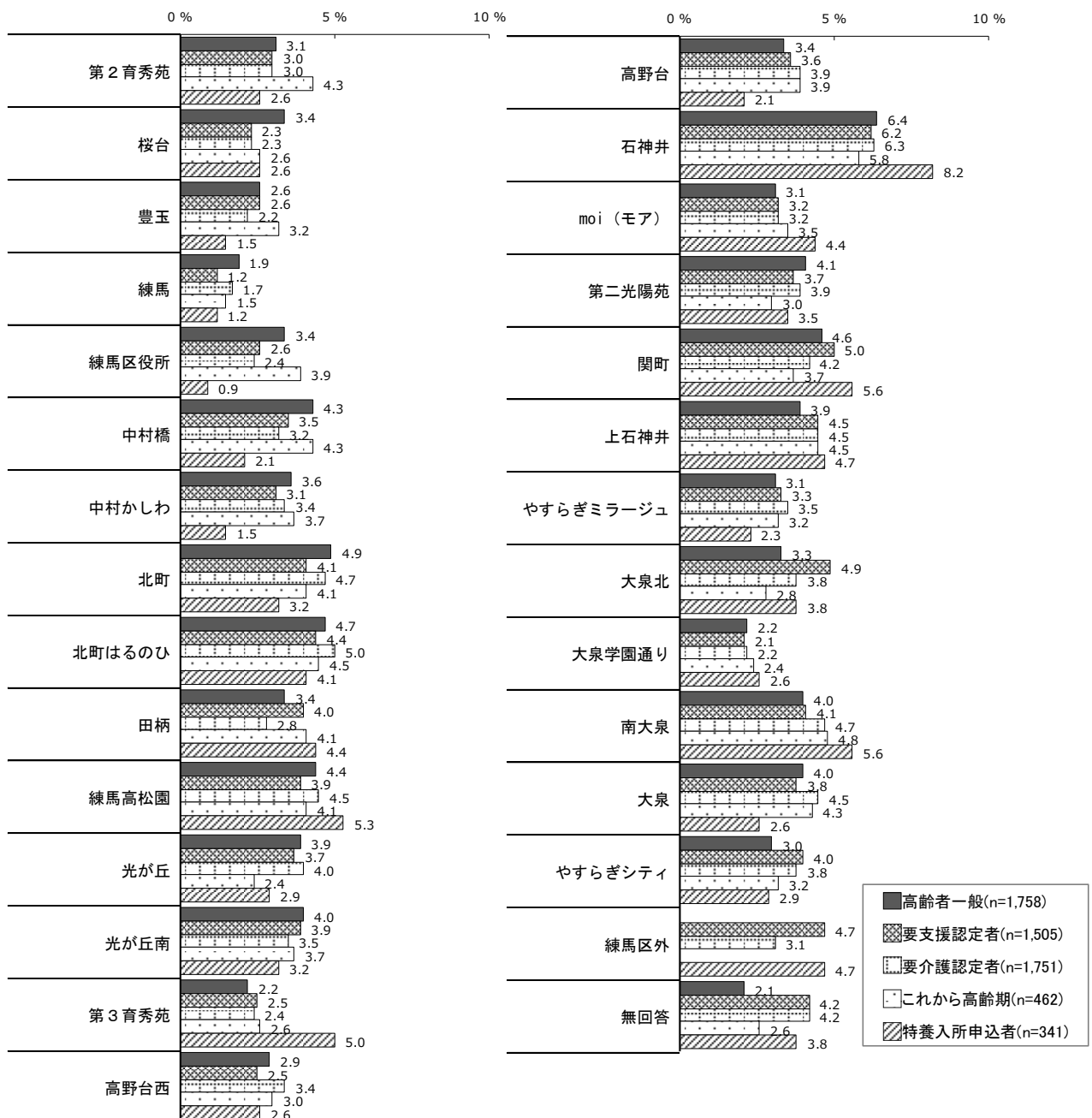
- 高齢者一般では、「前期高齢者」が36.9%、「後期高齢者」が60.4%で、“平均年齢”は76.3歳となっている。
- 要支援認定者では、「前期高齢者」が9.5%、「後期高齢者」が85.4%で、“平均年齢”は84.0歳となっている。
- 要介護認定者では、「前期高齢者」が8.5%、「後期高齢者」が87.6%で、“平均年齢”は85.3歳となっている。
- 特養入所申込者では、「前期高齢者」が7.4%、「後期高齢者」が87.1%で、“平均年齢”は85.9歳となっている。
- これから高齢期では、「55歳～59歳」が47.8%、「60歳～64歳」が48.3%で、“平均年齢”は59.8歳となっている。



(4) 居住地区

①日常生活圏域

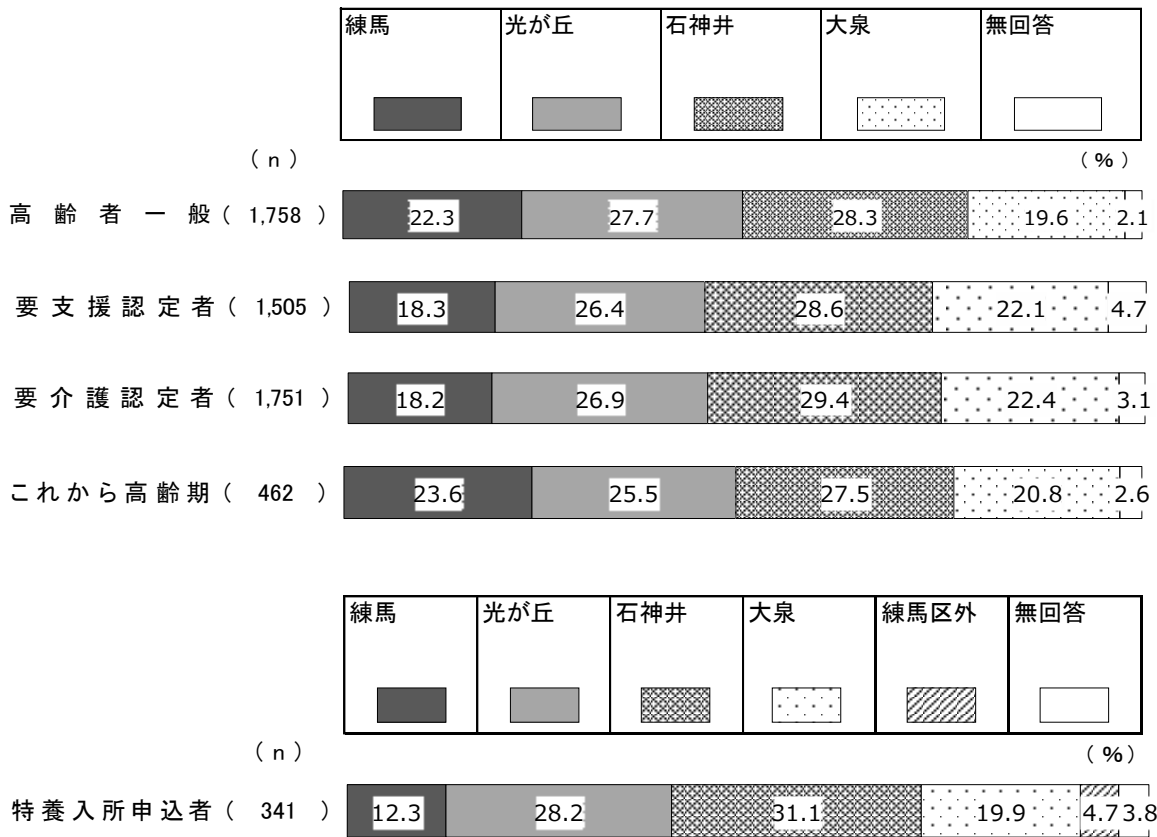
- 高齢者一般では、「石神井」(6.4%)が最も高く、次いで「北町」(4.9%)の順となっている。
- 要支援認定者では、「石神井」(6.2%)が最も高く、次いで「関町」(5.0%)の順となっている。
- 要介護認定者では、「石神井」(6.3%)が最も高く、次いで「北町はるのひ」(5.0%)の順となっている。
- これから高齢期では、「石神井」(5.8%)が最も高く、次いで「南大泉」(4.8%)の順となっている。
- 特養入所申込者では、「石神井」(8.2%)が最も高く、次いで「関町」および「南大泉」(ともに5.6%)の順となっている。



※「第2育秀苑」は令和8年4月から「みらい青空」に名称が変更となる。

②基本地区

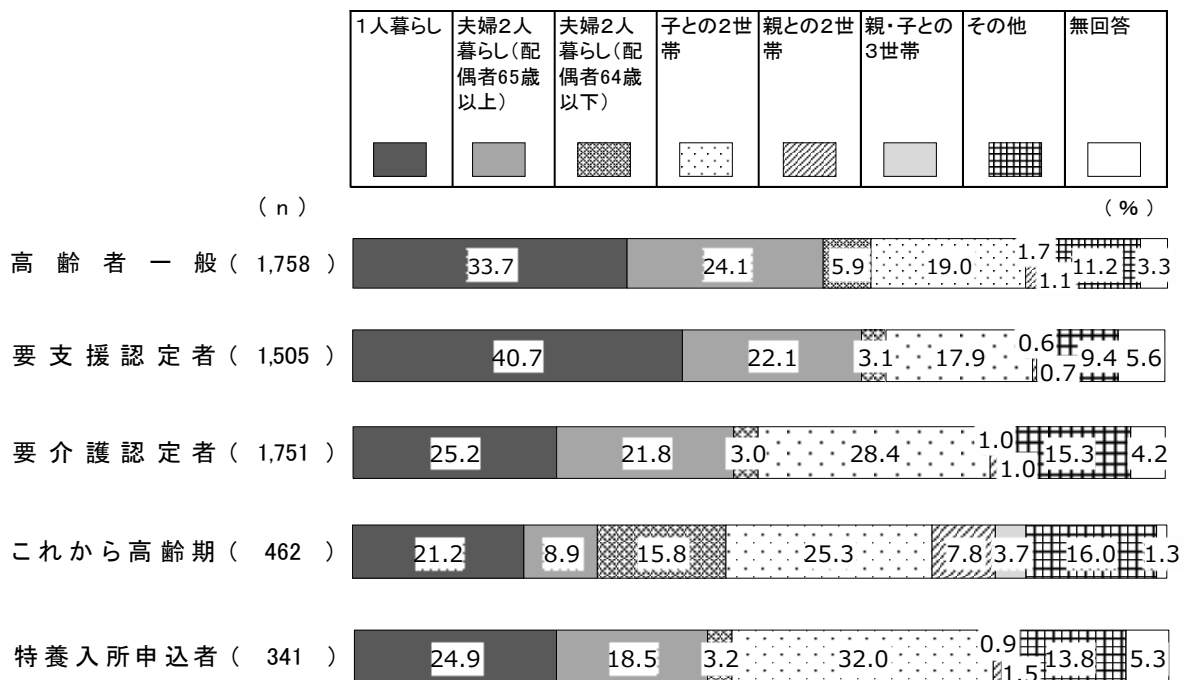
- 高齢者一般では、「石神井」(28.3%)が最も高く、次いで「光が丘」(27.7%)の順となっている。
- 要支援認定者では、「石神井」(28.6%)が最も高く、次いで「光が丘」(26.4%)の順となっている。
- 要介護認定者では、「石神井」(29.4%)が最も高く、次いで「光が丘」(26.9%)の順となっている。
- これから高齢期では、「石神井」(27.5%)が最も高く、次いで「光が丘」(25.5%)の順となっている。
- 特養入所申込者では、「石神井」(31.1%)が最も高く、次いで「光が丘」(28.2%)の順となっている。



(5) 世帯の状況

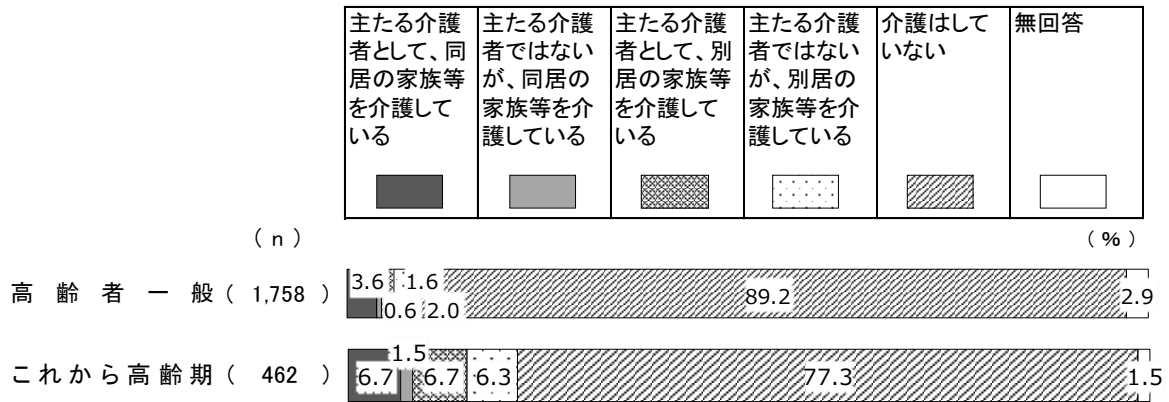
①世帯構成

- 高齢者一般では、「1人暮らし」(33.7%)が最も高く、次いで「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」(24.1%)の順となっている。
- 要支援認定者では、「1人暮らし」(40.7%)が最も高く、次いで「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」(22.1%)の順となっている。
- 要介護認定者では、「子との2世帯」(28.4%)が最も高く、次いで「1人暮らし」(25.2%)の順となっている。
- これから高齢期では、「子との2世帯」(25.3%)が最も高く、次いで「1人暮らし」(21.2%)の順となっている。
- 特養入所申込者では、「子との2世帯」(32.0%)が最も高く、次いで「1人暮らし」(24.9%)の順となっている。



②介護の有無

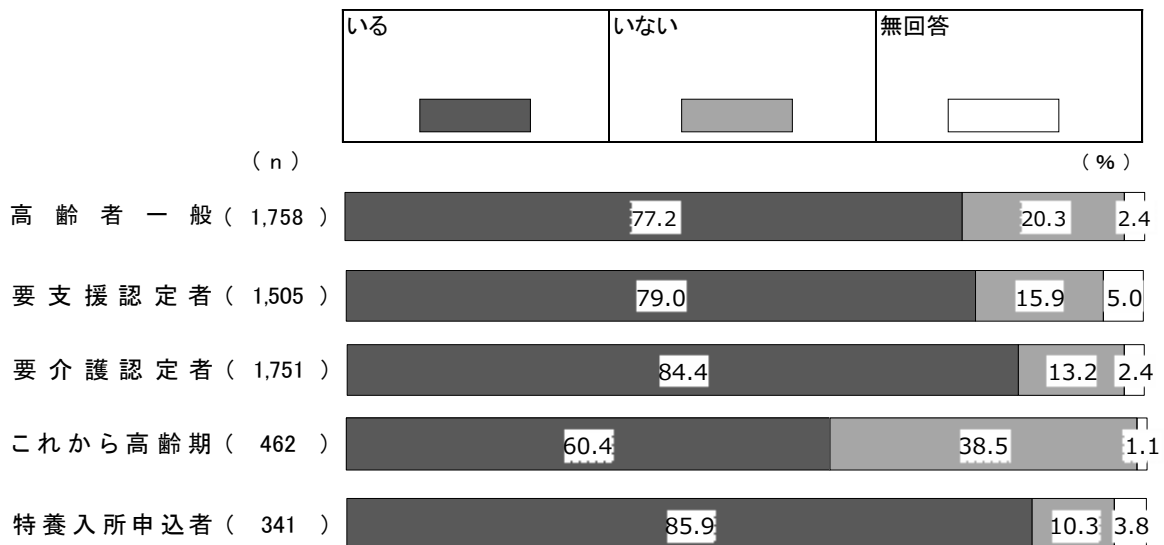
○いずれの調査でも「介護はしていない」が最も高く、高齢者一般では89.2%、これから高齢期では77.3%となっている。



③子どもの有無

○子どもが「いる」は、高齢者一般、要支援認定者、要介護認定者、特養入所申込者で7割から8割となっている。

○これから高齢期では、子どもは「いない」が38.5%となっている。



[子どもの有無<年代別(高齢者一般、要支援認定者、要介護認定者)>]

○年代別にみると、いずれの調査でも「前期高齢者」は、子どもが「いない」が「後期高齢者」と比べて高くなっている。子どもが「いない」と回答した「前期高齢者」は、高齢者一般が24.4%、要支援認定者が34.3%、要介護認定者が36.0%となっている。

	n	いる	いない	無回答
高齢者一般	1,758	77.2	20.3	2.4
前期高齢者(65歳-74歳)	648	74.8	24.4	0.8
後期高齢者(75歳以上)	1,064	80.7	18.2	1.0
要支援認定者	1,505	79.0	15.9	5.0
前期高齢者(65歳-74歳)	143	65.7	34.3	-
後期高齢者(75歳以上)	1,284	84.3	14.6	1.1
要介護認定者	1,751	84.4	13.2	2.4
前期高齢者(65歳-74歳)	150	64.0	36.0	-
後期高齢者(75歳以上)	1,534	88.4	11.3	0.3

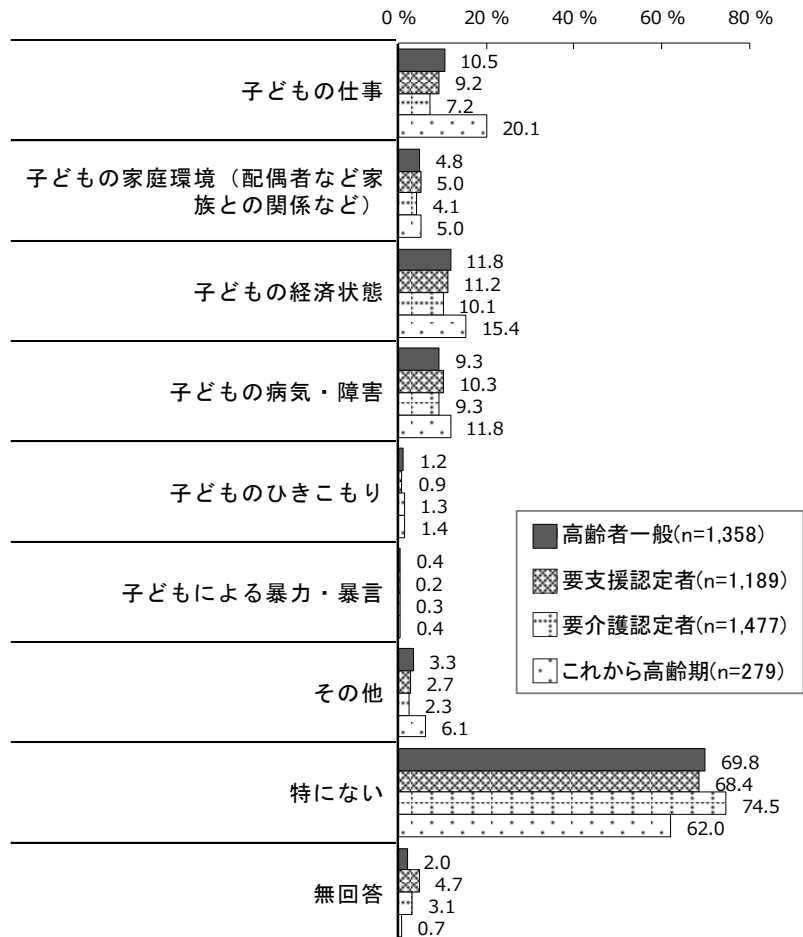
④子どもに関する心配ごと

○子どもが「いる」と回答した人の子どもに関する心配ごとは、いずれの調査でも「特にない」が最も高く、6割から7割となっている。

○心配ごととして、高齢者一般、要支援認定者、要介護認定者では、「子どもの経済状態」が最も高く、1割台となっている。

○これから高齢期では、「子どもの仕事」が最も高く、20.1%となっている。

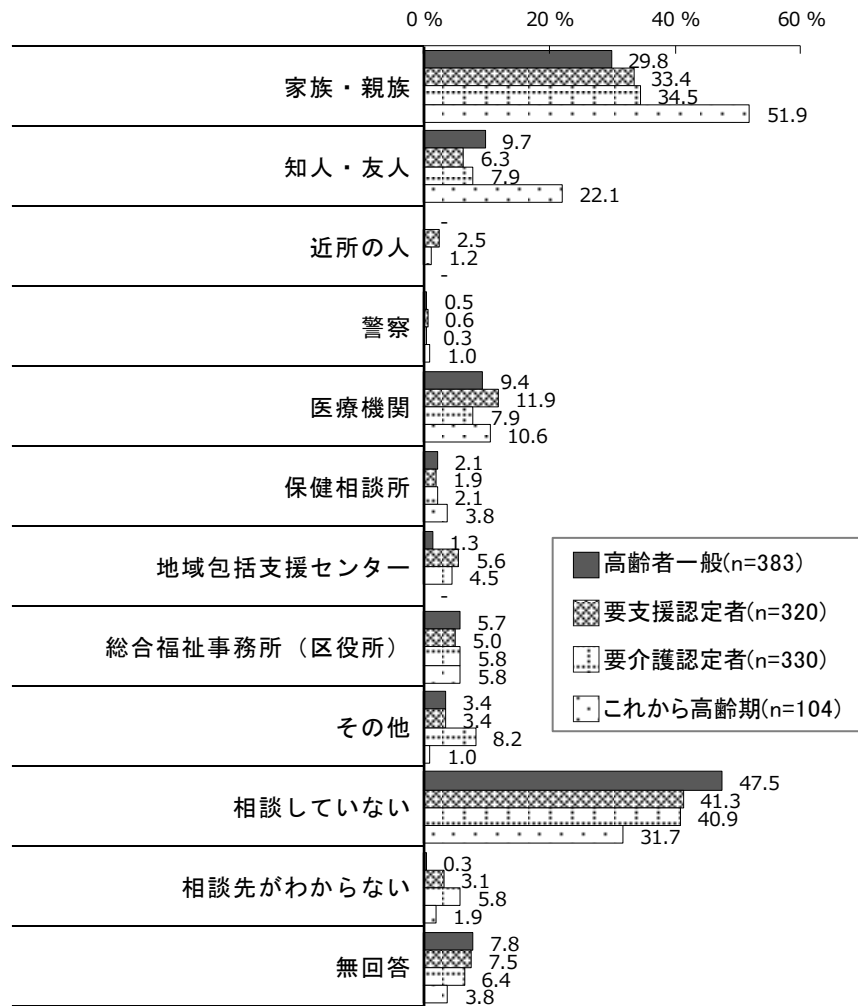
(複数回答)



⑤子どもに関する心配ごとの相談状況

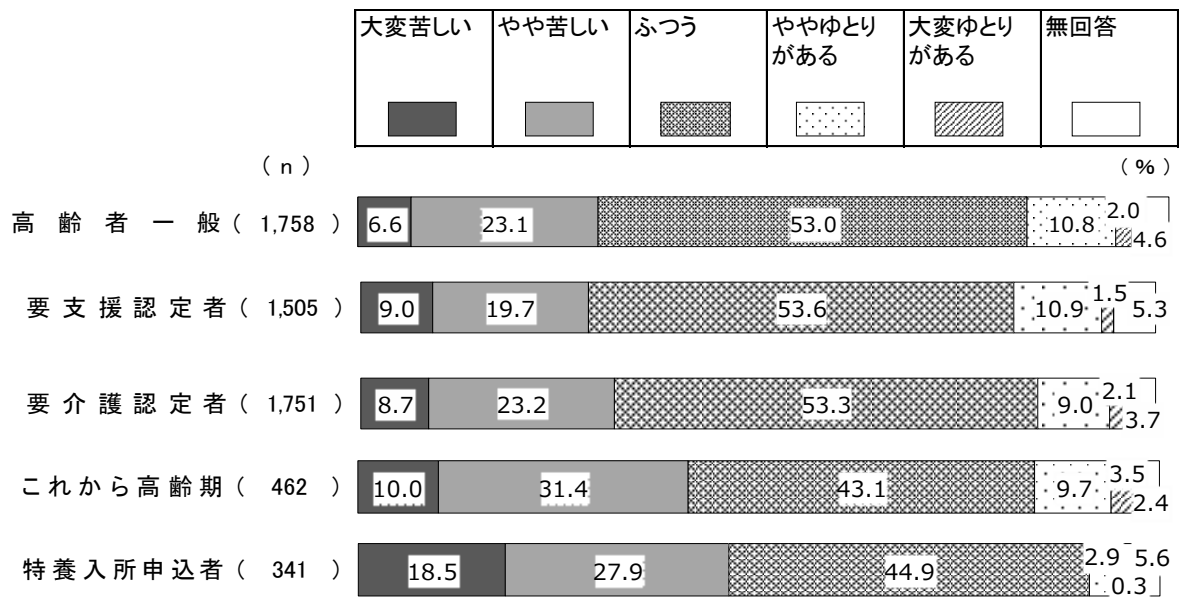
- 高齢者一般では、「相談していない」(47.5%)が最も高く、次いで「家族・親族」(29.8%)の順となっている。
- 要支援認定者では、「相談していない」(41.3%)が最も高く、次いで「家族・親族」(33.4%)の順となっている。
- 要介護認定者では、「相談していない」(40.9%)が最も高く、次いで「家族・親族」(34.5%)の順となっている。
- これから高齢期では、「家族・親族」(51.9%)が最も高く、次いで「相談していない」(31.7%)の順となっている。

(複数回答)



(6) 暮らし向き

○経済的状況は、いずれの調査でも「ふつう」が最も高く、4割から5割となっている。



[暮らし向き<経年比較(高齢者一般)>]

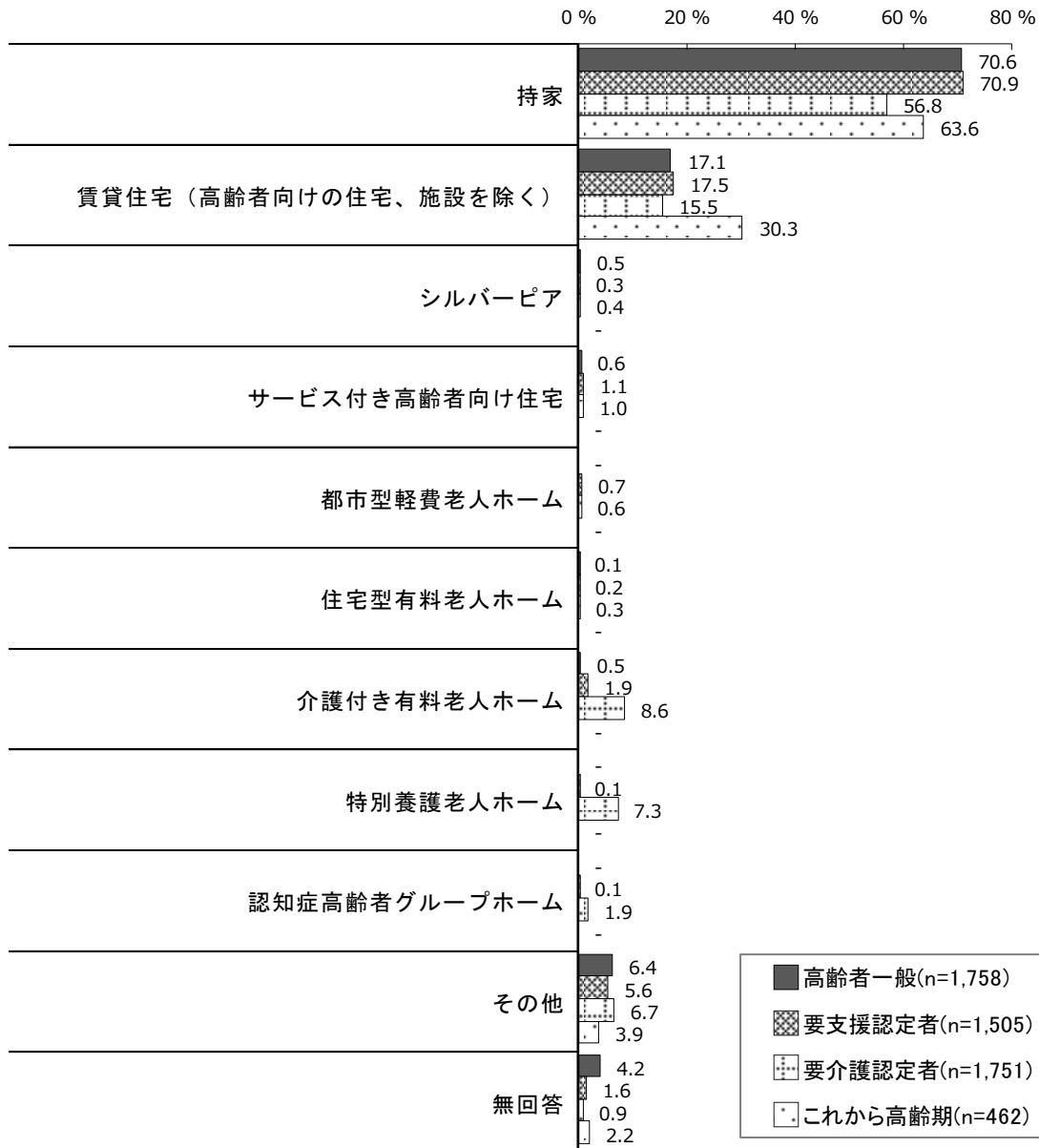
○令和4年度の調査結果と比較すると、「大変苦しい」が3.1ポイント低くなっている。

	n	大変苦しい (%)	やや苦しい (%)	ふつう (%)	ややゆとりがある (%)	大変ゆとりがある (%)	無回答 (%)
令和7年度	1,758	6.6	23.1	53.0	10.8	2.0	4.6
令和4年度	1,516	9.7	22.8	52.3	10.7	2.5	2.0

2. 住まい

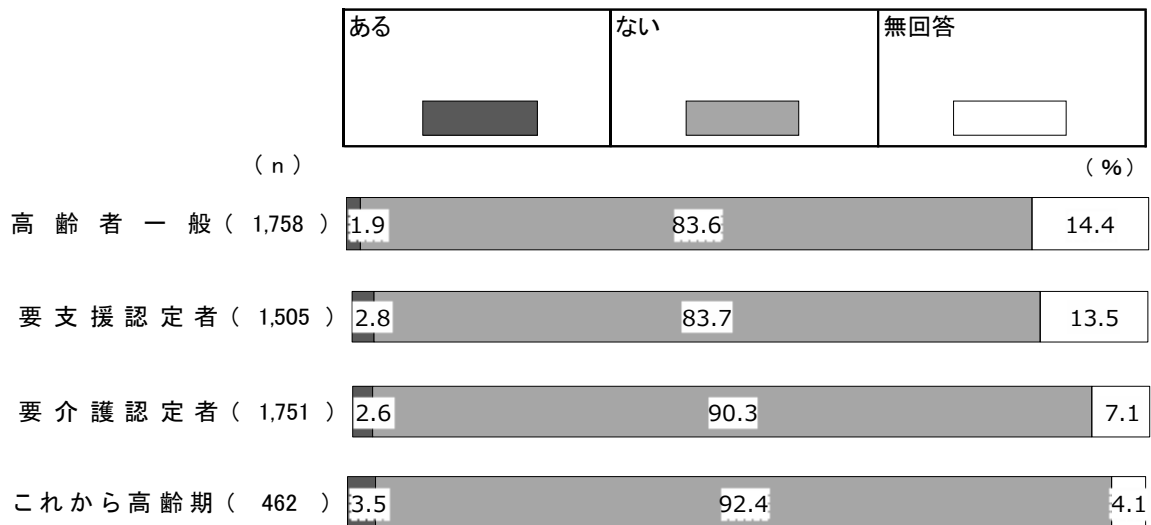
(1) 住居形態

○いずれの調査でも「持家」が最も高く、5割から7割となっている。



(2) 住まいへの入居を断られた経験

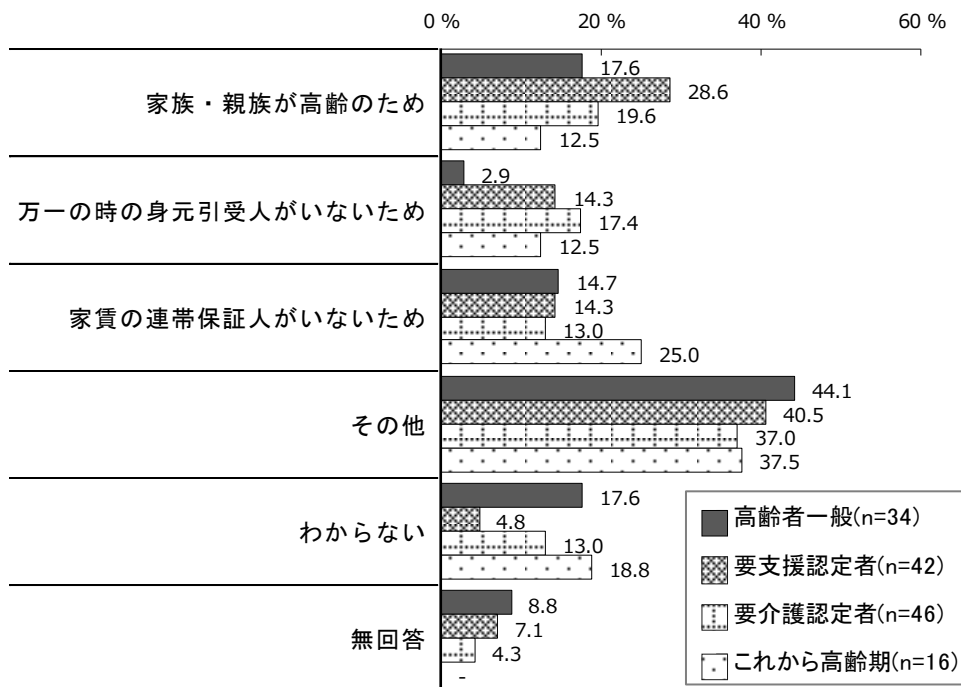
○入居を断られた経験が「ない」は、いずれの調査でも最も高く、8割から9割となっている。



(3) 住まいへの入居を断られた理由

○いずれの調査でも「その他」が最も高く、3割から4割となっている。

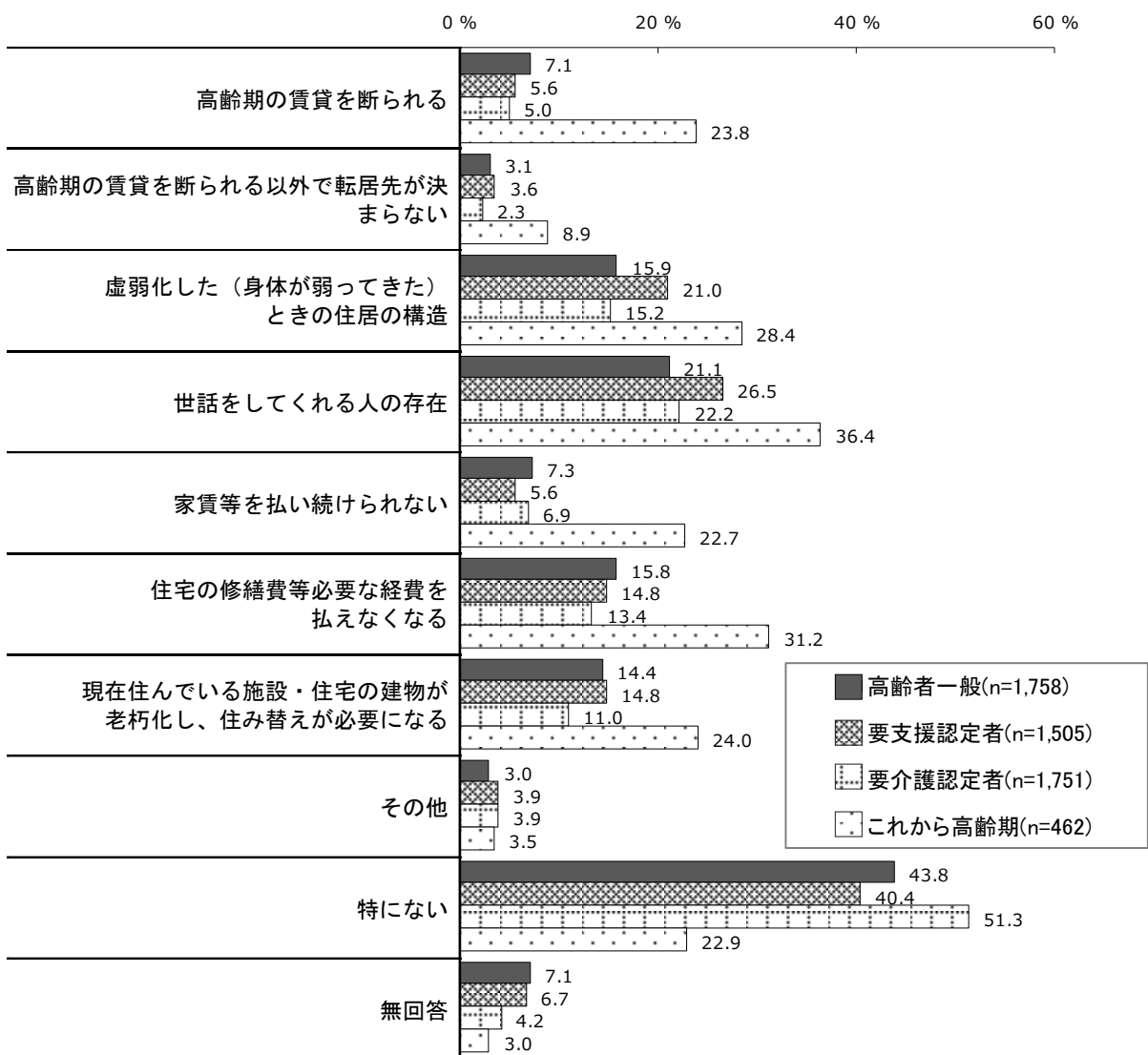
(複数回答)



(4) 将来の住まいに関する不安

- 高齢者一般では、「特にない」(43.8%)が最も高く、次いで「世話をしてくれる人の存在」(21.1%)の順となっている。
- 要支援認定者では、「特にない」(40.4%)が最も高く、次いで「世話をしてくれる人の存在」(26.5%)の順となっている。
- 要介護認定者では、「特にない」(51.3%)が最も高く、次いで「世話をしてくれる人の存在」(22.2%)の順となっている。
- これから高齢期では、「世話をしてくれる人の存在」(36.4%)が最も高く、次いで「住宅の修繕費等必要な経費を払えなくなる」(31.2%)の順となっている。

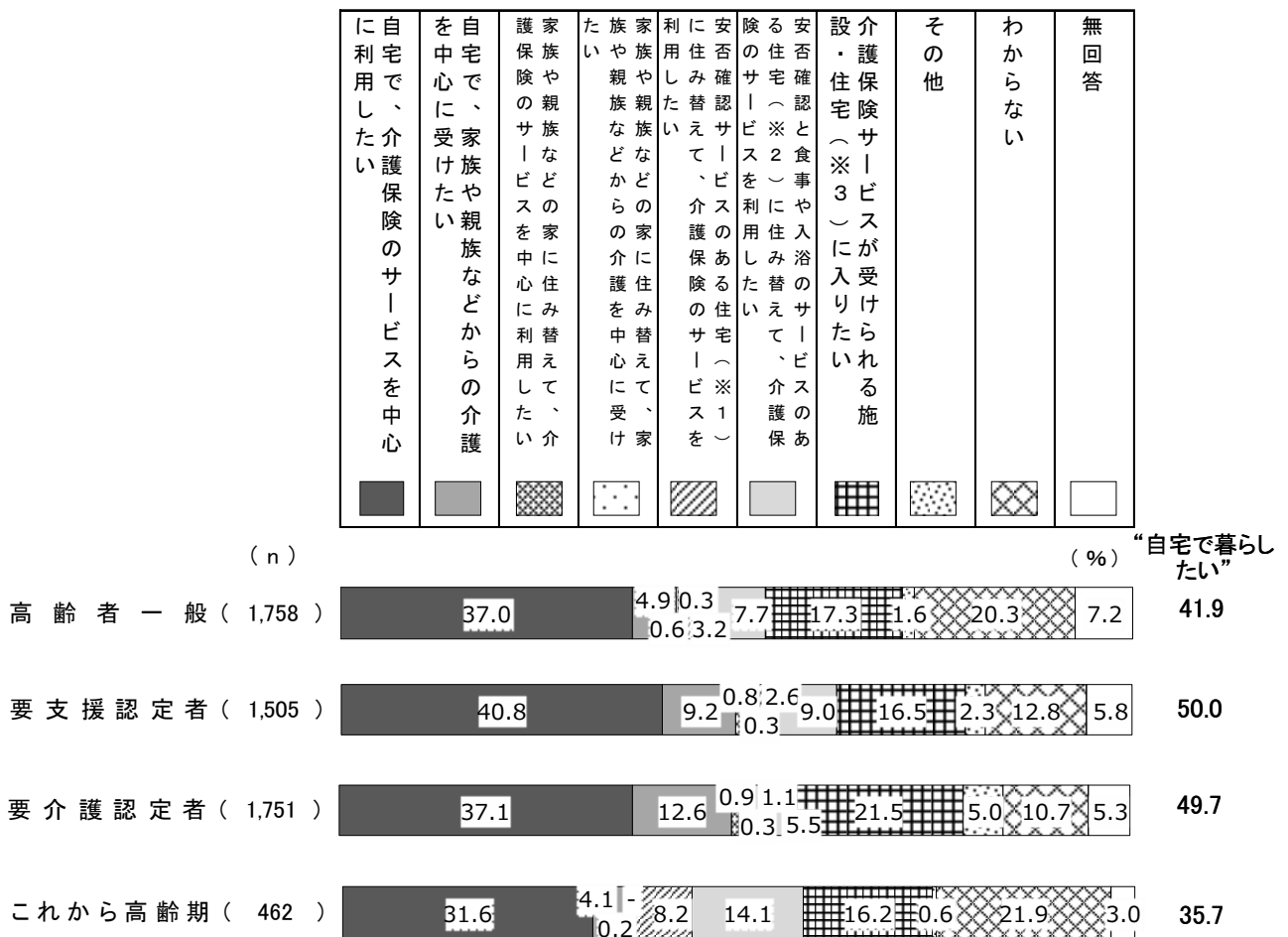
(複数回答)



(5) 介護が必要になった場合に希望する暮らし方

○いずれの調査でも、「自宅で、介護保険のサービスを中心に利用したい」が最も高く、3割から4割となっている。

○“自宅で暮らしたい”（「自宅で、介護保険のサービスを中心に利用したい」と「自宅で、家族や親族などからの介護を中心に受けてたい」の合計）は、高齢者一般で41.9%、要支援認定者で50.0%、要介護認定者で49.7%、これから高齢期で35.7%となっている。



※1 シルバーピア

※2 サービス付き高齢者向け住宅、都市型軽費老人ホーム、住宅型有料老人ホーム

※3 特別養護老人ホーム、介護付き有料老人ホーム、認知症高齢者グループホーム

[介護が必要になった場合に希望する暮らし方<経年比較(高齢者一般)>]

○令和4年度の調査結果と比較すると、“自宅で暮らしたい”が4.2ポイント低くなっているものの、高水準で推移している。

	n	自宅で、介護保険のサービスを中心に利用したい	自宅で、家族や親族などからの介護を中心に受けたい	家族や親族などの家に住み替えて、介護保険のサービスを中心に利用したい	家族や親族などの家に住み替えて、家族や親族などからの介護を中心に受けたい	安否確認サービスの有る住宅に住み替えて、介護保険のサービスを利用したい	安否確認と食事や入浴のサービスのある住宅に住み替えて、介護保険のサービスを利用したい	介護保険サービスが受けられる施設・住宅に入りたい	その他	わからない	無回答	自宅で暮らしたい
令和7年度	1,758	37.0	4.9	0.6	0.3	3.2	7.7	17.3	1.6	20.3	7.2	41.9
令和4年度	1,516	41.1	5.0	0.9	0.3	4.1	8.8	13.7	2.4	17.5	6.1	46.1

[介護が必要になった場合に希望する暮らし方<住居形態別(高齢者一般)>]

○住居形態別にみると、「持家」は、“自宅で暮らしたい”が49.7%となっている。

	n	自宅で、介護保険のサービスを中心に利用したい	自宅で、家族や親族などからの介護を中心に受けたい	家族や親族などの家に住み替えて、介護保険のサービスを中心に利用したい	家族や親族などの家に住み替えて、家族や親族などからの介護を中心に受けたい	安否確認サービスの有る住宅に住み替えて、介護保険のサービスを利用したい	安否確認と食事や入浴のサービスのある住宅に住み替えて、介護保険のサービスを利用したい	介護保険サービスが受けられる施設・住宅に入りたい	その他	わからない	無回答	自宅で暮らしたい
全体	1,758	37.0	4.9	0.6	0.3	3.2	7.7	17.3	1.6	20.3	7.2	41.9
持家	1,242	43.9	5.8	0.2	0.2	2.0	8.0	18.4	1.4	17.6	2.6	49.7
賃貸住宅 (高齢者向けの住宅、施設を除く)	301	26.2	3.3	1.7	0.7	8.0	9.0	15.0	1.3	31.2	3.7	29.5
シルバーピア	8	25.0	-	12.5	-	12.5	-	37.5	-	12.5	-	25.0
サービス付き高齢者向け住宅	11	-	-	-	-	-	27.3	9.1	9.1	27.3	27.3	-
都市型軽費老人ホーム	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
住宅型有料老人ホーム	2	-	-	-	-	-	-	50.0	-	50.0	-	-
介護付き有料老人ホーム	9	-	-	-	-	-	-	33.3	22.2	22.2	22.2	-
その他	112	19.6	2.7	1.8	-	5.4	6.3	20.5	2.7	31.3	9.8	22.3

[介護が必要になった場合に希望する暮らし方<世帯構成別(高齢者一般)>]

○世帯構成別にみると、「1人暮らし」は、“自宅で暮らしたい”が35.8%で、他の世帯構成と比べて低くなっている。

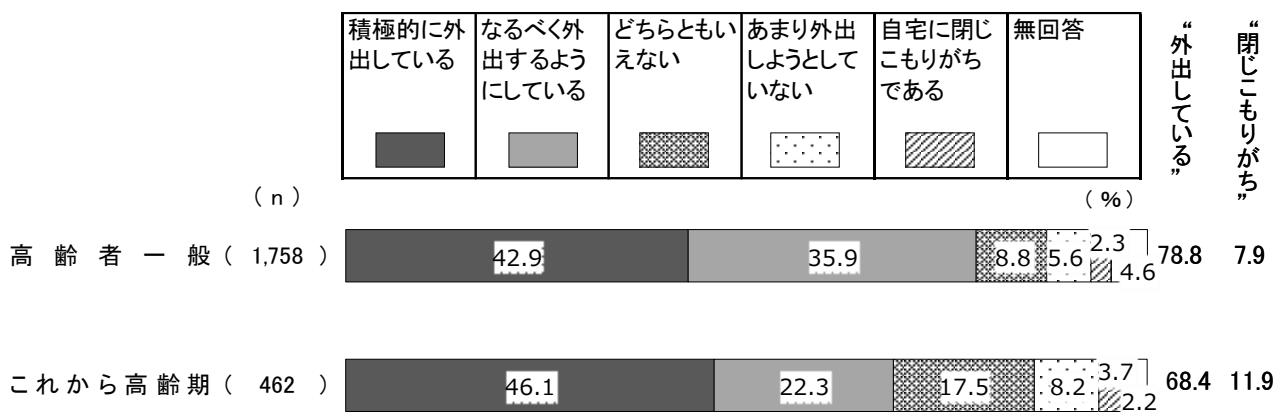
	n	自宅で、介護保険のサービスを中心に利用したい	自宅で、家族や親族などからの介護を中心に受けたい	家族や親族などの家に住み替えて、介護保険のサービスを中心に利用したい	家族や親族などの家に住み替えて、家族や親族などからの介護を中心に受けたい	安否確認サービスの有る住宅に住み替えて、介護保険のサービスを利用したい	安否確認と食事や入浴のサービスのある住宅に住み替えて、介護保険のサービスを利用したい	介護保険サービスが受けられる施設・住宅に入りたい	その他	わからない	無回答	自宅で暮らしたい
全体	1,758	37.0	4.9	0.6	0.3	3.2	7.7	17.3	1.6	20.3	7.2	41.9
1人暮らし	593	32.9	2.9	1.0	0.3	5.7	9.1	18.0	2.2	21.1	6.7	35.8
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	423	39.0	5.2	-	0.2	2.1	8.7	19.4	1.4	17.5	6.4	44.2
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	104	42.3	1.9	-	-	-	7.7	22.1	1.0	19.2	5.8	44.2
子との2世帯	334	40.7	9.3	-	0.6	1.5	5.4	14.7	0.3	20.4	7.2	50.0
その他	246	35.4	5.3	1.2	-	2.8	4.9	15.0	2.8	24.8	7.7	40.7

3. 社会参加

(1) 外出状況

①外出に対する積極性

- いずれの調査でも「積極的に外出している」が最も高く、高齢者一般で42.9%、これから高齢期で46.1%となっている。
- “外出している”（「積極的に外出している」と「なるべく外出するようにしている」の合計）は、高齢者一般で78.8%、これから高齢期で68.4%となっている。
- “閉じこもりがち”（「あまり外出しようとしていない」と「自宅に閉じこもりがちである」の合計）は、高齢者一般で7.9%、これから高齢期で11.9%となっている。



[外出に対する積極性<経年比較(高齢者一般)>]

○令和4年度の調査結果と比較して、大きな変化はみられない。

	n	積極的に外出している	なるべく外出するようにしている	どちらともいえない	あまり外出しようとしていない	自宅に閉じこもりがちである	無回答	外出している	閉じこもりがち
令和7年度	1,758	42.9	35.9	8.8	5.6	2.3	4.6	78.8	7.9
令和4年度	1,516	41.1	36.3	10.1	7.2	1.6	3.7	77.4	8.8

[外出に対する積極性<情報通信機器の使用状況別(高齢者一般)>]

○情報通信機器の使用状況別にみると、何かしらの情報通信機器を「使う」は、“外出している”が81.8%で、「使わない、持っていない」と比べて高くなっている。

	n	積極的に外出している	なるべく外出するようにしている	どちらともいえない	あまり外出しようとしていない	自宅に閉じこもりがちである	無回答	外出している	閉じこもりがち
全体	1,758	42.9	35.9	8.8	5.6	2.3	4.6	78.8	7.9
使う	1,349	46.7	35.1	8.1	4.4	1.9	3.9	81.8	6.3
使わない、持っていない	347	28.5	40.6	11.8	9.2	4.0	5.8	69.1	13.2

②区立施設の利用状況

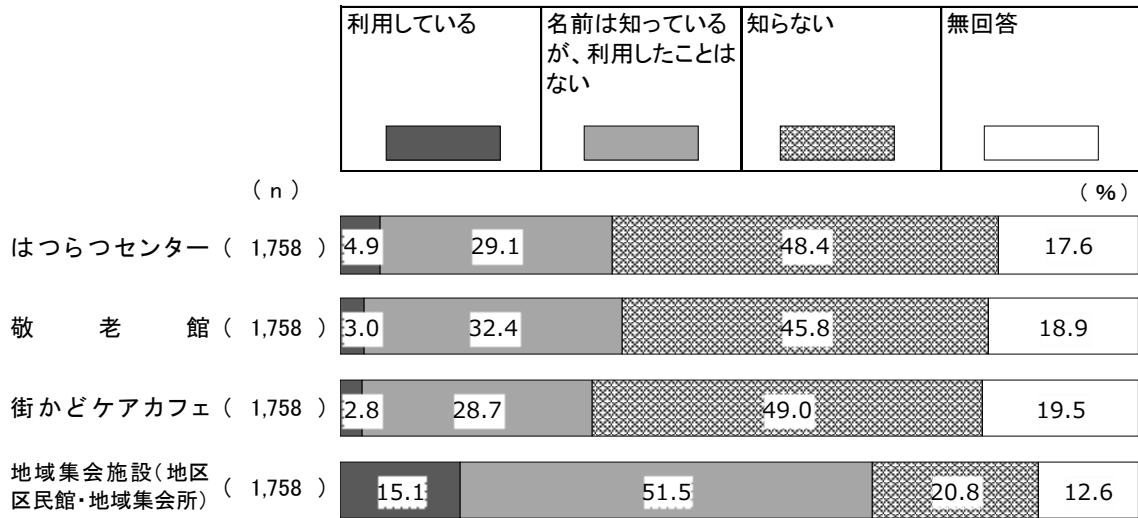
○高齢者一般では、はつらつセンター、敬老館、街かどケアカフェについて、「知らない」が最も高く、4割台となっている。

地域集会施設（地区区民館・地域集会所）については、「名前は知っているが、利用したことはない」が最も高く、51.5%となっている。

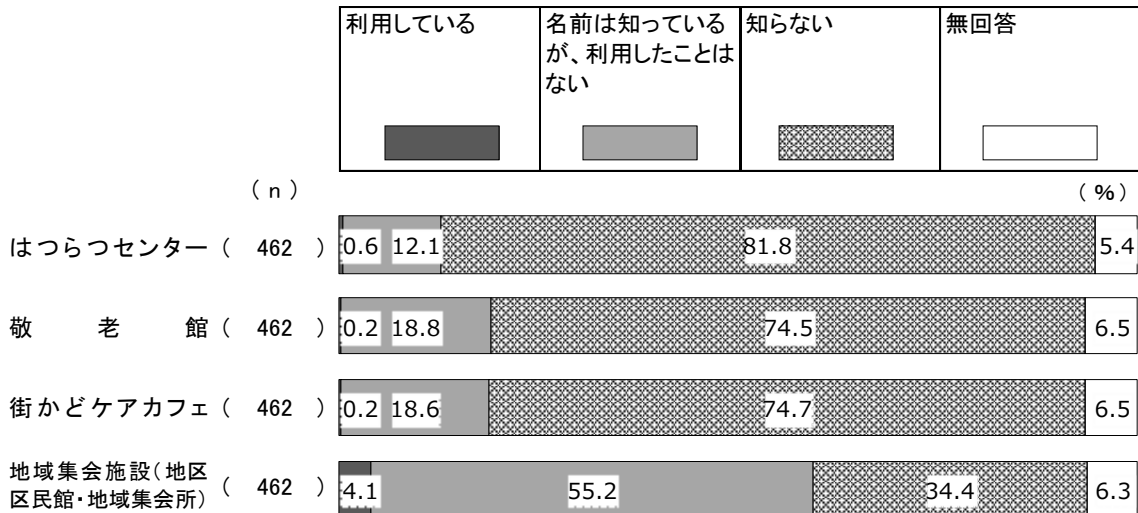
○これから高齢期では、はつらつセンター、敬老館、街かどケアカフェについて、「知らない」が最も高く、7割から8割となっている。

地域集会施設（地区区民館・地域集会所）については、「名前は知っているが、利用したことはない」が最も高く、55.2%となっている。

(高齢者一般)

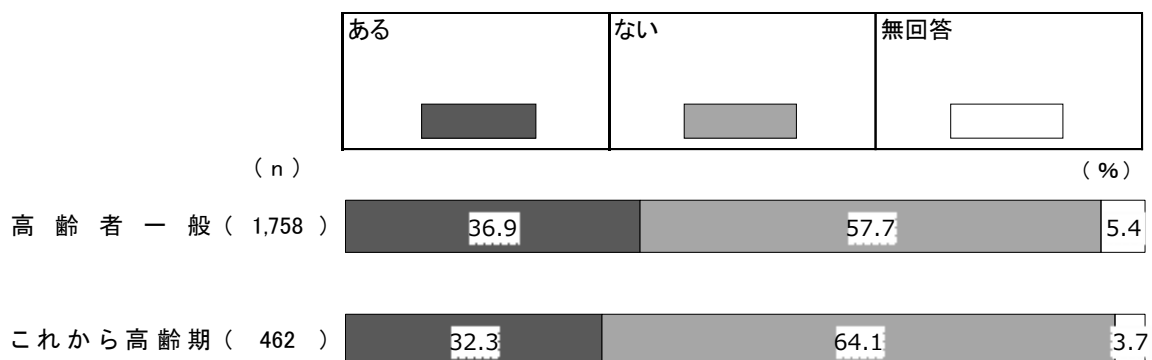


(これから高齢期)



③自宅以外で過ごす場所

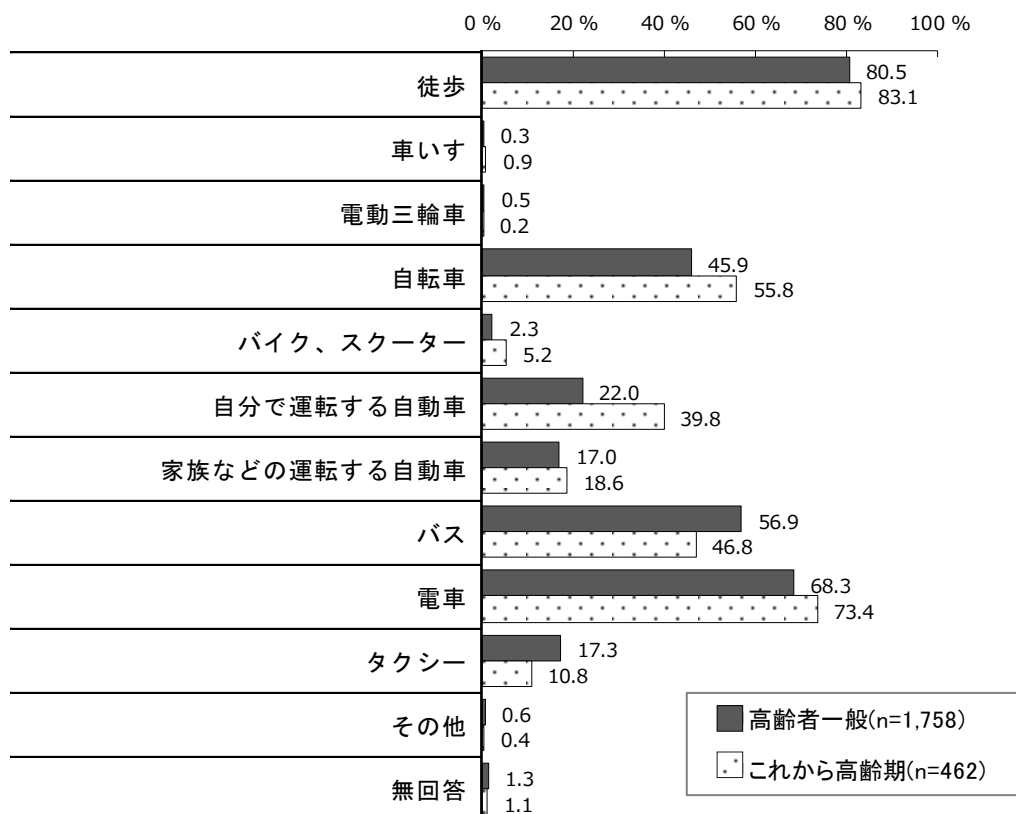
○いずれの調査でも、自宅以外で過ごす場所が「ない」が最も高く、高齢者一般では57.7%、これから高齢期では64.1%となっている。



④外出手段

○高齢者一般では、「徒歩」(80.5%)が最も高く、次いで「電車」(68.3%)の順となっている。
○これから高齢期では、「徒歩」(83.1%)が最も高く、次いで「電車」(73.4%)の順となっている。

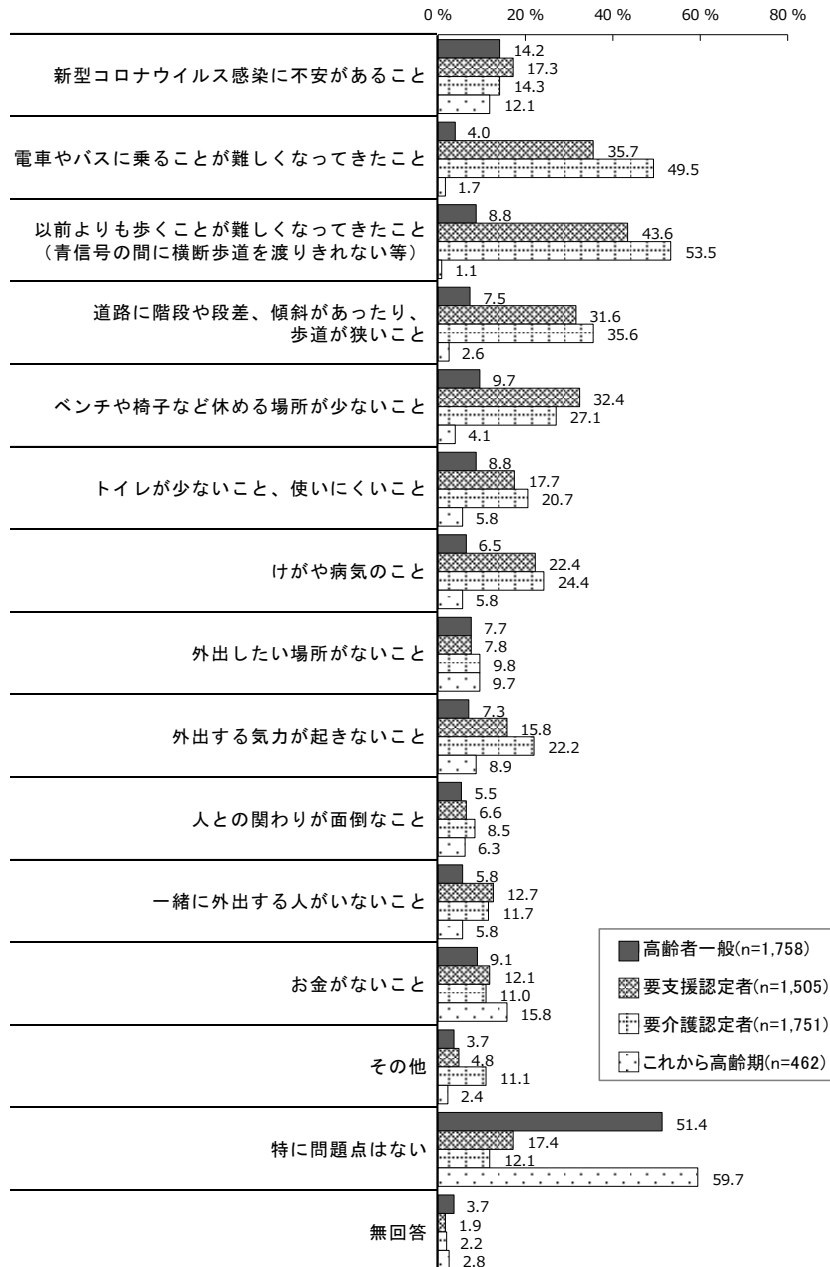
(複数回答)



⑤外出をためらってしまうような問題点

- 高齢者一般では、「特に問題点はない」(51.4%)が最も高く、次いで「新型コロナウイルス感染に不安があること」(14.2%)の順となっている。
- 要支援認定者では、「以前よりも歩くことが難しくなってきたこと(青信号の間に横断歩道を渡りきれない等)」(43.6%)が最も高く、次いで「電車やバスに乗ることが難しくなってきたこと」(35.7%)の順となっている。
- 要介護認定者では、「以前よりも歩くことが難しくなってきたこと(青信号の間に横断歩道を渡りきれない等)」(53.5%)が最も高く、次いで「電車やバスに乗ることが難しくなってきたこと」(49.5%)の順となっている。
- これから高齢期では、「特に問題点はない」(59.7%)が最も高く、次いで「お金がないこと」(15.8%)の順となっている。

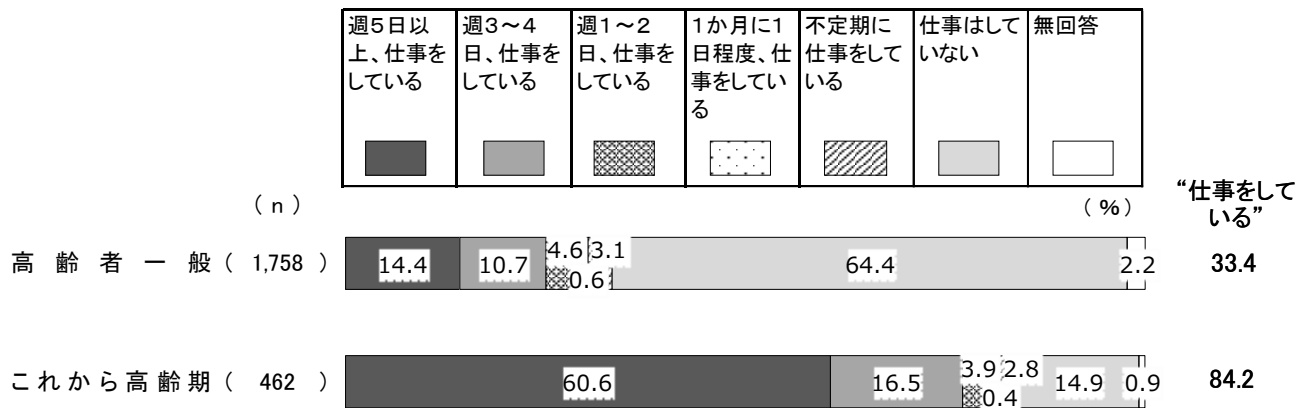
(複数回答)



(2) 就労状況

①就労状況

○ “仕事をしている”（「仕事はしていない」と無回答を除く）は、高齢者一般で33.4%、これから高齢期で84.2%となっている。



[就労状況<年代別(高齢者一般)>]

○年代別にみると、「前期高齢者」は、「仕事をしている」が53.5%で、「後期高齢者」と比べて31.9ポイント高くなっている。

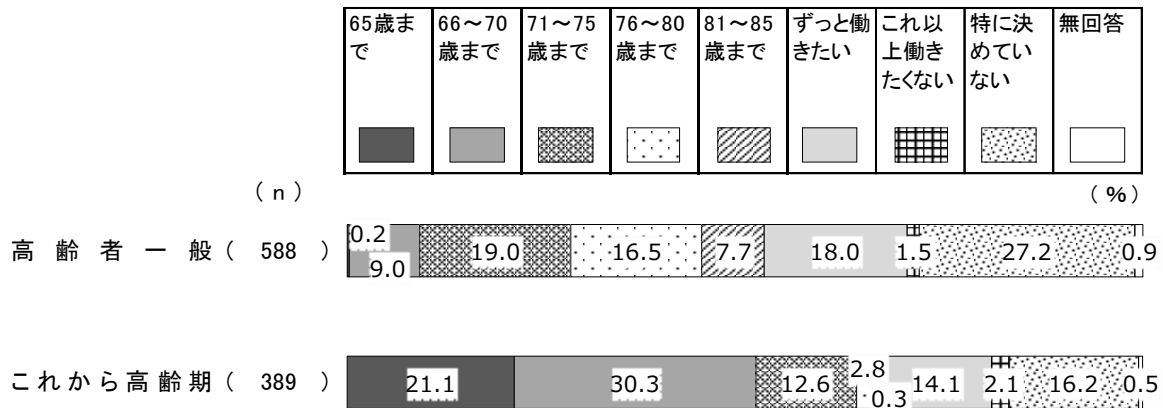
○「週5日以上、仕事をしている」は、「前期高齢者」で25.3%となっている。

	n	週5日以上、仕事をしている	週3~4日、仕事をしている	週1~2日、仕事をしている	1か月に1日程度、仕事をしている	不定期的に仕事をしている	仕事はしていない	無回答	仕事をしている
全体	1,758	14.4	10.7	4.6	0.6	3.1	64.4	2.2	33.4
前期高齢者 (65歳-74歳)	648	25.3	18.4	6.0	0.3	3.5	45.4	1.1	53.5
後期高齢者 (75歳以上)	1,064	8.1	6.2	3.8	0.8	2.7	76.4	2.0	21.6

(%)

②働き続けたい年齢

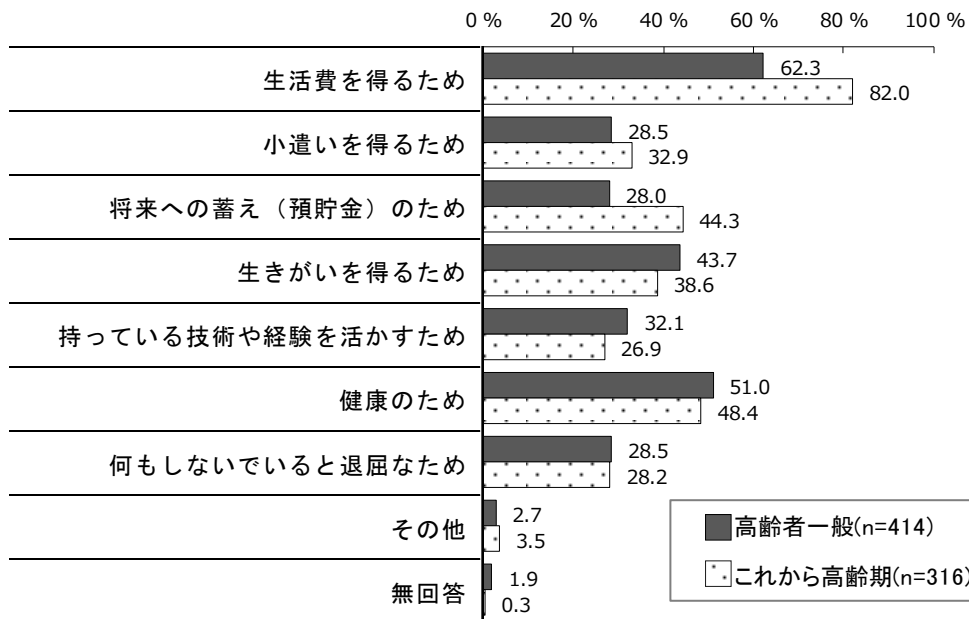
- “仕事をしている”と回答した人の働き続けたい年齢は、高齢者一般では、「特に決めていない」(27.2%)が最も高く、次いで「71～75歳まで」(19.0%)の順となっている。
- これから高齢期では、「66～70歳まで」(30.3%)が最も高く、次いで「65歳まで」(21.1%)の順となっている。



③働く理由

- “仕事をしている”と回答した人の働く理由は、高齢者一般では、「生活費を得るため」(62.3%)が最も高く、次いで「健康のため」(51.0%)の順となっている。
- これから高齢期では、「生活費を得るため」(82.0%)が最も高く、次いで「健康のため」(48.4%)の順となっている。

(複数回答)



【働く理由<経年比較(高齢者一般)>】

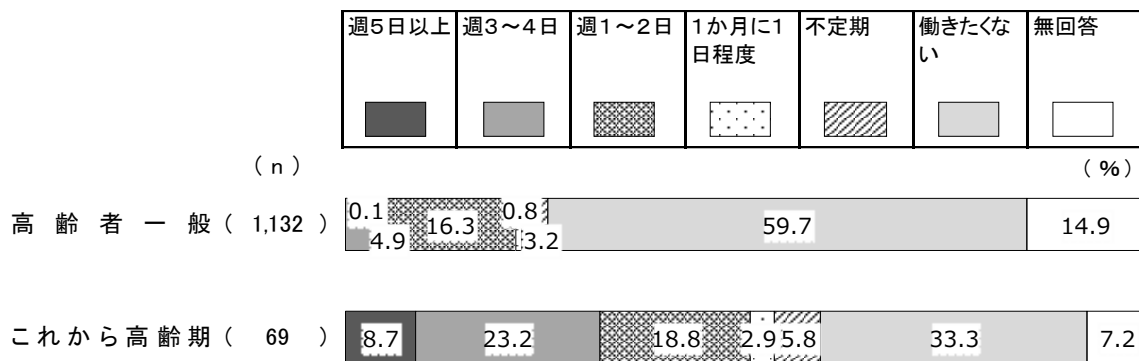
○令和4年度の調査結果と比較すると、令和7年度の調査結果は、「生活費を得るため」が12.2ポイント高くなっている。

	n	生活費を得るため	小遣いを得るため	将来への蓄え(預貯金)のため	生きがいを得るため	持っている技術や経験を活かすため	健康のため	何もしないでいると退屈なため	その他	無回答
令和7年度	414	62.3	28.5	28.0	43.7	32.1	51.0	28.5	2.7	1.9
令和4年度	515	50.1	31.3	22.9	42.1	30.7	48.3	24.1	5.0	1.7

④希望する就労の頻度

○「仕事はしていない」と回答した人の希望する就労の頻度は、高齢者一般では、「働きたくない」(59.7%)が最も高く、次いで「週1~2日」(16.3%)の順となっている。

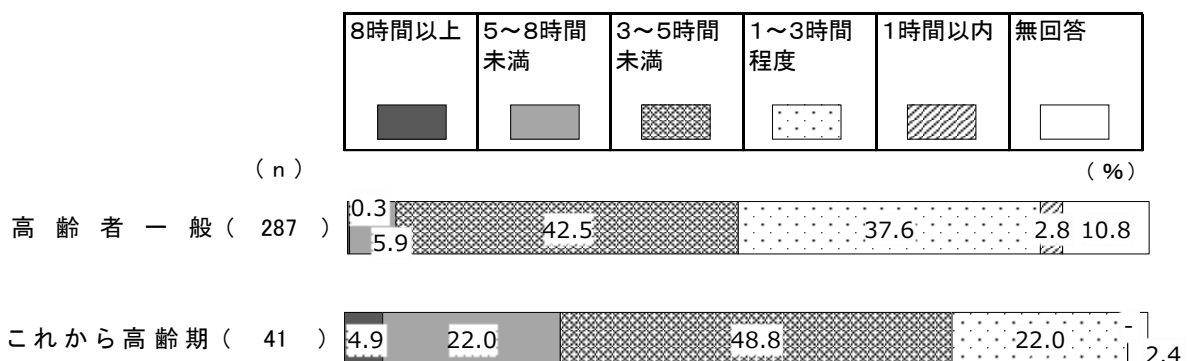
○これから高齢期では、「働きたくない」(33.3%)が最も高く、次いで「週3~4日」(23.2%)の順となっている。



⑤希望する就労時間

○現在、仕事はしていないが就労意向はあると回答した人が希望する就労時間は、高齢者一般では、「3~5時間未満」(42.5%)が最も高く、次いで「1~3時間程度」(37.6%)の順となっている。

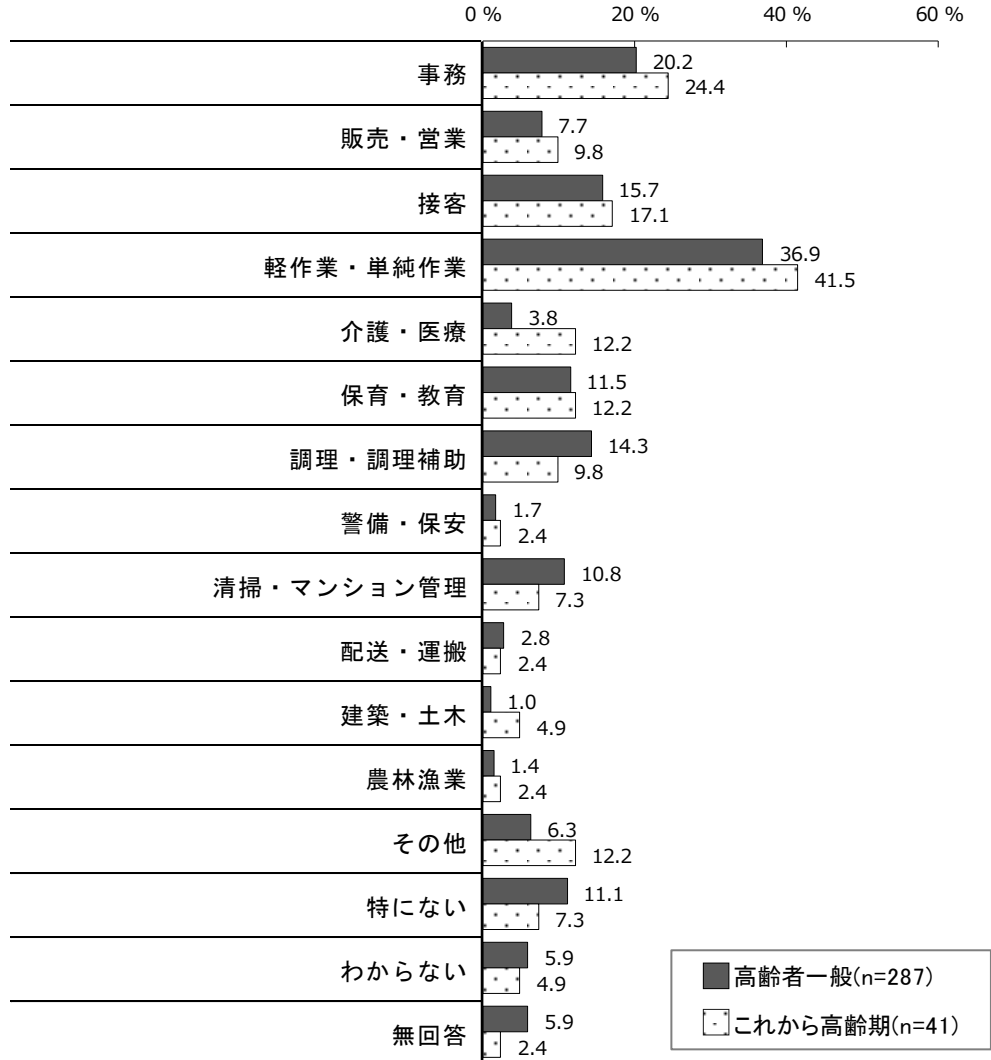
○これから高齢期では、「3~5時間未満」(48.8%)が最も高く、次いで「5~8時間未満」および「1~3時間程度」(ともに22.0%)の順となっている。



⑥希望する仕事内容

○いずれの調査でも「軽作業・単純作業」が最も高く、高齢者一般では36.9%、これから高齢期では41.5%、次いで「事務」がそれぞれ20.2%、24.4%となっている。

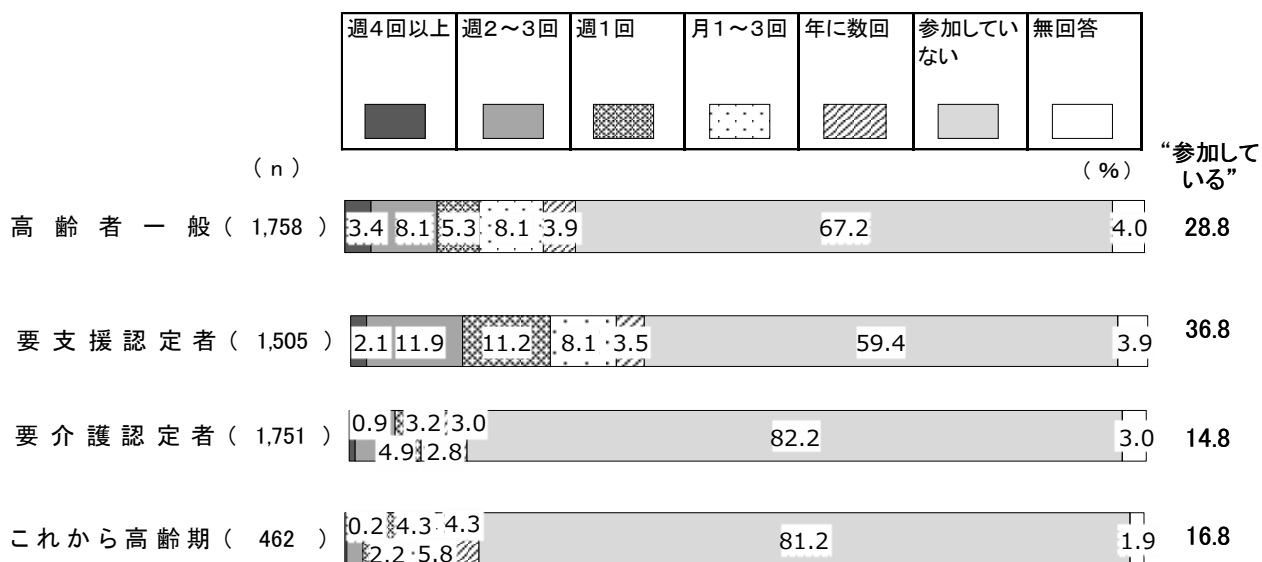
(複数回答)



(3) 地域活動への参加状況

①地域活動の参加頻度

○地域活動（ボランティアや趣味・スポーツ関係のグループ、町内会・自治会、老人クラブなどの活動）に“参加している”（「参加していない」と「無回答」を除く）と回答した人は、高齢者一般で28.8%、要支援認定者で36.8%、要介護認定者で14.8%、これから高齢期で16.8%となっている。

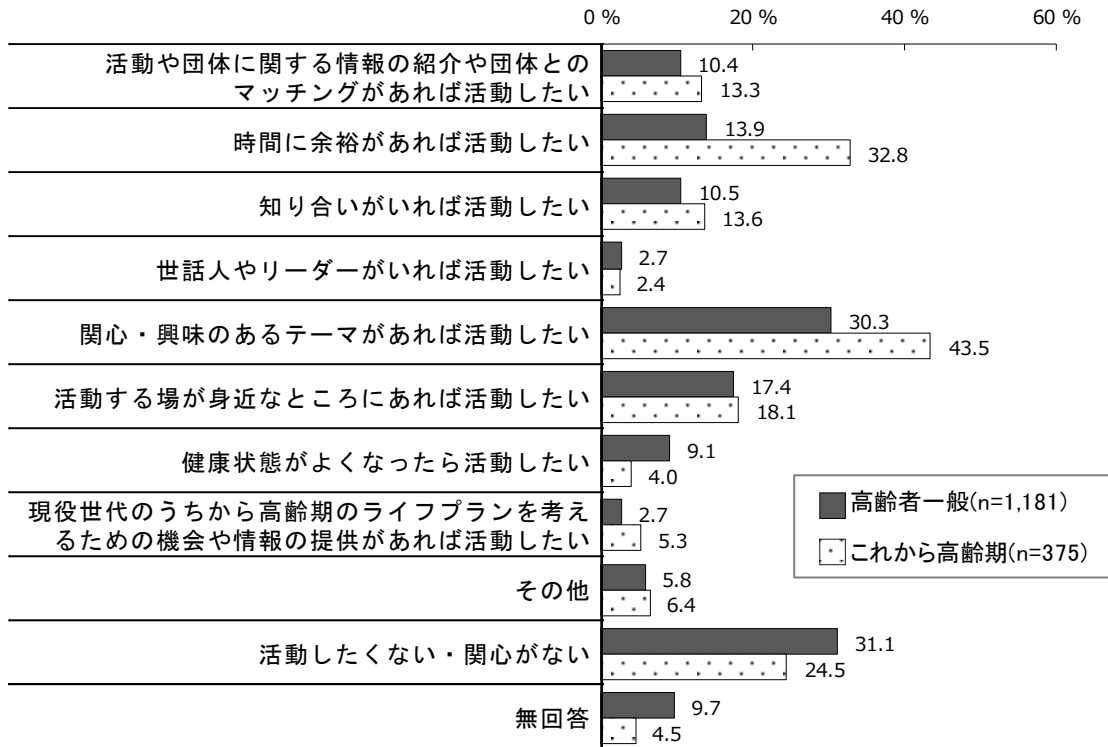


②地域活動に参加するきっかけ

○地域活動に「参加していない」と回答した人の地域活動に参加するきっかけは、高齢者一般では「活動したくない・関心がない」(31.1%)が最も高く、次いで「関心・興味のあるテーマがあれば活動したい」(30.3%)の順となっている。

○これから高齢期では、「関心・興味のあるテーマがあれば活動したい」(43.5%)が最も高く、次いで「時間に余裕があれば活動したい」(32.8%)の順となっている。

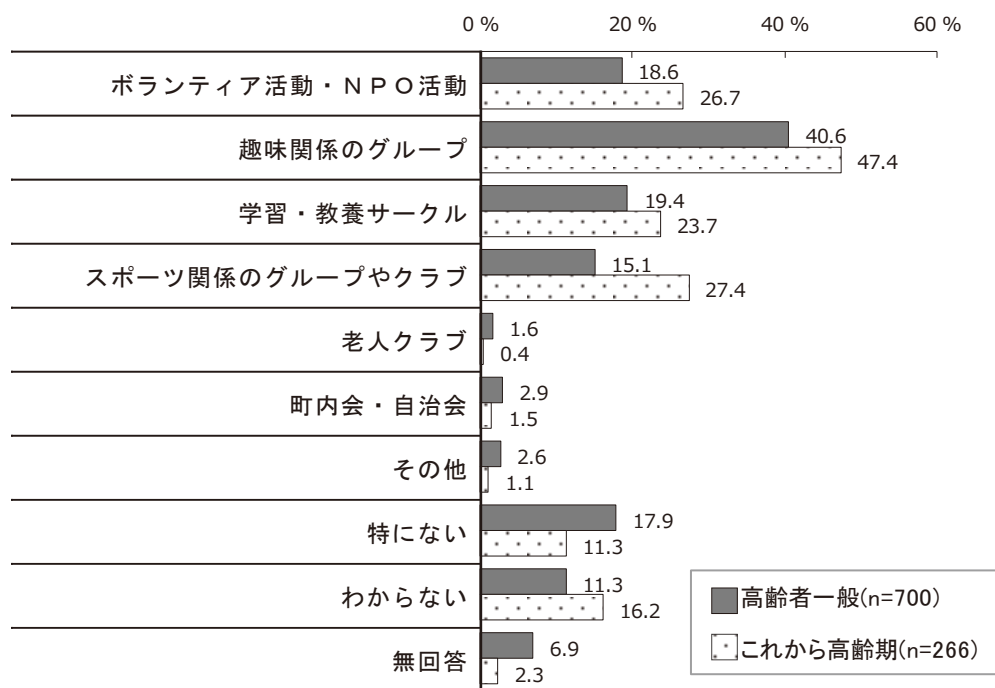
(複数回答)



③活動してみたい地域活動の分野

○地域活動に参加するきっかけがあれば活動したいと回答した人の活動してみたい活動分野は、いずれの調査でも「趣味関係のグループ」が最も高く、高齢者一般で40.6%、これから高齢期で47.4%となっている。

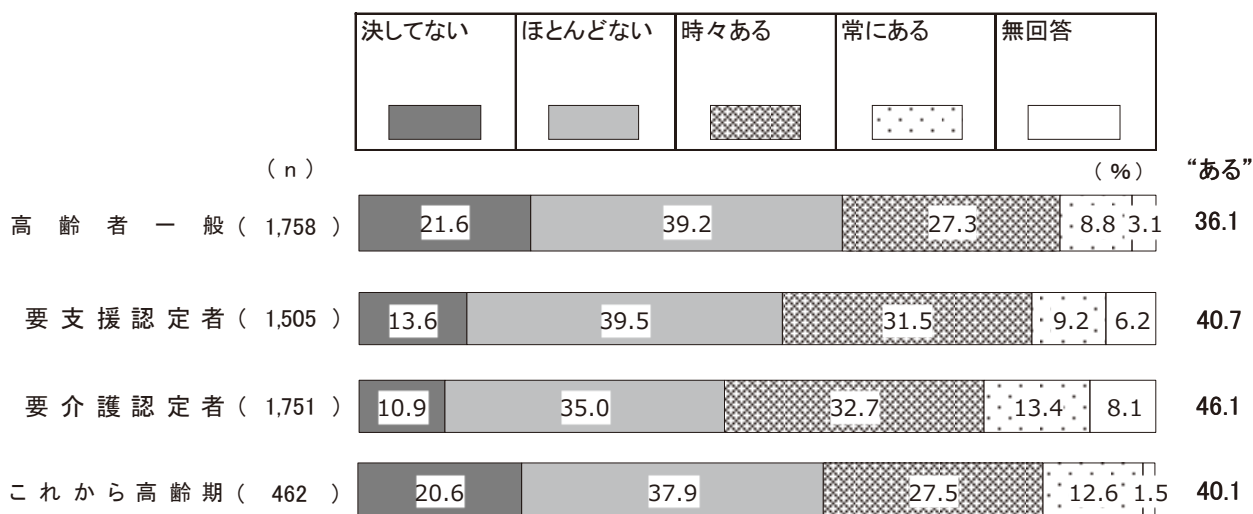
(複数回答)



(4) 孤立感

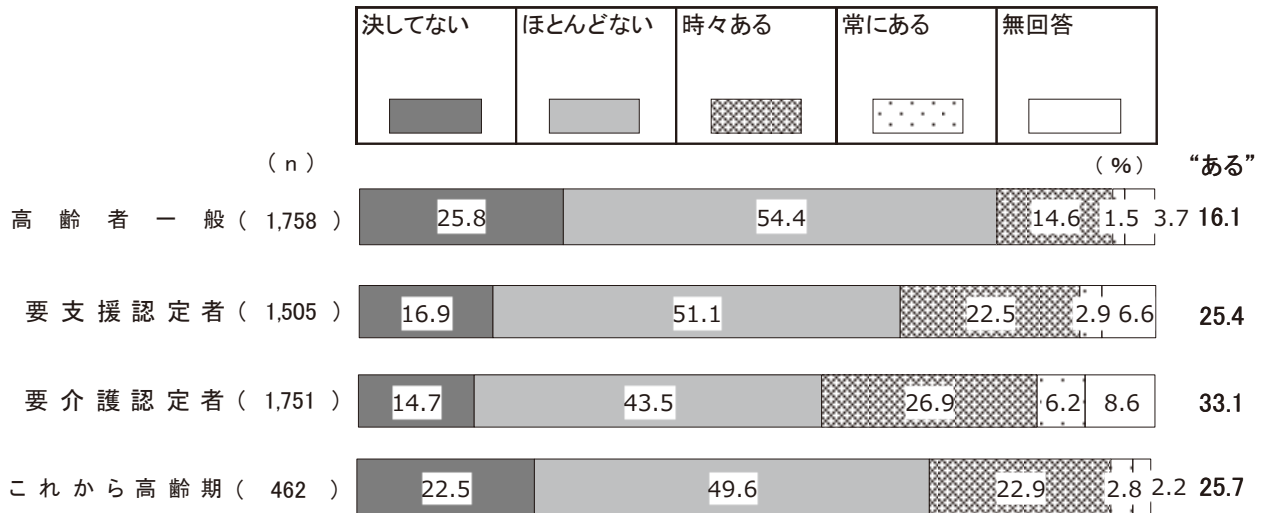
①人との付き合いがないと感じる頻度

○人との付き合いがないと感じることが“ある”（「常にある」と「時々ある」の合計）は、高齢者一般で36.1%、要支援認定者で40.7%、要介護認定者で46.1%、これから高齢期で40.1%となっている。



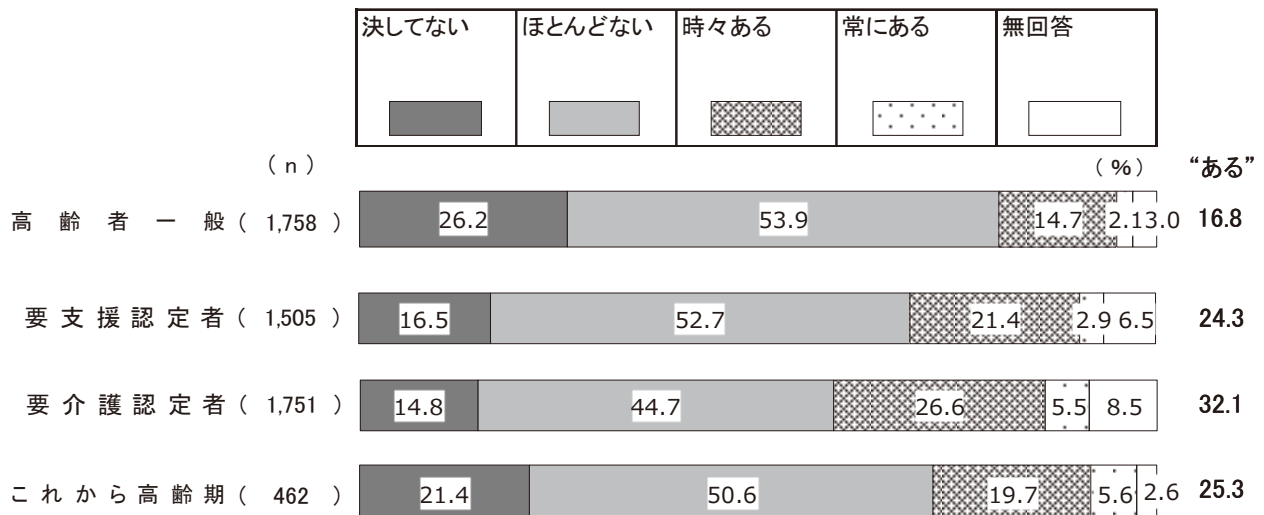
②取り残されていると感じる頻度

○取り残されていると感じることが“ある”（「常にある」と「時々ある」の合計）は、高齢者一般で16.1%、要支援認定者で25.4%、要介護認定者で33.1%、これから高齢期で25.7%となっている。



③他の人たちから孤立していると感じる頻度

○他の人たちから孤立していると感じることが“ある”（「常にある」と「時々ある」の合計）は、高齢者一般で16.8%、要支援認定者で24.3%、要介護認定者で32.1%、これから高齢期で25.3%となっている。



[孤立感<経年比較(高齢者一般)>]

○令和4年度の調査結果と比較すると、大きな違いはみられない。

①人との付き合いがないと感じる頻度 (%)

	n	決してない	ほとんどない	時々ある	常にある	無回答	ある
令和7年度	1,758	21.6	39.2	27.3	8.8	3.1	36.1
令和4年度	1,516	21.4	38.9	26.0	10.2	3.5	36.1

②取り残されていると感じる頻度 (%)

	n	決してない	ほとんどない	時々ある	常にある	無回答	ある
令和7年度	1,758	25.8	54.4	14.6	1.5	3.7	16.1
令和4年度	1,516	24.9	54.6	15.4	1.8	3.4	17.2

③他の人たちから孤立していると感じる頻度 (%)

	n	決してない	ほとんどない	時々ある	常にある	無回答	ある
令和7年度	1,758	26.2	53.9	14.7	2.1	3.0	16.8
令和4年度	1,516	25.1	54.2	15.1	2.2	3.3	17.3

[孤立感<世帯構成別(高齢者一般)>]

○世帯構成別にみると、「1人暮らし」は、“ある”が20.5%で他の世帯構成と比べて高くなっている。

③他の人たちから孤立していると感じる頻度 (%)

	n	決してない	ほとんどない	時々ある	常にある	無回答	ある
全体	1,758	26.2	53.9	14.7	2.1	3.0	16.8
1人暮らし	593	24.1	52.8	17.0	3.5	2.5	20.5
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	423	27.2	56.5	13.7	1.9	0.7	15.6
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	104	26.9	53.8	10.6	1.9	6.7	12.5
子との2世帯	334	26.6	59.0	9.6	1.2	3.6	10.8
その他	246	28.5	48.0	17.9	0.8	4.9	18.7

[孤立感<外出に対する積極性別(高齢者一般)>]

○外出に対する積極性別にみると、「自宅に閉じこもりがちである」は“ある”が56.1%で、「積極的に外出している」(9.5%)と比べて46.6ポイント高くなっている。

③他の人たちから孤立していると感じる頻度 (%)

	n	決してない	ほとんどない	時々ある	常にある	無回答	ある
全体	1,758	26.2	53.9	14.7	2.1	3.0	16.8
積極的に外出している	754	36.1	52.3	8.8	0.7	2.3	9.5
なるべく外出するようにしている	631	17.7	58.6	18.7	2.1	2.9	20.8
どちらともいえない	154	15.6	57.8	22.7	1.9	1.9	24.6
あまり外出しようとしていない	98	22.4	46.9	20.4	4.1	6.1	24.5
自宅に閉じこもりがちである	41	9.8	34.1	34.1	22.0	-	56.1

[孤立感<日常生活で困った場合の相談先の有無別(高齢者一般)>]

○日常生活で困った場合の相談先の有無別にみると、「相談先はない」は、“ある”が33.3%で、「相談先がある」(15.9%)と比べて17.4ポイント高くなっている。

③他の人たちから孤立していると感じる頻度

(%)

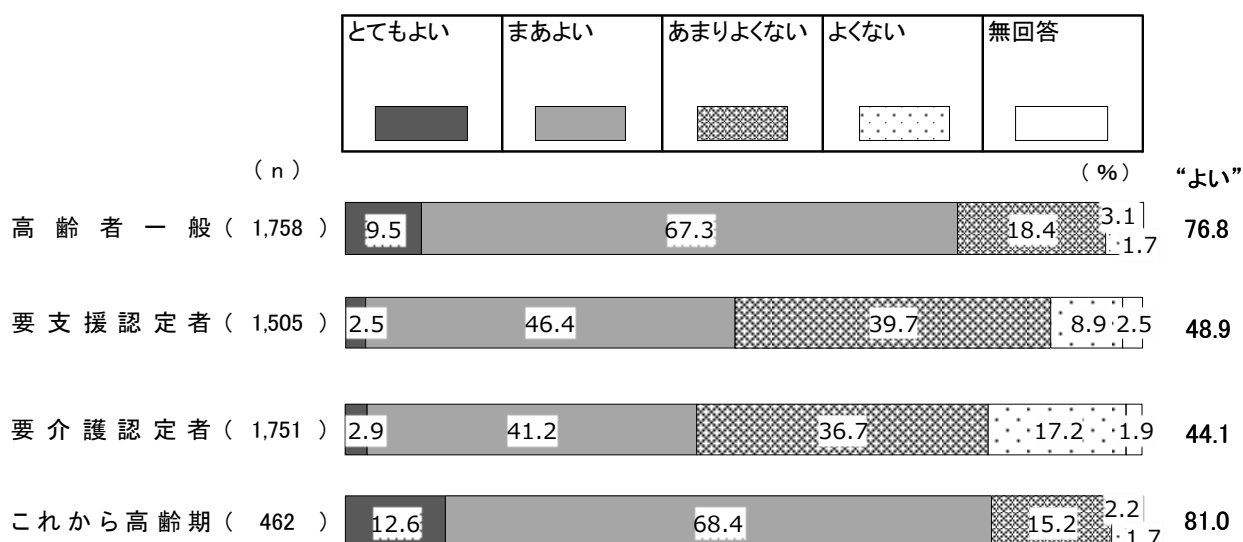
	n	決してない	ほとんどない	時々ある	常にある	無回答	ある
全体	1,758	26.2	53.9	14.7	2.1	3.0	16.8
相談先がある	1,567	27.2	54.6	14.1	1.8	2.2	15.9
相談先はない	84	16.7	48.8	25.0	8.3	1.2	33.3

4. 健康・介護予防・フレイル予防

(1) 健康

①健康状態

○“よい”（「とてもよい」と「まあよい」の合計）は、高齢者一般で76.8%、要支援認定者で48.9%、要介護認定者で44.1%、これから高齢期で81.0%となっている。



[健康状態<介護予防・フレイル予防の取組状況別(高齢者一般)>]

○介護予防・フレイル予防の取組状況別にみると、「取り組んでいる」は、“よい”が79.6%で、「何もしていない」(65.3%)と比べて高くなっている。

	n	とてもよい (%)	まあよい (%)	あまりよくない (%)	よくない (%)	無回答 (%)	よい (%)
全体	1,758	9.5	67.3	18.4	3.1	1.7	76.8
取り組んでいる	1,323	10.4	69.2	16.5	2.7	1.3	79.6
何もしていない	225	6.2	59.1	27.1	5.8	1.8	65.3

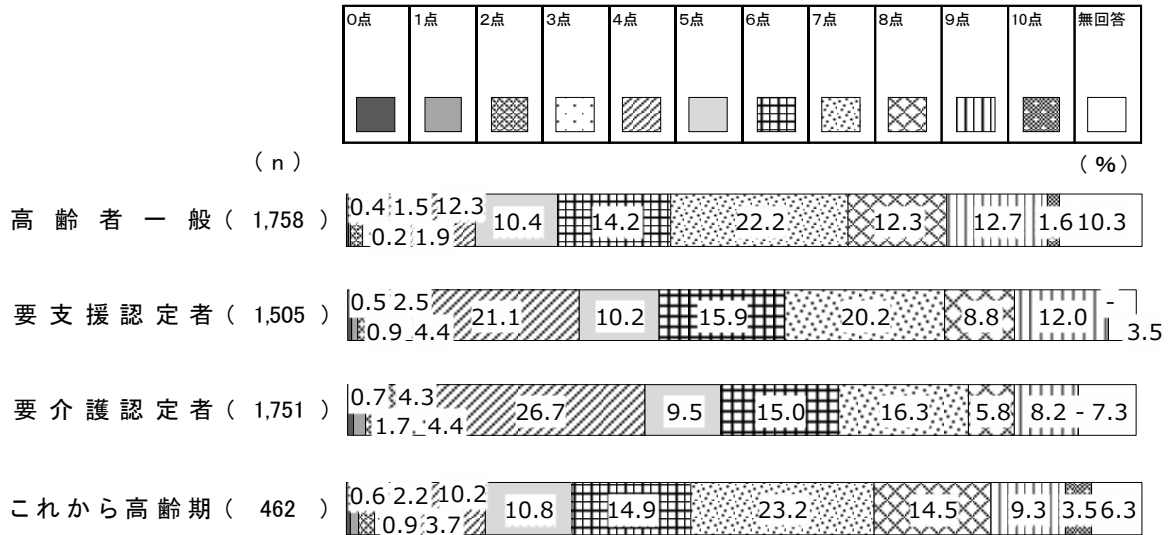
[健康状態<地域活動の参加頻度別(要支援認定者、要介護認定者)>]

○地域活動の参加頻度別にみると、いずれの調査でも「参加している」は、“よい”が「参加していない」と比べて高くなっている。

	n	とてもよい (%)	まあよい (%)	あまりよくない (%)	よくない (%)	無回答 (%)	よい (%)
要支援認定者	1,505	2.5	46.4	39.7	8.9	2.5	48.9
参加している	553	2.9	52.1	38.0	6.1	0.9	55.0
参加していない	894	2.0	44.3	42.1	10.3	1.3	46.3
要介護認定者	1,751	2.9	41.2	36.7	17.2	1.9	44.1
参加している	259	3.5	49.8	37.5	8.1	1.2	53.3
参加していない	1440	2.9	40.1	36.7	19.1	1.1	43.0

②幸福度

- 高齢者一般、これから高齢期では「7点」が最も高く、それぞれ22.2%、23.2%となっている。平均点は、それぞれ6.5点、6.4点となっている。
- 要支援認定者、要介護認定者では「4点」が最も高く、それぞれ21.1%、26.7%となっている。平均点は、それぞれ5.9点、5.4点となっている。



	〈平均点〉
高齢者一般	6.5
要支援認定者	5.9
要介護認定者	5.4
これから高齢期	6.4

[幸福度<経年比較(高齢者一般)>]

- 令和4年度の調査結果と比較すると、平均点が0.7ポイント低くなっており、また「10点」が12.4ポイント低くなっている。

	n	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	平均
令和7年度	1,758	0.4	0.2	1.5	1.9	12.3	10.4	14.2	22.2	12.3	12.7	1.6	10.3	6.5
令和4年度	1,516	0.7	0.4	0.9	2.2	2.4	15.5	8.8	16.6	23.5	10.6	14.0	4.3	7.2

[幸福度<暮らし向きを感じ方別(高齢者一般)>]

- 暮らし向きを感じ方別にみると、暮らし向きに“ゆとりがある”と幸福度が高くなっている。

	n	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	平均
全体	1,758	0.4	0.2	1.5	1.9	12.3	10.4	14.2	22.2	12.3	12.7	1.6	10.3	6.5
苦しい	522	0.8	0.4	4.6	4.0	18.8	12.6	14.0	18.0	7.5	6.7	0.8	11.9	5.6
ふつう	931	0.3	0.2	0.2	1.1	11.2	10.6	15.4	24.5	14.0	12.8	1.3	8.5	6.6
ゆとりがある	224	-	-	0.4	0.4	2.7	5.4	11.2	25.0	18.3	24.6	5.4	6.7	7.5

[幸福度<健康状態別(高齢者一般)>]

○健康状態別にみると、健康状態が“よい”と幸福度が高くなっている。

	n	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	平均
全体	1,758	0.4	0.2	1.5	1.9	12.3	10.4	14.2	22.2	12.3	12.7	1.6	10.3	6.5
よい	1,350	0.3	0.2	0.7	1.4	10.1	8.7	14.6	24.4	13.6	15.0	1.9	8.9	6.7
よくない	378	0.8	0.3	4.0	3.7	20.1	16.4	13.2	14.6	7.9	4.8	0.5	13.8	5.5

[幸福度<外出に対する積極性別(高齢者一般)>]

○外出に対する積極性別にみると、外出に対する積極性が高いと幸福度が高くなっている。

	n	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	平均
全体	1,758	0.4	0.2	1.5	1.9	12.3	10.4	14.2	22.2	12.3	12.7	1.6	10.3	6.5
外出している	1,385	0.1	0.2	1.2	1.6	11.2	9.6	14.4	23.8	13.7	13.4	1.9	8.8	6.6
どちらともいえない	154	1.3	-	1.3	0.6	18.2	14.3	16.9	20.8	7.8	7.1	-	11.7	5.9
閉じこもりがち	139	1.4	0.7	6.5	6.5	15.8	18.0	11.5	11.5	7.2	9.4	0.7	10.8	5.4

[幸福度<介護予防・フレイル予防の取組状況別(高齢者一般)>]

○介護予防・フレイル予防の取組状況別にみると、介護予防・フレイル予防に“取り組んでいる”と幸福度が高くなっている。

	n	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	平均
全体	1,758	0.4	0.2	1.5	1.9	12.3	10.4	14.2	22.2	12.3	12.7	1.6	10.3	6.5
取り組んでいる	1,323	0.2	0.3	1.1	1.4	11.6	10.3	15.9	25.4	14.5	15.4	1.9	2.0	6.6
何もしていない	225	1.8	-	4.4	5.8	23.1	18.2	12.9	16.9	8.0	4.9	1.3	2.7	5.4

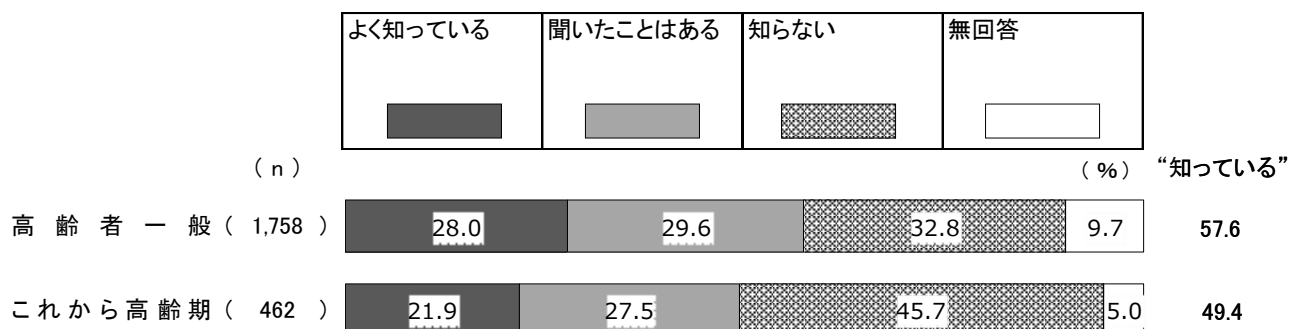
[幸福度<健康状態別(要支援認定者、要介護認定者)>]

○健康状態別にみると、要支援認定者、要介護認定者ともに、健康状態が“よい”と幸福度が高くなっている。

	n	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	平均
要支援認定者	1,505	0.5	0.9	2.5	4.4	21.1	10.2	15.9	20.2	8.8	12.0	-	3.5	5.9
よい	736	0.1	0.1	0.4	1.8	14.5	9.0	16.3	24.5	11.5	20.0	-	1.8	6.6
よくない	732	0.8	1.6	4.8	7.2	28.4	11.9	15.4	16.5	6.3	4.5	-	2.5	5.2
要介護認定者	1,751	0.7	1.7	4.3	4.4	26.7	9.5	15.0	16.3	5.8	8.2	-	7.3	5.4
よい	773	0.1	0.6	1.3	3.2	20.8	7.9	17.7	23.2	7.6	13.3	-	4.1	6.1
よくない	944	1.3	2.6	7.0	5.4	32.4	10.9	13.0	11.3	4.4	4.2	-	7.3	4.8

(2) フレイルの認知度

○“知っている”(「よく知っている」と「聞いたことはある」の合計)は、高齢者一般で57.6%、これから高齢期で49.4%となっている。

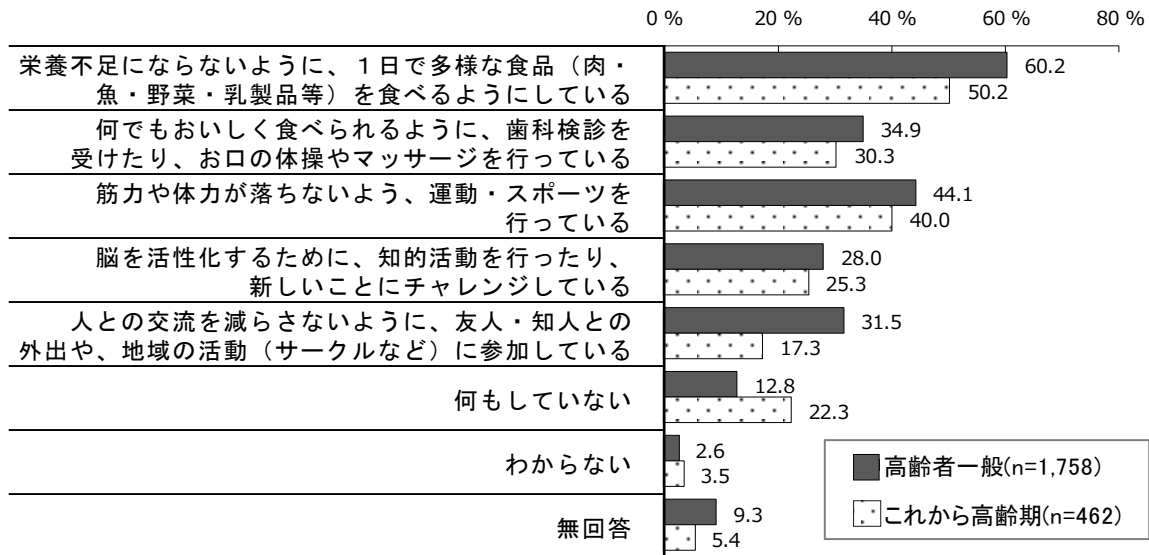


(3) 介護予防・フレイル予防

①介護予防・フレイル予防の取組状況

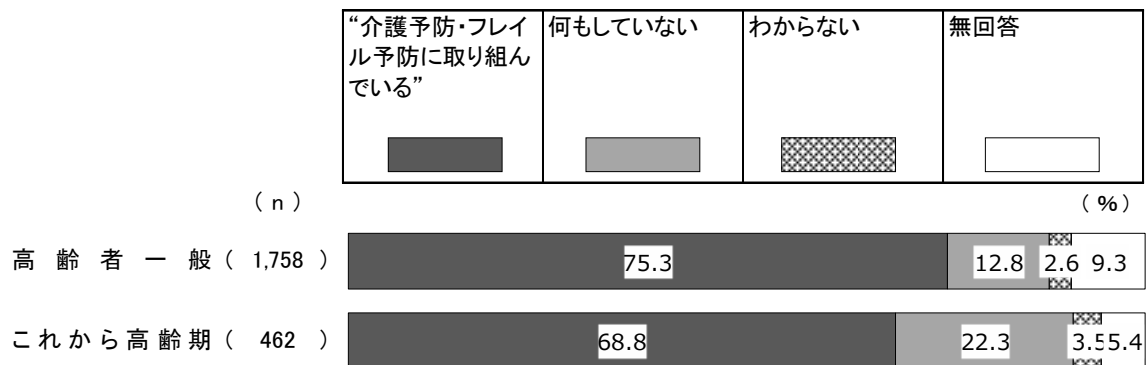
○いずれの調査でも「栄養不足にならないように、1日で多様な食品（肉・魚・野菜・乳製品等）を食べるようにしている」が最も高く、高齢者一般で60.2%、これから高齢期で50.2%となっている。

(複数回答)



[介護予防・フレイル予防の取組状況]

○いずれの調査でも“介護予防・フレイル予防に取り組んでいる”（「何もしていない」、「わからない」および「無回答」を除く）が最も高く、高齢者一般で75.3%、これから高齢期で68.8%となっている。



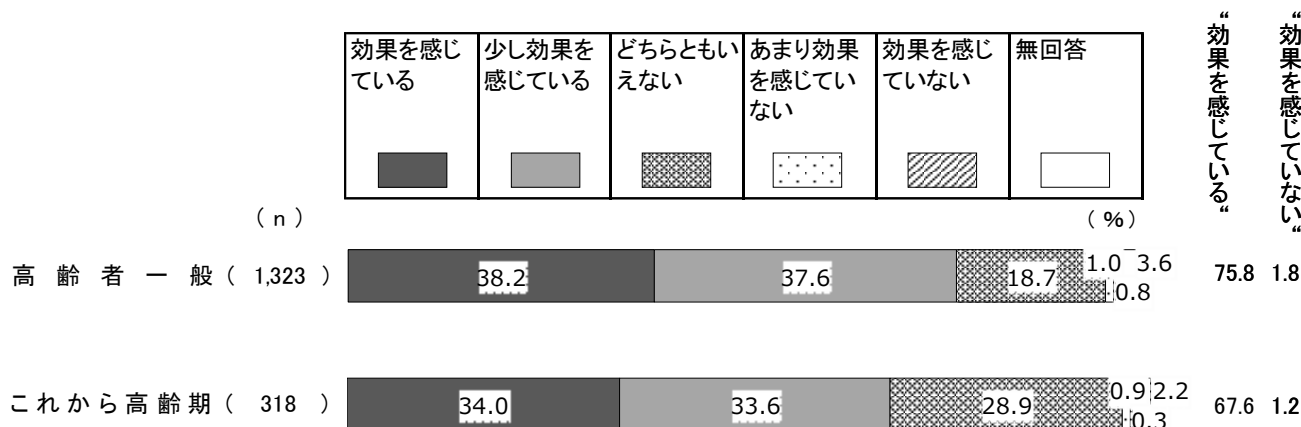
[介護予防・フレイル予防の取組状況<性・年代別(高齢者一般)>]

○性・年代別にみると、「前期高齢者」および「後期高齢者」とともに、“介護予防・フレイル予防に取り組んでいる”は、「女性」が「男性」と比べて高くなっている。

	n	栄養不足にならないように、1日で多様な食品(肉・魚・野菜・乳製品等)を食べるようにしている	何でもおいしく食べられるように、歯科検診を受けたり、お口の体操やマッサージを行っている	筋力や体力が落ちないように、運動・スポーツを行っている	脳を活性化するために、知的活動を行ったり、新しいことにチャレンジしている	人との交流を減らさないように、友人・知人との外出や、地域の活動(サークルなど)に参加している	何もしていない	わからない	無回答	介護予防・フレイル予防に取り組んでいる
全体	1,758	60.2	34.9	44.1	28.0	31.5	12.8	2.6	9.3	75.3
男性・前期高齢者(65歳-74歳)	294	47.3	25.2	43.5	28.2	19.0	20.7	6.1	6.8	66.3
男性・後期高齢者(75歳以上)	392	51.0	25.8	41.8	24.7	23.2	19.6	1.8	9.2	69.4
女性・前期高齢者(65歳-74歳)	352	67.3	42.6	50.6	32.4	40.6	10.2	1.4	8.0	80.4
女性・後期高齢者(75歳以上)	666	67.4	41.3	42.8	28.4	36.9	7.4	2.4	10.1	80.2

②介護予防・フレイル予防の主観的な効果

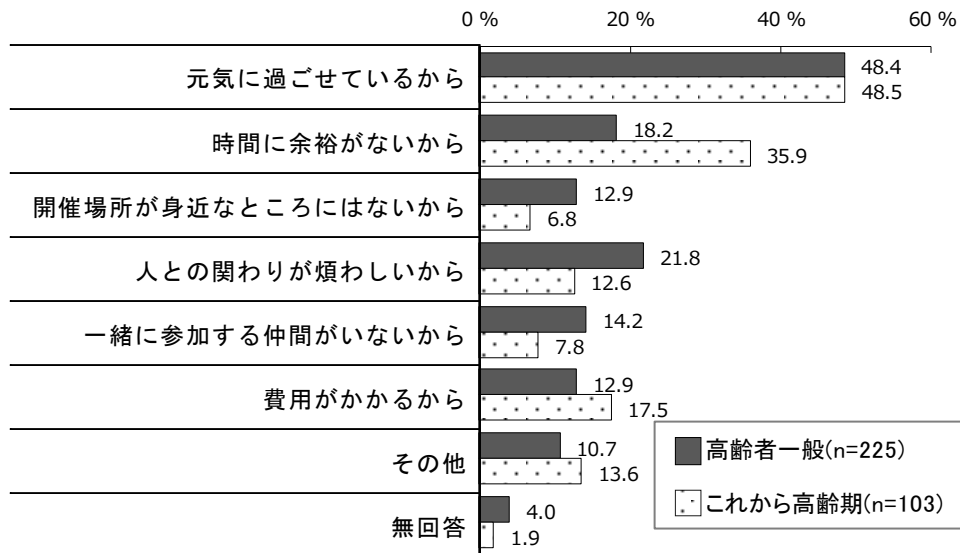
○“介護予防・フレイル予防に取り組んでいる”と回答した人の取組に対する主観的な効果は、“効果を感じている”(「効果を感じている」と「少し効果を感じている」の合計)が、高齢者一般で75.8%、これから高齢期で67.6%となっている。



③介護予防・フレイル予防に取り組んでいない理由

○介護予防・フレイル予防につながる取組を「何もしていない」と回答した人の取り組んでいない理由は、いずれの調査でも「元気に過ごせているから」が最も高く、高齢者一般が48.4%、これから高齢期が48.5%となっている。

(複数回答)



[介護予防・フレイル予防に取り組んでいない理由<性・年代別(高齢者一般)>]

- 性・年代別にみると、「前期高齢者」および「後期高齢者」ともに男性は「元気に過ごせているから」が女性と比べて高くなっている。
- 「女性・前期高齢者」は、「時間に余裕がないから」および「費用がかかるから」が他と比べて高くなっている。

	n	元気に過ごせているから	時間に余裕がないから	開催場所が身近なところにはないから	人との関わりが煩わしいから	一緒に参加する仲間がいないから	費用がかかるから	その他	無回答
全体	225	48.4	18.2	12.9	21.8	14.2	12.9	10.7	4.0
男性・前期高齢者 (65歳-74歳)	61	55.7	21.3	3.3	19.7	8.2	18.0	11.5	4.9
男性・後期高齢者 (75歳以上)	77	51.9	14.3	11.7	19.5	18.2	7.8	9.1	6.5
女性・前期高齢者 (65歳-74歳)	36	30.6	36.1	19.4	30.6	19.4	25.0	11.1	2.8
女性・後期高齢者 (75歳以上)	49	44.9	8.2	22.4	22.4	12.2	6.1	12.2	-

5. 介護保険

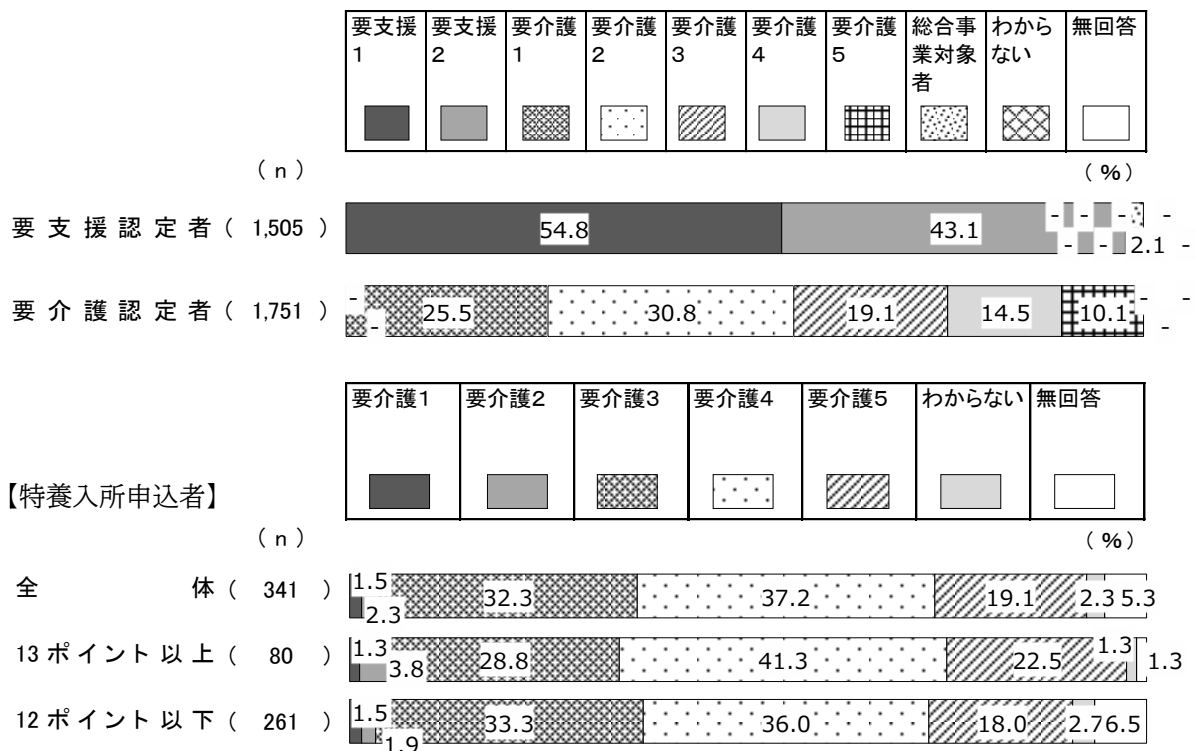
(1) 要介護認定の状況

①要介護度

○要支援認定者では、「要支援1」(54.8%)が最も高く、次いで「要支援2」(43.1%)の順となっている。

○要介護認定者では、「要介護2」(30.8%)が最も高く、次いで「要介護1」(25.5%)の順となっている。

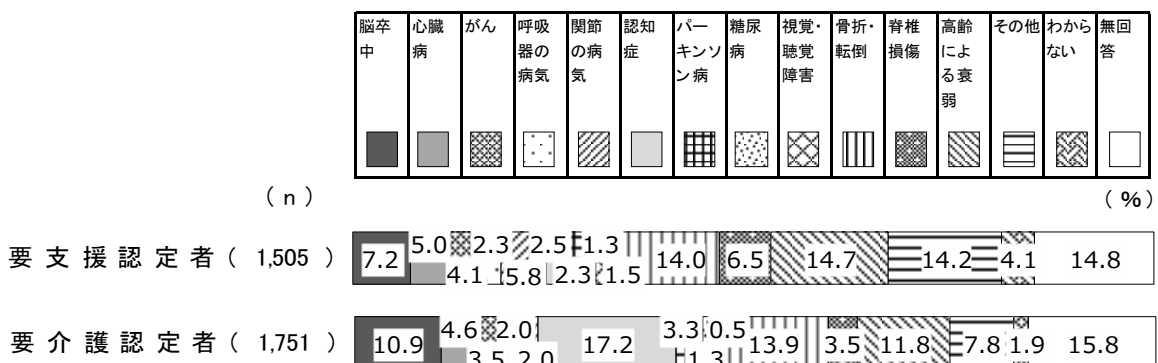
○特養入所申込者では、「要介護4」(37.2%)が最も高く、次いで「要介護3」(32.3%)の順となっている。



②要介護認定を申請した主な原因

○要支援認定者では、「高齢による衰弱」(14.7%)が最も高く、次いで「骨折・転倒」(14.0%)の順となっている。

○要介護認定者では、「認知症」(17.2%)が最も高く、次いで「骨折・転倒」(13.9%)の順となっている。



(2) 介護保険サービス

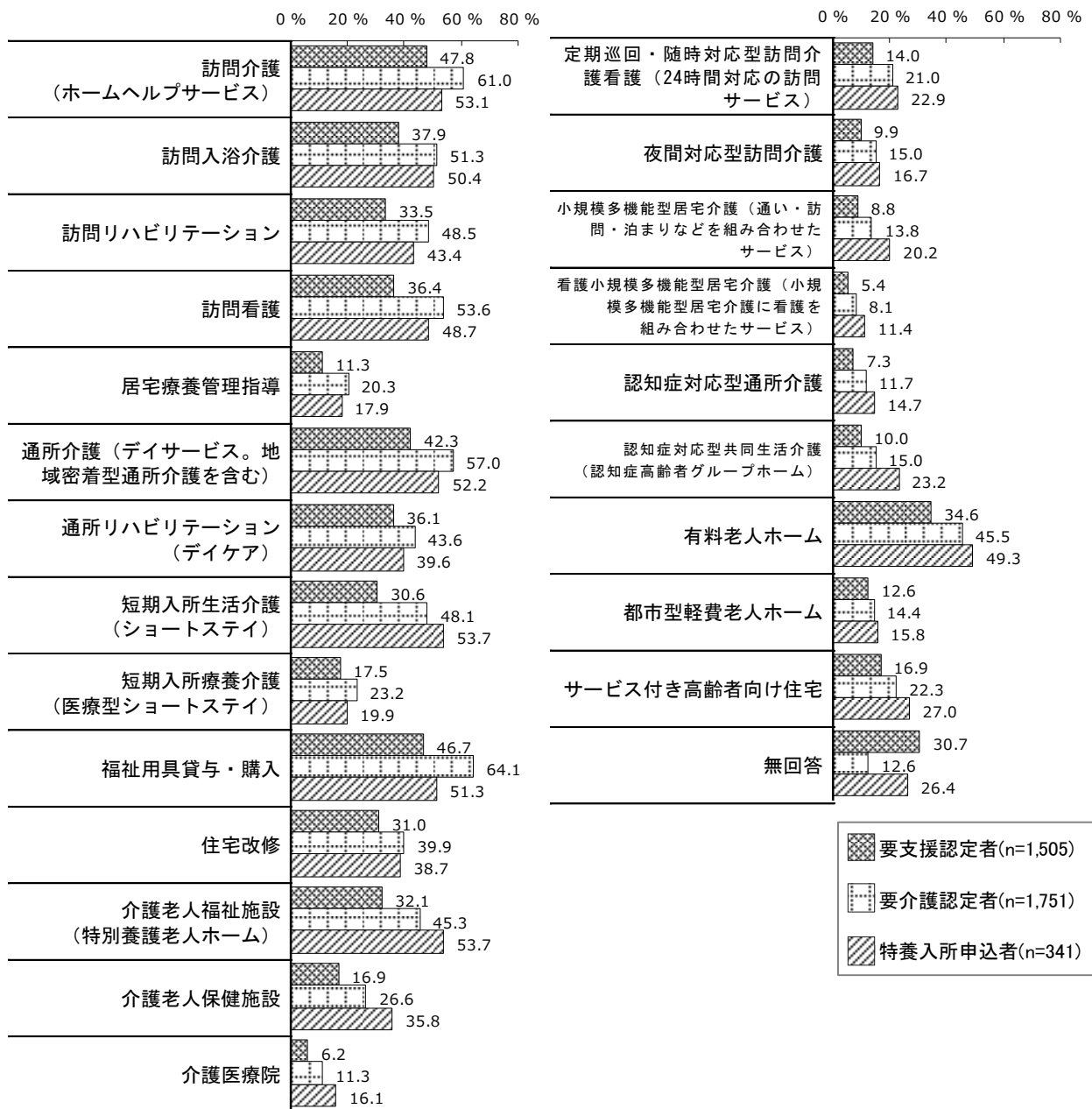
①介護保険サービスの認知度

○要支援認定者では、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」(47.8%)が最も高く、次いで「福祉用具貸与・購入」(46.7%)の順となっている。

○要介護認定者では、「福祉用具貸与・購入」(64.1%)が最も高く、次いで「訪問介護（ホームヘルプサービス）」(61.0%)の順となっている。

○特養入所申込者では、「短期入所生活介護（ショートステイ）」および「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」(ともに53.7%)が最も高く、次いで「訪問介護（ホームヘルプサービス）」(53.1%)の順となっている。

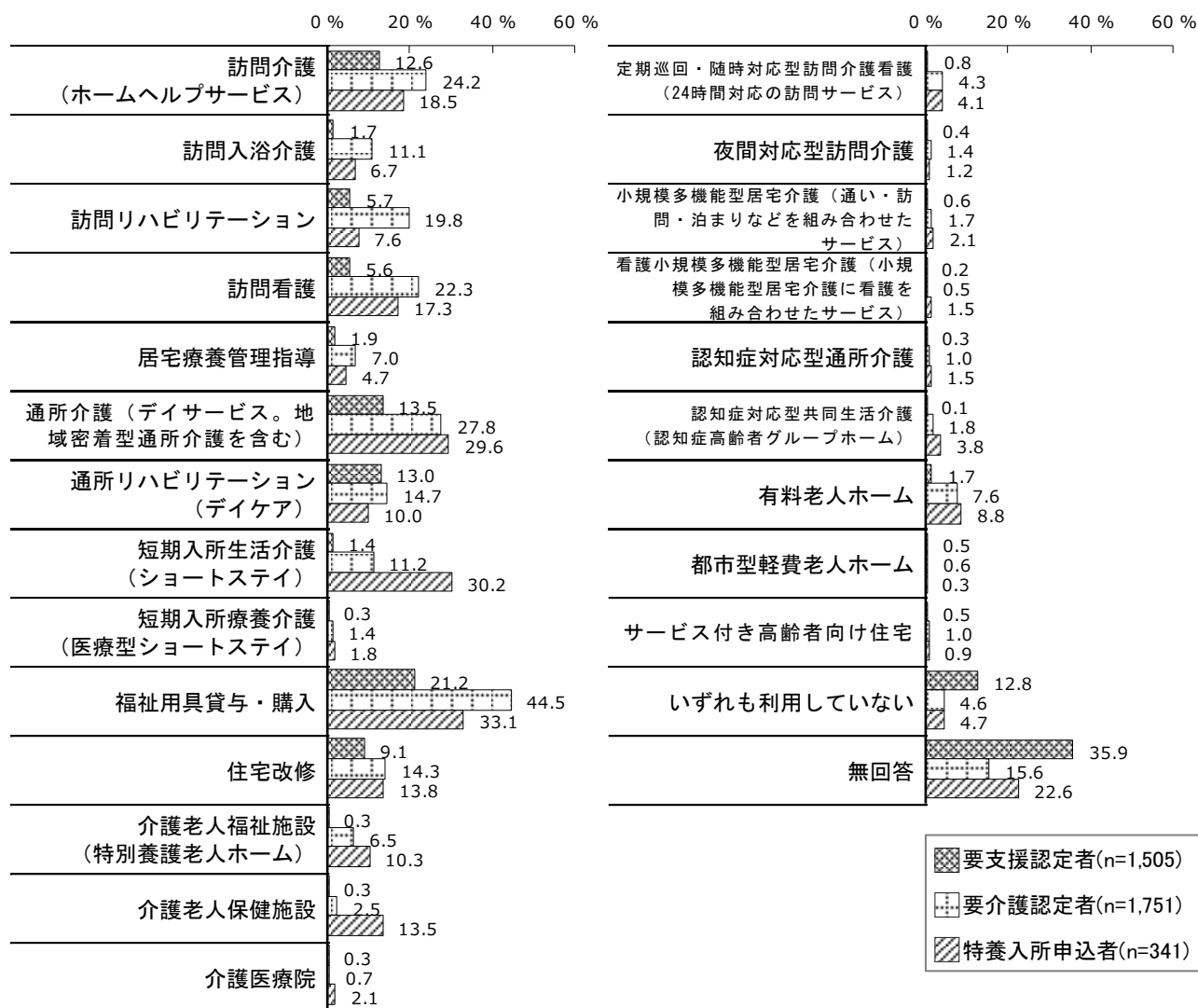
(複数回答)



②介護保険サービスの利用状況

- 要支援認定者では、「福祉用具貸与・購入」(21.2%)が最も高く、次いで「通所介護(デイサービス。地域密着型通所介護を含む)」(13.5%)の順となっている。
- 要介護認定者では、「福祉用具貸与・購入」(44.5%)が最も高く、次いで「通所介護(デイサービス。地域密着型通所介護を含む)」(27.8%)の順となっている。
- 特養入所申込者では、「福祉用具貸与・購入」(33.1%)が最も高く、次いで「短期入所生活介護(ショートステイ)」(30.2%)の順となっている。

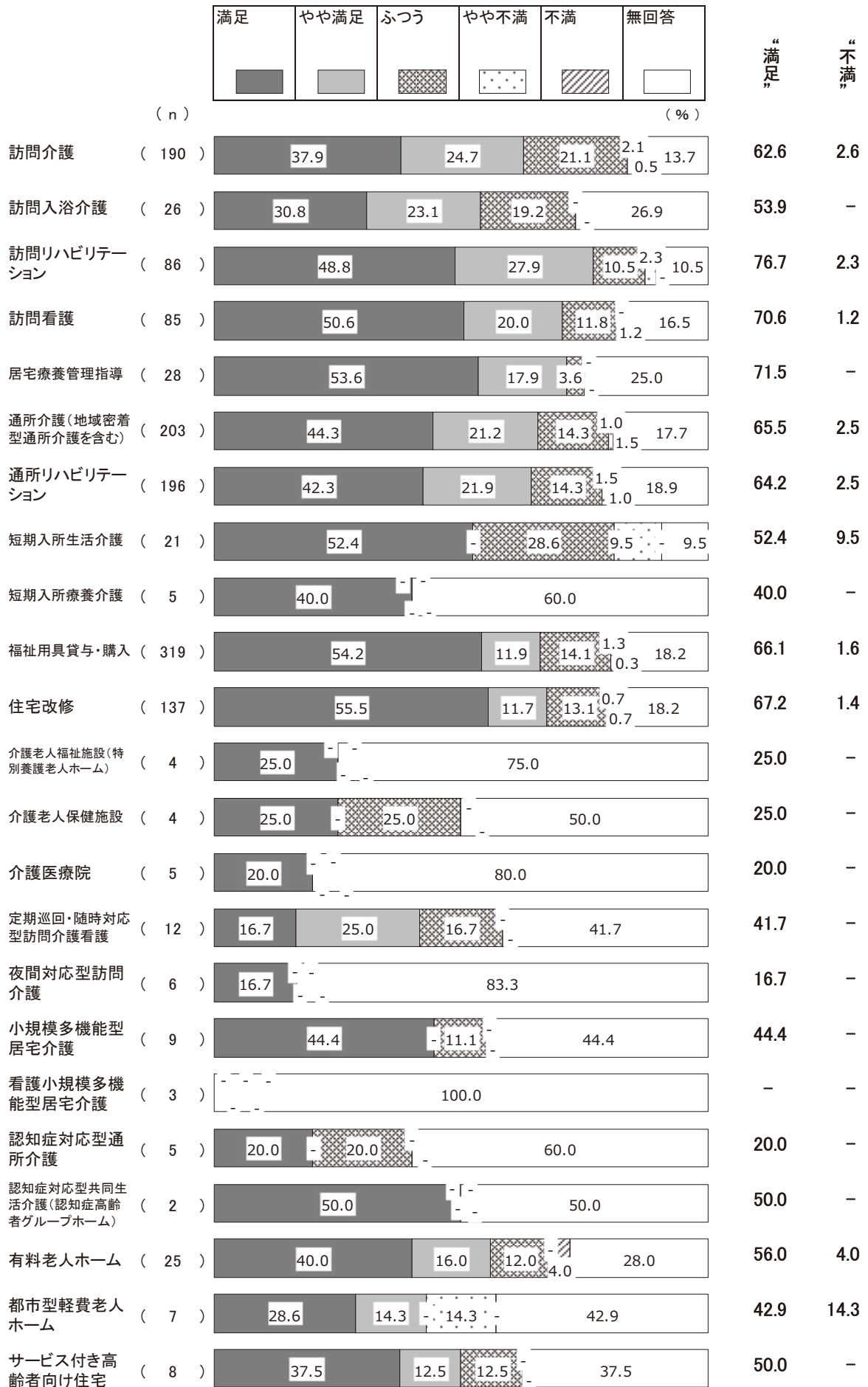
(複数回答)



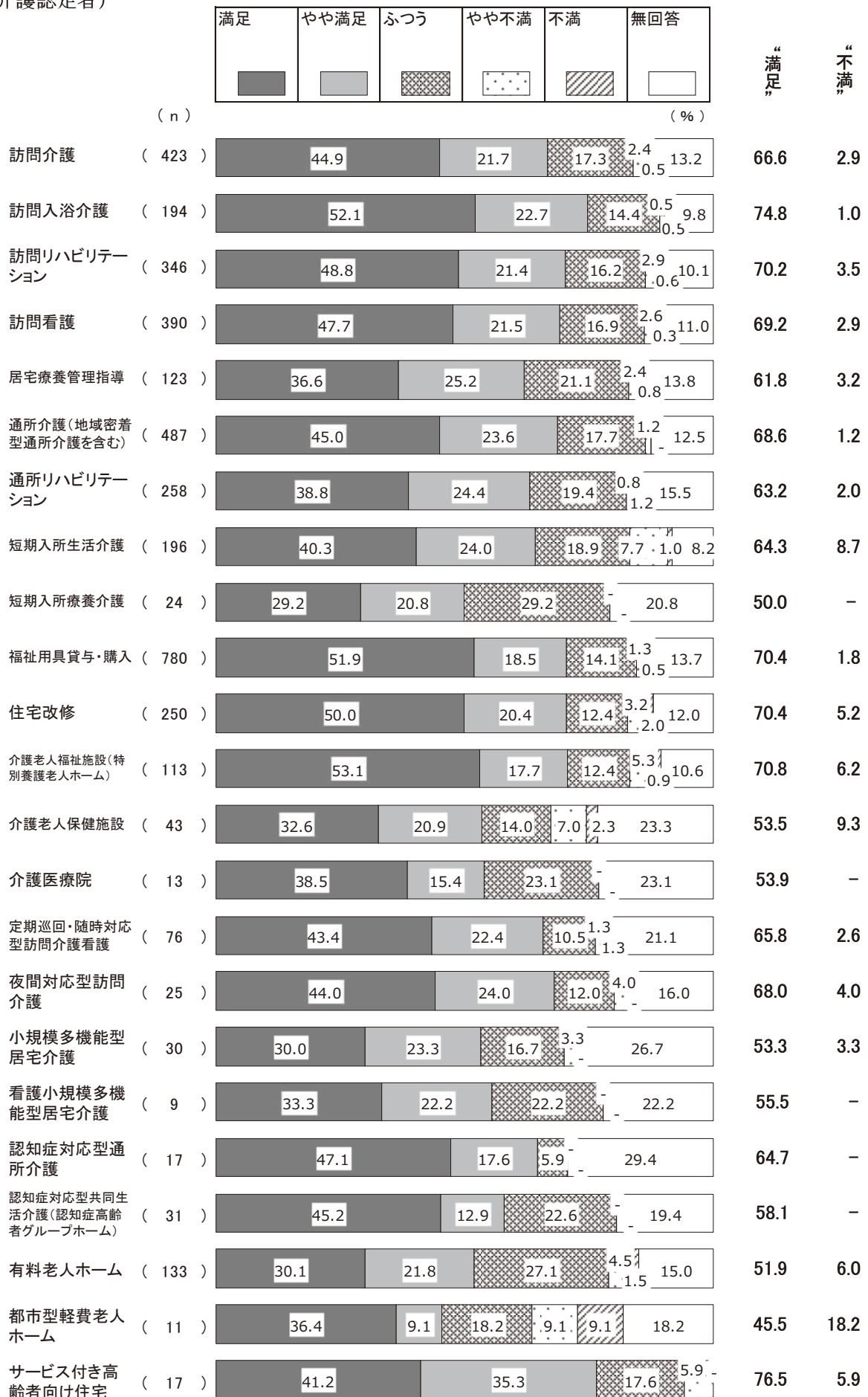
③介護保険サービスの満足度

- 介護保険サービスを利用している（「いずれも利用していない」と無回答を除く）と回答した人の利用しているサービスの満足度は、要支援認定者、要介護認定者および特養入所申込者いずれも、各サービスの“満足”（「満足」と「やや満足」の合計）が“不満”（「不満」と「やや不満」の合計）を上回っている（※特養入所申込者の「有料老人ホーム」を除く）。

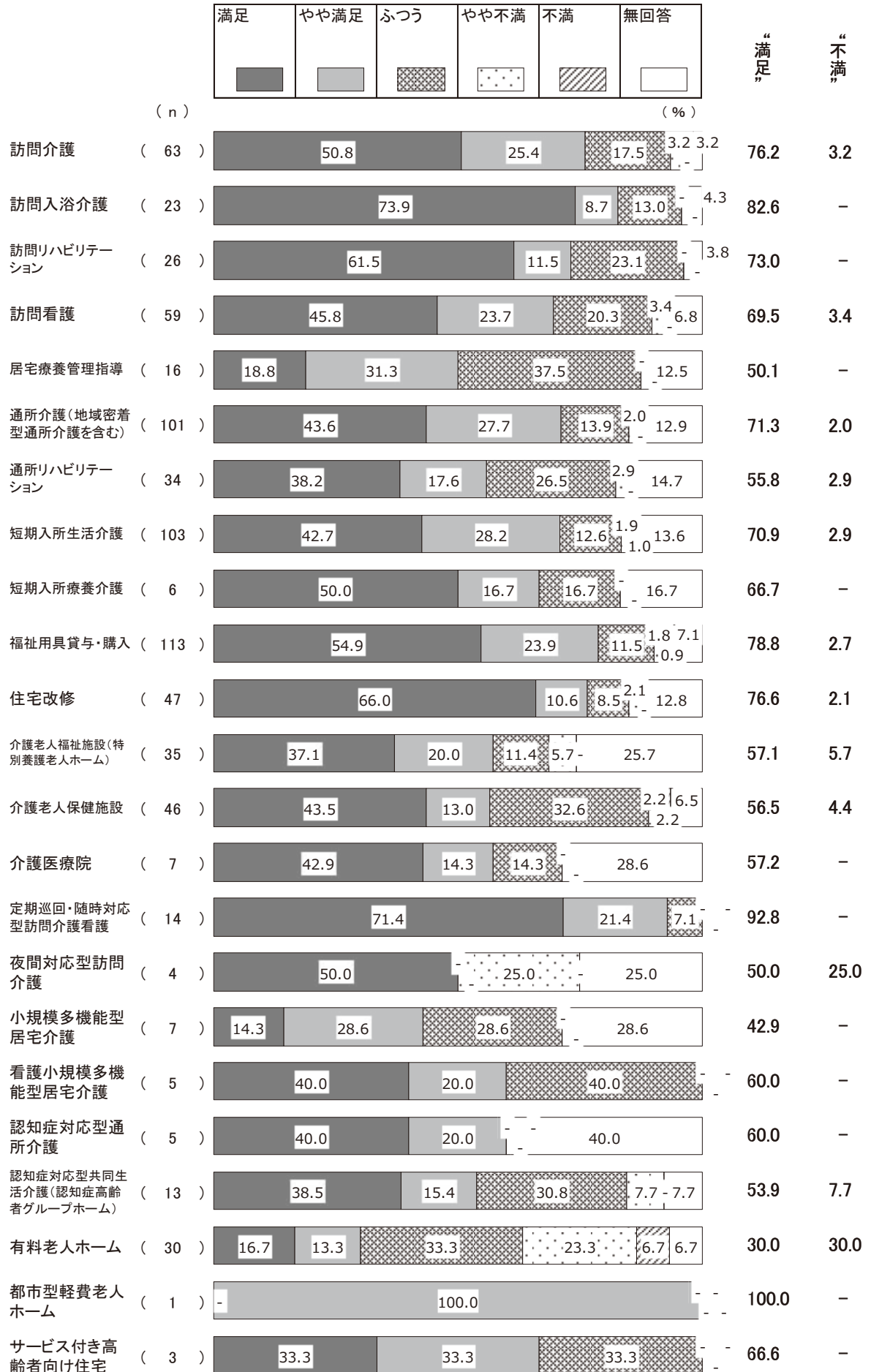
(要支援認定者)



(要介護認定者)



(特養入所申込者)

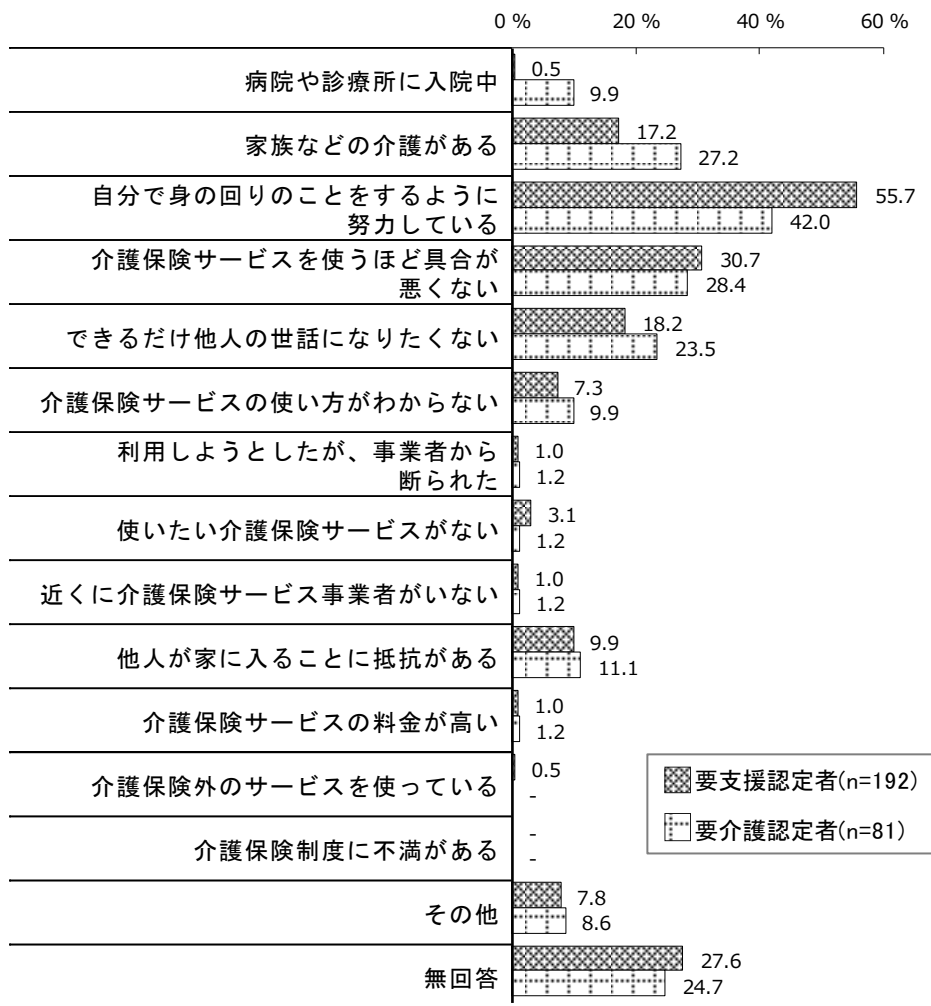


④介護保険サービスを利用していない理由

○介護保険サービスを「いずれも利用していない」と回答した人のサービスを利用していない理由は、要支援認定者では、「自分で身の回りのことをするように努力している」(55.7%)が最も高く、次いで「介護保険サービスを使うほど具合が悪くない」(30.7%)の順となっている。

○要介護認定者では、「自分で身の回りのことをするように努力している」(42.0%)が最も高く、次いで「介護保険サービスを使うほど具合が悪くない」(28.4%)の順となっている。

(複数回答)

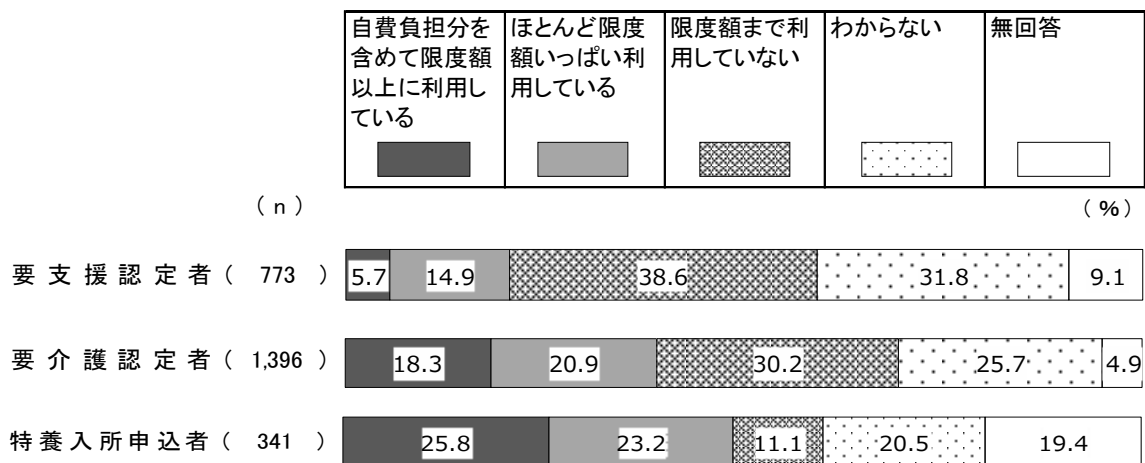


(3) 支給限度額に対する介護保険サービスの利用

①支給限度額に対する介護保険サービスの利用状況

○介護保険サービスを利用している（「いずれも利用していない」と無回答を除く）と回答した人の支給限度額に対する介護保険サービスの利用状況は、要支援認定者、要介護認定者ともに、「限度額まで利用していない」が最も高く、それぞれ38.6%、30.2%となっている。

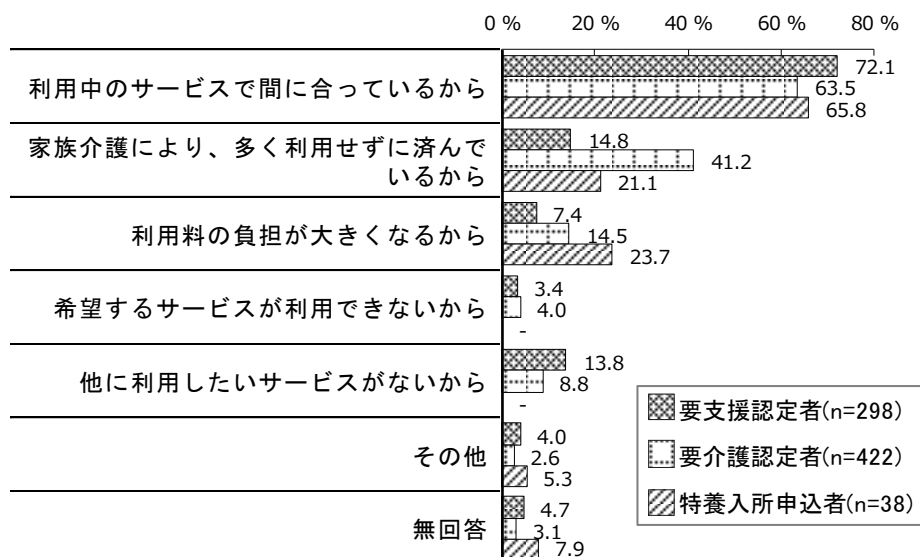
○特養入所申込者では、“支給限度額まで利用している”（「自費負担分を含めて限度額以上に利用している」と「ほとんど限度額いっぱい利用している」の合計）が49.0%となっている。



②支給限度額まで利用していない理由

○支給限度額に対する介護保険サービスの利用状況で「限度額まで利用していない」と回答した人の理由は、要支援認定者、要介護認定者および特養入所申込者いずれも「利用中のサービスで間に合っているから」が最も高く、それぞれ72.1%、63.5%、65.8%となっている。

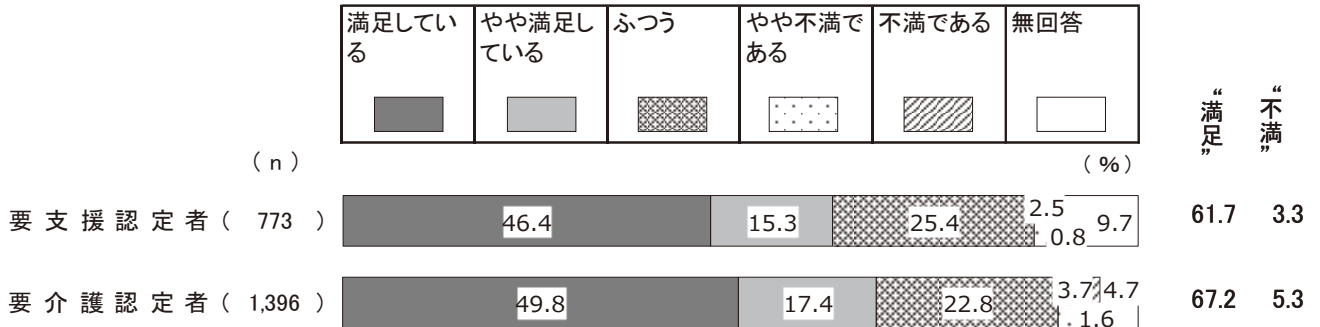
(複数回答)



(4) ケアマネジャーに対する満足度

①満足度

○介護保険サービスを利用している（「いずれも利用していない」と無回答を除く）と回答した人のケアマネジャーに対する満足度は、“満足”（「満足している」と「やや満足している」の合計）が、要支援認定者では61.7%、要介護認定者では67.2%と、“不満”（「不満である」と「やや不満である」の合計）を大きく上回っている。

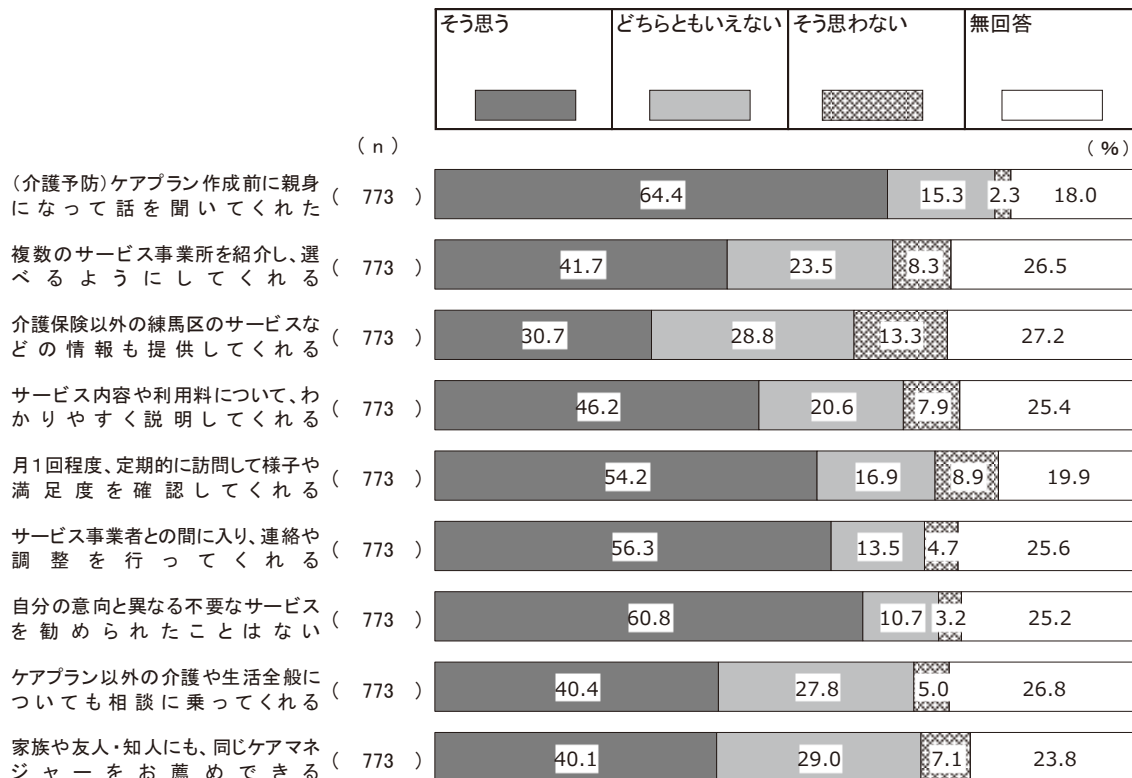


②ケアマネジャーへの考え

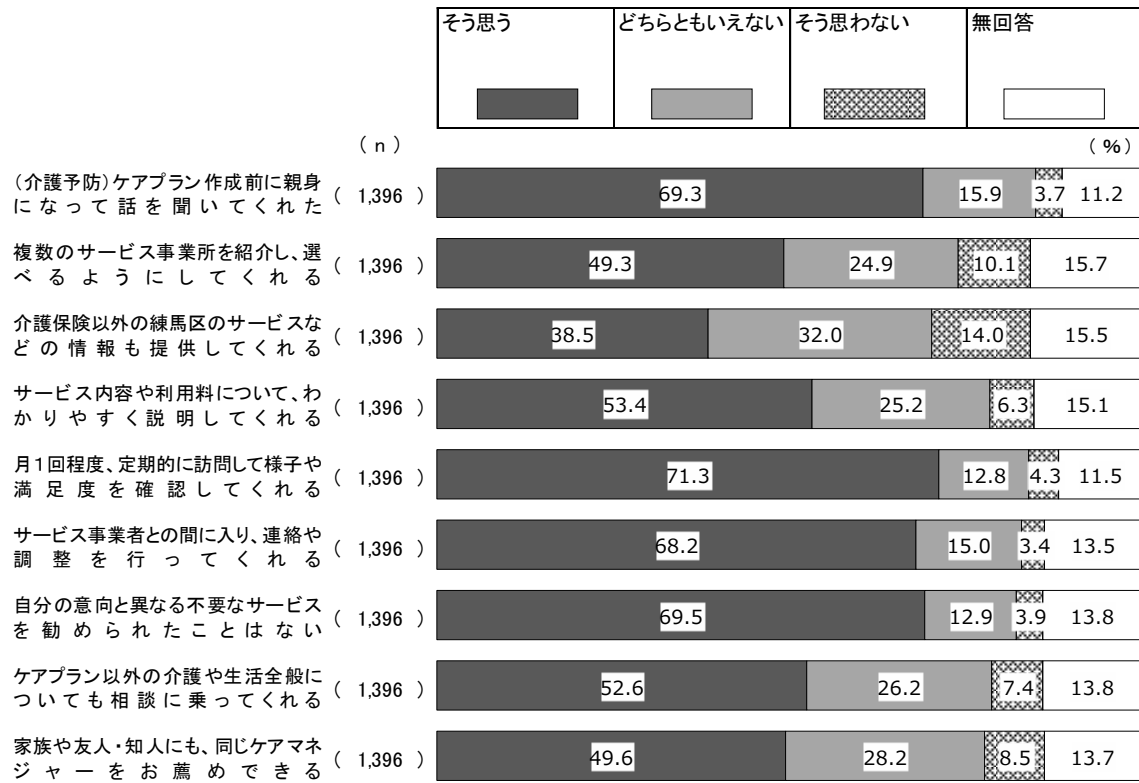
○介護保険サービスを利用している（「いずれも利用していない」と無回答を除く）と回答した人にケアマネジャーについてどのように感じているか聞いたところ、要支援認定者では「（介護予防）ケアプラン作成前に親身になって話を聞いてくれた」で「そう思う」の割合が64.4%と最も高くなっている。

○要介護認定者では「月1回程度、定期的に訪問して様子や満足度を確認してくれる」で「そう思う」の割合が71.3%と最も高くなっている。

（要支援認定者）



(要介護認定者)

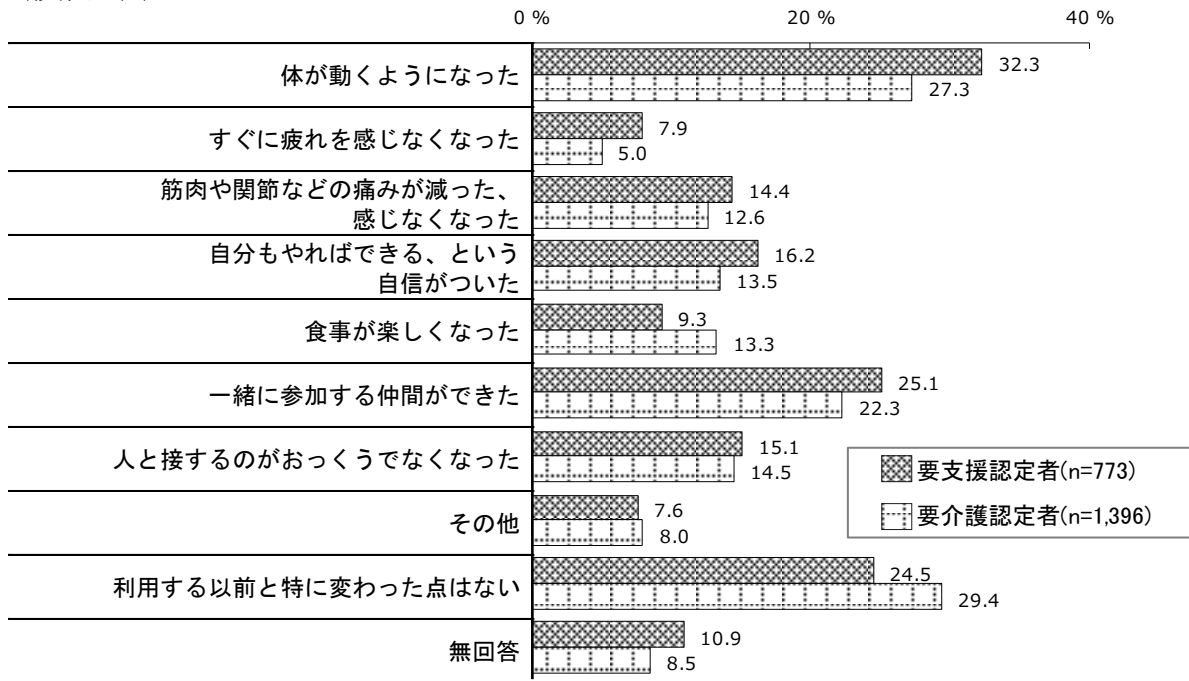


(5) 介護保険サービスの利用による変化

①介護保険サービス利用後の変化

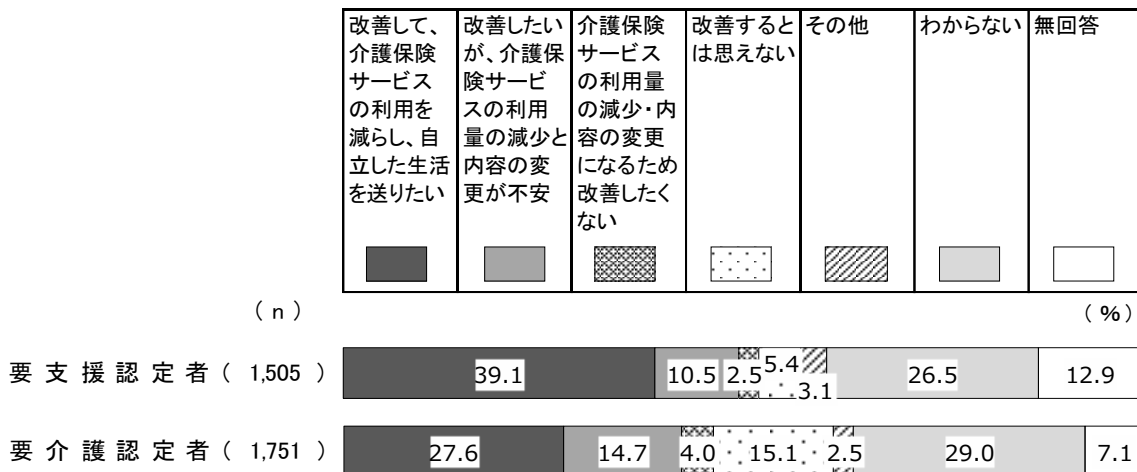
- 介護保険サービスを利用している（「いずれも利用していない」と「無回答」を除く）と回答した人の介護保険サービス利用後の変化は、要支援認定者では「体が動くようになった」（32.3%）が最も高く、次いで「一緒に参加する仲間ができた」（25.1%）の順となっている。
- 要介護認定者では「利用する以前と特に変わった点はない」（29.4%）が最も高く、次いで「体が動くようになった」（27.3%）の順となっている。

(複数回答)



②要介護度の改善に対する考え

- 「改善して、介護保険サービスの利用を減らし、自立した生活を送りたい」が要支援認定者で39.1%、要介護認定者で27.6%となっている。



[要介護度の改善に対する考え<年代別(要支援認定者、要介護認定者)>]

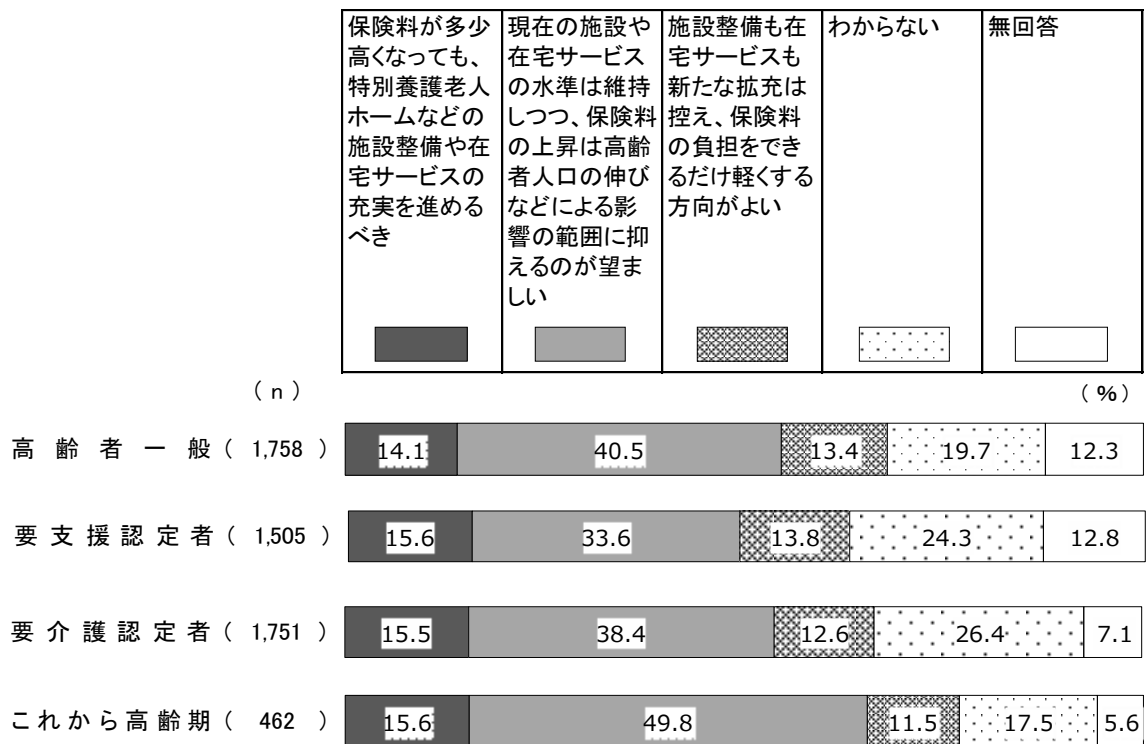
○年代別にみると、要支援認定者および要介護認定者ともに「前期高齢者」は、「改善して、介護保険サービスの利用を減らし、自立した生活を送りたい」が「後期高齢者」と比べて高くなっている。

	n	改善して、介護保険サービスの利用を減らし、自立した生活を送りたい	改善したいが、介護保険サービスの利用量の減少と内容の変更が不安	介護保険サービスの利用量の減少・内容の変更になるため改善したくない	改善するとは思えない	その他	わからない	無回答
要支援認定者	1,505	39.1	10.5	2.5	5.4	3.1	26.5	12.9
前期高齢者(65歳-74歳)	143	44.8	15.4	0.7	5.6	1.4	23.1	9.1
後期高齢者(75歳以上)	1,284	39.3	9.9	2.6	5.3	3.1	27.4	12.5
要介護認定者	1,751	27.6	14.7	4.0	15.1	2.5	29.0	7.1
前期高齢者(65歳-74歳)	150	36.7	16.0	2.0	8.0	4.7	28.7	4.0
後期高齢者(75歳以上)	1,534	26.8	14.3	4.2	15.8	2.3	29.1	7.4

(6) 介護保険料と介護サービスの利用料

①介護保険サービスと保険料についての考え

○いずれの調査でも「現在の施設や在宅サービスの水準は維持しつつ、保険料の上昇は高齢者人口の伸びなどによる影響の範囲に抑えるのが望ましい」が最も高く、高齢者一般で40.5%、要支援認定者で33.6%、要介護認定者で38.4%、これから高齢期で49.8%となっている。



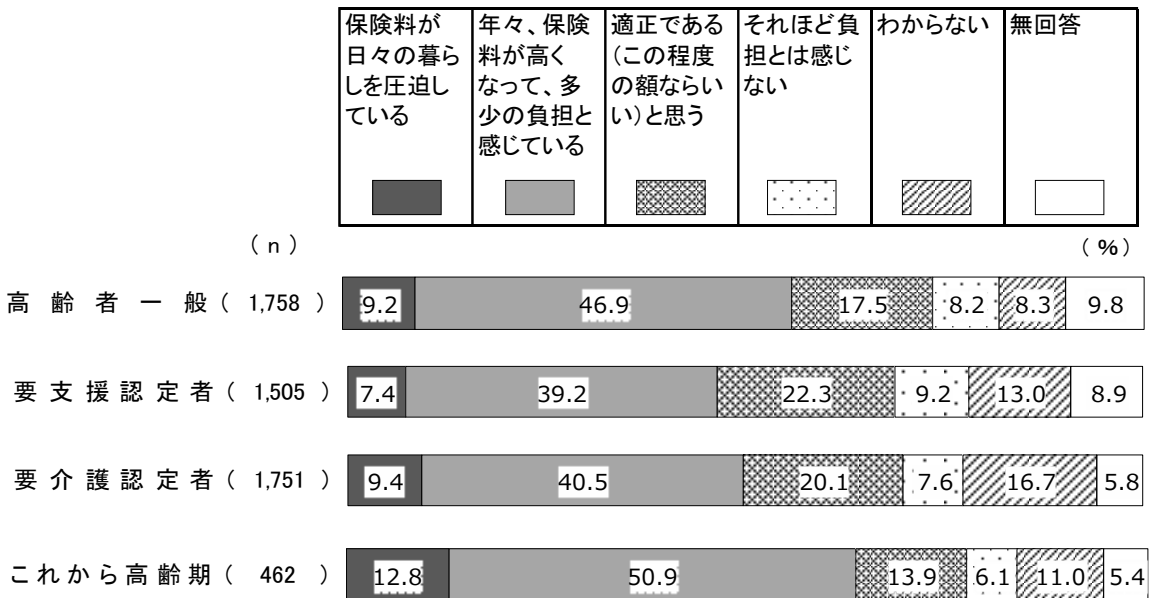
[介護保険サービスと保険料についての考え<暮らし向きを感じ方別(高齢者一般)>]

○暮らし向きを感じ方別にみると、“ゆとりがある”は、「保険料が多少高くなっても、特別養護老人ホームなどの施設整備や在宅サービスの充実を進めるべき」が28.1%で、他と比べて高くなっている。

	n	保険料が多少高くなっても、特別養護老人ホームなどの施設整備や在宅サービスの充実を進めるべき	現在の施設や在宅サービスの水準は維持しつつ、保険料の上昇は高齢者人口の伸びなどによる影響の範囲に抑えるのが望ましい	施設整備も在宅サービスも新たな拡充は控え、保険料の負担をできるだけ軽くする方向がよい	わからない	無回答
全体	1,758	14.1	40.5	13.4	19.7	12.3
苦しい	522	7.7	32.4	23.0	23.6	13.4
ふつう	931	14.3	44.8	10.4	20.0	10.5
ゆとりがある	224	28.1	47.3	4.5	11.2	8.9

②介護保険料や健康保険料の負担感

○いずれの調査でも「年々、保険料が高くなって、多少の負担と感じている」が最も高く、高齢者一般で46.9%、要支援認定者で39.2%、要介護認定者で40.5%、これから高齢期で50.9%となっている。



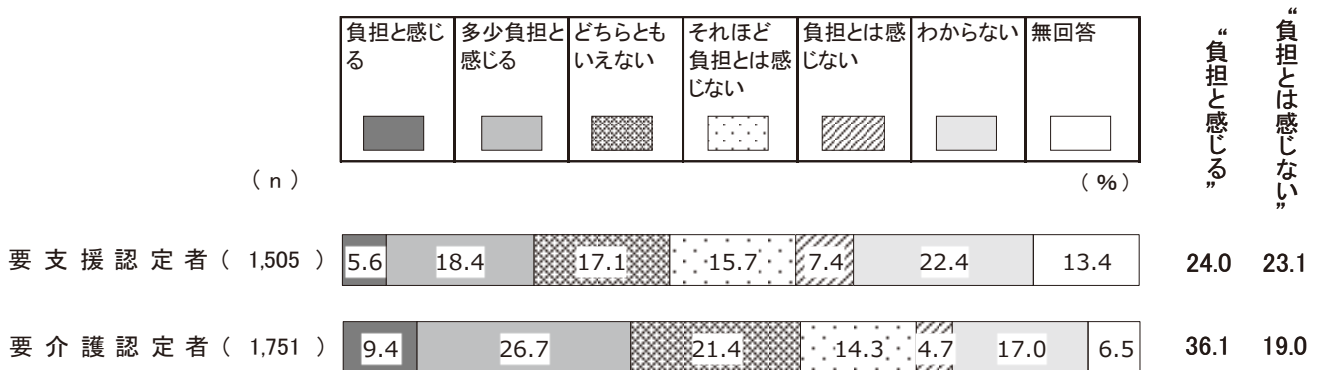
[介護保険料や健康保険料の負担感<暮らし向きを感じ方別(高齢者一般、要支援認定者、要介護認定者)>]

○暮らし向きを感じ方別にみると、いずれの調査でも“苦しい”は、「保険料が日々の暮らしを圧迫している」が1割から2割で、全体と比べて高くなっている。

	n	保険料が日々の暮らしを圧迫している	年々、保険料が高くなって、多少の負担と感じている	適正である(この程度の額ならいい)と思う	それほど負担とは感じない	わからない	無回答
高齢者一般	1,758	9.2	46.9	17.5	8.2	8.3	9.8
苦しい	522	21.3	48.9	8.4	3.1	8.4	10.0
ふつう	931	5.0	48.8	20.6	7.7	9.5	8.4
ゆとりがある	224	0.4	39.3	28.1	21.4	4.0	6.7
要支援認定者	1,505	7.4	39.2	22.3	9.2	13.0	8.9
苦しい	431	16.0	43.2	13.7	3.7	14.4	9.0
ふつう	807	4.2	40.4	24.4	9.3	13.3	8.4
ゆとりがある	187	2.7	26.7	34.2	21.9	8.6	5.9
要介護認定者	1,751	9.4	40.5	20.1	7.6	16.7	5.8
苦しい	559	20.0	44.9	10.6	2.1	15.6	6.8
ふつう	934	4.2	41.3	24.1	8.0	17.9	4.5
ゆとりがある	194	0.5	26.8	30.4	22.7	13.4	6.2

③介護サービス利用料の負担感

○要支援認定者、要介護認定者では、“負担と感じる”(「負担と感じる」と「多少負担と感じる」の合計)は、それぞれ24.0%、36.1%で“負担とは感じない”(「それほど負担とは感じない」と「負担とは感じない」の合計)を上回っている。



[介護サービス利用料の負担感<暮らし向きを感じ方別(要支援認定者、要介護認定者)>]

○暮らし向きを感じ方別にみると、いずれの調査でも“苦しい”は、“負担と感じる”が3割から5割で全体と比べて高くなっている。

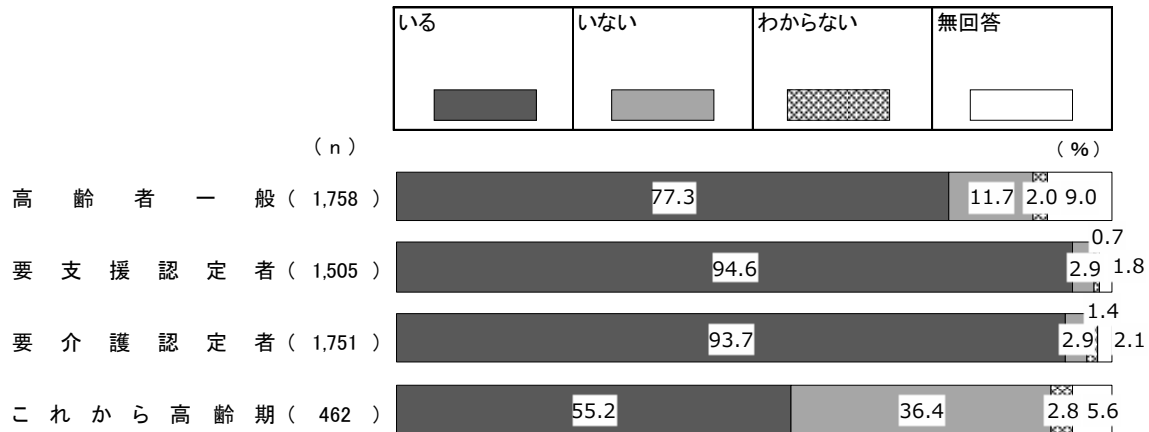
	n	負担と感じる	多少負担と感じる	どちらともいえない	それほど負担とは感じない	負担とは感じない	わからない	無回答	負担と感じる	負担とは感じない
要支援認定者	1,505	5.6	18.4	17.1	15.7	7.4	22.4	13.4	24.0	23.1
苦しい	431	12.8	22.7	15.3	8.6	1.4	24.8	14.4	35.5	10.0
ふつう	807	2.6	18.2	19.6	17	7.4	21.9	13.3	20.8	24.4
ゆとりがある	187	2.1	12.3	13.9	24.1	21.9	17.6	8	14.4	46.0
要介護認定者	1,751	9.4	26.7	21.4	14.3	4.7	17	6.5	36.1	19.0
苦しい	559	18.4	32.9	17.5	4.8	2.5	17	6.8	51.3	7.3
ふつう	934	5.6	25.9	25.2	16.2	4	17.8	5.5	31.5	20.2
ゆとりがある	194	2.1	13.4	15.5	34.5	15.5	12.4	6.7	15.5	50.0

6. 医療・在宅療養

(1) かかりつけ医等の状況

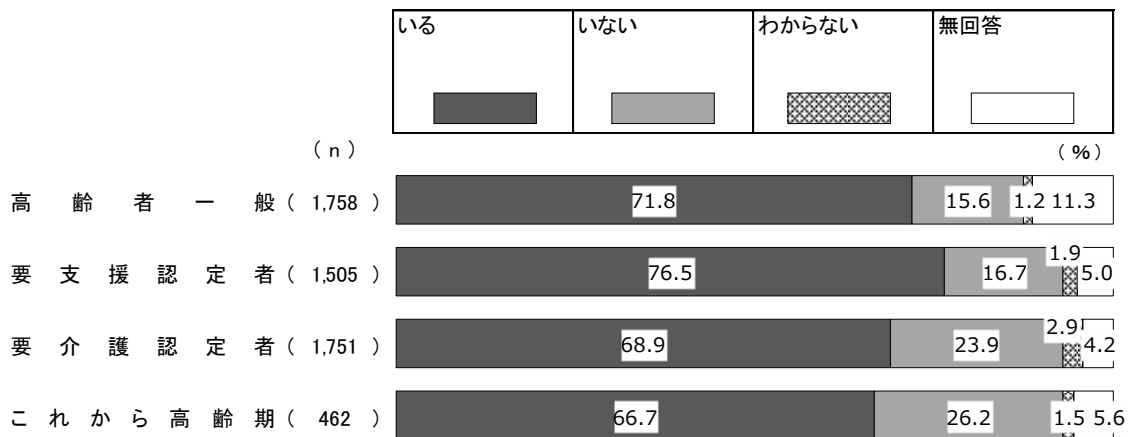
① かかりつけ医の有無

○「いる」は、高齢者一般で77.3%、要支援認定者で94.6%、要介護認定者で93.7%、これから高齢期で55.2%となっている。



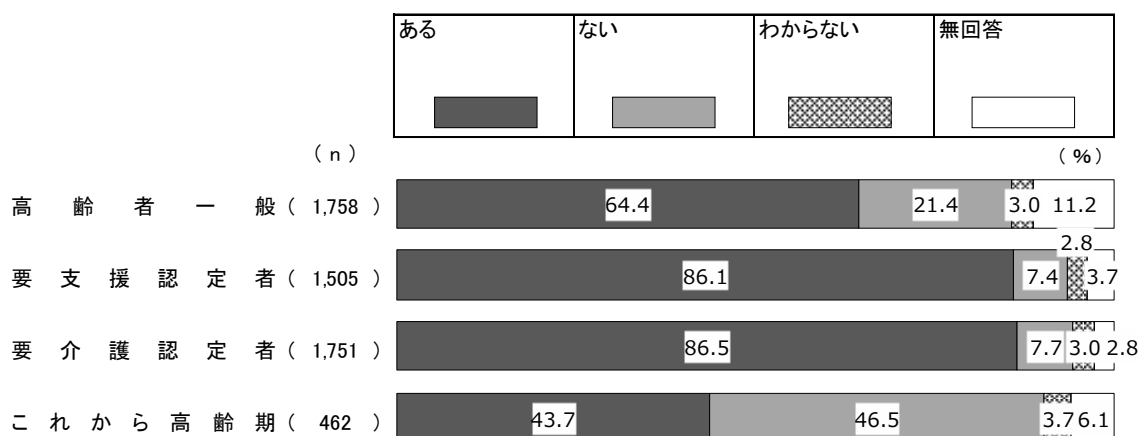
② かかりつけ歯科医の有無

○「いる」は、高齢者一般で71.8%、要支援認定者で76.5%、要介護認定者で68.9%、これから高齢期で66.7%となっている。



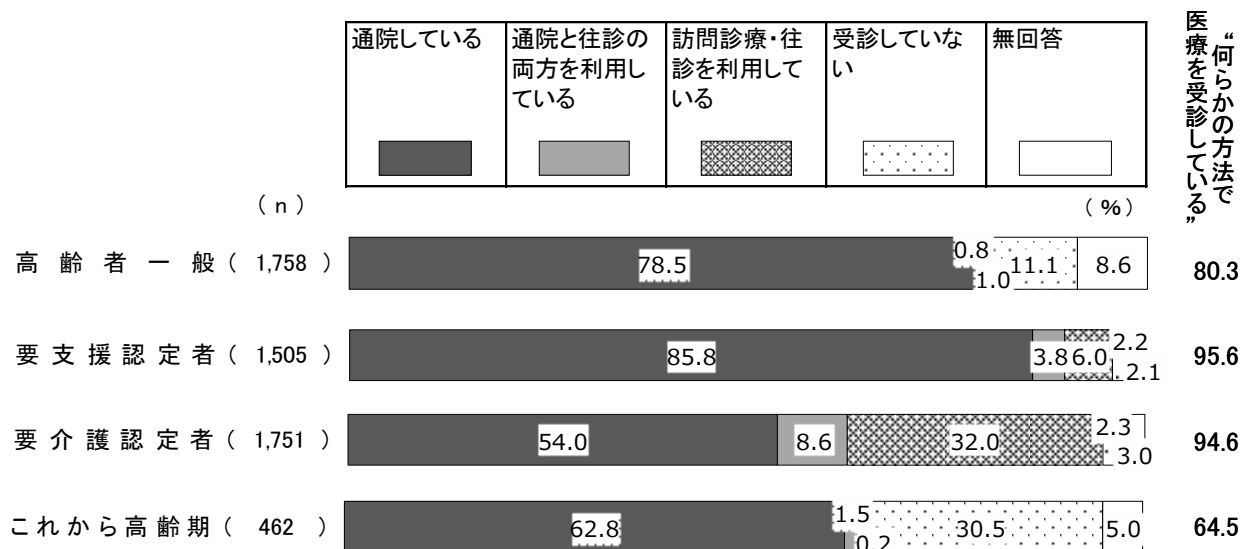
③かかりつけ薬局の有無

○「ある」は、高齢者一般で64.4%、要支援認定者で86.1%、要介護認定者で86.5%、これから高齢期で43.7%となっている。



(2) 医療の受診形態

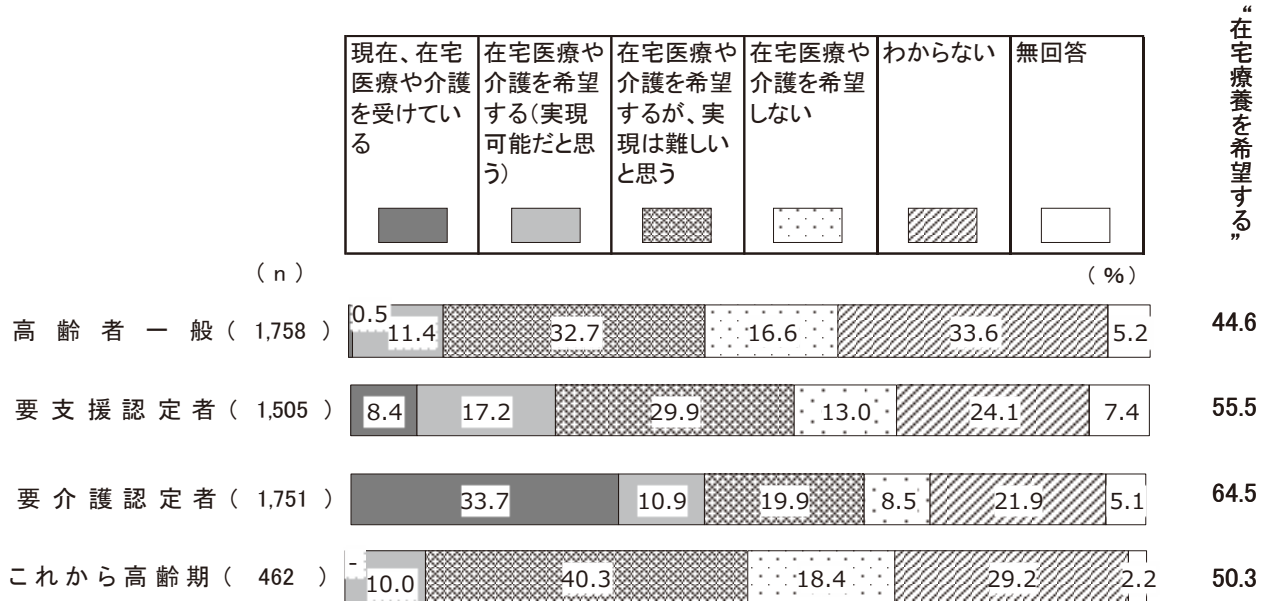
○“何らかの方法で医療を受診している”（「通院している」、「通院と往診の両方を利用している」、「訪問診療・往診を利用している」の合計）は、高齢者一般で80.3%、要支援認定者で95.6%、要介護認定者で94.6%、これから高齢期で64.5%となっている。



(3) 在宅療養

①在宅療養の希望と実現可能性

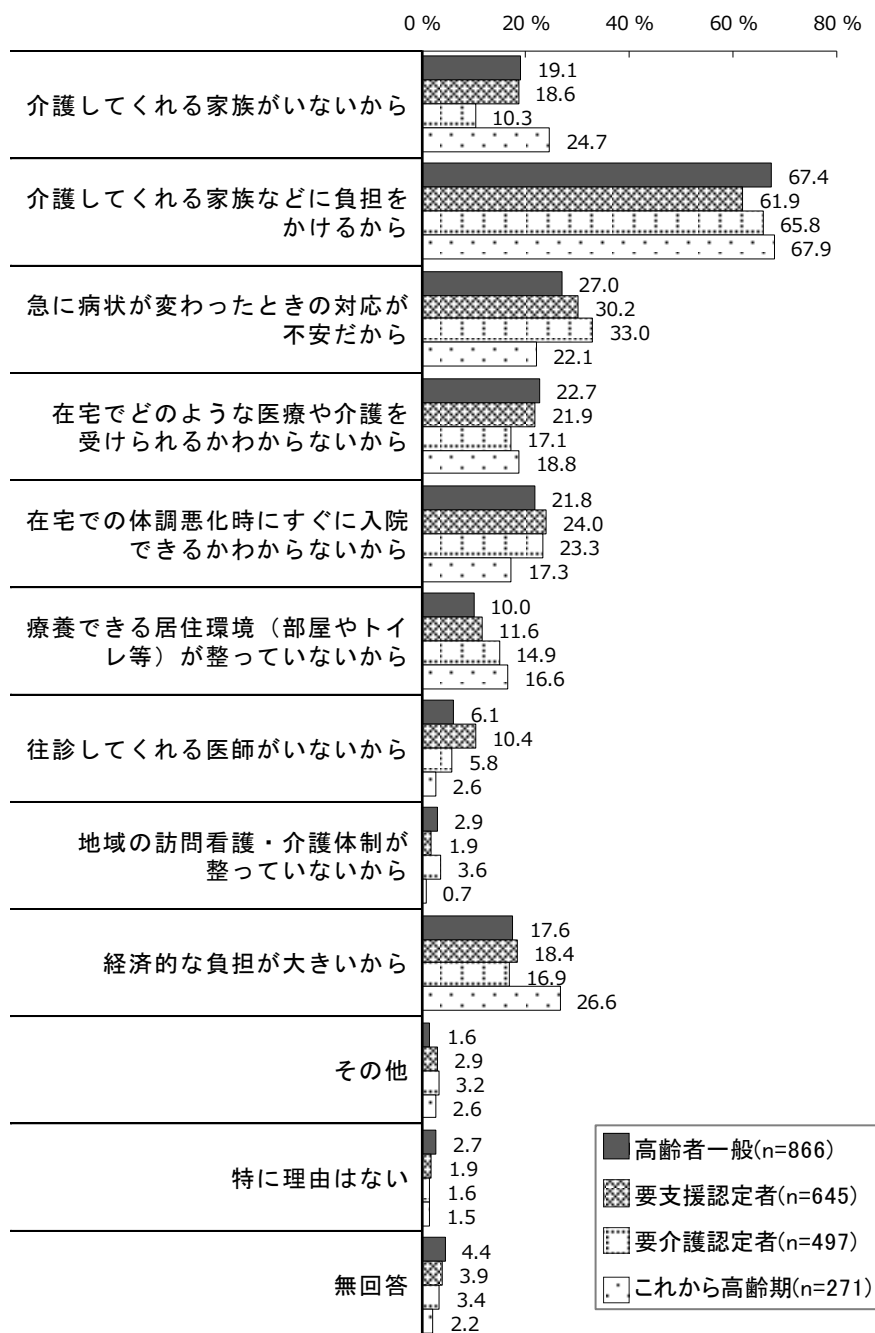
○脳卒中の後遺症や末期がんなどで長期療養が必要になった場合、病院などへの入院・入所はしないで、自宅で生活したいかどうか聞いたところ、“在宅療養を希望する”（「現在、在宅医療や介護を受けている」、「在宅医療や介護を希望する（実現可能だと思う）」、「在宅医療や介護を希望するが、実現は難しいと思う」の合計）と回答した人は、高齢者一般で44.6%、要支援認定者で55.5%、要介護認定者で64.5%、これから高齢期で50.3%となっており、いずれの調査でも「在宅医療や介護を希望しない」を上回っている。



②在宅療養が難しいと思う理由

○在宅療養の希望で「在宅医療や介護を希望するが、実現は難しいと思う」および「在宅医療や介護を希望しない」と回答した人の理由は、いずれの調査でも「介護してくれる家族などに負担をかけるから」が最も高く、高齢者一般で67.4%、要支援認定者で61.9%、要介護認定者で65.8%、これから高齢期で67.9%となっている。

(○は3つまで)

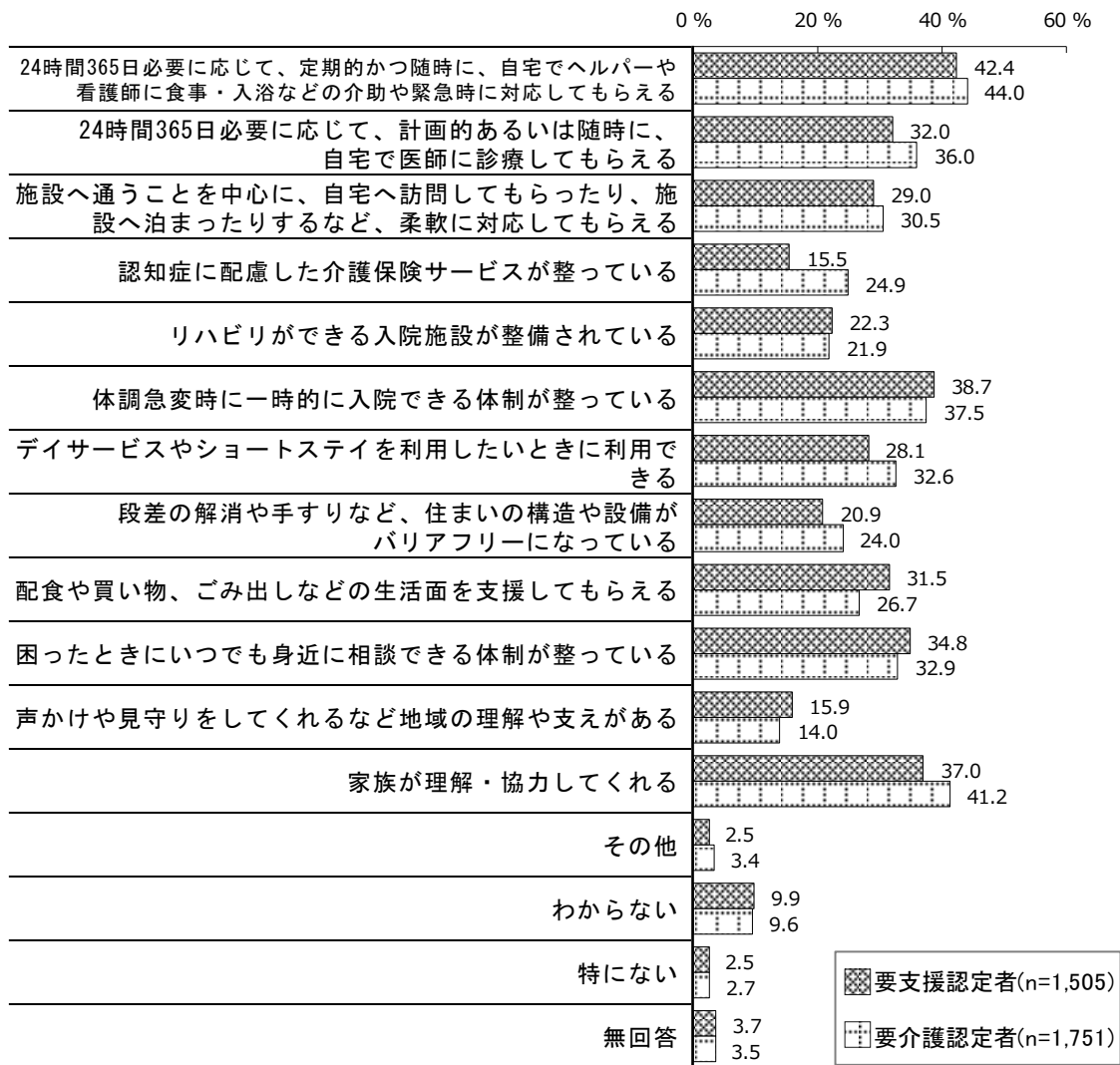


③在宅療養生活を継続するために必要なこと

○要支援認定者では、「24時間365日必要に応じて、定期的かつ随時に、自宅でヘルパーや看護師に食事・入浴などの介助や緊急時に対応してもらえる」(42.4%)が最も高く、次いで「体調急変時に一時的に入院できる体制が整っている」(38.7%)の順となっている。

○要介護認定者では、「24時間365日必要に応じて、定期的かつ随時に、自宅でヘルパーや看護師に食事・入浴などの介助や緊急時に対応してもらえる」(44.0%)が最も高く、次いで「家族が理解・協力してくれる」(41.2%)の順となっている。

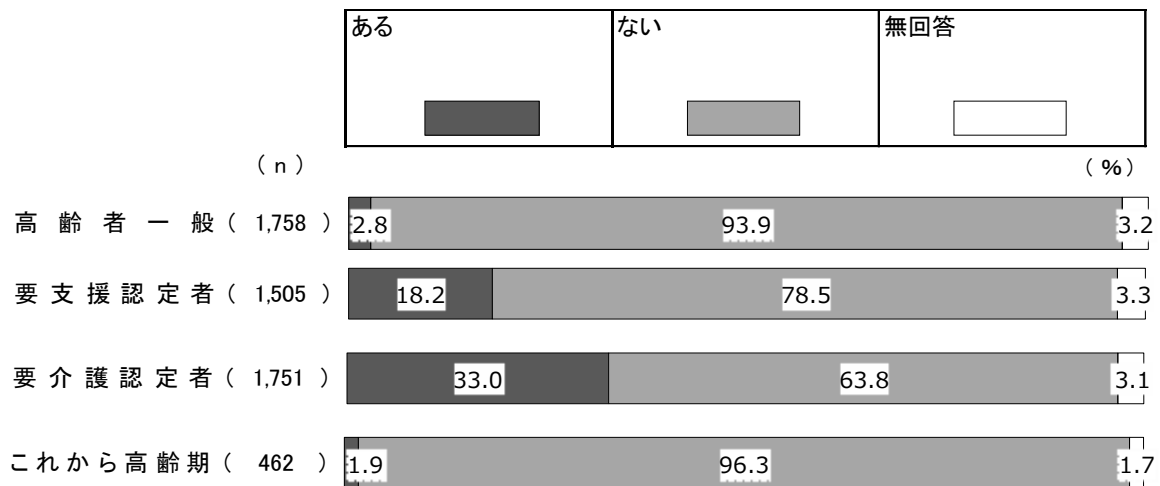
(複数回答)



(4) リハビリ療養

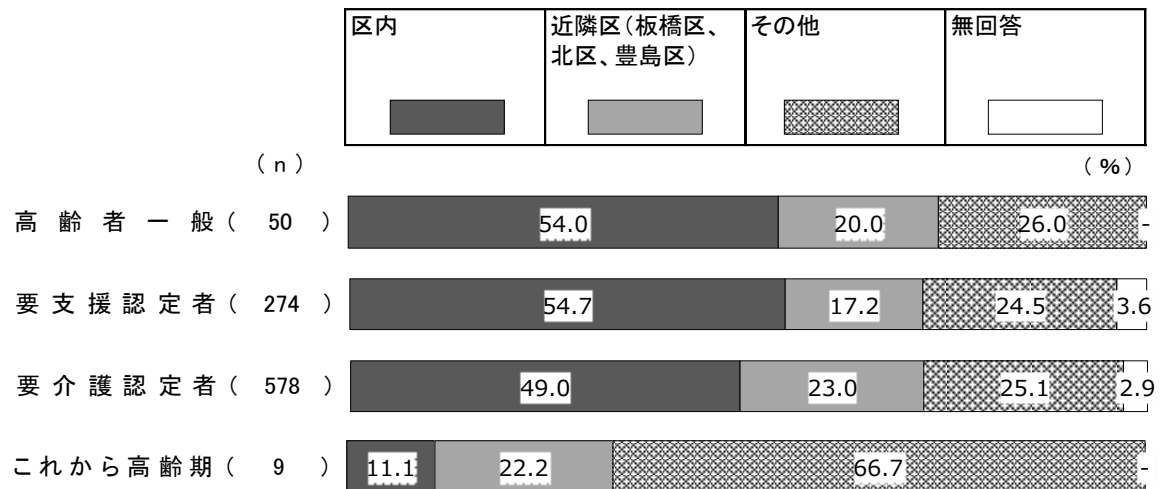
①リハビリ療養目的の入院の有無

○「ある」は、高齢者一般で2.8%、要支援認定者で18.2%、要介護認定者で33.0%、これから高齢期で1.9%となっている。



②リハビリ療養目的で入院した医療機関の所在地

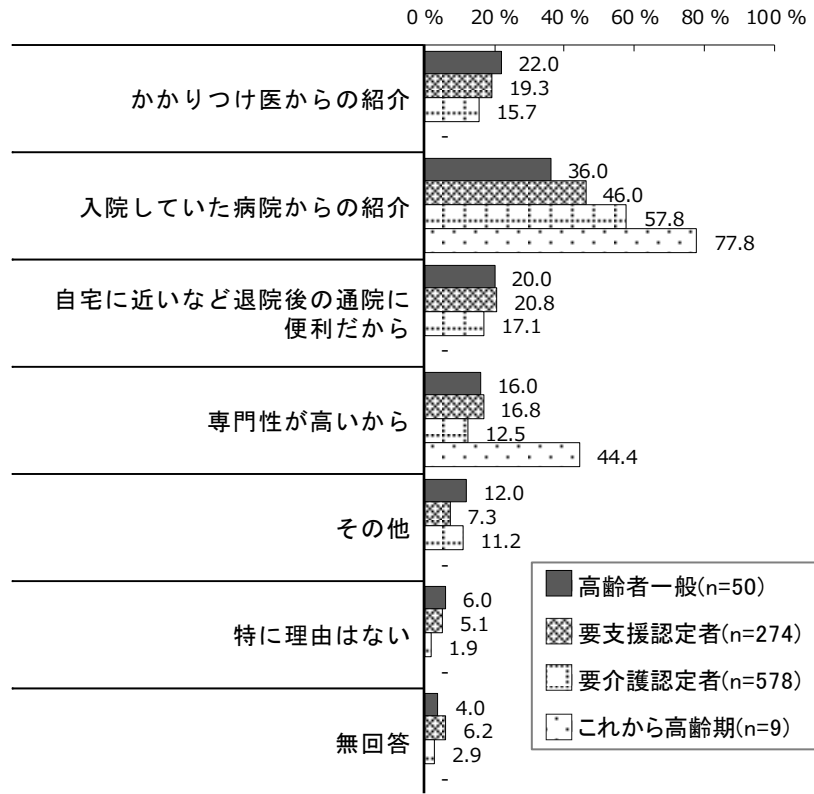
○「区内」は、高齢者一般、要支援認定者および要介護認定者で4割から5割となっている。



③リハビリ療養目的で入院した医療機関の選択理由

○いずれの調査でも「入院していた病院からの紹介」が最も高く、高齢者一般で36.0%、要支援認定者で46.0%、要介護認定者で57.8%、これから高齢期で77.8%となっている。

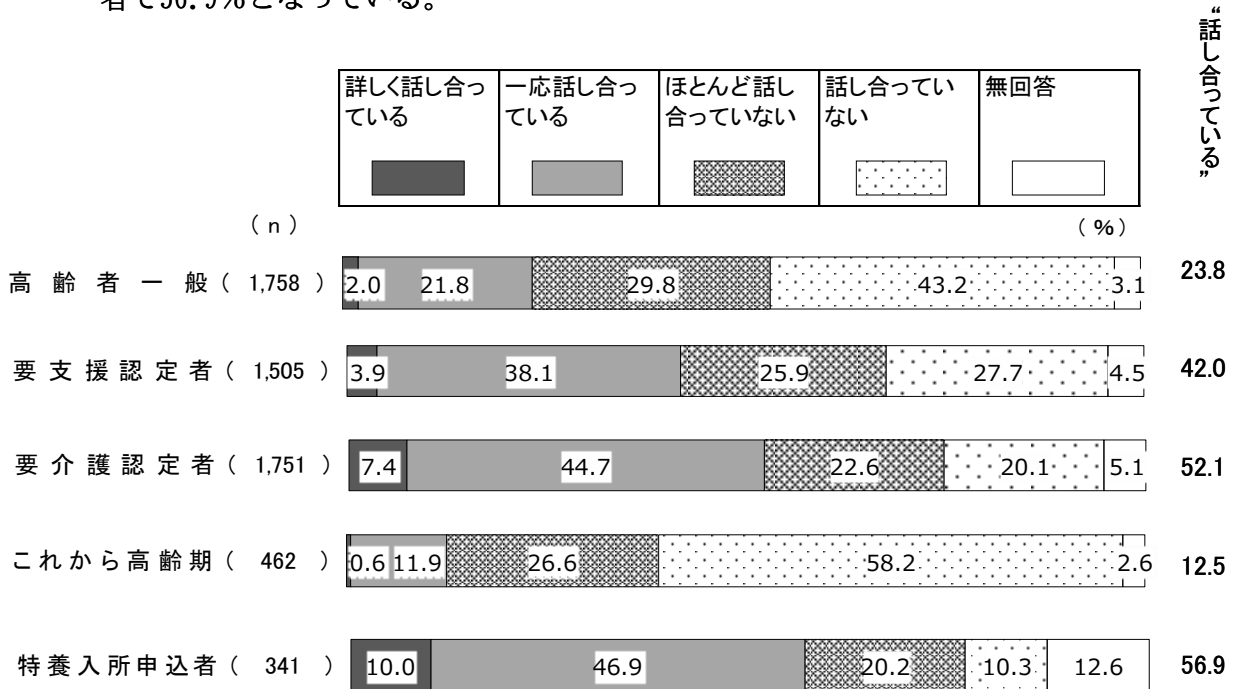
(複数回答)



(5) 人生の最終段階における医療・ケア

①家族や医療・介護スタッフ等との話し合いの状況

○人生の最終段階における受たい医療・介護、受たくない医療・介護について、家族や医療・介護スタッフ等と話し合っているか聞いたところ、“話し合っている”（「詳しく話し合っている」と「一応話し合っている」の合計）と回答した人は、高齢者一般で23.8%、要支援認定者で42.0%、要介護認定者で52.1%、これから高齢期で12.5%、特養入所申込者で56.9%となっている。



[家族や医療・介護スタッフ等との話し合いの状況<年代別(高齢者一般、要支援認定者、要介護認定者)>]

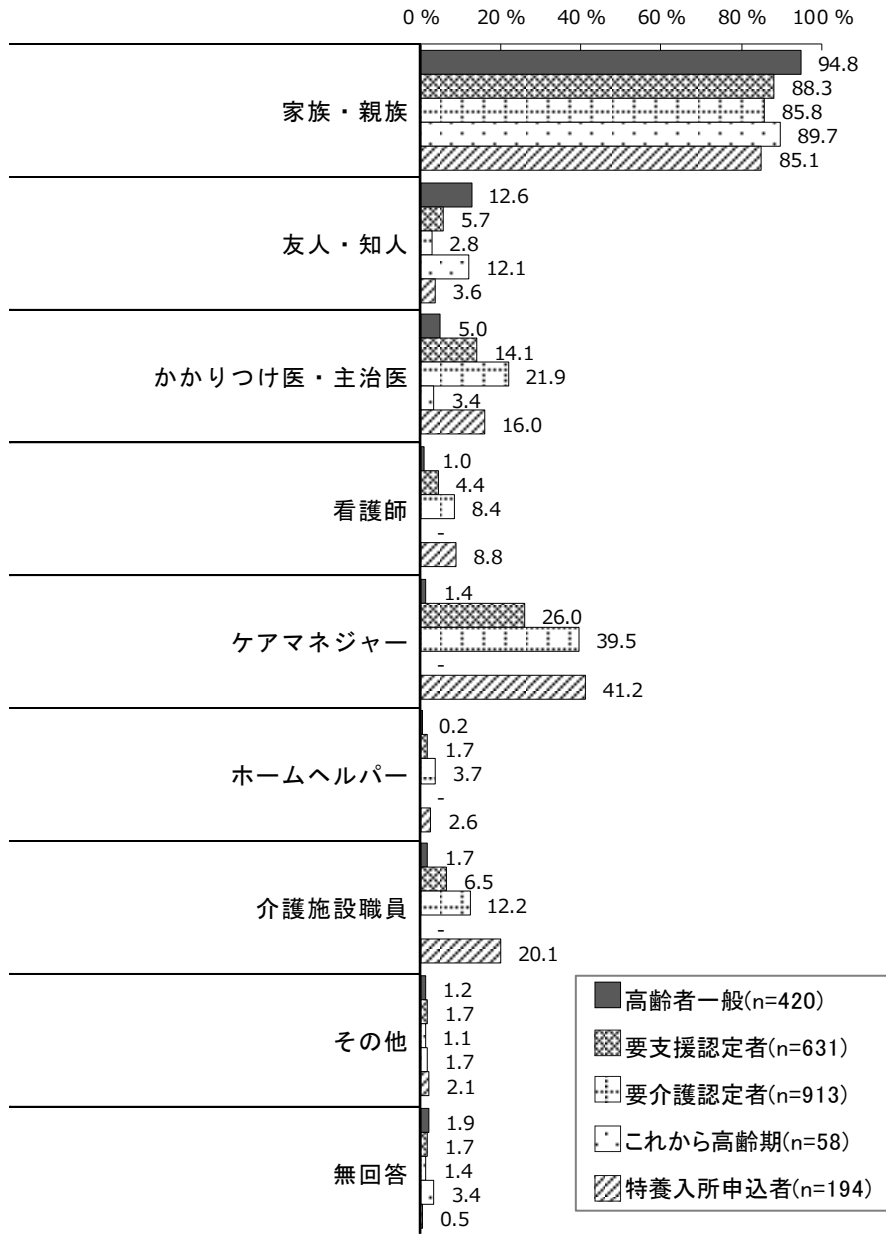
○年代別にみると、高齢者一般、要支援認定者および要介護認定者いずれも、「後期高齢者」は、“話し合っている”が「前期高齢者」と比べて高くなっている。

	n	詳しく話し合っている (%)	一応話し合っている (%)	ほとんど話し合っていない (%)	話し合っていない (%)	無回答 (%)	話し合っている (%)
高齢者一般	1,758	2.0	21.8	29.8	43.2	3.1	23.8
前期高齢者 (65歳-74歳)	648	1.2	18.7	27.8	50.5	1.9	19.9
後期高齢者 (75歳以上)	1,064	2.5	23.8	30.8	39.2	3.7	26.3
要支援認定者	1,505	3.9	38.1	25.9	27.7	4.5	42.0
前期高齢者 (65歳-74歳)	143	2.1	31.5	25.9	35.7	4.9	33.6
後期高齢者 (75歳以上)	1,284	4	39.6	25.9	26.4	4.1	43.6
要介護認定者	1,751	7.4	44.7	22.6	20.1	5.1	52.1
前期高齢者 (65歳-74歳)	150	6	38	23.3	30	2.7	44.0
後期高齢者 (75歳以上)	1,534	7.6	45.4	22.3	19.5	5.3	53.0

②話し合っている相手

- “話し合っている”と回答した人の話し合っている相手は、いずれの調査でも「家族・親族」が最も高く、8割から9割となっている。
- 次いで、高齢者一般およびこれから高齢期では「友人・知人」がそれぞれ12.6%、12.1%、要支援認定者、要介護認定者および特養入所申込者では、「ケアマネジャー」が26.0%、39.5%、41.2%の順となっている。

(複数回答)

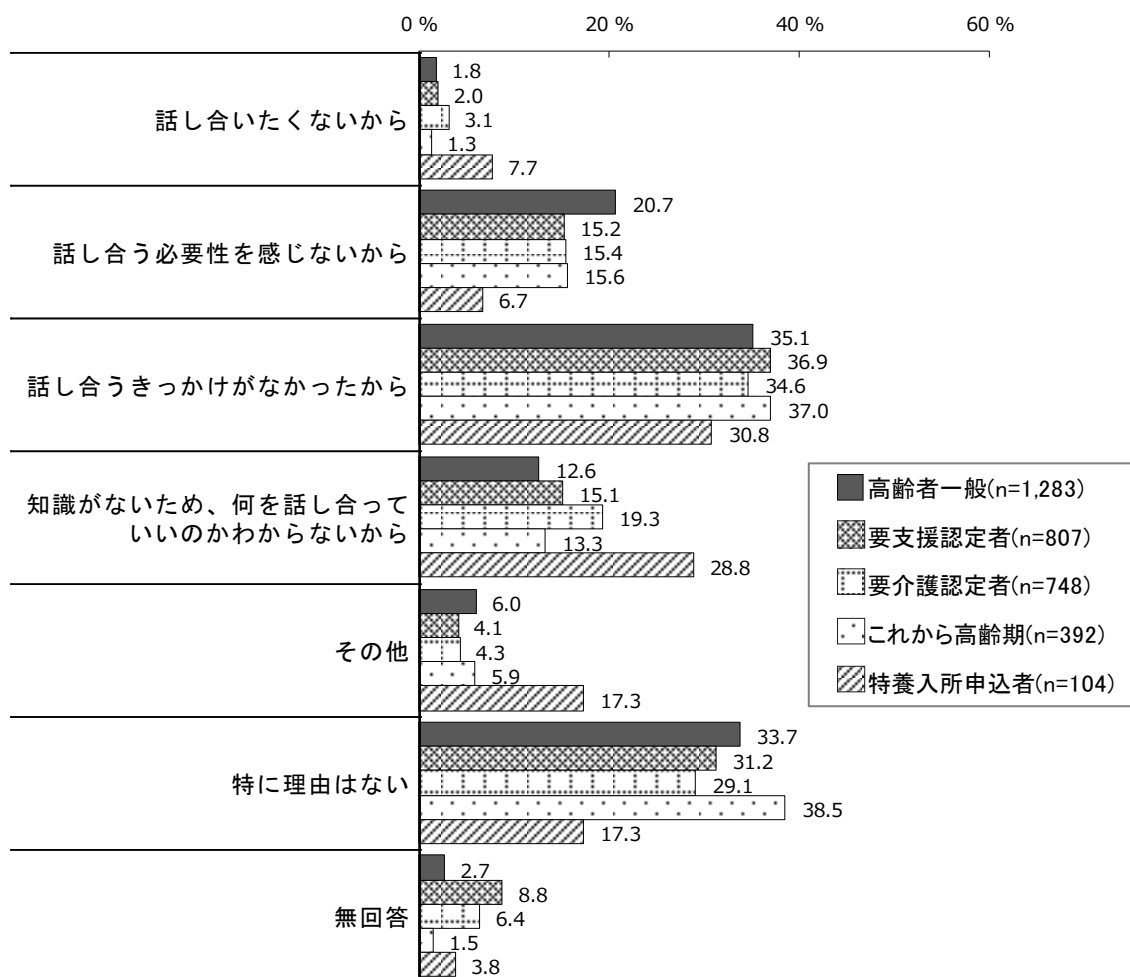


③話し合ったことがない理由

○“話し合っていない”と回答した人の理由は、高齢者一般、要支援認定者、要介護認定者および特養入所申込者では、「話し合うきっかけがなかったから」が最も高く、それぞれ35.1%、36.9%、34.6%、30.8%となっている。

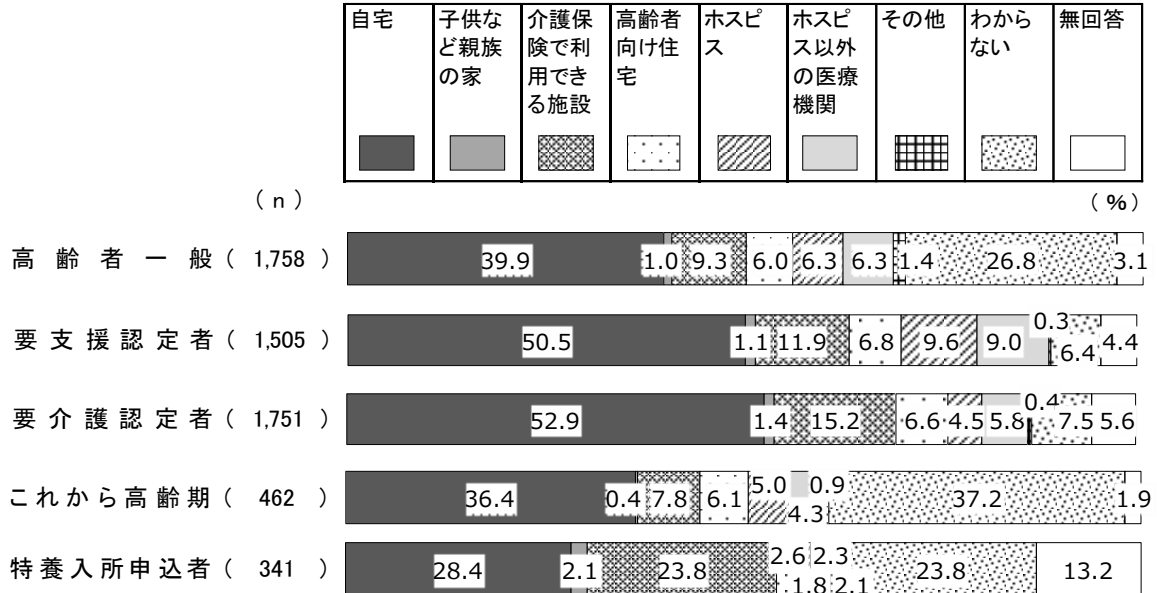
○これから高齢期では「特に理由はない」が38.5%で最も高くなっている。

(複数回答)



④人生の最期を迎えたい場所

- 人生の最期を迎えたい場所は、高齢者一般、要支援認定者、要介護認定者および特養入所申込者では、「自宅」が最も高く、それぞれ39.9%、50.5%、52.9%、28.4%となっている。
- これから高齢期では、「わからない」が37.2%で最も高くなっている。



[人生の最期を迎えたい場所<世帯構成別(高齢者一般)>]

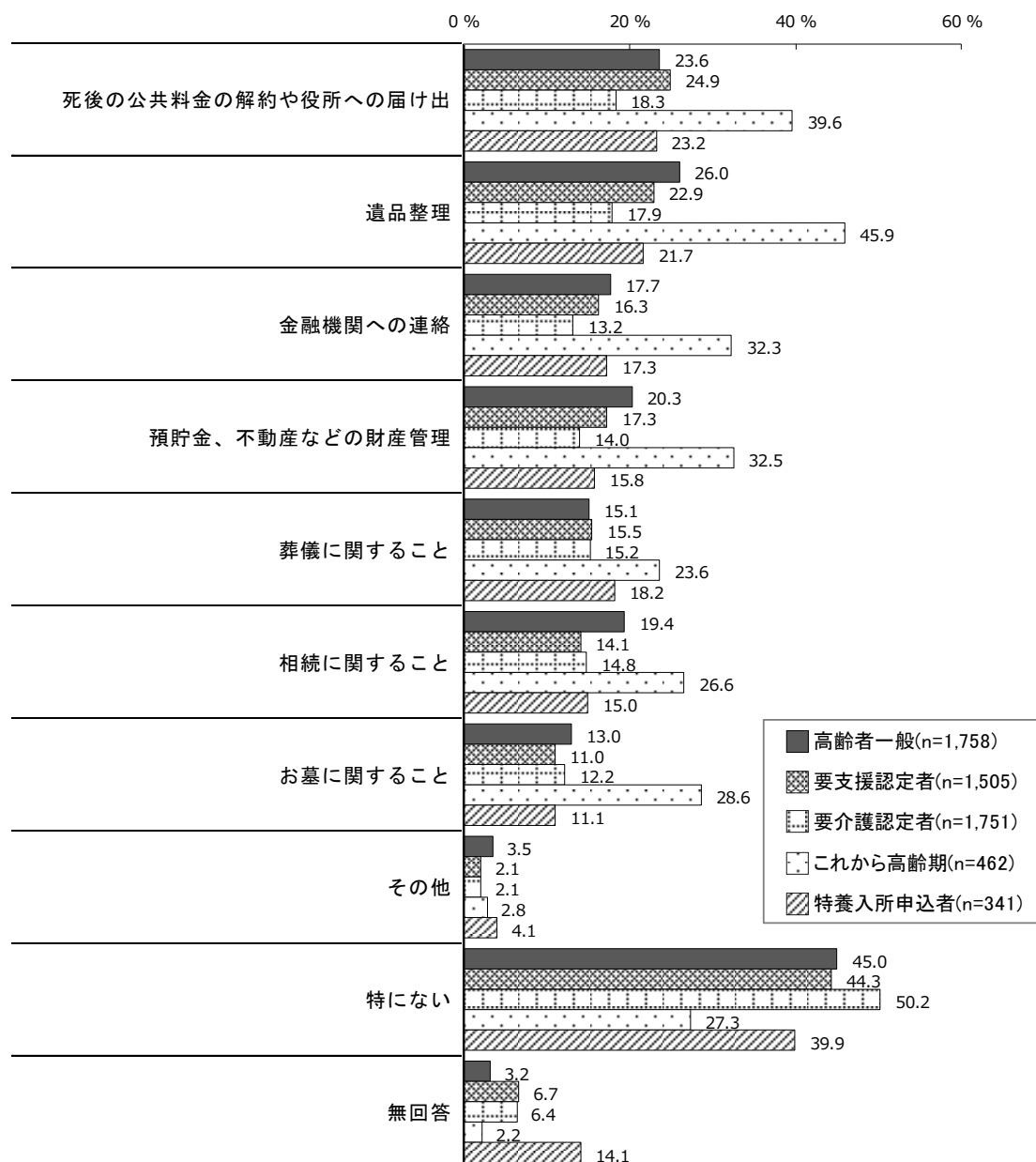
- 世帯構成別にみると、「1人暮らし」は、「自宅」が32.2%で他の世帯構成と比べて低くなっている。

	n	自宅	子供など親族の家	介護保険で利用できる施設	高齢者向け住宅	ホスピス	ホスピス以外の医療機関	その他	わからない	無回答
全体	1,758	39.9	1.0	9.3	6.0	6.3	6.3	1.4	26.8	3.1
1人暮らし	593	32.2	1.3	11.3	8.3	7.4	6.4	1.5	27.0	4.6
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	423	40.7	-	10.4	6.4	7.1	7.3	1.7	25.1	1.4
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	104	44.2	-	7.7	8.7	2.9	3.8	-	30.8	1.9
子との2世帯	334	50.9	1.8	9.0	1.5	5.1	5.7	0.9	24.3	0.9
その他	246	40.2	1.2	4.9	4.9	6.1	5.7	2.0	31.3	3.7

⑤終末期・死後の手続等で不安なこと

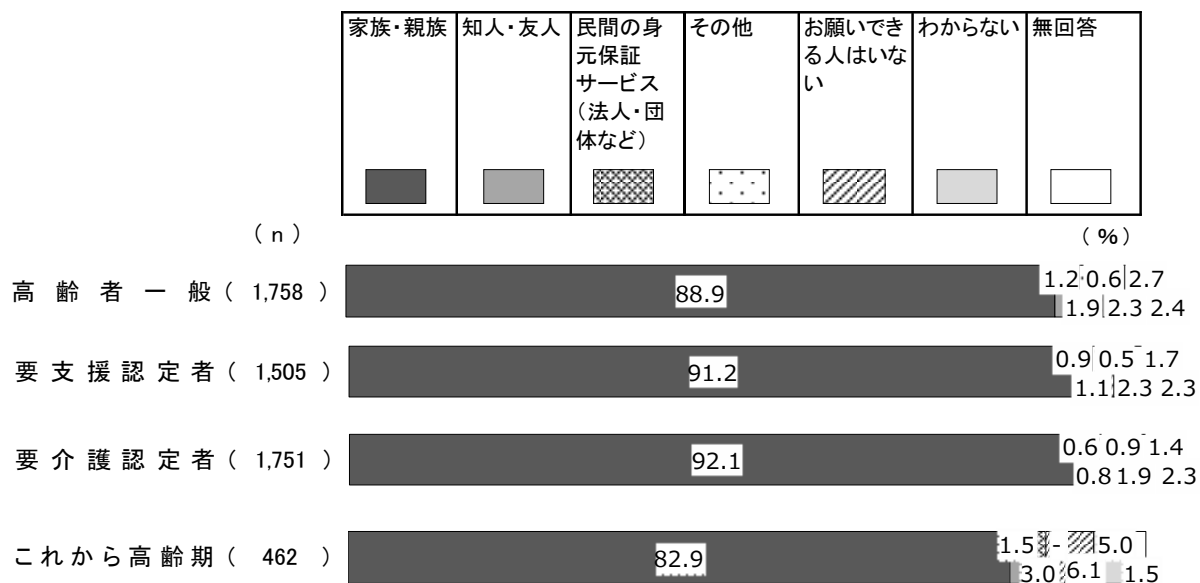
- 高齢者一般では、「特にない」(45.0%)が最も高く、次いで「遺品整理」(26.0%)の順となっている。
- 要支援認定者では、「特にない」(44.3%)が最も高く、次いで「死後の公共料金の解約や役所への届け出」(24.9%)の順となっている。
- 要介護認定者では、「特にない」(50.2%)が最も高く、次いで「死後の公共料金の解約や役所への届け出」(18.3%)の順となっている。
- これから高齢期では、「遺品整理」(45.9%)が最も高く、次いで「死後の公共料金の解約や役所への届け出」(39.6%)の順となっている。
- 特養入所申込者では、「特にない」(39.9%)が最も高く、次いで「死後の公共料金の解約や役所への届け出」(23.2%)の順となっている。

(複数回答)



⑥身元保証人を依頼する人

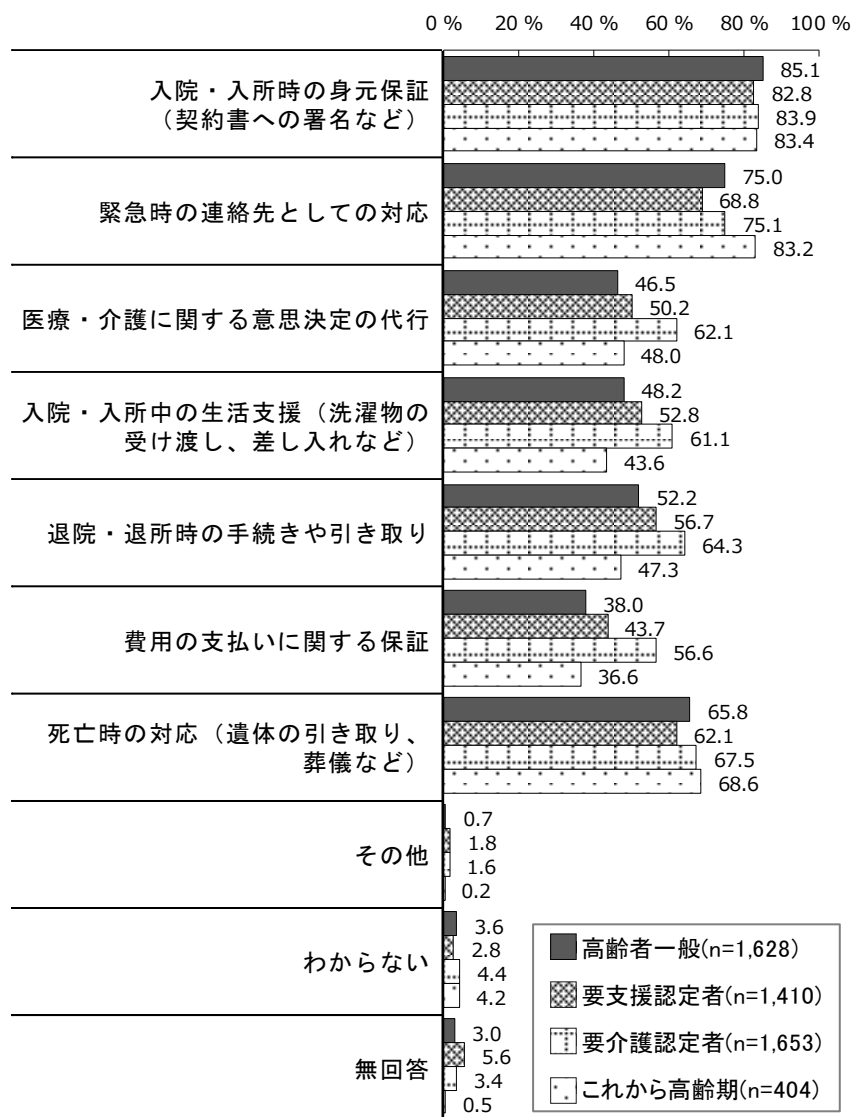
○いずれの調査でも「家族・親族」が最も高く、8割から9割となっている。



⑦身元保証人に依頼したい内容

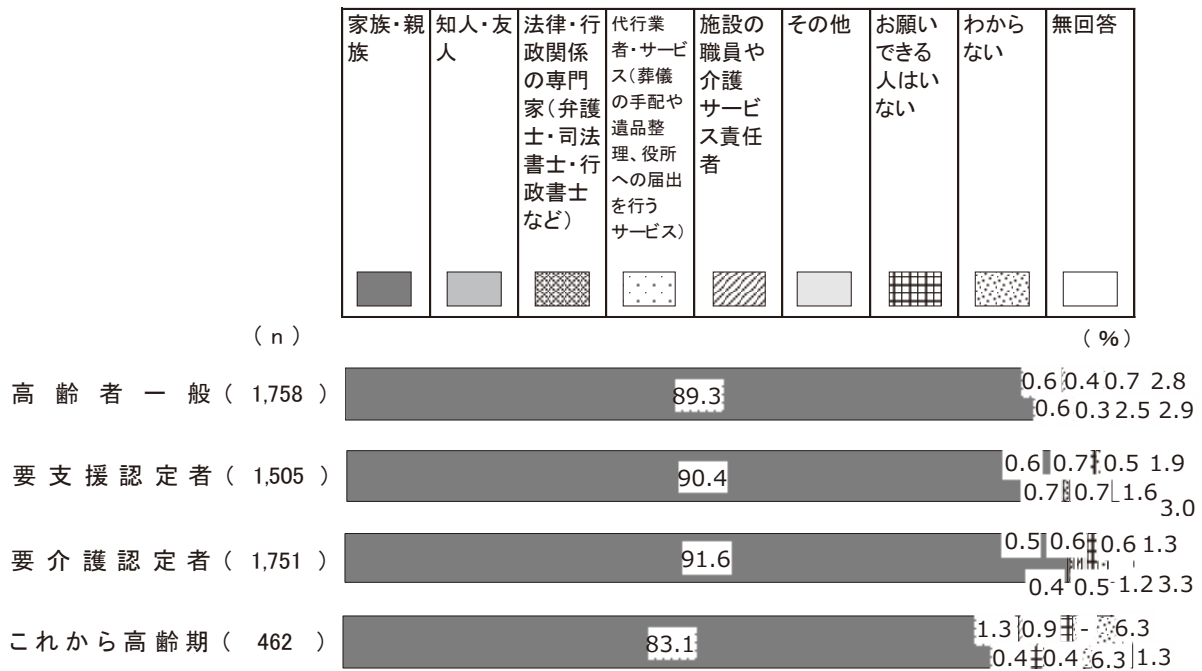
○いずれの調査でも「入院・入所時の身元保証（契約書への署名など）」が最も高く、高齢者一般で85.1%、要支援認定者で82.8%、要介護認定者で83.9%、これから高齢期で83.4%となっている。

(複数回答)



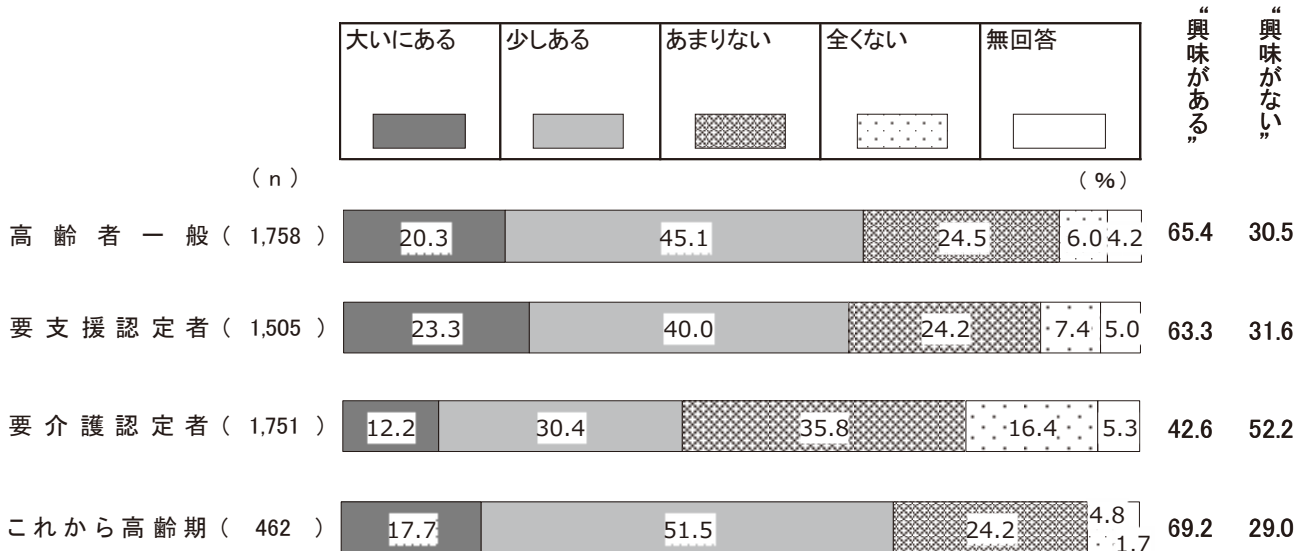
⑧死後の手続きを依頼できる人

○いずれの調査でも「家族・親族」が最も高く、高齢者一般で89.3%、要支援認定者で90.4%、要介護認定者で91.6%、これから高齢期で83.1%となっている。



⑨終活への興味

○“興味がある”(「大いにある」と「少しある」の合計)は、高齢者一般で65.4%、要支援認定者で63.3%、要介護認定者で42.6%、これから高齢期で69.2%となっている。



[終活への興味<経年比較(高齢者一般)>]

○令和4年度の調査結果と比較すると、“興味がある”が4.0ポイント高くなっている。

		(%)						
	n	大いにある	少しある	あまりない	全くない	無回答	興味がある	興味がない
令和7年度	1,758	20.3	45.1	24.5	6.0	4.2	65.4	30.5
令和4年度	1,516	17.0	44.5	28.4	6.9	3.3	61.4	35.3

[終活への興味<性・年代別(高齢者一般)>]

○性・年代別にみると、「前期高齢者」および「後期高齢者」とともに「女性」は、“興味がある”が「男性」と比べて高くなっている。

		(%)						
	n	大いにある	少しある	あまりない	全くない	無回答	興味がある	興味がない
全体	1,758	20.3	45.1	24.5	6.0	4.2	65.4	30.5
男性・前期高齢者 (65歳-74歳)	294	14.6	47.6	31.6	5.8	0.3	62.2	37.4
男性・後期高齢者 (75歳以上)	392	15.1	39.8	30.9	9.7	4.6	54.9	40.6
女性・前期高齢者 (65歳-74歳)	352	25.3	50.0	18.5	4.0	2.3	75.3	22.5
女性・後期高齢者 (75歳以上)	666	23.0	44.7	21.5	5.0	5.9	67.7	26.5

[終活への興味<要介護度別(要支援認定者、要介護認定者)>]

○要介護度別にみると、「要介護1～2」は“興味がある”が46.1%で「要介護3～5」(38.1%)と比べて高くなっている。

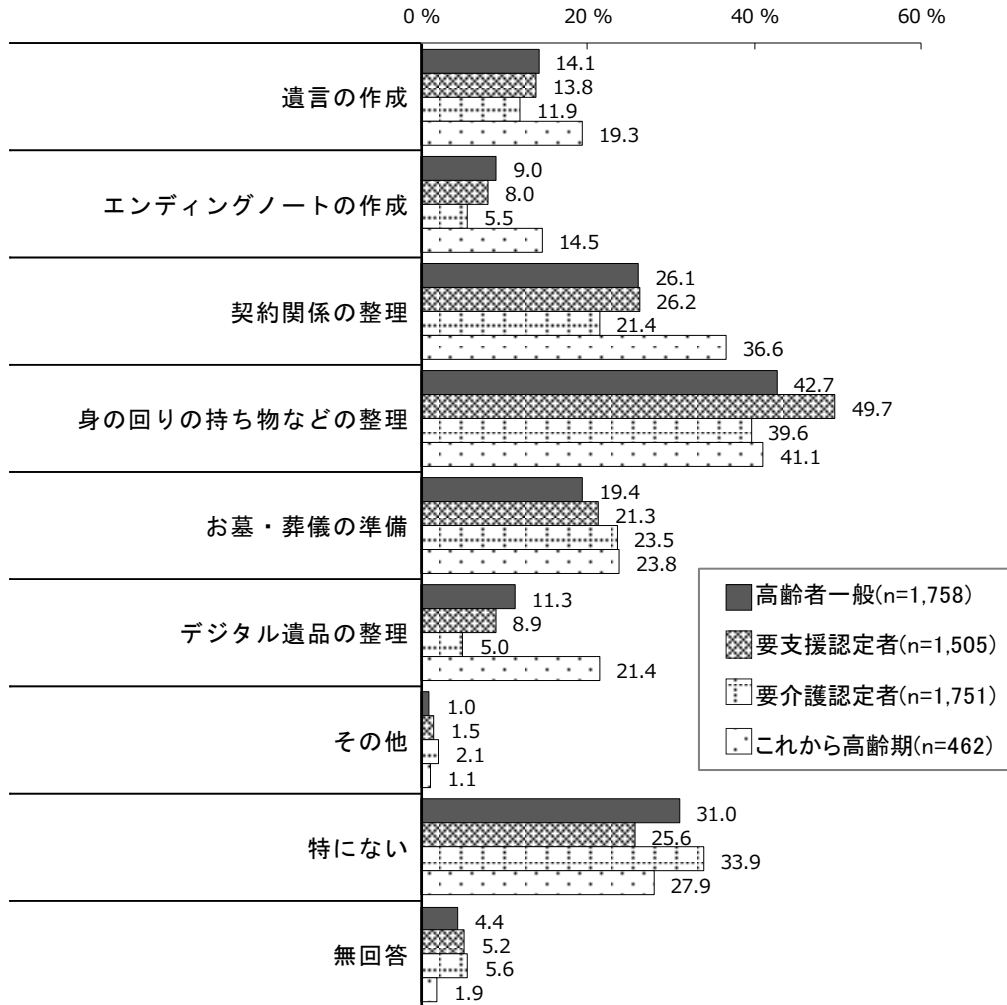
		(%)						
	n	大いにある	少しある	あまりない	全くない	無回答	興味がある	興味がない
要支援認定者	1,505	23.3	40.0	24.2	7.4	5.0	63.3	31.6
要介護1～2	986	14.1	32.0	34.9	14.1	4.9	46.1	49.0
要介護3～5	765	9.7	28.4	36.9	19.3	5.8	38.1	56.2
わからない	133	19.5	37.6	24.8	13.5	4.5	57.1	38.3

⑩終活に関して手助けが必要なこと

○いずれの調査でも「身の回りの持ち物などの整理」が最も高く、高齢者一般で42.7%、要支援認定者で49.7%、要介護認定者で39.6%、これから高齢期で41.1%となっている。

○これから高齢期では、「契約関係の整理」が36.6%、「デジタル遺品の整理」が21.4%と他の調査と比べて高くなっている。

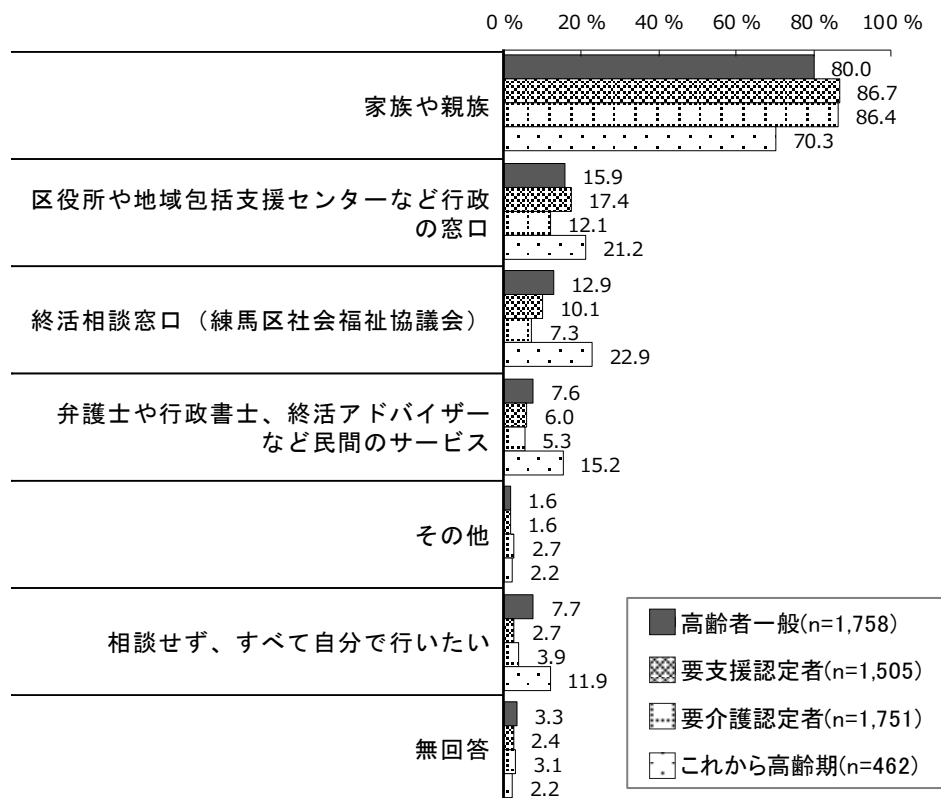
(複数回答)



①終活に関して希望する相談先

- いずれの調査でも「家族や親族」が最も高く、7割から8割となっている。
- これから高齢期では、「終活相談窓口（練馬区社会福祉協議会）」が22.9%、「区役所や地域包括支援センターなど行政の窓口」が21.2%、「弁護士や行政書士、終活アドバイザーなど民間のサービス」が15.2%と他の調査と比べて高くなっている。

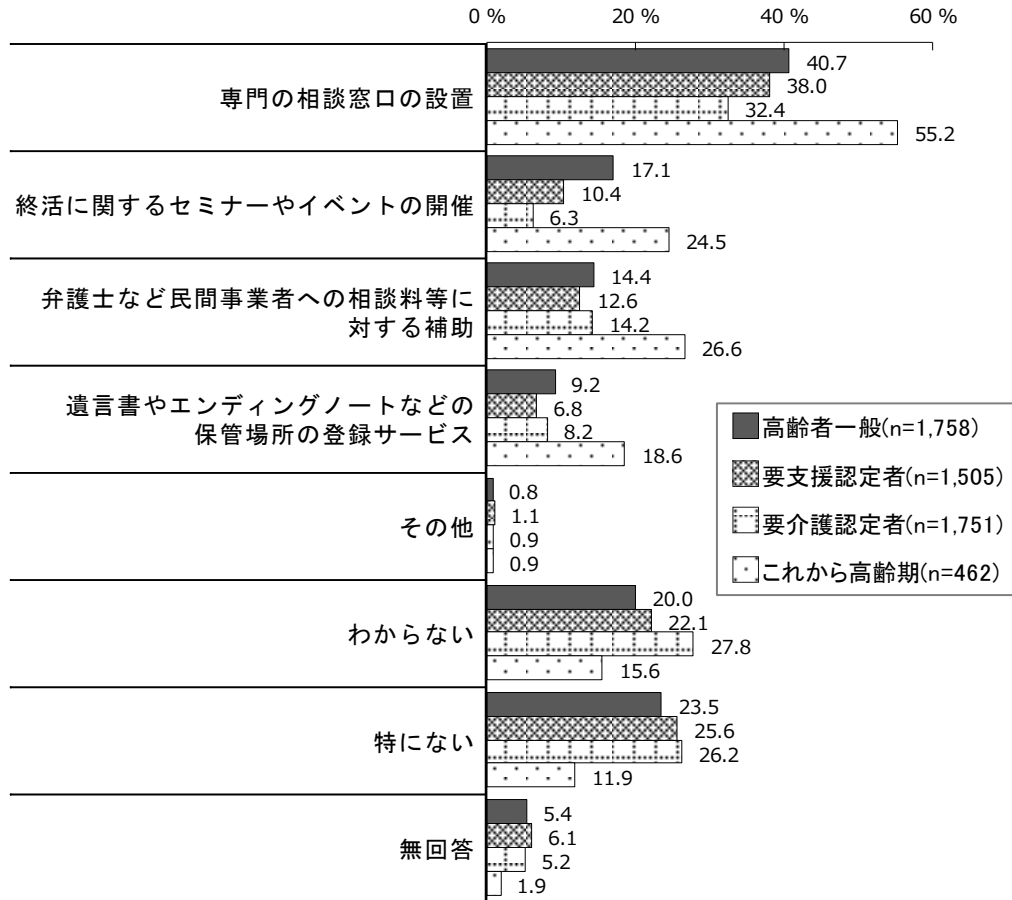
(複数回答)



⑫終活に関して区へ求める支援

○いずれの調査でも「専門の相談窓口の設置」が最も高く、3割から5割となっている。

(複数回答)



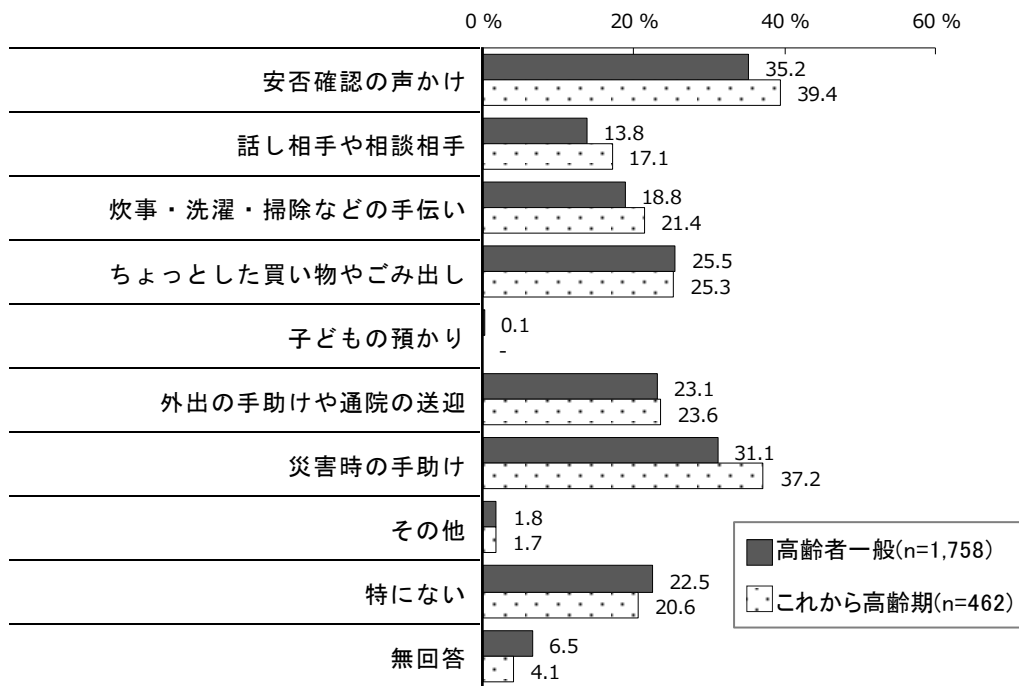
7. たすけあい

(1) 手助け

①地域の人たちにしてほしい手助け

○高齢や病気、事故などで日常生活が不自由になったとき、地域の人たちにしてほしい手助けは、いずれの調査でも「安否確認の声かけ」が最も高く、高齢者一般で35.2%、これから高齢期で39.4%、次いで「災害時の手助け」がそれぞれ31.1%、37.2%となっている。

(○は3つまで)

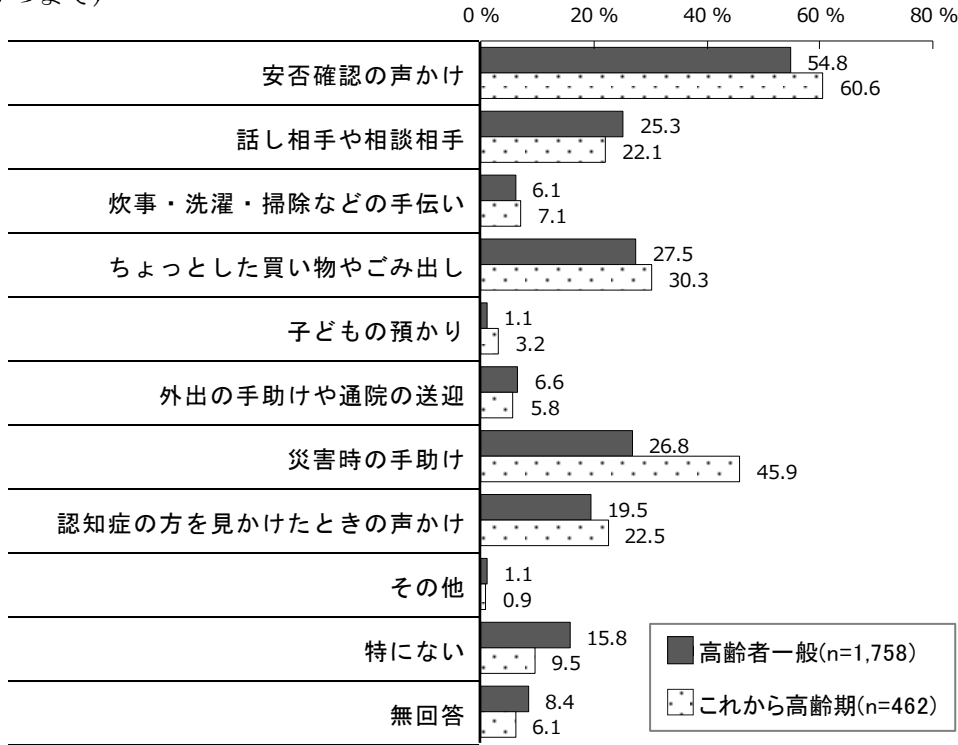


②地域の支え合いとして自身ができること

○高齢者一般では、「安否確認の声かけ」(54.8%)が最も高く、次いで、「ちょっとした買い物やごみ出し」(27.5%)の順となっている。

○これから高齢期では、「安否確認の声かけ」(60.6%)が最も高く、次いで、「災害時の手助け」(45.9%)の順となっている。

(○は3つまで)

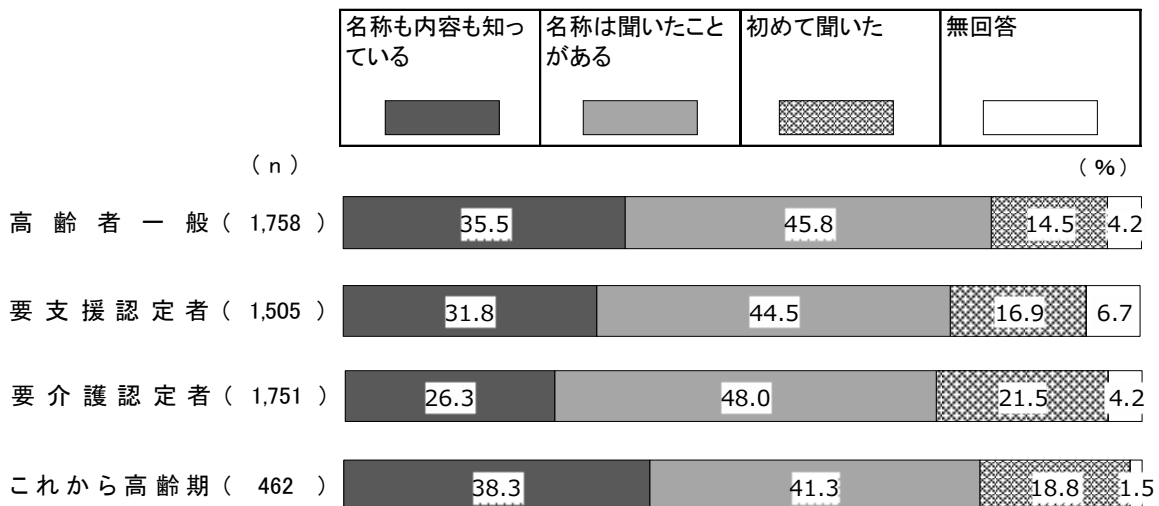


(2) 成年後見制度

①成年後見制度の認知度

○「名称も内容も知っている」は、高齢者一般で35.5%、要支援認定者で31.8%、要介護認定者で26.3%、これから高齢期で38.3%となっている。

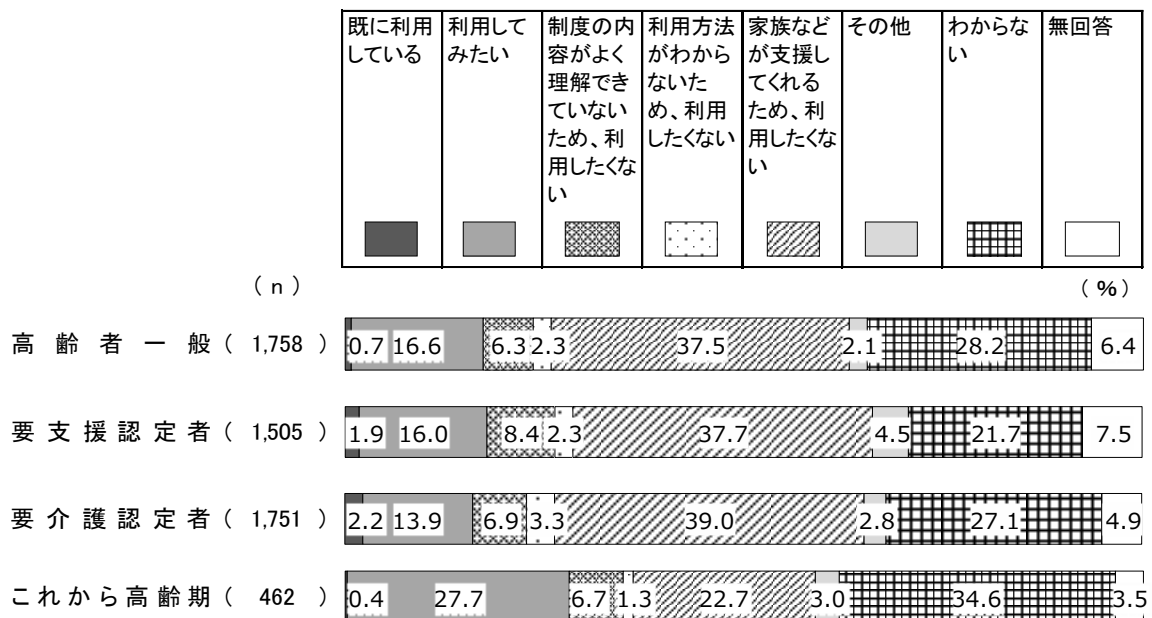
○「初めて聞いた」は、高齢者一般で14.5%、要支援認定者で16.9%、要介護認定者で21.5%、これから高齢期で18.8%となっている。



②成年後見制度の利用意向

○高齢者一般、要支援認定者および要介護認定者では、「家族などが支援してくれるため、利用したくない」が3割台で最も高くなっている。

○これから高齢期では、「利用してみたい」(27.7%)が最も高くなっている。



[成年後見制度の利用意向<子どもの有無別(高齢者一般、要支援認定者、要介護認定者)>]

○子どもの有無別にみると、高齢者一般、要支援認定者および要介護認定者いずれも、「いない」は、「利用してみたい」がそれぞれ21.3%、22.5%、23.7%で「いる」と比べて高くなっている。

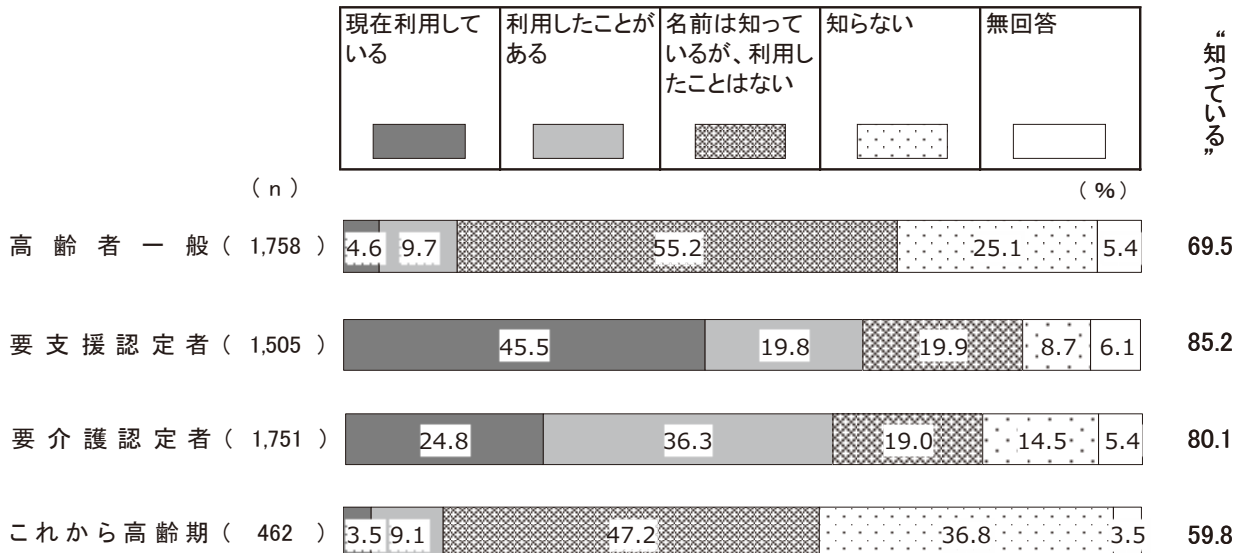
	n	既に利用している	利用してみたい	制度の内容がよく理解できていないため、利用したくない	利用方法がわからないため、利用したくない	家族などが支援してくれるため、利用したくない	その他	わからない	無回答
高齢者一般	1,758	0.7	16.6	6.3	2.3	37.5	2.1	28.2	6.4
いる	1,358	0.5	15.5	5.4	2.1	43.8	1.8	25.0	5.7
いない	357	1.4	21.3	8.4	3.1	16.0	3.6	40.3	5.9
要支援認定者	1,505	1.9	16.0	8.4	2.3	37.7	4.5	21.7	7.5
いる	1,189	1.5	15.5	7.2	2.1	44.6	4.0	21.6	3.4
いない	240	4.2	22.5	15.8	4.2	14.2	7.9	27.1	4.2
要介護認定者	1,751	2.2	13.9	6.9	3.3	39.0	2.8	27.1	4.9
いる	1,477	1.6	12.7	6.8	2.8	43.5	2.8	27.2	2.6
いない	232	6.9	23.7	8.6	6.5	16.4	3.0	30.6	4.3

8. 地域包括支援センター

(1) 地域包括支援センターの認知度

○ “知っている”（「現在利用している」、「利用したことがある」、「名前は知っているが、利用したことはない」の合計）は、高齢者一般で69.5%、要支援認定者で85.2%、要介護認定者で80.1%、これから高齢期で59.8%となっている。

○いずれの調査でも “知っている” が「知らない」を上回っている。



[地域包括支援センターの認知度<性・年代別(高齢者一般)>]

○性・年代別にみると、「前期高齢者」および「後期高齢者」とともに「女性」は、“知っている” が「男性」と比べて高くなっている。

	n	現在利用している	利用したことがある	名前は知っているが、利用したことはない	知らない	無回答	知っている
全体	1,758	4.6	9.7	55.2	25.1	5.4	69.5
男性・前期高齢者 (65歳-74歳)	294	1.4	6.5	46.3	42.2	3.7	54.2
男性・後期高齢者 (75歳以上)	392	4.3	4.6	55.1	32.7	3.3	64.0
女性・前期高齢者 (65歳-74歳)	352	2.0	11.9	62.2	19.3	4.5	76.1
女性・後期高齢者 (75歳以上)	666	7.4	13.1	56.5	16.5	6.6	77.0

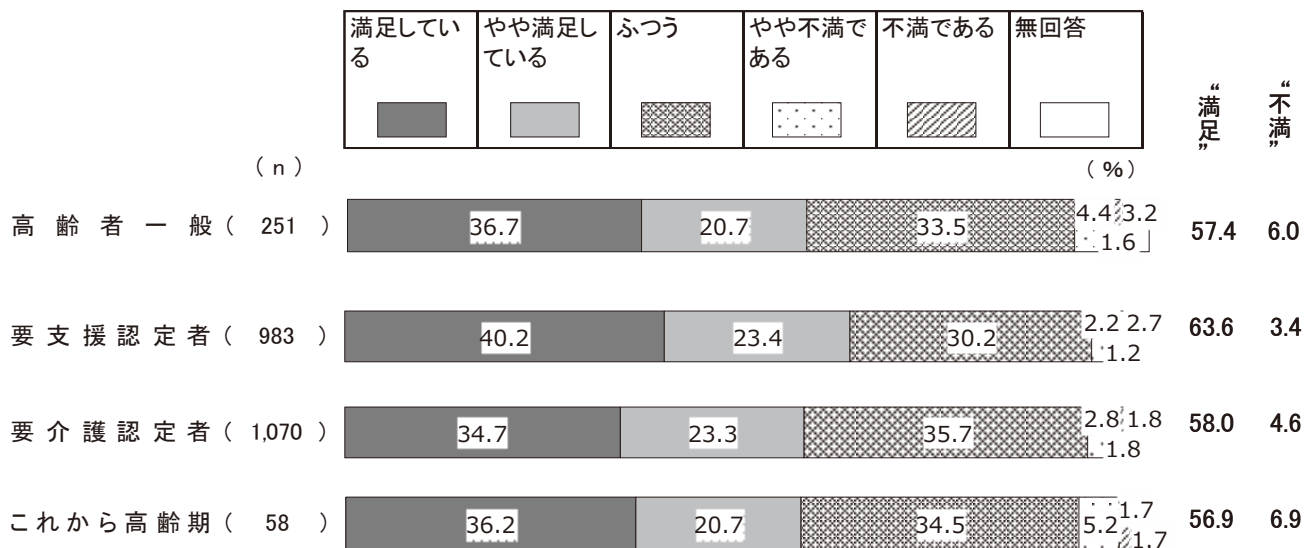
[地域包括支援センターの認知度<経年比較(高齢者一般)>]

○令和4年度の調査結果と比較すると、“知っている”が6.6ポイント高くなっている。

	n	(%)					知っている
		現在利用している	利用したことがある	名前は知っているが、利用したことはない	知らない	無回答	
令和7年度	1,758	4.6	9.7	55.2	25.1	5.4	69.5
令和4年度	1,516	2.9	7.0	53.0	32.3	4.7	62.9

(2) 地域包括支援センターの満足度

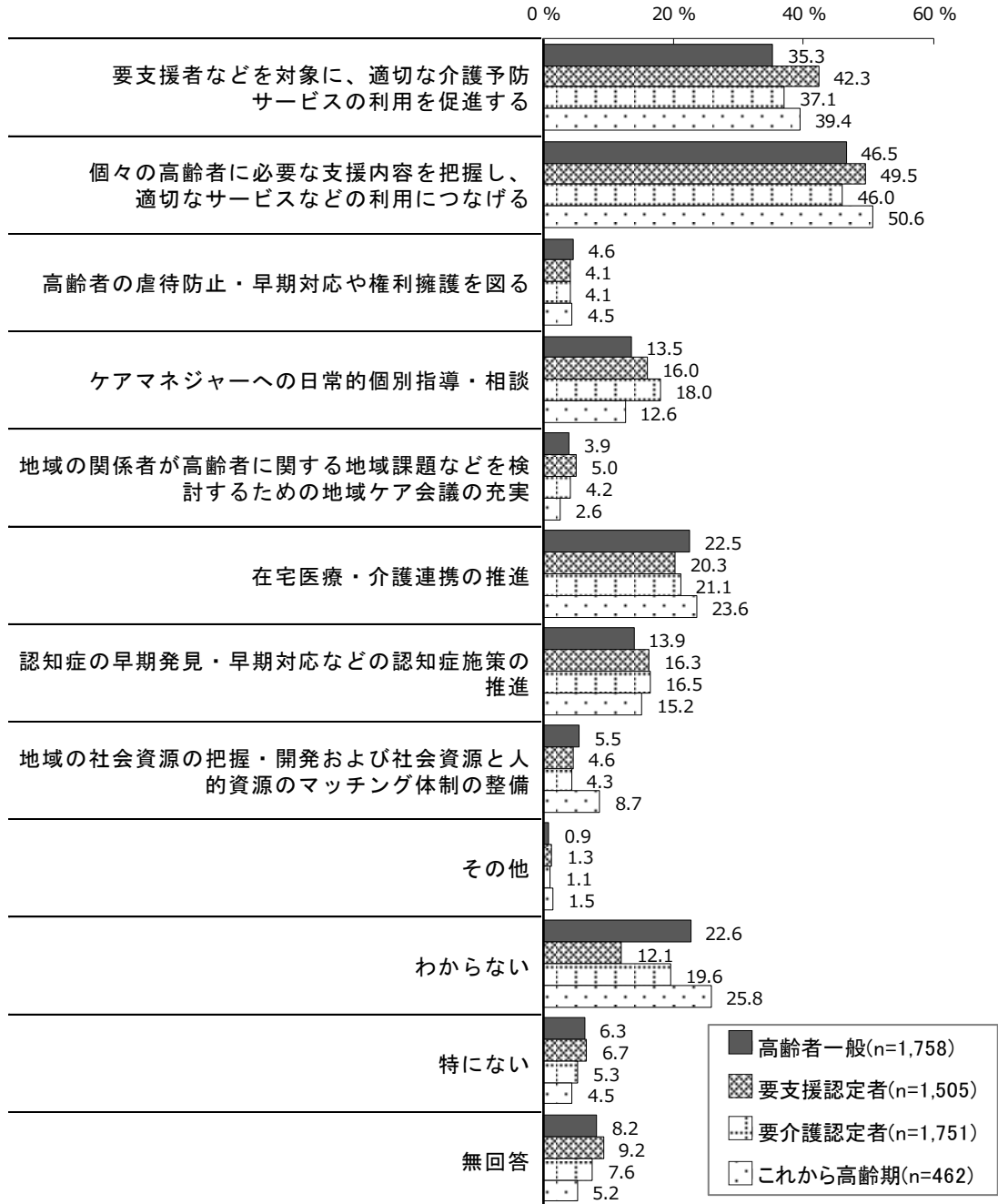
○地域包括支援センターを利用したことがあると回答した人の満足度は、“満足”（「満足している」と「やや満足している」の合計）が、高齢者一般で57.4%、要支援認定者で63.6%、要介護認定者で58.0%、これから高齢期で56.9%と、“不満”（「不満である」と「やや不満である」の合計）を上回っている。



(3) 地域包括支援センターに期待する役割

○いずれの調査でも「個々の高齢者に必要な支援内容を把握し、適切なサービスなどの利用につなげる」が最も高く、高齢者一般で46.5%、要支援認定者で49.5%、要介護認定者で46.0%、これから高齢期で50.6%となっている。

(○は3つまで)

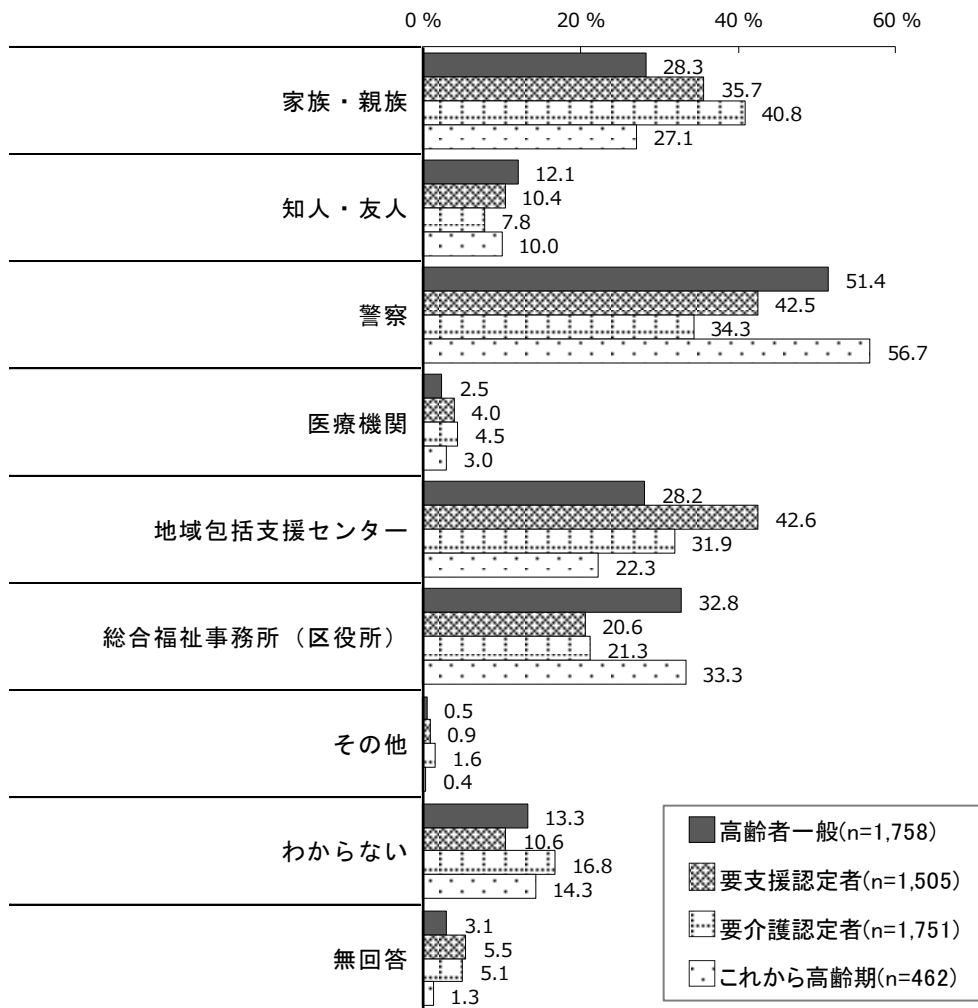


(4) 高齢者の虐待

①高齢者虐待の相談先

- 高齢者一般では、「警察」(51.4%)が最も高く、次いで「総合福祉事務所(区役所)」(32.8%)の順となっている。
- 要支援認定者では、「地域包括支援センター」(42.6%)が最も高く、次いで「警察」(42.5%)の順となっている。
- 要介護認定者では、「家族・親族」(40.8%)が最も高く、次いで「警察」(34.3%)の順となっている。
- これから高齢期では、「警察」(56.7%)が最も高く、次いで「総合福祉事務所(区役所)」(33.3%)の順となっている。

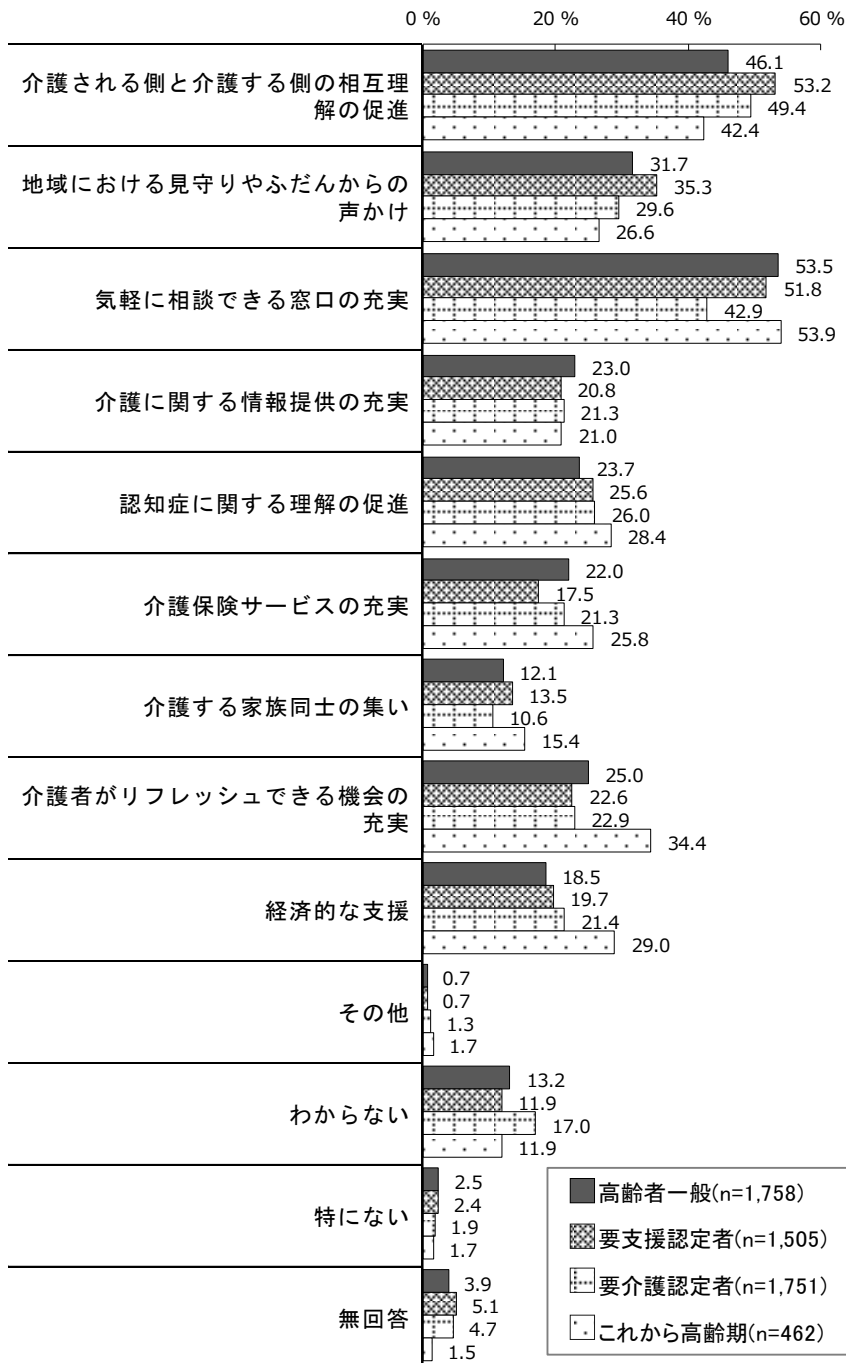
(複数回答)



②高齢者虐待を防止するために必要なこと

- 高齢者一般では、「気軽に相談できる窓口の充実」(53.5%)が最も高く、次いで「介護される側と介護する側の相互理解の促進」(46.1%)の順となっている。
- 要支援認定者では、「介護される側と介護する側の相互理解の促進」(53.2%)が最も高く、次いで「気軽に相談できる窓口の充実」(51.8%)の順となっている。
- 要介護認定者では、「介護される側と介護する側の相互理解の促進」(49.4%)が最も高く、次いで「気軽に相談できる窓口の充実」(42.9%)の順となっている。
- これから高齢期では、「気軽に相談できる窓口の充実」(53.9%)が最も高く、次いで「介護される側と介護する側の相互理解の促進」(42.4%)の順となっている。

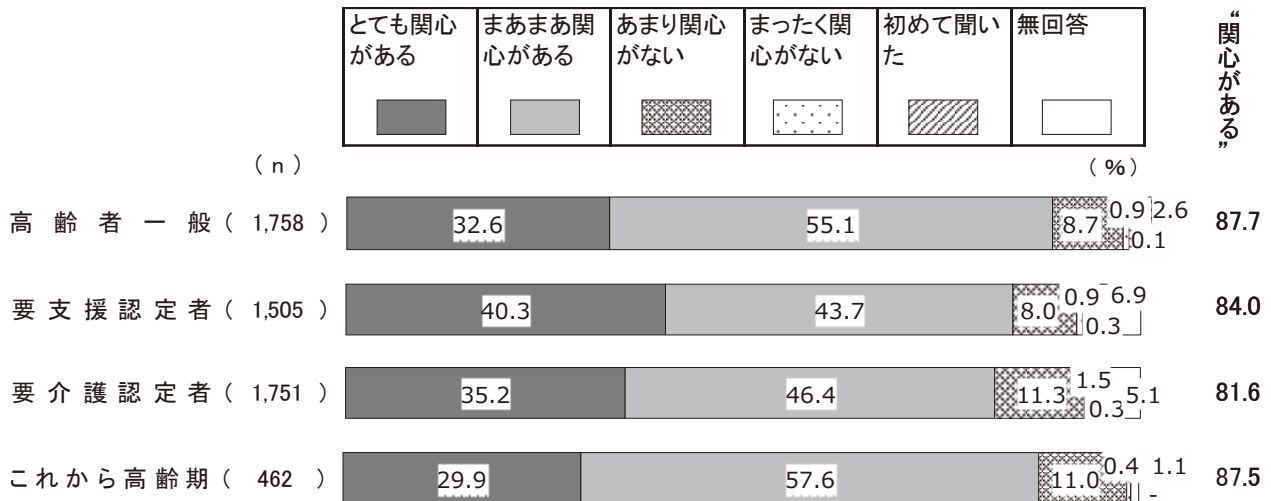
(複数回答)



(5) 認知症

①認知症への関心の程度

○“関心がある”（「とても関心がある」と「まあまあ関心がある」の合計）は、高齢者一般で87.7%、要支援認定者で84.0%、要介護認定者で81.6%、これから高齢期で87.5%となっている。



[認知症への関心の程度<性・年代別(高齢者一般)>]

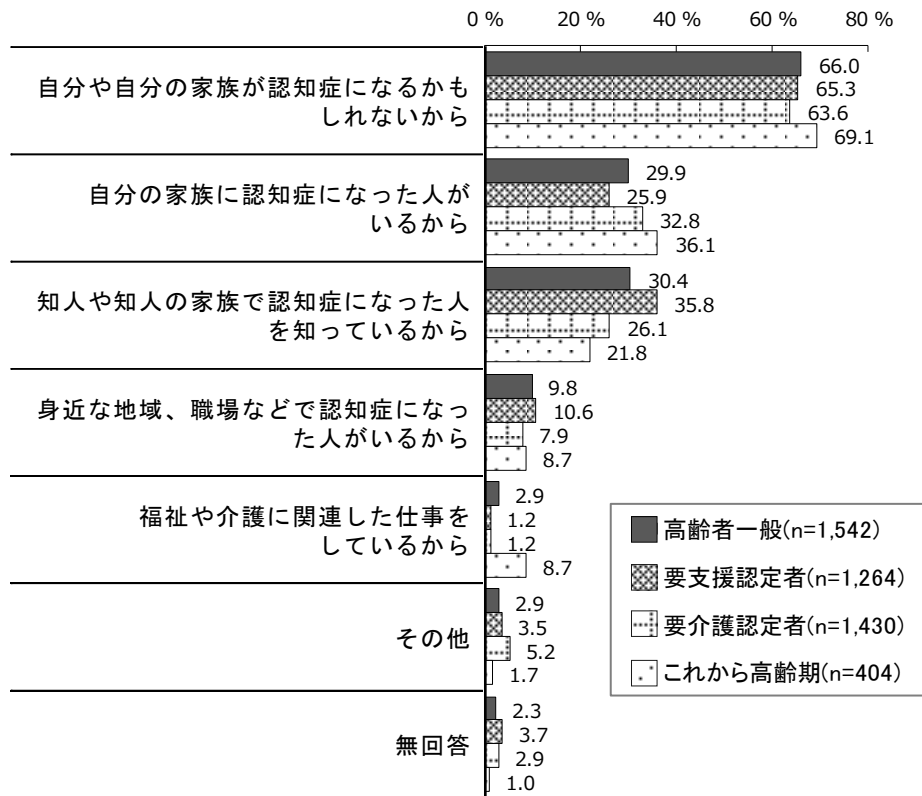
○性・年代別にみると、大きな違いはみられない。

	n	(%)						関心がある
		とても関心がある	まあまあ関心がある	あまり関心がない	まったく関心がない	初めて聞いた	無回答	
全体	1,758	32.6	55.1	8.7	0.9	0.1	2.6	87.7
男性・前期高齢者 (65歳-74歳)	294	23.5	63.3	11.6	1.0	-	0.7	86.8
男性・後期高齢者 (75歳以上)	392	30.4	53.3	13.0	1.3	0.3	1.8	83.7
女性・前期高齢者 (65歳-74歳)	352	27.6	63.4	6.0	0.6	-	2.6	91.0
女性・後期高齢者 (75歳以上)	666	40.4	49.4	5.9	0.9	-	3.5	89.8

②認知症に関心がある理由

- 認知症に関心があると回答した人の理由は、高齢者一般では、「自分や自分の家族が認知症になるかもしれないから」(66.0%)が最も高く、次いで「知人や知人の家族で認知症になった人を知っているから」(30.4%)の順となっている。
- 要支援認定者では、「自分や自分の家族が認知症になるかもしれないから」(65.3%)が最も高く、次いで「知人や知人の家族で認知症になった人を知っているから」(35.8%)の順となっている。
- 要介護認定者では、「自分や自分の家族が認知症になるかもしれないから」(63.6%)が最も高く、次いで「自分の家族に認知症になった人がいるから」(32.8%)の順となっている。
- これから高齢期では、「自分や自分の家族が認知症になるかもしれないから」(69.1%)が最も高く、次いで「自分の家族に認知症になった人がいるから」(36.1%)の順となっている。

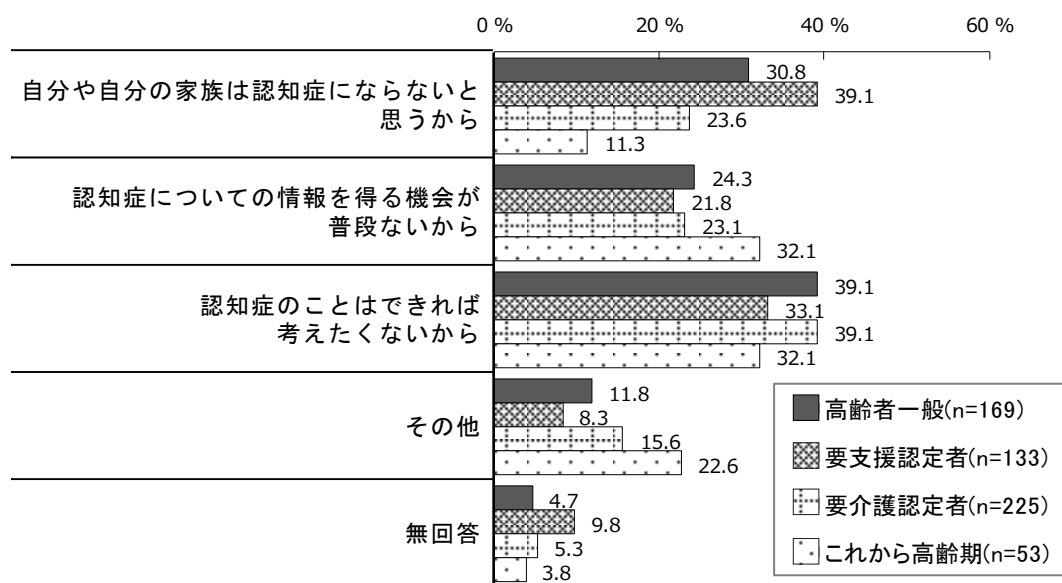
(複数回答)



③認知症に関心がない理由

- 高齢者一般、要介護認定者では、「認知症のことはできれば考えたくないから」が最も高く、どちらも39.1%となっている。
- 要支援認定者では、「自分や自分の家族は認知症にはならないと思うから」が最も高く、39.1%となっている。
- これから高齢期では、「認知症についての情報を得る機会が普段ないから」および「認知症のことはできれば考えたくないから」が最も高く、ともに32.1%となっている。

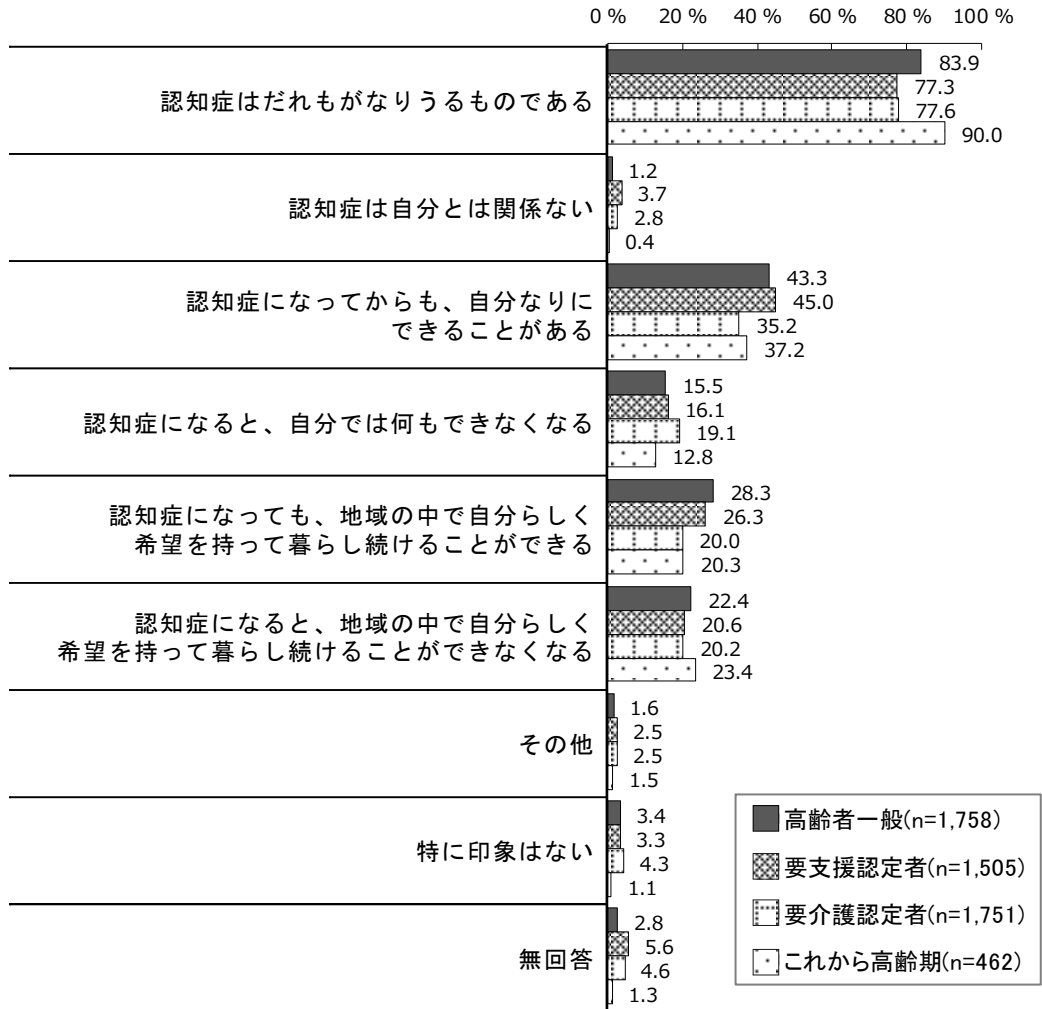
(複数回答)



④認知症の印象

○いずれの調査でも「認知症はだれもがなりうるものである」が最も高く、高齢者一般で83.9%、要支援認定者で77.3%、要介護認定者で77.6%、これから高齢期で90.0%となっている。

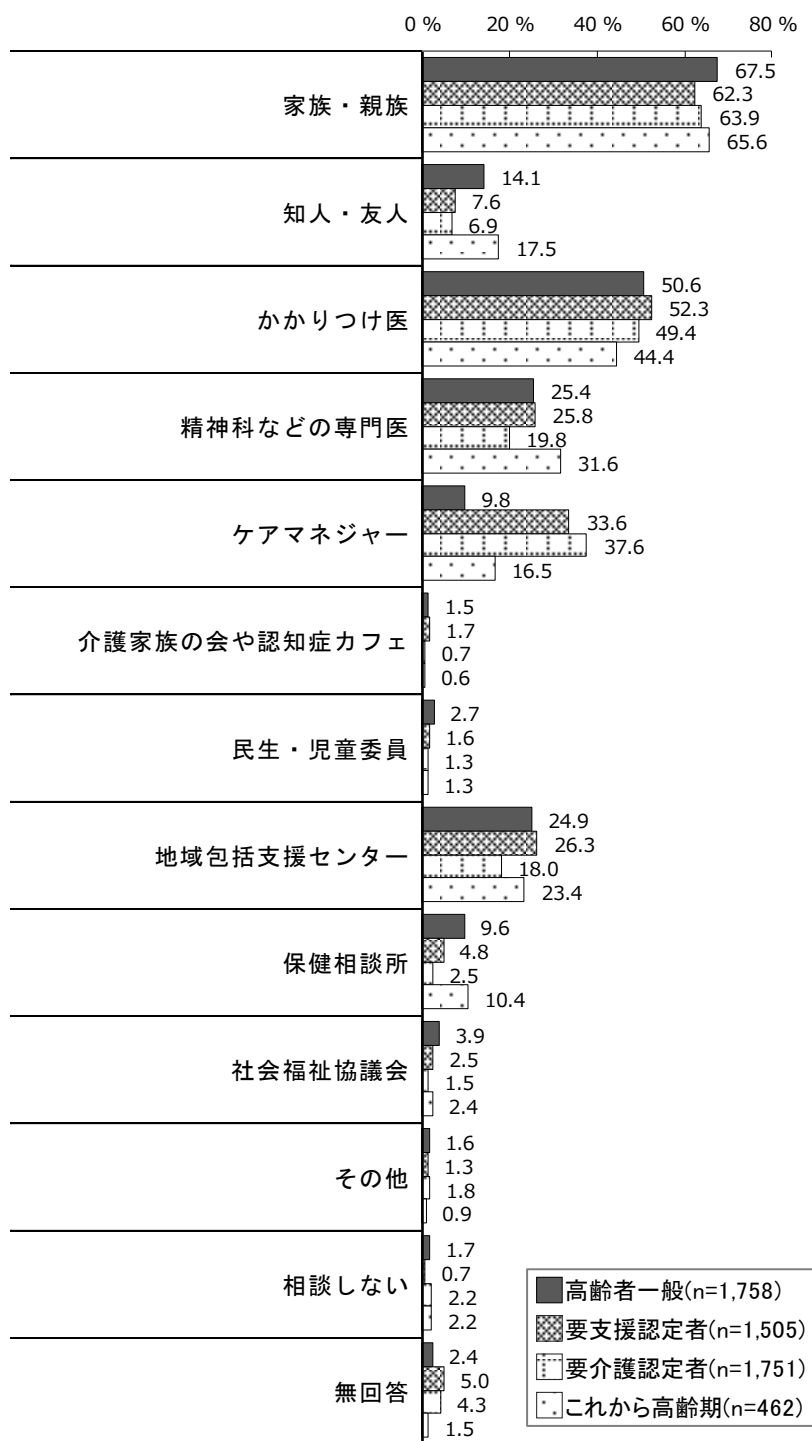
(複数回答)



⑤認知症ではないかと感じたときの相談先

- いずれの調査でも「家族・親族」が最も高く、高齢者一般で67.5%、要支援認定者で62.3%、要介護認定者で63.9%、これから高齢期で65.6%となっている。
- 「ケアマネジャー」は要支援認定者が33.6%、要介護認定者が37.6%と他の調査と比べて高くなっている。

(複数回答)

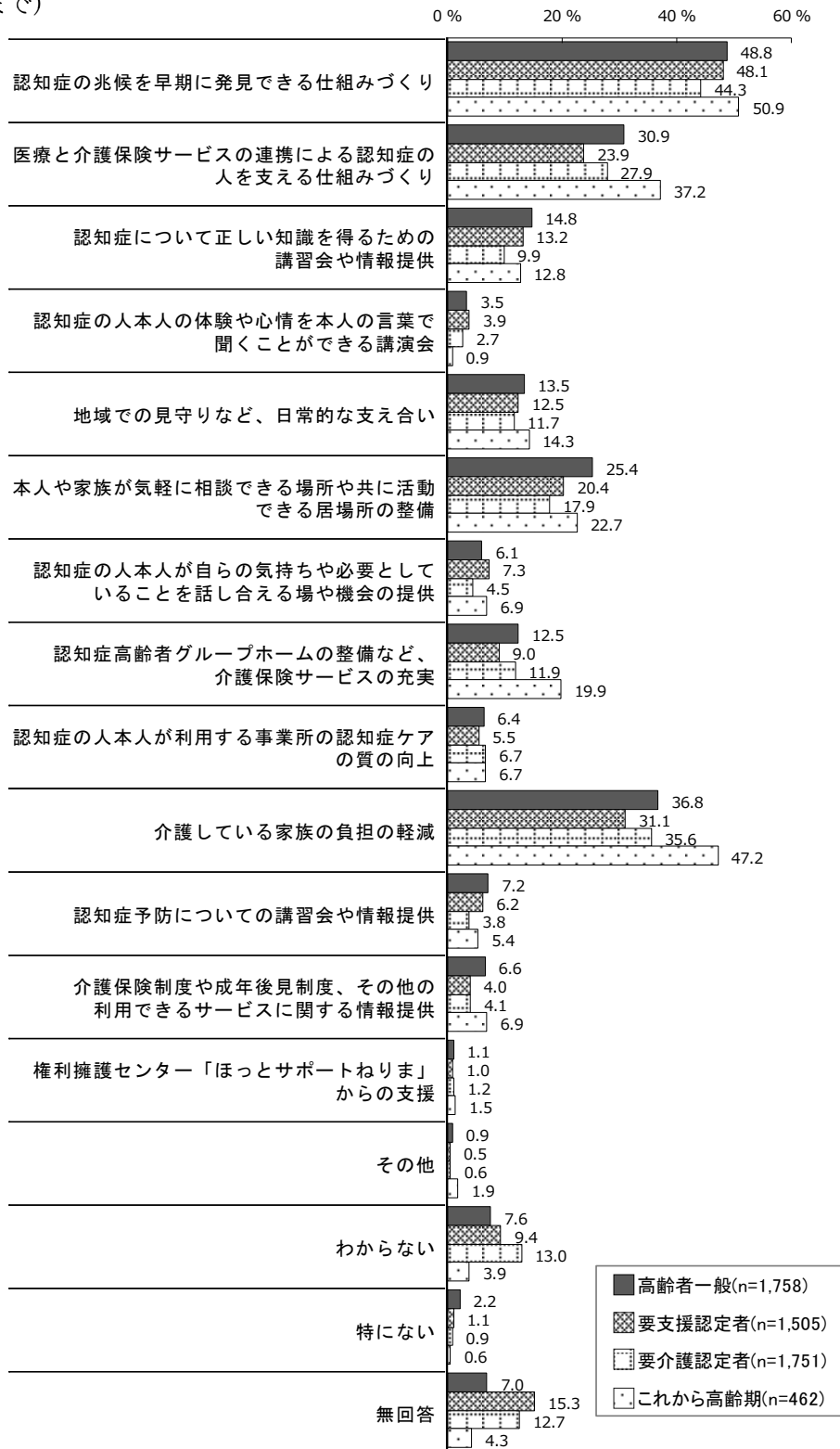


⑥認知症施策で必要なこと

○いずれの調査でも「認知症の兆候を早期に発見できる仕組みづくり」が最も高く、高齢者一般で48.8%、要支援認定者で48.1%、要介護認定者で44.3%、これから高齢期で50.9%となっている。

○これから高齢期では、「介護している家族の負担の軽減」が47.2%と他の調査と比べて高くなっている。

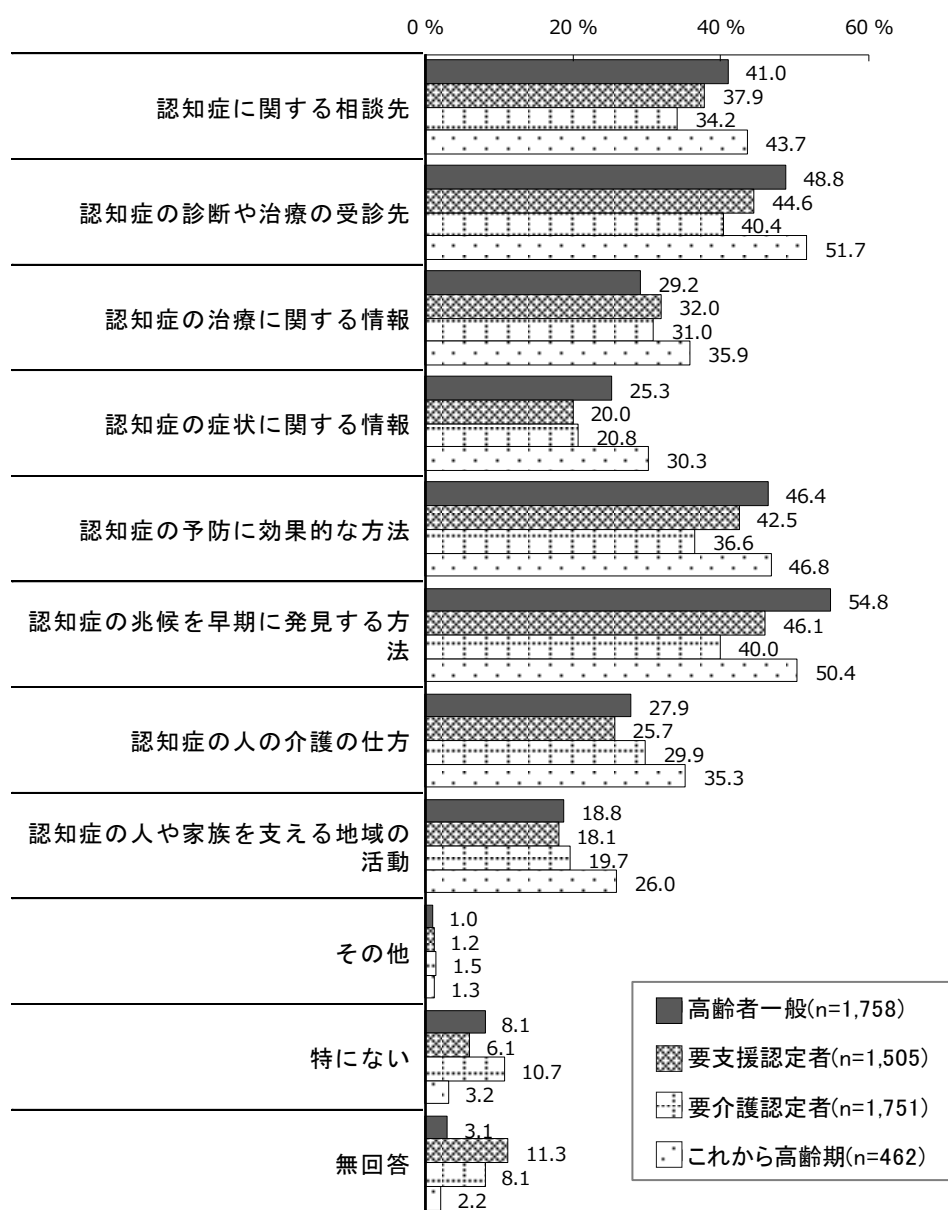
(○は3つまで)



⑦認知症について気になる項目

- 高齢者一般では、「認知症の兆候を早期に発見する方法」(54.8%)が最も高く、次いで「認知症の診断や治療の受診先」(48.8%)の順となっている。
- 要支援認定者では、「認知症の兆候を早期に発見する方法」(46.1%)が最も高く、次いで「認知症の診断や治療の受診先」(44.6%)の順となっている。
- 要介護認定者では、「認知症の診断や治療の受診先」(40.4%)が最も高く、次いで「認知症の兆候を早期に発見する方法」(40.0%)の順となっている。
- これから高齢期では、「認知症の診断や治療の受診先」(51.7%)が最も高く、次いで「認知症の兆候を早期に発見する方法」(50.4%)の順となっている。

(複数回答)

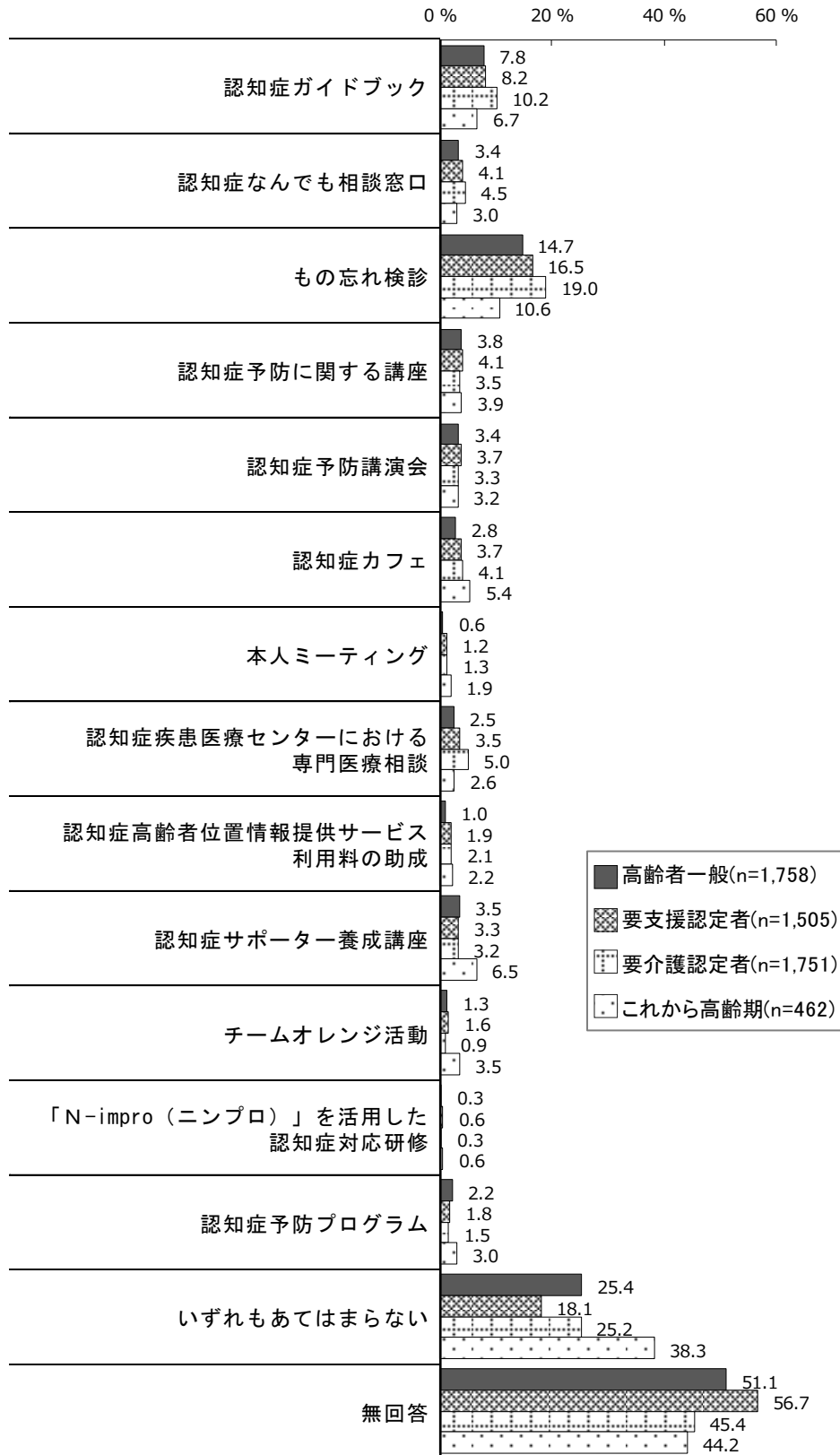


⑧認知症施策の利用状況・利用希望

(ア) 利用（参加）したことがあるものや知っているもの

○いずれの調査でも、「いずれもあてはまらない」が最も高く、高齢者一般で25.4%、要支援認定者で18.1%、要介護認定者で25.2%、これから高齢期で38.3%となっている。

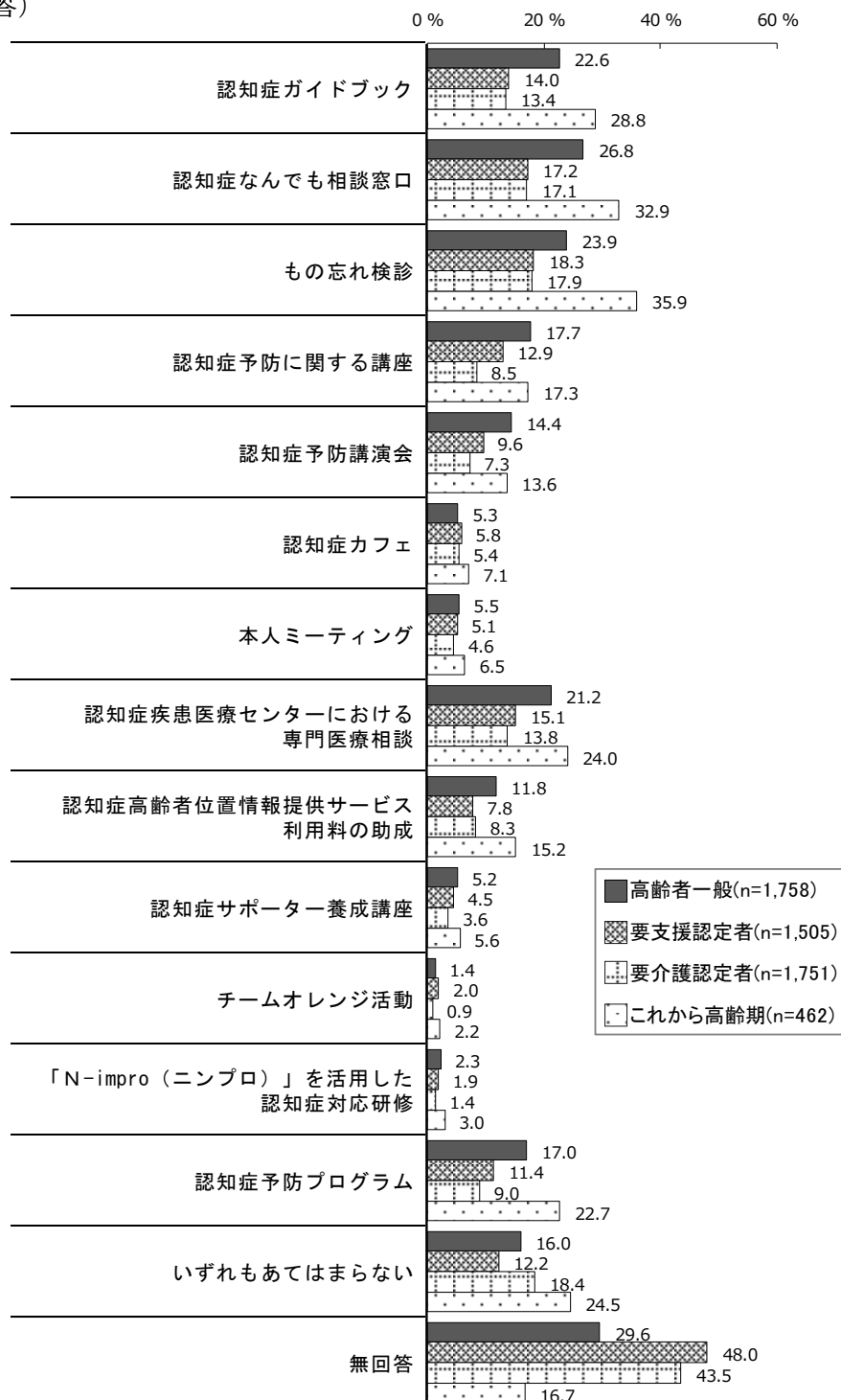
(複数回答)



(イ) 利用 (参加) したいもの

- 高齢者一般では、「認知症なんでも相談窓口」(26.8%)が最も高く、次いで「もの忘れ検診」(23.9%)の順となっている。
- 要支援認定者では、「もの忘れ検診」(18.3%)が最も高く、次いで「認知症なんでも相談窓口」(17.2%)の順となっている。
- 要介護認定者では、「いずれもあてはまらない」(18.4%)が最も高く、次いで「もの忘れ検診」(17.9%)の順となっている。
- これから高齢期では、「もの忘れ検診」(35.9%)が最も高く、次いで「認知症なんでも相談窓口」(32.9%)の順となっている。

(複数回答)

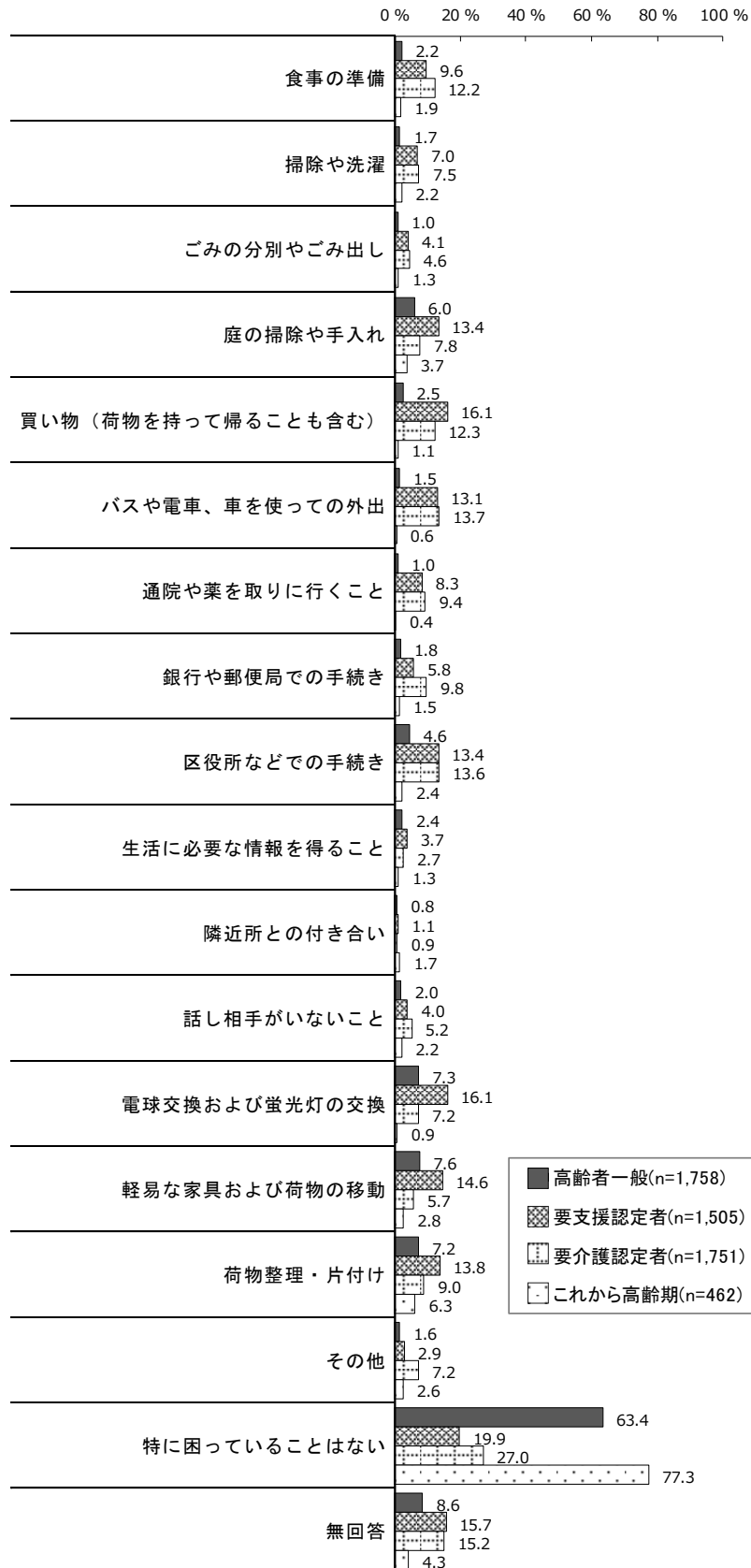


9. 日常生活の状況

(1) 日常生活の中での困りごと

○いずれの調査でも、「特に困っていることはない」が最も高く、高齢者一般で63.4%、要支援認定者で19.9%、要介護認定者で27.0%、これから高齢期で77.3%となっている。

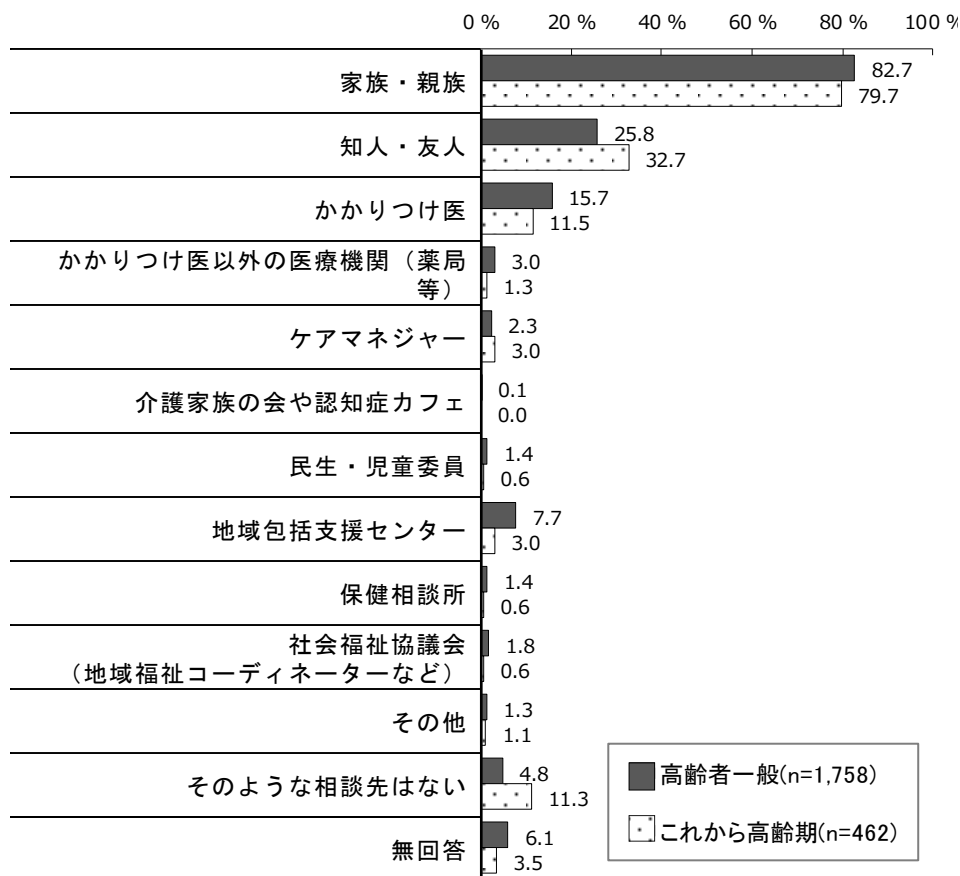
(複数回答)



(2) 日常生活で困った場合の相談先

○いずれの調査でも「家族・親族」が最も高く、高齢者一般で82.7%、これから高齢期で79.7%となっている。

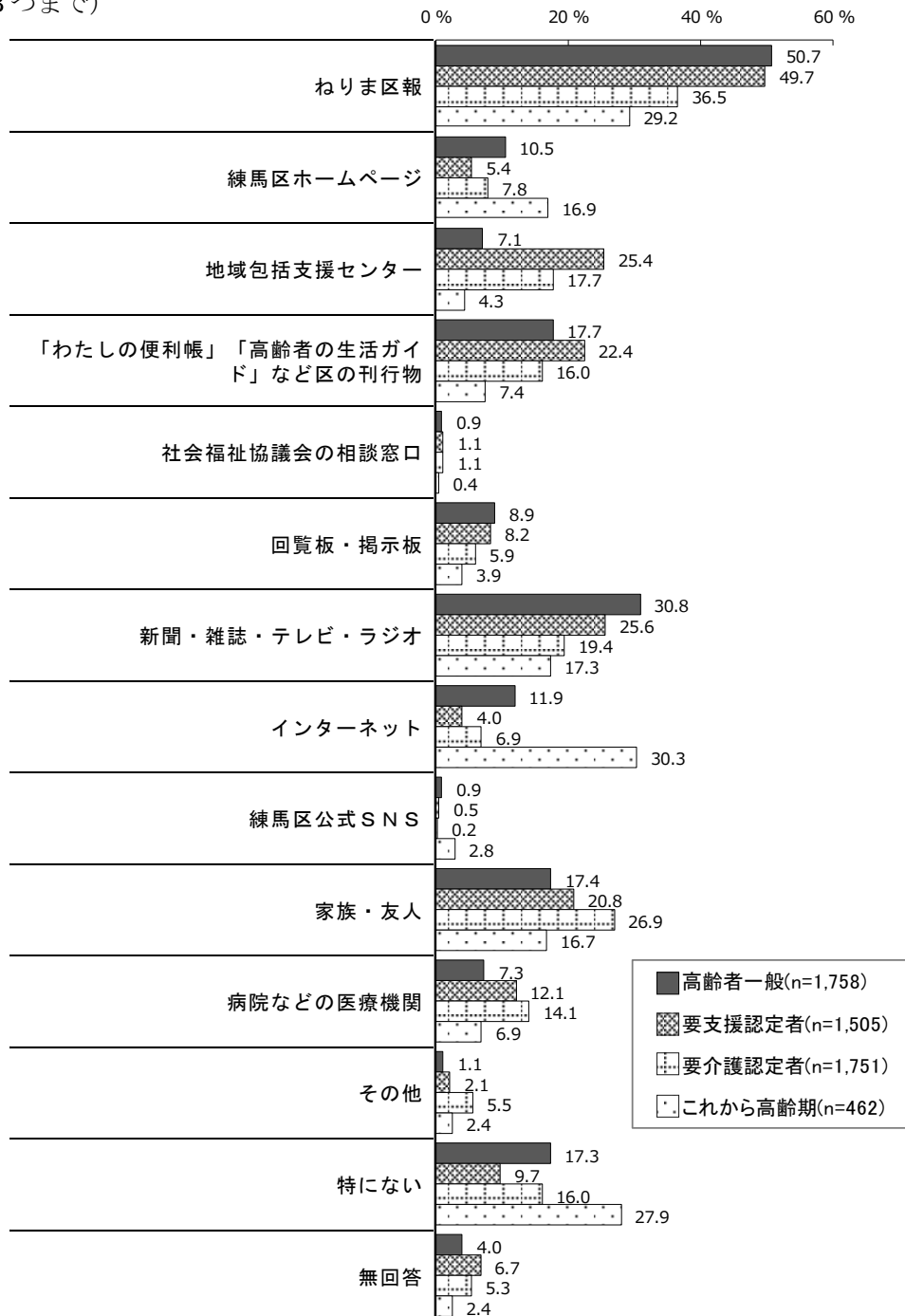
(複数回答)



(3) 保健福祉や介護保険に関する情報の入手方法

- 高齢者一般では、「ねりま区報」(50.7%)が最も高く、次いで「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」(30.8%)の順となっている。
- 要支援認定者では、「ねりま区報」(49.7%)が最も高く、次いで「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」(25.6%)の順となっている。
- 要介護認定者では、「ねりま区報」(36.5%)が最も高く、次いで「家族・友人」(26.9%)の順となっている。
- これから高齢期では、「インターネット」(30.3%)が最も高く、次いで「ねりま区報」(29.2%)の順となっている。

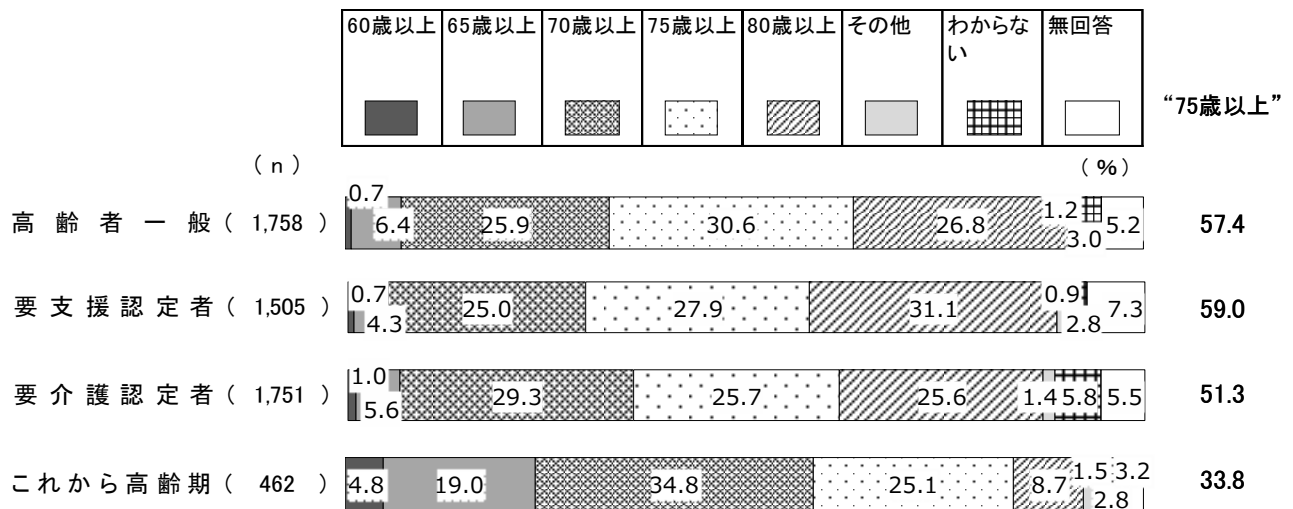
(○は3つまで)



(4) 高齢者だと思う年齢

○ “75歳以上”（「75歳以上」と「80歳以上」の合計）は、高齢者一般で57.4%、要支援認定者で59.0%、要介護認定者で51.3%、これから高齢期で33.8%となっている。

○これから高齢期では、「70歳以上」が34.8%と他の調査と比べて高くなっている。



[高齢者だと思う年齢<経年比較(高齢者一般)>]

○令和4年度の調査結果と比較すると、大きな違いはみられない。

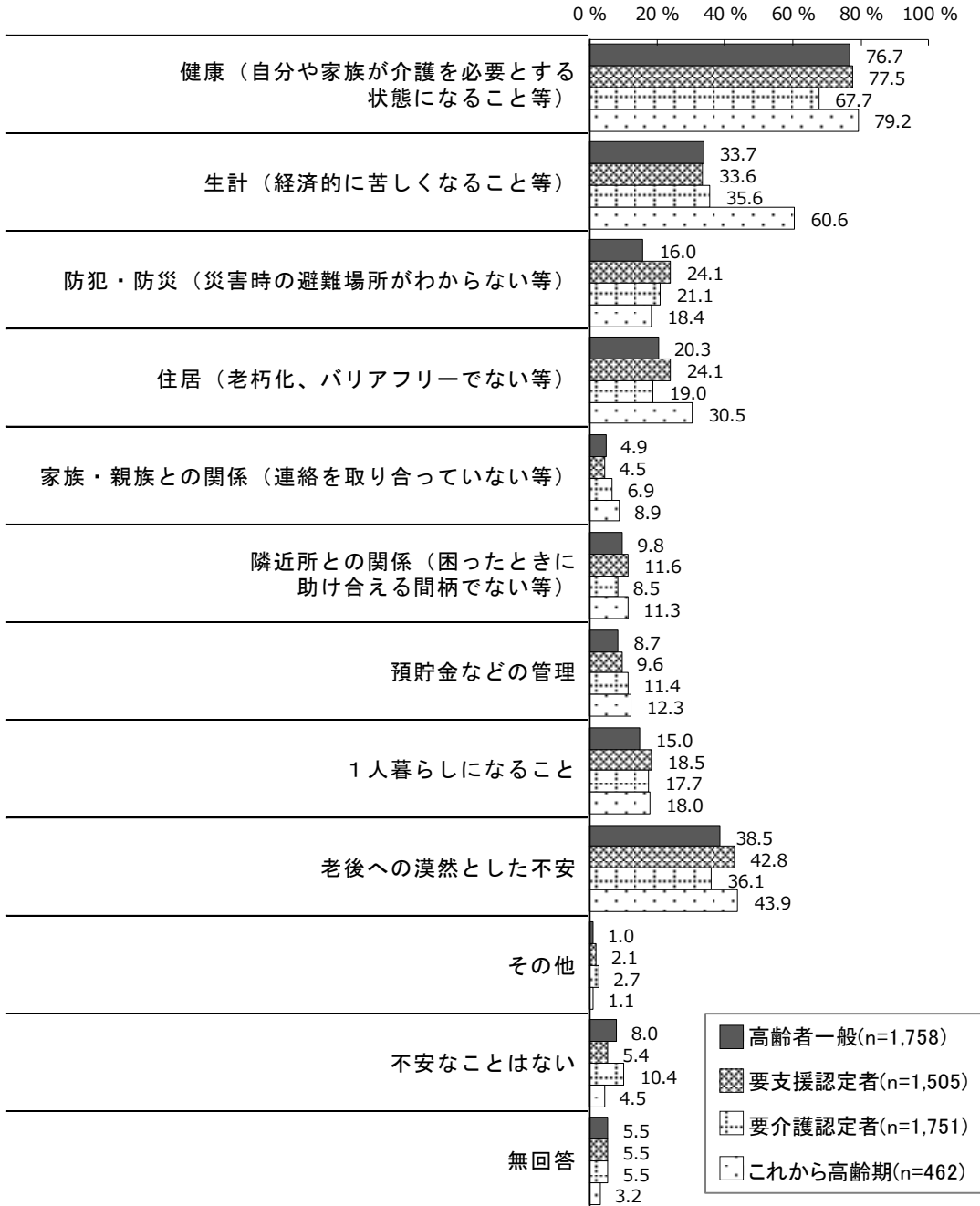
	n	60歳以上	65歳以上	70歳以上	75歳以上	80歳以上	その他	わからない	無回答	75歳以上
令和7年度	1,758	0.7	6.4	25.9	30.6	26.8	1.2	3.0	5.2	57.4
令和4年度	1,516	0.4	5.4	26.7	33.4	28.0	1.8	-	4.3	61.3

(5) 将来の不安

○いずれの調査でも「健康（自分や家族が介護を必要とする状態になること等）」が最も高く、高齢者一般で76.7%、要支援認定者で77.5%、要介護認定者で67.7%、これから高齢期で79.2%となっている。

○これから高齢期では、「生計（経済的に苦しくなること等）」が60.6%と他の調査と比べて高くなっている。

(複数回答)

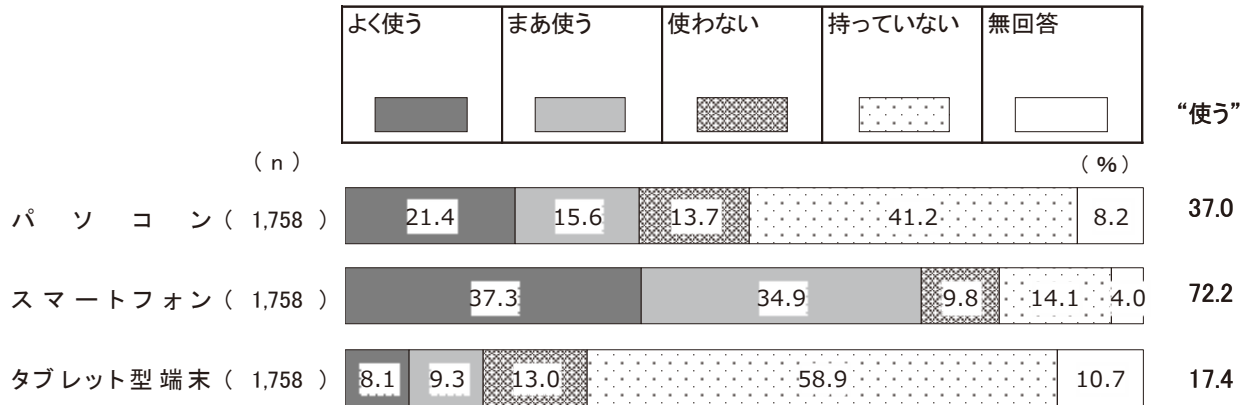


(6) スマートフォン等の情報通信機器の使用状況

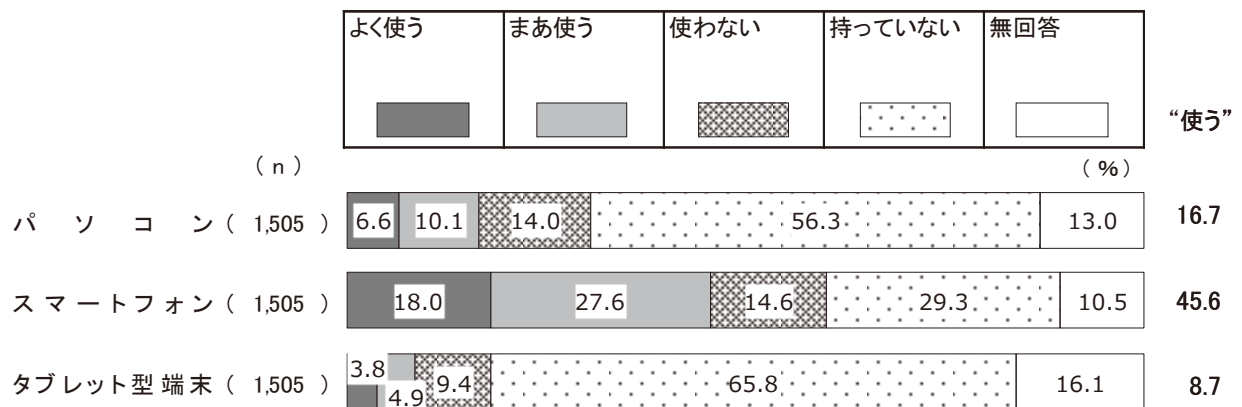
①使用状況

○スマートフォンを“使う”(「よく使う」と「まあ使う」の合計)は、高齢者一般で72.2%、要支援認定者で45.6%、要介護認定者で30.0%、これから高齢期で92.9%となっている。

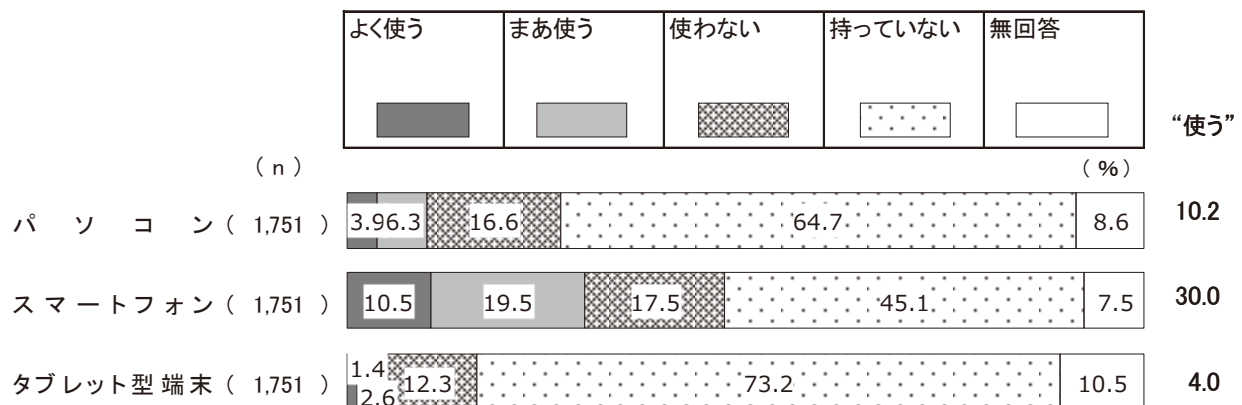
(高齢者一般)



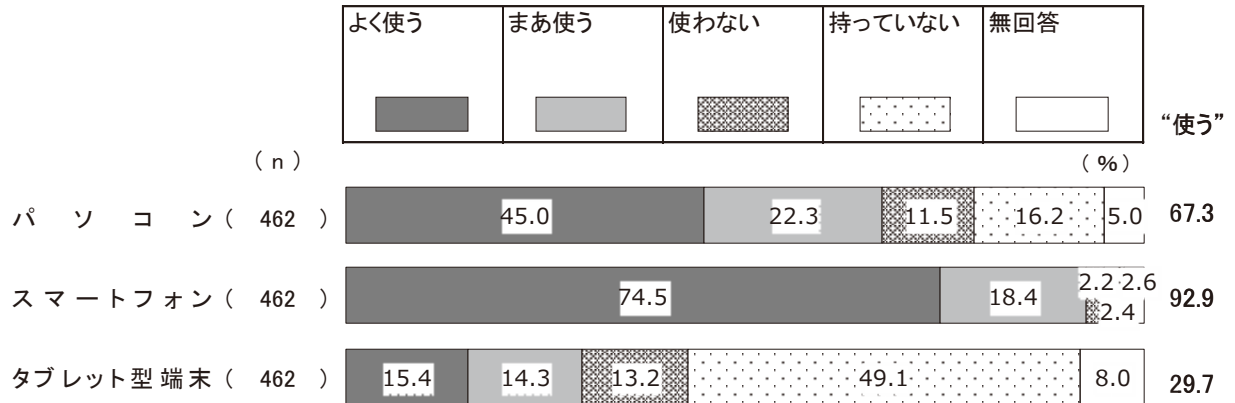
(要支援認定者)



(要介護認定者)



(これから高齢期)



[使用状況<年代別(高齢者一般)>]

○年代別にみると、「前期高齢者」は、いずれの情報通信機器でも、“使う”が「後期高齢者」と比べて高くなっている。

	n	よく使う (%)	まあ使う (%)	使わない (%)	持っていない (%)	無回答 (%)	使う (%)
パソコン	1,758	21.4	15.6	13.7	41.2	8.2	37.0
前期高齢者 (65歳-74歳)	648	30.7	21.0	13.4	29.6	5.2	51.7
後期高齢者 (75歳以上)	1,064	15.7	12.6	13.8	48.4	9.5	28.3
スマートフォン	1,758	37.3	34.9	9.8	14.1	4.0	72.2
前期高齢者 (65歳-74歳)	648	52.9	31.8	6.3	6.8	2.2	84.7
後期高齢者 (75歳以上)	1,064	27.7	37.6	11.8	18.1	4.7	65.3
タブレット型端末	1,758	8.1	9.3	13.0	58.9	10.7	17.4
前期高齢者 (65歳-74歳)	648	13.6	12.2	14.0	52.5	7.7	25.8
後期高齢者 (75歳以上)	1,064	4.6	7.6	12.5	63.3	11.9	12.2

[使用状況<経年比較(高齢者一般)>]

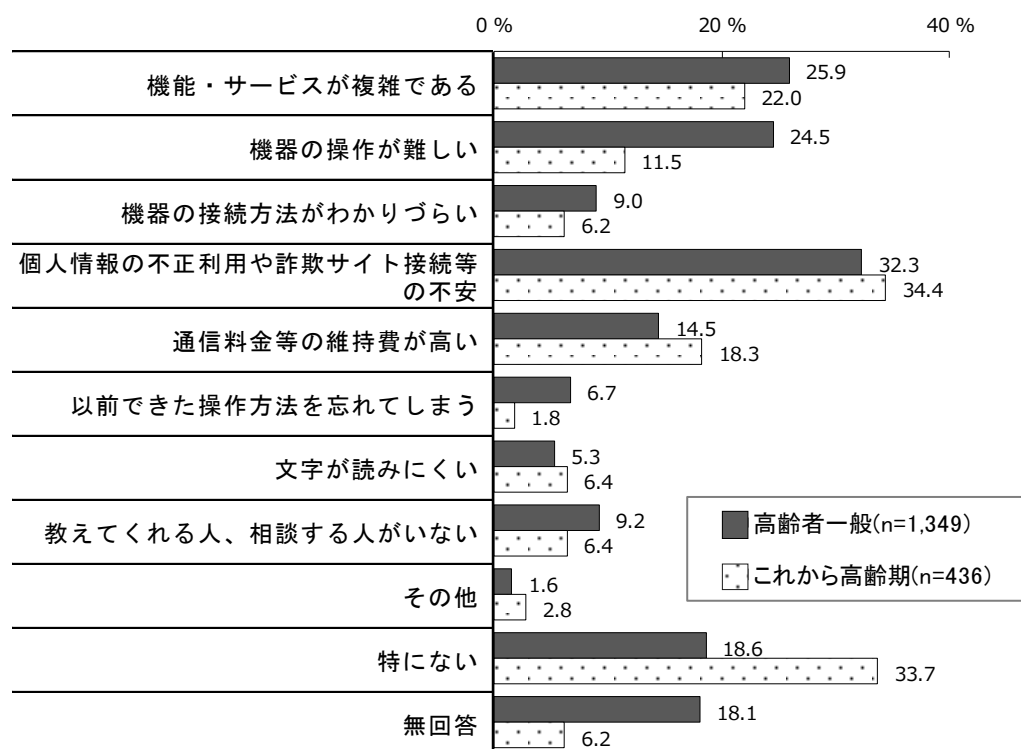
○令和4年度の調査結果と比較すると、スマートフォンを“使う”が10.1ポイント高くなっている。

	n	よく使う (%)	まあ使う (%)	使わない (%)	持っていない (%)	無回答 (%)	使う (%)
令和7年度	1,758	37.3	34.9	9.8	14.1	4.0	72.2
令和4年度	1,516	32.5	29.6	8.5	18.9	10.6	62.1

②情報通信機器の使用にあたっての困りごと

- いずれかの情報通信機器を“使う”と回答した人で、“何らかの困りごとがある”（「特にない」と無回答を除く）と回答した人は、いずれの調査でも6割台となっている。
- いずれの調査でも、「個人情報の不正利用や詐欺サイト接続等の不安」が最も高く、高齢者一般で32.3%、これから高齢期で34.4%となっている。
- これから高齢期では、「特にない」が33.7%となっている。

(○は3つまで)



[情報通信機器の使用にあたっての困りごと<性・年代別(高齢者一般)>]

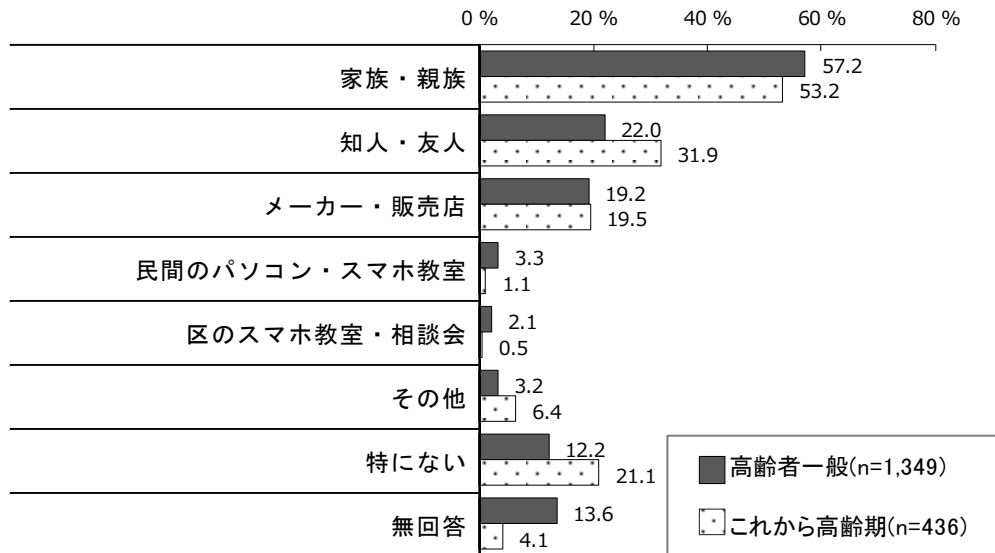
- 性・年代別にみると、「男性・前期高齢者」は、「特にない」が他と比べて高くなっている。

	n	が機能・サービスが複雑である	し機器の操作が難しい	が機器の接続方法がわかりづらい	ト利用や情報の不正利用等の不安	個人情報が漏れる等の不安	通信料金等の維持費が高い	ま方法を忘れてしまった	い文字が読みにくい	が人、教えない、相談する人がいない	その他	特にない	無回答
全体	1,349	25.9	24.5	9.0	32.3	14.5	6.7	5.3	9.2	1.6	18.6	18.1	
男性・前期高齢者(65歳-74歳)	265	26.0	20.8	7.5	34.3	20.4	4.5	4.9	6.8	0.8	27.2	9.8	
男性・後期高齢者(75歳以上)	296	24.7	23.6	10.5	27.0	13.2	11.5	6.4	11.8	0.7	19.3	18.9	
女性・前期高齢者(65歳-74歳)	312	30.1	23.1	9.9	39.4	15.7	2.9	5.8	7.7	1.9	18.9	15.1	
女性・後期高齢者(75歳以上)	447	24.2	29.1	8.3	30.6	10.7	7.8	4.7	10.3	2.0	13.4	23.3	

③情報通信機器の使用にあたっての相談先

○いずれの調査でも、「家族・親族」が最も高く、高齢者一般で57.2%、これから高齢期で53.2%となっている。

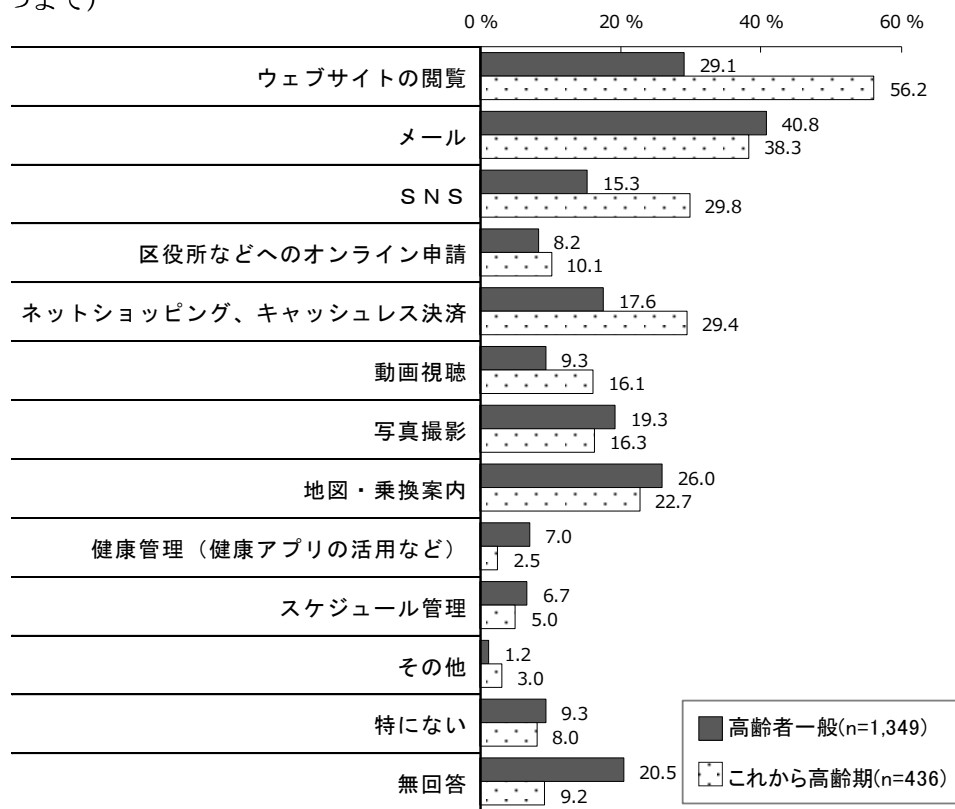
(○は3つまで)



④情報通信機器で使用したい機能

- 高齢者一般では、「メール」(40.8%)が最も高く、次いで「ウェブサイトの閲覧」(29.1%)の順となっている。
- これから高齢期では、「ウェブサイトの閲覧」(56.2%)が最も高く、次いで「メール」(38.3%)の順となっている。

(○は3つまで)



[情報通信機器で使いたい機能<性・年代別(高齢者一般)>]

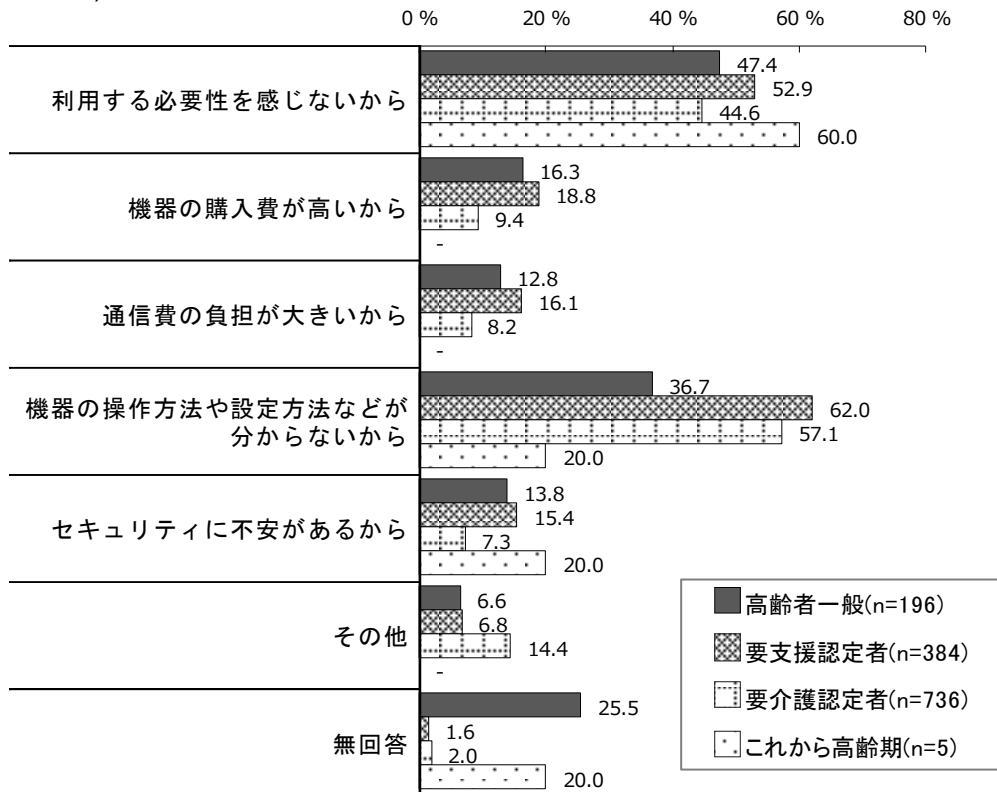
- 性・年代別にみると、「男性・前期高齢者」は、「ウェブサイトの閲覧」が54.0%で、全体と比べて高くなっている。
- 「前期高齢者」および「後期高齢者」とともに「写真撮影」は「女性」が「男性」と比べて高くなっている。
- 「女性・前期高齢者」は、「地図・乗換案内」が34.0%で、他と比べて高くなっている。

	n	ウェブサイトの閲覧	メール	SNS	区役所などへのオンライン申請	ネットショッピング、キャッシュレス決済	動画視聴	写真撮影	地図・乗換案内	健康管理(健康アプリの活用など)	スケジュール管理	その他	特になし	無回答
全体	1,349	29.1	40.8	15.3	8.2	17.6	9.3	19.3	26.0	7.0	6.7	1.2	9.3	20.5
男性・前期高齢者(65歳-74歳)	265	54.0	46.0	21.5	9.8	25.3	17.4	8.7	20.4	7.2	7.5	0.4	6.8	15.1
男性・後期高齢者(75歳以上)	296	32.8	42.6	10.5	9.1	15.5	6.4	12.5	22.3	7.1	9.1	1.7	11.8	19.9
女性・前期高齢者(65歳-74歳)	312	29.2	32.7	21.2	7.7	22.4	8.7	24.0	34.0	6.4	5.8	1.3	7.7	18.6
女性・後期高齢者(75歳以上)	447	12.8	42.7	10.7	6.7	10.7	6.7	27.3	27.3	7.6	5.4	0.4	10.3	24.6

⑤ICT機器を持っていない理由

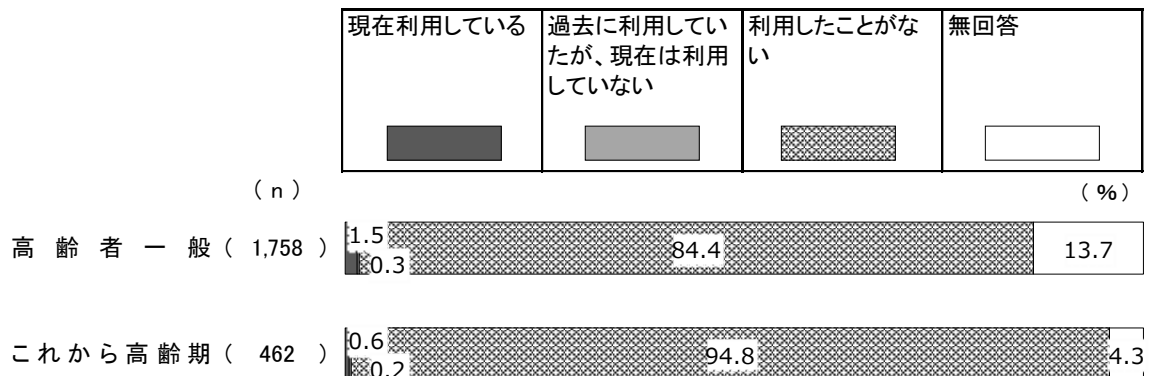
- 高齢者一般では、「利用する必要性を感じないから」(47.4%)が最も高く、次いで「機器の操作方法や設定方法などが分からないから」(36.7%)の順となっている。
- 要支援認定者では、「機器の操作方法や設定方法などが分からないから」(62.0%)が最も高く、次いで「利用する必要性を感じないから」(52.9%)の順となっている。
- 要介護認定者では、「機器の操作方法や設定方法などが分からないから」(57.1%)が最も高く、次いで「利用する必要性を感じないから」(44.6%)の順となっている。
- これから高齢期では、「利用する必要性を感じないから」(60.0%)が最も高く、次いで「機器の操作方法や設定方法などが分からないから」および「セキュリティに不安があるから」(ともに20.0%)の順となっている。

(○は3つまで)



⑥見守りICTサービスの利用状況

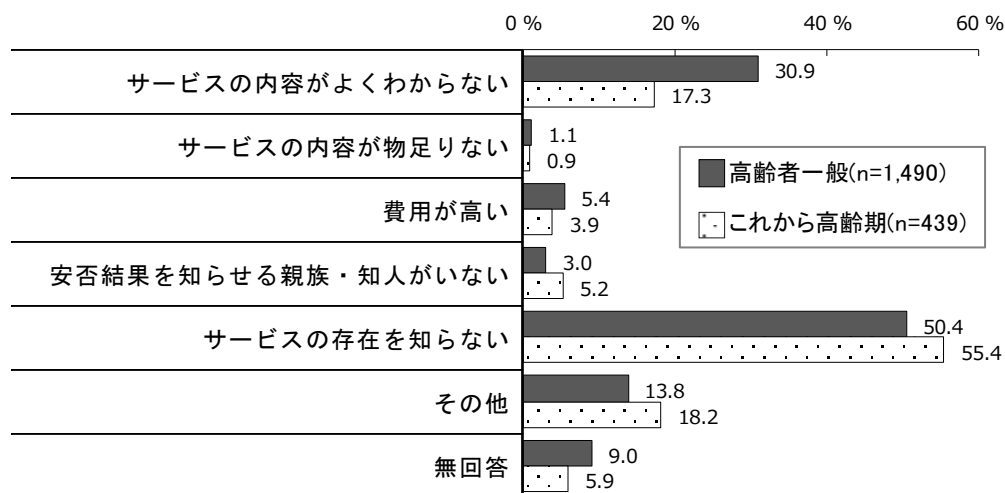
- いずれの調査でも“利用していない”(「過去に利用していたが、現在は利用していない」と「利用したことがない」の合計)の割合が高く、高齢者一般で84.7%、これから高齢期で95.0%となっている。



⑦見守りICTサービスを利用していない理由

○いずれの調査でも“利用していない”と回答した人の利用していない理由は、いずれの見守りICTサービスでも、「サービスの存在を知らない」が最も高く、高齢者一般で50.4%、これから高齢期で55.4%となっている。

(複数回答)



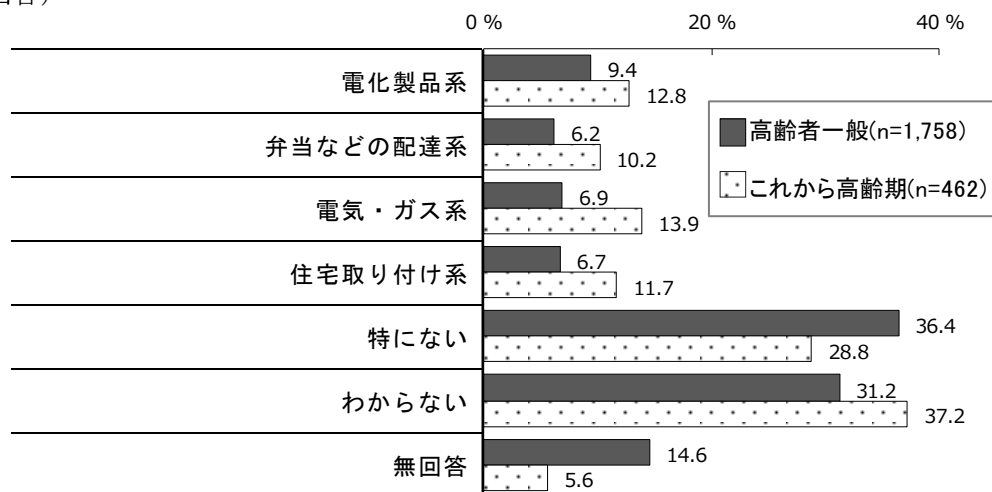
⑧利用してみたい見守りICTサービス

○高齢者一般では「特にない」(36.4%)が最も高く、次いで「わからない」(31.2%)の順となっている。

○これから高齢期では「わからない」(37.2%)が最も高く、次いで「特にない」(28.8%)の順となっている。

○利用してみたい見守りICTサービスとしては、高齢者一般では「電化製品系」が9.4%で最も高く、これから高齢期では「電気・ガス系」が13.9%で最も高くなっている。

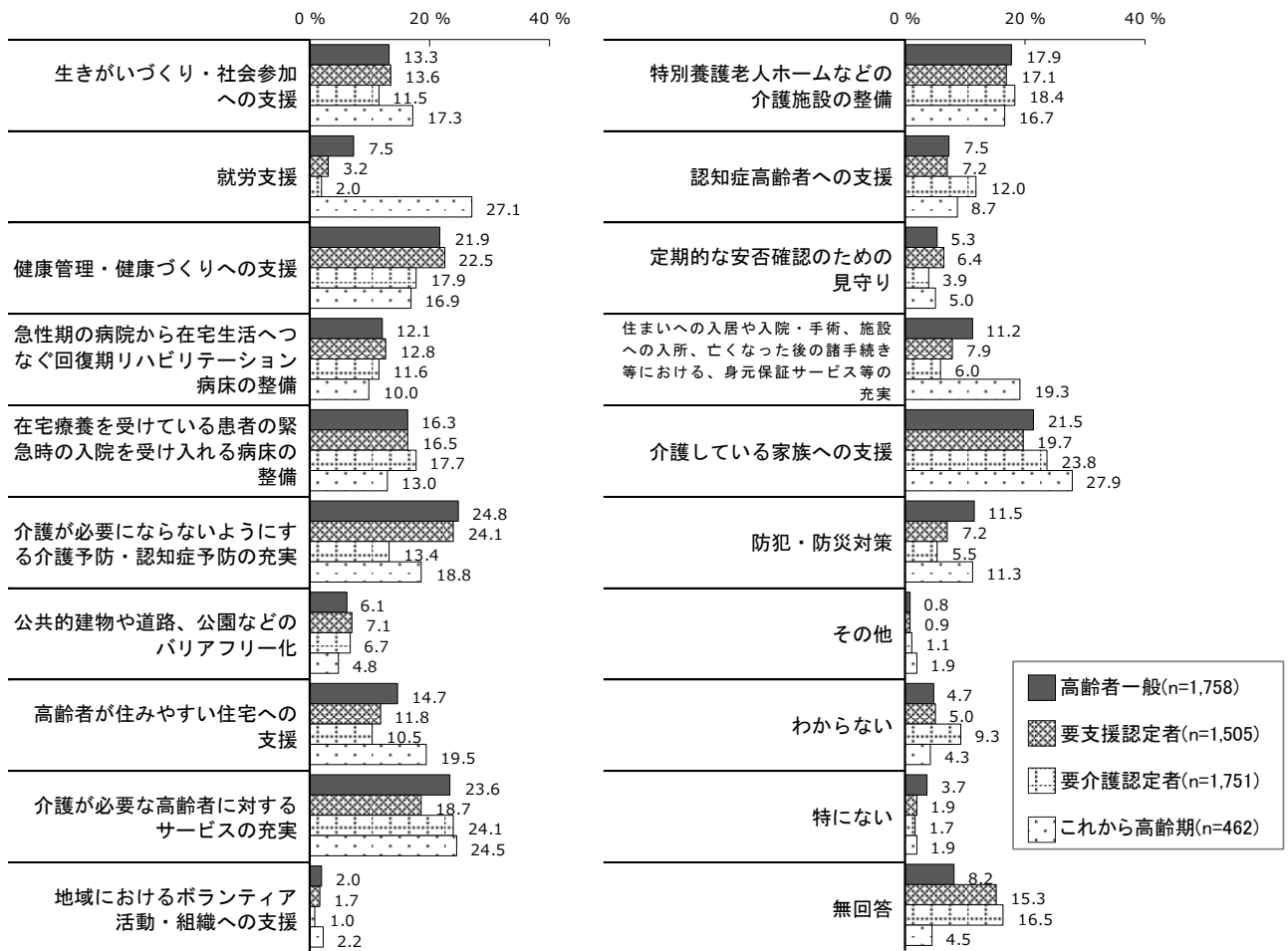
(複数回答)



(7) 今後力を入れてほしい高齢者施策

- 高齢者一般では、「介護が必要にならないようにする介護予防・認知症予防の充実」(24.8%)が最も高く、次いで「介護が必要な高齢者に対するサービスの充実」(23.6%)の順となっている。
- 要支援認定者では、「介護が必要にならないようにする介護予防・認知症予防の充実」(24.1%)が最も高く、次いで「健康管理・健康づくりへの支援」(22.5%)の順となっている。
- 要介護認定者では、「介護が必要な高齢者に対するサービスの充実」(24.1%)が最も高く、次いで「介護している家族への支援」(23.8%)の順となっている。
- これから高齢期では、「介護している家族への支援」(27.9%)が最も高く、次いで「就労支援」(27.1%)の順となっている。

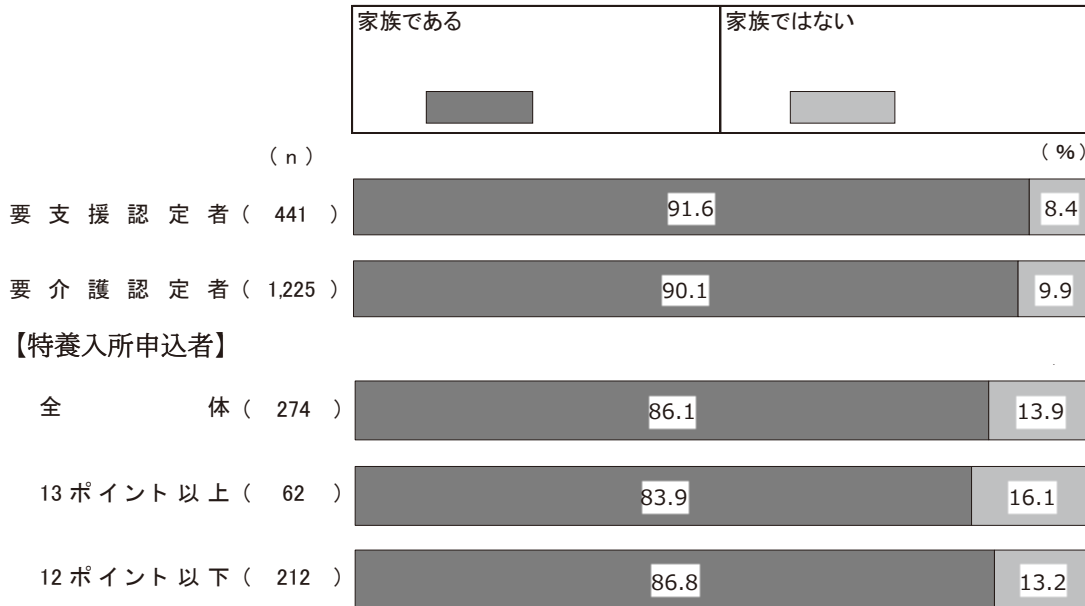
(○は3つまで)



10. 家族介護の状況

(1) 主な介護者

○主な介護者が「家族である」と回答した人は、要支援認定者で91.6%、要介護認定者で90.1%、特養入所申込者で86.1%となっている。

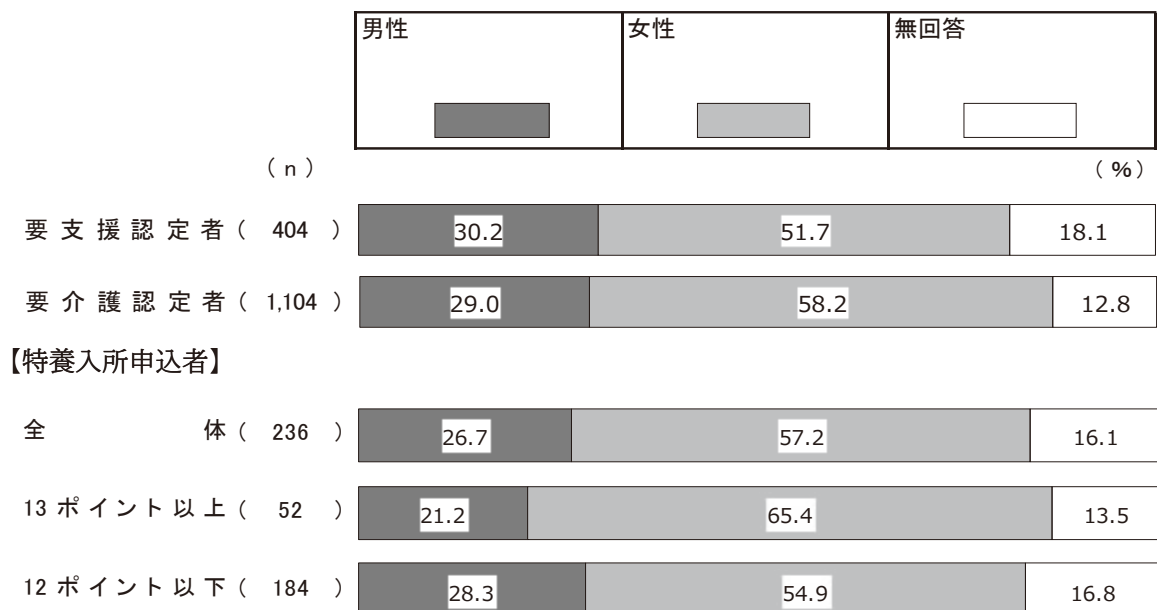


※無回答を除いて集計

(2) 主な家族介護者の属性

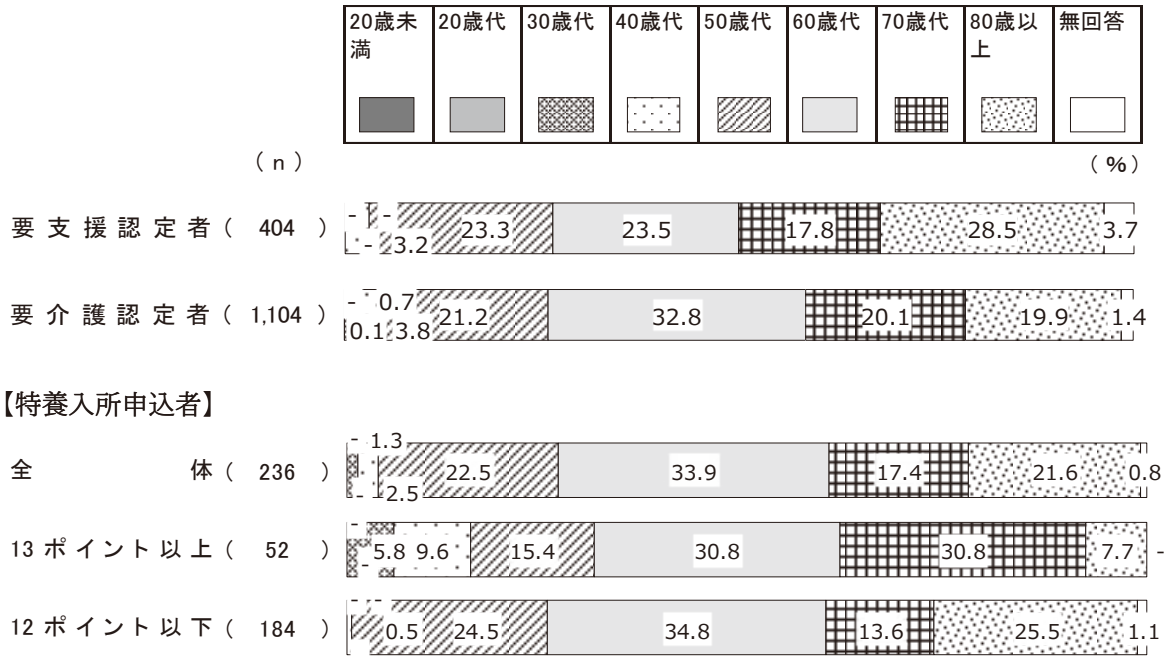
①性別

○主な家族介護者の性別は、要支援認定者で51.7%、要介護認定者で58.2%、特養入所申込者で57.2%で、いずれも「女性」が「男性」を上回っている。



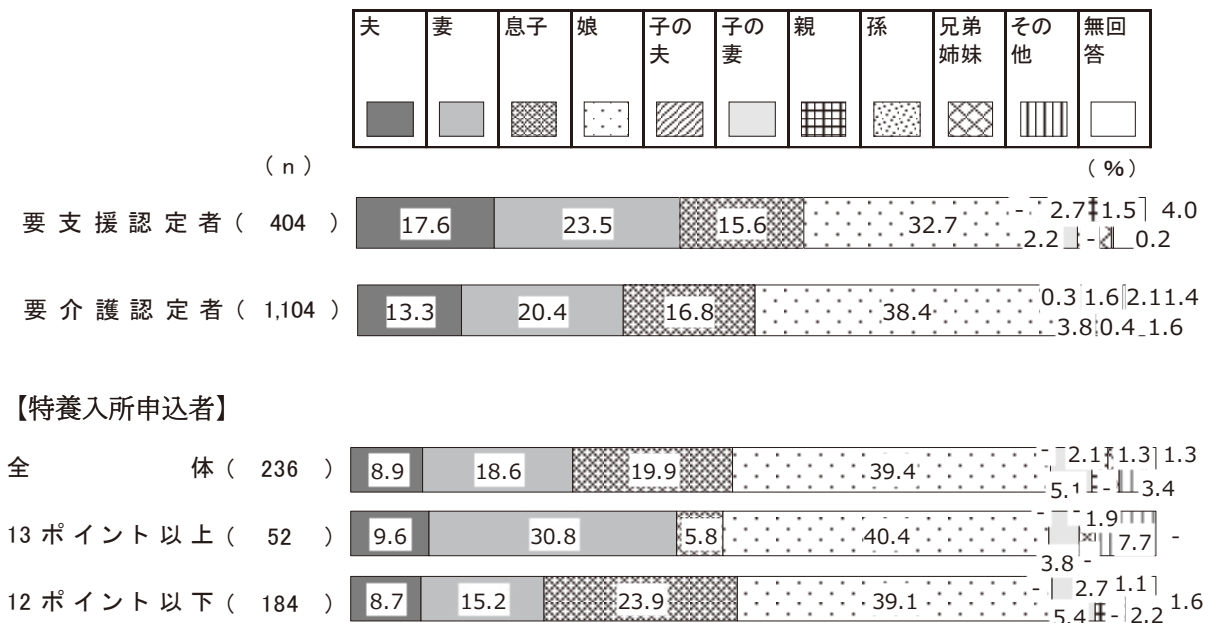
②年齢

- 要支援認定者では、「80歳以上」(28.5%)が最も高く、次いで「60歳代」(23.5%)の順となっている。
- 要介護認定者では、「60歳代」(32.8%)が最も高く、次いで「50歳代」(21.2%)の順となっている。
- 特養入所申込者では、「60歳代」(33.9%)が最も高く、次いで「50歳代」(22.5%)の順となっている。



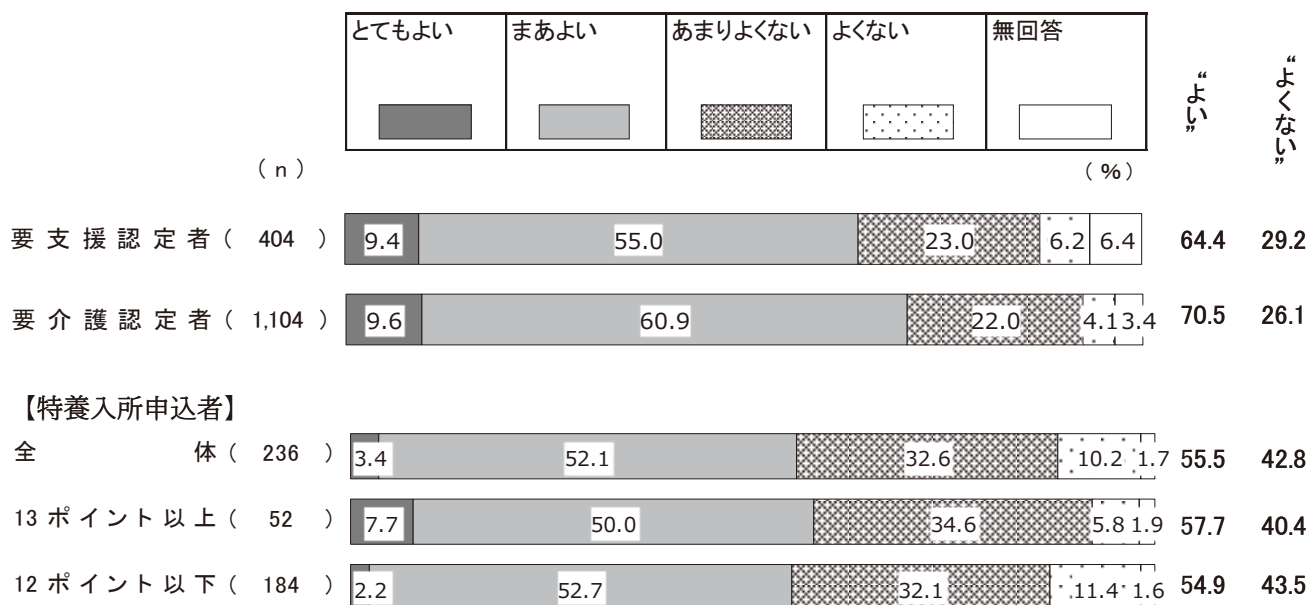
③続柄

- 要支援認定者では、「娘」(32.7%)が最も高く、次いで「妻」(23.5%)の順となっている。
- 要介護認定者では、「娘」(38.4%)が最も高く、次いで「妻」(20.4%)の順となっている。
- 特養入所申込者では、「娘」(39.4%)が最も高く、次いで「息子」(19.9%)の順となっている。



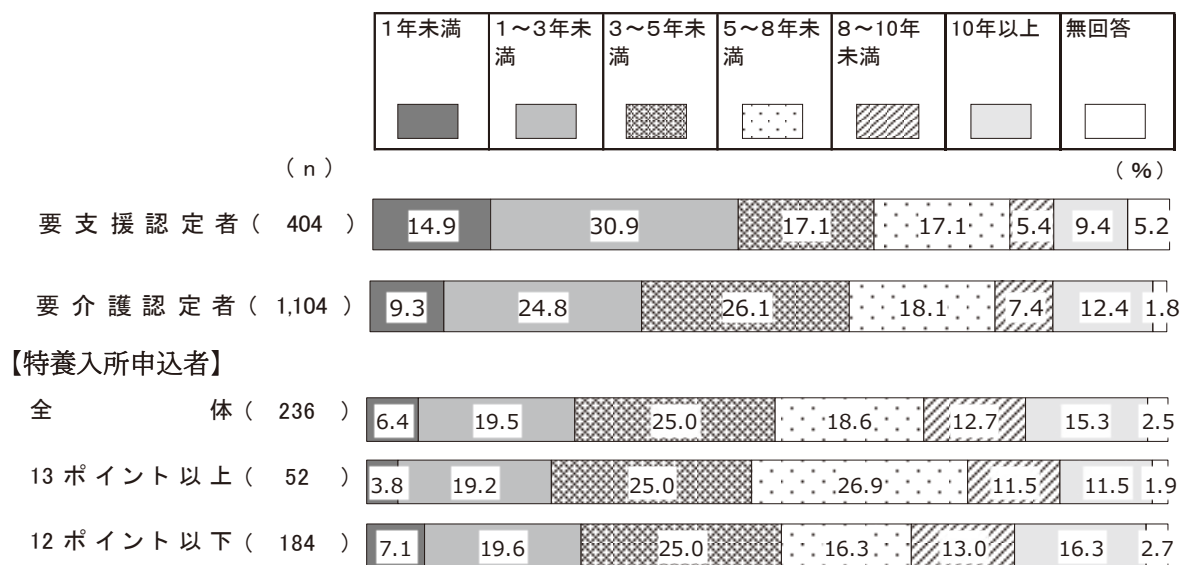
④健康状態

○主な家族介護者の健康状態は、いずれの調査でも“よい”（「とてもよい」と「まあよい」の合計）が“よくない”（「よくない」と「あまりよくない」の合計）を上回っている。



(3) 介護期間

○主な家族介護者の介護期間は、“5年未満”（「1年未満」、「1～3年未満」、「3～5年未満」の合計）が、要支援認定者、要介護認定者で6割台、特養入所申込者で50.9%となっている。

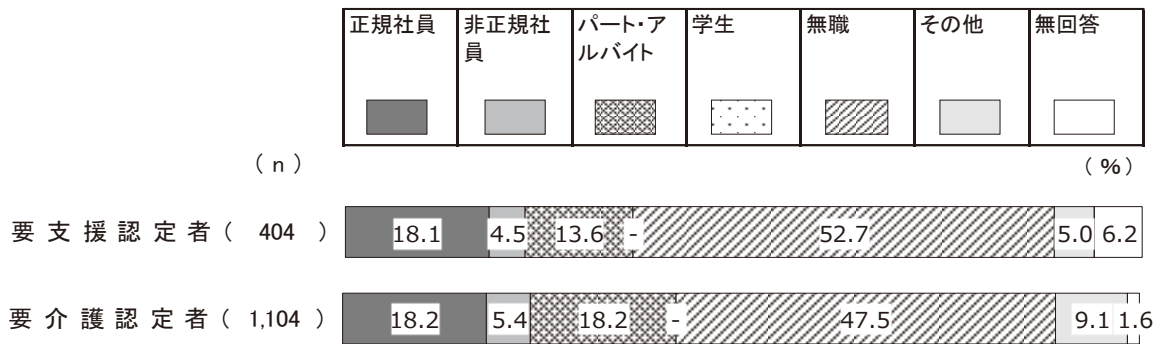


(4) 介護者の就労状況

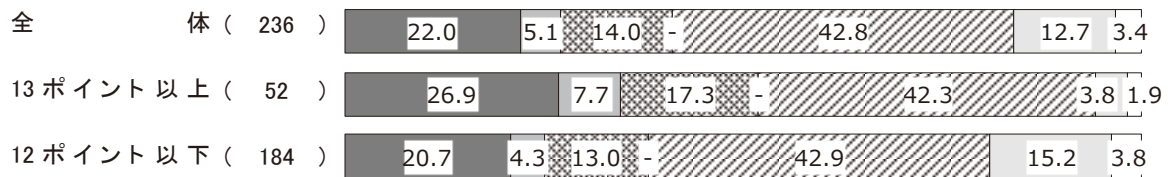
①就労状況

○主な家族介護者の就労状況は、いずれの調査でも「無職」が最も高く、要支援認定者で52.7%、要介護認定者で47.5%、特養入所申込者で42.8%となっている。

○要支援認定者、要介護認定者および特養入所申込者では、就労している人（「無職」、「その他」および「無回答」を除く）が3割から4割となっている。



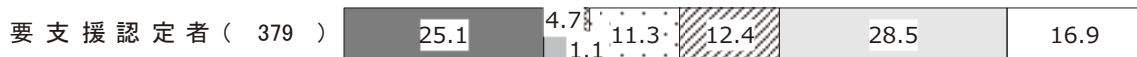
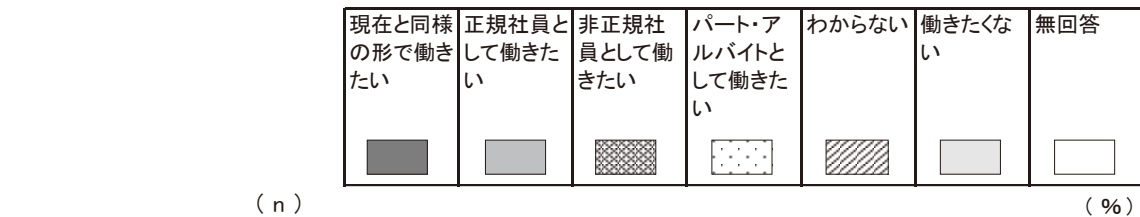
【特養入所申込者】



②今後の就労意向

○主な介護者の今後の就労意向は、要支援認定者では「働きたくない」(28.5%)が最も高くなっている。

○要介護認定者および特養入所申込者では、「現在と同様の形で働きたい」が最も高く、それぞれ30.8%、36.9%となっている。



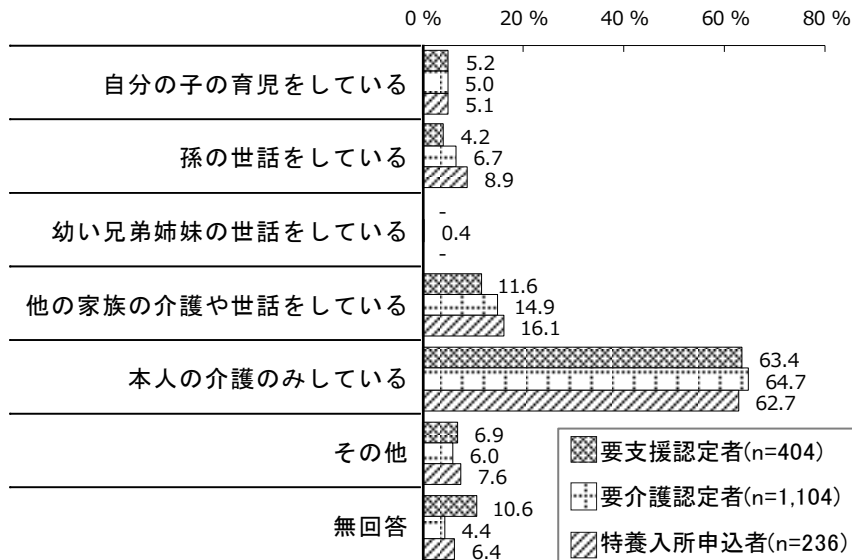
【特養入所申込者】



(5) 調査対象者の介護以外の負担の状況

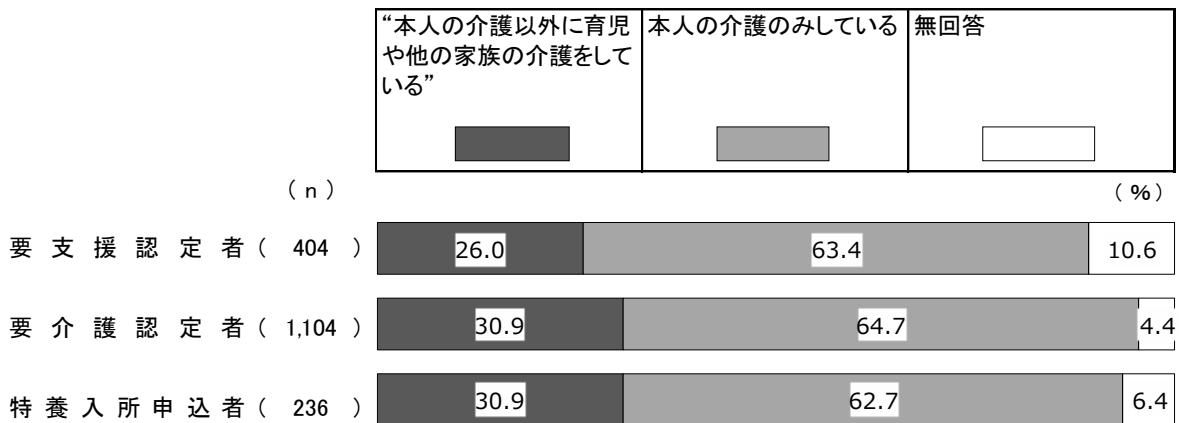
○主な家族介護者の調査対象者の介護以外の負担の状況は、いずれの調査でも「本人の介護のみしている」が最も高く、要支援認定者で63.4%、要介護認定者で64.7%、特養入所申込者で62.7%となっている。

(複数回答)



[調査対象者の介護以外の負担の状況]

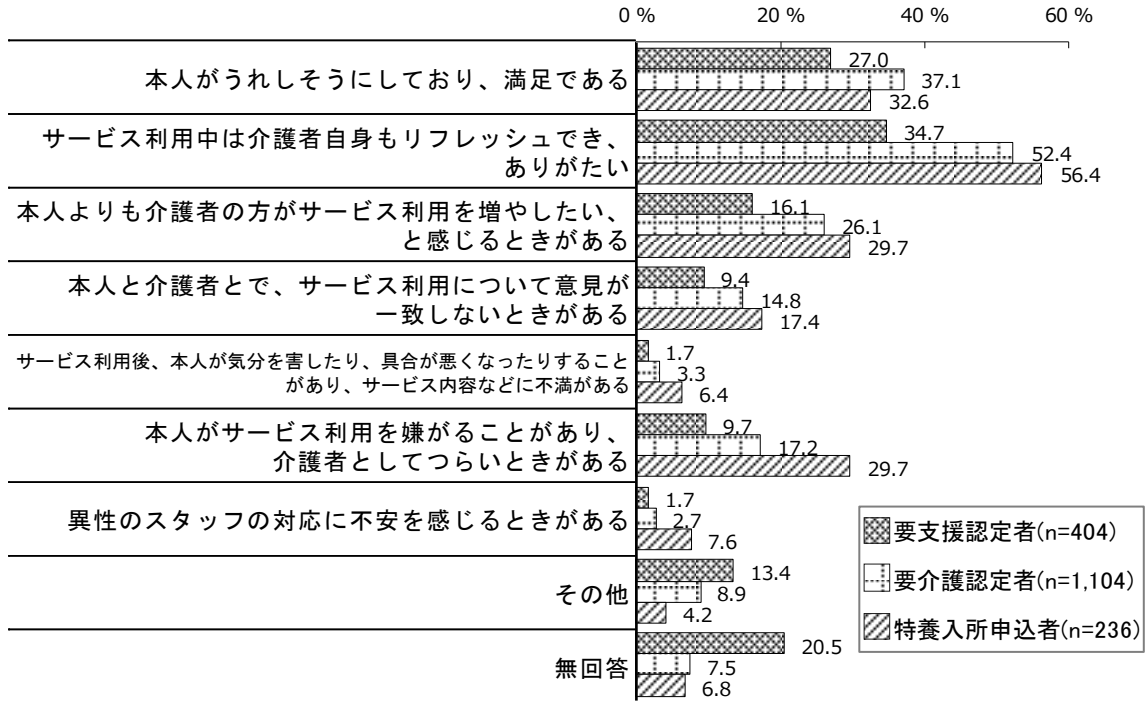
○“本人の介護以外に育児や他の家族の介護をしている”(「本人の介護のみしている」と「無回答」を除く)は、いずれの調査でも、2割から3割となっている。



(6) 介護サービス利用時の家族介護者の感じ方

○いずれの調査でも「サービス利用中は介護者自身もリフレッシュでき、ありがたい」が最も高く、要支援認定者で34.7%、要介護認定者で52.4%、特養入所申込者で56.4%となっている。

(複数回答)



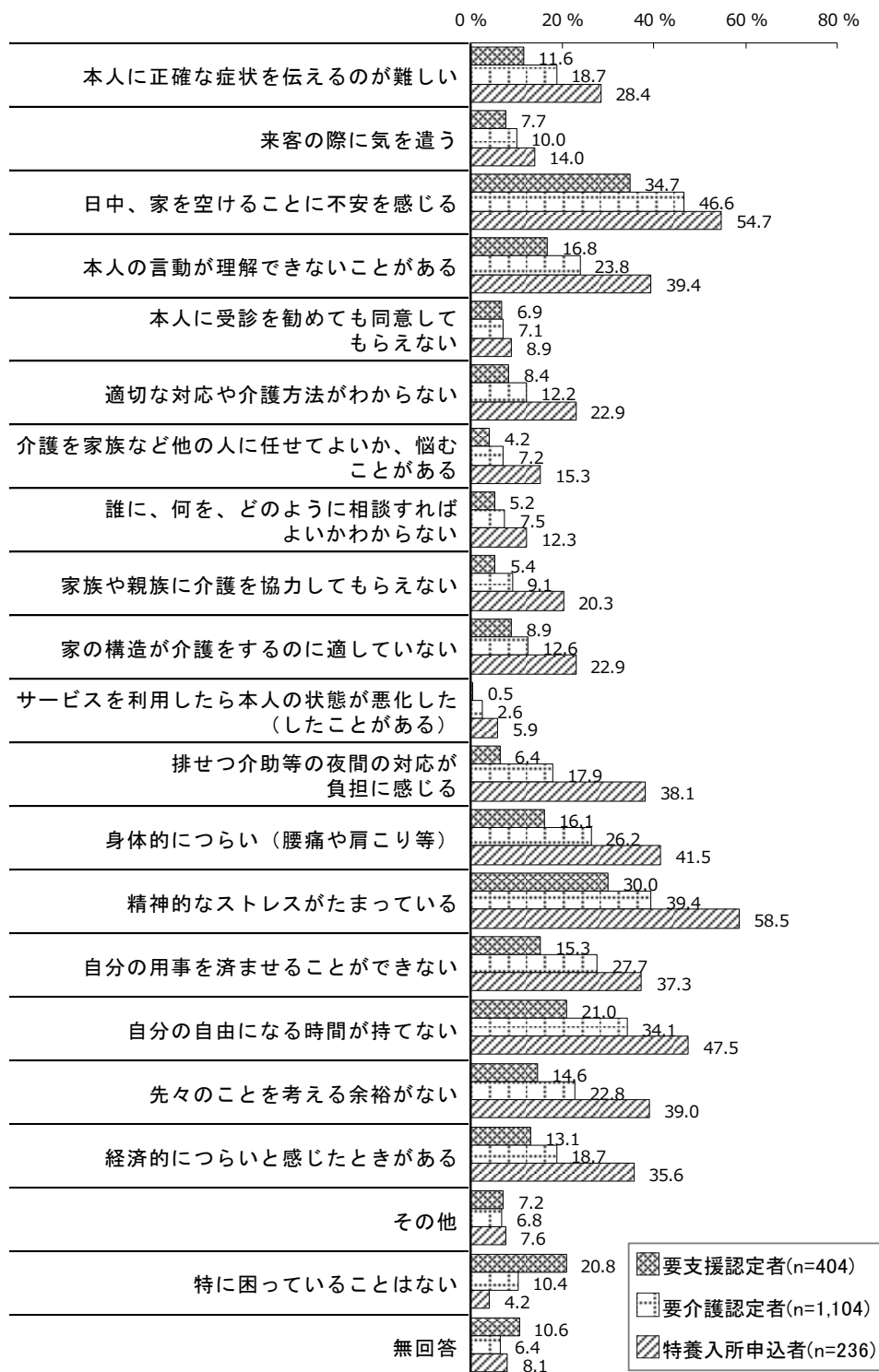
(7) 家族介護者の負担や困りごと

○主な家族介護者の負担や困りごとは、要支援認定者では、「日中、家を空けることに不安を感じる」(34.7%)が最も高く、次いで「精神的なストレスがたまっている」(30.0%)の順となっている。

○要介護認定者では、「日中、家を空けることに不安を感じる」(46.6%)が最も高く、次いで「精神的なストレスがたまっている」(39.4%)の順となっている。

○特養入所申込者では、「精神的なストレスがたまっている」(58.5%)が最も高く、次いで「日中、家を空けることに不安を感じる」(54.7%)の順となっている。

(複数回答)

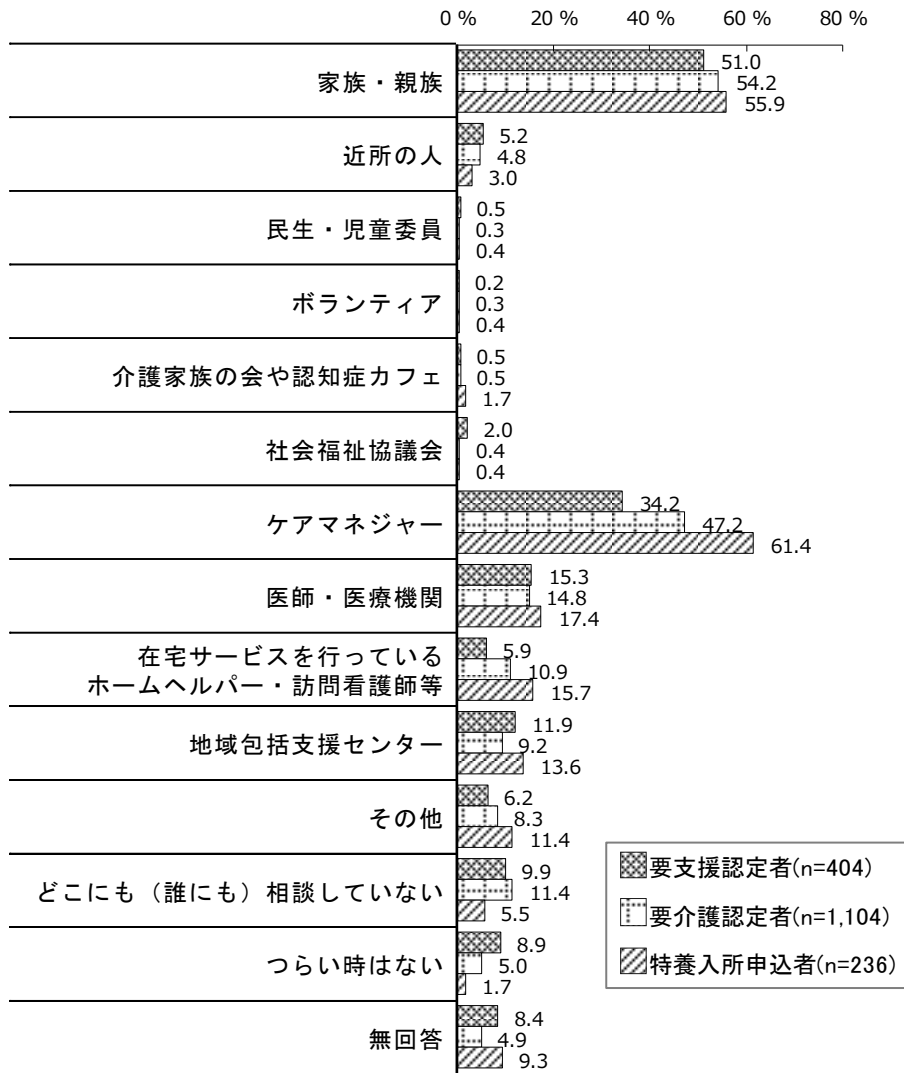


(8) 介護をされていてつらい時の相談先

○主な家族介護者の介護をされていてつらい時の相談先は、要支援認定者および要介護認定者では、「家族・親族」が最も高く、それぞれ51.0%、54.2%となっている。

○特養入所申込者では、「ケアマネジャー」(61.4%)が最も高く、次いで「家族・親族」(55.9%)の順となっている。

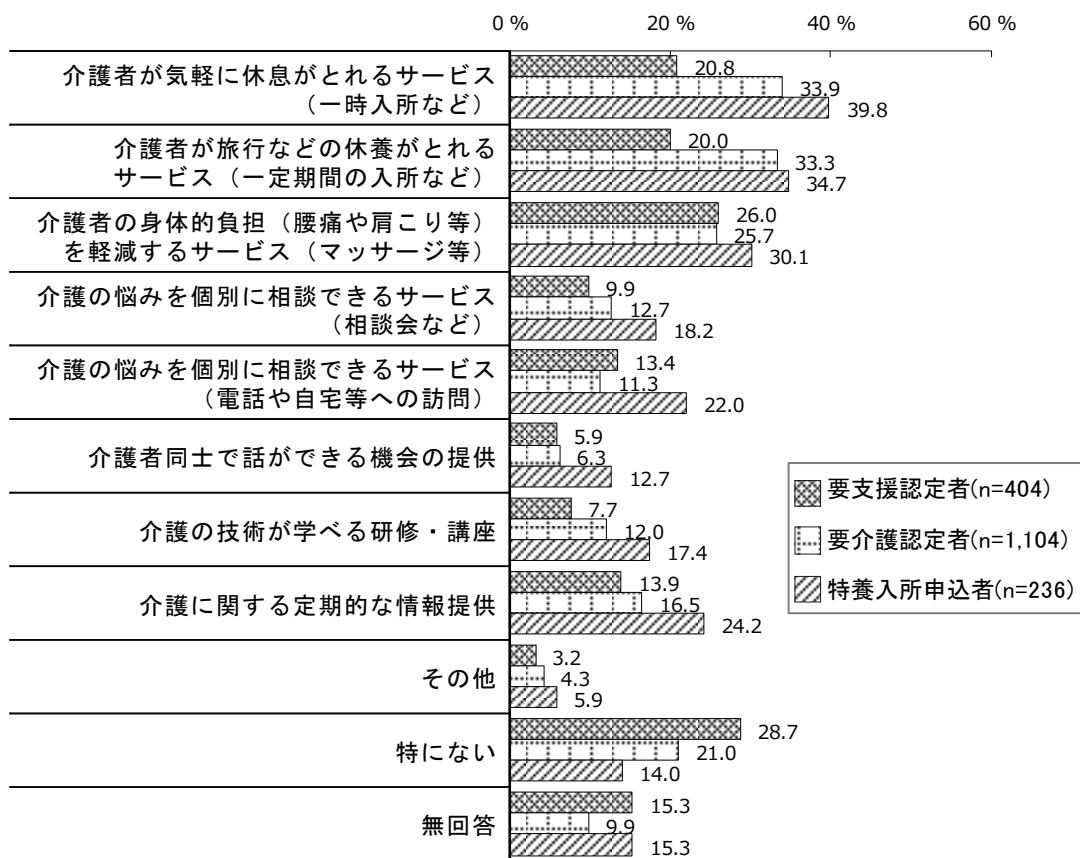
(複数回答)



(9) 在宅介護を継続する上で介護者自身が受きたい支援

- 在宅での介護を継続していくうえで、主な家族介護者自身が受きたい支援は、要支援認定者では「特にない」(28.7%)が最も高く、次いで「介護者の身体的負担(腰痛や肩こり等を軽減するサービス(マッサージ等)」(26.0%)の順となっている。
- 要介護認定者では「介護者が気軽に休息がとれるサービス(一時入所など)」(33.9%)が最も高く、次いで「介護者が旅行などの休養がとれるサービス(一定期間の入所など)」(33.3%)の順となっている。
- 特養入所申込者では、「介護者が気軽に休息がとれるサービス(一時入所など)」(39.8%)が最も高く、次いで「介護者が旅行などの休養がとれるサービス(一定期間の入所など)」(34.7%)の順となっている。

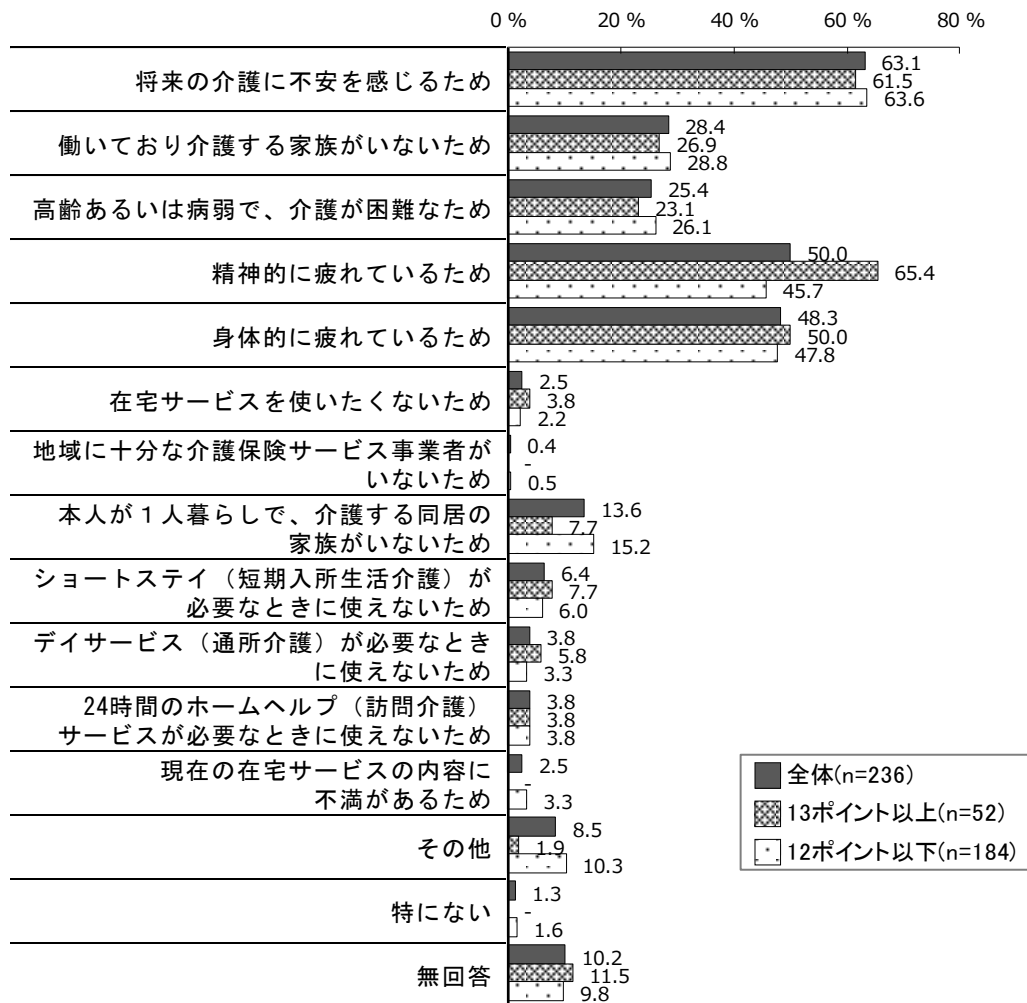
(複数回答)



(10) 特別養護老人ホームに申し込んだ理由（主な家族介護者）

- 主な家族介護者が介護者の視点から、特別養護老人ホームに申し込んだ理由は、特養入所申込者の全体では、「将来の介護に不安を感じるため」(63.1%)が最も高く、次いで「精神的に疲れているため」(50.0%)の順となっている。
- 13ポイント以上では、「精神的に疲れているため」(65.4%)が最も高く、次いで「将来の介護に不安を感じるため」(61.5%)の順となっている。
- 12ポイント以下では、「将来の介護に不安を感じるため」(63.6%)が最も高く、次いで「身体的に疲れているため」(47.8%)の順となっている。

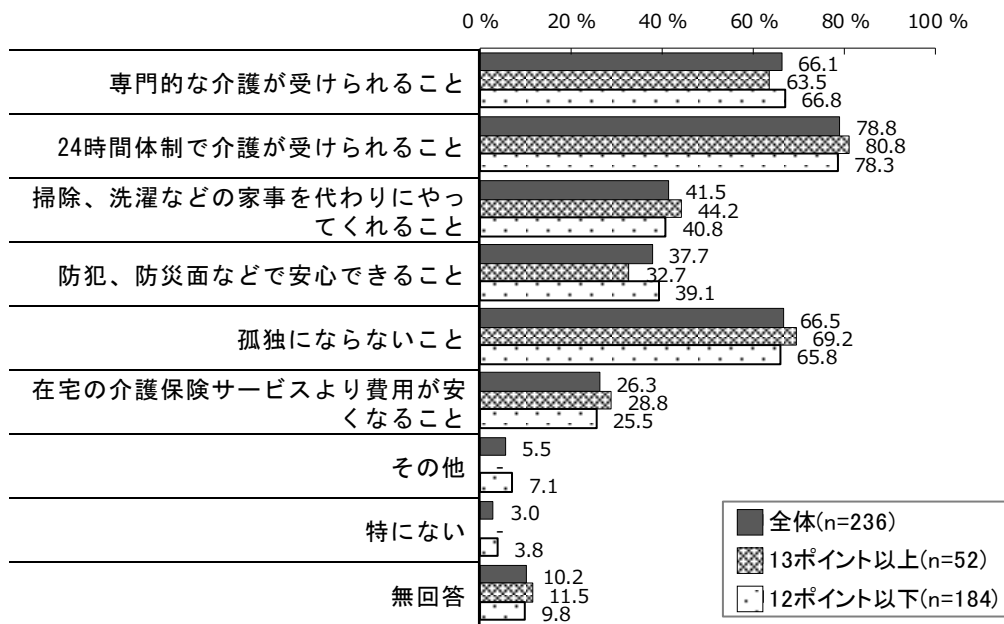
(複数回答)



(11) 家族介護者が特別養護老人ホームに期待すること

- 主な家族介護者が介護者の視点から、特別養護老人ホームに期待することは、特養入所申込者の全体では、「24時間体制で介護が受けられること」(78.8%)が最も高く、次いで「孤独にならないこと」(66.5%)の順となっている。
- 13ポイント以上では、「24時間体制で介護が受けられること」(80.8%)が最も高く、次いで「孤独にならないこと」(69.2%)の順となっている。
- 12ポイント以下では、「24時間体制で介護が受けられること」(78.3%)が最も高く、次いで「専門的な介護が受けられること」(66.8%)の順となっている。

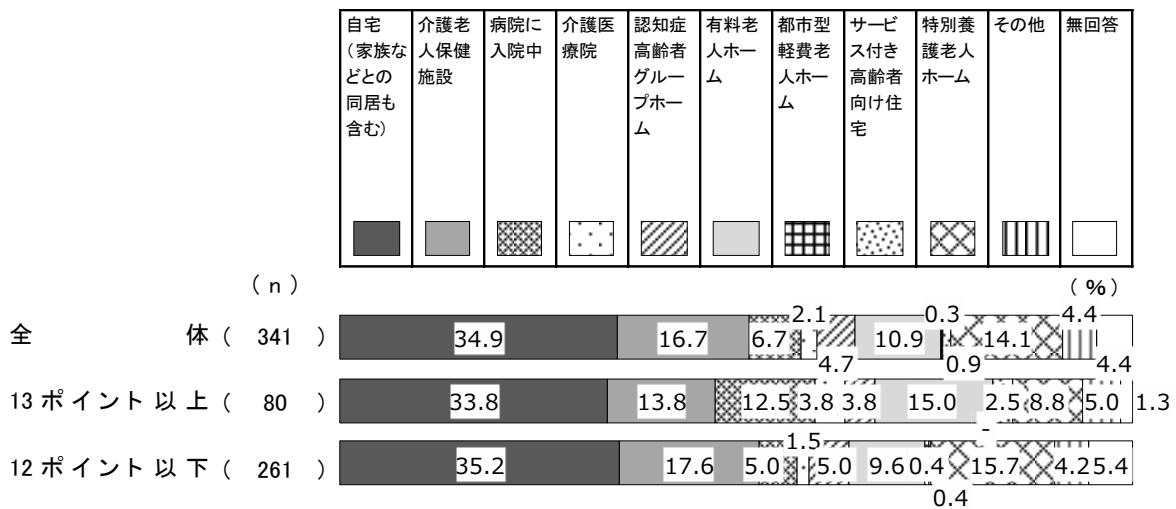
(複数回答)



11. 特別養護老人ホーム入所申込みの状況

(1) 現在の生活場所

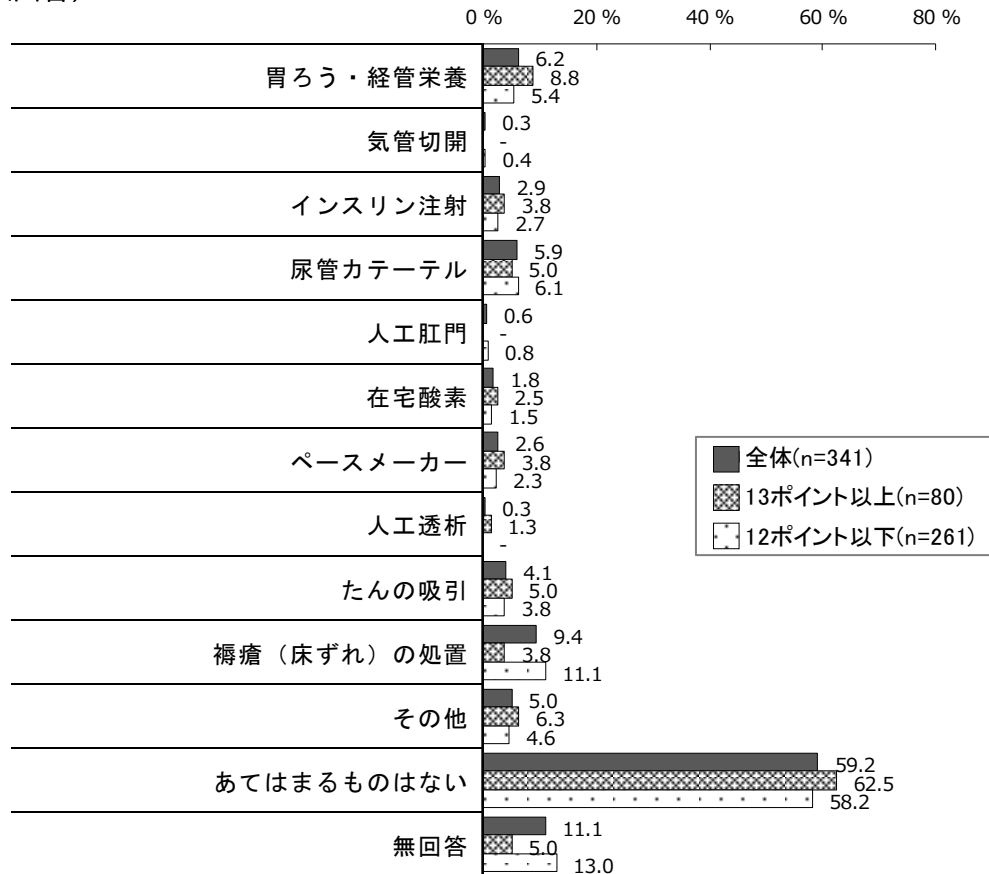
- 特養入所申込者の全体では、「自宅（家族などとの同居も含む）」（34.9%）が最も高く、次いで「介護老人保健施設」（16.7%）の順となっている。
- 13ポイント以上では、「自宅（家族などとの同居も含む）」（33.8%）が最も高く、次いで「有料老人ホーム」（15.0%）の順となっている。
- 12ポイント以下では、「自宅（家族などとの同居も含む）」（35.2%）が最も高く、次いで「介護老人保健施設」（17.6%）の順となっている。



(2) 医療処置の状況

- 特養入所申込者の全体では、「あてはまるものはない」が最も高く、59.2%となっている。
 “何らかの処置を受けている”（「あてはまるものはない」と無回答を除く）は29.7%となっている。「褥瘡（床ずれ）の処置」（9.4%）が最も高く、次いで「胃ろう・経管栄養」（6.2%）の順となっている。
- 13ポイント以上では、「あてはまるものはない」が最も高く、62.5%となっている。
 “何らかの処置を受けている”は32.5%となっている。「胃ろう・経管栄養」（8.8%）が最も高く、次いで「尿管カテーテル」および「たんの吸引」（ともに5.0%）の順となっている。
- 12ポイント以下では、「あてはまるものはない」が最も高く、58.2%となっている。
 “何らかの処置を受けている”は28.8%となっている。「褥瘡（床ずれ）の処置」（11.1%）が最も高く、次いで「尿管カテーテル」（6.1%）の順となっている。

(複数回答)

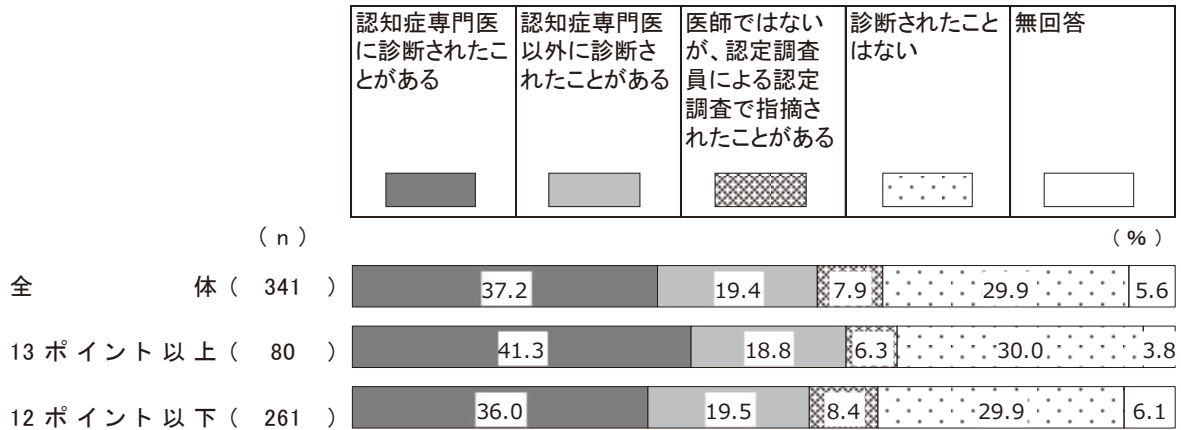


(3) 認知症の診断状況

○特養入所申込者の全体では、「認知症専門医に診断されたことがある」(37.2%)が最も高く、次いで「診断されたことはない」(29.9%)の順となっている。

○13ポイント以上では、「認知症専門医に診断されたことがある」(41.3%)が最も高く、次いで「診断されたことはない」(30.0%)の順となっている。

○12ポイント以下では、「認知症専門医に診断されたことがある」(36.0%)が最も高く、次いで「診断されたことはない」(29.9%)の順となっている。



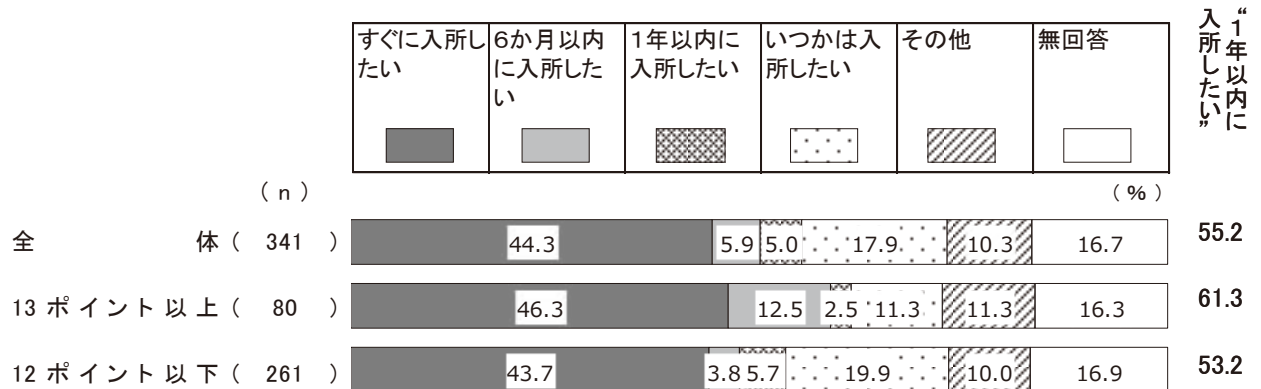
(4) 入所の希望

①入所の希望時期

○特養入所申込者の全体では、「1年以内に入所したい」(「すぐに入所したい」、「6か月以内に入所したい」、「1年以内に入所したい」の合計)が55.2%となっている。

○13ポイント以上では、「1年以内に入所したい」が61.3%となっている。

○12ポイント以下では、「1年以内に入所したい」が53.2%となっている。



[入所の希望時期<経年比較(特養入所申込者全体)>]

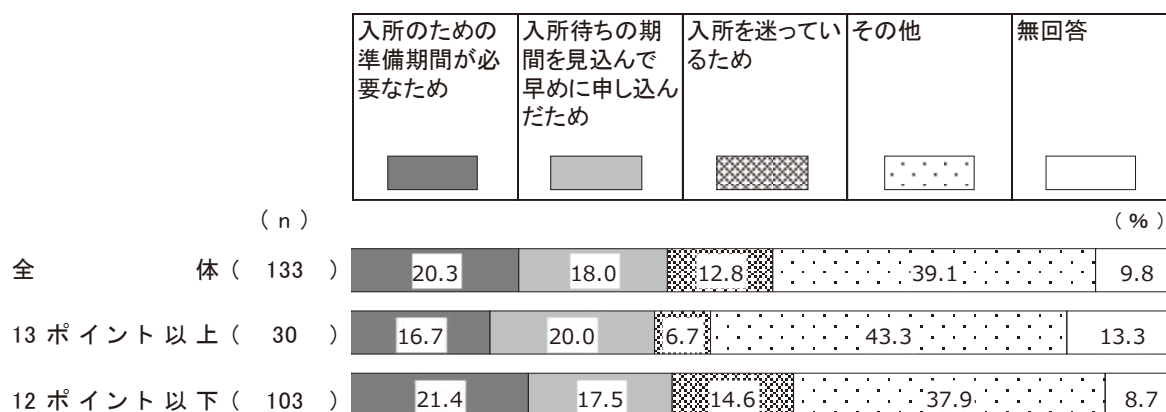
○令和4年度の調査結果と比較すると、「すぐに入所したい」が10.2ポイント高くなっている。

	n	すぐに入所したい	6か月以内に入所したい	1年以内に入所したい	いつかは入所したい	その他	無回答	1年以内に入所したい
令和7年度	341	44.3	5.9	5.0	17.9	10.3	16.7	55.2
令和4年度	311	34.1	6.8	8.4	5.1	14.5	23.8	56.6

※令和4年度には、選択肢「3か月以内に入所したい」(7.4%)がある。

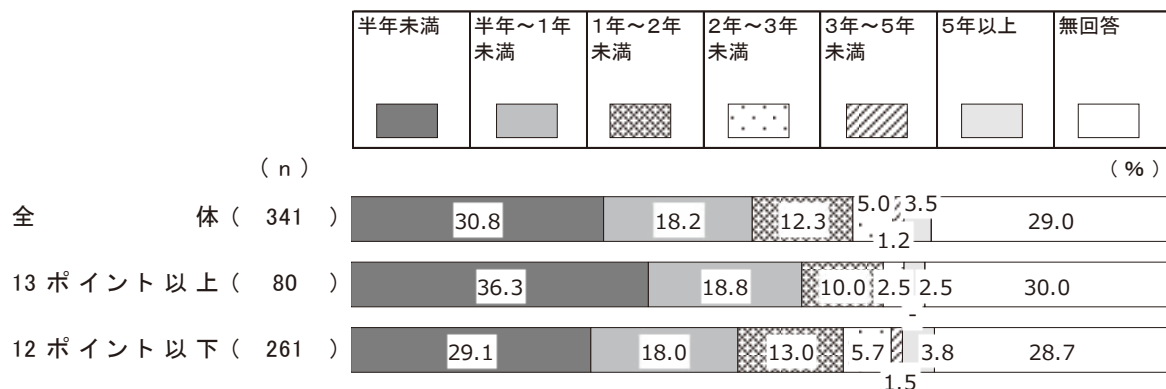
②早期の入所を希望しない理由

- 特養入所申込者の全体では、「入所のための準備期間が必要なため」(20.3%)が最も高く、次いで「入所待ちの期間を見込んで早めに申し込んだため」(18.0%)の順となっている。
- 13ポイント以上では、「入所待ちの期間を見込んで早めに申し込んだため」(20.0%)が最も高く、次いで「入所のための準備期間が必要なため」(16.7%)の順となっている。
- 12ポイント以下では、「入所のための準備期間が必要なため」(21.4%)が最も高く、次いで「入所待ちの期間を見込んで早めに申し込んだため」(17.5%)の順となっている。



(5) 特別養護老人ホームの最初の申込みからの経過期間

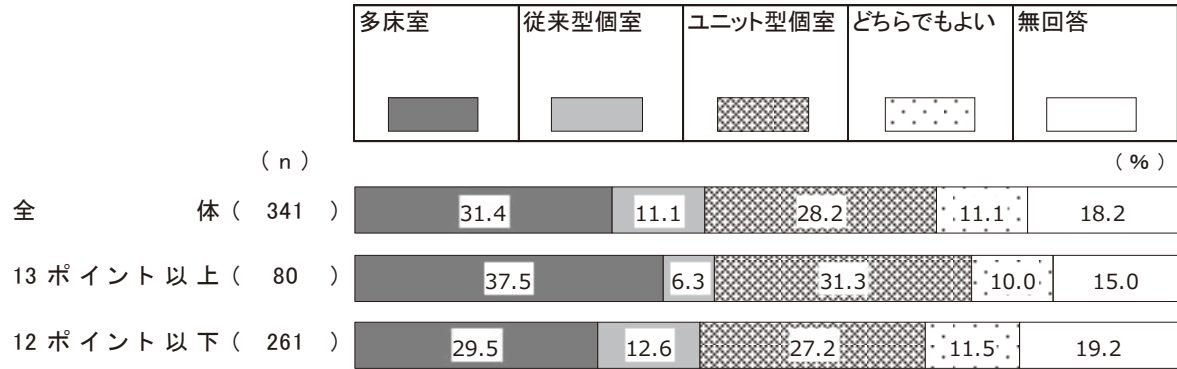
- 最初の特別養護老人ホームへの入所申込みからの経過期間は、いずれも“1年未満”(「半年未満」と「半年～1年未満」の合計)が4割から5割となっている。



(6) 入所したい特別養護老人ホームのタイプ

①入所したい特別養護老人ホームのタイプ

○いずれも「多床室」が最も高く、特養入所申込者の全体で31.4%、13ポイント以上で37.5%、12ポイント以下で29.5%となっており、次いで「ユニット型個室」がそれぞれ28.2%、31.3%、27.2%となっている。



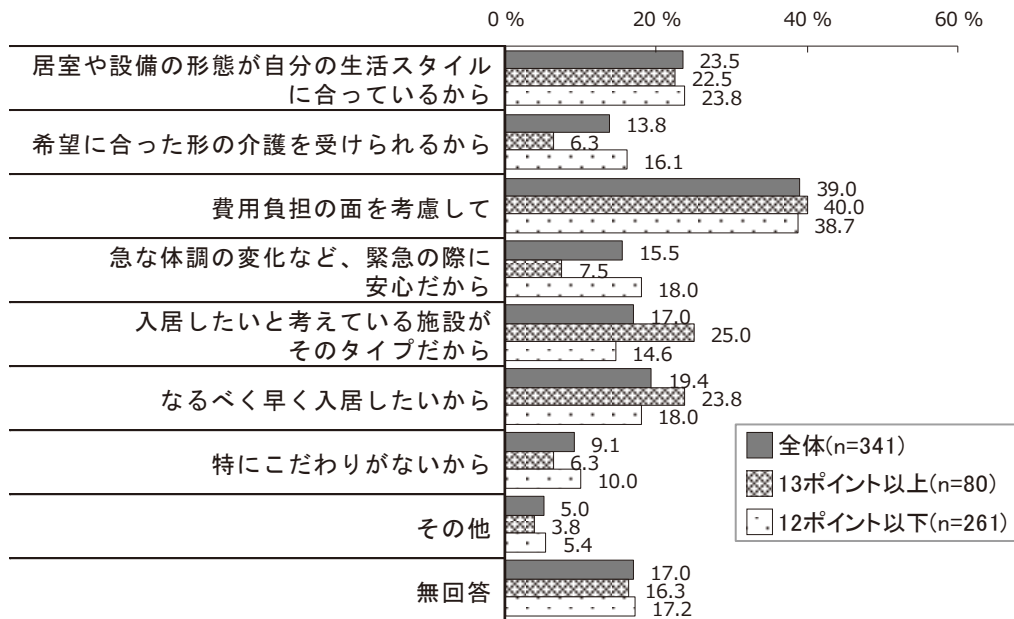
②入所したい特別養護老人ホームのタイプの理由

○特養入所申込者の全体では、「費用負担の面を考慮して」(39.0%)が最も高く、次いで「居室や設備の形態が自分の生活スタイルに合っているから」(23.5%)の順となっている。

○13ポイント以上では、「費用負担の面を考慮して」(40.0%)が最も高く、次いで「入居したいと考えている施設がそのタイプだから」(25.0%)の順となっている。

○12ポイント以下では、「費用負担の面を考慮して」(38.7%)が最も高く、次いで「居室や設備の形態が自分の生活スタイルに合っているから」(23.8%)の順となっている。

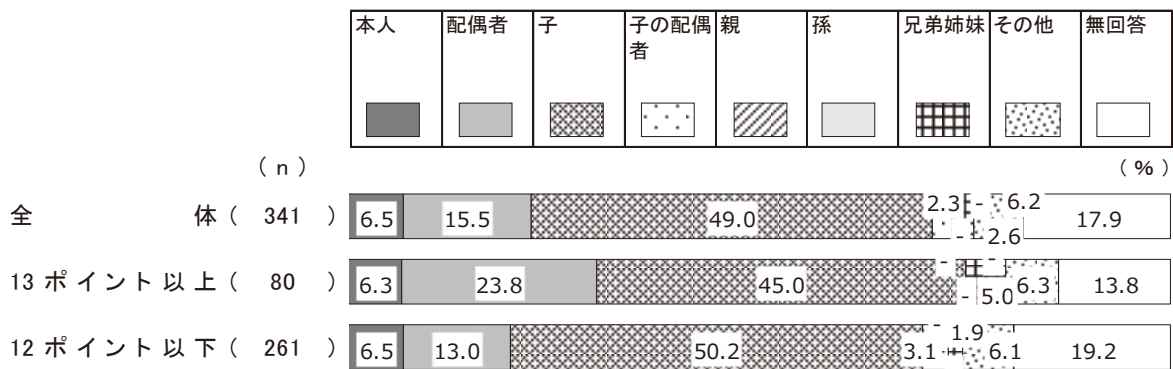
(複数回答)



(7) 特別養護老人ホームの申込み状況

①申込みを決定した人

○いずれも「子」が最も高く、特養入所申込者で49.0%、13ポイント以上で45.0%、次いで「配偶者」がそれぞれ15.5%、23.8%、13.0%となっている。



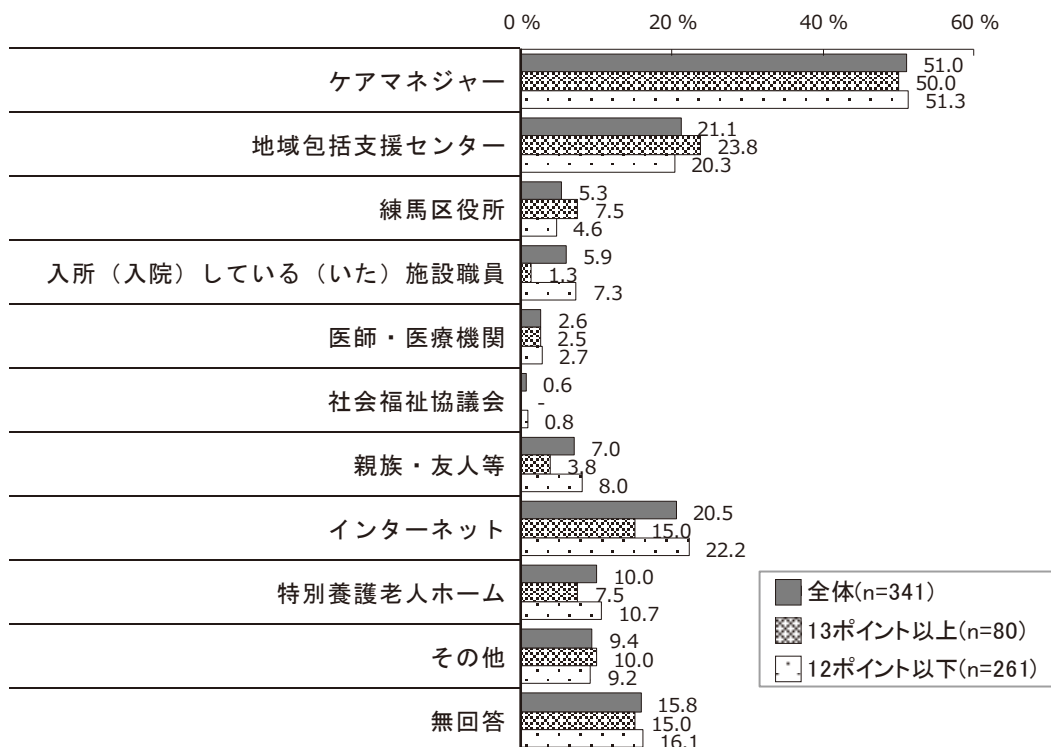
②入所申込みをした特別養護老人ホームの情報の入手経路

○特養入所申込者の全体では「ケアマネジャー」(51.0%)が最も高く、次いで「地域包括支援センター」(21.1%)の順となっている。

○13ポイント以上では、「ケアマネジャー」(50.0%)が最も高く、次いで「地域包括支援センター」(23.8%)の順となっている。

○12ポイント以下では、「ケアマネジャー」(51.3%)が最も高く、次いで「インターネット」(22.2%)の順となっている。

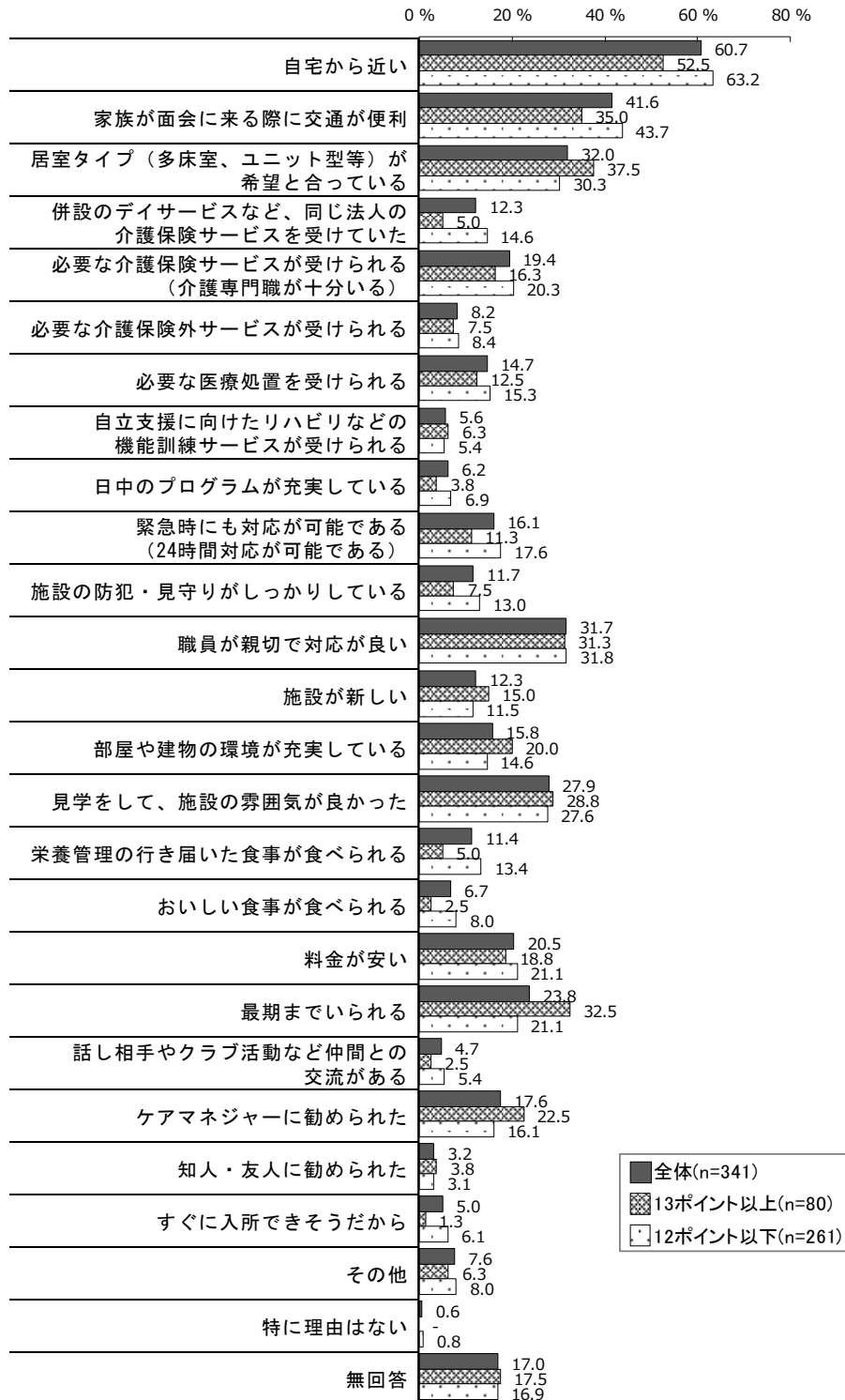
(複数回答)



③入所申込みをした特別養護老人ホームを選択した理由

- 特養入所申込者の全体では、「自宅から近い」(60.7%)が最も高く、次いで「家族が面会に来る際に交通が便利」(41.6%)の順となっている。
- 13ポイント以上では、「自宅から近い」(52.5%)が最も高く、次いで「居室タイプ(多床室、ユニット型等)が希望と合っている」(37.5%)の順となっている。
- 12ポイント以下では、「自宅から近い」(63.2%)が最も高く、次いで「家族が面会に来る際に交通が便利」(43.7%)の順となっている。

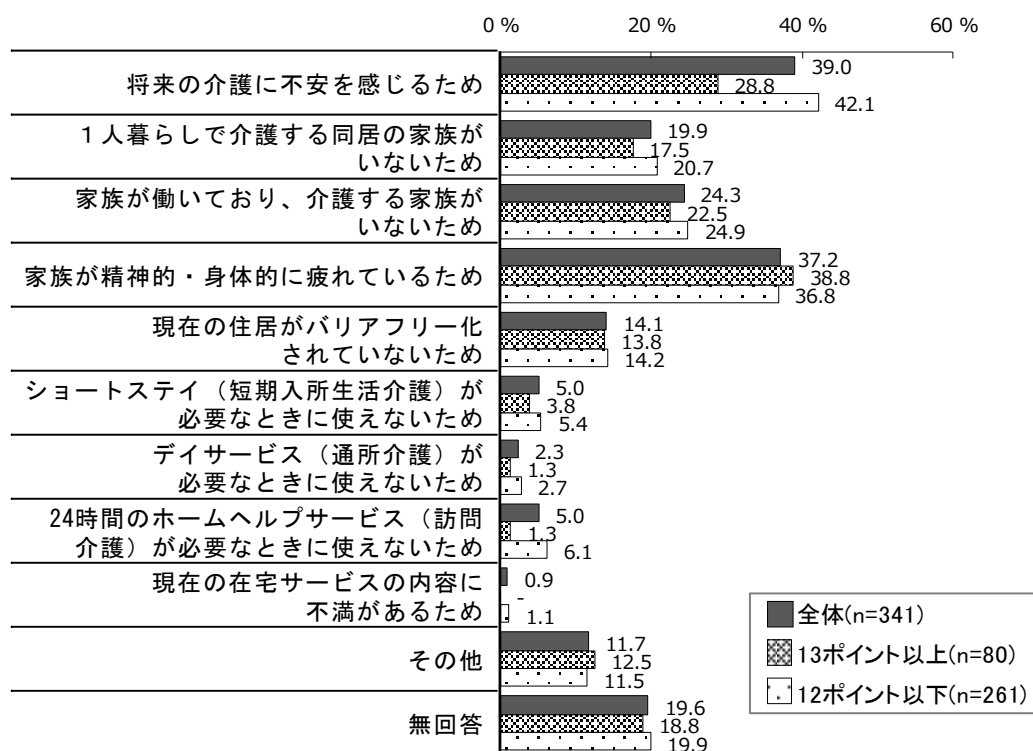
(複数回答)



④特別養護老人ホームを申し込んだ理由

- 特養入所申込者の全体では、「将来の介護に不安を感じるため」(39.0%)が最も高く、次いで「家族が精神的・身体的に疲れているため」(37.2%)の順となっている。
- 13ポイント以上では、「家族が精神的・身体的に疲れているため」(38.8%)が最も高く、次いで「将来の介護に不安を感じるため」(28.8%)の順となっている。
- 12ポイント以下では、「将来の介護に不安を感じるため」(42.1%)が最も高く、次いで「家族が精神的・身体的に疲れているため」(36.8%)の順となっている。

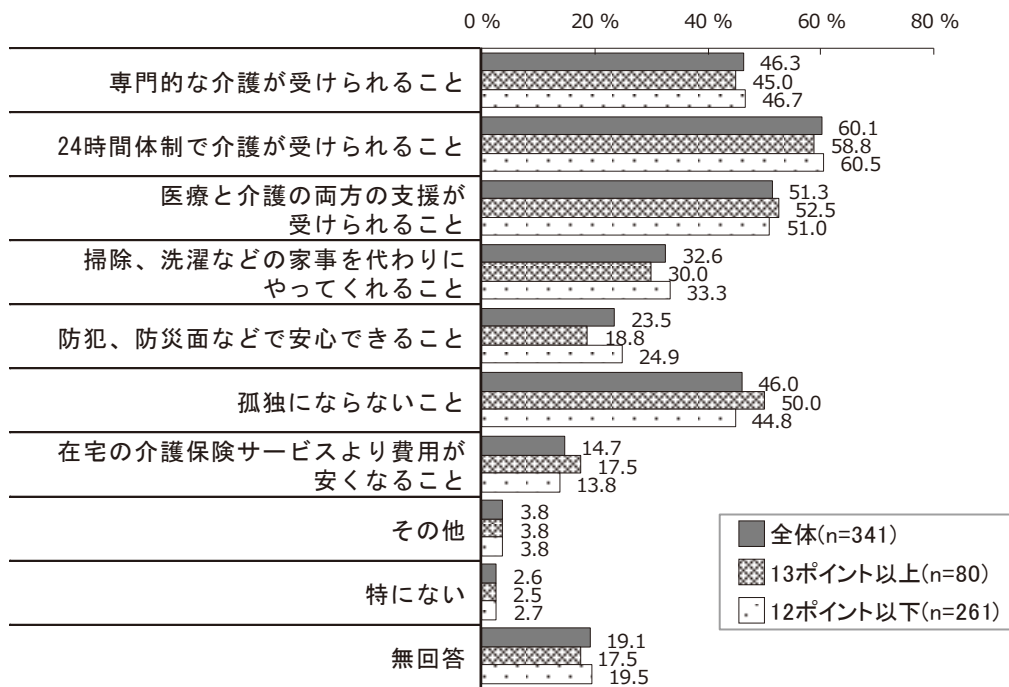
(複数回答)



⑤施設サービス等に期待すること

- 特養入所申込者の全体では、「24時間体制で介護が受けられること」(60.1%)が最も高く、次いで「医療と介護の両方の支援が受けられること」(51.3%)の順となっている。
- 13ポイント以上では、「24時間体制で介護が受けられること」(58.8%)が最も高く、次いで「医療と介護の両方の支援が受けられること」(52.5%)の順となっている。
- 12ポイント以下では、「24時間体制で介護が受けられること」(60.5%)が最も高く、次いで「医療と介護の両方の支援が受けられること」(51.0%)順となっている。

(複数回答)



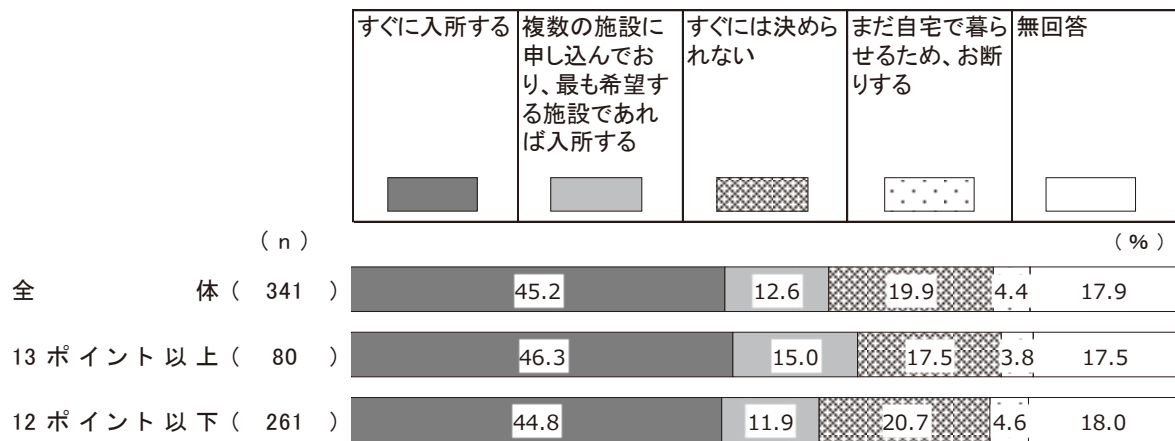
(8) 申し込んでいる特別養護老人ホームから連絡がきた場合の対応

①連絡がきた場合の対応

○申し込んでいる特別養護老人ホームから「入所できます」と連絡がきた場合の対応は、特養入所申込者の全体では、「すぐに入所する」(45.2%)が最も高くなっている。“すぐに入所しない”(「すぐには決められない」と「まだ自宅で暮らせるため、お断りする」の合計)は24.3%となっている。

○13ポイント以上では、申し込んでいる特別養護老人ホームから「入所できます」と連絡がきた場合の対応は、「すぐに入所する」(46.3%)が最も高くなっている。“すぐに入所しない”は21.3%となっている。

○12ポイント以下では、申し込んでいる特別養護老人ホームから「入所できます」と連絡がきた場合の対応は、「すぐに入所する」(44.8%)が最も高くなっている。“すぐに入所しない”は25.3%となっている。

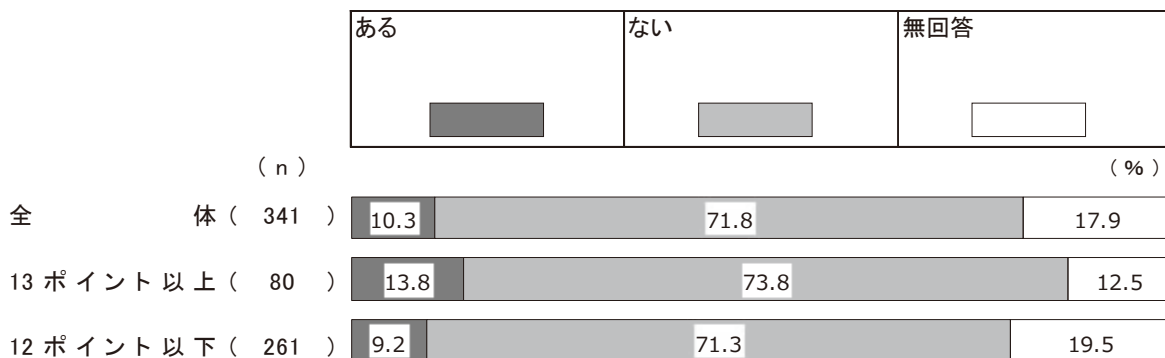


②入所案内の連絡を辞退した経験

○申し込んでいる特別養護老人ホームから「入所できます」と連絡があった際に断った経験は、特養入所申込者の全体では、「ある」が10.3%、「ない」が71.8%となっている。

○13ポイント以上では、「ある」が13.8%、「ない」が73.8%となっている。

○12ポイント以下では、「ある」が9.2%、「ない」が71.3%となっている。

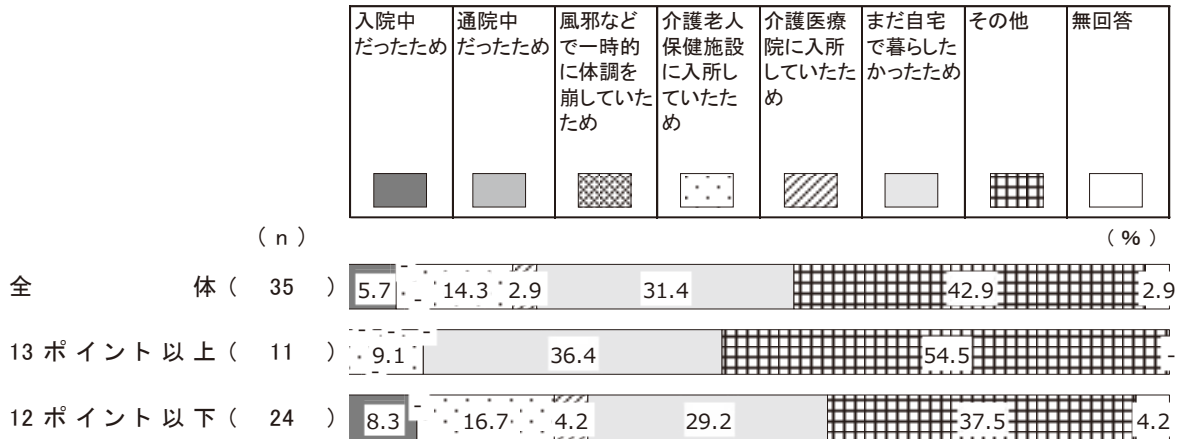


③辞退した理由

○入所辞退の経験が「ある」と回答した人の辞退理由は、特養入所申込者の全体では、「まだ自宅で暮らしたかったため」(31.4%)が最も高く、次いで「介護老人保健施設に入所していたため」(14.3%)の順となっている。

○13ポイント以上では、「まだ自宅で暮らしたかったため」(36.4%)が最も高く、次いで「介護老人保健施設に入所していたため」(9.1%)の順となっている。

○12ポイント以下では、「まだ自宅で暮らしたかったため」(29.2%)が最も高く、次いで「介護老人保健施設に入所していたため」(16.7%)の順となっている。



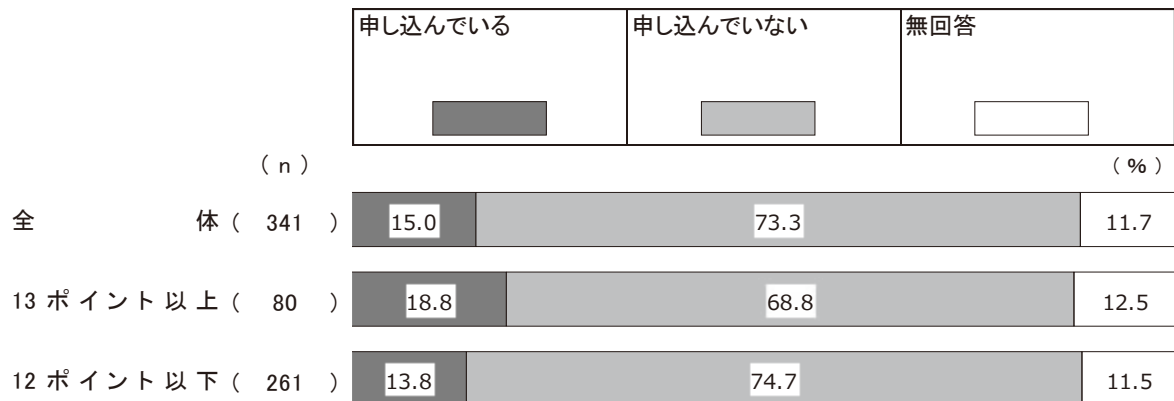
(9) 区外の特別養護老人ホームの入所申込み状況

①区外の特別養護老人ホームの入所申込みの状況

○特養入所申込者の全体では、「申し込んでいる」は15.0%、「申し込んでいない」は73.3%となっている。

○13ポイント以上では、「申し込んでいる」は18.8%、「申し込んでいない」は68.8%となっている。

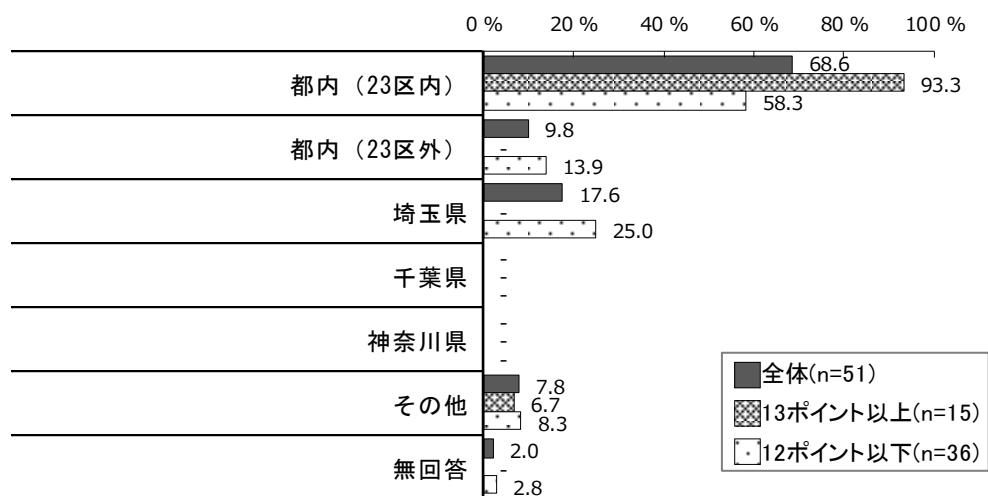
○12ポイント以下では、「申し込んでいる」は13.8%、「申し込んでいない」は74.7%となっている。



②申し込んでいる特別養護老人ホームの場所

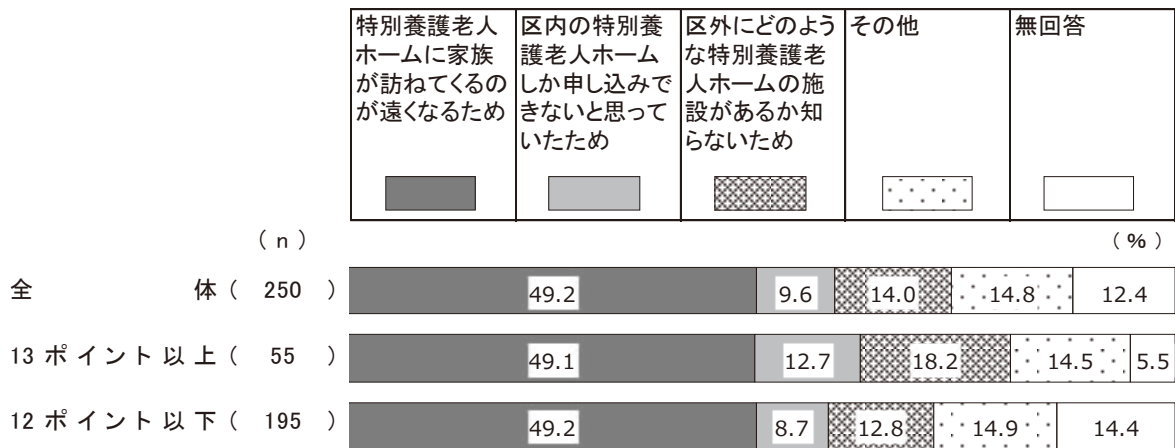
- 特養入所申込者の全体では、区外の特別養護老人ホームに入所を「申し込んでいる」と回答した人の入所を申し込んでいる特別養護老人ホームの場所は、「都内（23区内）」（68.6%）が最も高く、次いで「埼玉県」（17.6%）の順となっている。
- 13ポイント以上では、「都内（23区内）」（93.3%）が最も高く、次いで「その他」（6.7%）の順となっている。
- 12ポイント以下では、「都内（23区内）」（58.3%）が最も高く、次いで「埼玉県」（25.0%）の順となっている。

（複数回答）



③区外の特別養護老人ホームに申し込まない理由

- 区外の特別養護老人ホームに入所を「申し込んでいない」と回答した人の申し込まない理由は、特養入所申込者の全体では、「特別養護老人ホームに家族が訪ねてくるのが遠くなるため」(49.2%)が最も高く、次いで「区外にどのような特別養護老人ホームの施設があるか知らないため」(14.0%)の順となっている。
- 13ポイント以上では、「特別養護老人ホームに家族が訪ねてくるのが遠くなるため」(49.1%)が最も高く、次いで「区外にどのような特別養護老人ホームの施設があるか知らないため」(18.2%)の順となっている。
- 12ポイント以下では、「特別養護老人ホームに家族が訪ねてくるのが遠くなるため」(49.2%)が最も高く、次いで「区外にどのような特別養護老人ホームの施設があるか知らないため」(12.8%)の順となっている。



(10) 特別養護老人ホーム以外の入所申込みの状況

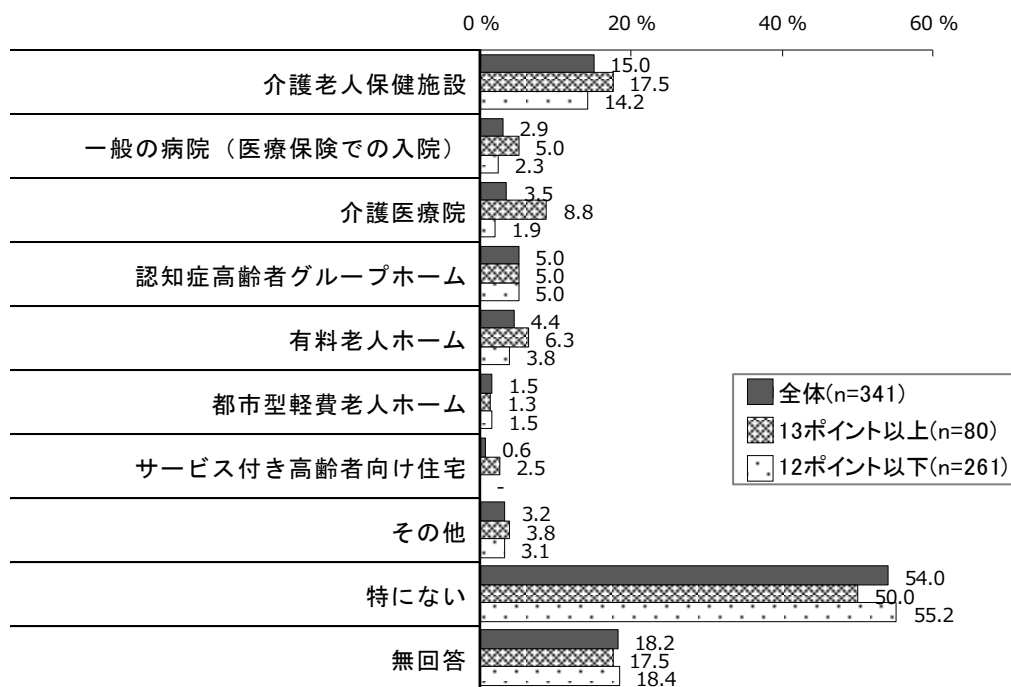
①特別養護老人ホーム以外の入所申込みの状況

○特養入所申込者の全体では、「特にない」(54.0%)が最も高くなっている。申込み先(「特にない」と「無回答」を除く)としては、「介護老人保健施設」(15.0%)が最も高く、次いで「認知症高齢者グループホーム」(5.0%)の順となっている。

○13ポイント以上では、「特にない」(50.0%)が最も高くなっている。申込み先としては、「介護老人保健施設」(17.5%)が最も高く、次いで「介護医療院」(8.8%)の順となっている。

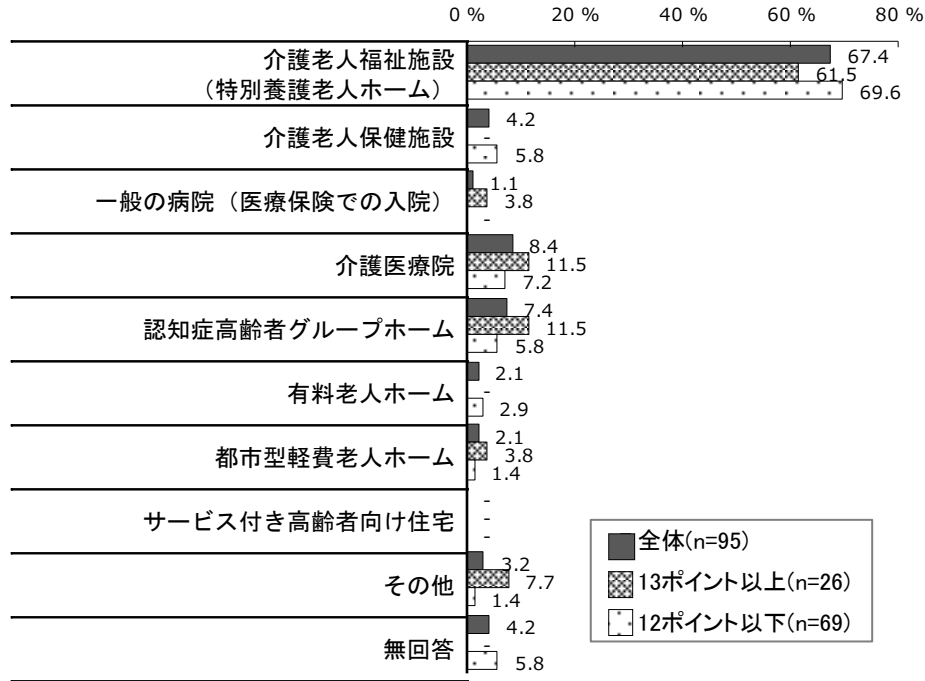
○12ポイント以下では、「特にない」(55.2%)が最も高くなっている。申込み先としては、「介護老人保健施設」(14.2%)が最も高く、次いで「認知症高齢者グループホーム」(5.0%)の順となっている。

(複数回答)



②入所したい施設の優先順位

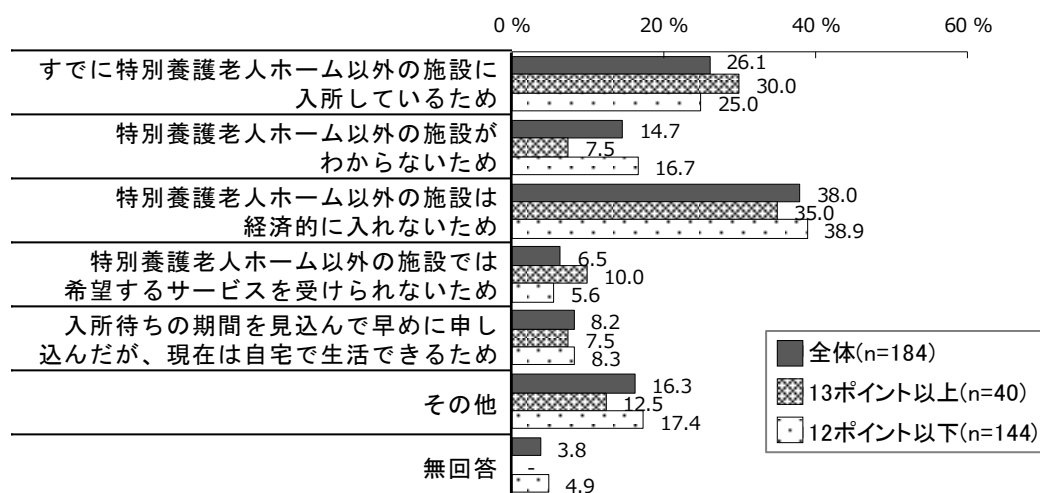
○特別養護老人ホーム以外に申込みをしている施設、もしくは、利用を検討している施設があると回答した人に、入所したい施設の優先順位を聞いたところ、特養入所申込者の全体では、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」（67.4%）が最も高く、次いで「介護医療院」（8.4%）の順となっている。



③特別養護老人ホーム以外に申込みをしていない理由

- 特養入所申込者の全体では、特別養護老人ホーム以外の入所申込みの状況で「特にない」と回答した人の特別養護老人ホーム以外に申込みをしていない理由は、「特別養護老人ホーム以外の施設は経済的に入れないため」(38.0%)が最も高く、次いで「すでに特別養護老人ホーム以外の施設に入所しているため」(26.1%)の順となっている。
- 13ポイント以上では、「特別養護老人ホーム以外の施設は経済的に入れないため」(35.0%)が最も高く、次いで「すでに特別養護老人ホーム以外の施設に入所しているため」(30.0%)の順となっている。
- 12ポイント以下では、「特別養護老人ホーム以外の施設は経済的に入れないため」(38.9%)が最も高く、次いで「すでに特別養護老人ホーム以外の施設に入所しているため」(25.0%)の順となっている。

(複数回答)



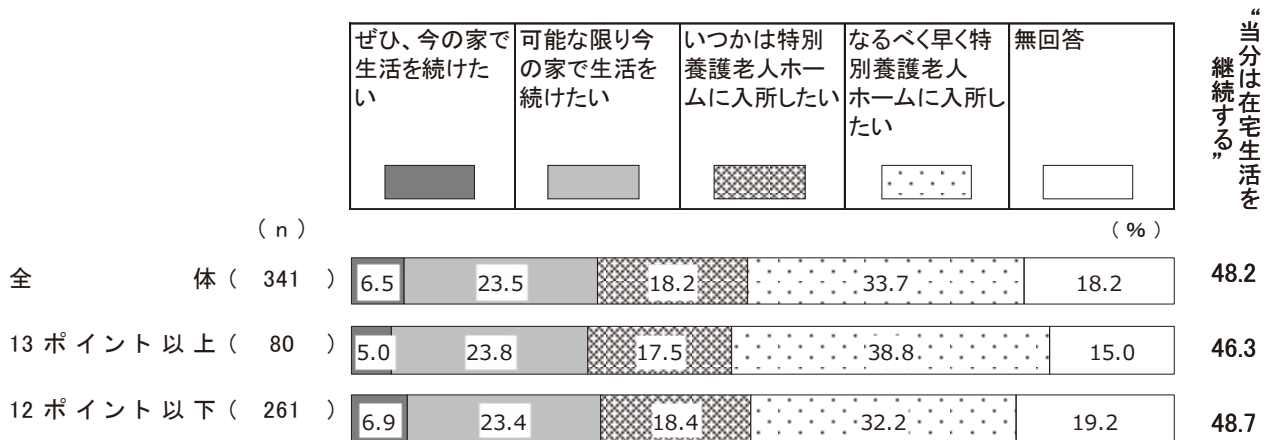
(11) サービス等の充実による在宅生活の継続希望

①在宅生活の継続希望

○希望する在宅サービスの提供や制度の充実が見込めるのであれば、自宅での生活を希望するかどうか聞いたところ、特養入所申込者の全体では、“当分は在宅生活を継続する”（「ぜひ、今の家で生活を続けたい」、「可能な限り今の家で生活を続けたい」、「いつかは特別養護老人ホームに入所したい」の合計）と回答した人は48.2%で、「なるべく早く特別養護老人ホームに入所したい」（33.7%）を上回っている。

○13ポイント以上では、“当分は在宅生活を継続する”と回答した人は46.3%で、「なるべく早く特別養護老人ホームに入所したい」（38.8%）を上回っている。

○12ポイント以下では、“当分は在宅生活を継続する”と回答した人は48.7%で、「なるべく早く特別養護老人ホームに入所したい」（32.2%）を上回っている。



[在宅生活の継続希望<経年比較(特養入所申込者)>]

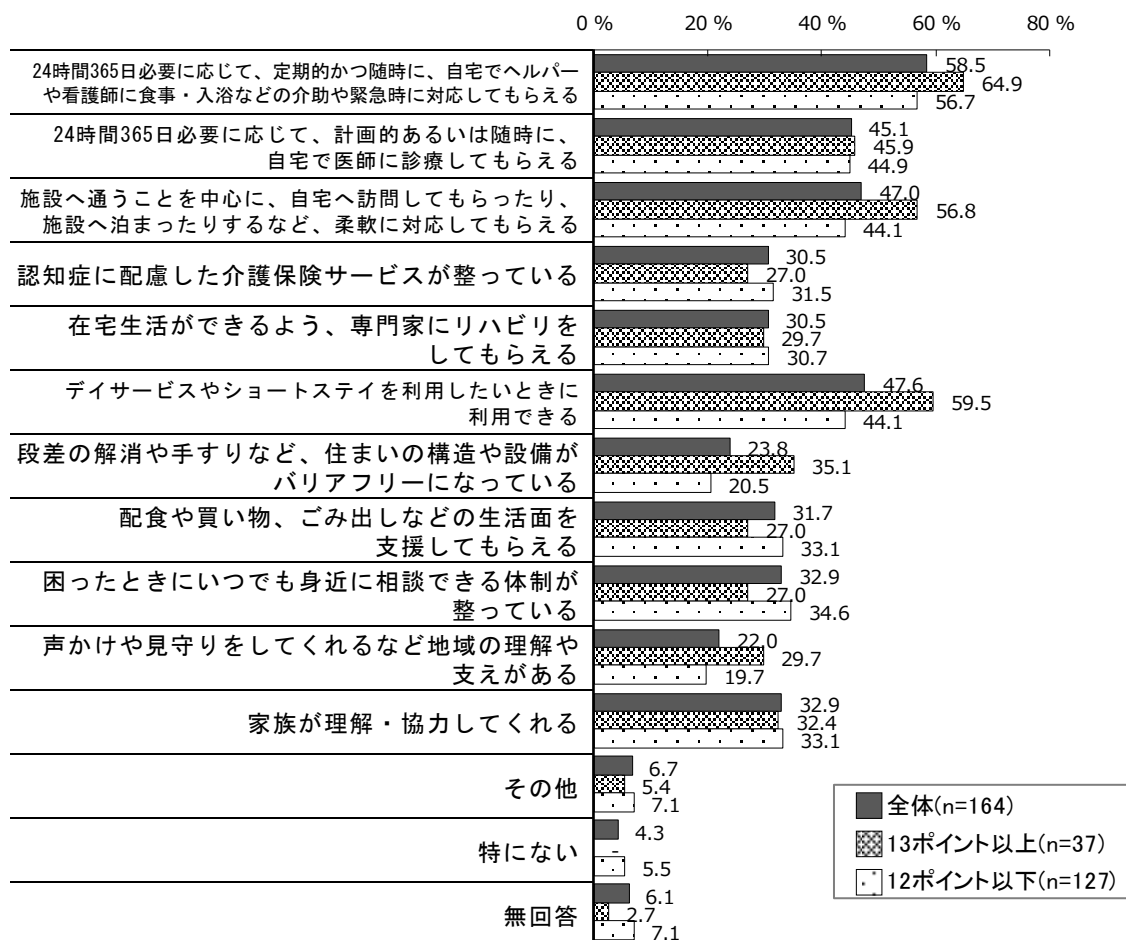
○令和4年度の調査結果と比較すると、大きな差はみられない。

	n	ぜひ、今の家で生活を続けたい	可能な限り今の家で生活を続けたい	いつかは特別養護老人ホームに入所したい	なるべく早く特別養護老人ホームに入所したい	無回答	当分は在宅生活を継続する
令和7年度	341	6.5	23.5	18.2	33.7	18.2	48.2
令和4年度	311	7.1	22.2	18.6	30.5	21.5	47.9

②在宅生活を継続するために必要なこと

- 特養入所申込者の全体では、“当分は在宅生活を継続する”と回答した人が在宅生活を可能にすると思うサービスは、「24時間365日必要に応じて、定期的かつ随時に、自宅でヘルパーや看護師に食事・入浴などの介助や緊急時に対応してもらえる」(58.5%)が最も高く、次いで「デイサービスやショートステイを利用したいときに利用できる」(47.6%)の順となっている。
- 13ポイント以上では、「24時間365日必要に応じて、定期的かつ随時に、自宅でヘルパーや看護師に食事・入浴などの介助や緊急時に対応してもらえる」(64.9%)が最も高く、次いで「デイサービスやショートステイを利用したいときに利用できる」(59.5%)の順となっている。
- 12ポイント以下では、「24時間365日必要に応じて、定期的かつ随時に、自宅でヘルパーや看護師に食事・入浴などの介助や緊急時に対応してもらえる」(56.7%)が最も高く、次いで「24時間365日必要に応じて、計画的あるいは随時に、自宅で医師に診療してもらえる」(45.1%)の順となっている。

(複数回答)



(12) ショートステイの利用状況

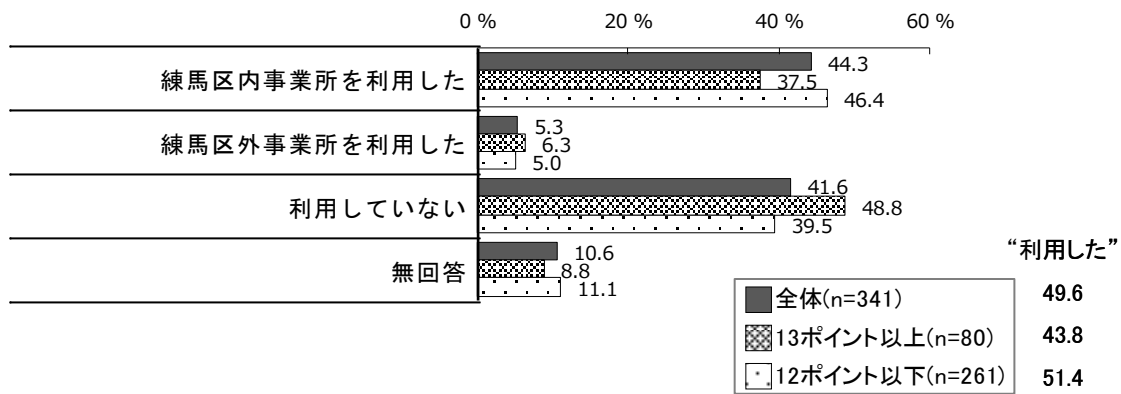
①過去1年間のショートステイの利用状況

○特養入所申込者の全体では、過去1年間にショートステイを“利用した”（「練馬区内事業所を利用した」と「練馬区外事業所を利用した」の合計）は49.6%で、「利用していない」の41.6%を上回っている。

○13ポイント以上では、“利用した”は43.8%で、「利用していない」の48.8%を下回っている。

○12ポイント以下では、“利用した”は51.4%で、「利用していない」の39.5%を上回っている。

(複数回答)



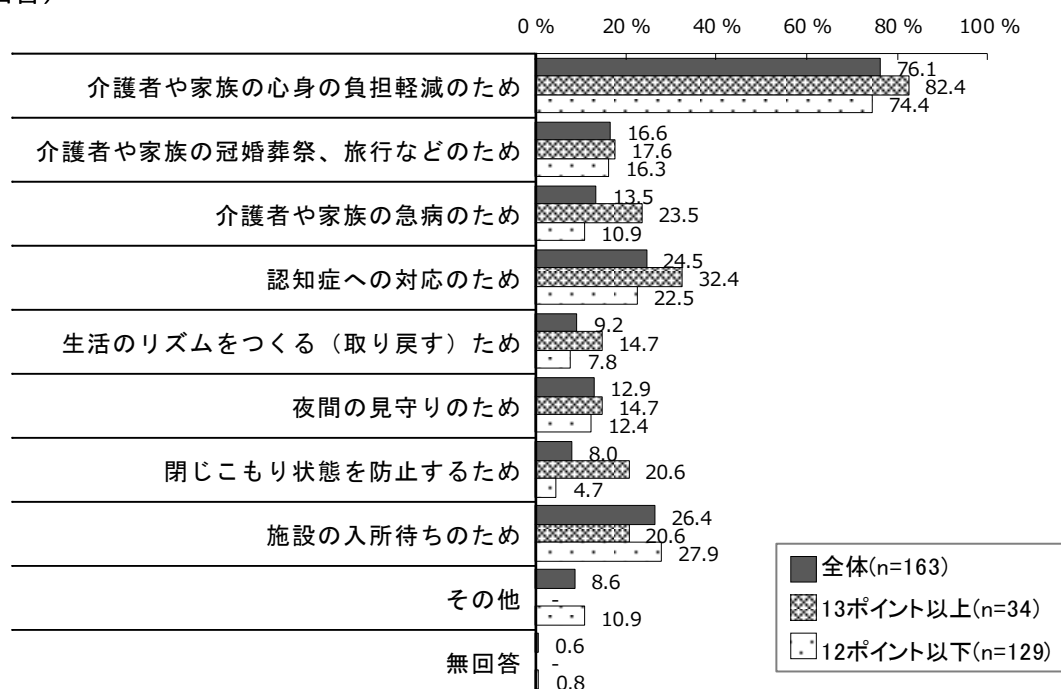
②ショートステイの利用目的

○特養入所申込者の全体では、過去1年間にショートステイを“利用した”と回答した人の利用目的は、「介護者や家族の心身の負担軽減のため」(76.1%)が最も高く、次いで「施設の入所待ちのため」(26.4%)の順となっている。

○13ポイント以上では、「介護者や家族の心身の負担軽減のため」(82.4%)が最も高く、次いで「認知症への対応のため」(32.4%)の順となっている。

○12ポイント以下では、「介護者や家族の心身の負担軽減のため」(74.4%)が最も高く、次いで「施設の入所待ちのため」(27.9%)の順となっている。

(複数回答)

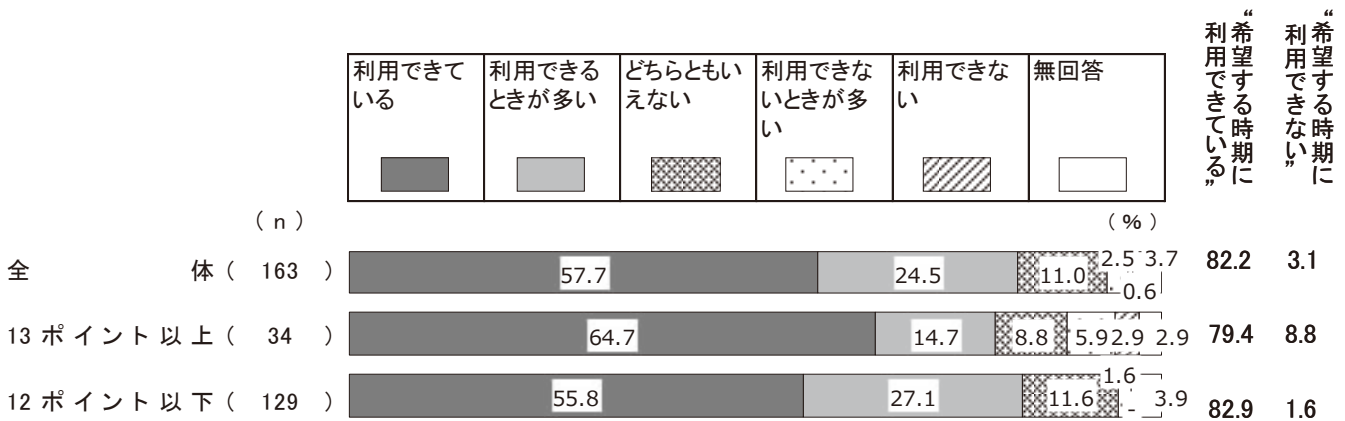


③希望する時期の利用状況

○過去1年間にショートステイを“利用した”と回答した人の希望する時期の利用状況は、特養入所申込者の全体では“利用できる”（「利用できる」と「利用できることが多い」の合計）が82.2%と、“利用できない”（「利用できない」と「利用できないときが多い」の合計）の3.1%を上回っている。

○13ポイント以上では“利用できる”が79.4%と、“利用できない”の8.8%を上回っている。

○12ポイント以下では“利用できる”が82.9%と、“利用できない”の1.6%を上回っている。

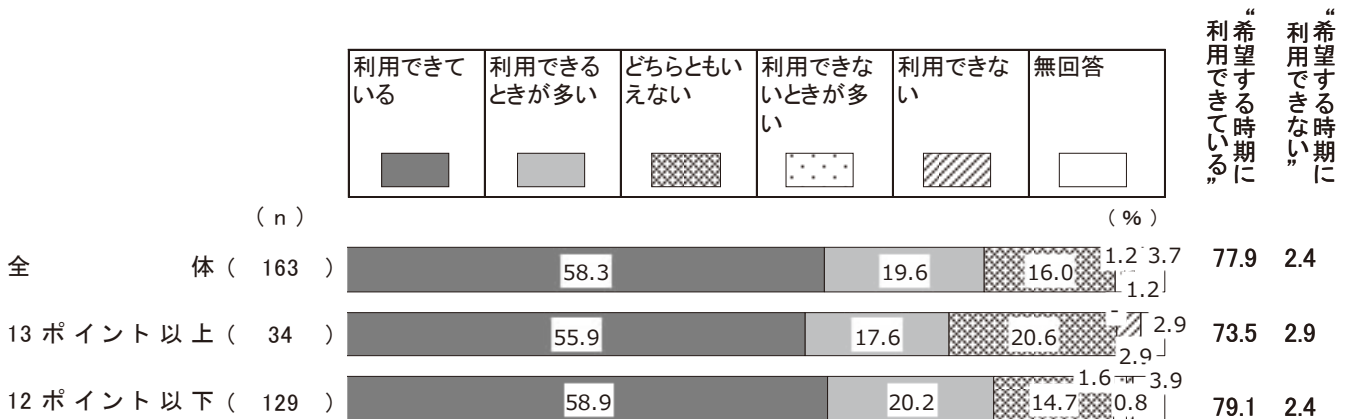


④希望施設の利用状況

○過去1年間にショートステイを“利用した”と回答した人の希望施設の利用状況は、特養入所申込者の全体では、“利用できる”（「利用できる」と「利用できることが多い」の合計）が77.9%と、“利用できない”（「利用できない」と「利用できないときが多い」の合計）の2.4%を上回っている。

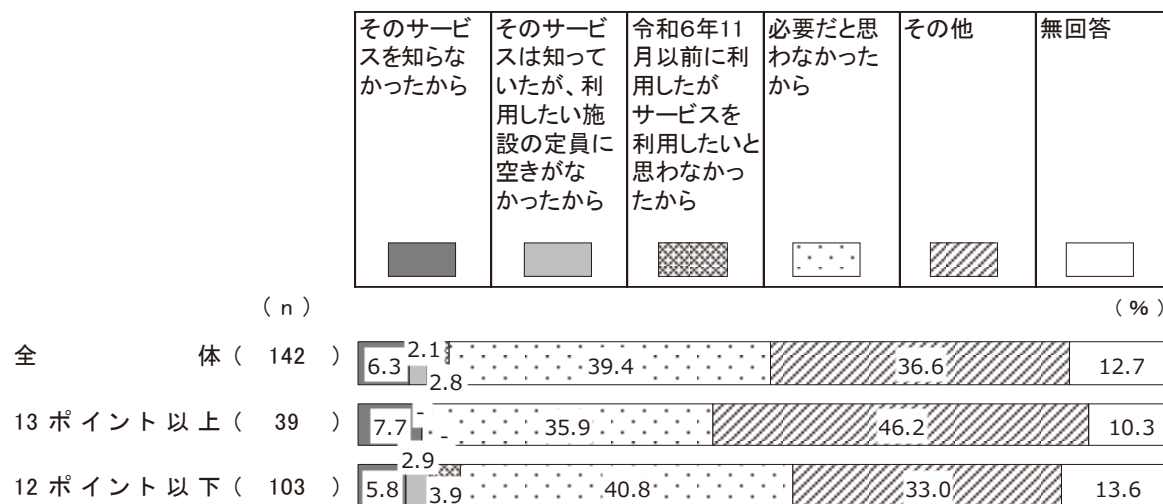
○13ポイント以上では、“利用できる”が73.5%と、“利用できない”の2.9%を上回っている。

○12ポイント以下では、“利用できる”が79.1%と、“利用できない”の2.4%を上回っている。



⑤ショートステイを利用しなかった理由

- 特養入所申込者の全体では、「必要だと思わなかったから」(39.4%)が最も高く、次いで「そのサービスを知らなかったから」(6.3%)の順となっている。
- 13ポイント以上では、「必要だと思わなかったから」(35.9%)が最も高く、次いで「そのサービスを知らなかったから」(7.7%)の順となっている。
- 12ポイント以下では、「必要だと思わなかったから」(40.8%)が最も高く、次いで「そのサービスを知らなかったから」(5.8%)の順となっている。

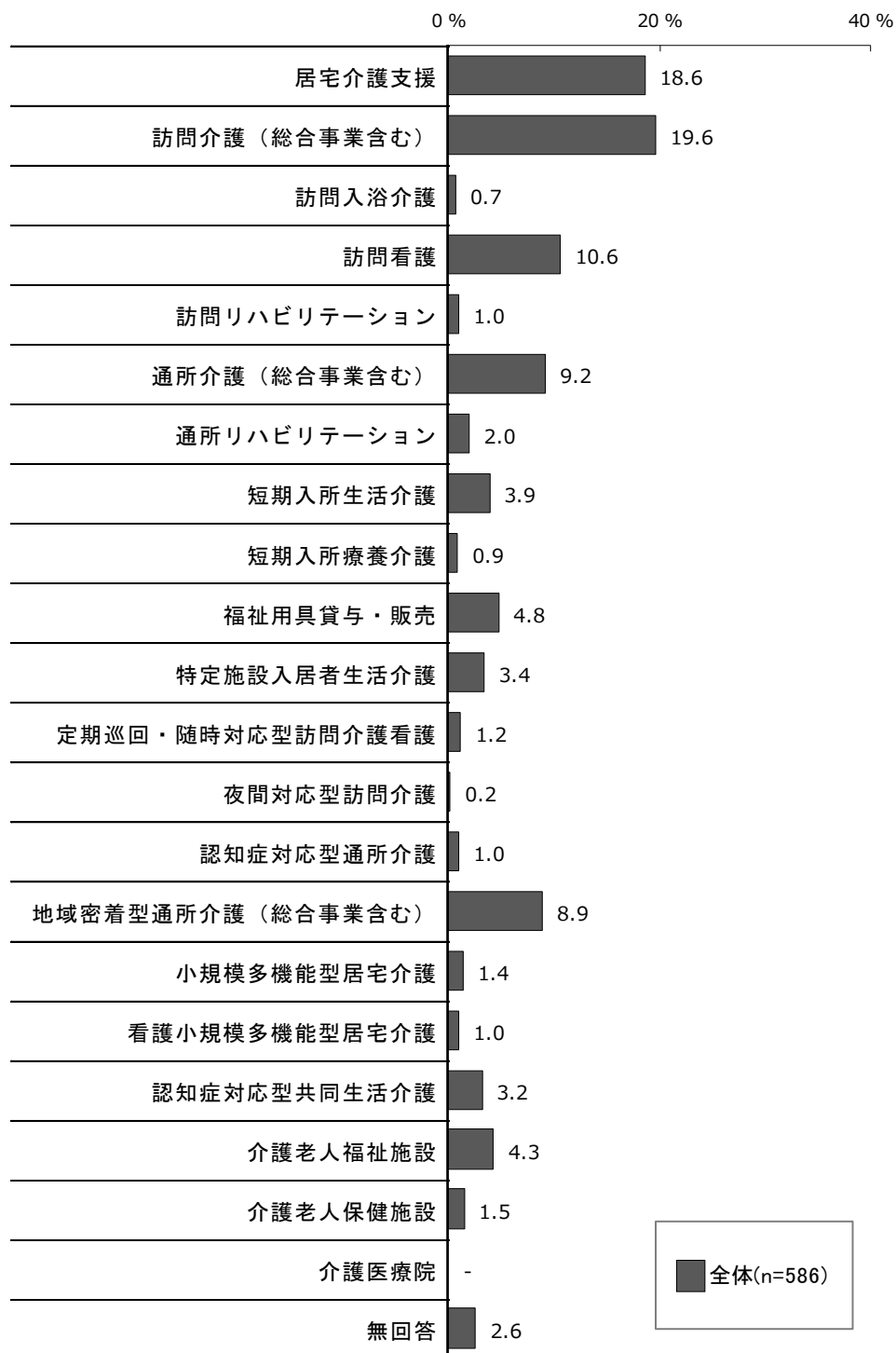


12. 介護サービス事業所調査

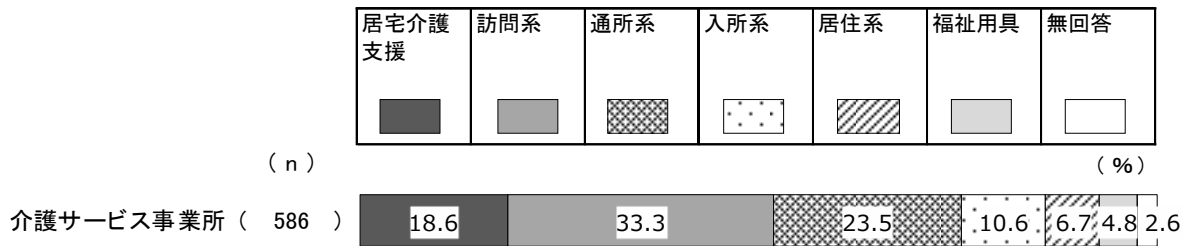
(1) 事業所の概要

①現在実施しているサービス

○「訪問介護（総合事業含む）」(19.6%)が最も高く、次いで「居宅介護支援」(18.6%)の順となっている。

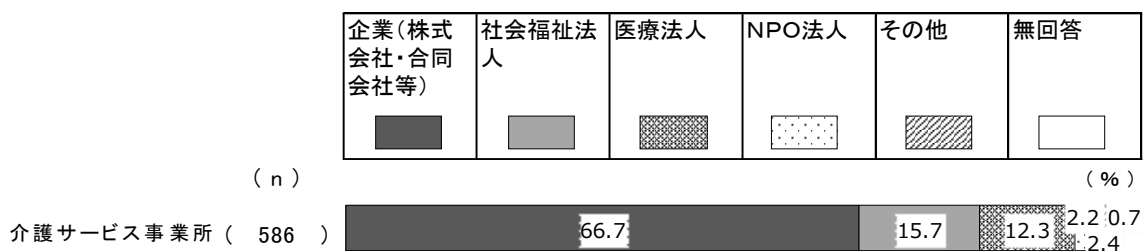


[現在実施しているサービス<サービス種別>]



②運営主体

○「企業（株式会社・合同会社等）」（66.7%）が最も高く、次いで「社会福祉法人」（15.7%）の順となっている。



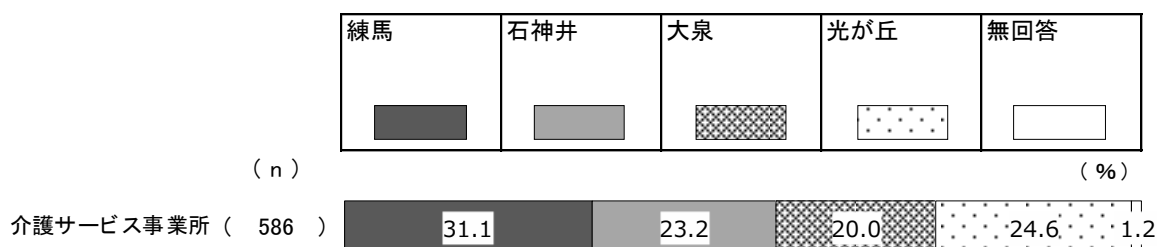
③運営主体の従業員数

○「100人以上」（36.9%）が最も高く、次いで「5人以上9人以下」（15.2%）の順となっている。



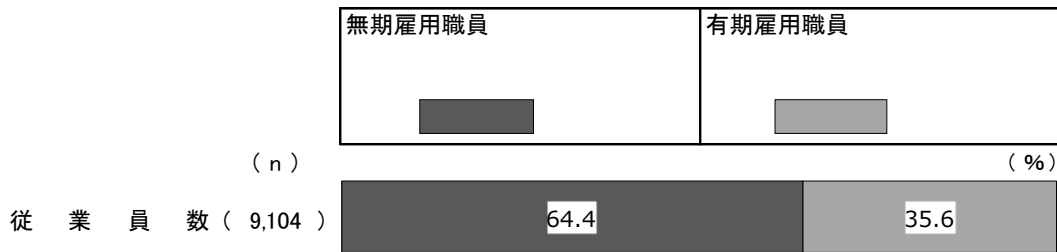
④基本地区

○「練馬」（31.1%）が最も高く、次いで「光が丘」（24.6%）の順となっている。



⑤介護サービス従事者の就業形態

○回答のあった事業所で介護保険の指定介護サービスに従事する従業員の就業形態は、「無期雇用職員」が64.4%、「有期雇用職員」が35.6%となっている。



※介護保険の指定介護サービス事業に従事する従業員：職種や役職等に関係なく、介護保険の指定介護サービス事業に従事する者。管理者、介護事務職、調理員、栄養士、送迎運転手等を含む。ただし、派遣労働者、委託従事者、単発アルバイトマッチングアプリを通じた従業者は除く。

※無期雇用職員：労働時間数にかかわらず雇用期間の定めがない者。本調査では、有期労働契約より無期労働契約に転換した者も含む。

※有期雇用職員：無期雇用職員以外の労働者。派遣労働者、委託業務従事者、単発アルバイトマッチングアプリを通じた従業者を除く。

※令和7年9月30日現在

⑥職種別従業員数

○「介護職員」(38.3%)が最も高く、次いで「訪問介護員」(18.6%)の順となっている。

	n	訪問 介護員	供 責任者	サ ービス 提	介 護 職 員	看 護 職 員	生 活 相 談 員	T P ・ O T ・ S T 等	門 員	介 護 支 援 専	事 務 職 員	介 護 助 手	調 理 員	ド ラ イ バ ー	3 職 種 計	2 職 種 計
全体	8,807	18.6	3.6	38.3	13.6	3.5	5.7	5.0	4.5	1.9	1.9	3.6	60.4	56.9		
無期雇用職員	6,126	16.8	4.3	39.4	13.7	4.2	6.9	5.8	4.7	1.4	1.4	1.4	60.5	56.2		
有期雇用職員	2,681	22.6	1.8	35.7	13.3	1.8	3.1	3.0	4.0	2.9	3.1	8.7	60.1	58.3		

※介護職員：介護保険の訪問介護以外の指定介護事業所で働き、直接介護を行う者。

※PT・OT・ST等：PT（理学療法士）、OT（作業療法士）、ST（言語聴覚士）等の機能訓練指導員。

※3職種：訪問介護員、サービス提供責任者、介護職員とする。

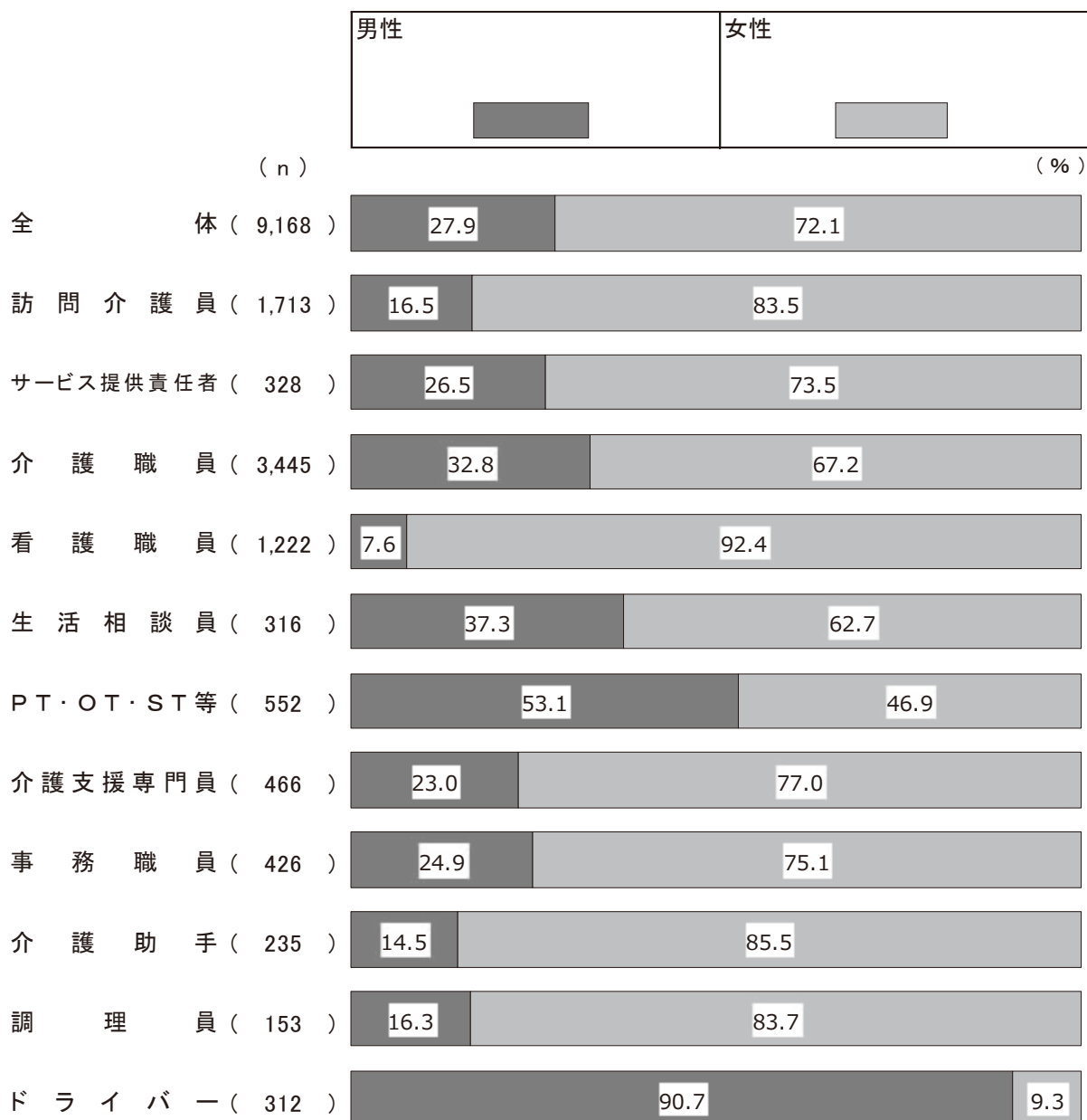
※2職種：訪問介護員、介護職員とする。

※令和7年9月30日現在

〔職種別従業員数＜性別＞〕

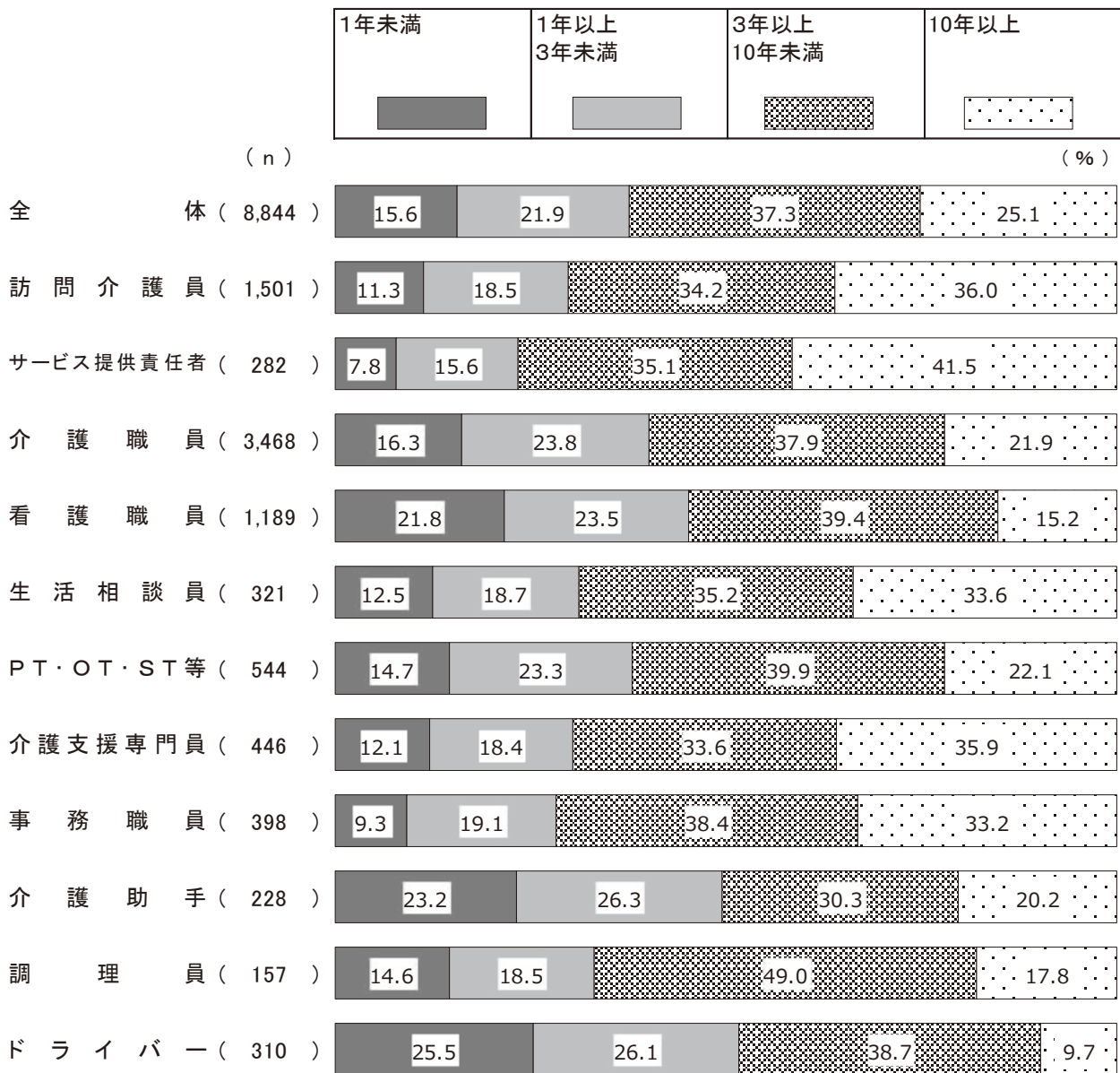
○性別にみると、全体では「男性」が27.9%、「女性」が72.1%となっている。

○職種別では、「訪問介護員」は「男性」が16.5%、「女性」が83.5%となっている。また、「介護職員」はそれぞれ32.8%、67.2%となっている。



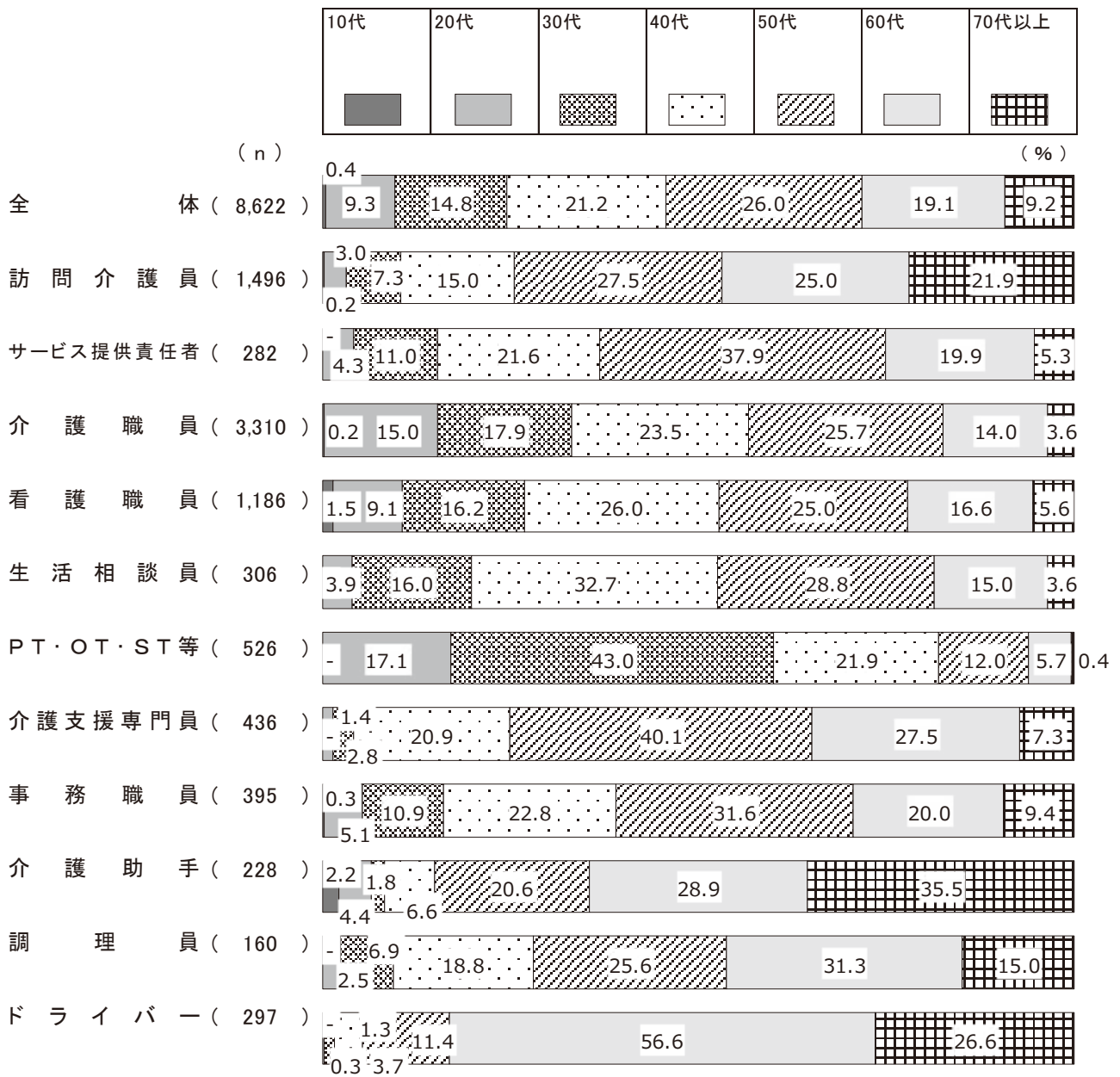
[職種別従業員数<勤続年数別>]

○勤続年数別にみると、全体では「3年以上10年未満」(37.3%)が最も高く、次いで「10年以上」(25.1%)の順となっている。



[職種別従業員数<年齢階級別>]

○年齢階級別にみると、全体では「50代」(26.0%)が最も高く、次いで「40代」(21.2%)の順となっている。



⑦利用者数

ア. 要介護度別利用者数

○令和7年10月1日時点の要介護度別利用者数をみると、全体では「要支援2」（38.2%）が最も高く、次いで「要介護2」（17.4%）の順となっている。

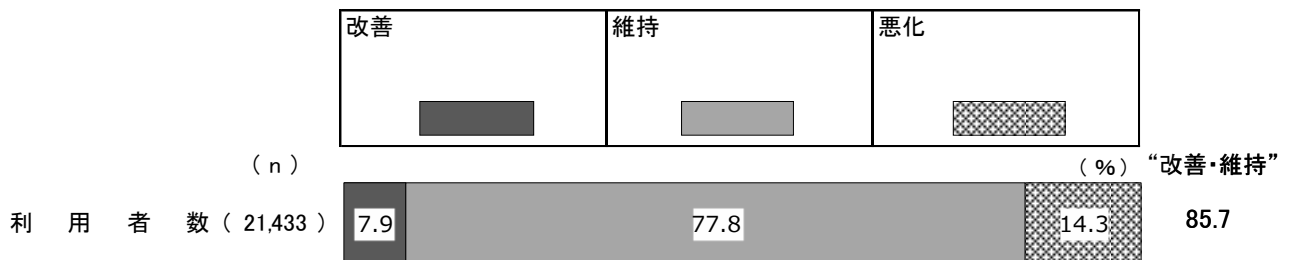
[要介護度別利用者数<サービス種別>]

	n	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	(%) 総合事業 対象者
全体	74,654	4.3	38.2	12.8	17.4	10.6	8.2	6.0	2.4
居宅介護支援	11,709	6.1	8.2	25.3	29.0	14.2	9.2	6.1	2.0
訪問系	10,439	5.9	9.1	17.5	24.7	13.4	11.4	11.2	6.7
通所系	33,786	2.9	74.6	6.6	7.5	4.1	2.2	1.2	1.0
入所系	3,361	0.1	0.1	5.5	9.0	21.7	33.9	23.0	6.7
居住系	1,694	2.8	1.7	20.1	19.6	17.5	14.7	8.2	15.5
福祉用具	12,447	6.5	10.1	14.9	28.1	17.5	12.9	9.7	0.2

※無回答を除いて集計

イ. 要介護度の1年間の変化

○令和7年10月1日時点の利用者の令和6年10月1日時点と比較した要介護度の変化をみると、全体では「維持」（77.8%）が最も高く、次いで「悪化」（14.3%）の順となっている。

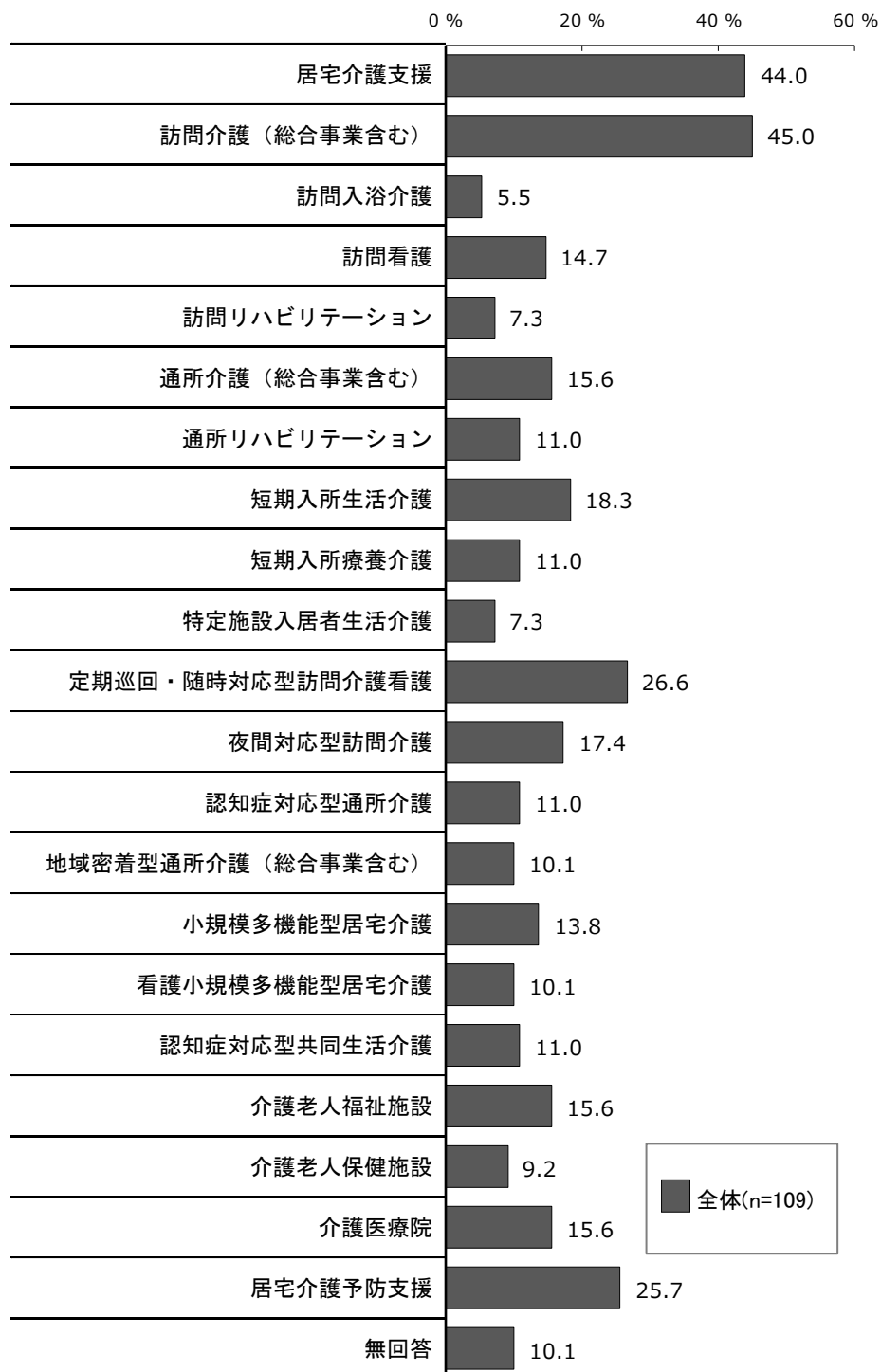


(2) 居宅介護支援事業所の考え

① 今後整備が必要なサービス

○介護サービス事業所では、「訪問介護（総合事業含む）」（45.0%）が最も高く、次いで「居宅介護支援」（44.0%）の順となっている。

（複数回答）



[今後整備が必要なサービス<基本地区別>]

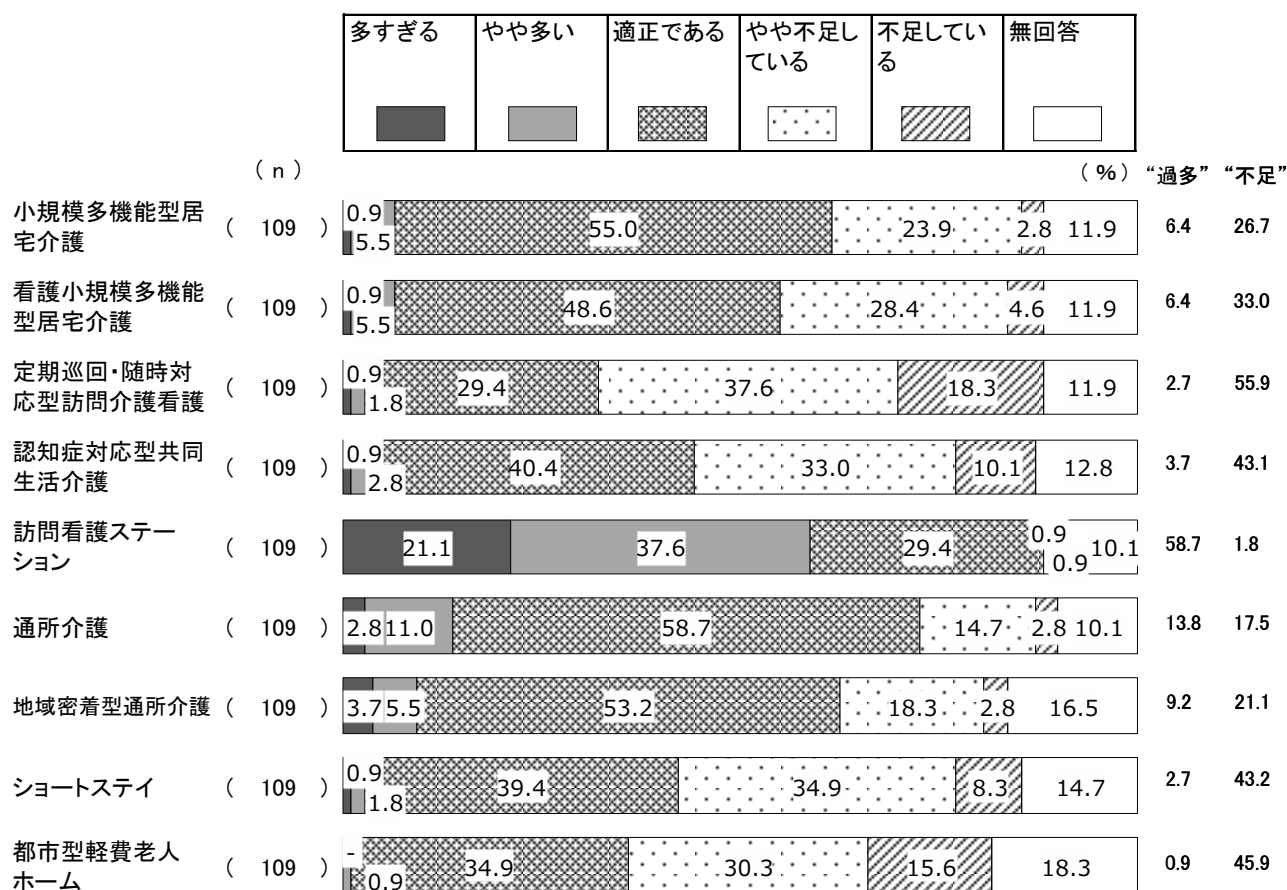
- 基本地区別にみると、「訪問介護（総合事業含む）」、「訪問看護」および「居宅介護予防支援」は「練馬地区」で多くなっている。
- 「看護小規模多機能型居宅介護」および「認知症対応型共同生活介護」は「石神井地区」で多くなっている。

	n	居宅介護支援	訪問介護（総合事業含む）	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	通所介護（総合事業含む）	通所リハビリテーション	短期入所生活介護	短期入所療養介護	介護特定施設入居者生活介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護
全体	109	48	49	6	16	8	17	12	20	12	8	29
練馬地区	34	16	18	2	8	2	6	2	7	2	2	10
石神井地区	26	10	11	2	2	2	5	2	7	5	2	8
大泉地区	21	8	8	1	2	1	3	3	2	2	2	4
光が丘地区	28	14	12	1	4	3	3	5	4	3	2	7

	n	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護（総合事業含む）	地域密着型通所介護	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	認知症対応型共同生活介護	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護医療院	居宅介護予防支援	無回答
全体	109	19	12	11	15	11	12	17	10	17	28	11
練馬地区	34	5	2	3	6	3	1	3	1	3	12	2
石神井地区	26	5	4	5	5	6	6	6	3	3	4	4
大泉地区	21	3	2	2	2	-	2	4	2	5	4	4
光が丘地区	28	6	4	1	2	2	3	4	4	6	8	1

②サービスの需給バランス

- “不足”（「不足している」と「やや不足している」の合計）は、「訪問看護ステーション」を除き、“過多”（「多すぎる」と「やや多い」の合計）を上回っている。
- “不足”は、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」（55.9%）が最も高く、次いで「都市型軽費老人ホーム」（45.9%）の順となっている。



[サービスの需給バランス<基本地区別>]

(小規模多機能型居宅介護)

- 基本地区別にみると、「適正である」が多い。

	n	多すぎる	やや多い	適正である	やや不足している	不足している	無回答
全体	109	1	6	60	26	3	13
練馬地区	34	-	1	18	11	1	3
石神井地区	26	-	2	14	6	-	4
大泉地区	21	1	2	11	3	1	3
光が丘地区	28	-	1	17	6	1	3

(看護小規模多機能型居宅介護)

○基本地区別にみると、いずれの地区でも「適正である」が多い。

(件)

	n	多すぎる	やや多い	適正である	やや不足している	不足している	無回答
全体	109	1	6	53	31	5	13
練馬地区	34	-	-	18	12	1	3
石神井地区	26	-	1	13	7	1	4
大泉地区	21	1	3	9	4	1	3
光が丘地区	28	-	2	13	8	2	3

(定期巡回・随時対応型訪問介護看護)

○基本地区別にみると、いずれの地区でも“不足”が「適正である」を上回っている。

(件)

	n	多すぎる	やや多い	適正である	やや不足している	不足している	無回答
全体	109	1	2	32	41	20	13
練馬地区	34	-	-	13	13	5	3
石神井地区	26	-	-	5	13	3	5
大泉地区	21	1	2	5	6	4	3
光が丘地区	28	-	-	9	9	8	2

(認知症対応型共同生活介護)

○基本地区別にみると、「練馬地区」と「光が丘地区」で“不足”が「適正である」を上回っている。

(件)

	n	多すぎる	やや多い	適正である	やや不足している	不足している	無回答
全体	109	1	3	44	36	11	14
練馬地区	34	-	-	13	14	4	3
石神井地区	26	-	1	10	8	2	5
大泉地区	21	1	1	9	4	2	4
光が丘地区	28	-	1	12	10	3	2

(訪問看護ステーション)

○基本地区別にみると、いずれの地区でも“過多”が「適正である」を上回っている。

(件)

	n	多すぎる	やや多い	適正である	やや不足している	不足している	無回答
全体	109	23	41	32	1	1	11
練馬地区	34	8	13	9	1	-	3
石神井地区	26	2	11	9	-	-	4
大泉地区	21	3	7	7	-	1	3
光が丘地区	28	10	10	7	-	-	1

(通所介護)

○基本地区別にみると、いずれの地区でも「適正である」が多い。

(件)

	n	多すぎる	やや多い	適正である	やや不足している	不足している	無回答
全体	109	3	12	64	16	3	11
練馬地区	34	1	4	21	5	-	3
石神井地区	26	-	2	12	7	1	4
大泉地区	21	-	2	12	3	1	3
光が丘地区	28	2	4	19	1	1	1

(地域密着型通所介護)

○基本地区別にみると、「石神井地区」を除き、「適正である」が多い。

(件)

	n	多すぎる	やや多い	適正である	やや不足している	不足している	無回答
全体	109	4	6	58	20	3	18
練馬地区	34	1	2	19	7	-	5
石神井地区	26	-	2	8	11	-	5
大泉地区	21	1	-	13	2	1	4
光が丘地区	28	2	2	18	-	2	4

(ショートステイ)

○基本地区別にみると、「練馬地区」および「石神井地区」で“不足”が「適正である」を上回っている。

(件)

	n	多すぎる	やや多い	適正である	やや不足している	不足している	無回答
全体	109	1	2	43	38	9	16
練馬地区	34	-	-	12	14	3	5
石神井地区	26	-	1	8	10	3	4
大泉地区	21	-	1	10	4	2	4
光が丘地区	28	1	-	13	10	1	3

(都市型軽費老人ホーム)

○基本地区別にみると、「大泉地区」および「光が丘地区」で“不足”が「適正である」を上回っている。

(件)

	n	多すぎる	やや多い	適正である	やや不足している	不足している	無回答
全体	109	-	1	38	33	17	20
練馬地区	34	-	1	13	12	1	7
石神井地区	26	-	-	10	8	2	6
大泉地区	21	-	-	7	6	4	4
光が丘地区	28	-	-	8	7	10	3

③ (看護) 小規模多機能型居宅介護の対応状況

○介護サービス事業所では、「(看護) 小規模多機能型居宅介護事業所に連絡を取り、利用者を紹介している」(39.4%)が最も高く、次いで「(看護) 小規模多機能型居宅介護事業所の連絡先の紹介を行っている」(13.8%)の順となっている。

(看護) 小規模多機能型居宅介護事業所の連絡先の紹介を行っている	(看護) 小規模多機能型居宅介護事業所に連絡を取り、利用者を紹介している	自法人内で(看護)小規模多機能型居宅介護事業所を実施しているの、まずそこを紹介している	基本的に(看護)小規模多機能型居宅介護は紹介せず、複数のサービスを組み合わせるなどにより対応している	その他	特に具体的な対応はしていない	無回答
■	■	■	■	■	■	■

(n)

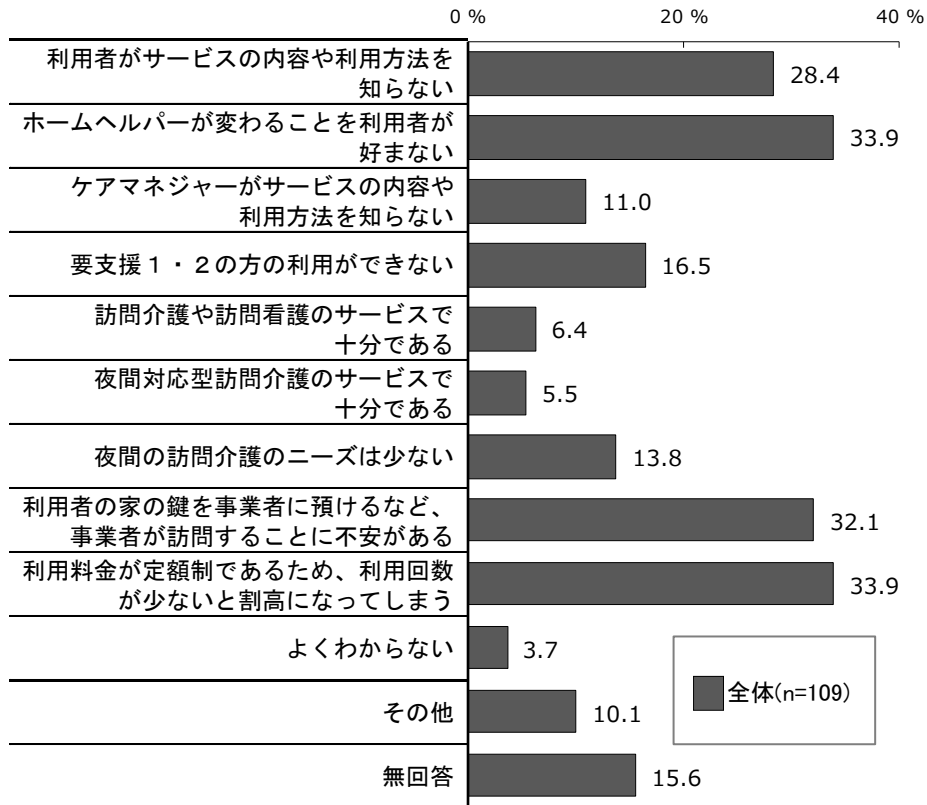
(%)

介護サービス事業所 (109)	13.8	39.4	-	12.8	1.8	9.2	22.9
-------------------	------	------	---	------	-----	-----	------

④定期巡回・随時対応型訪問介護看護の課題

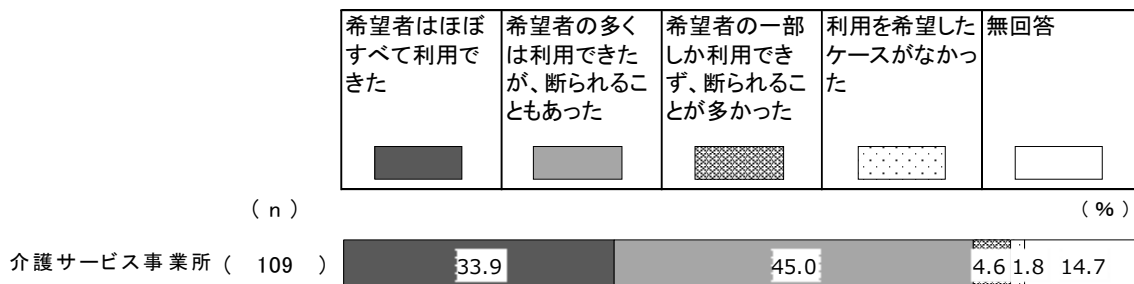
○介護サービス事業所では、「ホームヘルパーが変わることを利用者が好まない」および「利用料金が定額制であるため、利用回数が少ないと割高になってしまう」（ともに33.9%）が最も高く、次いで「利用者の家の鍵を事業者に預けるなど、事業者が訪問することに不安がある」（32.1%）の順となっている。

（複数回答）



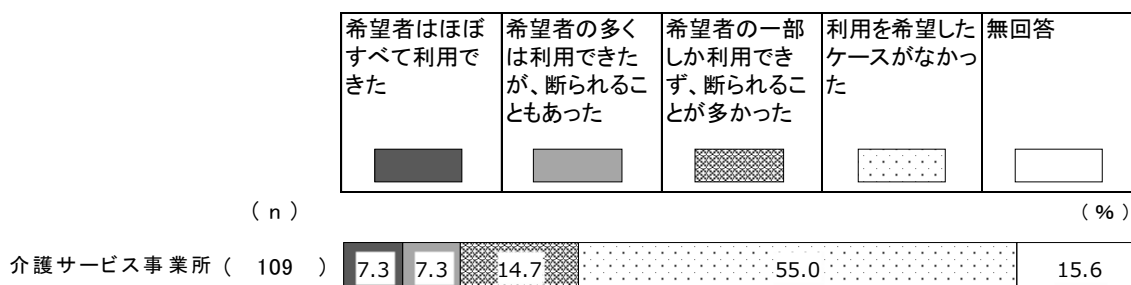
⑤ショートステイの利用を希望した際の受け入れの状況

○介護サービス事業所では、「希望者の多くは利用できたが、断られることもあった」（45.0%）が最も高く、次いで「希望者はほぼすべて利用できた」（33.9%）の順となっている。



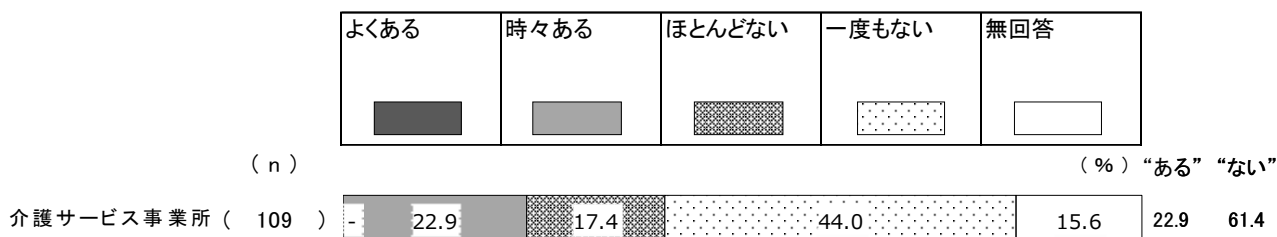
⑥都市型軽費老人ホームの利用を希望した際の受け入れの状況

○介護サービス事業所では、「利用を希望したケースがなかった」(55.0%)が最も高く、次いで「希望者の一部しか利用できず、断られることが多かった」(14.7%)の順となっている。



⑦介護医療院を選択肢として挙げたことがある経験

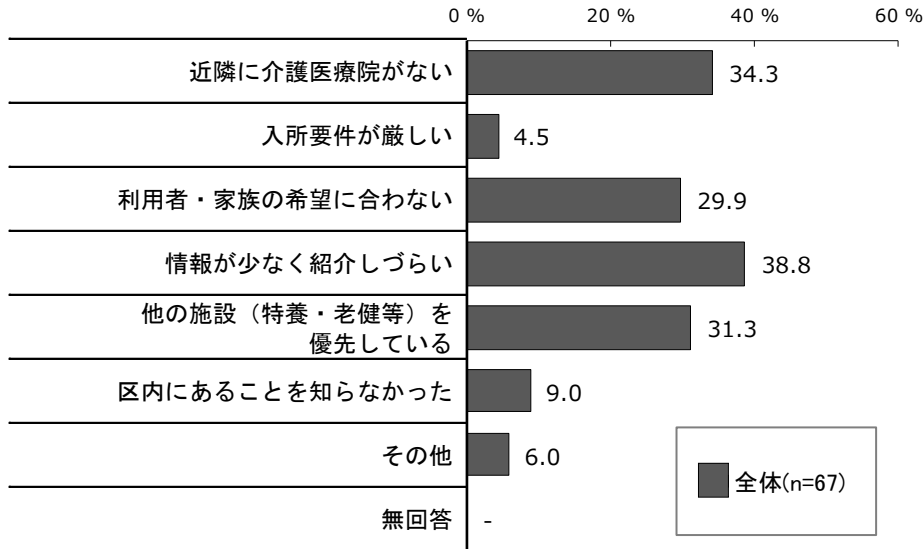
○介護医療院を選択肢として挙げた経験が“ない”（「ほとんどない」と「一度もない」の合計）は61.4%となっている。



⑧介護医療院を紹介しない理由

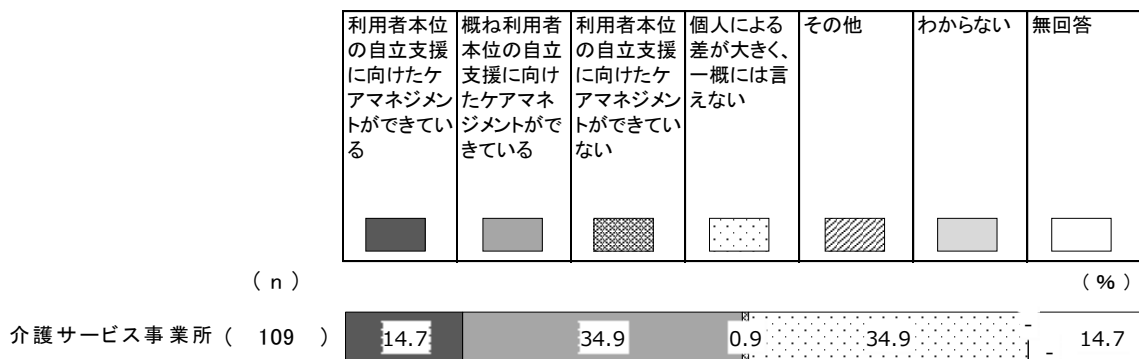
○介護医療院を紹介したことが“ない”と回答した事業所の理由は、「情報が少なく紹介しづらい」(38.8%)が最も高く、次いで「近隣に介護医療院がない」(34.3%)の順となっている。

(複数回答)



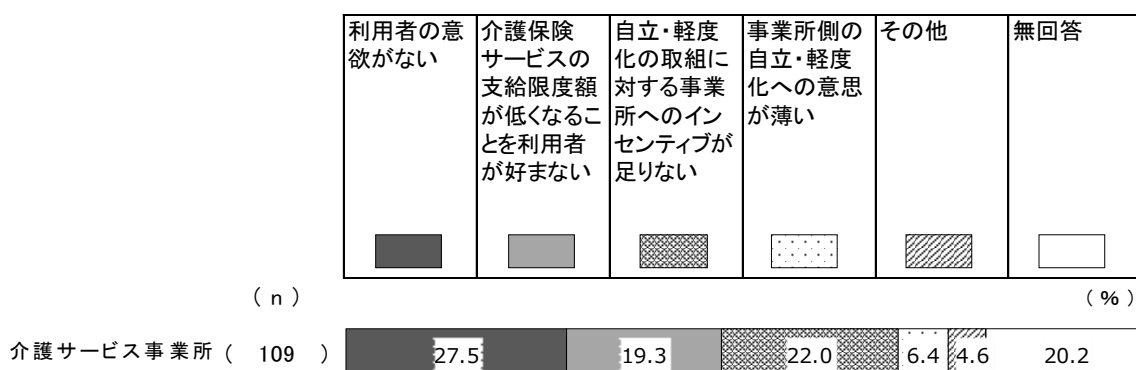
⑨区内のケアマネジャーの質についての感じ方

○介護サービス事業所では、「概ね利用者本位の自立支援に向けたケアマネジメントができていない」および「個人による差が大きく、一概には言えない」(ともに34.9%)が最も高く、次いで「利用者本位の自立支援に向けたケアマネジメントができていない」(14.7%)の順となっている。



⑩自立・軽度化に向けた課題

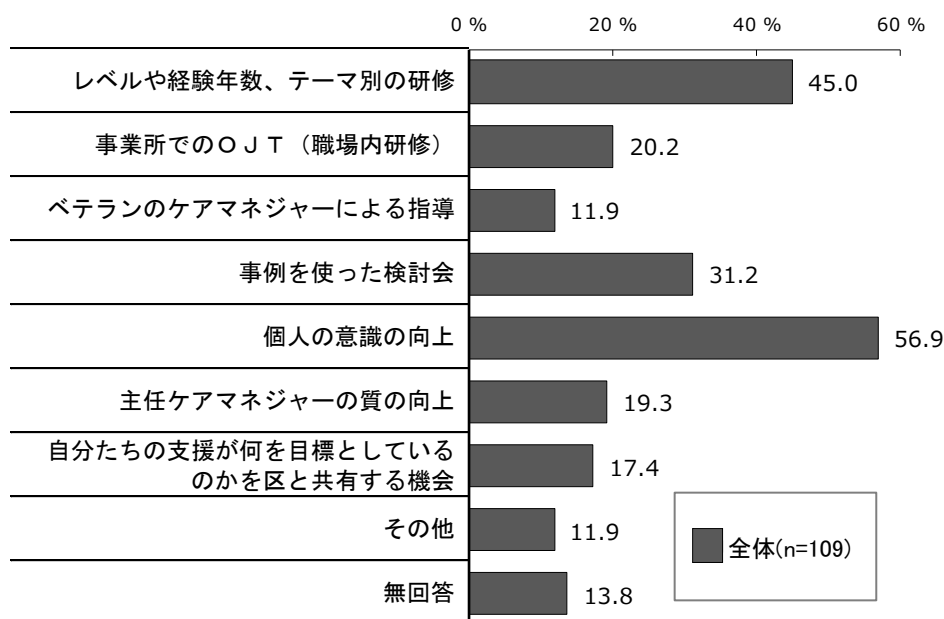
○介護サービス事業所では、「利用者の意欲がない」(27.5%)が最も高く、次いで「自立・軽度化の取組に対する事業所へのインセンティブが足りない」(22.0%)の順となっている。



⑪ケアマネジャーの質の向上を図るために必要なこと

○介護サービス事業所では、「個人の意識の向上」(56.9%)が最も高く、次いで「レベルや経験年数、テーマ別の研修」(45.0%)の順となっている。

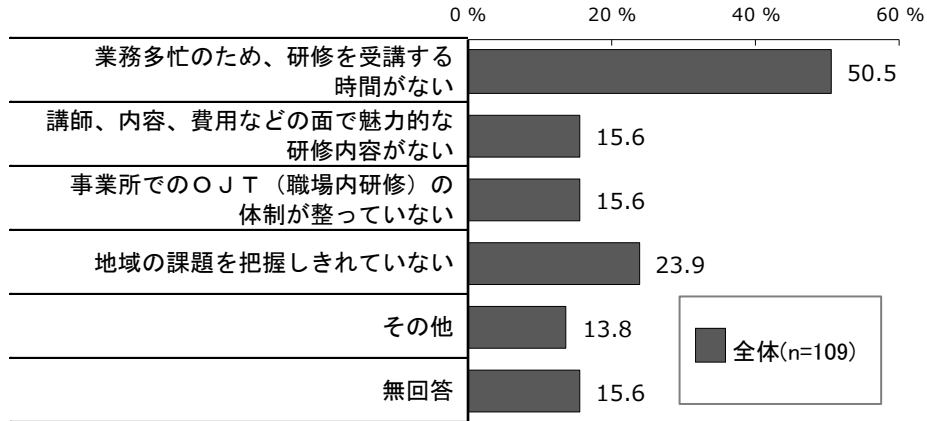
(複数回答)



⑫ケアマネジャーの質の向上における課題

○介護サービス事業所では、「業務多忙のため、研修を受講する時間がない」(50.5%)が最も高く、次いで「地域の課題を把握しきれていない」(23.9%)の順となっている。

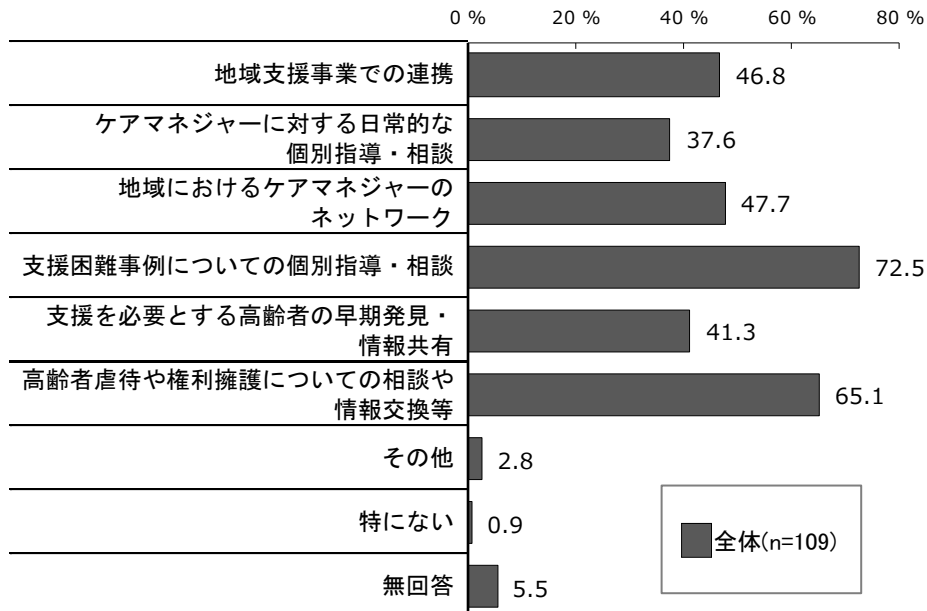
(複数回答)



⑬地域包括支援センターとの連携内容

○介護サービス事業所では、「支援困難事例についての個別指導・相談」(72.5%)が最も高く、次いで「高齢者虐待や権利擁護についての相談や情報交換等」(65.1%)の順となっている。

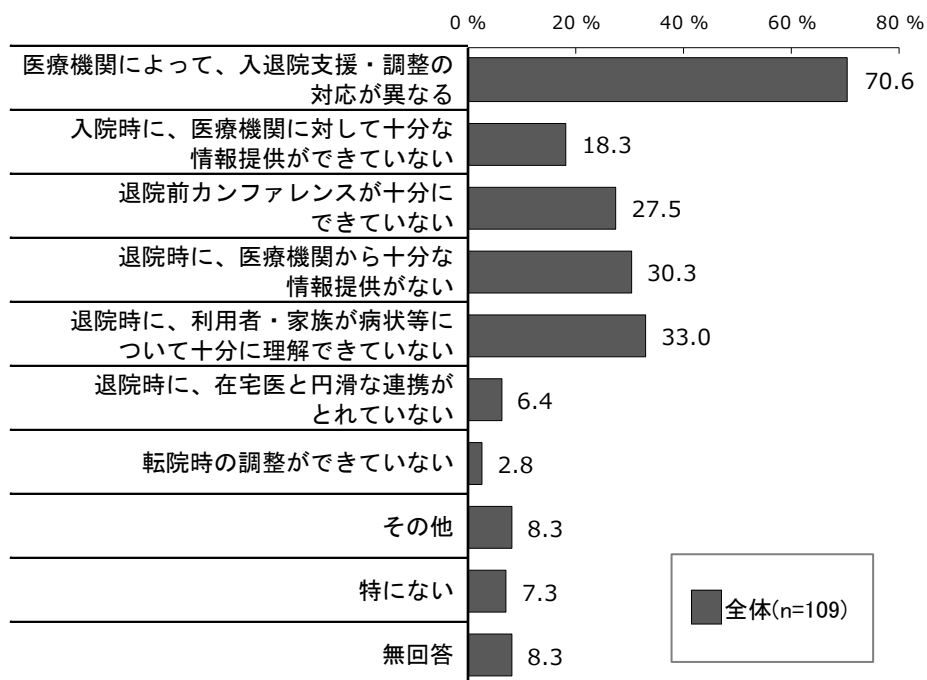
(複数回答)



⑭医療機関との入退院支援・調整における課題

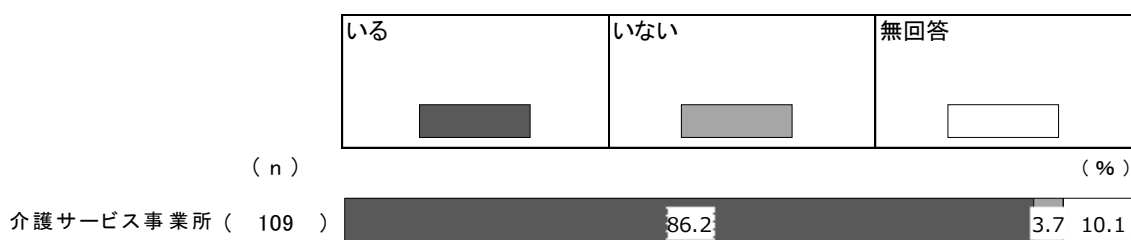
○介護サービス事業所では、「医療機関によって、入退院支援・調整の対応が異なる」(70.6%)が最も高く、次いで「退院時に、利用者・家族が病状等について十分に理解できていない」(33.0%)の順となっている。

(複数回答)



⑮在宅看取りで連携できる複数医師の有無

○在宅看取りで連携できる医師が複数「いる」が86.2%となっている。

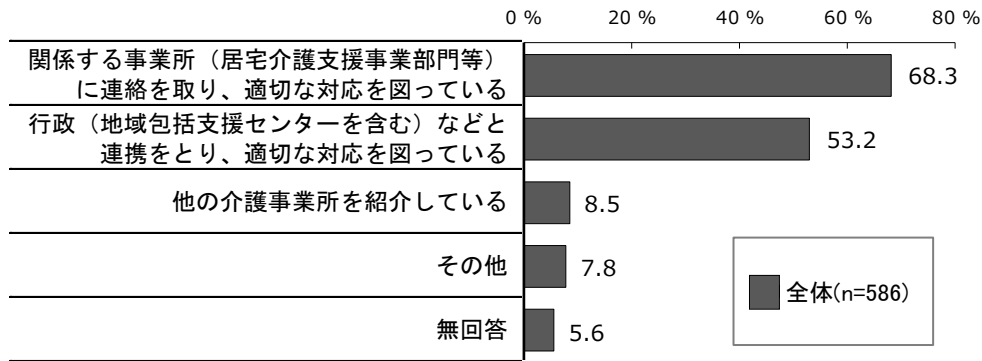


(3) 苦情対応

①サービス提供困難時の対応

○介護サービス事業所では、「関係する事業所（居宅介護支援事業部門等）に連絡を取り、適切な対応を図っている」（68.3%）が最も高く、次いで「行政（地域包括支援センターを含む）などと連携をとり、適切な対応を図っている」（53.2%）の順となっている。

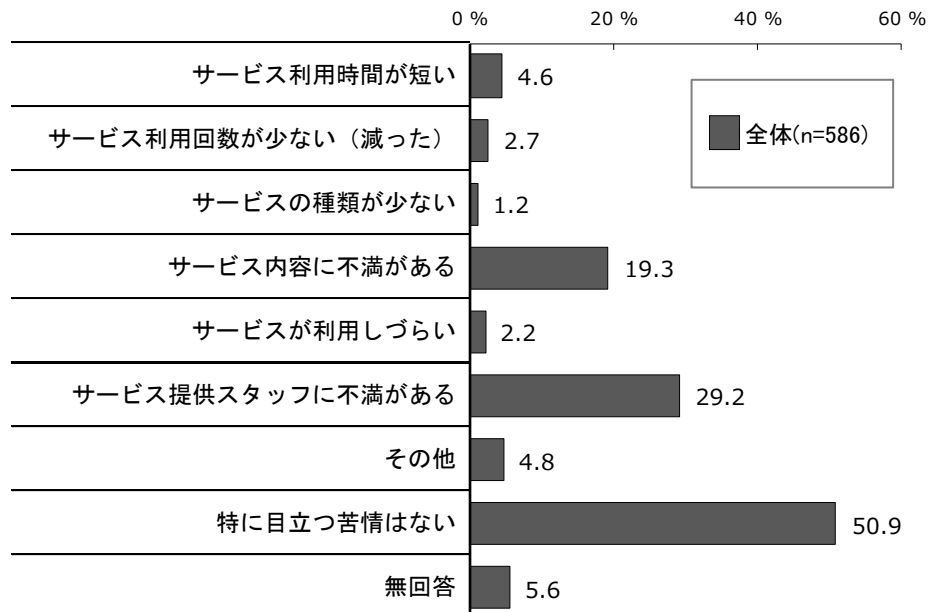
（複数回答）



②利用者からの苦情内容

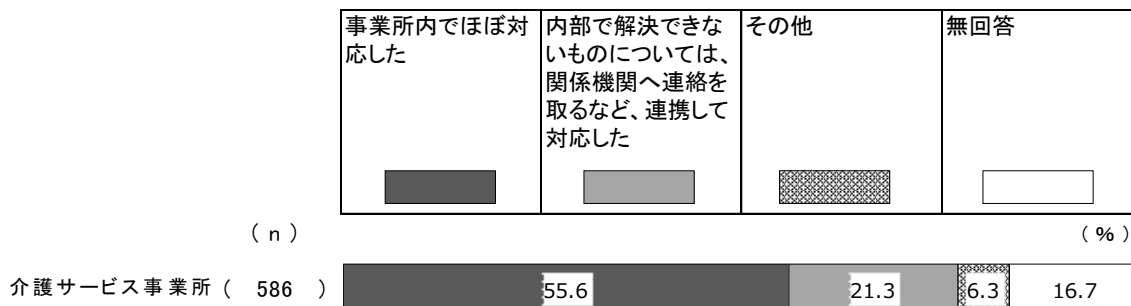
○介護サービス事業所では、「サービス提供スタッフに不満がある」（29.2%）が最も高く、次いで「サービス内容に不満がある」（19.3%）の順となっている。

（〇は3つまで）



③寄せられた苦情の対応方法

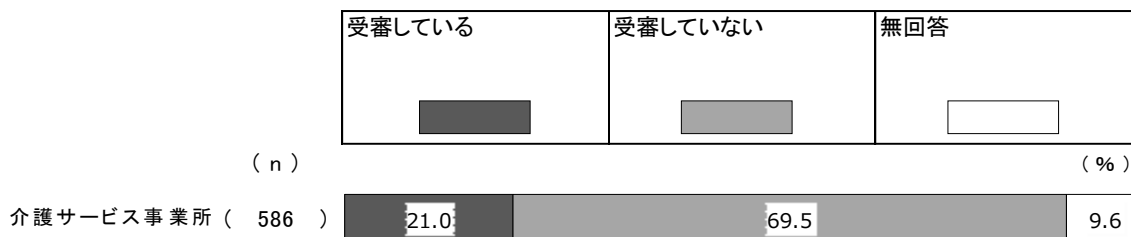
○介護サービス事業所では、「事業所内でほぼ対応した」(55.6%)が最も高く、次いで「内部で解決できないものについては、関係機関へ連絡を取るなど、連携して対応した」(21.3%)の順となっている。



(4) サービスの質の向上

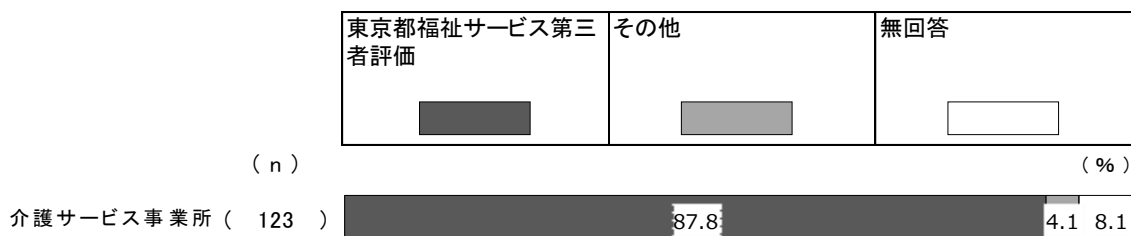
①第三者評価の受審状況

○「受審していない」が69.5%、「受審している」が21.0%となっている。



②第三者評価の受審方式

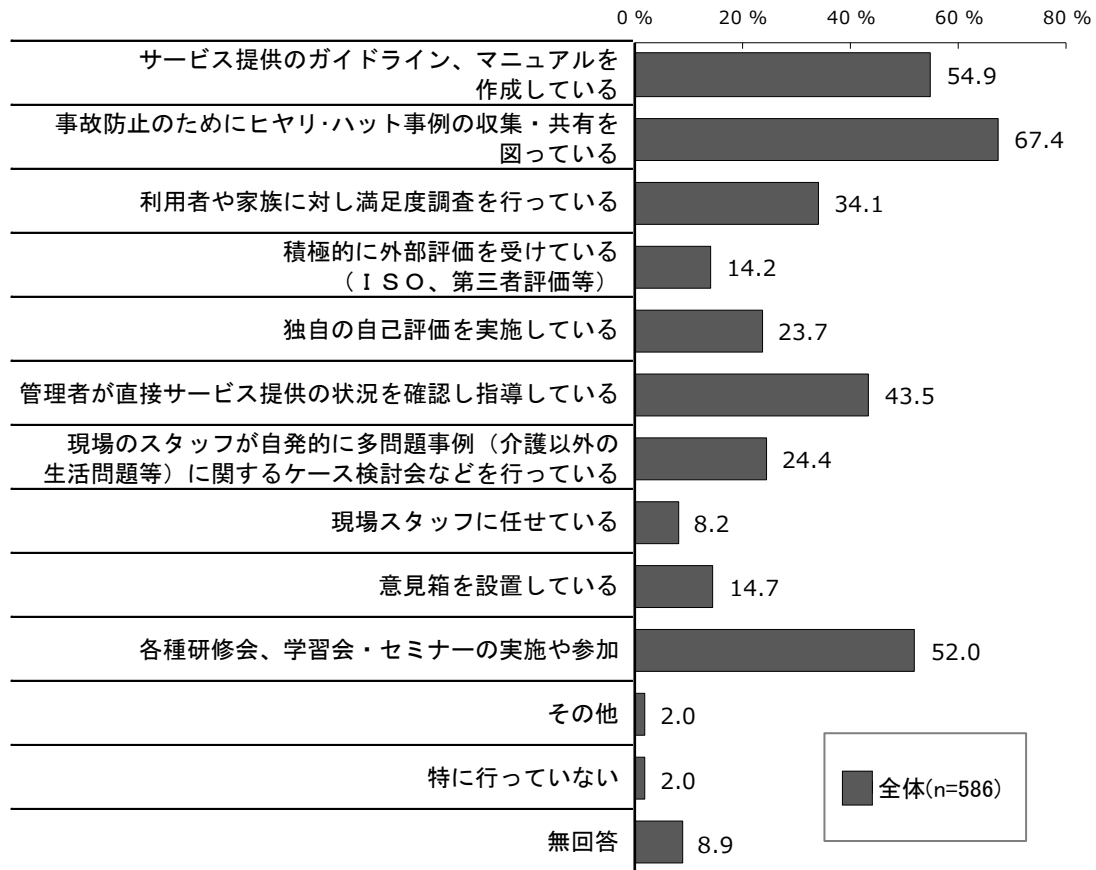
○「受審している」と回答した事業所の受審した評価方式は、「東京都福祉サービス第三者評価」が87.8%となっている。



③サービスの質の向上のための取組内容

○介護サービス事業所では、「事故防止のためにヒヤリ・ハット事例の収集・共有を図っている」(67.4%)が最も高く、次いで「サービス提供のガイドライン、マニュアルを作成している」(54.9%)の順となっている。

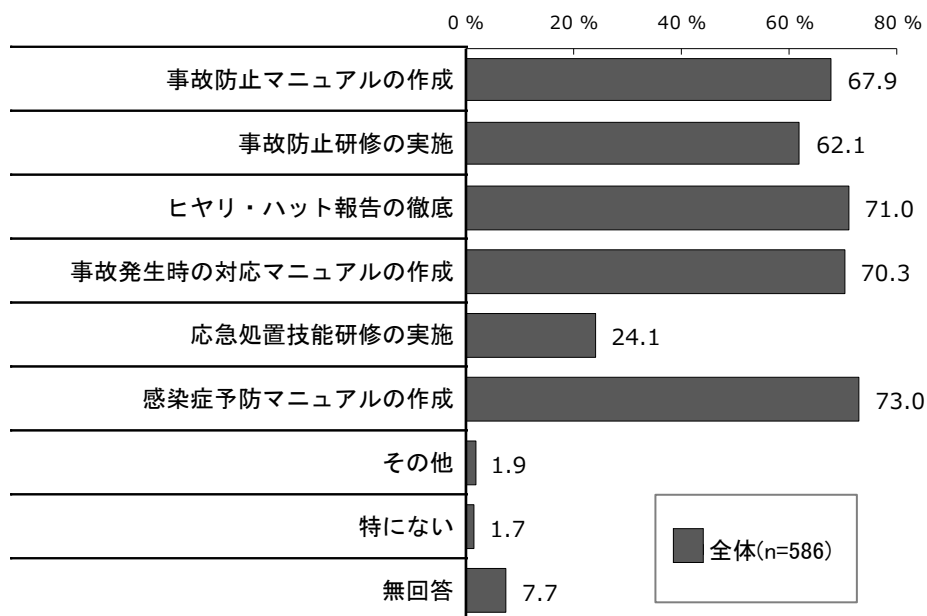
(複数回答)



④事故防止のための取組内容

○介護サービス事業所では、「感染症予防マニュアルの作成」(73.0%)が最も高く、次いで「ヒヤリ・ハット報告の徹底」(71.0%)の順となっている。

(複数回答)

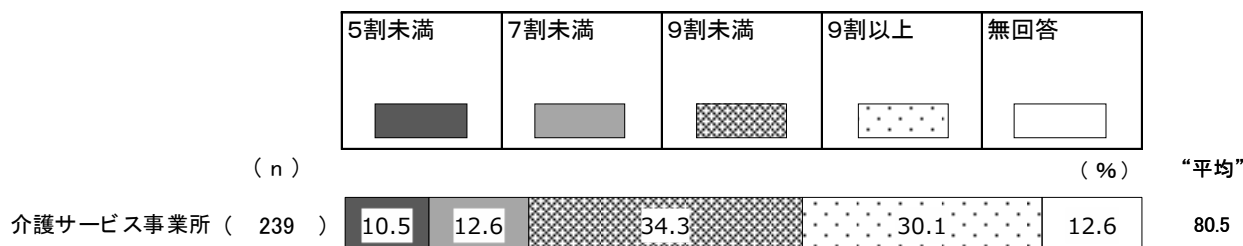


(5) 事業所の運営

①稼働状況

○稼働状況は、「9割未満」(34.3%)が最も高く、次いで「9割以上」(30.1%)の順となっている。

○“平均”は80.5%となっている。



※通所系、入所系、居住系の集計

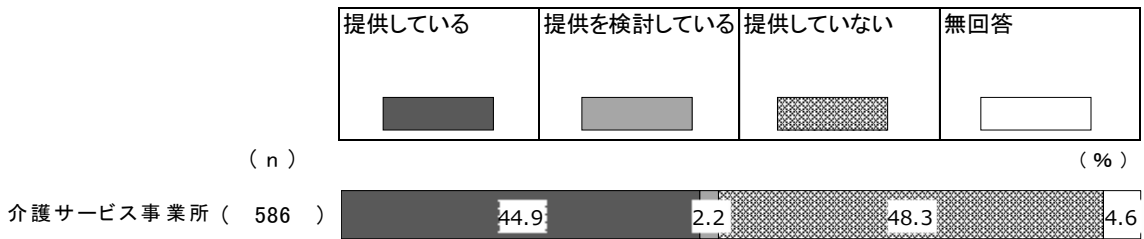
[稼働状況<サービス種別>]

○サービス種別にみると、「入所系」、「居住系」では、“平均”が9割台となっている。

	n	5割未満	7割未満	9割未満	9割以上	無回答	平均
全体	239	10.5	12.6	34.3	30.1	12.6	80.5
通所系	138	13.0	19.6	44.2	10.9	12.3	69.3
入所系	62	9.7	4.8	19.4	54.8	11.3	98.6
居住系	39	2.6	-	23.1	59.0	15.4	91.1

②介護保険外サービスの提供状況

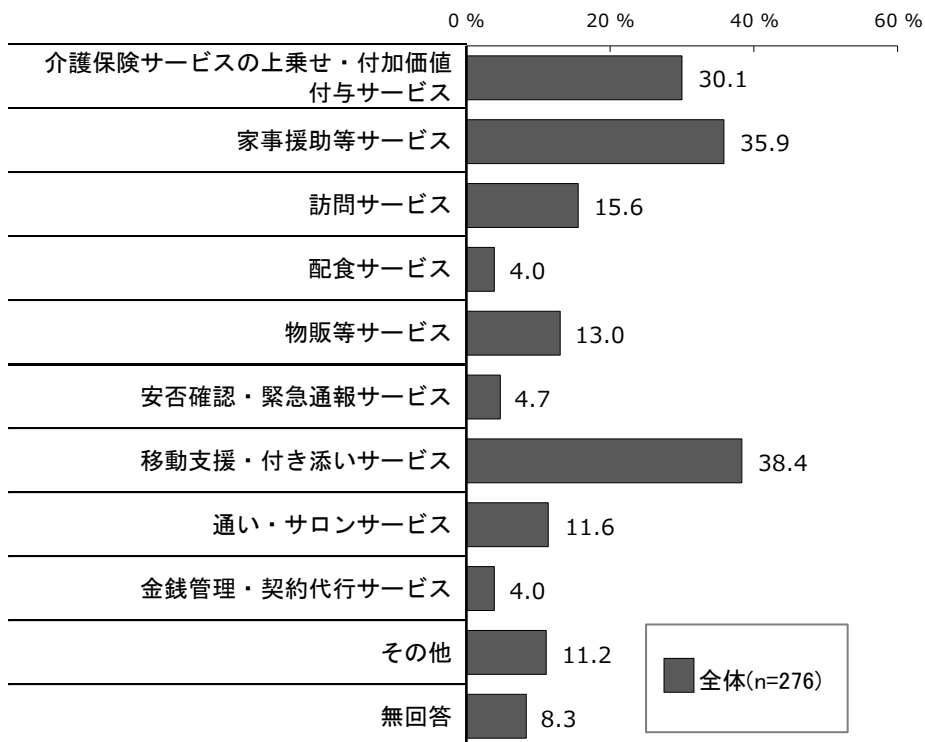
○介護サービス事業所では、「提供していない」(48.3%)が最も高く、次いで「提供している」(44.9%)の順となっている。



③介護保険外サービスの提供または提供を検討しているサービス

○介護保険外サービスを「提供している」、「提供を検討している」と回答した事業所が提供または提供を検討しているサービスは、「移動支援・付き添いサービス」(38.4%)が最も高く、次いで「家事援助等サービス」(35.9%)の順となっている。

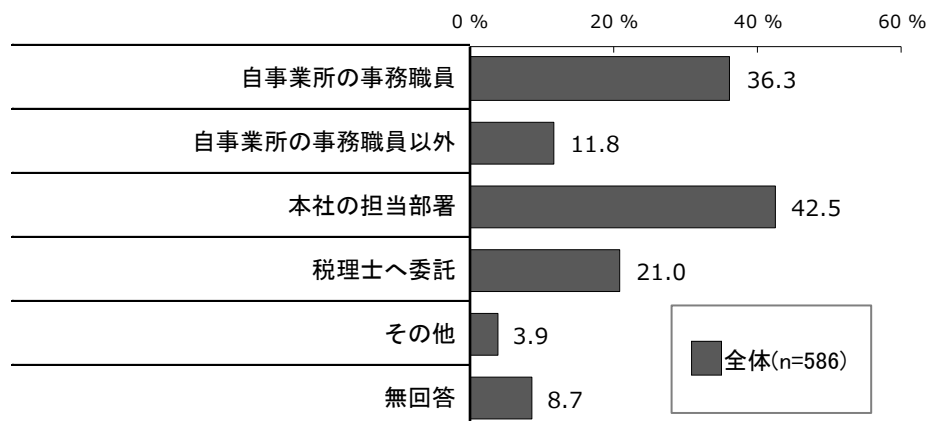
(複数回答)



④会計処理

○会計処理の処理担当は、「本社の担当部署」(42.5%)が最も高く、次いで「自事業所の事務職員」(36.3%)の順となっている。

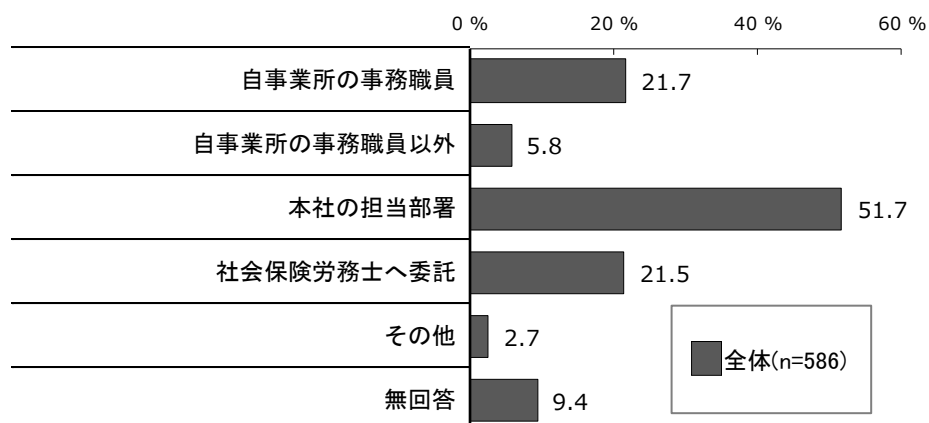
(複数回答)



⑤社会保険手続

○社会保険手続の処理担当は、「本社の担当部署」(51.7%)が最も高く、次いで「自事業所の事務職員」(21.7%)の順となっている。

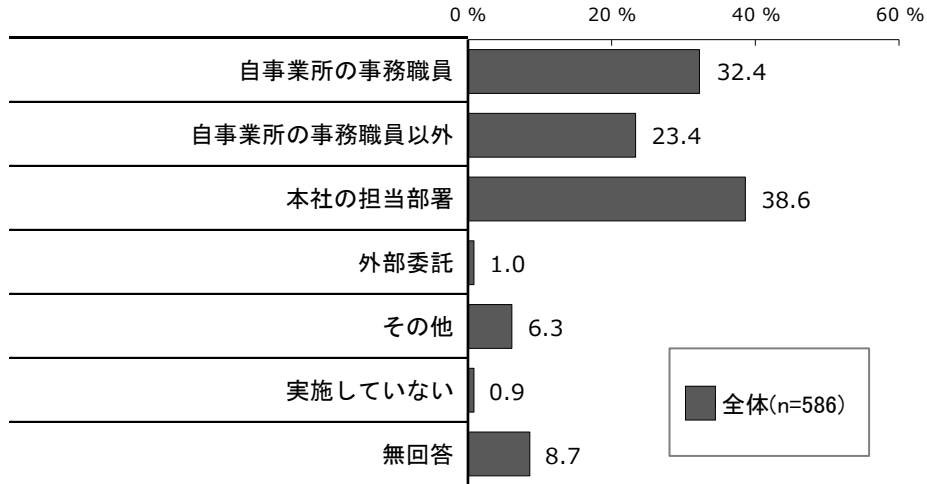
(複数回答)



⑥指定権者への各種申請手続

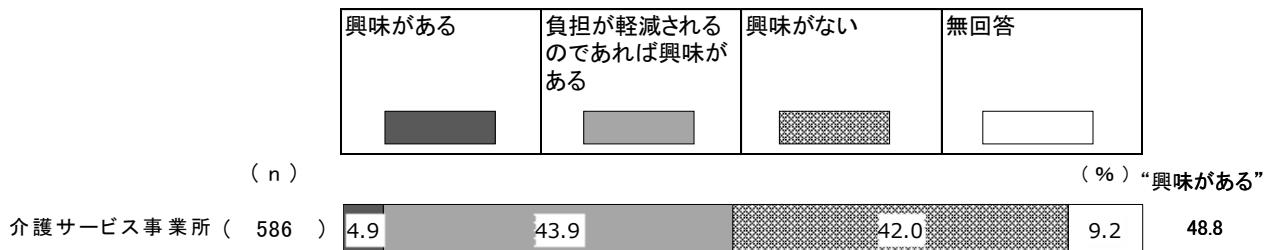
○指定権者への各種申請手続の処理担当は、「本社の担当部署」(38.6%)が最も高く、次いで「自事業所の事務職員」(32.4%)の順となっている。

(複数回答)



⑦間接業務や送迎業務の共同処理に対する考え

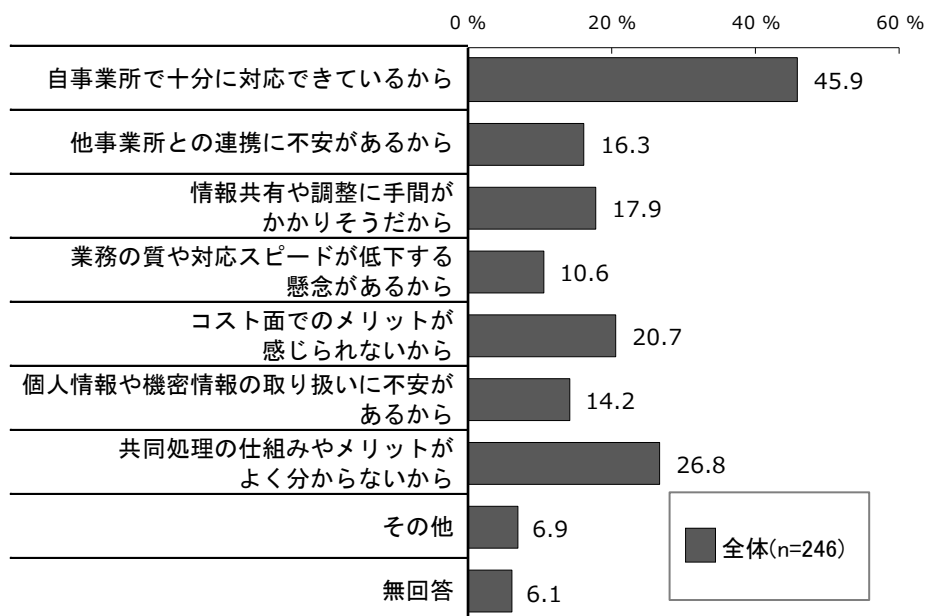
○間接業務や送迎業務の共同処理について、「興味がある」(「興味がある」と「負担が軽減されるのであれば興味がある」の合計)が48.8%となっている。



⑧間接業務や送迎業務の共同処理を考えていない理由

○間接業務や送迎業務の共同処理に興味がないと回答した事業所の理由は、「自事業所で十分に対応できているから」(45.9%)が最も高く、次いで「共同処理の仕組みやメリットがよく分からないから」(26.8%)の順となっている。

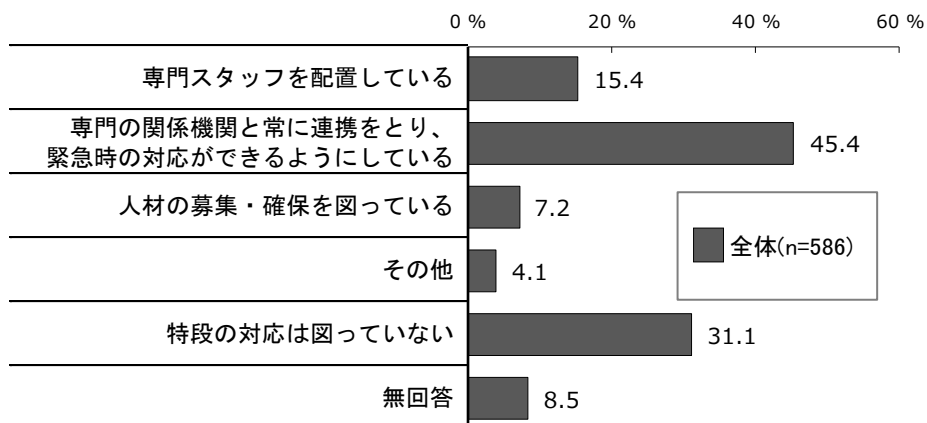
(複数回答)



⑨要医療、認知症、障害等を有する利用者への対応

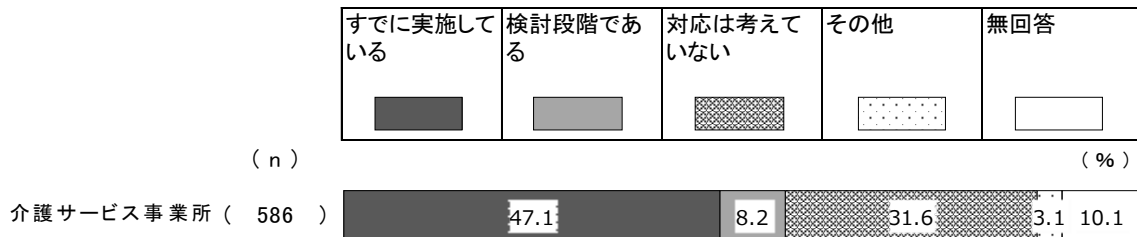
○「専門の関係機関と常に連携をとり、緊急時の対応ができるようにしている」(45.4%)が最も高く、次いで「専門スタッフを配置している」(15.4%)の順となっている。

(複数回答)



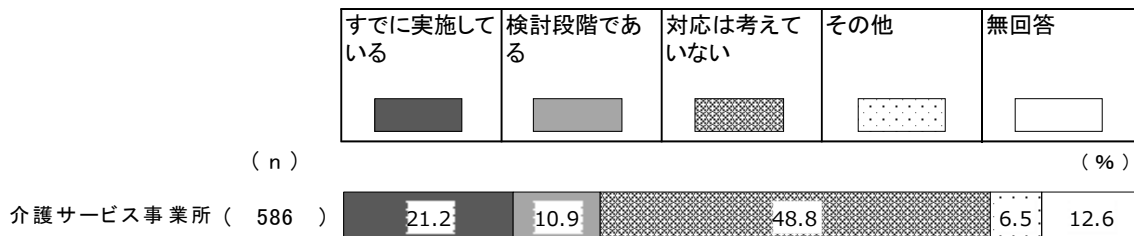
⑩事業所におけるターミナルケアへの対応

○「すでに実施している」(47.1%)が最も高く、次いで「対応は考えていない」(31.6%)の順となっている。



⑪介護職員によるたん吸引等の医療的ケアへの対応状況

○「対応は考えていない」(48.8%)が最も高く、次いで「すでに実施している」(21.2%)の順となっている。



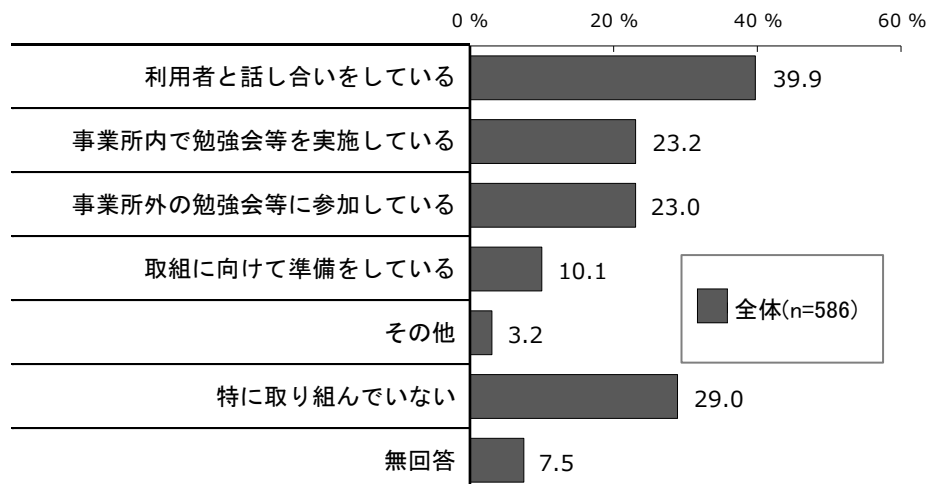
⑫ACPへの対応内容

○ACP※への対応内容としては、「利用者と話し合いをしている」(39.9%)が最も高く、次いで「事業所内で勉強会等を実施している」(23.2%)の順となっている。

○「特に取り組んでいない」は29.0%となっている。

※ACP(アドバンス・ケア・プランニング)：もしものときのために、医療やケアについて、前もって考え、家族等や医療・介護チームと繰り返し話し合い、共有すること。

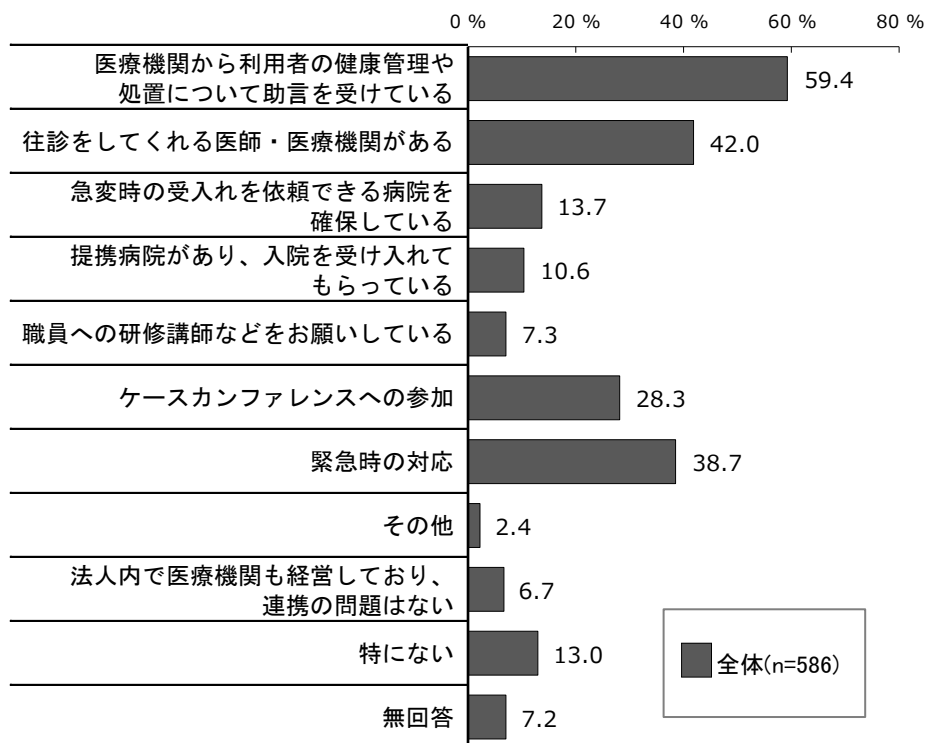
(複数回答)



⑬医療機関との連携で取り組んでいること

- 「医療機関から利用者の健康管理や処置について助言を受けている」(59.4%)が最も高く、次いで「往診をしてくれる医師・医療機関がある」(42.0%)の順となっている。

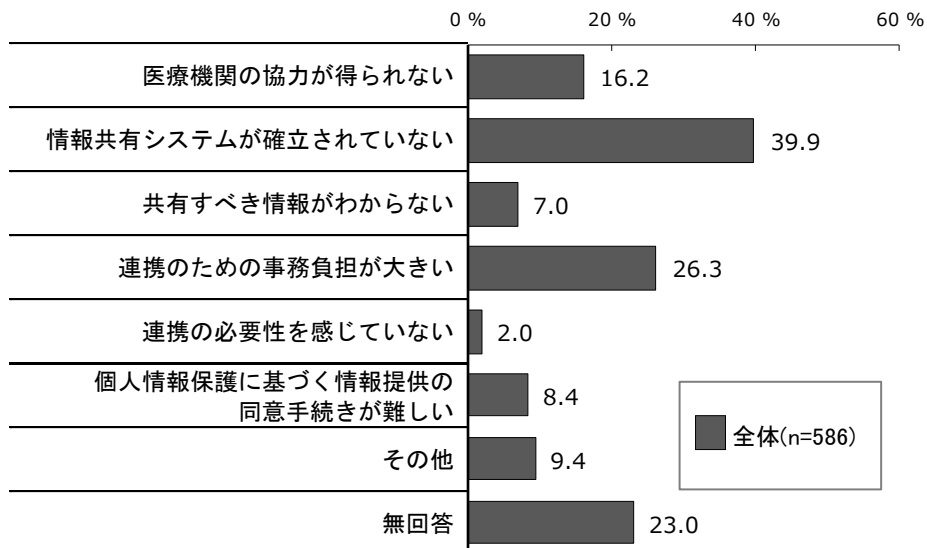
(複数回答)



⑭医療機関との連携を進める上での課題

- 「情報共有システムが確立されていない」(39.9%)が最も高く、次いで「連携のための事務負担が大きい」(26.3%)の順となっている。
- 「連携の必要性を感じていない」は2.0%となっている。

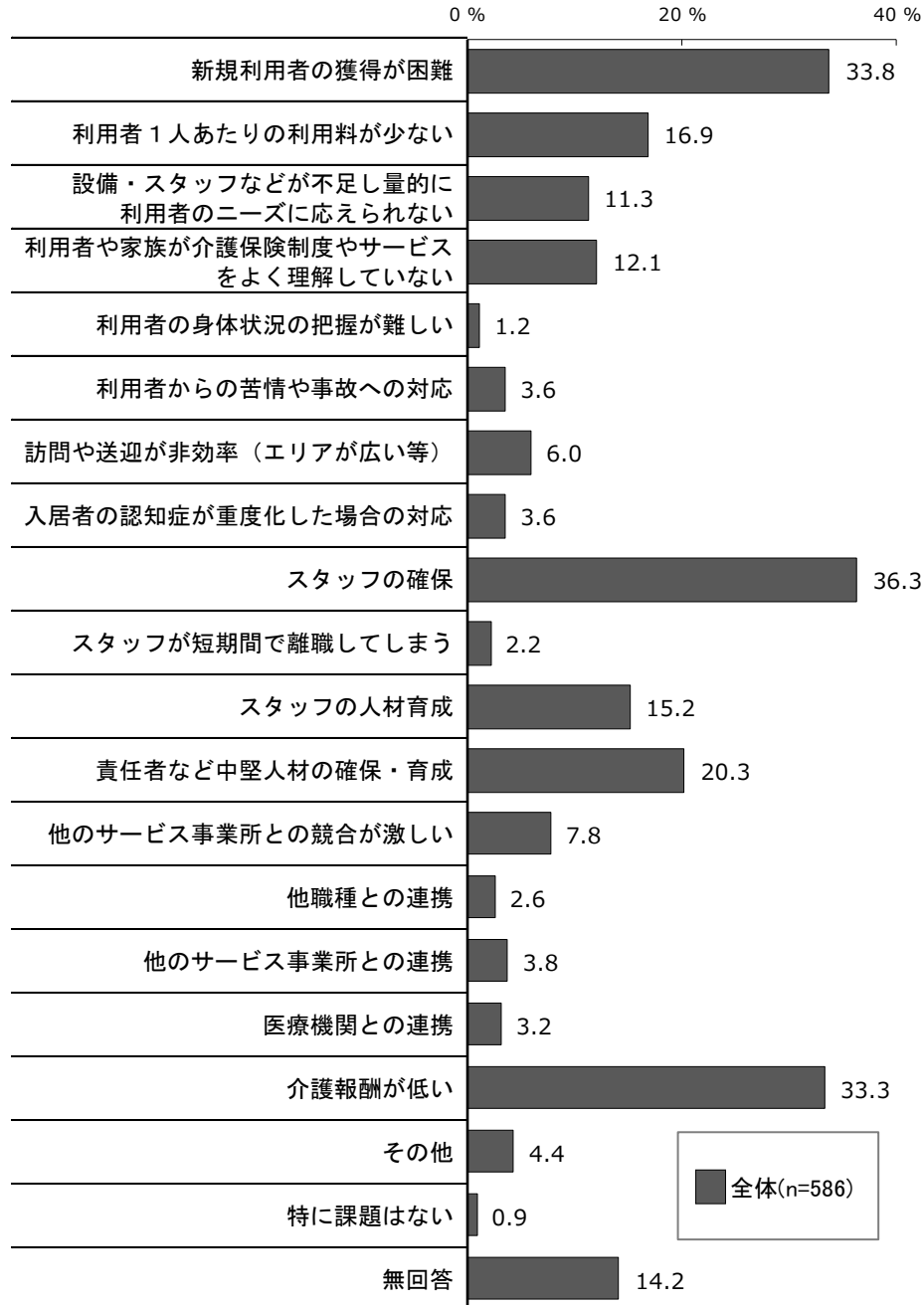
(複数回答)



⑮事業を運営する上での課題

○「スタッフの確保」(36.3%)が最も高く、次いで「新規利用者の獲得が困難」(33.8%)の順となっている。

(○は3つまで)



[事業を運営する上での課題<サービス種別>]

○サービス種別にみると、訪問系、居住系は「スタッフの確保」がそれぞれ45.1%、43.6%で他のサービス種別と比べて高くなっている。

○居宅介護支援は、「介護報酬が低い」が45.0%で全体と比べて高くなっている。

(○は3つまで)

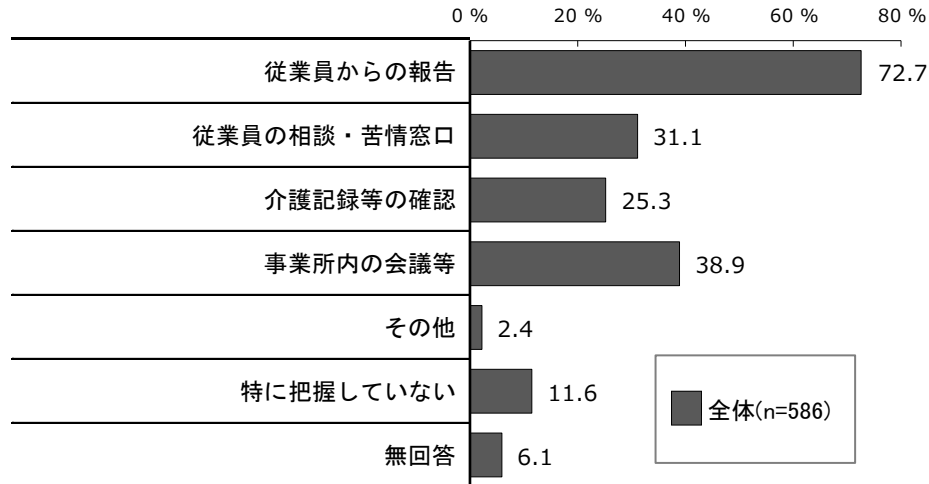
	n	新規利用者の獲得が困難	利用者が少ない	設備不足・スタッフの量的に応えられない	理解度やサービスをよ	利用者の身体状況の把握が難しい	利用者からの苦情や事故への対応	訪問や送迎が非効率(エリアが広い等)	入居者の認知症が重度化した場合の対応	スタッフの確保	スタッフの離職が短期間で離職してしまう
全体	586	33.8	16.9	11.3	12.1	1.2	3.6	6.0	3.6	36.3	2.2
居宅介護支援	109	20.2	22.9	4.6	20.2	1.8	3.7	-	0.9	22.0	0.9
訪問系	195	34.9	17.9	17.9	11.8	1.5	3.1	6.2	1.5	45.1	2.1
通所系	138	40.6	16.7	10.1	12.3	0.7	2.2	15.9	5.1	36.2	3.6
入所系	62	29.0	9.7	3.2	4.8	-	4.8	-	3.2	30.6	-
居住系	39	38.5	2.6	20.5	7.7	-	10.3	-	17.9	43.6	5.1
福祉用具	28	53.6	25.0	7.1	10.7	3.6	-	3.6	-	39.3	-

	n	スタッフの人材育成	責任者など中堅人材の確保・育成	他のサービス事業所との競合が激しい	他職種との連携	他のサービス事業所との連携	医療機関との連携	介護報酬が低い	その他	特に課題はない	無回答
全体	586	15.2	20.3	7.8	2.6	3.8	3.2	33.3	4.4	0.9	14.2
居宅介護支援	109	6.4	11.0	0.9	0.9	1.8	0.9	45.0	11.9	0.9	17.4
訪問系	195	10.3	19.0	8.2	2.6	2.6	3.6	30.8	2.1	1.0	14.4
通所系	138	18.1	23.2	8.0	0.7	4.3	2.2	37.0	2.9	-	9.4
入所系	62	32.3	37.1	16.1	11.3	9.7	6.5	33.9	3.2	-	14.5
居住系	39	28.2	30.8	5.1	2.6	-	5.1	17.9	5.1	-	12.8
福祉用具	28	7.1	7.1	21.4	-	7.1	-	10.7	3.6	7.1	10.7

⑩従業員に対する利用者・家族等からのハラスメントを把握する手段

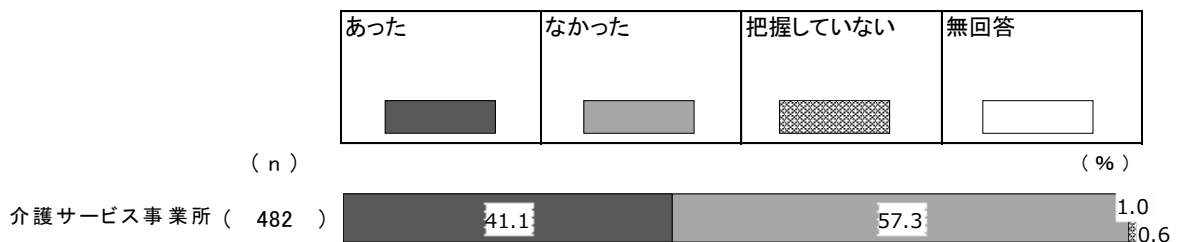
- 「従業員からの報告」(72.7%)が最も高く、次いで「事業所内の会議等」(38.9%)の順となっている。
- 「特に把握していない」は11.6%となっている。

(複数回答)



⑪過去1年間のハラスメント相談・報告の有無

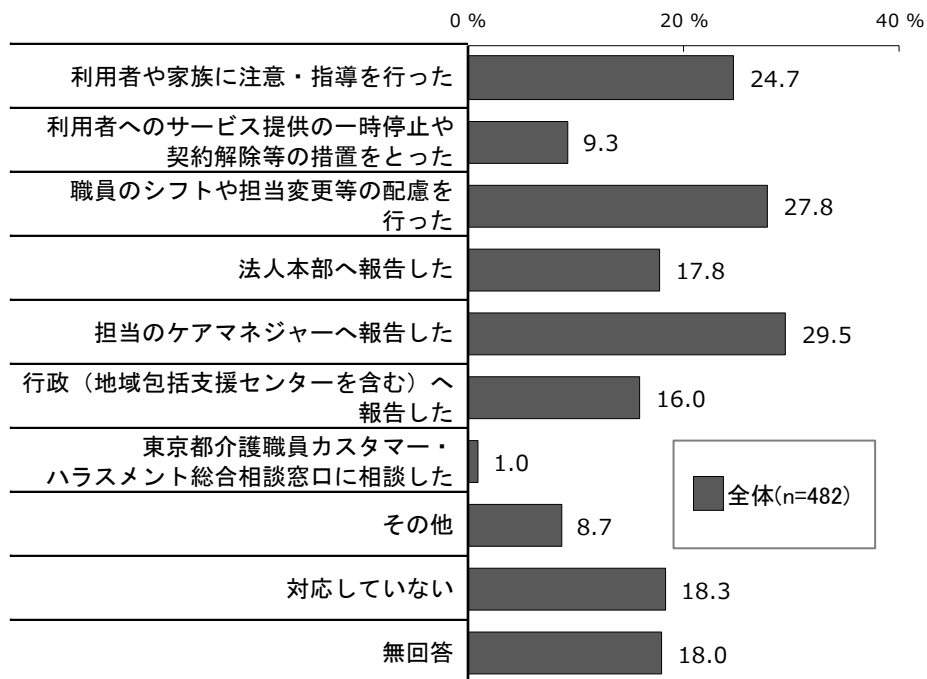
- 利用者・家族等からのハラスメントについて把握していると回答した事業所では、過去1年間に従業員等からハラスメントの相談・報告が「あった」は41.1%、「なかった」は57.3%となっている。
- 「把握していない」は1.0%となっている。



⑱従業員に対する利用者・家族等からのハラスメントに対する対応

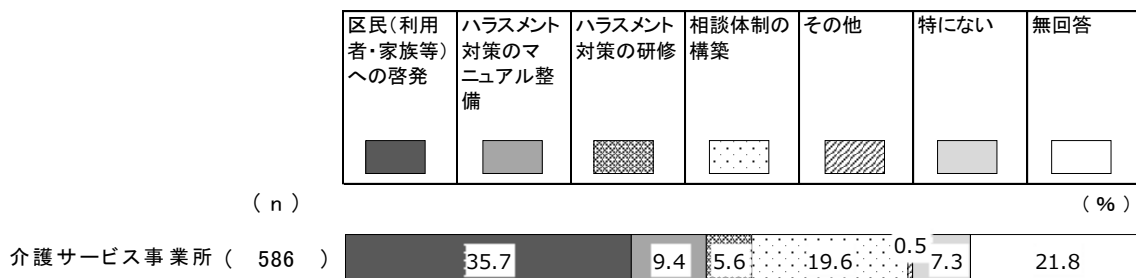
- ハラスメントを把握している事業所のうち、「担当のケアマネジャーへ報告した」(29.5%)が最も高く、次いで「職員のシフトや担当変更等の配慮を行った」(27.8%)の順となっている。
- 「対応していない」は18.3%となっている。

(複数回答)



⑲ハラスメント対応で期待する区の支援

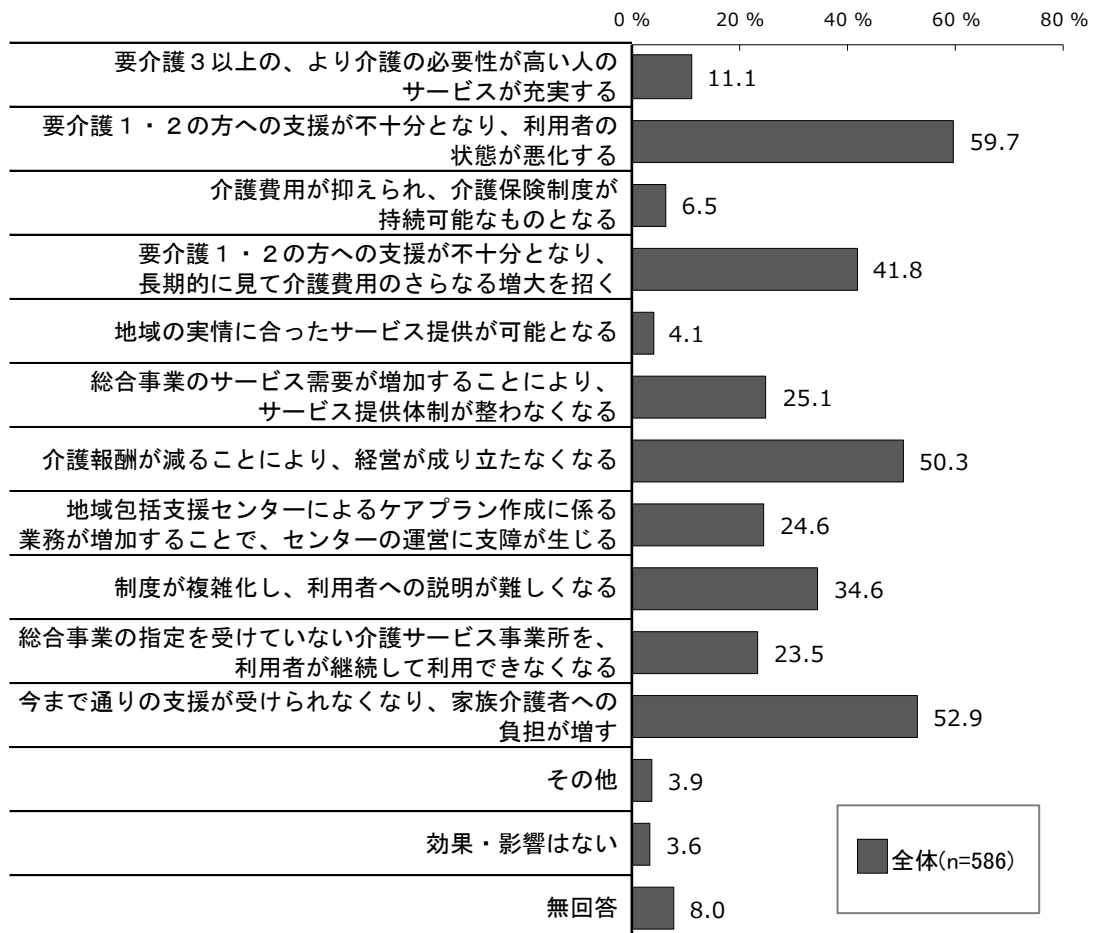
- 「区民（利用者・家族等）への啓発」(35.7%)が最も高く、次いで「相談体制の構築」(19.6%)の順となっている。



(6) 要介護1・2の者の生活援助サービス等の地域支援事業への移行の効果・影響

○要介護1・2の者の訪問介護、通所介護サービスが地域支援事業に移行された場合、どのような効果・影響があるか聞いたところ、「要介護1・2の方への支援が不十分となり、利用者の状態が悪化する」(59.7%)が最も高く、次いで「今まで通りの支援が受けられなくなり、家族介護者への負担が増す」(52.9%)の順となっている。

(複数回答)

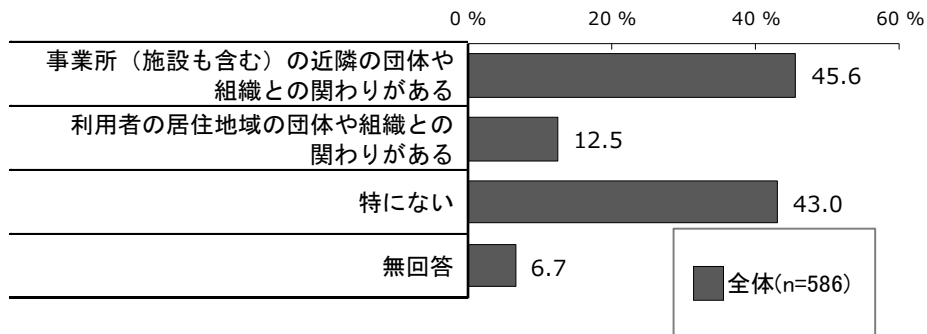


(7) 地域との関わり

①地域の各種団体や組織との関わりの有無

○「事業所（施設も含む）の近隣の団体や組織との関わりがある」が45.6%、「利用者の居住地の団体や組織との関わりがある」が12.5%、「特にない」が43.0%となっている。

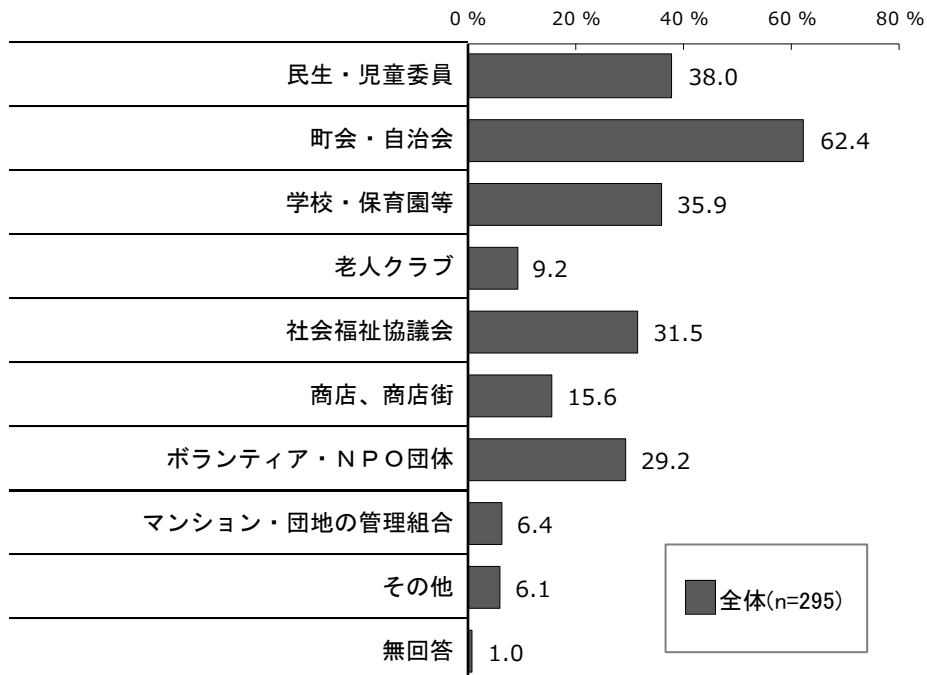
(複数回答)



②関わりがある地域の各種団体や組織

○地域の各種団体や組織との関わりがあると回答した事業所の関わりがある各種団体・組織は、「町会・自治会」(62.4%)が最も高く、次いで「民生・児童委員」(38.0%)の順となっている。

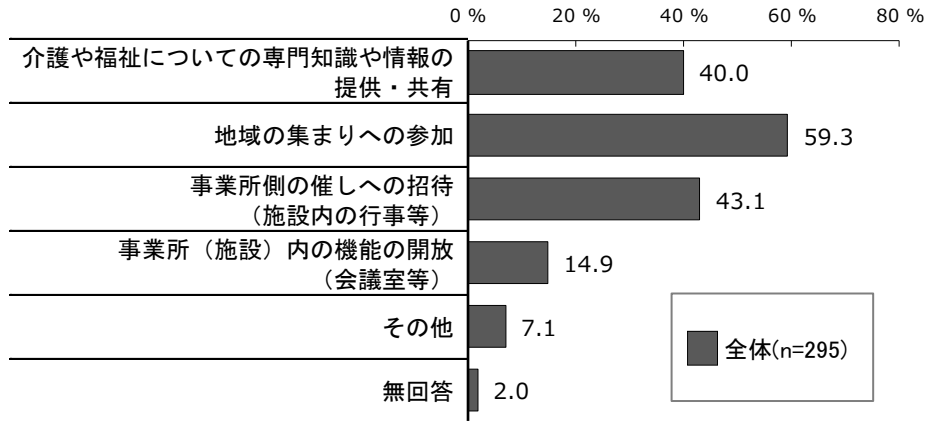
(複数回答)



③地域の各種団体や組織との関わりの内容

○地域の各種団体や組織との関わりがあると回答した事業所の関わりの内容は、「地域の集まりへの参加」(59.3%)が最も高く、次いで「事業所側の催しへの招待(施設内の行事等)」(43.1%)の順となっている。

(複数回答)



④直近1か月のボランティアの人数

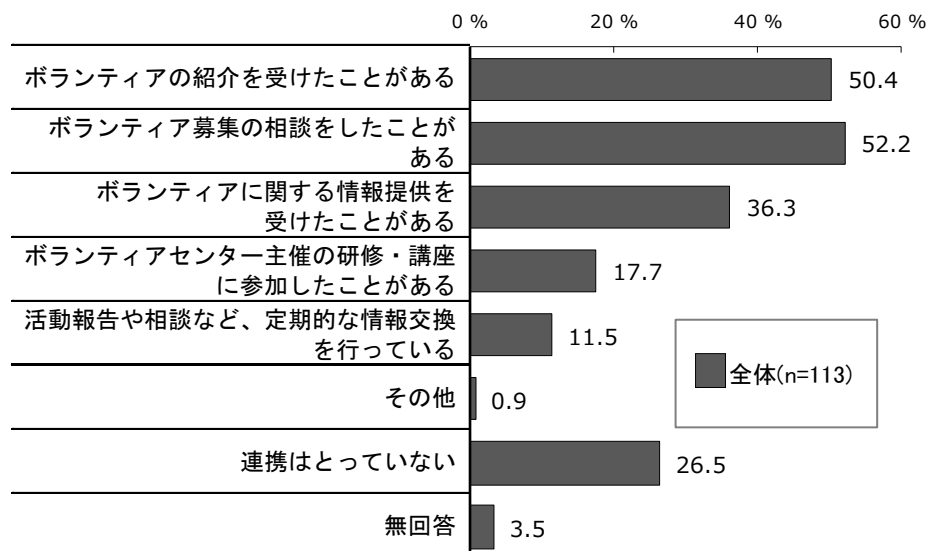
- ボランティアの人数は、区全体で延べ950人、そのうち高齢者のボランティアは564人となっている。
- 「通所系」「入所系」では、他のサービス種別と比べて受け入れているボランティアの人数が多くなっている。

	n	ボランティア人数 (%)					延べ人数 (人)		
		0人	1人以上 5人未満	5人以上 20人未満	20人以上	無回答	合計	うち 高齢者	高齢者の 割合 (%)
全体	586	60.6	10.9	5.6	2.7	20.1	950	564	59.4
居宅介護支援	109	71.6	0.9	-	-	27.5	2	0	0.0
訪問系	195	73.3	1.5	1.5	-	23.6	30	5	16.7
通所系	138	50.0	19.6	12.3	5.8	12.3	412	233	56.6
入所系	62	33.9	22.6	17.7	12.9	12.9	443	280	63.2
居住系	39	35.9	46.2	5.1	-	12.8	60	46	76.7
福祉用具	28	67.9	-	-	-	32.1	0	0	-

⑤ ボランティアセンター・コーナーとの連携状況

○「ボランティア募集の相談をしたことがある」(52.2%)が最も高く、次いで「ボランティアの紹介を受けたことがある」(50.4%)の順となっている。

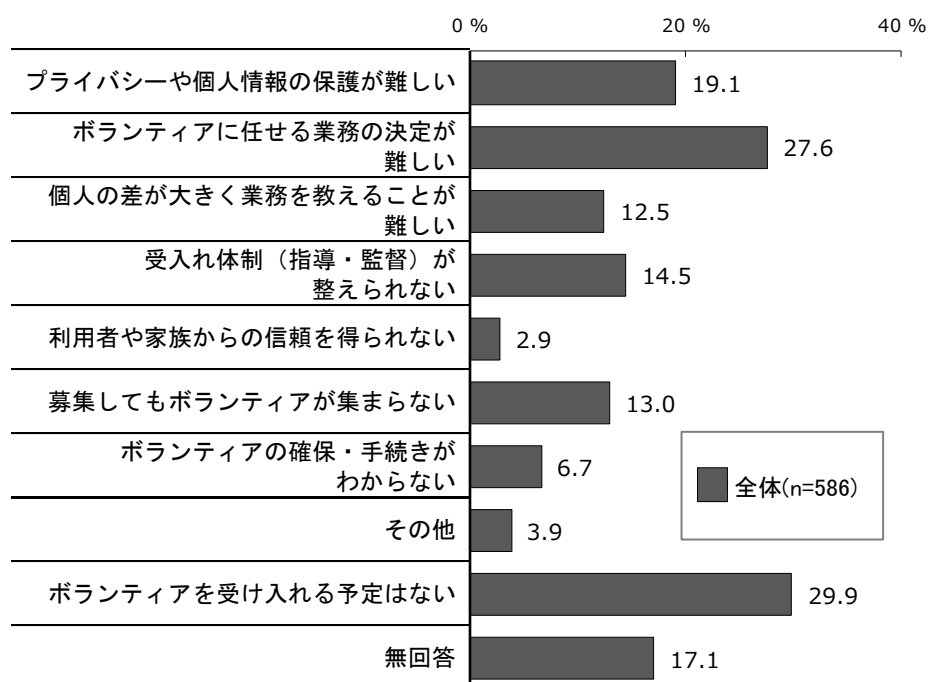
(複数回答)



⑥ ボランティアを受け入れる際の課題

○「ボランティアに任せる業務の決定が難しい」(27.6%)が最も高く、次いで「プライバシーや個人情報の保護が難しい」(19.1%)の順となっている。

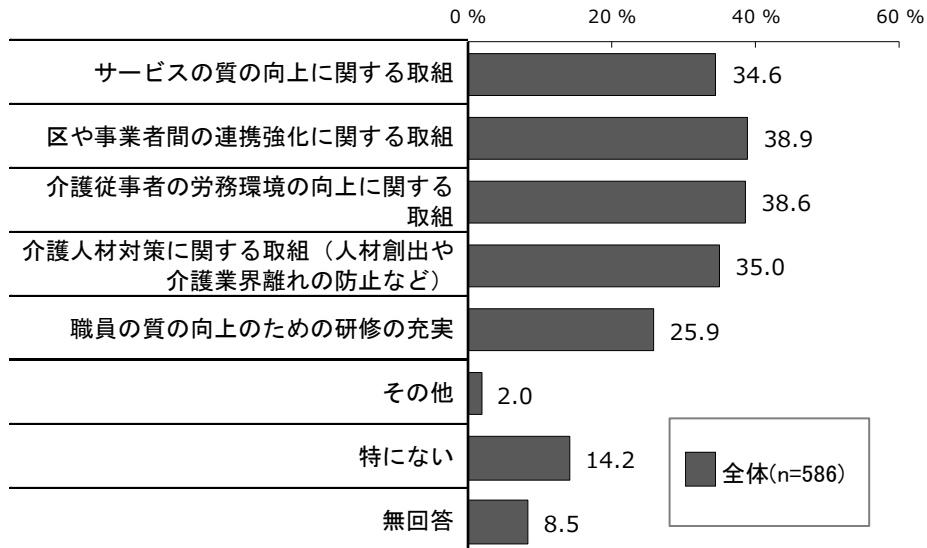
(○は3つまで)



⑦練馬区介護サービス事業者連絡協議会に期待すること

○介護サービス事業所では、「区や事業者間の連携強化に関する取組」(38.9%)が最も高く、次いで「介護従事者の労務環境の向上に関する取組」(38.6%)の順となっている。

(複数回答)



(8) 人材の確保・育成・定着

① 1年間の採用率と離職率

- 1年間（令和6年10月1日から令和7年9月30日まで）の採用率・離職率の状況は、訪問介護員と介護職員の2職種合計では、「採用率」は17.5%、「離職率」は12.0%となっている。
- 訪問介護員は「採用率」が15.5%、「離職率」が9.4%となっている。
- 介護職員は「採用率」が18.0%、「離職率」が12.3%となっている。
- 介護支援専門員は「採用率」が12.4%、「離職率」が11.9%となっている。
- 1年間に離職した者の勤務年数をみると、訪問介護員と介護職員の2職種合計では、離職者のうち「1年未満の者」が32.8%、「1年以上3年未満の者」が24.1%、「3年以上の者」が43.1%となっている。
- 訪問介護員は「1年未満の者」が31.8%、「1年以上3年未満の者」が24.7%、「3年以上の者」が43.5%となっている。
- 介護職員は「1年未満の者」が34.1%、「1年以上3年未満の者」が23.3%、「3年以上の者」が42.7%となっている。
- 介護支援専門員は「1年未満の者」が18.6%、「1年以上3年未満の者」が31.9%、「3年以上の者」が49.5%となっている。

(%)

職種	事業所数	採用率	離職率	離職者の勤務年数の内訳		
				1年未満	1年以上 3年未満	3年以上
訪問介護員	61	15.5	9.4	31.8	24.7	43.5
サービス提供責任者	59	7.4	4.1	42.3	19.2	38.5
介護職員	155	18.0	12.3	34.1	23.3	42.7
看護職員	152	18.7	16.5	37.5	33.6	28.9
生活相談員	73	9.1	7.8	25.0	26.5	48.5
PT・OT・ST等	65	15.8	10.7	34.5	40.5	25.0
介護支援専門員	91	12.4	11.9	18.6	31.9	49.5
事務職員	88	10.6	7.6	25.9	16.7	57.4
介護助手	23	30.5	18.6	50.0	14.3	35.7
調理員	18	29.2	18.4	50.0	16.7	33.3
ドライバー	46	21.6	11.1	35.2	25.7	39.1
3職種計 (訪問介護員、サービス提供責任者、介護職員)	204	17.7	11.8	33.1	24.1	42.8
2職種計 (訪問介護員、介護職員)	201	17.5	12.0	32.8	24.1	43.1

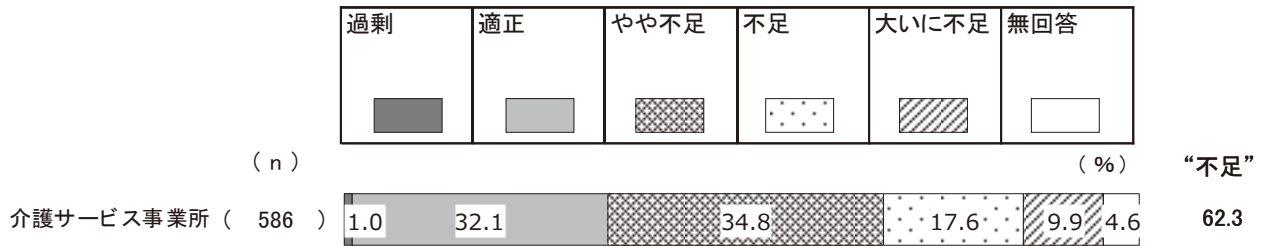
※1年間の採用率：＝1年間の採用者数÷1年前の在籍者数×100

※1年間の離職率：＝1年間の離職者数÷1年前の在籍者数×100

※3職種計の「回答事業所数」は訪問介護員、サービス提供責任者、介護職員の3者またはいずれかのいる事業所の数であり、延べ数ではない。(2職種計も同様)

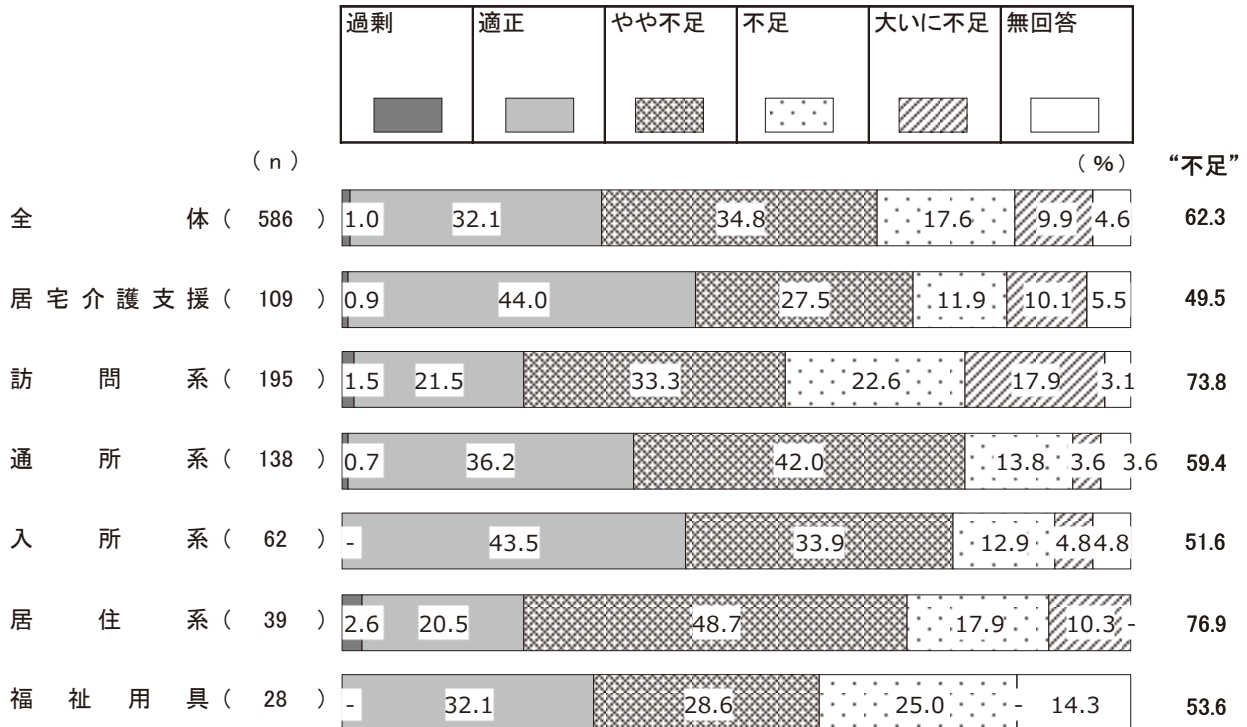
②職員の過不足の状況

- 「やや不足」(34.8%)が最も高く、次いで「適正」(32.1%)の順となっている。
- “不足”(「大いに不足」、「不足」、「やや不足」の合計)は62.3%となっている。



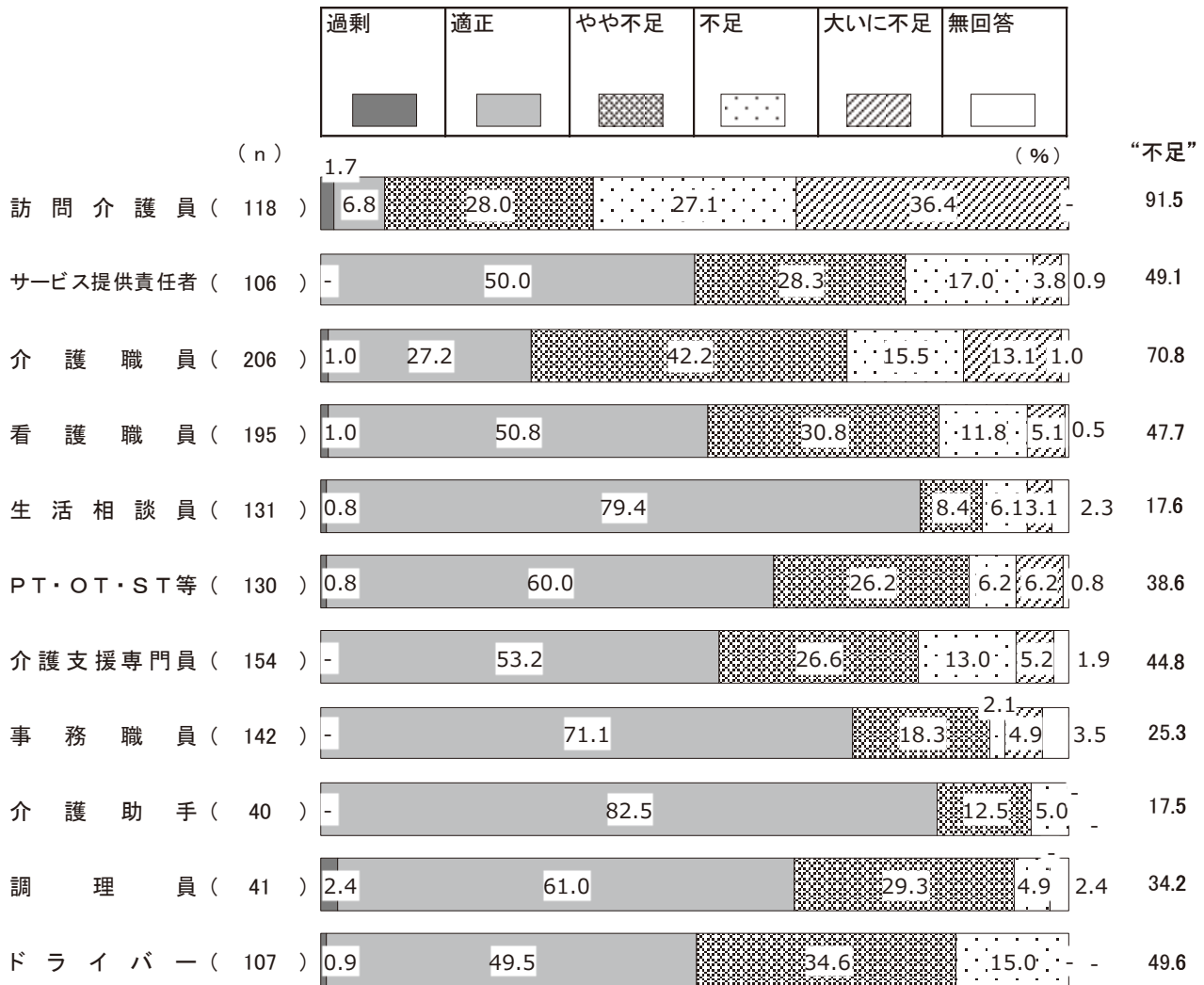
[職員の過不足の状況<サービス種別>]

- サービス種別にみると、「訪問系」、「居住系」では、“不足”が7割程度で他のサービス種別と比べて高くなっている。



[職員の過不足の状況<職種別>]

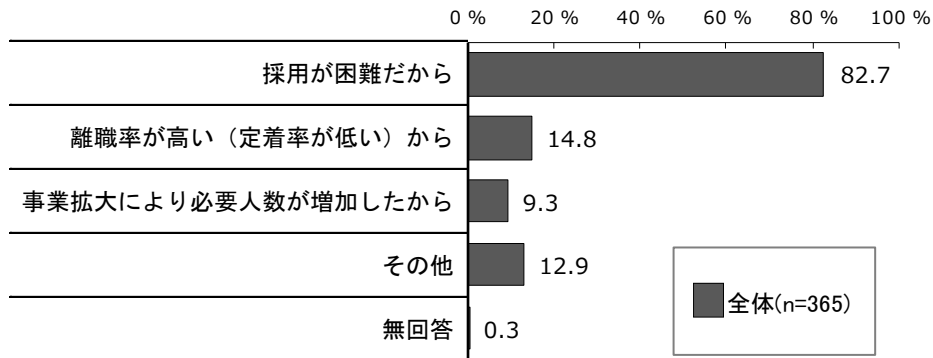
○職種別の“不足”の状況は、「訪問介護員」(91.5%)が最も高く、次いで「介護職員」(70.8%)の順となっている。



③職員が不足している理由

○職員が不足していると回答した事業所の職員が不足している理由は、「採用が困難だから」(82.7%)が最も高く、次いで「離職率が高い(定着率が低い)から」(14.8%)の順となっている。

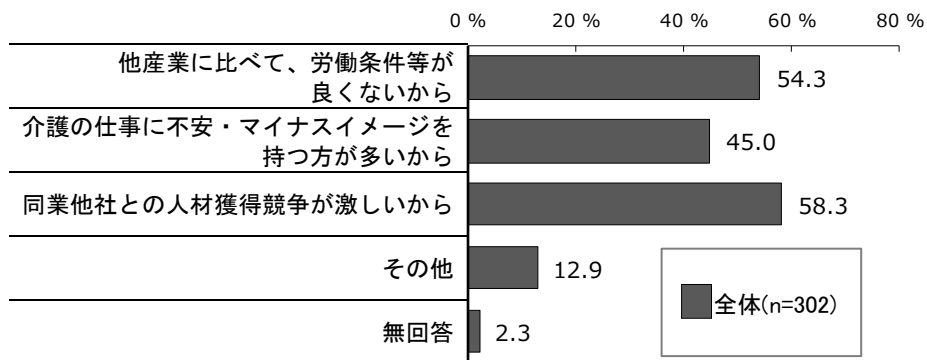
(複数回答)



④採用が困難な理由

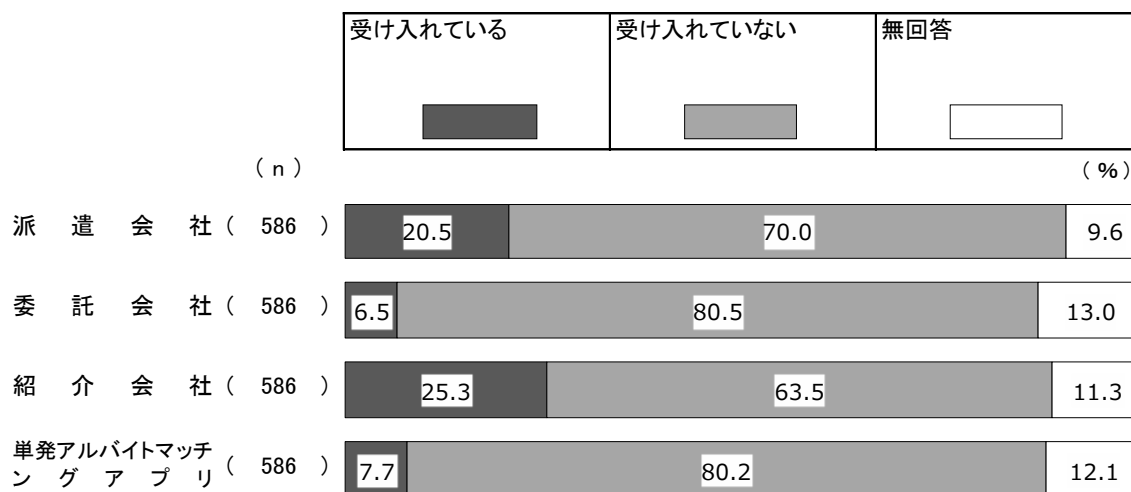
○「同業他社との人材獲得競争が激しいから」(58.3%)が最も高く、次いで「他産業に比べて、労働条件等が良くないから」(54.3%)の順となっている。

(複数回答)



⑤外部人材サービスの受け入れの状況

○「受け入れている」は、派遣会社が20.5%、委託会社が6.5%、紹介会社が25.3%、単発アルバイトマッチングアプリが7.7%となっている。



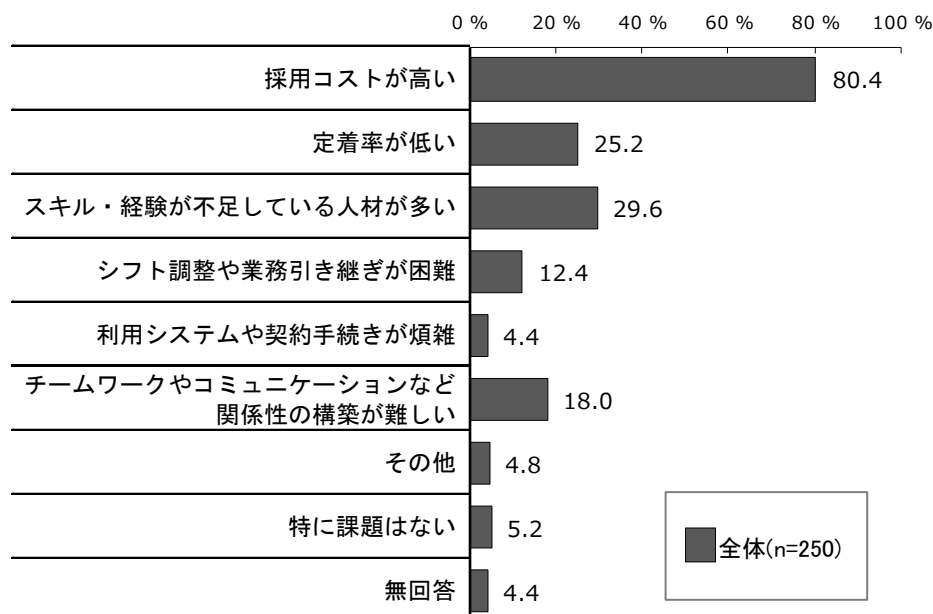
[外部人材サービスの受け入れの状況<外部人材サービス別(受け入れている職種)>]

	(%)				
	訪問介護員	介護職員	看護職員	事務職員	その他
派遣会社	-	66.0	32.9	1.1	-
委託会社	-	-	-	14.3	85.7
紹介会社	14.7	32.8	36.3	3.4	12.8
単発アルバイトマッチングアプリ	0.0	86.4	13.6	-	-

⑥外部人材サービスを活用する上での課題

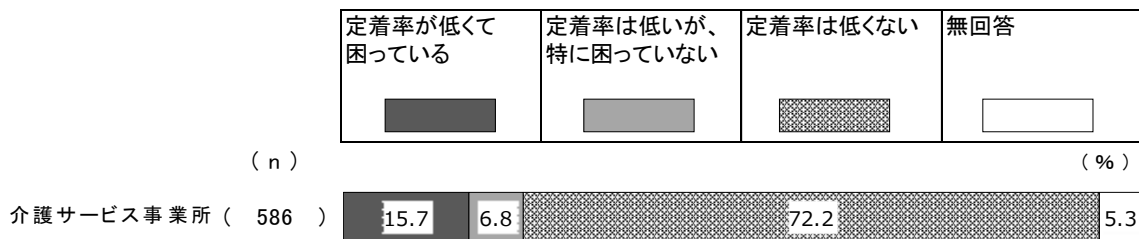
○介護サービス事業所では、「採用コストが高い」(80.4%)が最も高く、次いで「スキル・経験が不足している人材が多い」(29.6%)の順となっている。

(複数回答)



⑦従業員の定着状況

- 「定着率は低くない」(72.2%)が最も高く、次いで「定着率が低くて困っている」(15.7%)の順となっている。



[従業員の定着状況<サービス種別>]

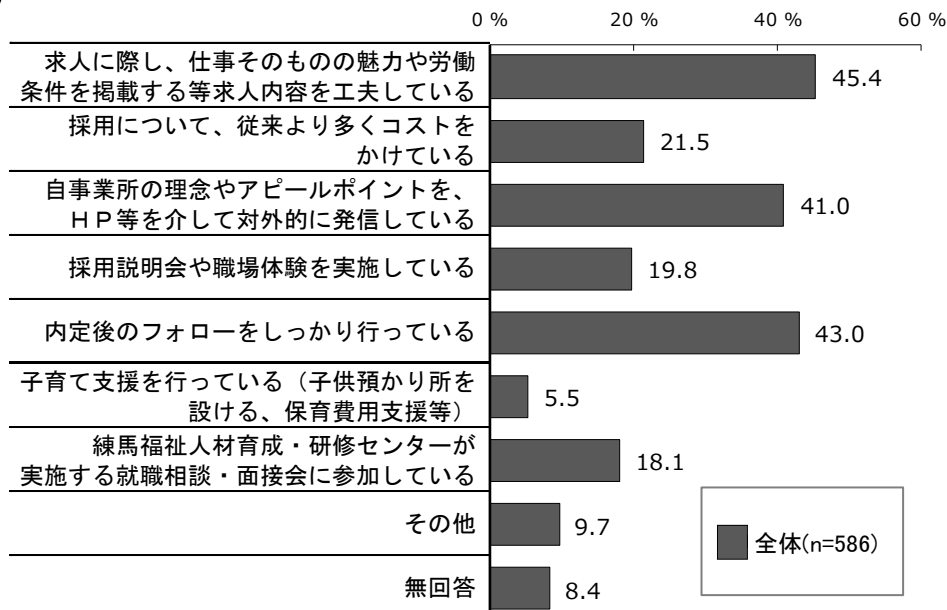
- サービス種別でみると、いずれのサービスでも、「定着率は低くない」が最も高くなっている。

	n	定着率が低くて困っている	定着率は低い、特に困っていない	定着率は低くない	無回答
全体	586	15.7	6.8	72.2	5.3
居宅介護支援	109	7.3	8.3	77.1	7.3
訪問系	195	16.9	3.1	74.9	5.1
通所系	138	16.7	8.7	73.2	1.4
入所系	62	14.5	6.5	72.6	6.5
居住系	39	23.1	10.3	66.7	-
福祉用具	28	14.3	14.3	50.0	21.4

⑧介護人材確保のための工夫

- 「求人に際し、仕事そのものの魅力や労働条件を掲載する等求人内容を工夫している」(45.4%)が最も高く、次いで「内定後のフォローをしっかりと行っている」(43.0%)の順となっている。

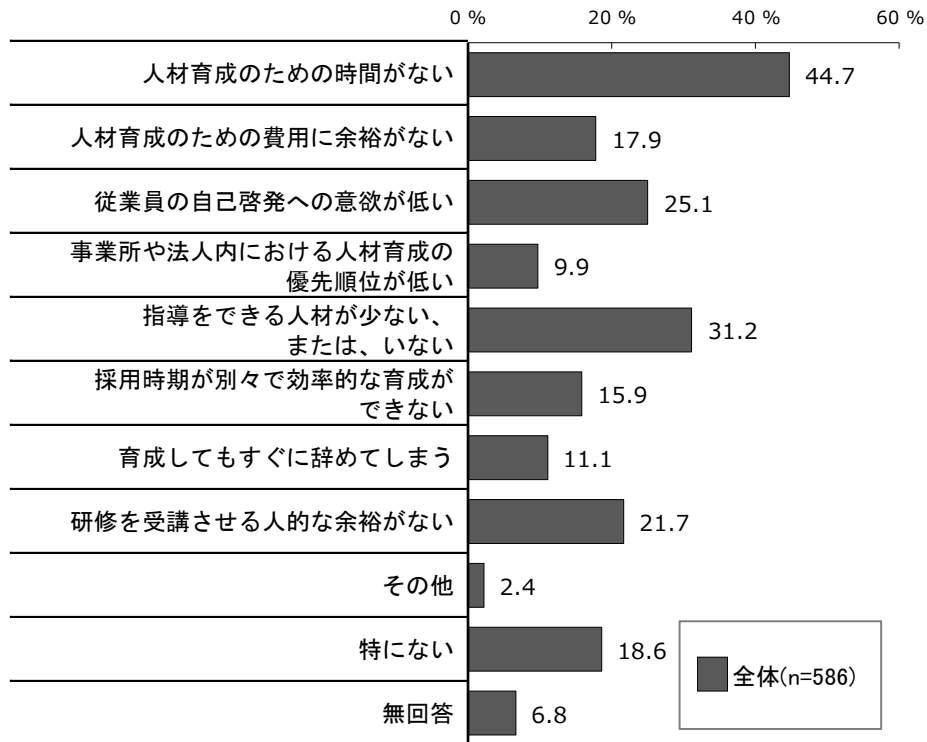
(複数回答)



⑨従業員の研修・教育等で困っていること

- 「人材育成のための時間がない」(44.7%)が最も高く、次いで「指導をできる人材が少ない、または、いない」(31.2%)の順となっている。
- 「特にない」は18.6%となっている。

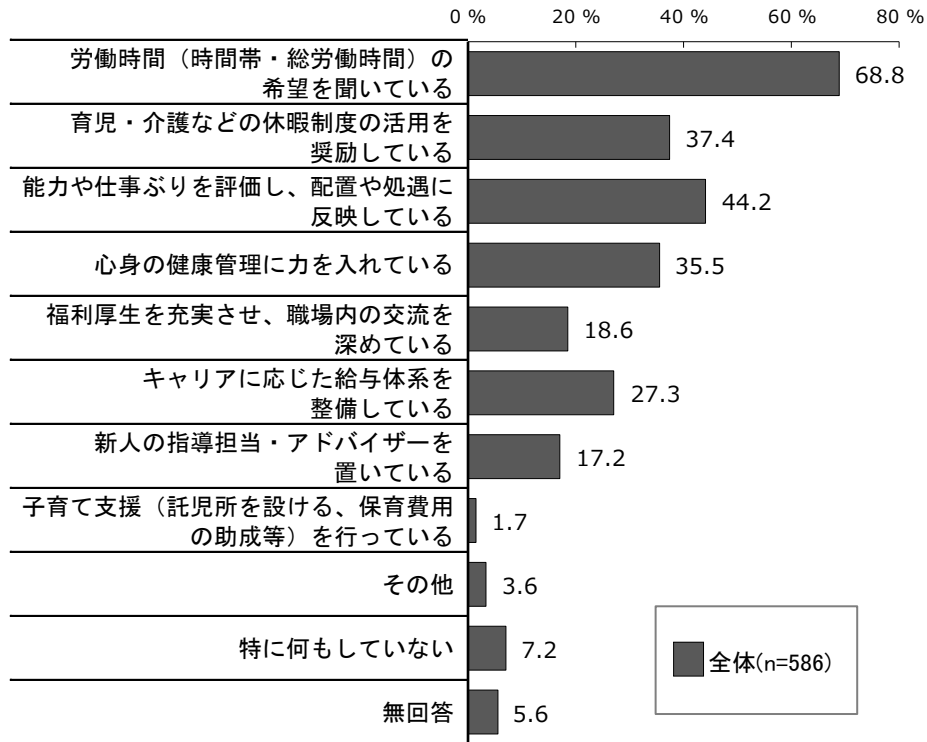
(複数回答)



⑩従業員の早期離職防止や定着促進のための取組状況

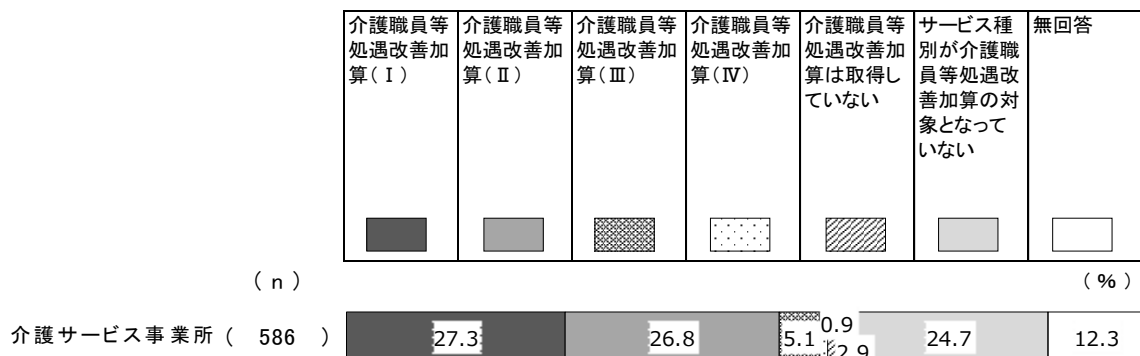
- 「労働時間（時間帯・総労働時間）の希望を聞いている」（68.8%）が最も高く、次いで「能力や仕事ぶりを評価し、配置や処遇に反映している」（44.2%）の順となっている。

（複数回答）



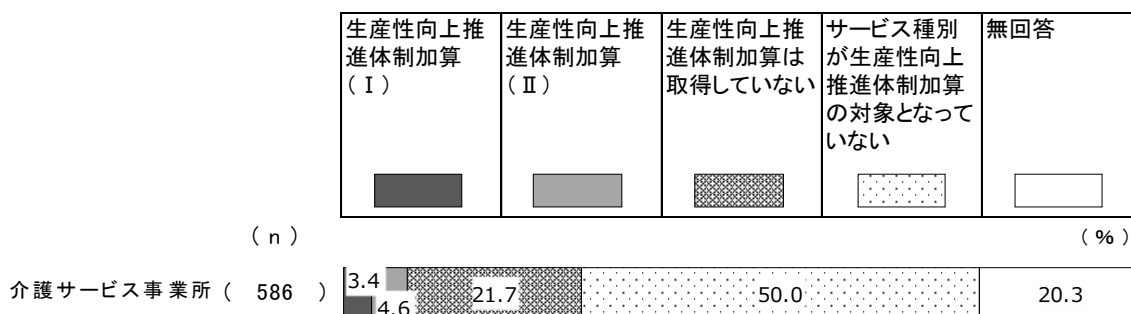
⑪介護職員等処遇改善加算の取得状況

- 「介護職員等処遇改善加算（Ⅰ）」（27.3%）が最も高く、次いで「介護職員等処遇改善加算（Ⅱ）」（26.8%）の順となっている。



⑫生産性向上推進体制加算の取得状況

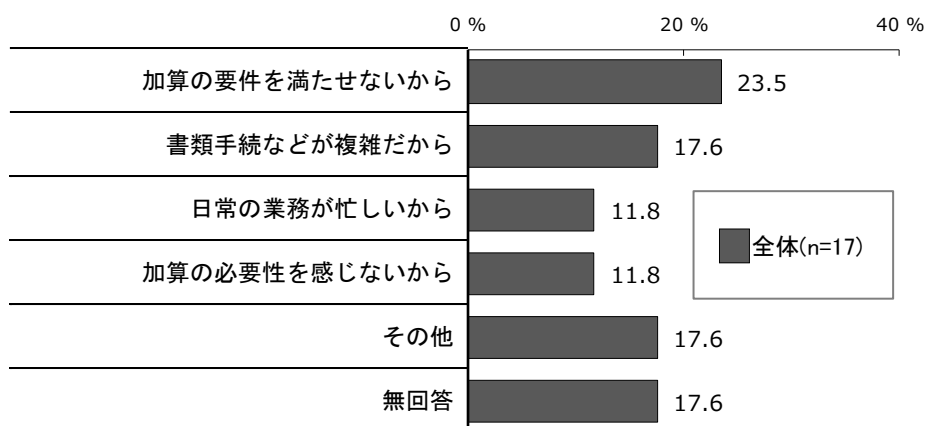
○「サービス種別が生産性向上推進体制加算の対象となっていない」(50.0%)が最も高く、次いで「生産性向上推進体制加算は取得していない」(21.7%)の順となっている。



⑬介護職員等処遇改善加算を取得していない理由

○「介護職員等処遇改善加算は取得していない」と答えた事業所の理由は、「加算の要件を満たせないから」(23.5%)が最も高く、次いで「書類手続などが複雑だから」(17.6%)の順となっている。

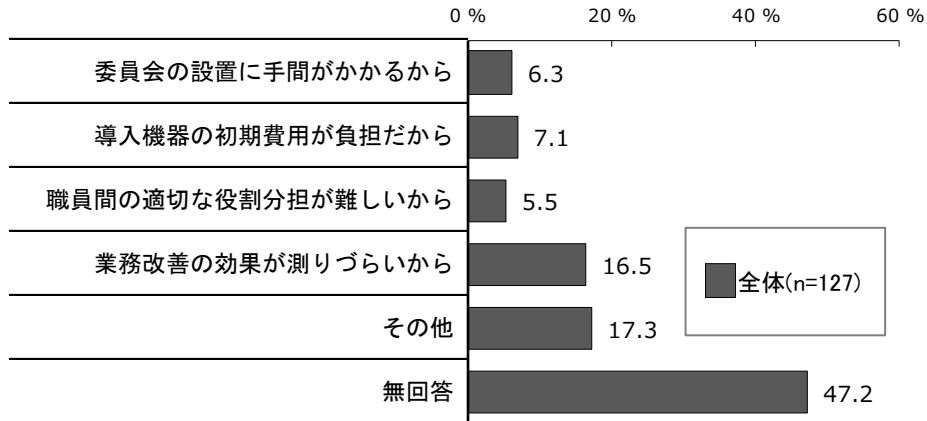
(複数回答)



⑭生産性向上推進体制加算を取得していない理由

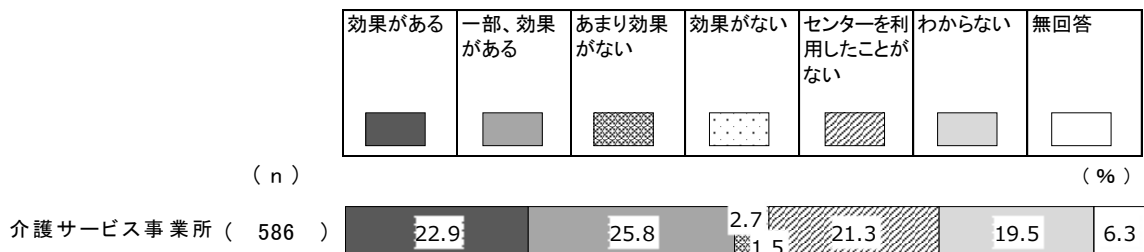
- 「生産性向上推進体制加算は取得していない」と答えた事業所の理由は、「業務改善の効果が測りづらいから」(16.5%)が最も高く、次いで「導入機器の初期費用が負担だから」(7.1%)の順となっている。

(複数回答)



⑮練馬福祉人材育成・研修センターの研修の効果

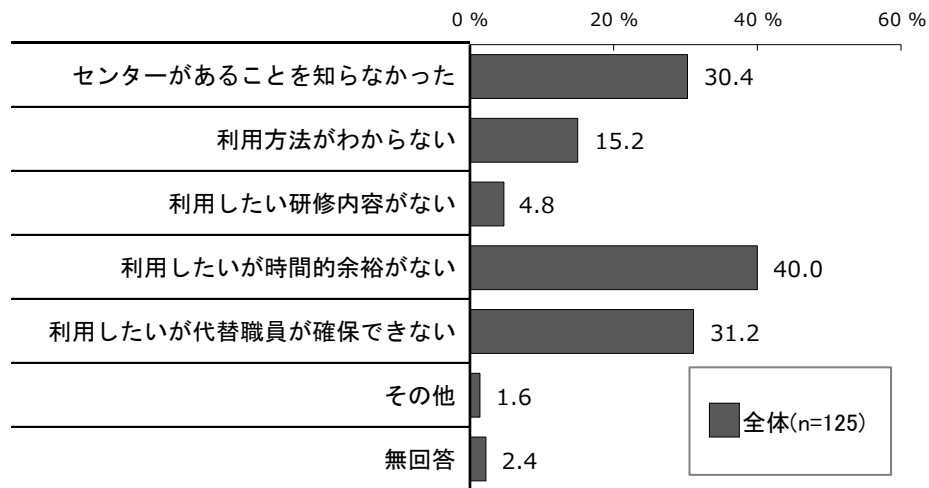
- “効果がある”（「効果がある」と「一部、効果がある」の合計）は48.7%となっている。
- 「センターを利用したことがない」は21.3%となっている。



⑩練馬福祉人材育成・研修センターの研修を利用したことのない理由

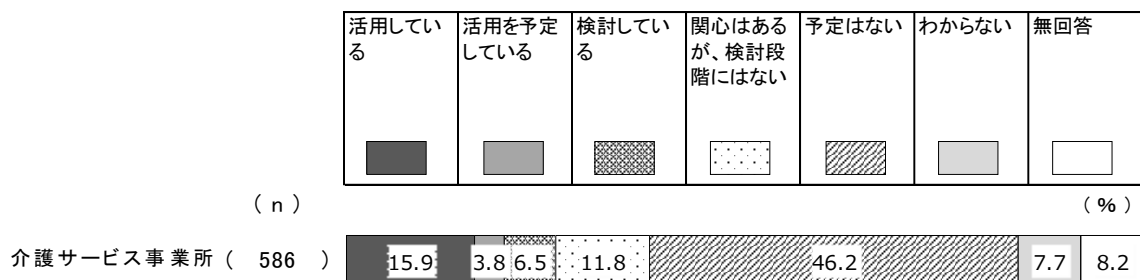
○練馬福祉人材育成・研修センターを利用したことのない理由は、「利用したいが時間的余裕がない」(40.0%)が最も高く、次いで「利用したいが代替職員が確保できない」(31.2%)の順となっている。

(複数回答)



⑪今後の外国人介護人材の活用予定

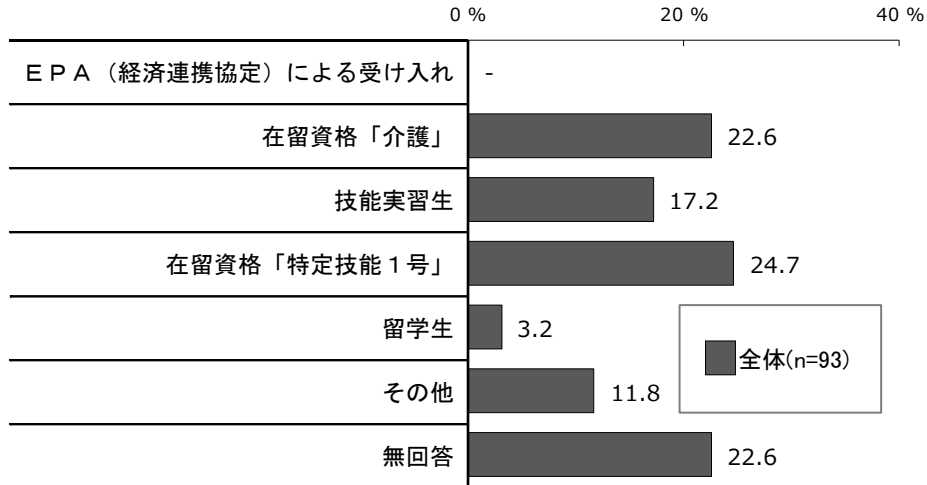
○「予定はない」(46.2%)が最も高く、次いで「活用している」(15.9%)の順となっている。



⑱外国人介護人材の雇用状況

○外国人介護人材を「活用している」と回答した事業所のうち、外国人労働者の受け入れ方法は、「在留資格「特定技能1号」(24.7%)が最も高く、次いで「在留資格「介護」(22.6%)の順となっている。

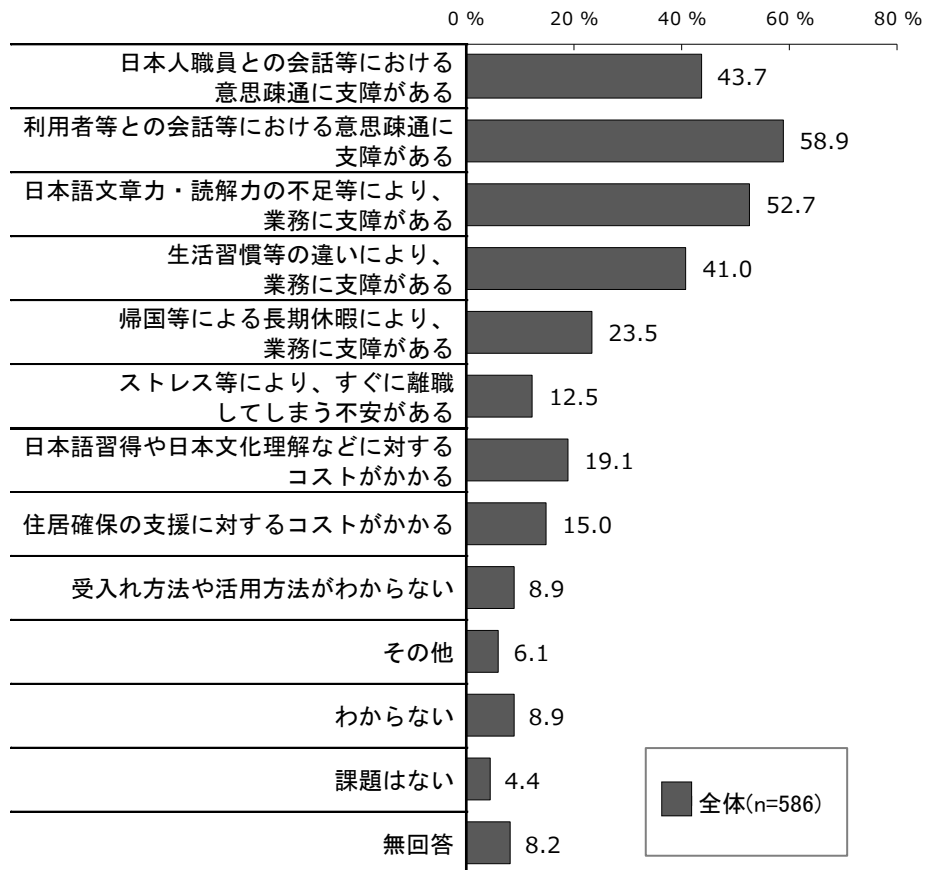
(複数回答)



⑲外国人介護人材の受け入れに当たっての課題

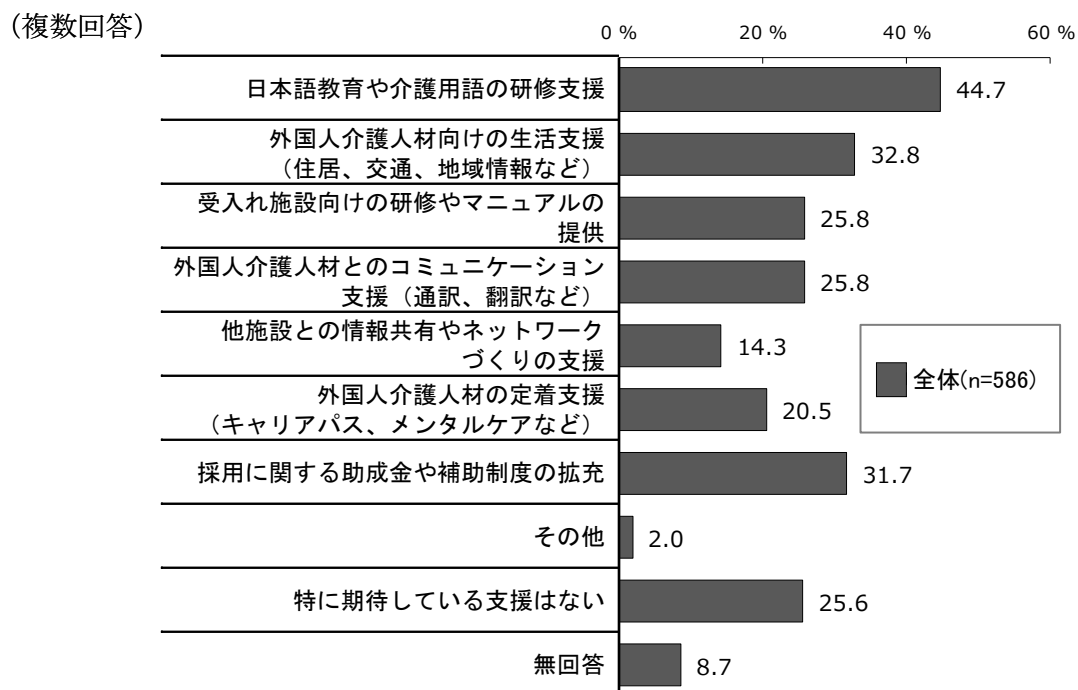
○「利用者等との会話等における意思疎通に支障がある」(58.9%)が最も高く、次いで「日本語文章力・読解力の不足等により、業務に支障がある」(52.7%)の順となっている。

(複数回答)



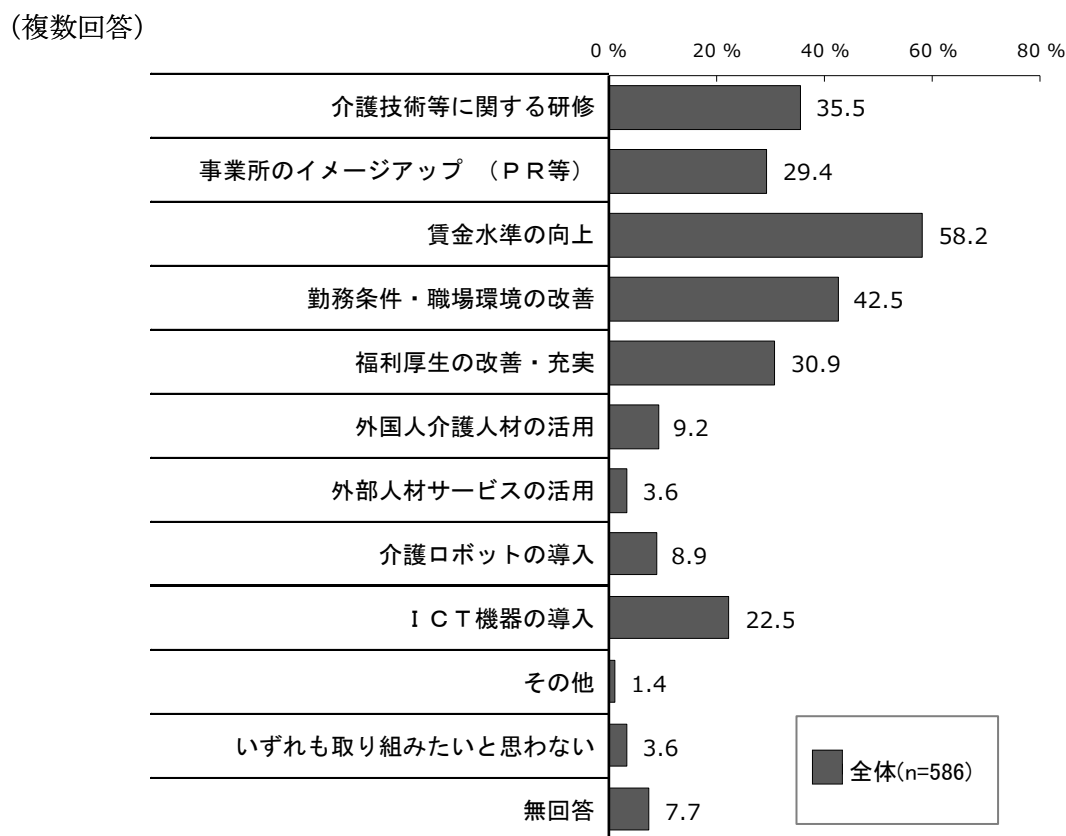
⑩外国人介護人材の活用について区に期待する支援

○「日本語教育や介護用語の研修支援」(44.7%)が最も高く、次いで「外国人介護人材向けの生活支援(住居、交通、地域情報など)」(32.8%)の順となっている。



⑪人材確保・育成・定着のためにやりたい取組

○「賃金水準の向上」(58.2%)が最も高く、次いで「勤務条件・職場環境の改善」(42.5%)の順となっている。

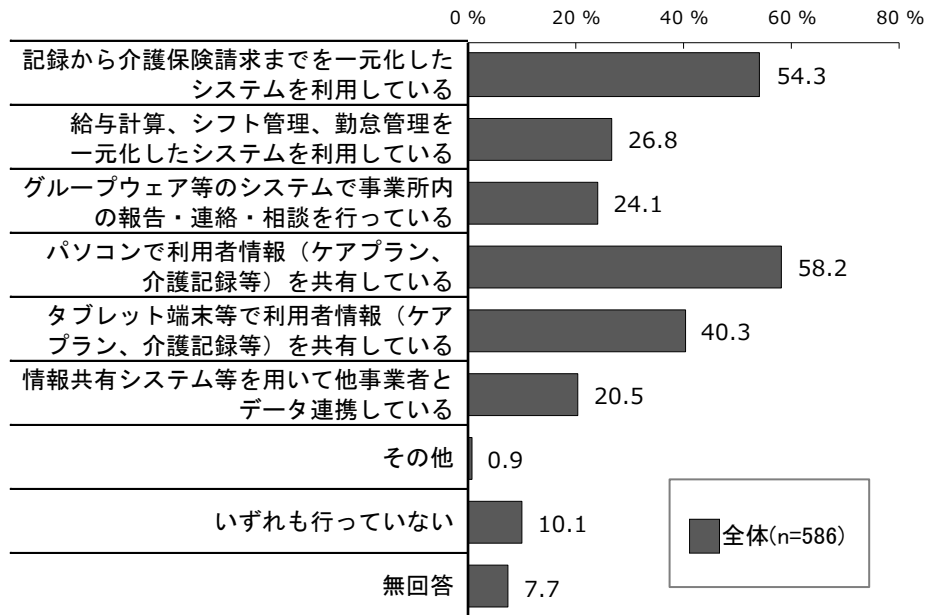


(9) 生産性向上に向けた取組

①ICT機器の活用状況

- 「パソコンで利用者情報（ケアプラン、介護記録等）を共有している」（58.2%）が最も高く、次いで「記録から介護保険請求までを一元化したシステムを利用している」（54.3%）の順となっている。

（複数回答）



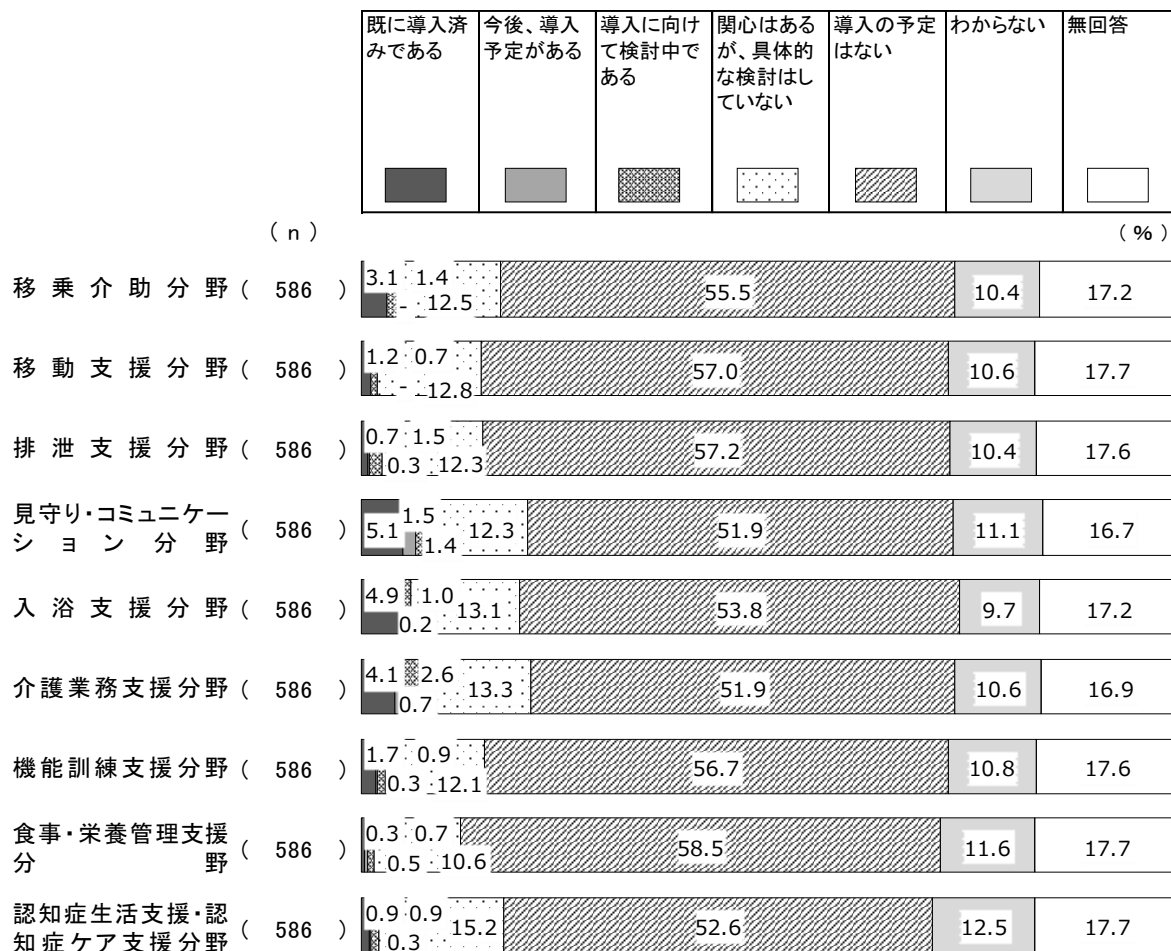
[ICT機器の活用状況<サービス種別>]

- サービス種別でみると、入所系は「記録から介護保険請求までを一元化したシステムを利用している」が他のサービス種別と比べて高くなっている。
- また、入所系、居住系は「パソコンで利用者情報（ケアプラン、介護記録等）を共有している」が他のサービス種別と比べて高くなっている。

	n	記録から介護保険請求までを一元化したシステムを利用している (%)	給与計算、シフト管理、勤怠管理を一元化したシステムを利用している (%)	グループウェア等のシステムで事業所内の報告・連絡・相談を行っている (%)	パソコンで利用者情報（ケアプラン、介護記録等）を共有している (%)	タブレット端末等で利用者情報（ケアプラン、介護記録等）を共有している (%)	情報共有システム等を用いて他事業者とデータ連携している (%)	その他 (%)	いずれも行っていない (%)	無回答 (%)
全体	586	54.3	26.8	24.1	58.2	40.3	20.5	0.9	10.1	7.7
居宅介護支援	109	45.9	13.8	12.8	67.9	24.8	25.7	-	8.3	6.4
訪問系	195	57.9	34.9	27.7	48.7	37.4	28.2	1.0	7.7	9.2
通所系	138	45.7	26.1	23.9	51.4	42.0	13.0	2.2	16.7	6.5
入所系	62	82.3	25.8	35.5	74.2	48.4	9.7	-	4.8	4.8
居住系	39	48.7	28.2	20.5	74.4	64.1	2.6	-	12.8	5.1
福祉用具	28	50.0	25.0	25.0	53.6	46.4	25.0	-	14.3	14.3

②介護ロボットの活用状況

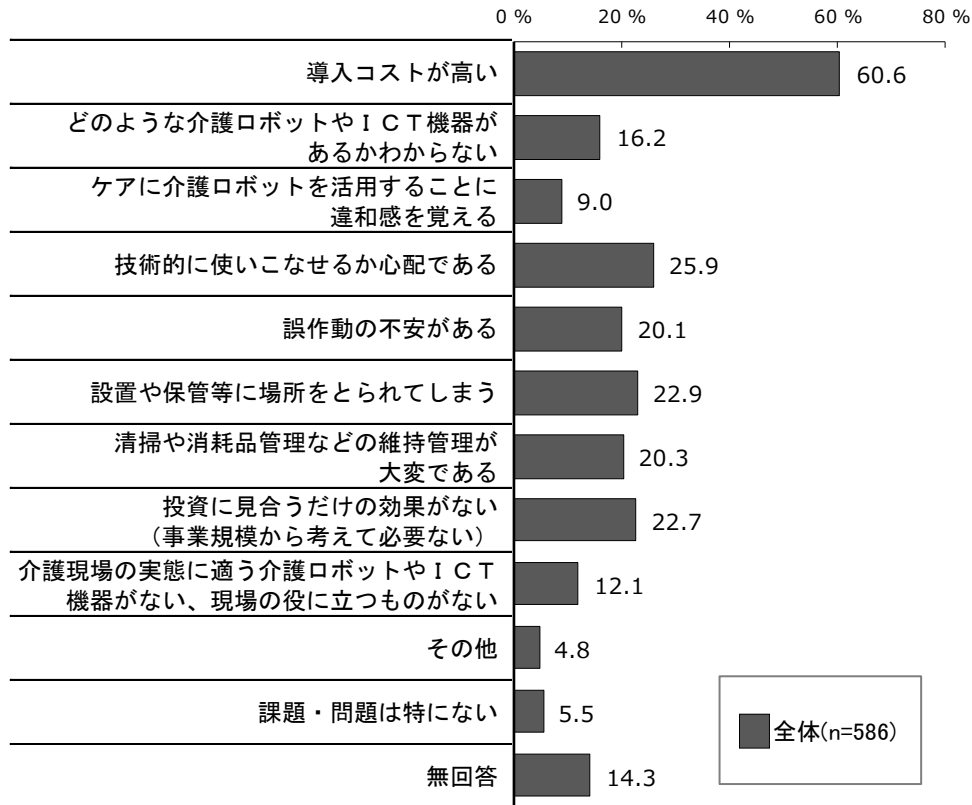
○いずれの分野でも、「導入の予定はない」が最も高くなっている。



③ICT機器や介護ロボット導入に関する課題

- 「導入コストが高い」(60.6%)が最も高く、次いで「技術的に使いこなせるか心配である」(25.9%)の順となっている。

(複数回答)



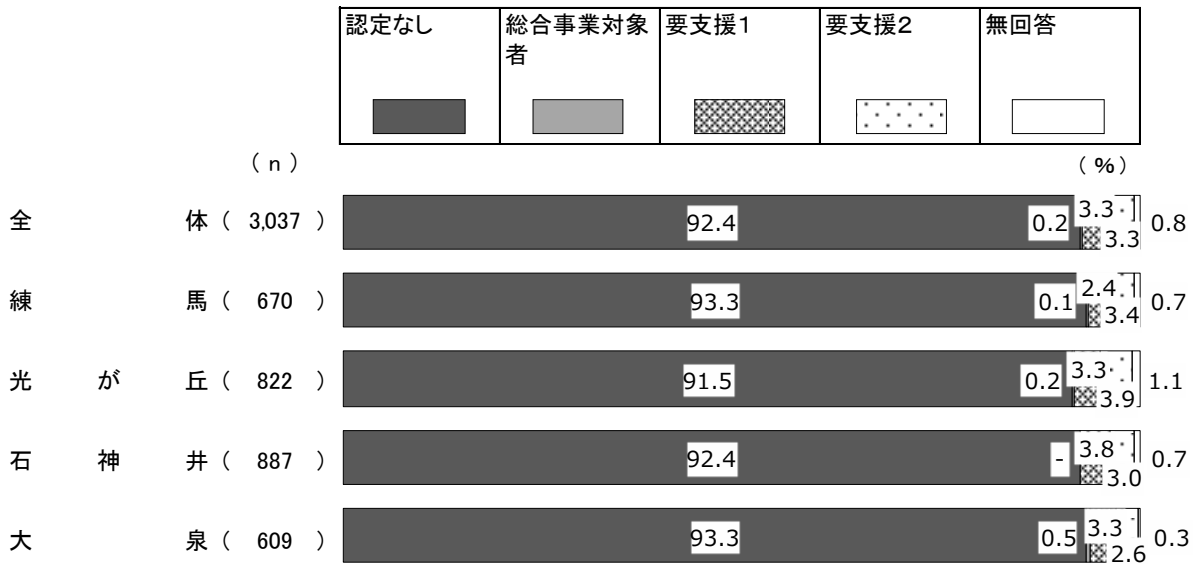
第3章 高齢者基礎調査 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)

1. 回答者の基本属性

(1) 要介護区分

○全体では、「認定なし」が92.4%、「総合事業対象者」が0.2%、「要支援1」が3.3%、「要支援2」が3.3%となっている。

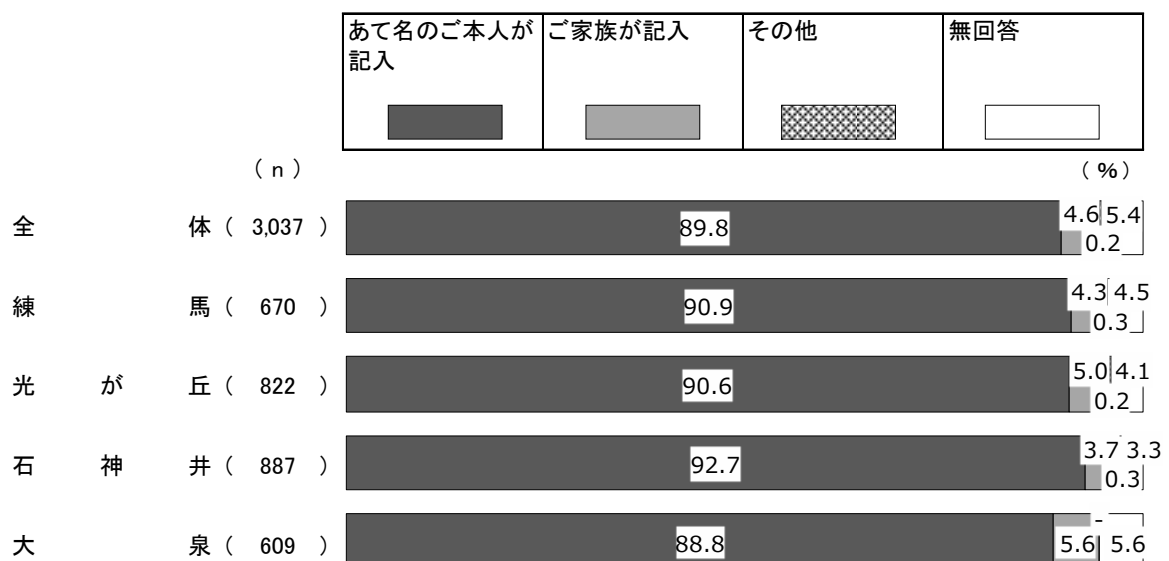
○いずれの地区でも、「認定なし」が9割台となっている。



(2) 調査票の記入者

○全体では、「あて名のご本人が記入」が89.8%となっている。

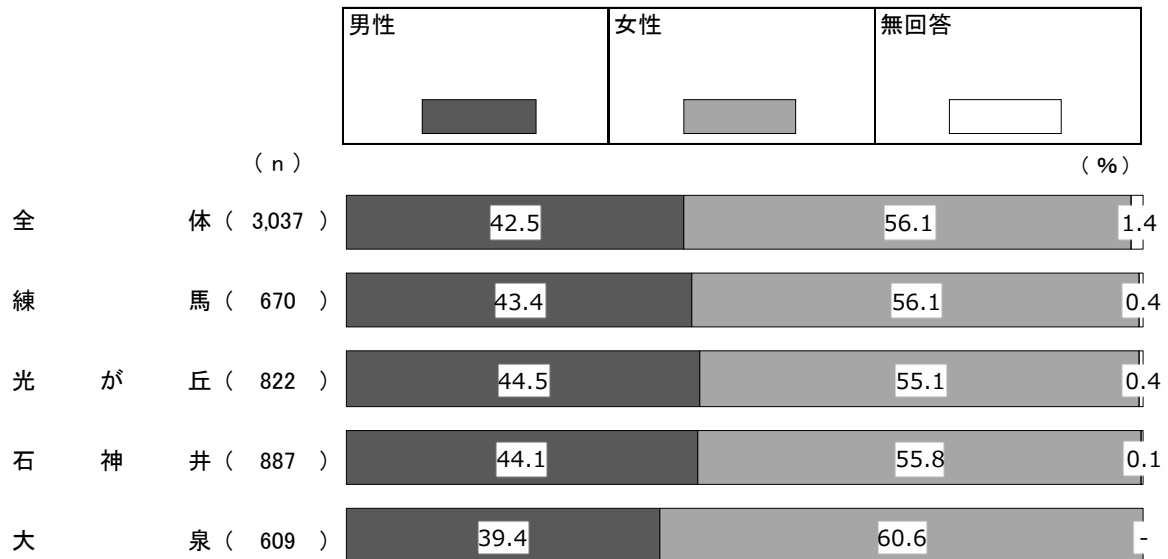
○いずれの地区でも、「あて名のご本人が記入」が8割から9割となっている。



(3) 性別

○全体では、「男性」が42.5%、「女性」が56.1%となっている。

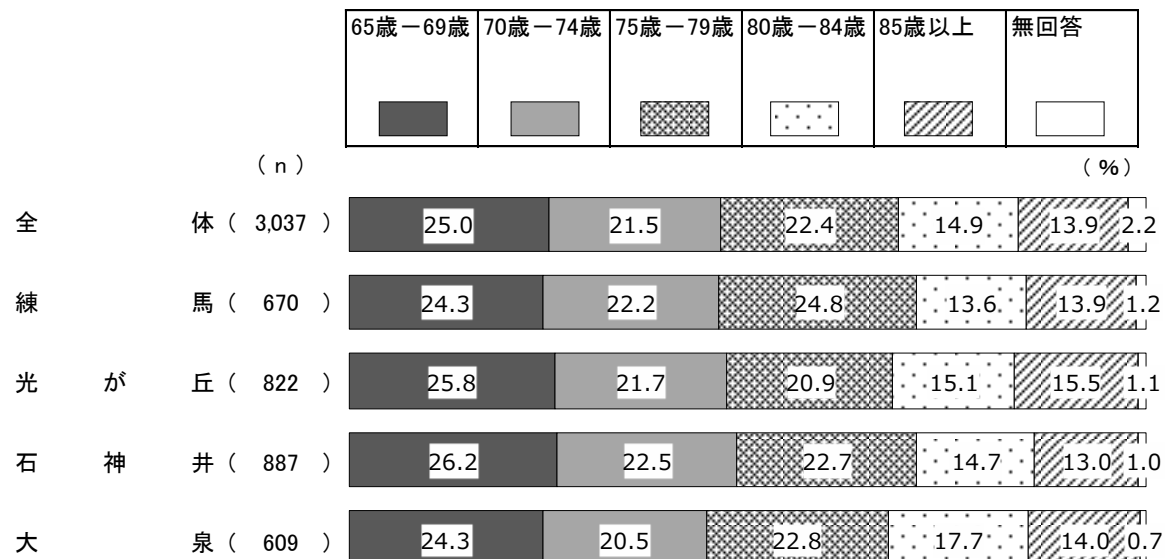
○いずれの地区でも、「男性」が3割から4割、「女性」が5割から6割となっている。



(4) 年齢

○全体では、「前期高齢者」(「65歳-69歳」と「70歳-74歳」の合計)は46.5%、「後期高齢者」(「75歳-79歳」、「80歳-84歳」、「85歳以上」の合計)は51.2%となっている。

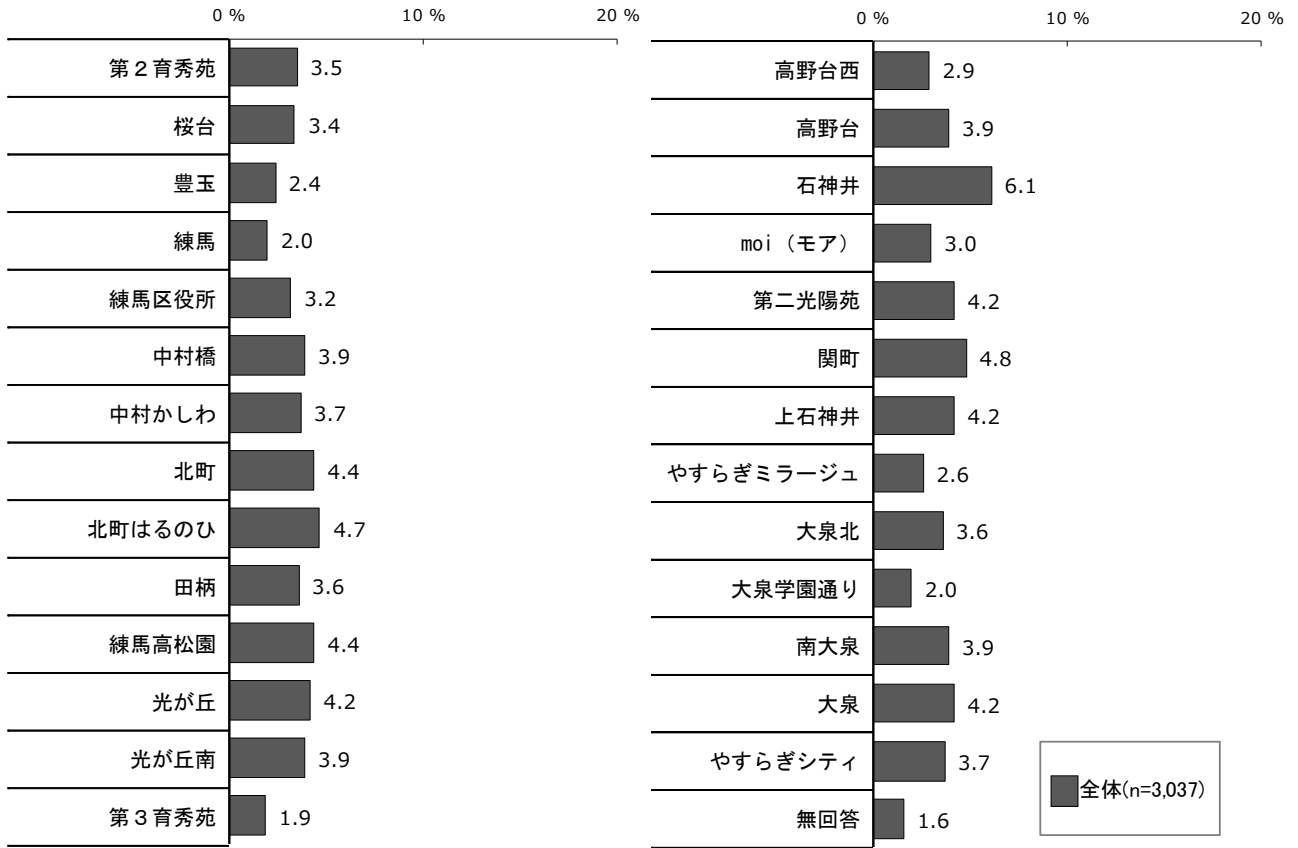
○いずれの地区でも、「前期高齢者」が4割台、「後期高齢者」が5割台となっている。



(5) 居住地区

①日常生活圏域

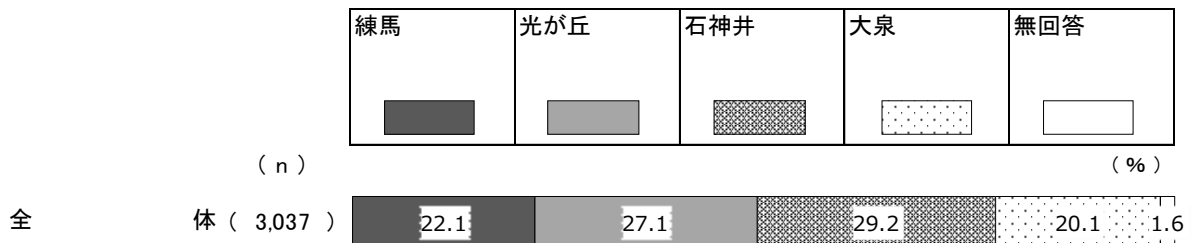
○「石神井」(6.1%)が最も高く、次いで「関町」(4.8%)の順となっている。



※「第2育秀苑」は令和8年4月から「みらい青空」に名称が変更となる。

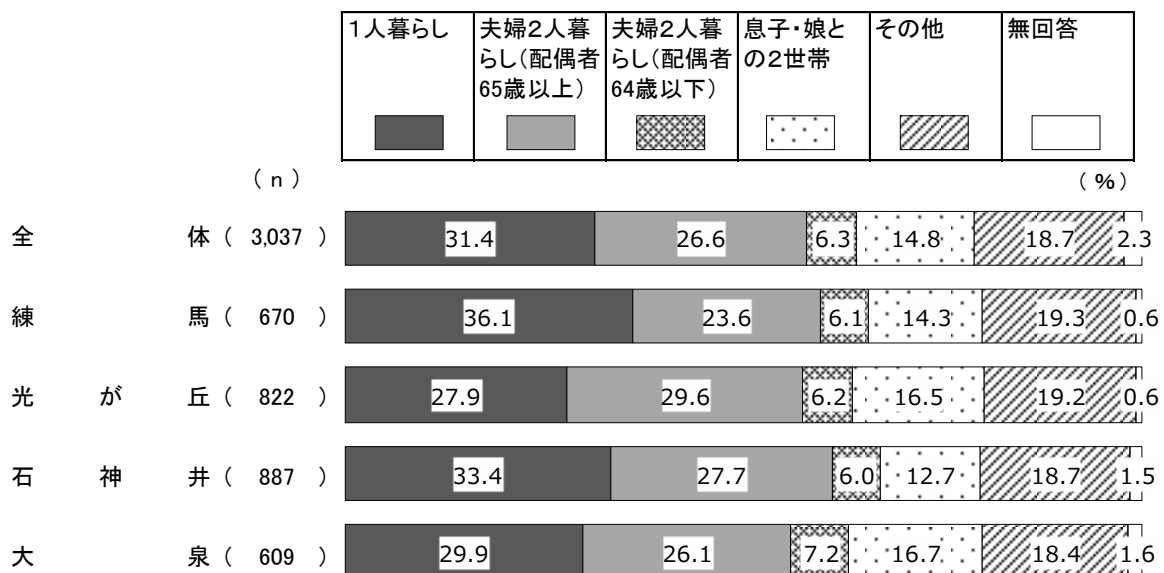
②基本地区

○「石神井」(29.2%)が最も高く、次いで「光が丘」(27.1%)の順となっている。



(6) 世帯の状況

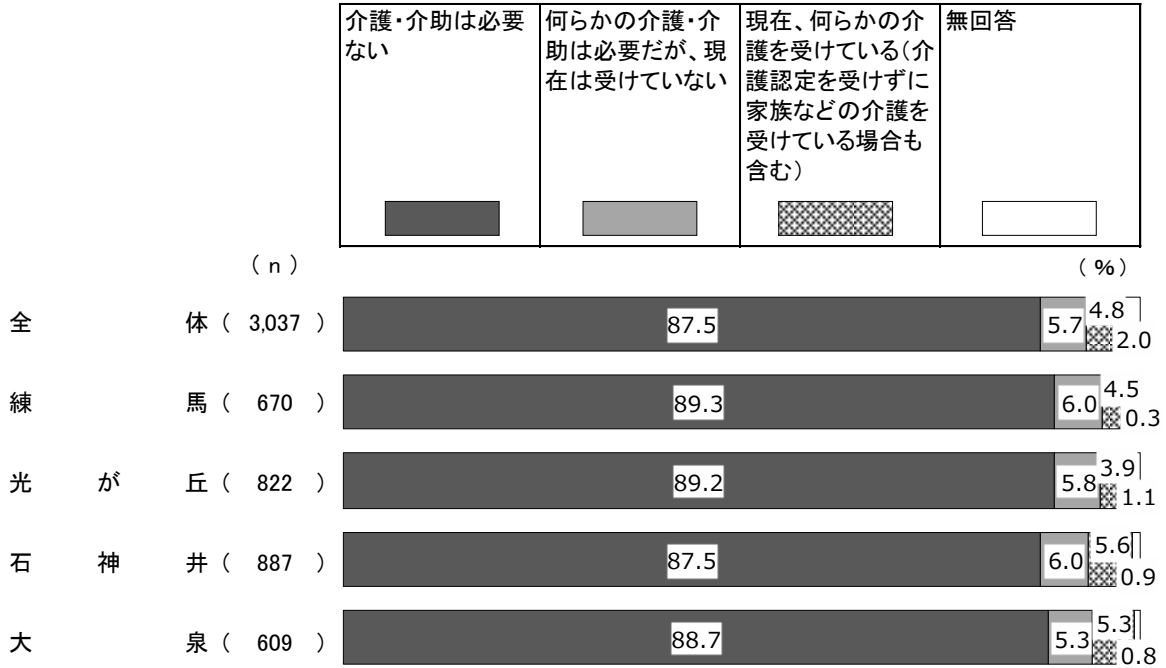
- 全体では、「1人暮らし」が31.4%、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が26.6%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が6.3%、「息子・娘との2世帯」が14.8%となっている。
- 練馬では、「1人暮らし」が全体に比べて高く36.1%となっている。「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が23.6%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が6.1%、「息子・娘との2世帯」が14.3%となっている。
- 光が丘では、「1人暮らし」が27.9%、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が29.6%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が6.2%、「息子・娘との2世帯」が16.5%となっている。
- 石神井では、「1人暮らし」が33.4%、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が27.7%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が6.0%、「息子・娘との2世帯」が12.7%となっている。
- 大泉では、「1人暮らし」が29.9%、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が26.1%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が7.2%、「息子・娘との2世帯」が16.7%となっている。



（7）介護・介助の必要性

○全体では、「介護・介助は必要ない」が87.5%、「何らかの介護・介助が必要」（「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と「現在、何らかの介護を受けている」の合計）が10.5%となっている。

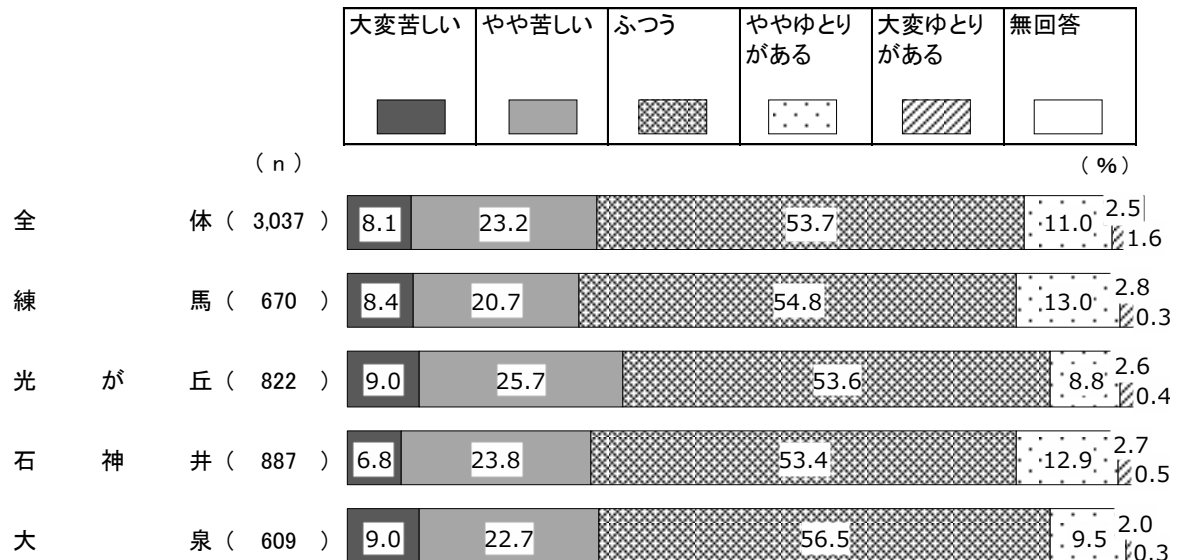
○いずれの地区でも、全体と同様の傾向となっている。



（8）暮らし向き

○全体では、「ふつう」が53.7%で最も高く、「苦しい」（「大変苦しい」と「やや苦しい」の合計）が31.3%、「ゆとりがある」（「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」の合計）が13.5%となっている。

○いずれの地区でも、全体と同様の傾向となっている。



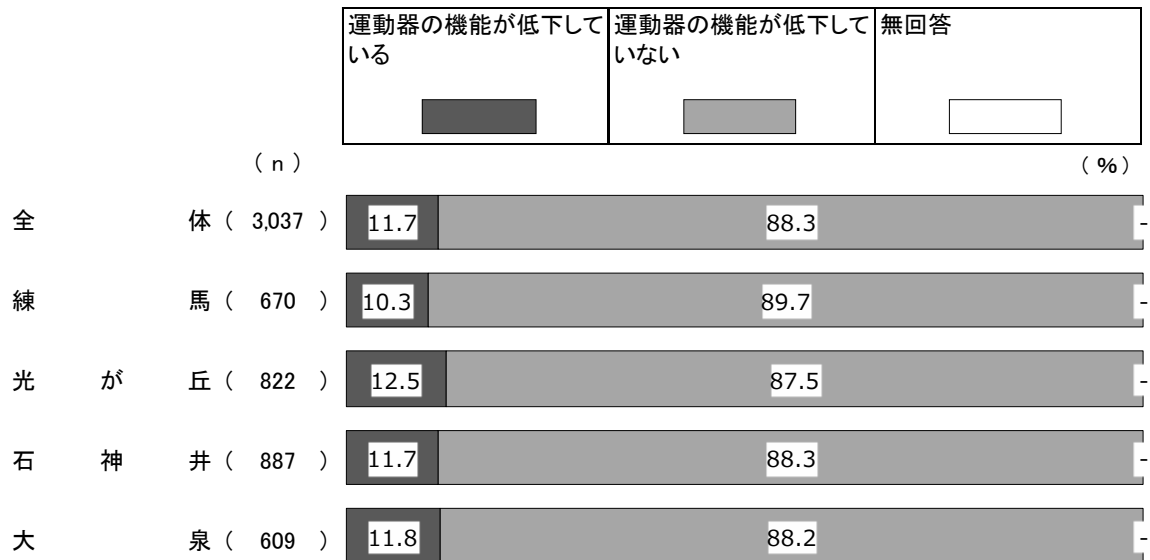
2. 日常生活の状況

(1) からだを動かすこと

①運動器の機能の低下

○全体では、運動器の機能が低下している人は、11.7%となっている。

○いずれの地区でも、全体と同様の傾向となっている。



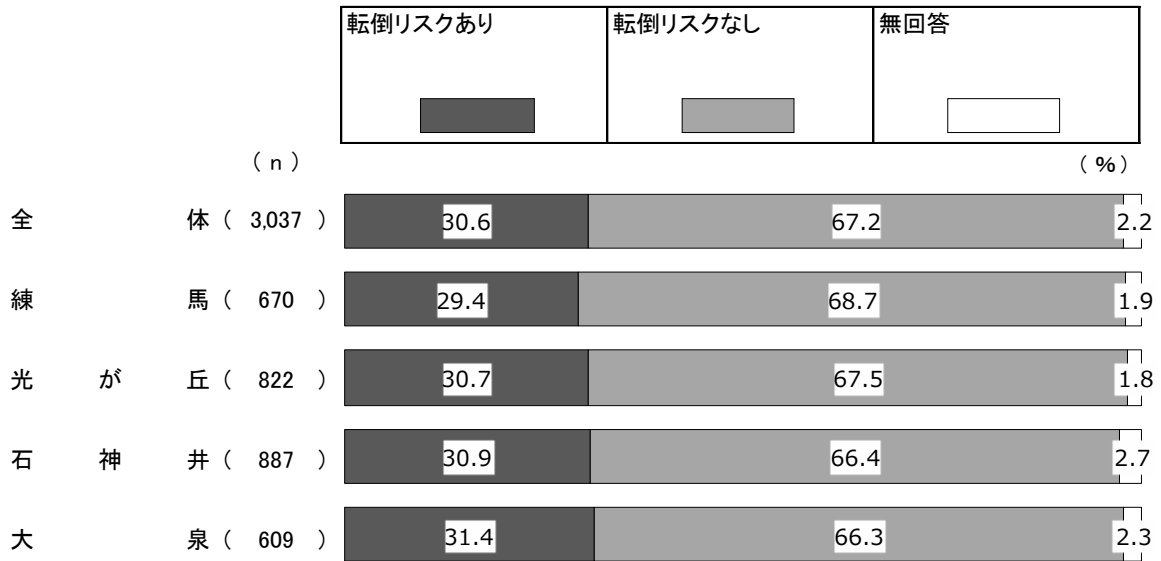
※ 下記の項目に、3つ以上該当する場合、“運動器の機能が低下している高齢者”としている

- ・階段を手すりや壁をつたわずに昇ることができない
- ・椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることができない
- ・15分続けて歩くことができない
- ・過去1年間に転んだ経験が、何度もある、あるいは、1度ある
- ・転倒に対して、とても不安である、あるいは、やや不安である

②転倒リスク

○全体では、転倒リスクのある人は、30.6%となっている。

○いずれの地区でも、全体と同様の傾向となっている。

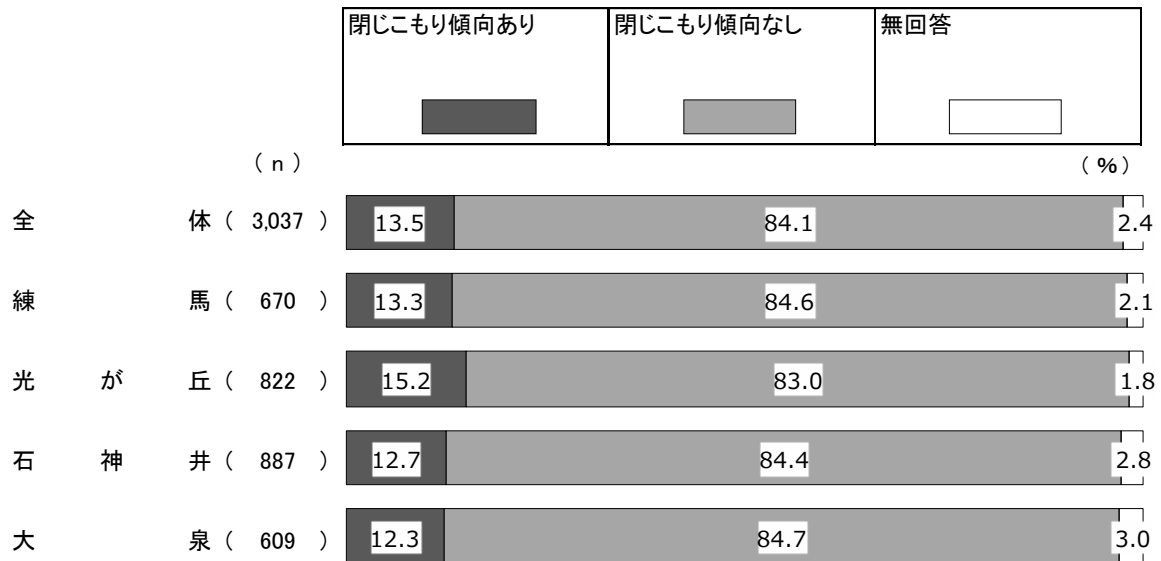


※ 過去1年間に転んだ経験が「何度もある」あるいは「1度ある」と回答した人を、“転倒リスクのある高齢者”としている

③閉じこもり傾向

○全体では、閉じこもり傾向のある人は、13.5%となっている。

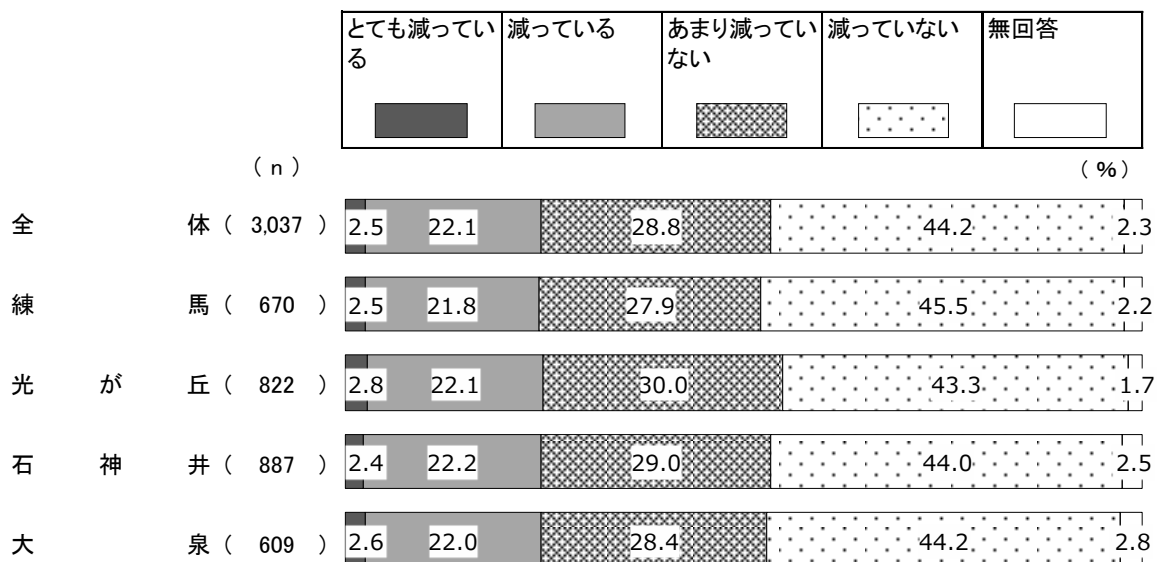
○いずれの地区でも、全体と同様の傾向となっている。



※ 外出の状況について、「ほとんど外出しない」あるいは「週1回外出する」と回答した人を、“閉じこもり傾向のある高齢者”としている

④外出回数の昨年との比較

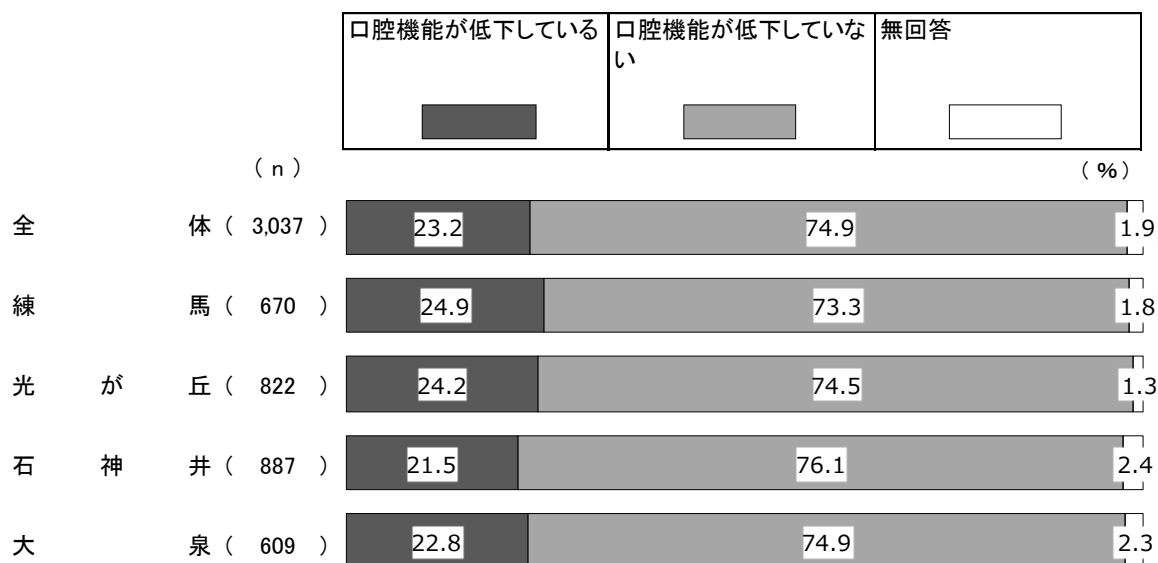
- 全体では、昨年と比べて外出の回数が“減っている”（「とても減っている」と「減っている」の合計）は24.6%となっている。
- いずれの地区でも、全体と同様の傾向となっている。



(2) 食べること

①口腔機能の低下

- 全体では、口腔機能が低下している人は、23.2%となっている。
- いずれの地区でも、全体と同様の傾向となっている。



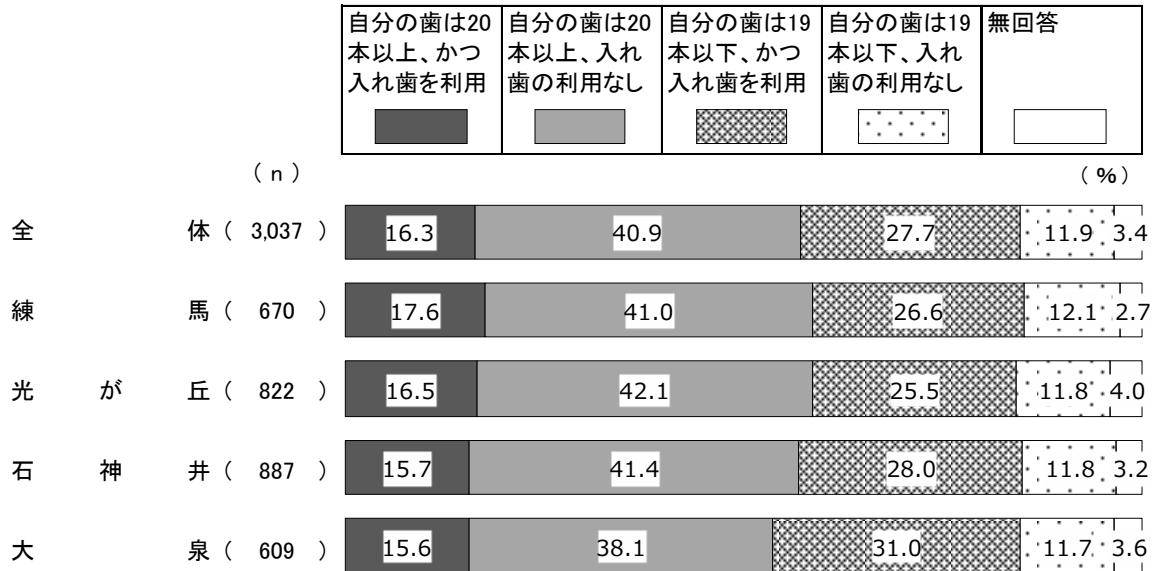
※ 下記の項目に、2つ以上該当する場合、“口腔機能が低下している高齢者”としている

- ・半年前に比べて固いものが食べにくくなった
- ・お茶や汁物等でむせることがある
- ・口の渇きが気になる

②歯の数と入れ歯の使用

○全体では、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が16.3%、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が40.9%、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が27.7%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が11.9%となっている。

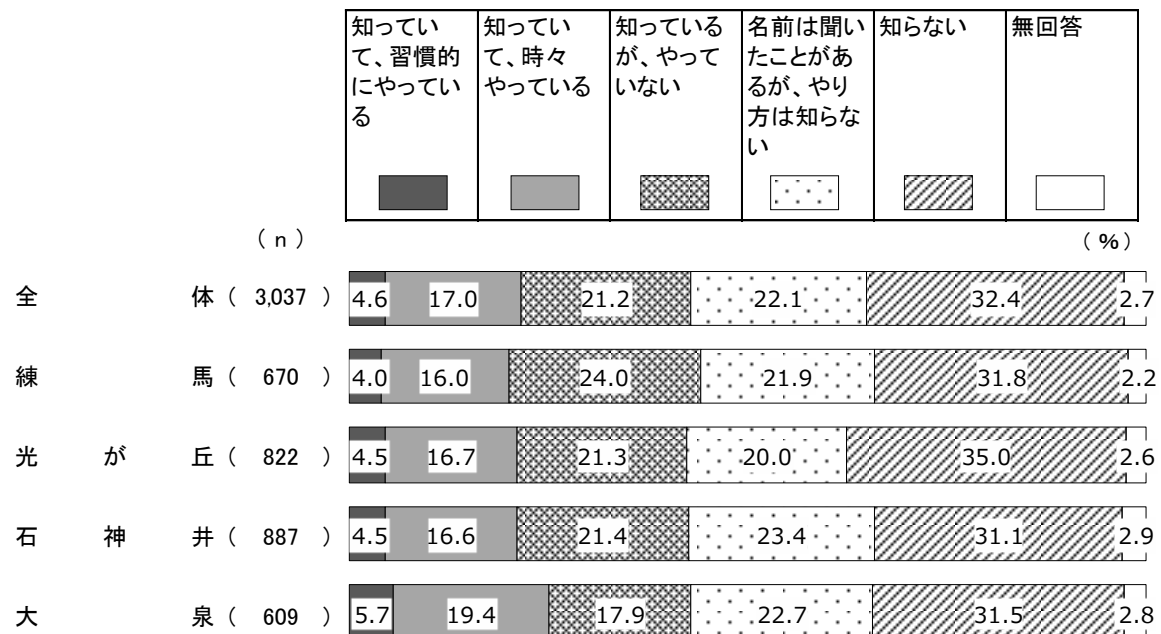
○いずれの地区でも、全体と同様の傾向となっている。



③口腔ケアの方法の認知度

○全体では、口の体操・だ液腺マッサージなどの口腔ケアの方法について、「知っていて、習慣的にやっている」が4.6%、「知っていて、時々やっている」が17.0%、「知っているが、やっていない」が21.2%、「名前は聞いたことがあるが、やり方は知らない」が22.1%、「知らない」が32.4%となっている。

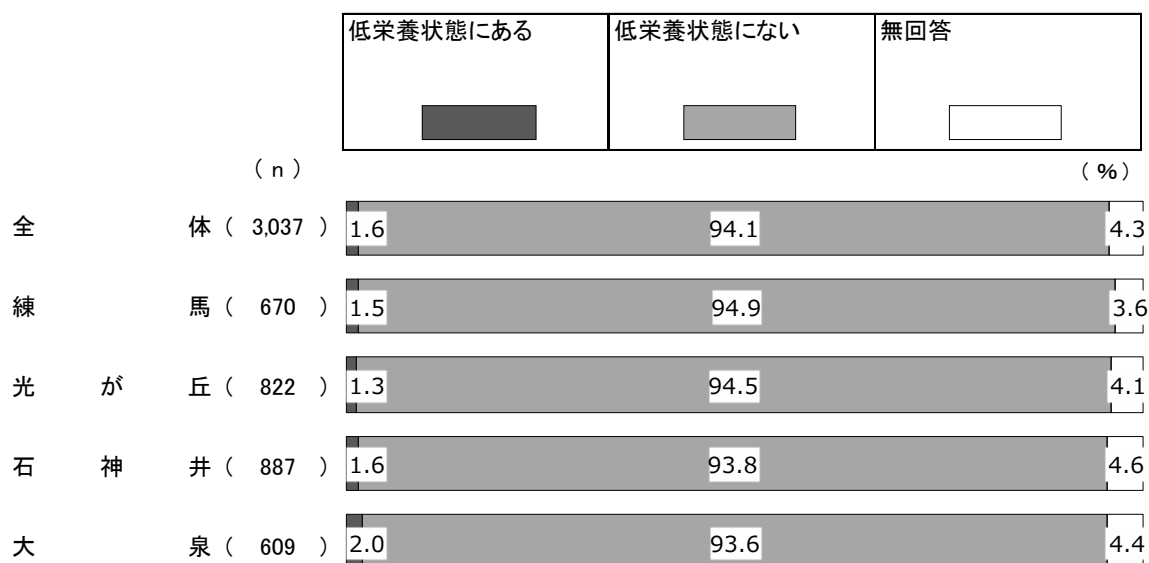
○いずれの地区でも、全体と同様の傾向となっている。



④低栄養の傾向

○全体では、低栄養状態にある人は、1.6%となっている。

○いずれの地区でも、全体と同様の傾向となっている。



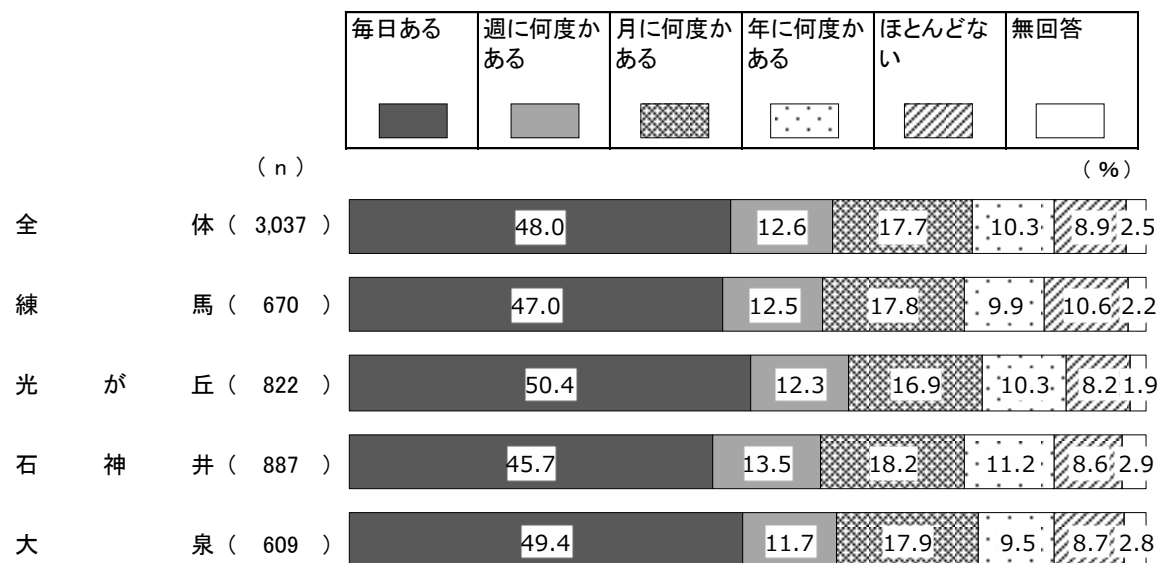
※ 下記の2項目に該当する場合、“低栄養状態にある高齢者”としている

- ・身長・体重から算出されるBMI (体重 (kg) ÷ (身長 (m) × 身長 (m))) が18.5以下
- ・6か月間で2～3kg以上の体重減少があった

⑤誰かと食事をとにもする機会

○全体では、誰かと食事をとにもする機会が「毎日ある」は48.0%、「週に何度かある」は12.6%となっている。一方、「ほとんどない」は8.9%となっている。

○いずれの地区でも、全体と同様の傾向となっている。

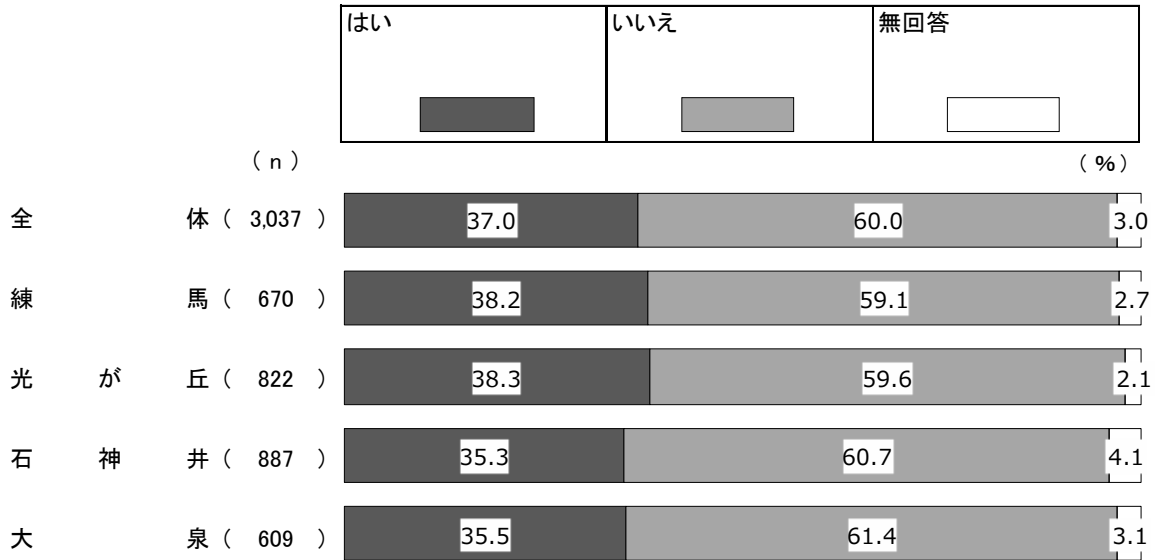


（3）毎日の生活

①物忘れの様子

○全体では、物忘れが多いと感じる人は、37.0%となっている。

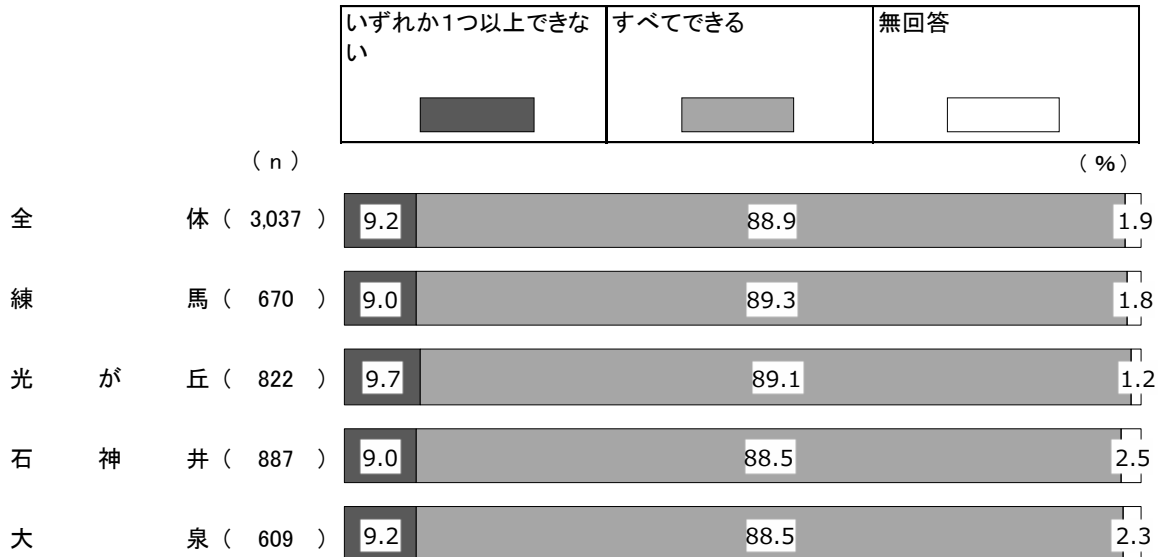
○いずれの地区でも、全体と同様の傾向となっている。



②日常生活の自立状況

○全体では、「いずれか1つ以上できない」人は、9.2%となっている。

○いずれの地区でも、全体と同様の傾向となっている。



※ 以下の5項目のいずれかについて「できない」と回答した人を「いずれか1つ以上できない」、5項目全てについて「できるし、している」あるいは「できるけどしていない」と回答した人を「すべてできる」に分類した

- ・バスや電車を使って1人で外出すること
- ・自分で食品・日用品の買い物をすること
- ・自分で食事の用意をすること
- ・自分で請求書の支払いをすること
- ・自分で預貯金の出し入れをすること

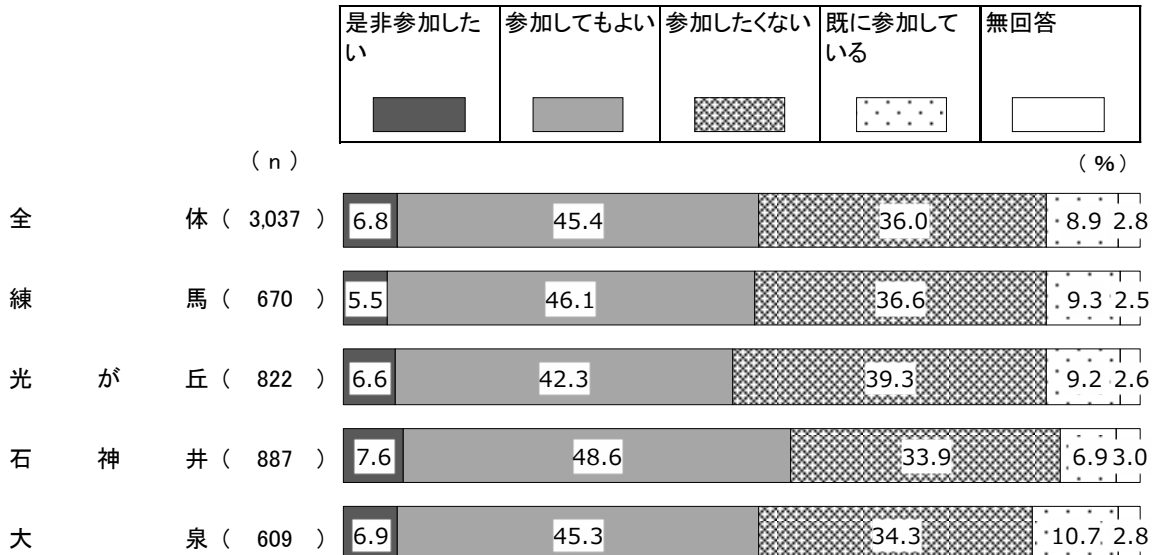
3. 地域活動とたすけあい

(1) 地域づくりの推進

①参加者としての参加意向

○全体では、「是非参加したい」が6.8%、「参加してもよい」が45.4%、「参加したくない」が36.0%となっている。「既に参加している」は8.9%となっている。

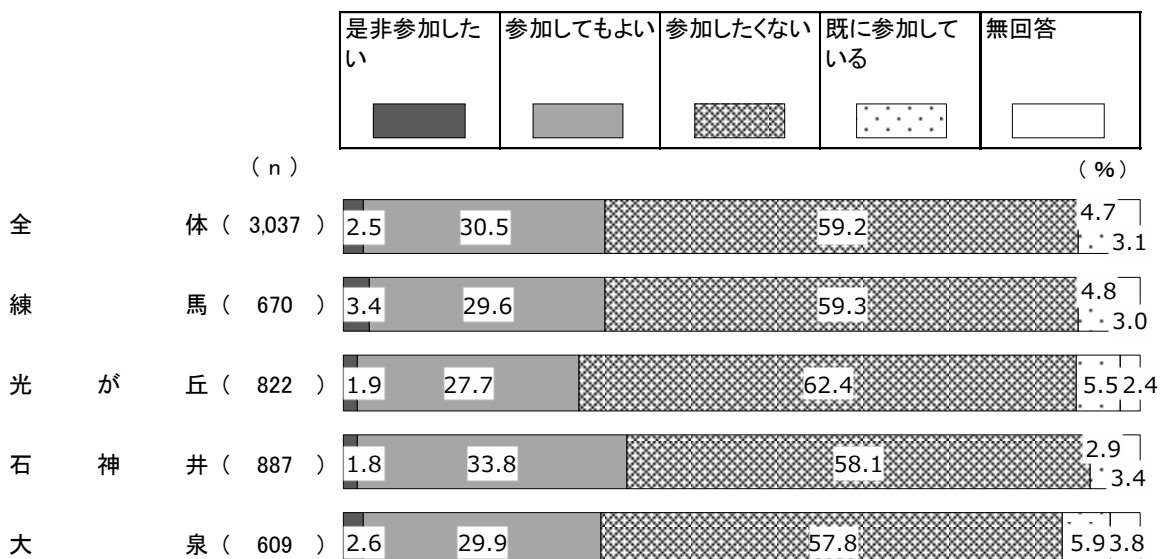
○いずれの地区でも、全体と同様の傾向となっている。



②企画・運営（お世話役）としての参加意向

○全体では、「是非参加したい」が2.5%、「参加してもよい」が30.5%、「参加したくない」が59.2%となっている。「既に参加している」は4.7%となっている。

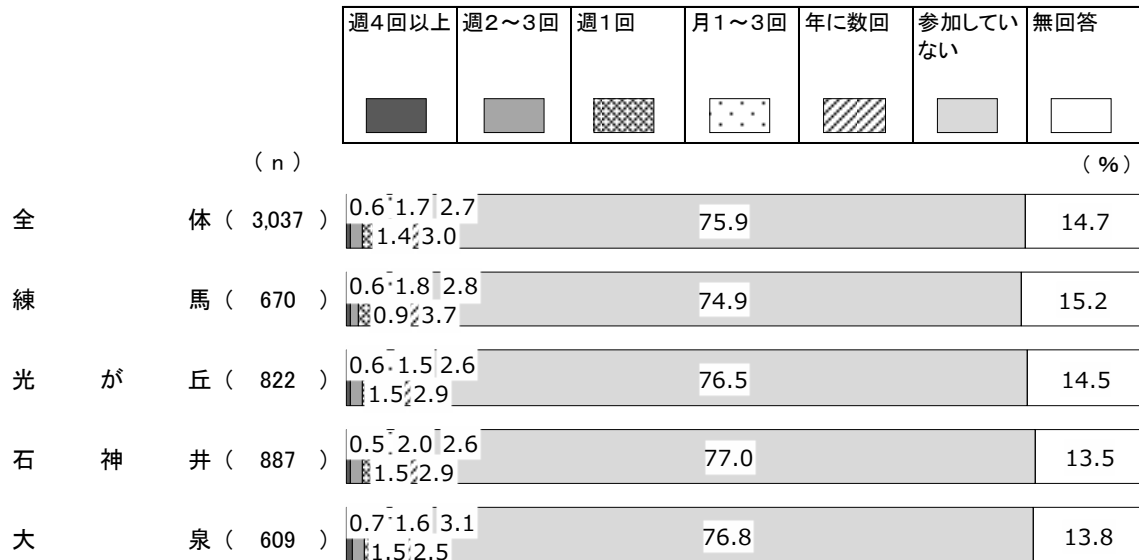
○いずれの地区でも、全体と同様の傾向となっている。



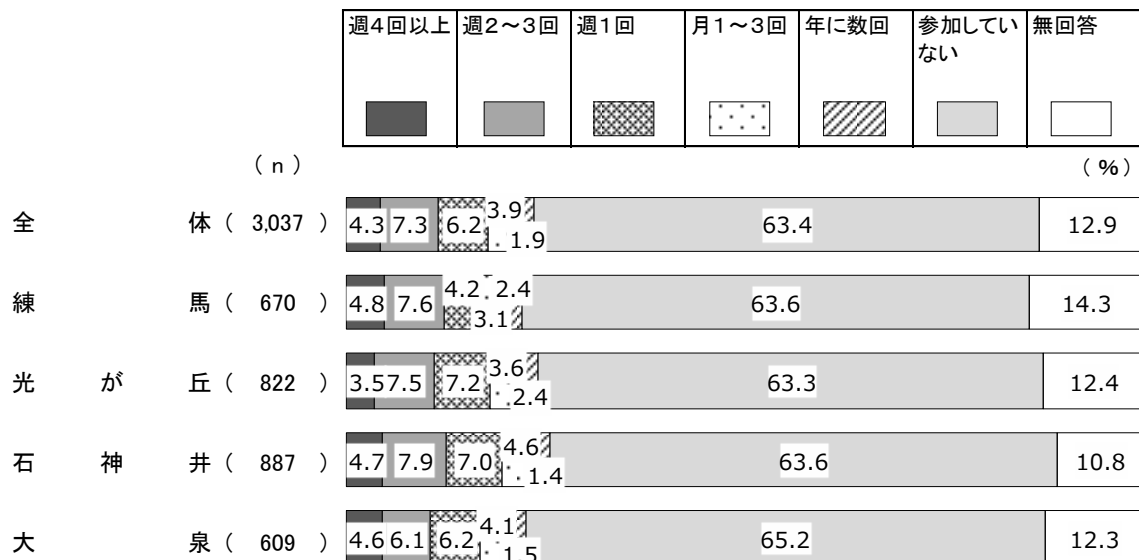
(2) 地域活動への参加状況

○全体では、「スポーツ関係のグループやクラブ」、「趣味関係のグループ」、「収入のある仕事」は、「参加している」（「参加していない」と無回答を除く）が全体で2割から3割となっている。

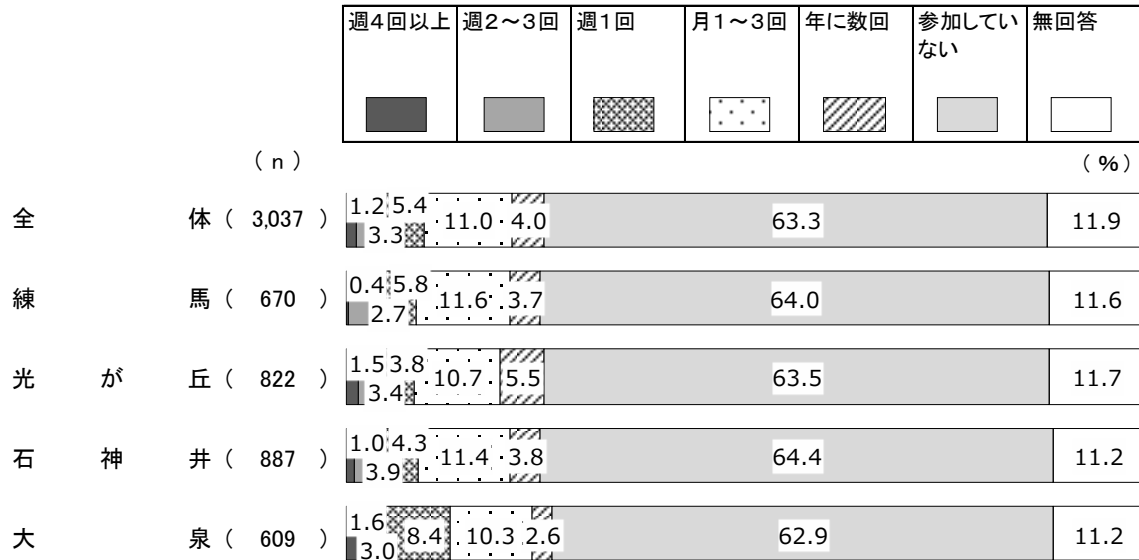
ボランティアのグループ



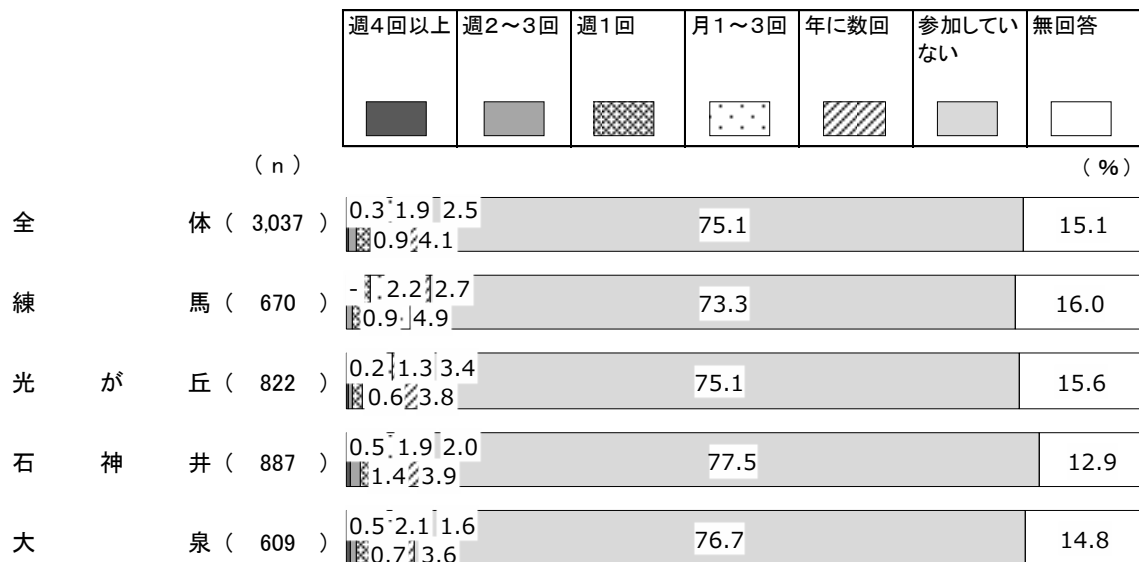
スポーツ関係のグループやクラブ



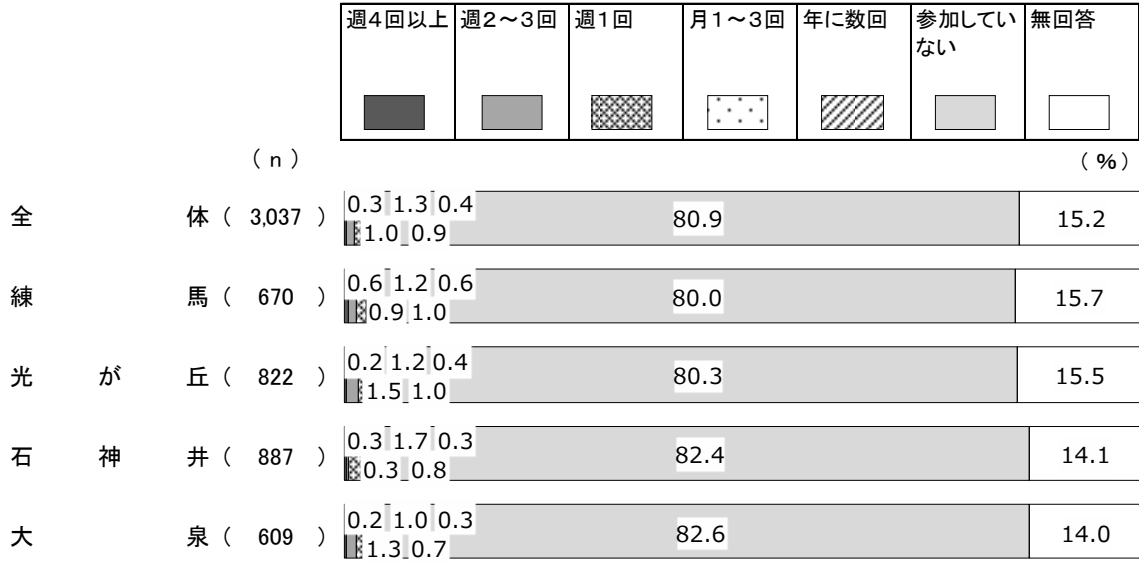
趣味関係のグループ



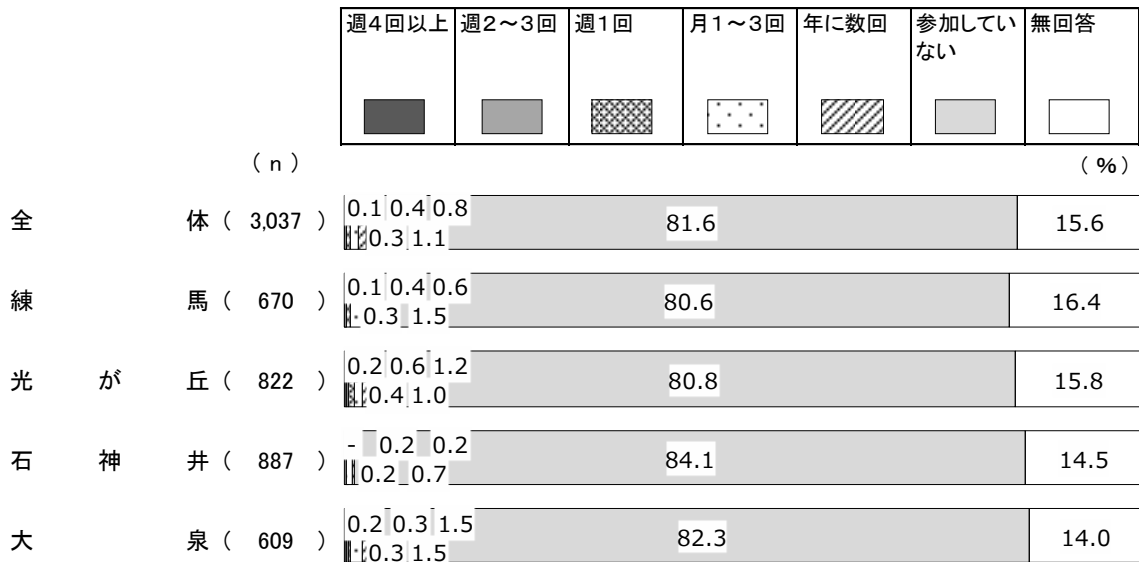
学習・教養サークル



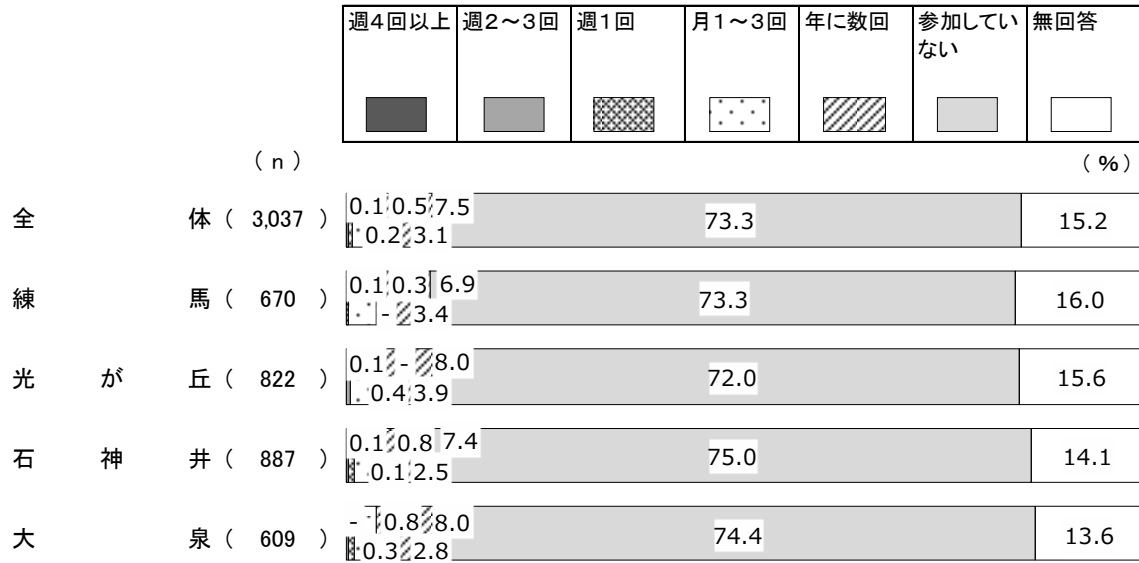
介護予防のための通いの場



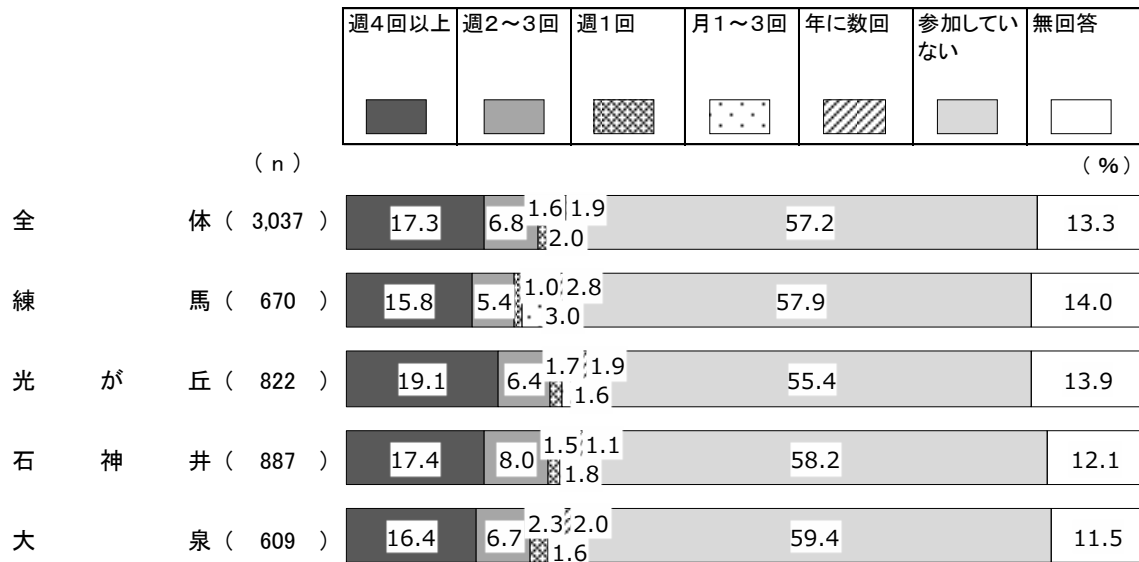
老人クラブ



町内会・自治会



収入のある仕事



(3) たすけあい

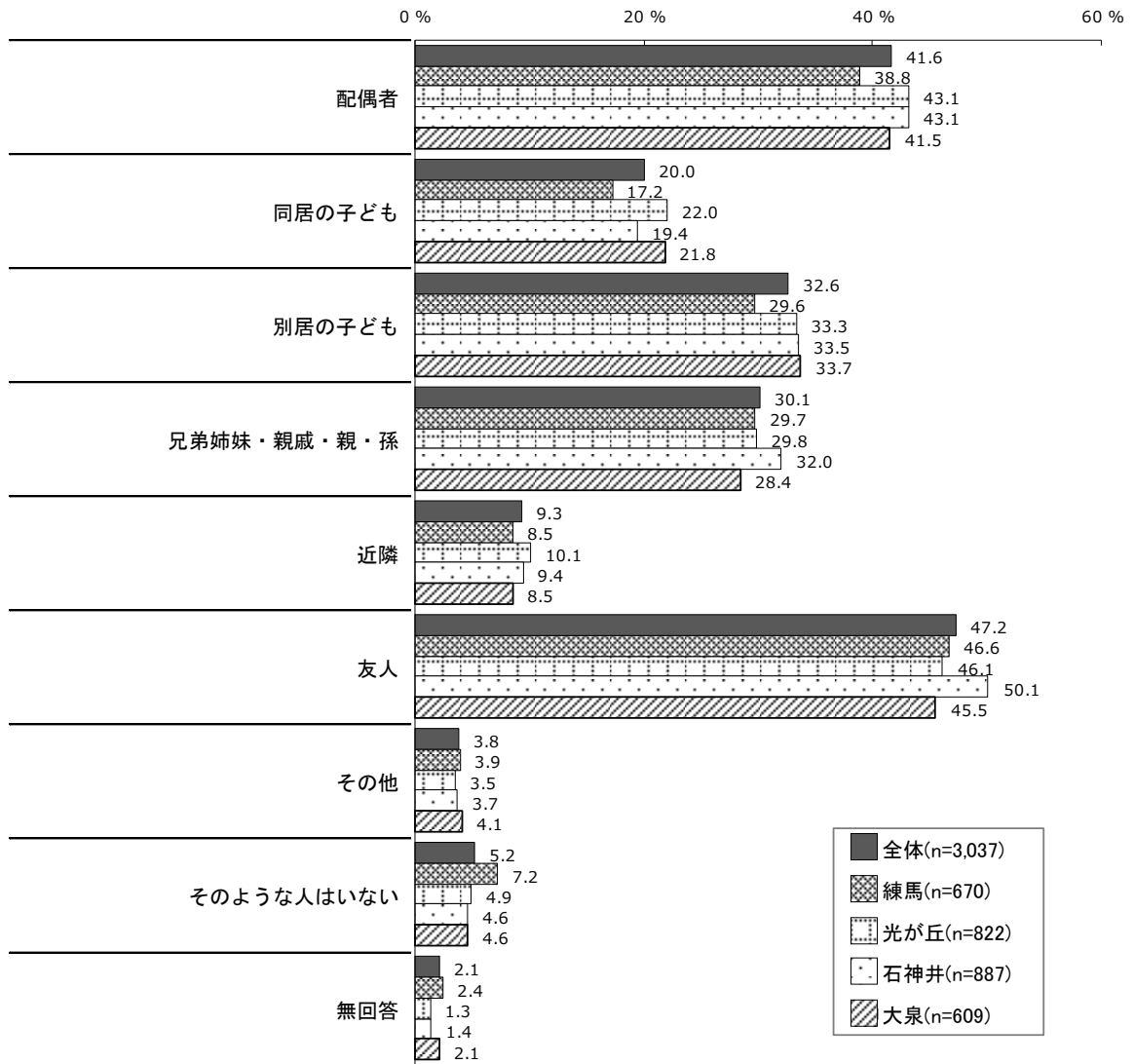
①心配事や愚痴を聞いてくれる人

○全体では、「友人」(47.2%)が最も高く、次いで「配偶者」(41.6%)の順となっている。

一方、「そのような人はいない」は5.2%となっている。

○いずれの地区でも、上位に挙がっている項目は全体と同様の傾向となっている。

(複数回答)



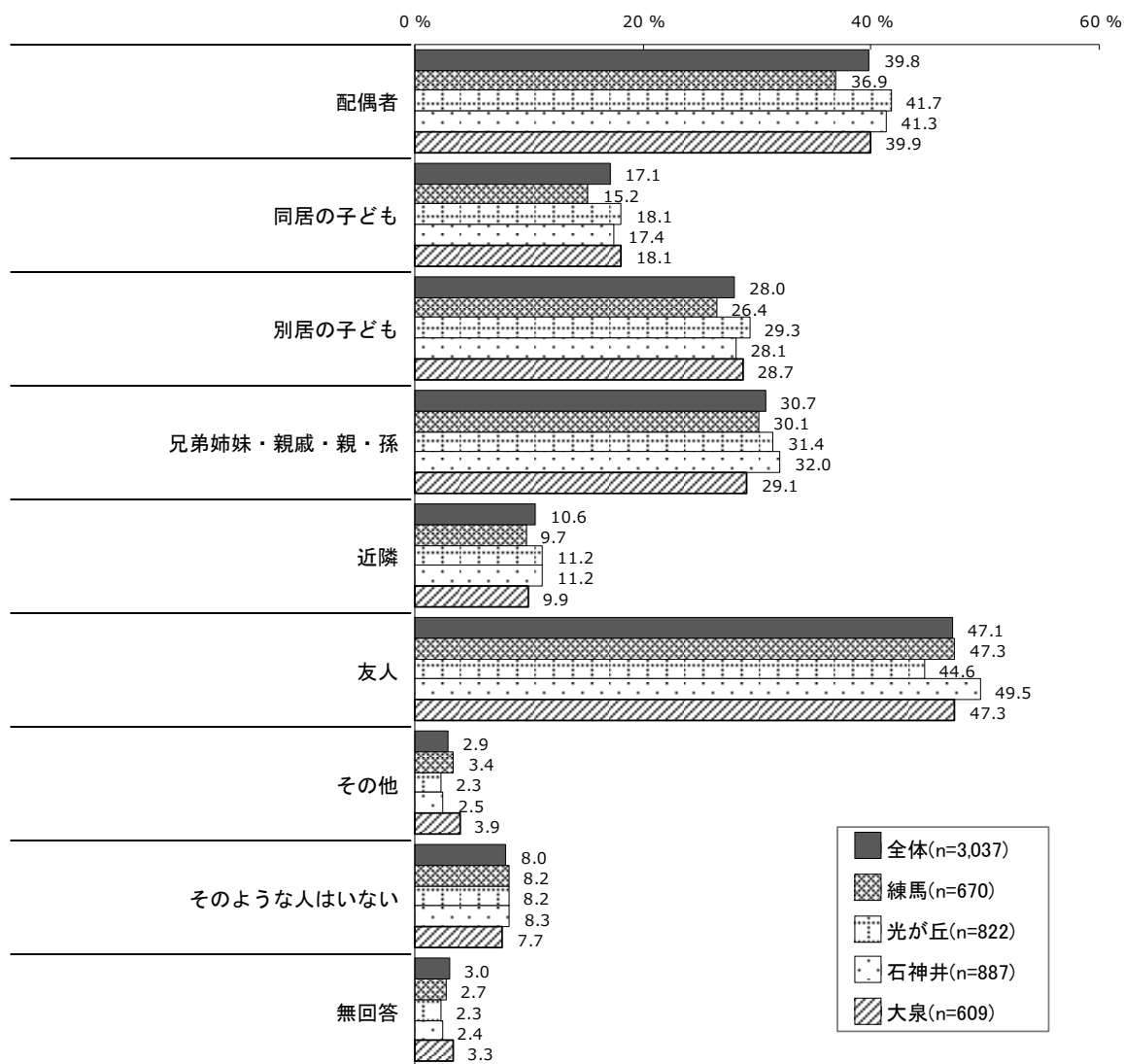
②心配事や愚痴を聞いてあげる人

○全体では、「友人」(47.1%)が最も高く、次いで「配偶者」(39.8%)の順となっている。

一方、「そのような人はいない」は8.0%となっている。

○いずれの地区でも、上位に挙がっている項目は全体と同様の傾向となっている。

(複数回答)

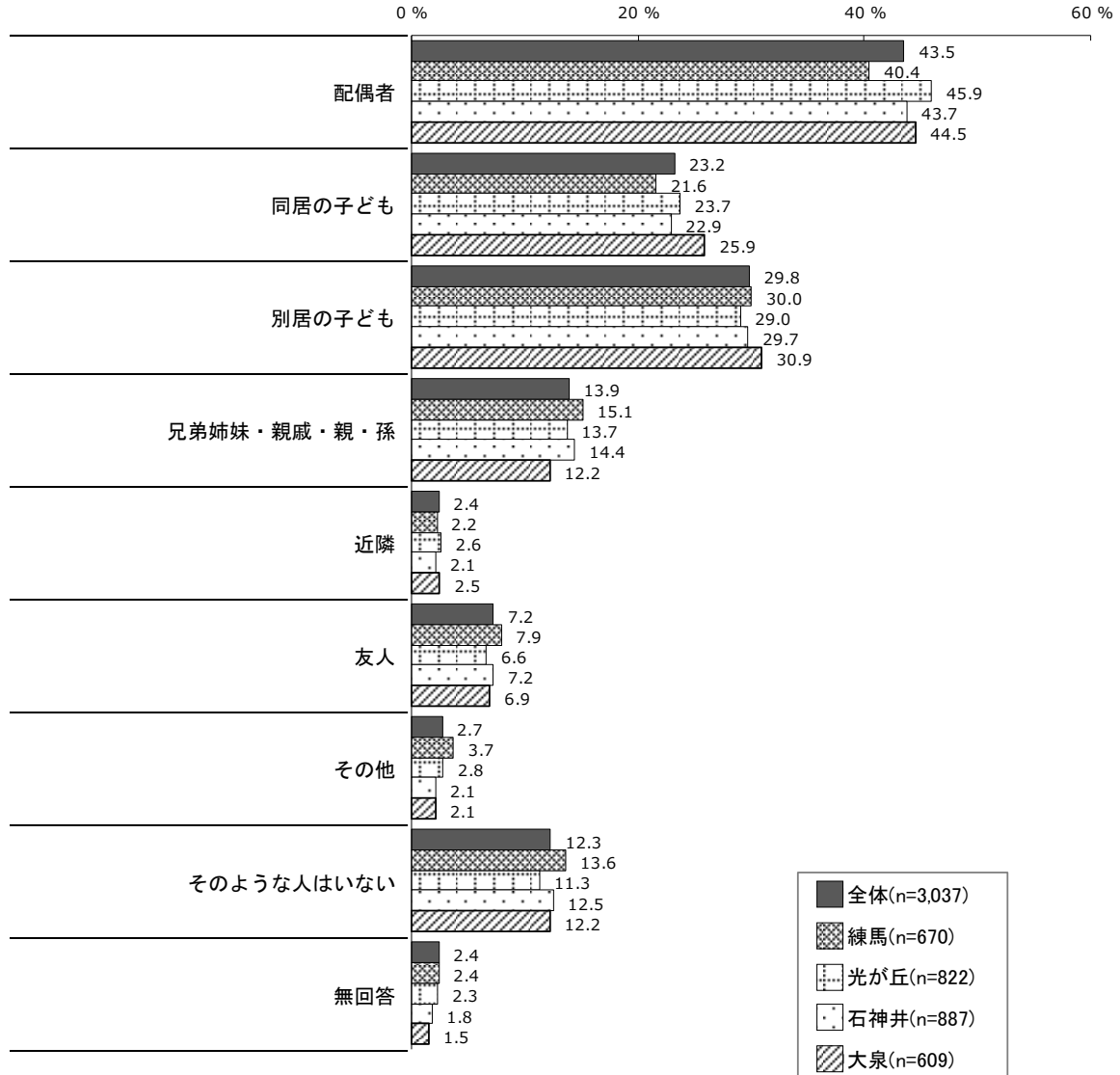


③看病や世話をしてくれる人

○全体では、「配偶者」(43.5%)が最も高く、次いで「別居の子ども」(29.8%)の順となっている。一方「そのような人はいない」は12.3%となっている。

○いずれの地区でも、上位に挙がっている項目は全体と同様の傾向となっている。

(複数回答)

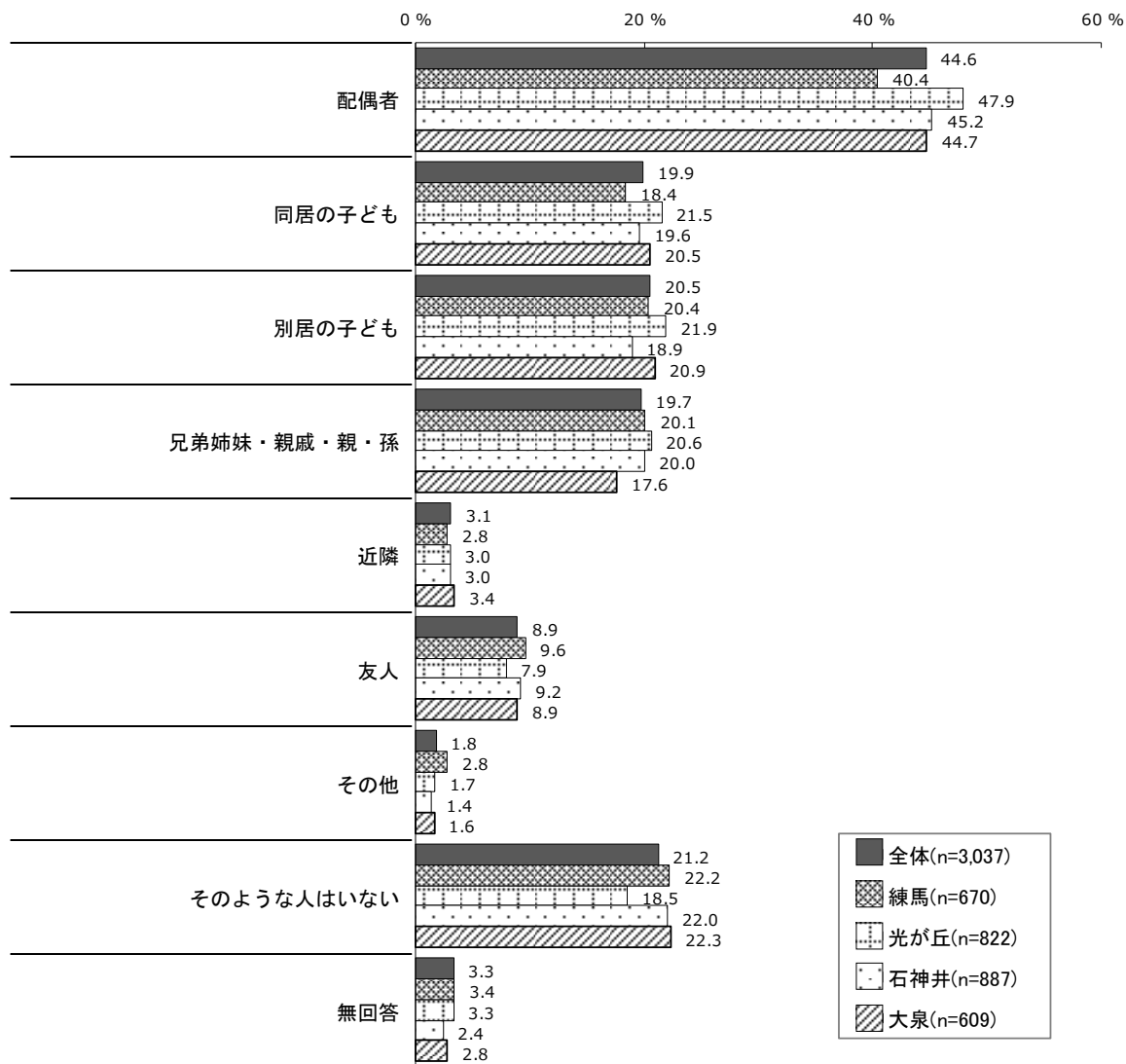


④看病や世話をしている人

○全体では、「配偶者」(44.6%)が最も高く、次いで「別居の子ども」(20.5%)の順となっている。一方、「そのような人はいない」は21.2%となっている。

○いずれの地区でも、上位に挙がっている項目は全体と同様の傾向となっている。

(複数回答)

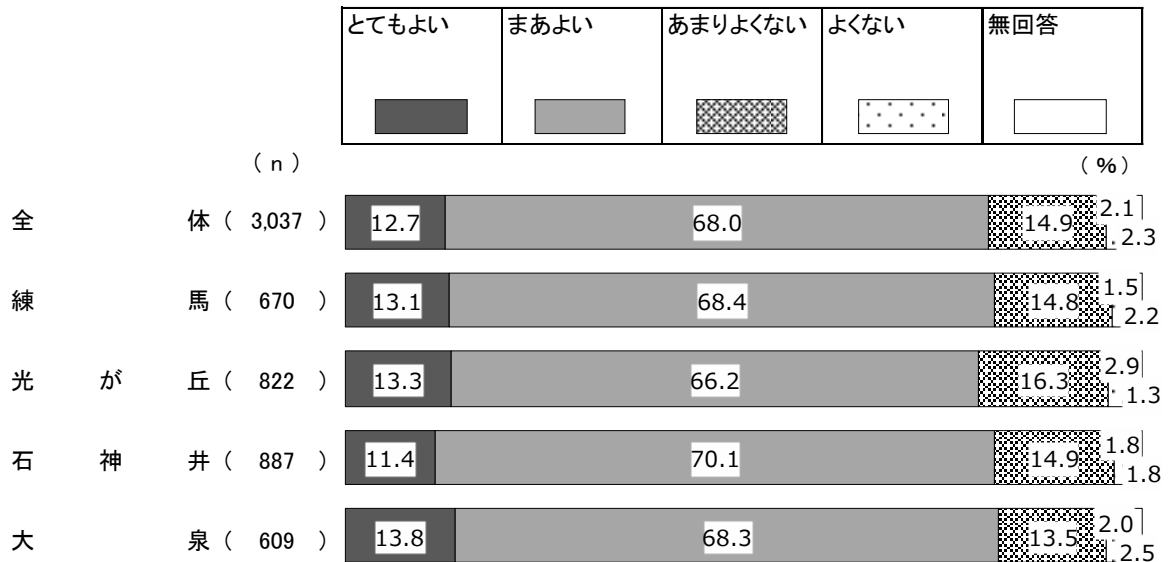


4. 健康

(1) 健康状態

○全体では、“よい”（「とてもよい」と「まあよい」の合計）が80.7%、“よくない”（「あまりよくない」と「よくない」の合計）が17.0%となっている。

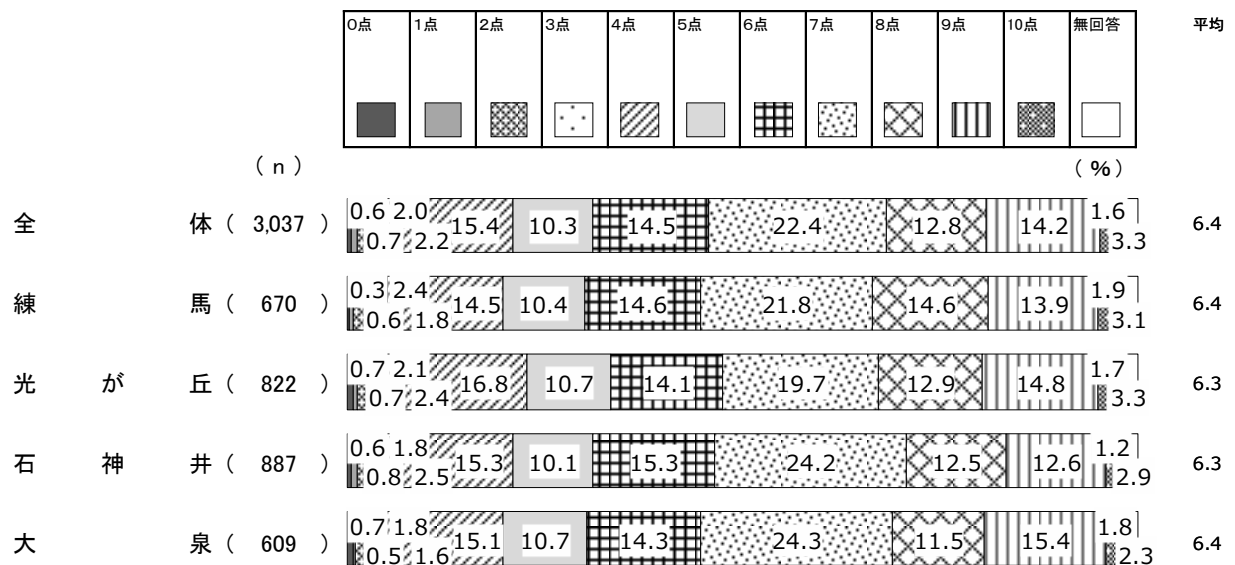
○いずれの地区でも、全体と同様の傾向となっている。



(2) 幸福度

○全体では、「7点」（22.4%）が最も高く、次いで「4点」（15.4%）の順となっている。“平均”は6.4点となっている。

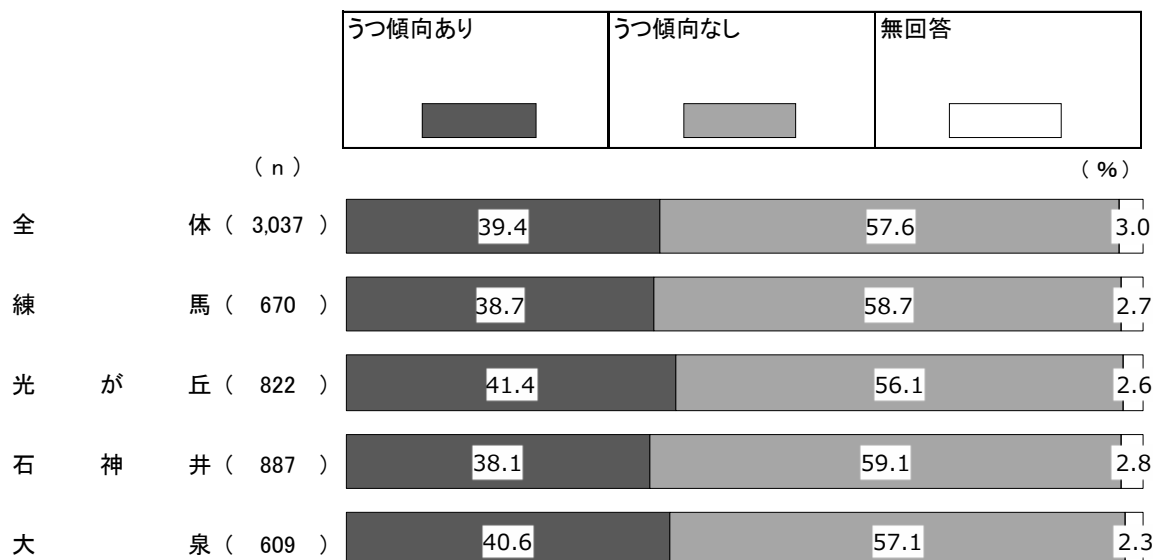
○いずれの地区でも、全体と同様の傾向となっている。



(3) うつ傾向

○全体では、うつ傾向のある人は39.4%となっている。

○いずれの地区でも、全体と同様の傾向となっている。



※ 下記の項目に、1つ以上該当する場合、“うつ傾向のある高齢者”としている

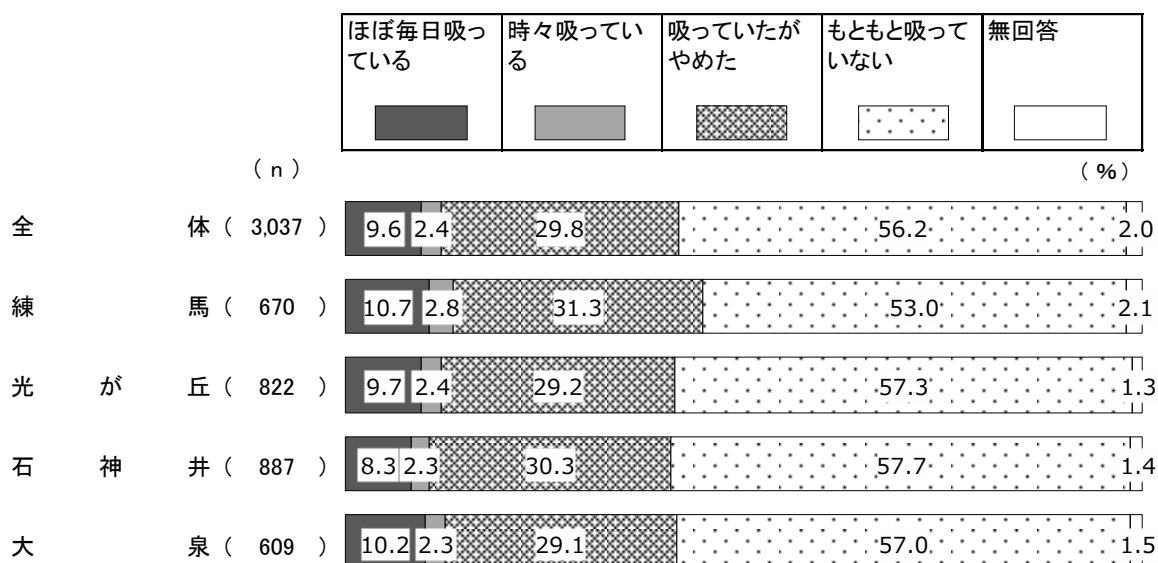
- ・この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあった
- ・この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくあった

(4) 喫煙の状況

○全体では、「ほぼ毎日吸っている」は9.6%、「時々吸っている」は2.4%となっている。

「吸っていたがやめた」は29.8%、「もともと吸っていない」は56.2%となっている。

○いずれの地区でも、全体と同様の傾向となっている。

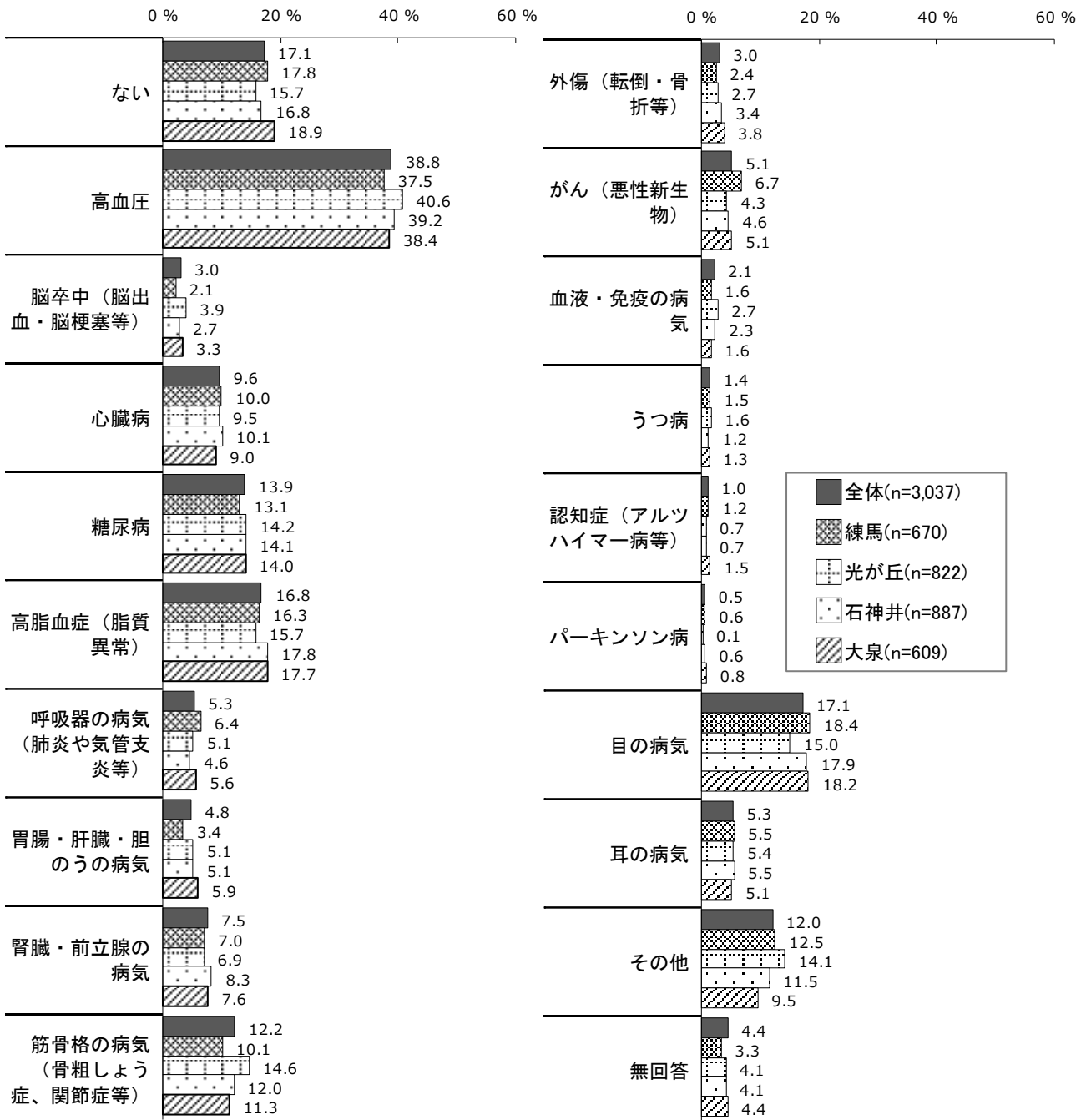


(5) 現在治療中・後遺症のある病気

○全体では、「高血圧」(38.8%)が最も高く、次いで「目の病気」(17.1%)の順となっている。一方、「ない」は17.1%となっている。

○いずれの地区でも、上位に挙がっている項目は全体と同様の傾向となっている。

(複数回答)

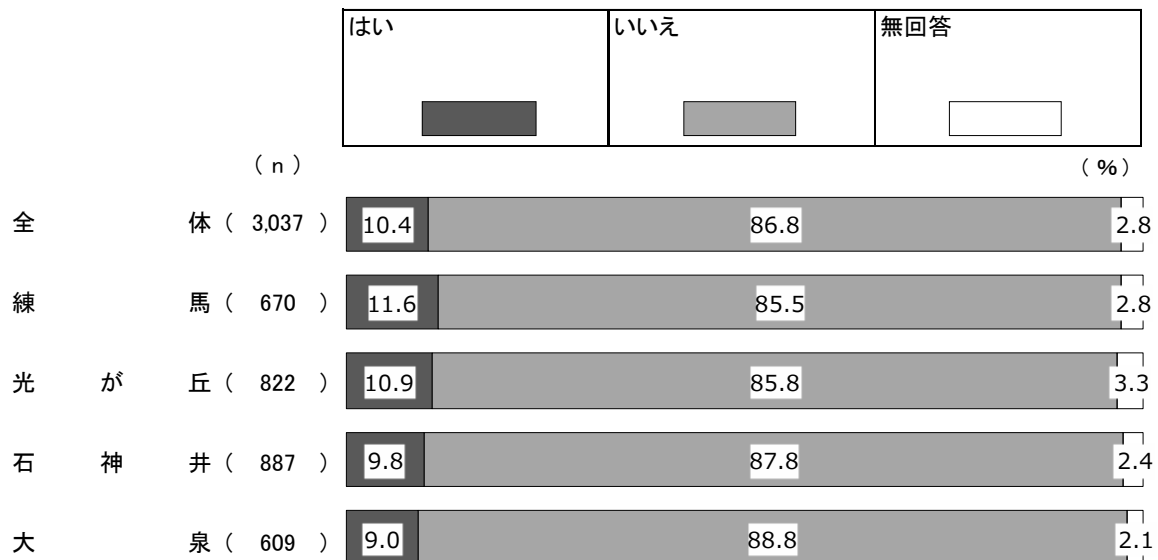


5. 認知症の相談窓口

(1) 認知症の症状がある人の有無

○全体では、認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいると回答した人（「はい」と回答した人）は10.4%となっている。

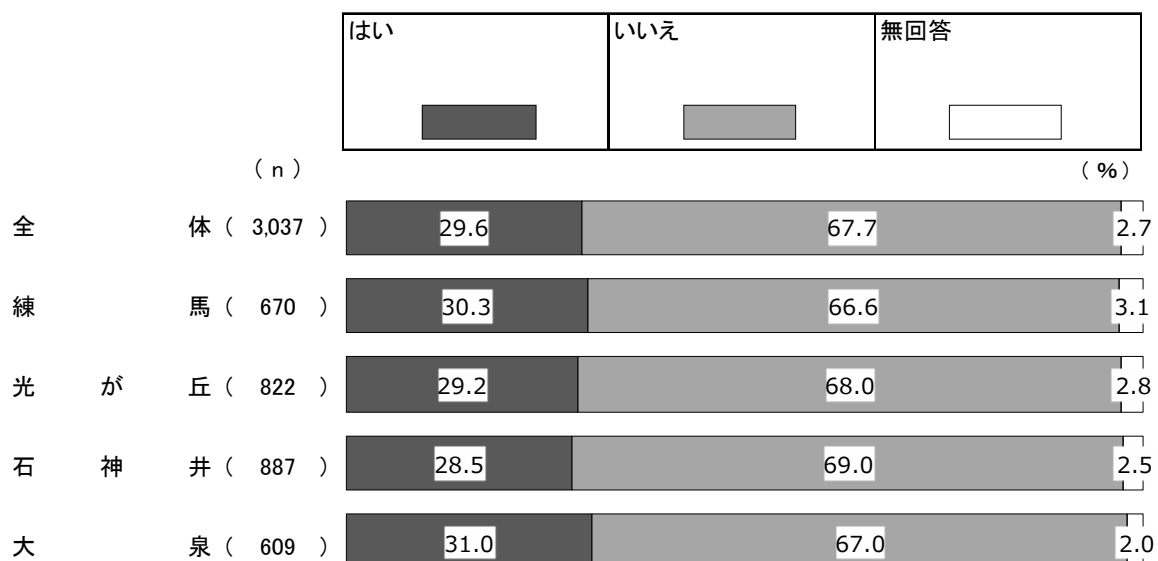
○いずれの地区でも、全体と同様の傾向となっている。



(2) 認知症に関する相談窓口の認知度

○全体では、認知症に関する相談窓口を知っている人（「はい」と回答した人）は29.6%となっている。

○いずれの地区でも、全体と同様の傾向となっている。

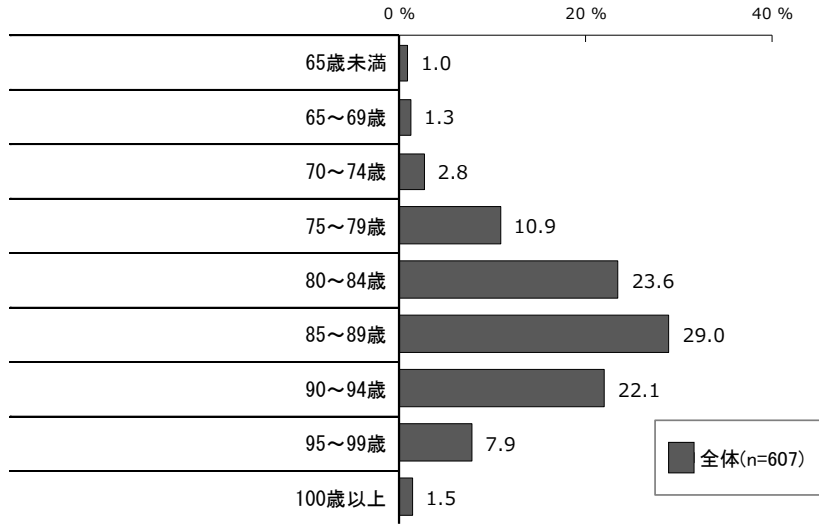


第4章 在宅介護実態調査

1. 本人の基本属性

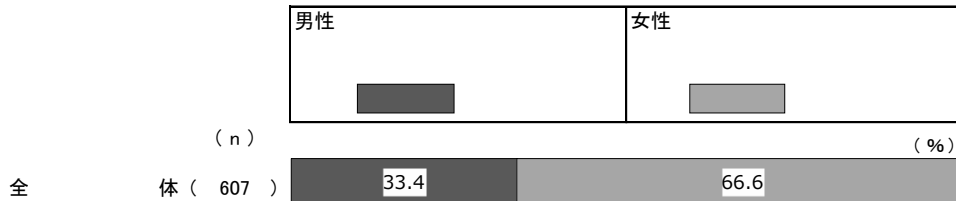
(1) 年齢

○75歳以上の「後期高齢者」が95.0%、65歳～74歳の「前期高齢者」が4.1%となっている。



(2) 性別

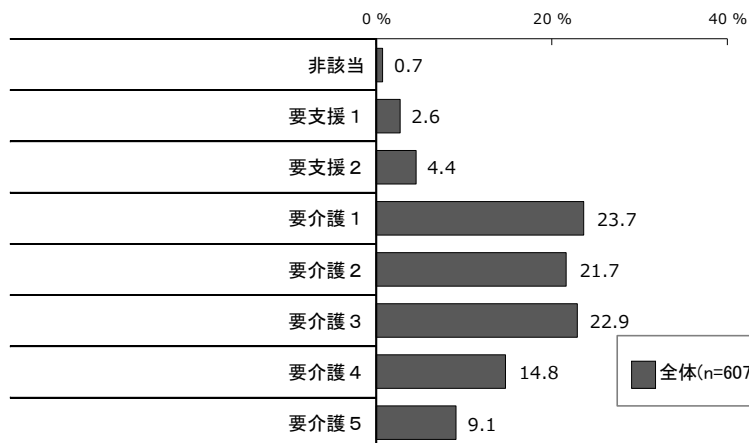
○「男性」が33.4%、「女性」が66.6%となっている。



(3) 二次判定結果（要介護度）

○「要介護1」（23.7%）が最も高く、次いで「要介護3」（22.9%）の順となっている。

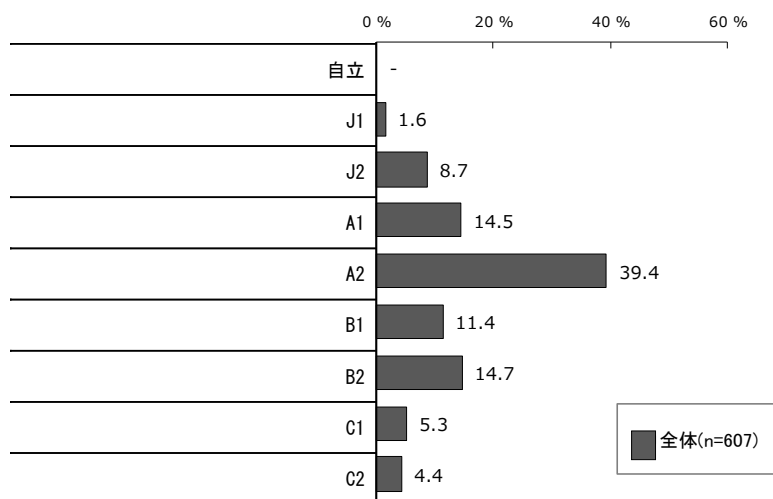
○「要支援1」と「要支援2」は合わせて7.0%、要介護3以上は46.8%となっている。



(4) 障害高齢者の日常生活自立度

○「A2」(39.4%)が最も高く、次いで「B2」(14.7%)の順となっている。

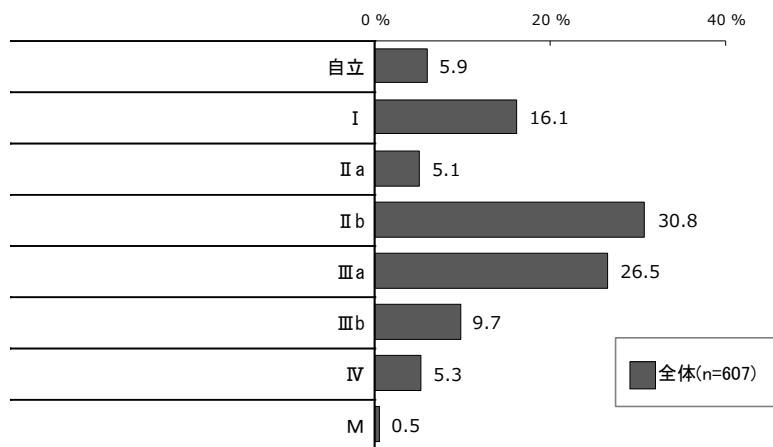
○BおよびCランクの合計は35.8%となっている。



(5) 認知症高齢者の日常生活自立度

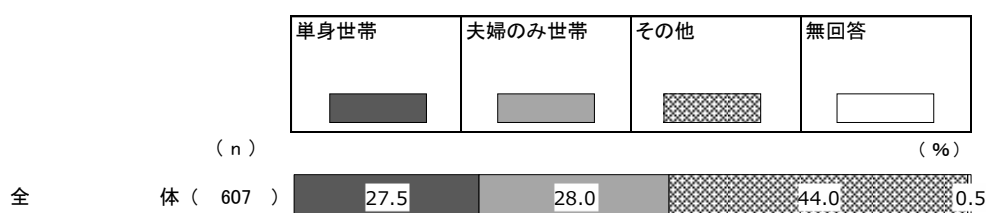
○「Ⅱb」(30.8%)が最も高く、次いで「Ⅲa」(26.5%)の順となっている。

○認知症Ⅲ以上は、42.0%となっている。



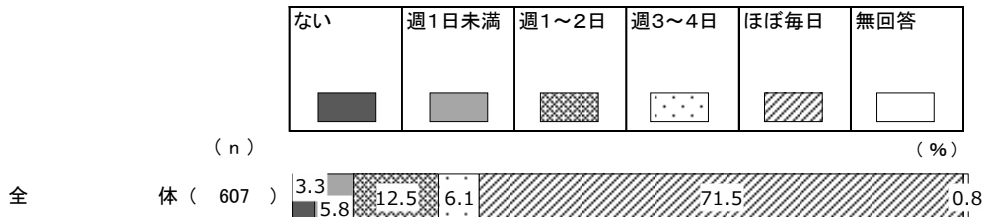
(6) 世帯類型

○「単身世帯」が27.5%、「夫婦のみ世帯」が28.0%、「その他」が44.0%となっている。



(7) 家族等による介護の頻度

○「ほぼ毎日」(71.5%)が最も高く、次いで「週1～2日」(12.5%)の順となっている。



[家族等による介護の頻度<世帯類型別>]

○世帯類型別にみると、「単身世帯」、「夫婦のみ世帯」および「その他世帯」は、いずれも「ほぼ毎日」が最も高く、それぞれ44.9%、69.4%、90.9%となっている。

	n	ない	週1日未満	週1～2日	週3～4日	ほぼ毎日
単身世帯	167	1.2	10.2	32.3	11.4	44.9
夫婦のみ世帯	170	7.6	7.6	8.8	6.5	69.4
その他世帯	265	1.9	1.9	2.6	2.6	90.9

[家族等による介護の頻度<世帯類型別・要介護度別>]

○世帯類型別・要介護度別にみると、「単身世帯」および「夫婦のみ世帯」では、要介護度の重度化に伴い「ほぼ毎日」の割合が高くなっている。

【単身世帯】

	n	ない	週1日未満	週1～2日	週3～4日	ほぼ毎日
要支援1・2	13	-	38.5	30.8	15.4	15.4
要介護1・2	83	2.4	8.4	33.7	8.4	47.0
要介護3以上	70	-	7.1	31.4	14.3	47.1

【夫婦のみ世帯】

	n	ない	週1日未満	週1～2日	週3～4日	ほぼ毎日
要支援1・2	17	17.6	11.8	17.6	11.8	41.2
要介護1・2	81	8.6	7.4	11.1	8.6	64.2
要介護3以上	69	2.9	7.2	4.3	2.9	82.6

【その他世帯】

	n	ない	週1日未満	週1～2日	週3～4日	ほぼ毎日
要支援1・2	12	8.3	-	16.7	-	75.0
要介護1・2	109	0.9	1.8	1.8	1.8	93.6
要介護3以上	144	2.1	2.1	2.1	3.5	90.3

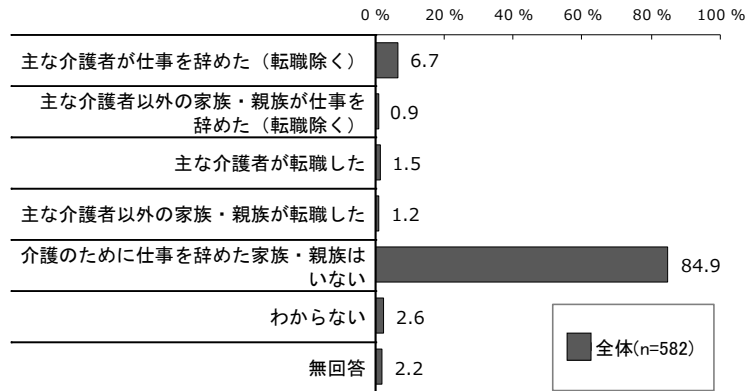
[家族等による介護の頻度<主な介護者の勤務形態別>]

○主な介護者の勤務形態別にみると、「働いていない」は、「ほぼ毎日」が83.9%で「フルタイム勤務」(66.1%)と比べて高くなっている。

	n	ない	週1日未満	週1～2日	週3～4日	ほぼ毎日
フルタイム勤務	224	-	10.3	16.5	7.1	66.1
パートタイム勤務	104	-	5.8	18.3	4.8	71.2
働いていない	248	-	2.0	7.7	6.5	83.9

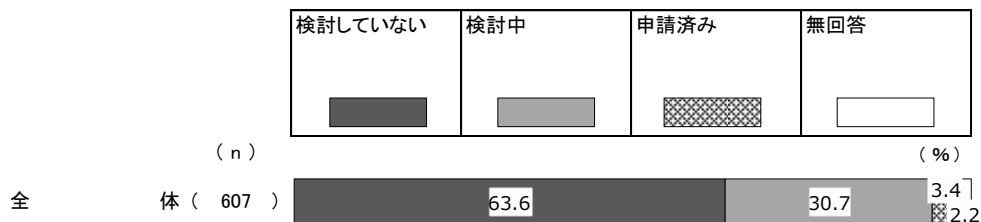
(8) 介護のための離職の有無

○「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」(84.9%)が最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」(6.7%)の順となっている。



(9) 施設等への入所・入居の検討状況

○「検討していない」(63.6%)が最も高く、次いで「検討中」(30.7%)の順となっている。



[施設等への入所・入居の検討状況<要介護度別>]

○要介護度別にみると、要介護度の重度化に伴い「検討中」の割合が高くなっている。

	n	検討していない (%)	検討中 (%)	申請済み (%)
要支援1・2	41	90.2	9.8	-
要介護1・2	271	75.3	23.2	1.5
要介護3以上	281	51.6	42.3	6.0

[施設等への入所・入居の検討状況<世帯類型別>]

○世帯類型別にみると、「単身世帯」、「夫婦のみ世帯」および「その他世帯」は、いずれも「検討していない」が最も高く、それぞれ53.7%、69.9%、69.7%となっている。

	n	検討していない (%)	検討中 (%)	申請済み (%)
単身世帯	164	53.7	41.5	4.9
夫婦のみ世帯	166	69.9	29.5	0.6
その他世帯	267	69.7	25.8	4.5

[施設等への入所・入居の検討状況<世帯類型別・要介護度別>]

○世帯類型別・要介護度別にみると、「単身世帯」、「夫婦のみ世帯」および「その他世帯」は、いずれも要介護度の重度化に伴い、施設等への入所を「検討していない」の割合が低くなり、「検討中」の割合が高くなっている。

【単身世帯】		(%)		
	n	検討していない	検討中	申請済み
要支援1・2	12	83.3	16.7	-
要介護1・2	83	62.7	36.1	1.2
要介護3以上	68	36.8	52.9	10.3

【夫婦のみ世帯】		(%)		
	n	検討していない	検討中	申請済み
要支援1・2	17	88.2	11.8	-
要介護1・2	78	78.2	20.5	1.3
要介護3以上	68	54.4	45.6	-

【その他世帯】		(%)		
	n	検討していない	検討中	申請済み
要支援1・2	12	100.0	-	-
要介護1・2	110	82.7	15.5	1.8
要介護3以上	145	57.2	35.9	6.9

[施設等への入所・入居の検討状況<要介護度別・サービス利用の組み合わせ別>]

○要介護度別・サービス利用の組み合わせ別にみると、「要介護3以上」および「要介護4以上」とともに「訪問系のみ」のサービス利用者は、「検討していない」が「訪問系を含む組み合わせ」および「通所系・短期系のみ」と比べて高くなっている。

【要介護3以上】		(%)		
	n	検討していない	検討中	申請済み
訪問系のみ	61	65.6	32.8	1.6
訪問系を含む組み合わせ	82	51.2	41.5	7.3
通所系・短期系のみ	57	24.6	63.2	12.3

【要介護4以上】		(%)		
	n	検討していない	検討中	申請済み
訪問系のみ	36	63.9	33.3	2.8
訪問系を含む組み合わせ	42	57.1	31.0	11.9
通所系・短期系のみ	28	25.0	57.1	17.9

[施設等への入所・入居の検討状況<主な介護者の勤務形態別>]

○主な介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」、「パートタイム勤務」および「働いていない」は、いずれも「検討していない」が最も高く、それぞれ59.7%、66.0%、68.3%となっている。

		(%)		
	n	検討していない	検討中	申請済み
フルタイム勤務	221	59.7	34.8	5.4
パートタイム勤務	103	66.0	30.1	3.9
働いていない	246	68.3	29.7	2.0

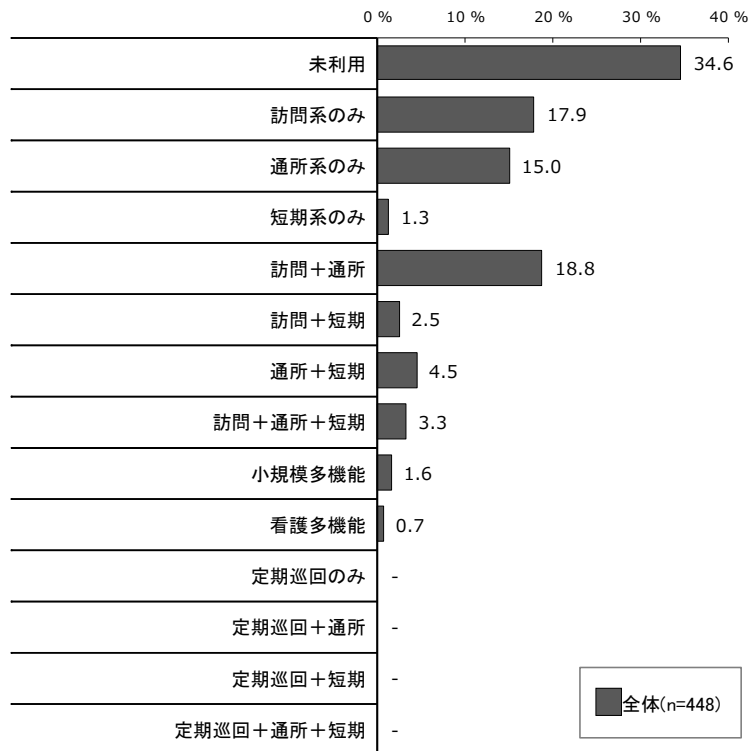
[施設等への入所・入居の検討状況<主な介護者の就労継続見込み別(要介護2以上)>]

○主な介護者の就労継続見込み別(要介護2以上)にみると、「続けていくのは“難しい”」(「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」の合計)では、「問題なく、続けていける」および「問題はあるが、何とか続けていける」と比べて、「検討していない」の割合が低く、「検討中」の割合が高くなっている。

【要介護2以上】		(%)		
	n	検討していない	検討中	申請済み
問題なく、続けていける	11	63.6	36.4	-
問題はあるが、何とか続けていける	143	63.6	32.9	3.5
続けていくのは“難しい”	61	27.9	55.7	16.4

(10) サービス利用の組み合わせ

○「未利用」(34.6%)が最も高く、次いで「訪問+通所」(18.8%)の順となっている。

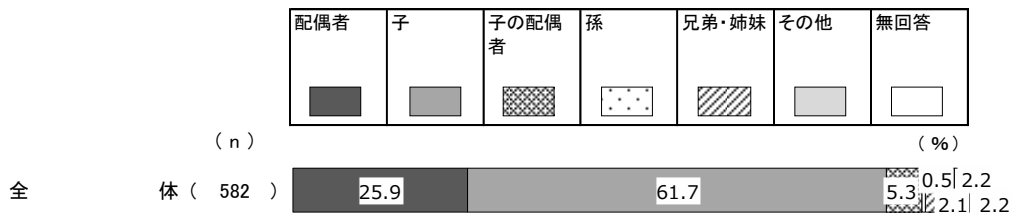


※無回答を除いて集計

2. 主な介護者の基本属性

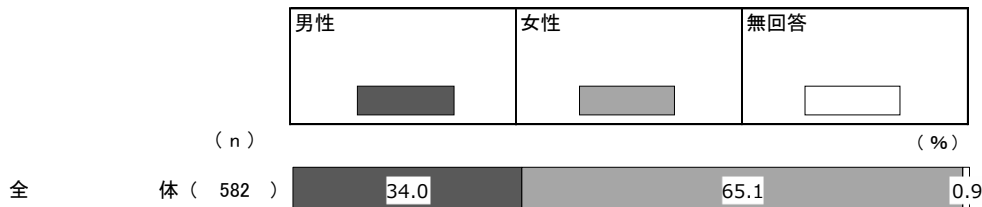
(1) 主な介護者の本人との関係

○「子」(61.7%)が最も高く、次いで「配偶者」(25.9%)の順となっている。



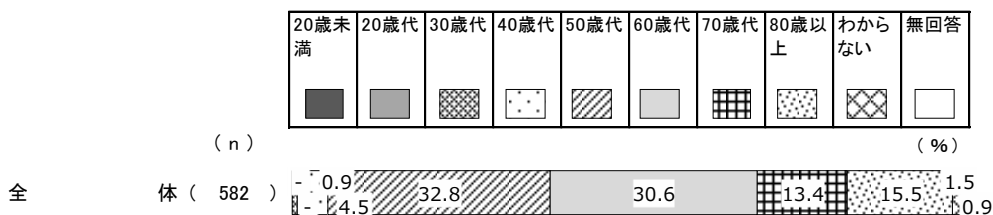
(2) 主な介護者の性別

○「男性」が34.0%、「女性」が65.1%となっている。



(3) 主な介護者の年齢

○「50歳代」(32.8%)が最も高く、次いで「60歳代」(30.6%)の順となっている。



[主な介護者の年齢<本人の年齢別>]

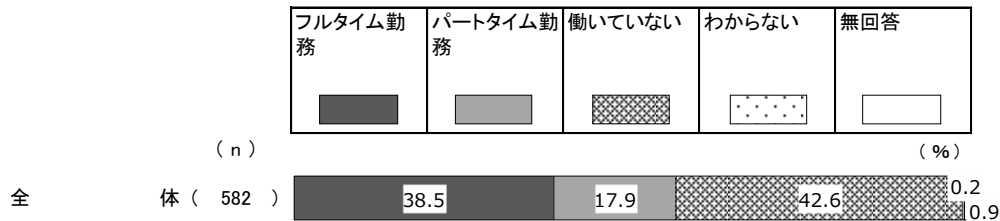
○本人の年齢別にみると、「70歳代」では、主な介護者の年齢は「70歳代」(37.7%)が最も高く、本人の年齢が「80歳代」では「50歳代」(47.6%)が最も高く、本人の年齢が「90歳以上」では「60歳代」(61.7%)が最も高くなっている。

	n	40歳未満	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
65歳未満	5	-	-	80.0	-	-	20.0
65-69歳	7	14.3	-	14.3	42.9	28.6	-
70歳代	77	3.9	14.3	20.8	9.1	37.7	14.3
80歳代	296	-	4.7	47.6	18.6	8.8	20.3
90歳以上	183	0.5	0.5	15.8	61.7	11.5	9.8

3. 主な介護者の働き方と就労継続見込み

(1) 主な介護者の勤務形態

○「働いていない」(42.6%)が最も高く、次いで「フルタイム勤務」(38.5%)の順となっている。



[要介護度<主な介護者の勤務形態別>]

○主な介護者の勤務形態別に要介護度をみると、「フルタイム勤務」では「要介護1」(26.8%)が最も高く、「パートタイム勤務」では「要介護2」(24.0%)が最も高く、「働いていない」では「要介護3」(22.4%)が最も高くなっている。

	n	要支援1・2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
フルタイム勤務	224	5.4	26.8	21.9	26.3	11.6	8.0
パートタイム勤務	104	5.8	23.1	24.0	20.2	14.4	12.5
働いていない	245	7.8	21.6	20.8	22.4	18.4	9.0

[認知症高齢者の日常生活自立度<主な介護者の勤務形態別>]

○主な介護者の勤務形態別に認知症高齢者の日常生活自立度をみると、「フルタイム勤務」、「パートタイム勤務」および「働いていない」は、いずれも「Ⅲ以上」が最も高く、それぞれ42.0%、43.3%、43.1%となっている。

	n	自立+ I	Ⅱ	Ⅲ以上
フルタイム勤務	224	19.2	38.8	42.0
パートタイム勤務	104	21.2	35.6	43.3
働いていない	248	23.8	33.1	43.1

[世帯類型<主な介護者の勤務形態別>]

○主な介護者の勤務形態別に世帯類型をみると、「フルタイム勤務」および「パートタイム勤務」では「その他世帯」が最も高く、それぞれ51.3%、44.2%となっている。

○「働いていない」では「夫婦のみの世帯」(41.1%)が最も高くなっている。

	n	単身世帯	夫婦のみの世帯	その他世帯
フルタイム勤務	224	36.6	12.1	51.3
パートタイム勤務	104	30.8	25.0	44.2
働いていない	248	20.6	41.1	38.3

[主な介護者の年齢<主な介護者の勤務形態別>]

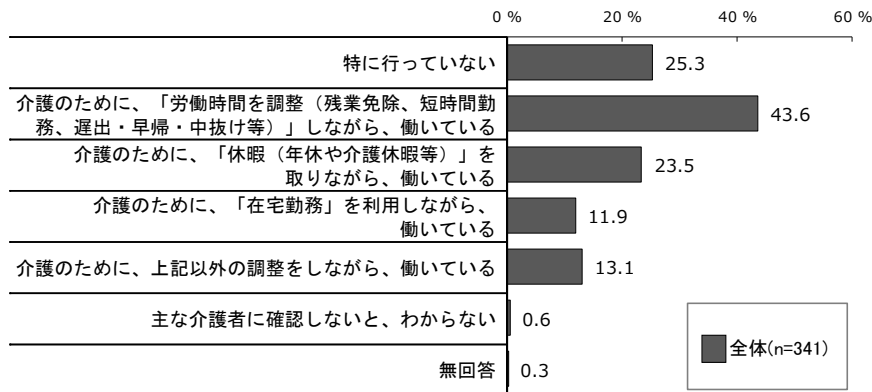
○主な介護者の勤務形態別に主な介護者の年齢をみると、「フルタイム勤務」および「パートタイム勤務」とともに「50歳代」が最も高く、それぞれ52.8%、39.2%となっている。

		(%)					
	n	40歳未満	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
フルタイム勤務	216	1.9	6.9	52.8	33.8	2.8	1.9
パートタイム勤務	102	-	6.9	39.2	35.3	16.7	2.0
働いていない	244	0.4	1.6	14.3	27.9	22.1	33.6

(2) 主な介護者の働き方の調整状況

○「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」（43.6%）が最も高く、次いで「特に行っていない」（25.3%）の順となっている。

(複数回答)



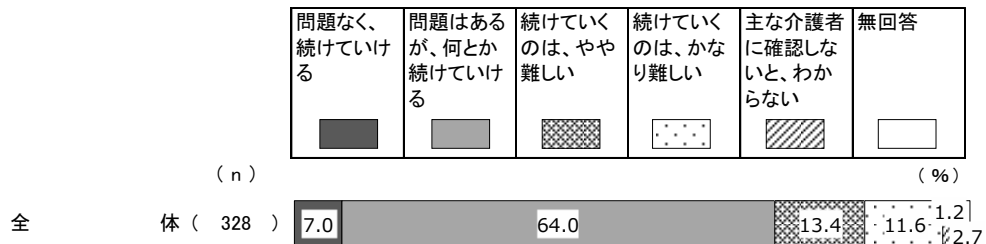
[主な介護者の働き方の調整状況<主な介護者の勤務形態別>]

○主な介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」および「パートタイム勤務」とともに「介護のために、労働時間を調整しながら働いている」が最も高く、それぞれ45.5%、39.8%となっている。

		(%)					
	n	特に行っていない	介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている	介護のために、『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら、働いている	介護のために、『在宅勤務』を利用しながら、働いている	介護のために、左記以外の調整をしながら、働いている	主な介護者に確認しないと、わからない
フルタイム勤務	224	27.7	45.5	25.4	13.8	8.0	-
パートタイム勤務	103	20.4	39.8	19.4	7.8	24.3	1.9

(3) 主な介護者の就労継続の見込み

- 「問題はあるが、何とか続けていける」(64.0%)が最も高く、次いで「続けていくのは、やや難しい」(13.4%)の順となっている。
- “働く上で何らかの問題を感じている”(「問題はあるが、何とか続けていける」、「続けていくのは、やや難しい」および「続けていくのは、かなり難しい」の合計)は89.0%となっている。



[主な介護者の就労継続の見込み<主な介護者の勤務形態別>]

- 主な介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」および「パートタイム勤務」とともに「問題はあるが、何とか続けていける」が最も高く、それぞれ67.3%、62.6%となっている。

	n	問題なく、 続けていける	問題はあるが、 何とか 続けていける	続けていく のは、やや 難しい	続けていく のは、かな り難しい	主な介護者 に確認しな いと、わか らない
フルタイム勤務	220	6.8	67.3	12.7	12.3	0.9
パートタイム勤務	99	8.1	62.6	16.2	11.1	2.0

[主な介護者の就労継続の見込み<要介護度別>]

- 要介護度別にみると、「要支援1～要介護1」および「要介護2以上」とともに「問題はあるが、何とか続けていける」が最も高く、それぞれ67.7%、65.0%となっている。

	n	問題なく、 続けていける	問題はあるが、 何とか 続けていける	続けていく のは、やや 難しい	続けていく のは、かな り難しい	主な介護者 に確認しな いと、わか らない
要支援1～要介護1	99	11.1	67.7	17.2	2.0	2.0
要介護2以上	220	5.5	65.0	12.3	16.4	0.9

[主な介護者の就労継続の見込み<認知症高齢者の日常生活自立度別>]

- 認知症高齢者の日常生活自立度別にみると、「自立+I」および「II以上」とともに、「問題はあるが、何とか続けていける」が最も高く、それぞれ65.6%、65.9%となっている。

	n	問題なく、 続けていける	問題はあるが、 何とか 続けていける	続けていく のは、やや 難しい	続けていく のは、かな り難しい	主な介護者 に確認しな いと、わか らない
自立+I	64	15.6	65.6	10.9	3.1	4.7
II以上	255	5.1	65.9	14.5	14.1	0.4

[主な介護者の就労継続の見込み<サービス利用の組み合わせ別(要介護2以上)>]

○サービス利用の組み合わせ別(要介護2以上)にみると、「訪問系利用あり」および「訪問系利用なし」ともに「問題はあるが、何とか続けていける」が最も高く、それぞれ64.6%、67.0%となっている。

	n	(%)				
		問題なく、 続けていける	問題はあるが、 何とか続けていける	続けていくのは、 やや難しい	続けていくのは、 かなり難しい	主な介護者に確認 しないと、わからない
訪問系利用あり	96	7.3	64.6	11.5	15.6	1.0
訪問系利用なし	91	3.3	67.0	15.4	14.3	-

[主な介護者の就労継続の見込み<サービス利用の組み合わせ別(認知症Ⅱ以上)>]

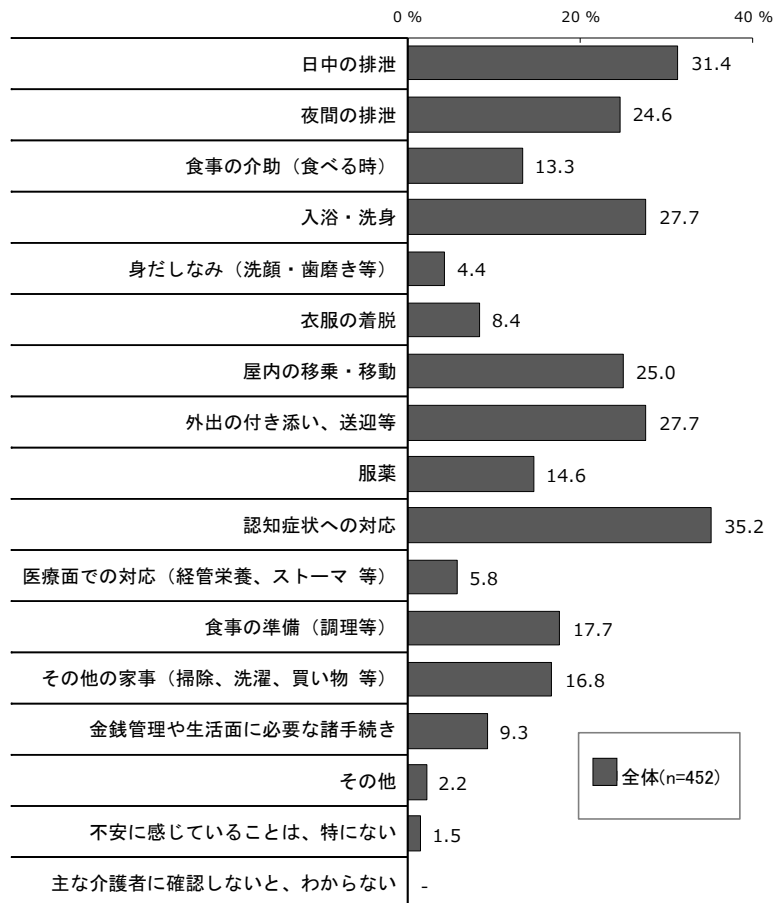
○サービス利用の組み合わせ別(認知症Ⅱ以上)にみると、「訪問系利用あり」および「訪問系利用なし」ともに、「問題はあるが、何とか続けていける」が最も高く、それぞれ67.0%、63.2%となっている。

	n	(%)				
		問題なく、 続けていける	問題はあるが、 何とか続けていける	続けていくのは、 やや難しい	続けていくのは、 かなり難しい	主な介護者に確認 しないと、わからない
訪問系利用あり	94	6.4	67.0	9.6	16.0	1.1
訪問系利用なし	106	5.7	63.2	18.9	12.3	-

(4) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護

○「認知症状への対応」(35.2%)が最も高く、次いで「日中の排泄」(31.4%)の順となっている。

(○は3つまで)



※無回答を除いて集計

[主な介護者が不安に感じる介護<要介護度別>]

- 要介護度別にみると、「要支援1・2」では、「外出の付き添い、送迎等」(46.9%)が最も高く、次いで「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(37.5%)の順となっている。
- 「要介護1・2」では、「外出の付き添い、送迎等」および「認知症状への対応」(ともに38.0%)が最も高く、次いで「入浴・洗身」(32.7%)の順となっている。
- 「要介護3以上」では、「日中の排泄」(45.1%)が最も高く、次いで「認知症状への対応」(37.1%)の順となっている。

	n	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応	養、ストーマ等)	医療面での対応(経管栄養)	食事の準備(調理等)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	な諸手続き	金銭管理や生活面に必要	その他	は、特に不安に感じていること	と、わからない	主な介護者に確認しない
要支援1・2	32	3.1	9.4	-	25.0	-	-	21.9	46.9	-	3.1	6.3	25.0	37.5	21.9	6.3	-	-	-	-	-
要介護1・2	205	22.0	15.1	6.3	32.7	3.9	6.3	23.9	38.0	20.5	38.0	5.9	21.5	19.5	9.3	2.9	2.0	-	-	-	
要介護3以上	213	45.1	36.2	22.1	23.5	5.6	11.7	26.8	15.0	11.3	37.1	5.2	13.1	11.3	7.5	0.9	0.9	-	-	-	

[主な介護者が不安に感じる介護<認知症高齢者の日常生活自立度別>]

- 認知症高齢者の日常生活自立度別にみると、「自立+I」では、「外出の付き添い、送迎等」(40.2%)が最も高く、次いで「入浴・洗身」(38.2%)の順となっている。
- 「II」では、「認知症状への対応」(41.4%)が最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」(37.0%)の順となっている。
- 「III以上」では、「日中の排泄」および「認知症状への対応」(ともに46.3%)が最も高く、次いで「夜間の排泄」(37.2%)の順となっている。

	n	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応	養、ストーマ等)	医療面での対応(経管栄養)	食事の準備(調理等)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	な諸手続き	金銭管理や生活面に必要	その他	は、特に不安に感じていること	と、わからない	主な介護者に確認しない
自立+I	102	18.6	15.7	5.9	38.2	1.0	6.9	36.3	40.2	5.9	4.9	6.9	23.5	28.4	6.9	2.9	2.0	-	-	-	
II	162	22.2	15.4	6.2	27.2	4.3	5.6	22.8	37.0	17.9	41.4	5.6	21.6	18.5	13.0	3.1	1.9	-	-	-	
III以上	188	46.3	37.2	23.4	22.3	6.4	11.7	20.7	12.8	16.5	46.3	5.3	11.2	9.0	7.4	1.1	1.1	-	-	-	

[主な介護者が不安に感じる介護<サービス利用の組み合わせ別(要介護3以上)>]

- サービス利用の組み合わせ別(要介護3以上)にみると、「訪問系のみ」、「訪問系を含む組み合わせ」および「通所系・短期系のみ」は、いずれも「日中の排泄」が最も高く、それぞれ46.7%、50.8%、55.3%となっている。

	n	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な手続き	その他	は、特にない	不安に感じていること	と、わからない	主な介護者に確認しない
訪問系のみ	45	46.7	22.2	40.0	13.3	-	11.1	40.0	15.6	11.1	20.0	11.1	17.8	11.1	6.7	-	-	-	-	-
訪問系を含む組み合わせ	59	50.8	37.3	16.9	16.9	11.9	5.1	16.9	6.8	18.6	49.2	3.4	11.9	11.9	8.5	1.7	3.4	-	-	-
通所系・短期系のみ	47	55.3	48.9	17.0	19.1	4.3	17.0	21.3	12.8	8.5	53.2	4.3	8.5	2.1	4.3	-	-	-	-	-

[主な介護者が不安に感じる介護<サービス利用の組み合わせ別(認知症Ⅲ以上)>]

- サービス利用の組み合わせ別(認知症Ⅲ以上)にみると、「訪問系のみ」では、「日中の排泄」(48.5%)が最も高く、次いで「食事の介助(食べる時)」(45.5%)の順となっている。
- 「訪問系を含む組み合わせ」および「通所系・短期系のみ」では、「認知症状への対応」が最も高く、それぞれ51.7%、58.7%となっている。

	n	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な手続き	その他	は、特にない	不安に感じていること	と、わからない	主な介護者に確認しない
訪問系のみ	33	48.5	30.3	45.5	12.1	-	12.1	24.2	6.1	12.1	27.3	12.1	12.1	12.1	12.1	-	-	-	-	-
訪問系を含む組み合わせ	58	50.0	32.8	15.5	17.2	13.8	5.2	17.2	8.6	22.4	51.7	3.4	15.5	10.3	6.9	1.7	3.4	-	-	-
通所系・短期系のみ	46	50.0	47.8	15.2	21.7	4.3	19.6	15.2	8.7	15.2	58.7	6.5	4.3	4.3	4.3	-	-	-	-	-

[主な介護者が不安に感じる介護<主な介護者の就労継続の見込み別>]

- 主な介護者の就労継続の見込み別にみると、「問題なく、続けていける」では、「屋内の移乗・移動」(40.0%)が最も高く、次いで「服薬」および「医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)」(ともに25.0%)の順となっている。
- 「問題はあるが、何とか続けていける」では、「認知症状への対応」(41.8%)が最も高く、次いで「入浴・洗身」(32.1%)の順となっている。
- 「続けていくのは“難しい”」では、「日中の排泄」(42.4%)が最も高く、次いで「夜間の排泄」および「認知症状への対応」(ともに35.6%)の順となっている。

	n	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な手続き	その他	不安に感じていることは、特にない	(%) 主な介護者に確認しないと、わからない
問題なく、続けていける	20	15.0	10.0	5.0	20.0	-	5.0	40.0	10.0	25.0	20.0	25.0	10.0	20.0	10.0	-	5.0	-
問題はあるが、何とか続けていける	165	27.3	15.8	11.5	32.1	6.1	6.7	26.1	29.7	13.9	41.8	4.2	21.2	21.8	12.1	1.2	-	-
続けていくのは“難しい”	59	42.4	35.6	16.9	30.5	5.1	5.1	22.0	28.8	22.0	35.6	1.7	16.9	10.2	8.5	-	1.7	-

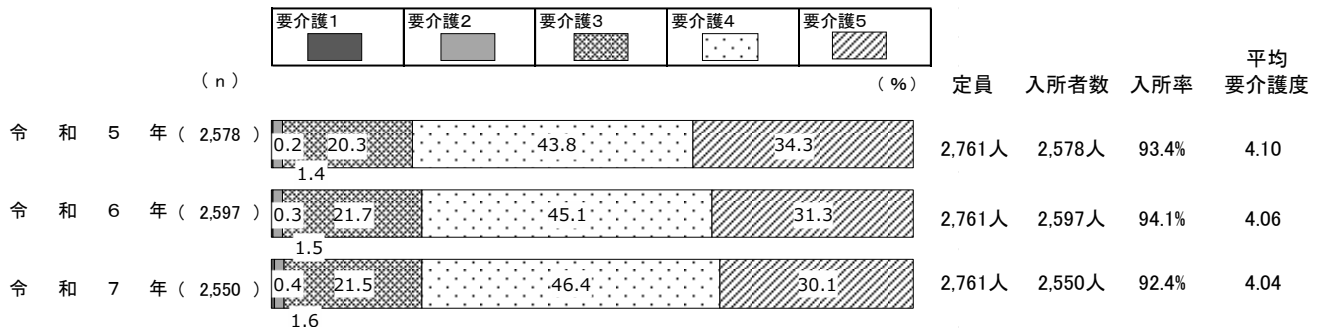
第5章 施設整備調査

1. 特別養護老人ホーム

(1) 要介護度別利用状況（各年12月末現在）

○要介護3以上の方の割合は、いずれの年も9割台となっている。

○定員に対する入所者の割合（入所率）はいずれの年も9割台となっている。



(2) 入所前の住所地（令和7年12月末現在）

○入所前の住所地が区内である方の割合は、93.7%となっている。

	基本地区				練馬区計	都内 (練馬区除 く22区)	都内 (その他)	都外	計
	練馬	光が丘	石神井	大泉					
入所者	501	624	649	615	2,389	80	31	50	2,550
	19.6%	24.5%	25.5%	24.1%	93.7%	3.1%	1.2%	2.0%	

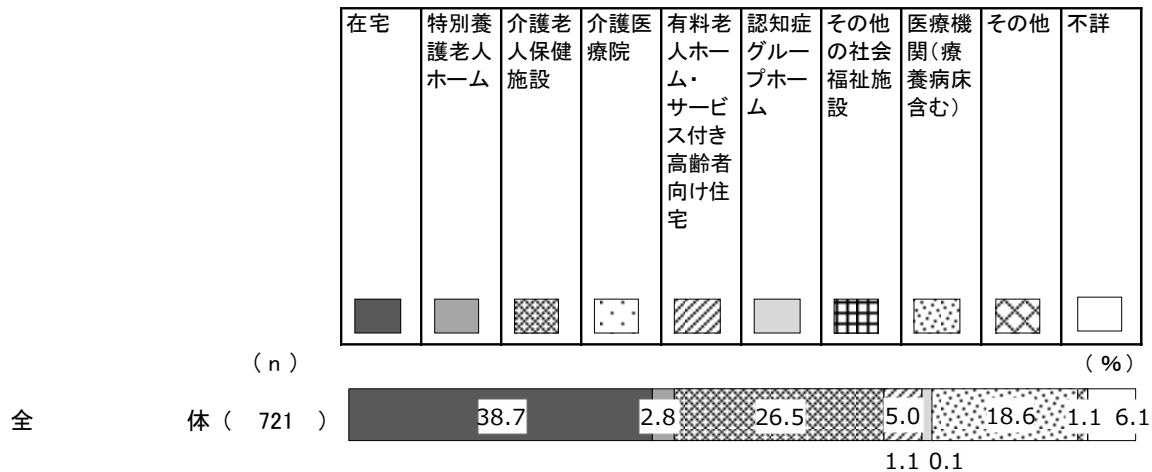
(3) 入退所状況（令和7年実績）

①入退所

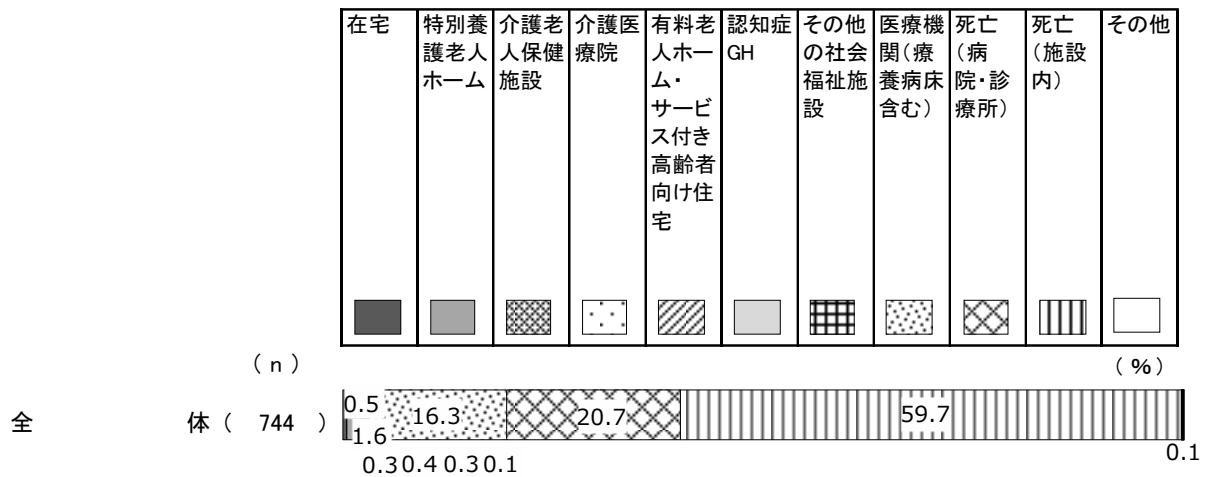
○令和7年中の入所者の入所前の生活場所は、「在宅」（38.7%）が最も高く、次いで「介護老人保健施設」（26.5%）の順となっている。

○退所後の行先（退所の理由）は、「死亡（施設内）」（59.7%）が最も高く、次いで「死亡（病院・診療所）」（20.7%）の順となっている。

【入所前の生活場所】

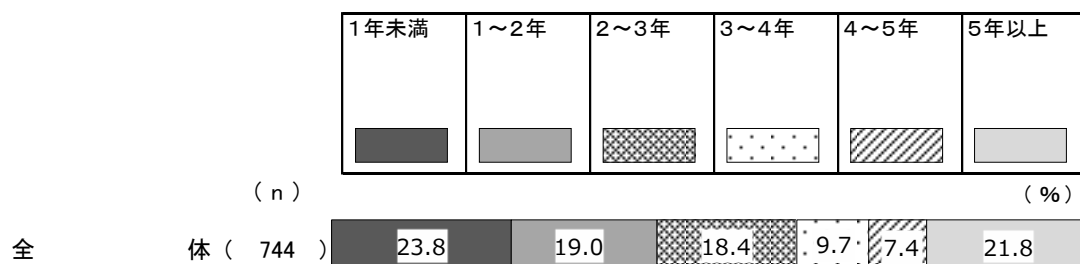


【退所後の行先（退所の理由）】



②退所者の在所期間

○「1年未満」（23.8%）が最も高く、次いで「5年以上」（21.8%）の順となっている。



(4) 入所者の待機期間

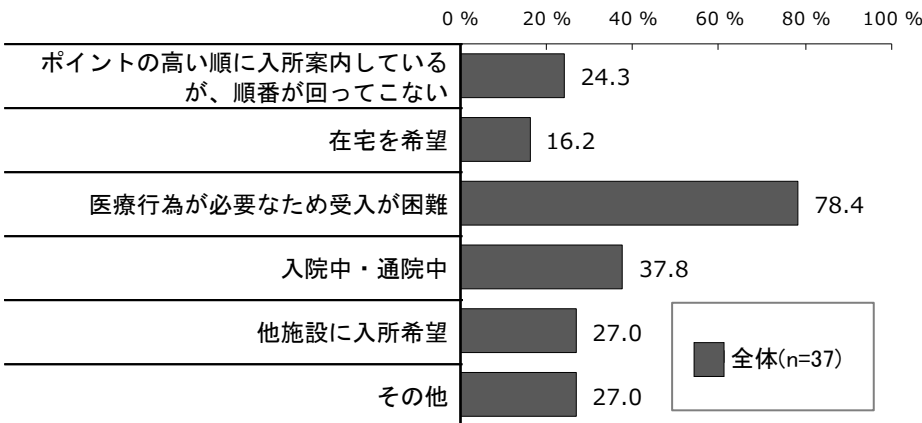
- 令和7年中の入所者のうち、申込みから3か月以内に入所した方（「1か月以内」と「3か月以内」の合計）の割合は、65.0%となっている。
- 申込みから1年以内に入所した方の割合は、94.1%となっている。
- 令和4年度の調査結果と比較すると、令和7年度の調査結果は、申込みから1年以内に入所した方の割合が0.9ポイント高くなっている。

	n	1か月以内	3か月以内	6か月以内	1年以内	2年以内	3年以内	3年超	1年以内
令和7年度	677	17.6	47.4	19.4	9.7	4.9	0.9	0.1	94.1
令和4年度	617	18.0	35.7	27.1	12.5	5.0	1.1	0.6	93.2
令和元年度	619	10.7	29.6	36.0	12.1	8.1	2.6	1.0	88.4

(5) 1年以上入所できない理由

- 「医療行為が必要なため受入が困難」（78.4%）が最も高く、次いで「入院中・通院中」（37.8%）の順となっている。

（複数回答）



(6) 大規模改修（経費2億円以上）の実施予定

- 「ある」が4施設、「ない」が28施設、「検討中」が5施設となっている。

調査数	ある	ない	検討中
37	4	28	5

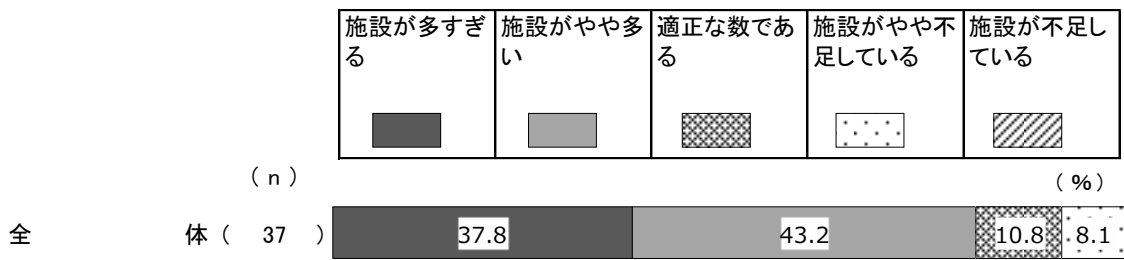
(7) 大規模改修（経費2億円以上）の実施時期

- 大規模改修（経費2億円以上）の実施予定が「ある」と回答した施設のうち、「3年以内」が2施設、「1年以内」が1施設となっている。

調査数	1年以内	3年以内	無回答
4	1	2	1

(8) 特別養護老人ホームの需給バランス

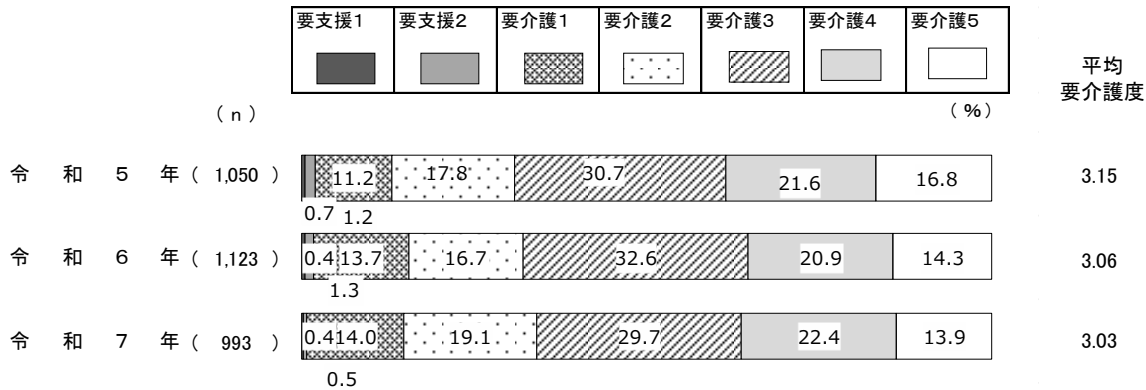
○「施設がやや多い」(43.2%)が最も高く、次いで「施設が多すぎる」(37.8%)の順となっている。



2. ショートステイ

(1) 要介護度別利用状況（各年12月実績）

○利用者のほぼ全員が要介護1以上となっている。



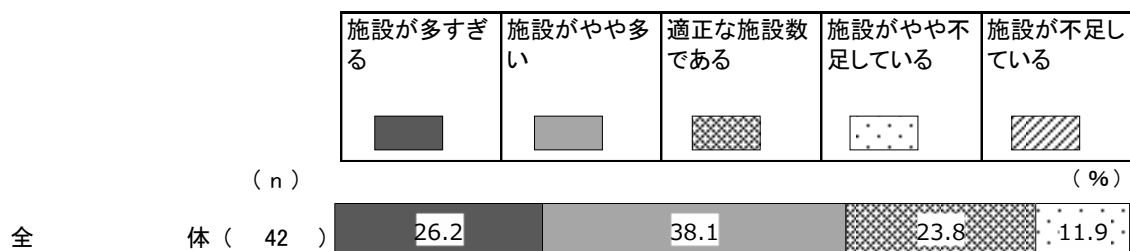
(2) 利用者の住所地（令和7年12月末現在）

○区民の方の利用割合は、94.8%となっている。

施設所在地	施設数	定員数	基本地区				練馬区計	都内 (練馬区 除く22 区)	都内 (その 他)	都外	計
			練馬	光が丘	石神井	大泉					
区内全域	42	427	211	222	321	187	941	23	16	13	993
			21.2%	22.4%	32.3%	18.8%	94.8%	2.3%	1.6%	1.3%	
練馬	5	34	54	4	4	2	64	2	0	0	66
			81.8%	6.1%	6.1%	3.0%	97.0%	3.0%	0.0%	0.0%	
光が丘	14	149	108	206	51	30	395	13	3	7	418
			25.8%	49.3%	12.2%	7.2%	94.5%	3.1%	0.7%	1.7%	
石神井	8	85	29	5	142	8	184	8	1	2	195
			14.9%	2.6%	72.8%	4.1%	94.4%	4.1%	0.5%	1.0%	
大泉	15	159	20	7	124	147	298	0	12	4	314
			6.4%	2.2%	39.5%	46.8%	94.9%	0.0%	3.8%	1.3%	

(3) ショートステイの需給バランス

○「施設がやや多い」(38.1%)が最も高く、次いで「施設が多すぎる」(26.2%)の順となっている。

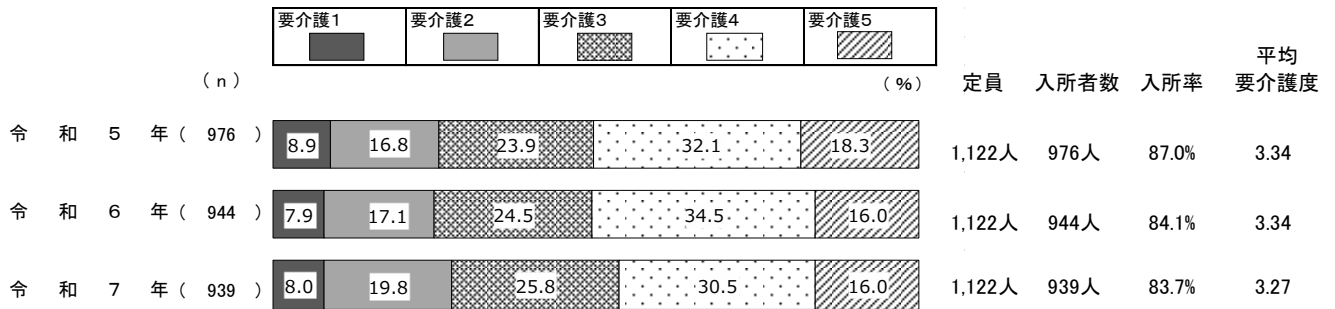


3. 介護老人保健施設

(1) 要介護度別利用状況（各年12月末現在）

○要介護3以上の方の割合は、いずれの年も7割台となっている。

○定員に対する入所者の割合（入所率）は、令和7年で83.7%となっている。



※定員は回答があった介護老人保健施設の定員数を合計した。

(2) 入所前の住所地（令和7年12月末現在）

○入所前の住所地が区内である方の割合は、62.7%となっている。

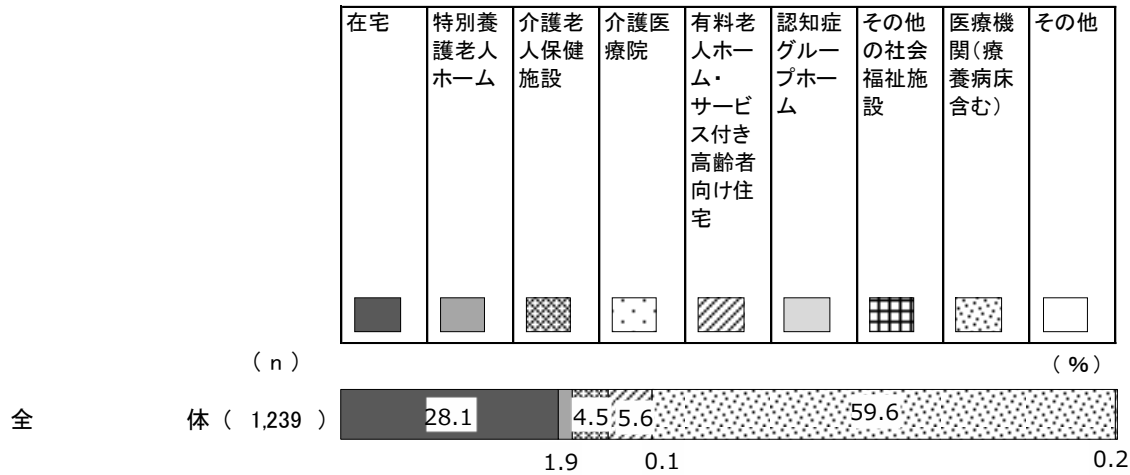
	基本地区				練馬区計	都内 (練馬区除 く22区)	都内 (その他)	都外	計
	練馬	光が丘	石神井	大泉					
入所者	172	145	99	173	589	230	45	75	939
	18.3%	15.4%	10.5%	18.4%	62.7%	24.5%	4.8%	8.0%	

(3) 入退所状況（令和7年実績）

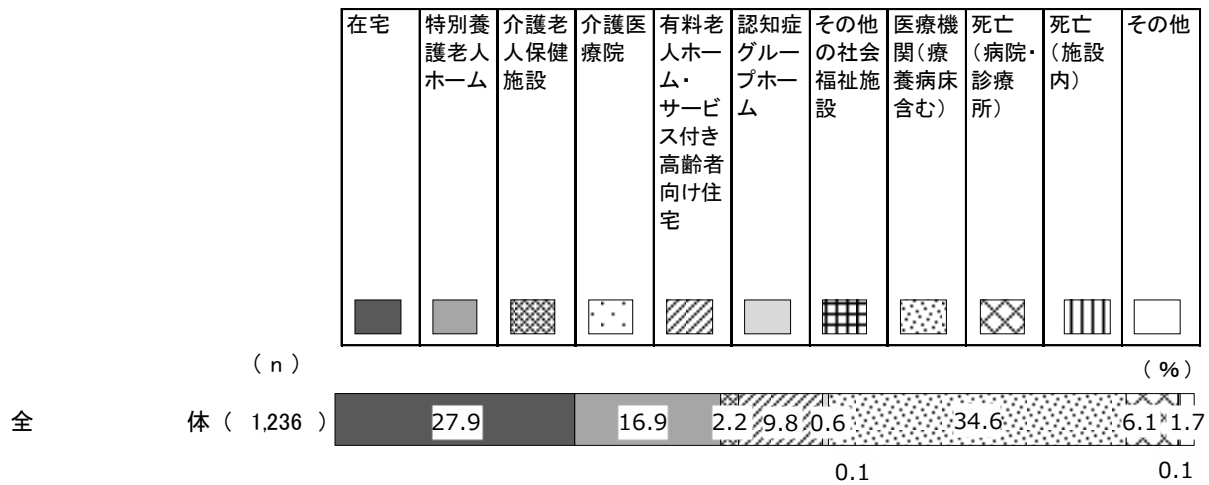
①入退所者

- 入所前の生活場所は、「医療機関（療養病床含む）」（59.6%）が最も高く、次いで「在宅」（28.1%）の順となっている。
- 退所後の行先（退所の理由）は、「医療機関（療養病床含む）」（34.6%）が最も高く、次いで「在宅」（27.9%）の順となっている。

【入所前の生活場所】

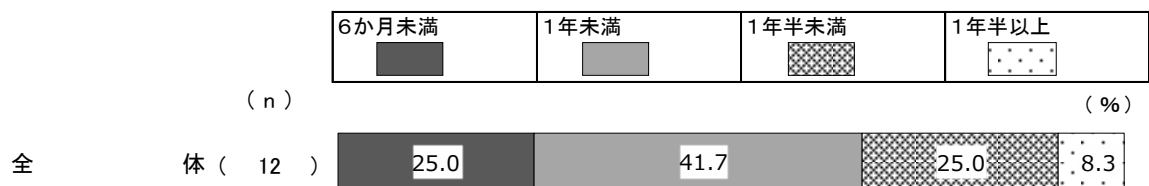


【退所後の行先（退所の理由）】



②退所者の在所期間

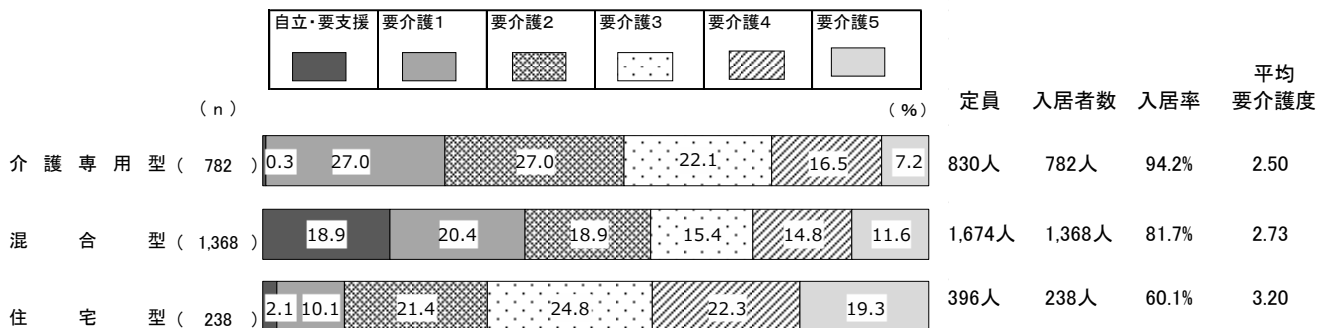
- 「1年未満」（41.7%）が最も高く、次いで「6か月未満」および「1年半未満」（ともに25.0%）の順となっている。



4. 有料老人ホーム

(1) 要介護度別利用状況（令和7年12月末現在）

○要介護3以上の方の割合は、介護専用型が45.8%、混合型が41.8%、住宅型が66.4%となっている。



※定員は回答があった有料老人ホームの定員数を合計した。

(2) 入居前の住所地（令和7年12月末現在）

○入居前の住所地が区内である方の割合は、41.2%となっている。

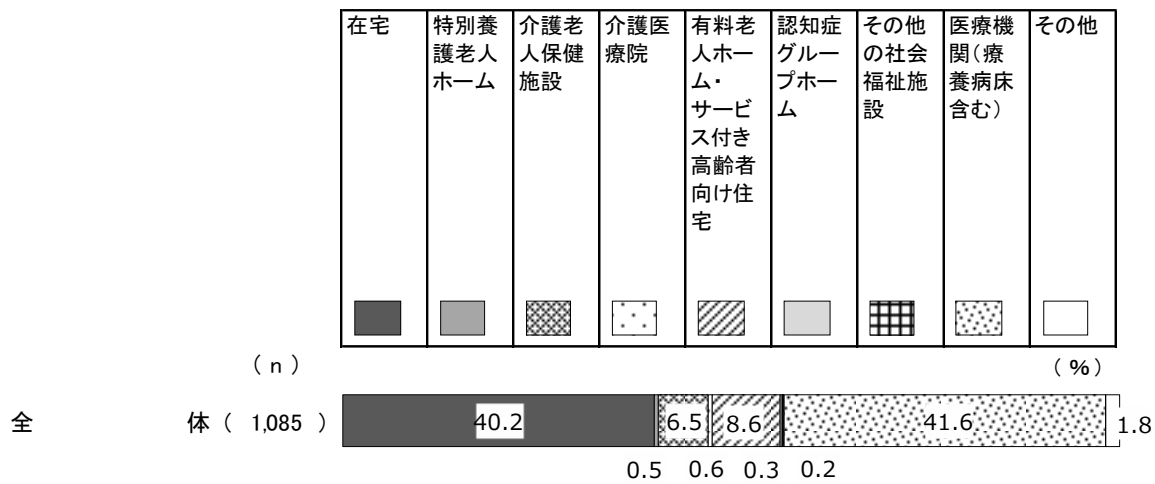
	基本地区				練馬区計	都内 (練馬区除 く22区)	都内 (その他)	都外	計
	練馬	光が丘	石神井	大泉					
入居者	301	164	289	231	985	735	328	340	2,388
	12.6%	6.9%	12.1%	9.7%	41.2%	30.8%	13.7%	14.2%	

(3) 入退居状況（令和7年実績）

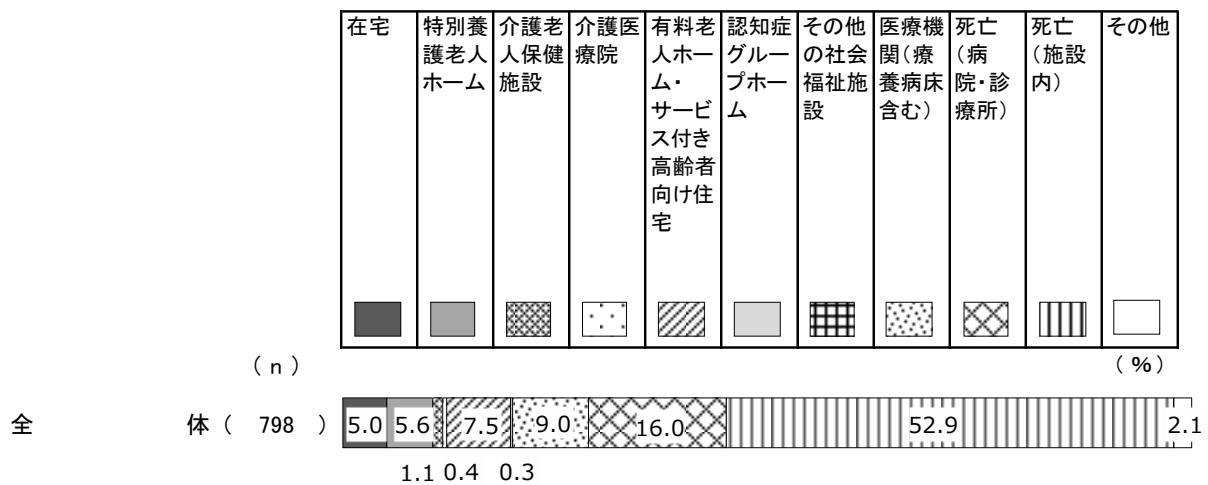
○入居前の生活場所は、「医療機関（療養病床含む）」（41.6%）が最も高く、次いで「在宅」（40.2%）の順となっている。

○退居後の行先（退居の理由）は、「死亡（施設内）」（52.9%）が最も高く、次いで「死亡（病院・診療所）」（16.0%）の順となっている。

【入居前の生活場所】



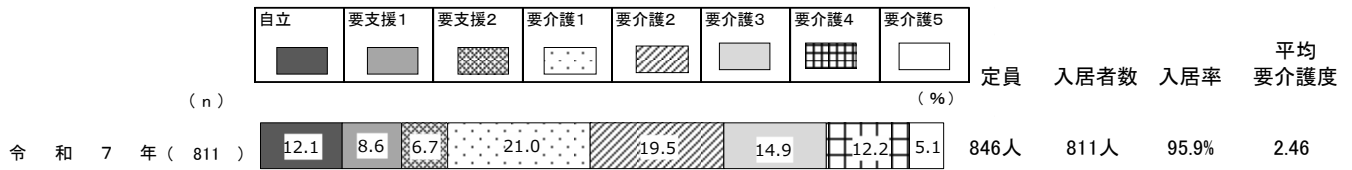
【退居後の行先（退居の理由）】



5. サービス付き高齢者向け住宅

(1) 要介護度別利用状況（令和7年12月末現在）

○要介護1以上の方の割合は、7割程度となっている。



※定員は回答があったサービス付き高齢者向け住宅の定員数を合計した。

(2) 入居前の住所地（令和7年12月末現在）

○入居前の住所地が区内である方の割合は、43.3%となっている。

	基本地区				練馬区計	都内 (練馬区除 く22区)	都内 (その他)	都外	計
	練馬	光が丘	石神井	大泉					
サービス付き高齢者向け 住宅全体	77	69	104	101	351	190	92	178	811
	9.5%	8.5%	12.8%	12.5%	43.3%	23.4%	11.3%	21.9%	
特定施設 入居者生活介護	44	53	51	44	192	116	58	89	455
	9.7%	11.6%	11.2%	9.7%	42.2%	25.5%	12.7%	19.6%	
その他	33	16	53	57	159	74	34	89	356
	9.3%	4.5%	14.9%	16.0%	44.7%	20.8%	9.6%	25.0%	

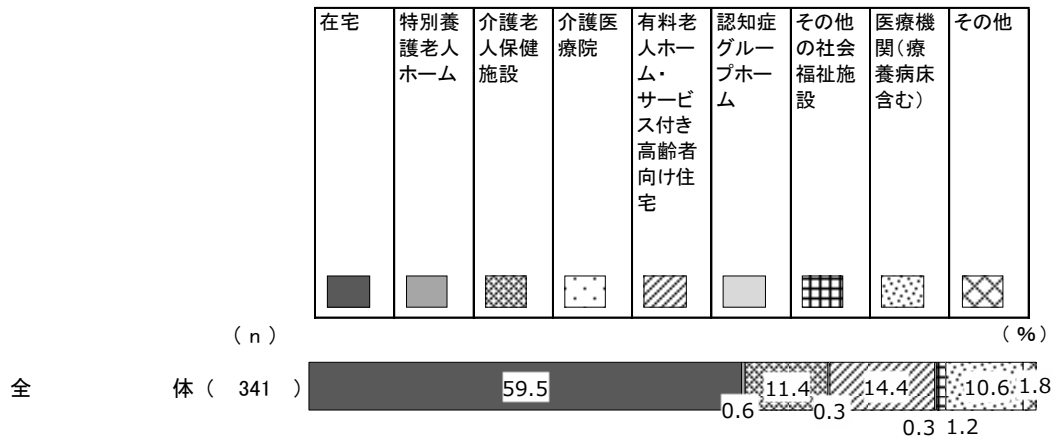
(人)

(3) 入退居状況（令和7年実績）

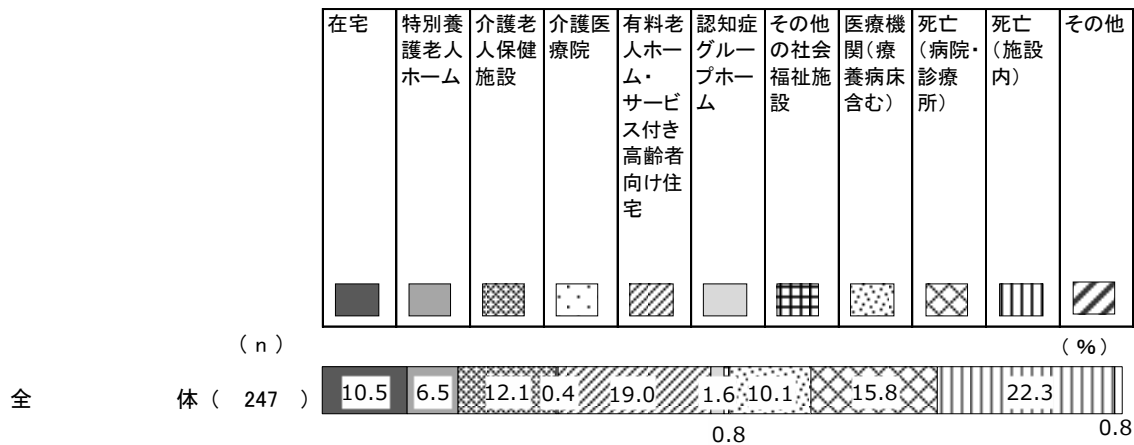
○入居前の生活場所は、「在宅」（59.5%）が最も高く、次いで「有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅」（14.4%）の順となっている。

○退居後の行先（退居の理由）は、「死亡（施設内）」（22.3%）が最も高く、次いで「有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅」（19.0%）の順となっている。

【入居前の生活場所】



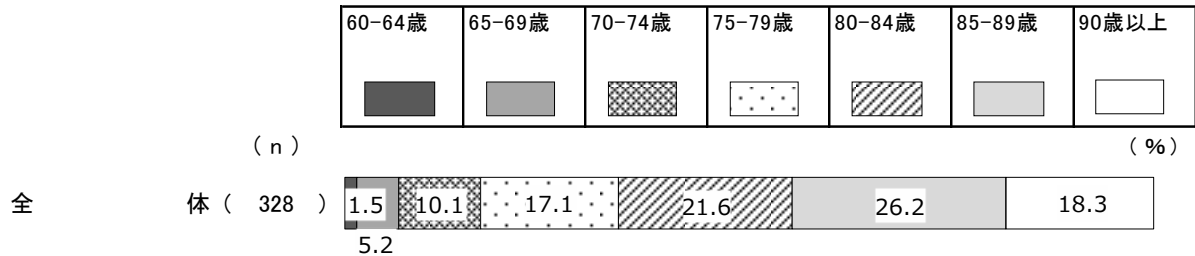
【退居後の行先（退居の理由）】



6. 都市型軽費老人ホーム

(1) 年齢別入所者数（令和7年12月末現在）

○「85-89歳」(26.2%)が最も高く、次いで「80-84歳」(21.6%)の順となっている。

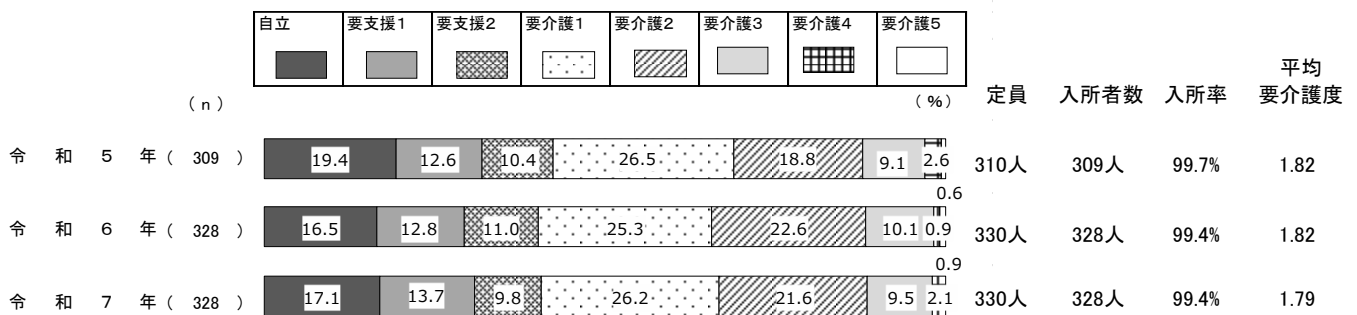


(2) 要介護度別利用状況（各年12月末現在）

○自立の方の割合は、いずれの年も1割台となっている。

○定員に対する入所者の割合（入所率）は、令和7年で99.4%となっている。

○令和6年と比較すると、令和7年の入所率は等しくなっている。



(3) 基本地区別人数（令和7年12月末現在）

○「大泉」(29.3%)が最も高く、次いで「石神井」(26.5%)の順となっている。

	基本地区				練馬区計
	練馬	光が丘	石神井	大泉	
入居者	70	75	87	96	328
	21.3%	22.9%	26.5%	29.3%	

(4) 入所者の待機期間

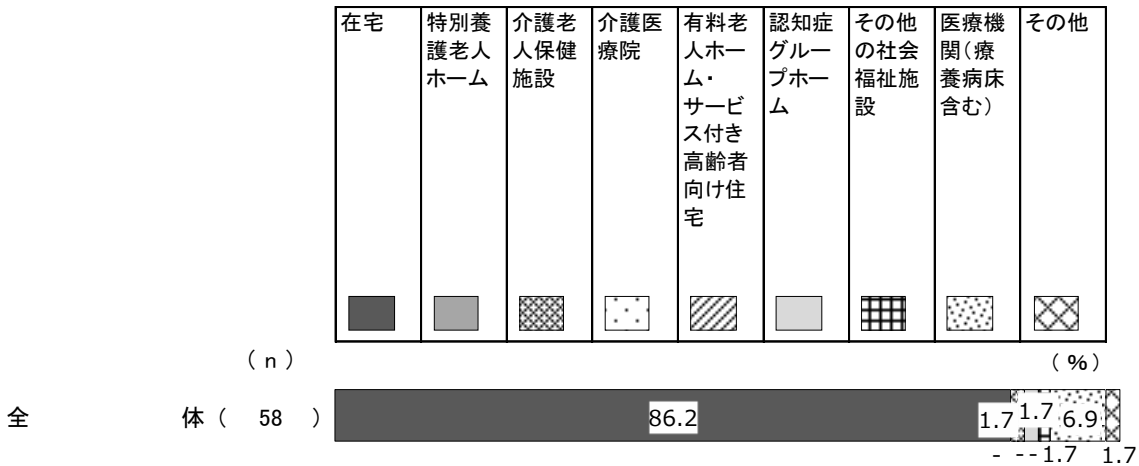
- 令和7年の入所者のうち、申込みから3か月以内に入所した方（「1か月以内」と「3か月以内」の合計）の割合は、77.6%となっている。
- 令和7年入所者の全員が申込みから1年以内に入所している。

	n	1か月以内	3か月以内	6か月以内	1年以内	1年超	1年以内
令和7年度	58	27.6	50.0	19.0	3.4	0.0	100.0

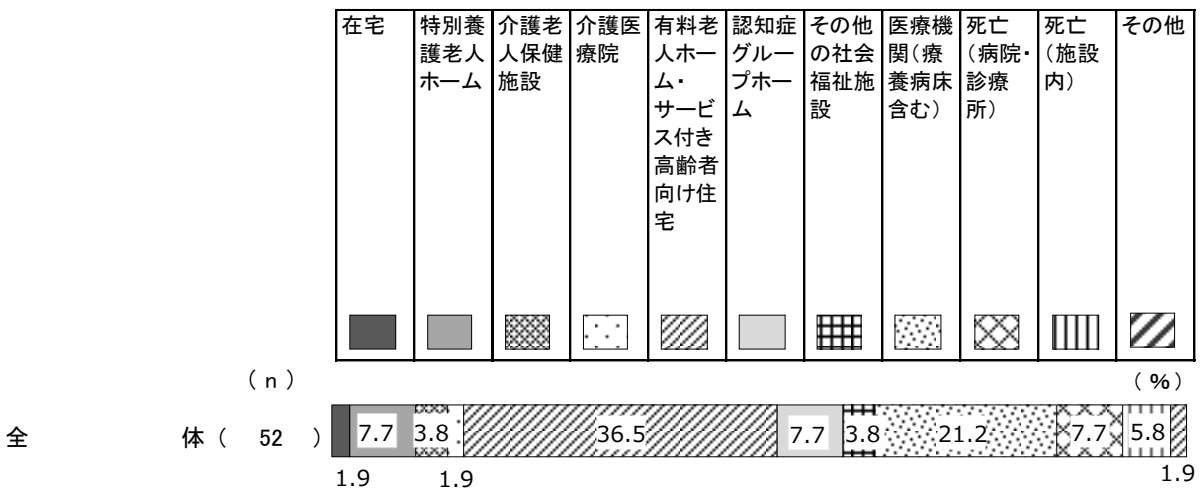
(5) 入退所状況（令和7年実績）

- 入所前の生活場所は、「在宅」（86.2%）が最も高く、次いで「医療機関（療養病床含む）」（6.9%）の順となっている。
- 退所後の行先（退所の理由）は、「有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅」（36.5%）が最も高く、次いで「医療機関（療養病床含む）」（21.2%）の順となっている。

【入所前の生活場所】

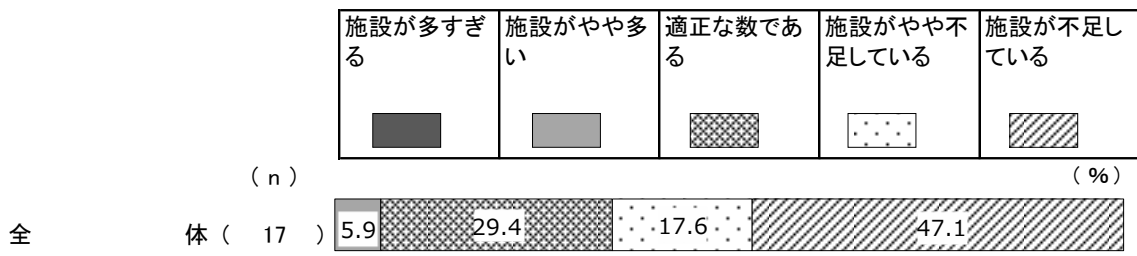


【退所後の行先（退所の理由）】



(6) 都市型軽費老人ホームの需給バランス

○「施設が不足している」(47.1%)が最も高く、次いで「適正な数である」(29.4%)の順となっている。



7. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

(1) 契約者数（令和7年12月末現在）

①契約者数

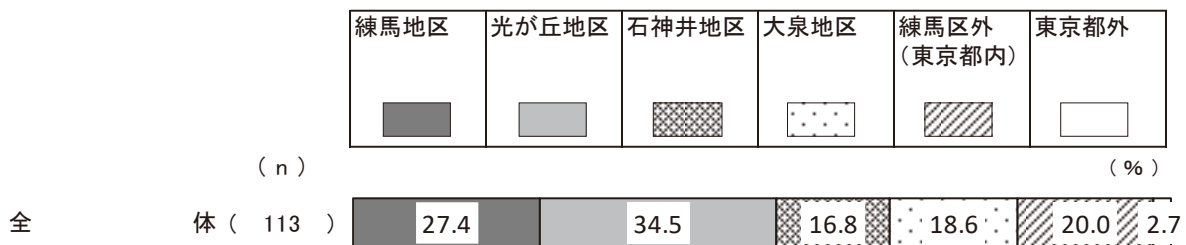
○契約者数は「6～10人」および「11～15人」（ともに37.5%）が最も高く、次いで「16～20人」および「21人以上」（ともに12.5%）の順となっている。

	n	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21人以上
契約者数	8	0.0	37.5	37.5	12.5	12.5

(%)

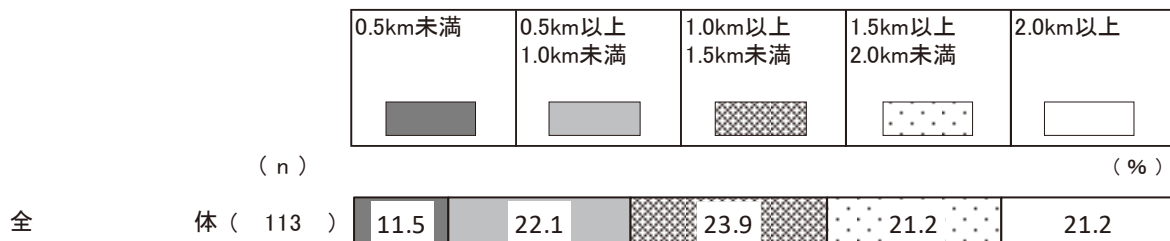
②基本地区別

○契約者数を基本地区別で見ると、「光が丘地区」（34.5%）が最も高く、次いで「練馬地区」（27.4%）の順となっている。



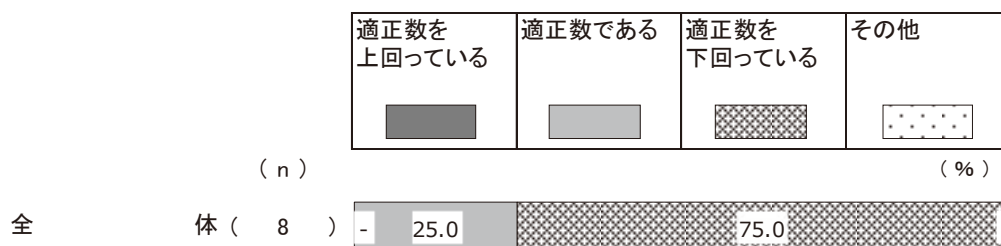
③事業所からの距離別

○契約者数を事業所からの距離別で見ると、「1.0km以上1.5km未満」（23.9%）が最も高く、次いで「0.5km以上1.0km未満」（22.1%）の順となっている。



(2) 利用者数の妥当性

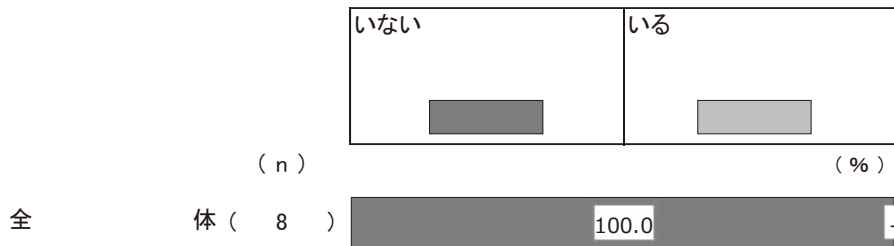
○利用者数の妥当性について、「適正数を下回っている」が75.0%となっている。



(3) 利用待機者

①利用待機者（令和7年12月末現在）

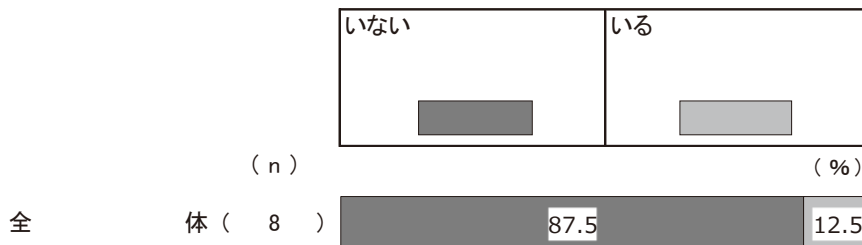
○利用待機者数は、すべての事業所が「いない」と回答している。



②定員上限による断りの実態

○定員上限により利用を断った方は「いない」が87.5%となっている。

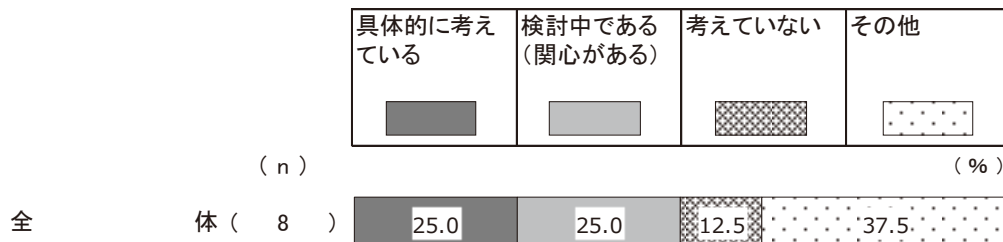
○「いる」と回答した事業所の定員上限により断った方は、「2～3人」となっている。



	n	1人	2～3人	4～5人	6～9人	10人以上
定員上限による断り数	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

(4) 今後の事業拡大の検討状況

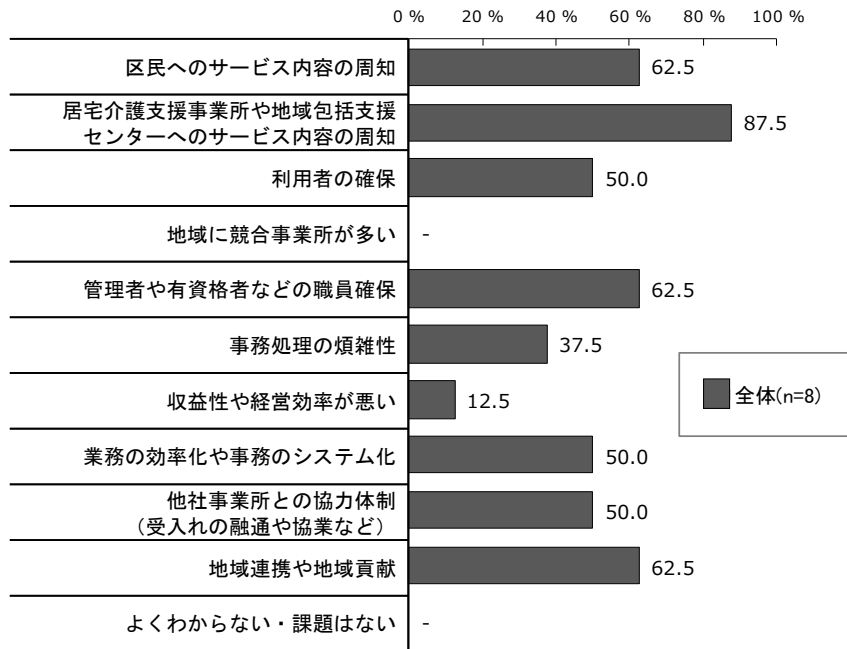
○今後の事業拡大について、「具体的に考えている」および「検討中である（関心がある）」（ともに25.0%）が最も高く、次いで「考えていない」（12.5%）の順となっている。



(5) 事業所運営の課題

○事業所運営の課題は、「居宅介護支援事業所や地域包括支援センターへのサービス内容の周知」(87.5%)が最も高く、次いで「区民へのサービス内容の周知」、「管理者や有資格者などの職員確保」および「地域連携や地域貢献」(ともに62.5%)の順となっている。

(複数回答)



(6) 運営推進会議について

①開催状況（令和7年度）

○運営推進会議の開催数は、「2回」が100.0%となっている。

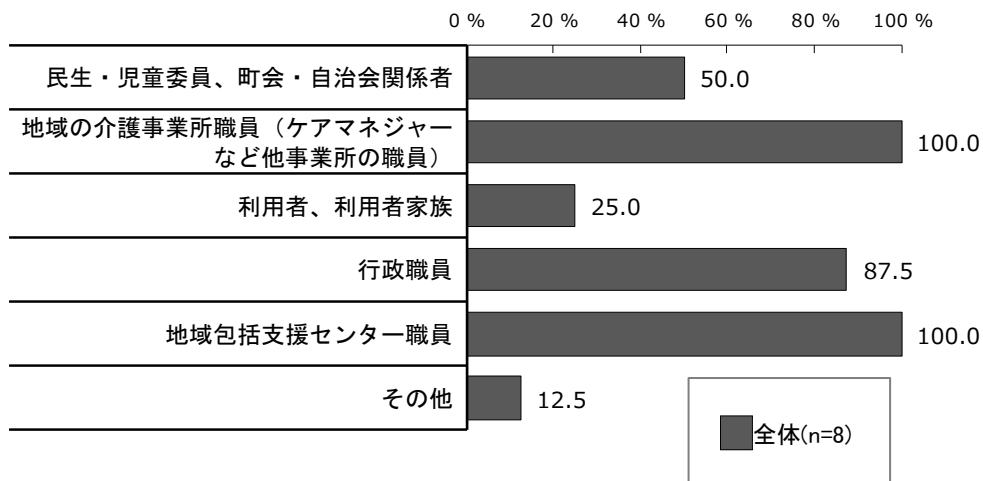
	n	0回	1回	2回	3~4回	5~6回
運営推進会議の開催数	8	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

※おおむね6か月に1回以上開催することとされているが、調査回答時点での開催数を回答している事業所がある。

②参加者

○運営推進会議への参加者は、「地域の介護事業所職員（ケアマネジャーなど他事業所の職員）」および「地域包括支援センター職員」（ともに100.0%）が最も高く、次いで「行政職員」（87.5%）の順となっている。

（複数回答）



(7) 地域交流

①取組と今後の意向

○地域との交流を図るために取り組んでいることは、「ない」と回答した事業所が62.5%となっている。

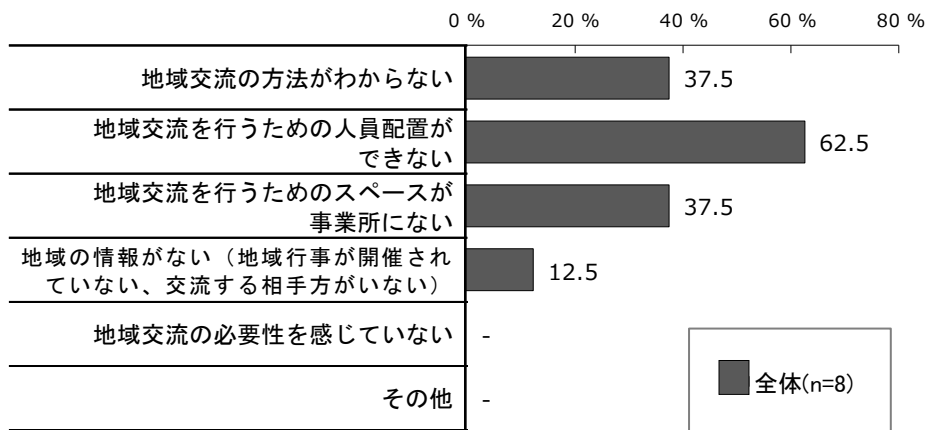
○「ない」と回答した事業所の今後の取組予定は、「検討中」が60.0%となっている。

	(%)		⇒	(%)				
	ある	ない		ある	検討中	ない	その他	
全体(n=8)	37.5	62.5		20.0	60.0	20.0	0.0	

②地域交流の課題

○地域交流を進める上での課題は、「地域交流を行うための人員配置ができない」(62.5%)が最も高く、次いで「地域交流の方法がわからない」および「地域交流を行うためのスペースが事務所がない」(ともに37.5%)の順となっている。

(複数回答)



8. 夜間対応型訪問介護

(1) 契約者数等

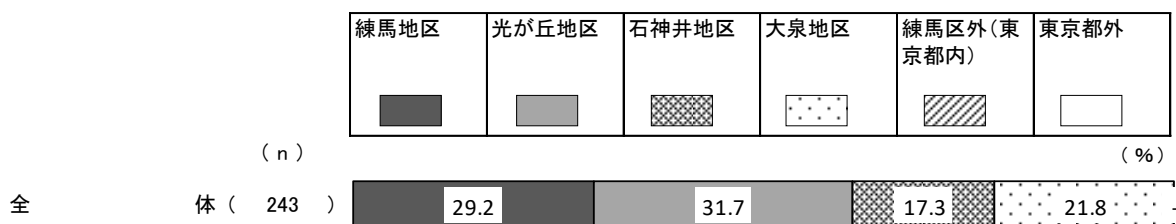
①契約者数

○契約者数は「51～100人」および「151～200人」が最も高く、それぞれ50.0%となっている。

	n	1～50人	51～100人	101～150人	151～200人	201人以上
契約者数	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0

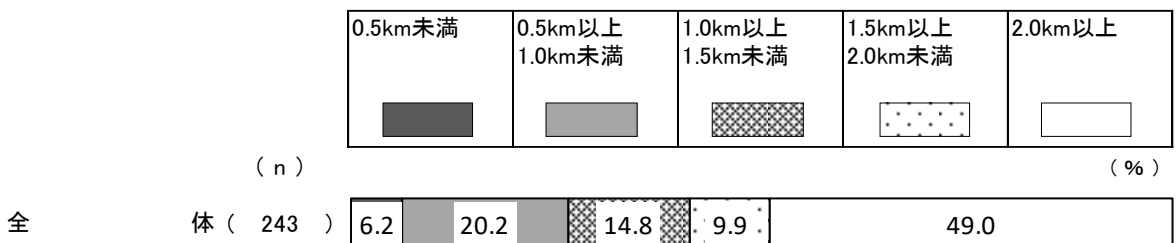
②基本地区別

○契約者数を基本地区別で見ると、「光が丘地区」(31.7%)が最も高く、次いで「練馬地区」(29.2%)の順となっている。



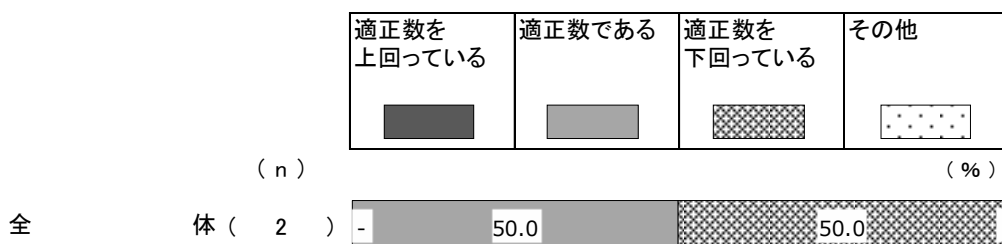
③事業所からの距離別

○契約者数を事業所からの距離別で見ると、「2.0km以上」(49.0%)が最も高く、次いで「0.5km以上1.0km未満」(20.2%)の順となっている。



(2) 利用者数の妥当性

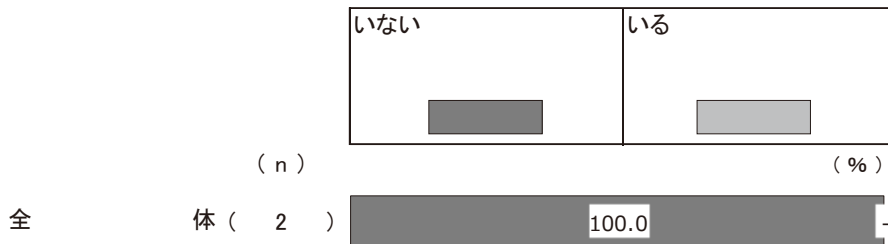
○利用者数の妥当性について、「適正数である」および「適正数を下回っている」がそれぞれ50.0%となっている。



(3) 利用待機者数

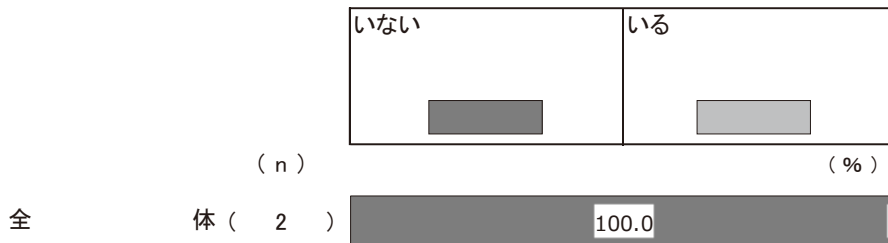
①利用待機者数の有無

○利用待機者は、すべての事業所が「いない」と回答している。



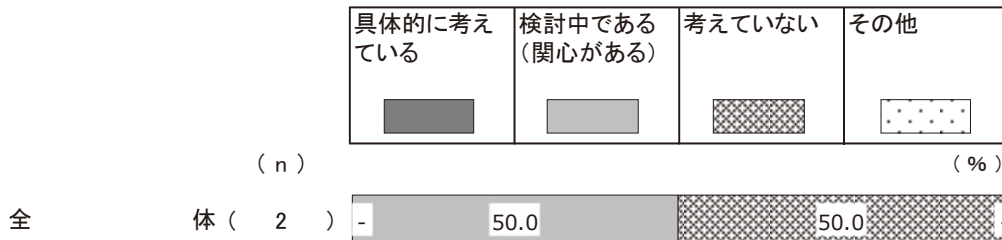
②定員上限による断りの実態

○定員上限により利用を断った方は、すべての事業所が「いない」と回答している。



(4) 今後の事業拡大の検討状況

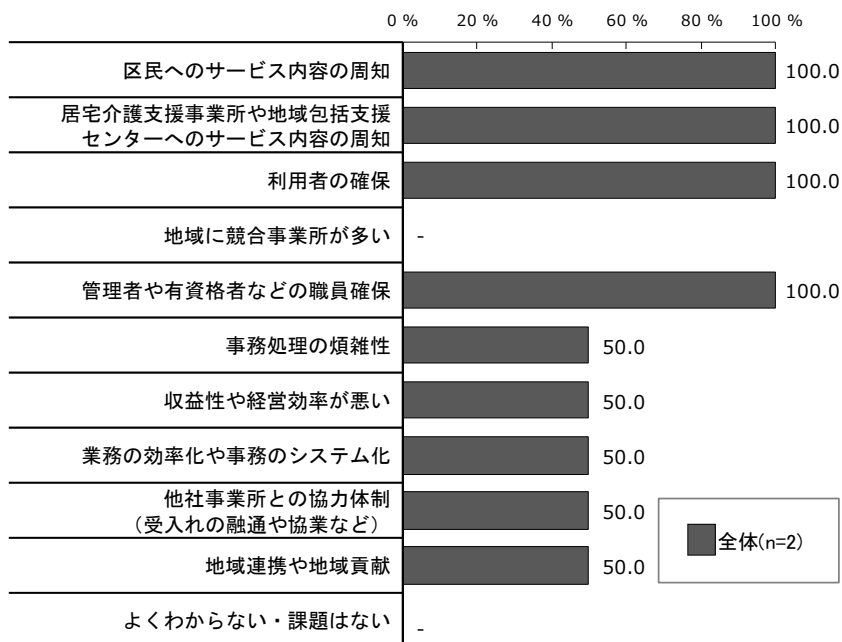
○今後の事業拡大について、「具体的に考えている」および「検討中である（関心がある）」がそれぞれ50.0%となっている。



(5) 事業所運営の課題

○事業所運営の課題は、「区民へのサービス内容の周知」、「居宅介護支援事業所や地域包括支援センターへのサービス内容の周知」、「利用者の確保」および「管理者や有資格者などの職員確保」が最も高く、100.0%となっている。

(複数回答)



(6) 地域交流の取組状況

①取組と今後の意向

○地域との交流を図るために取り組んでいることは「ある」および「ない」と回答した事業所がそれぞれ50.0%となっている。

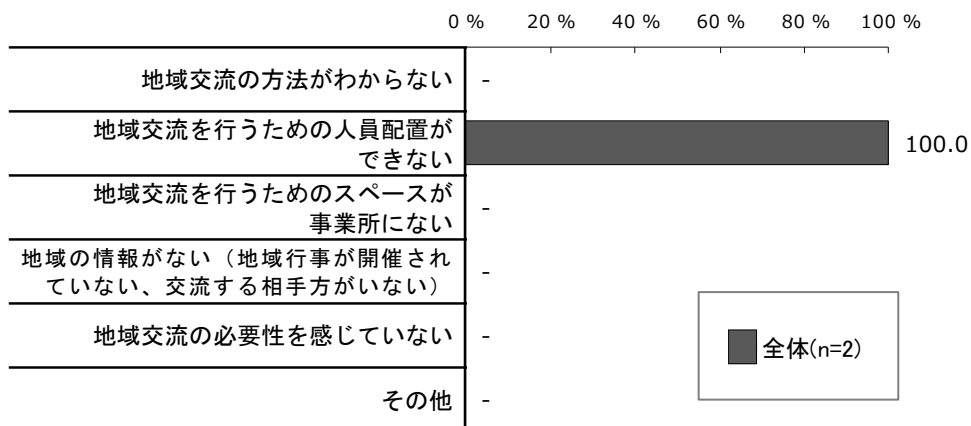
○「ない」と回答した事業所の今後の取組予定は、「検討中」となっている。

(%)			(%)					
	ある	ない		ある	検討中	ない	その他	
全体(n=2)	50	50	⇒	全体(n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0

②地域交流の課題

○地域交流を進める上での課題は、「地域交流を行うための人員配置ができない」が最も高く、100.0%となっている。

(複数回答)



9. 地域密着型通所介護

(1) 契約者数等

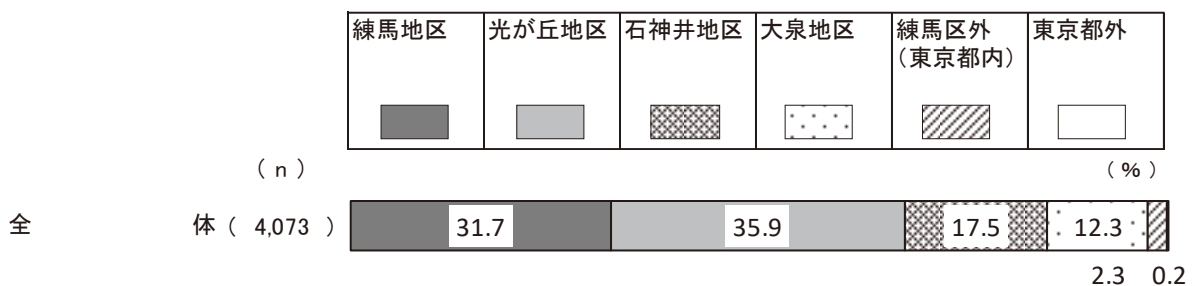
①契約者数

○契約者数は「21人以上」(75.8%)が最も高く、次いで「16～20人」(7.7%)の順となっている。

	n	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21人以上
契約者数	91	3.3	6.6	6.6	7.7	75.8

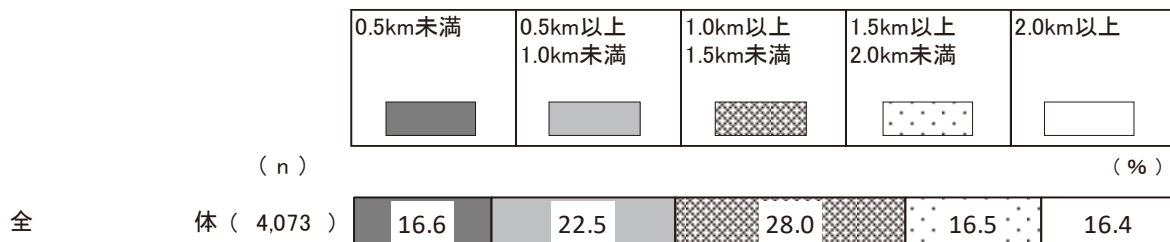
②基本地区別

○契約者数を基本地区別で見ると、「光が丘地区」(35.9%)が最も高く、次いで「練馬地区」(31.7%)の順となっている。



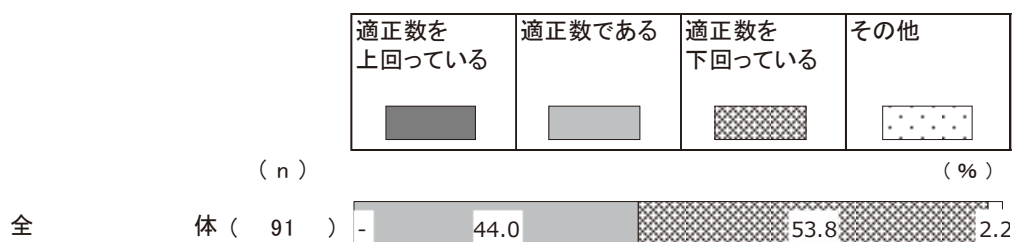
③事業所からの距離別

○契約者数を事業所からの距離別で見ると、「1.0km以上1.5km未満」(28.0%)が最も高く、次いで「0.5km以上1.0km未満」(22.5%)の順となっている。



(2) 利用者数の妥当性

○利用者数の妥当性について、「適正数を下回っている」(53.8%)が最も高く、次いで「適正数である」(44.0%)の順となっている。

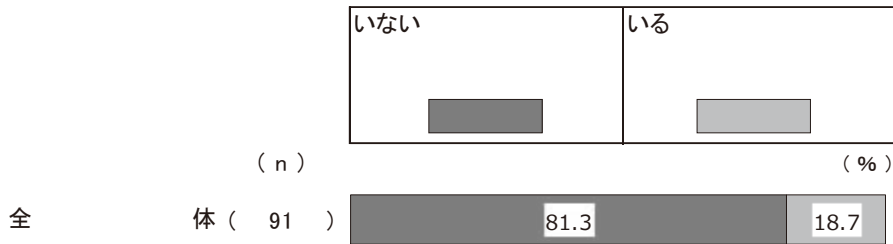


(3) 利用待機者数

①利用待機者数の有無

○利用待機者は、「いない」と回答した事業所が81.3%となっている。

○「いる」と回答した事業所の待機者数は、「2～3人」が70.6%となっている。

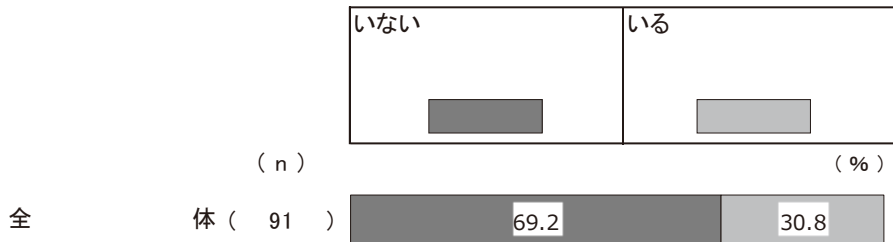


	n	1人	2～3人	4～5人	6～9人	10人以上
利用待機者数	17	23.5	70.6	0.0	5.9	0.0

②定員上限による断りの実態

○定員上限により利用を断った方は、「いない」と回答した事業所が69.2%となっている。

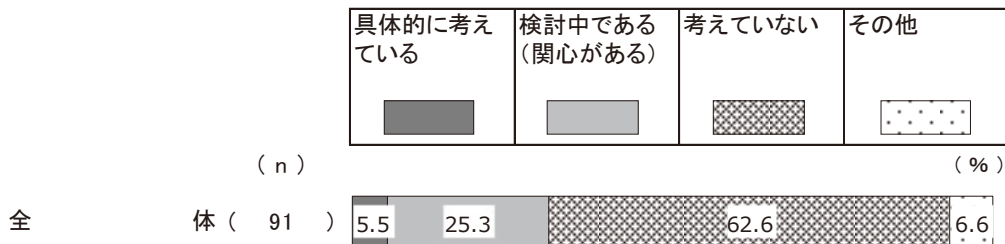
○「いる」と回答した事業所で、定員上限により断った方は「2～3人」が39.3%となっている。



	n	1人	2～3人	4～5人	6～9人	10人以上
定員上限による断り数	28	10.7	39.3	25.0	17.9	7.1

(4) 今後の事業拡大の検討状況

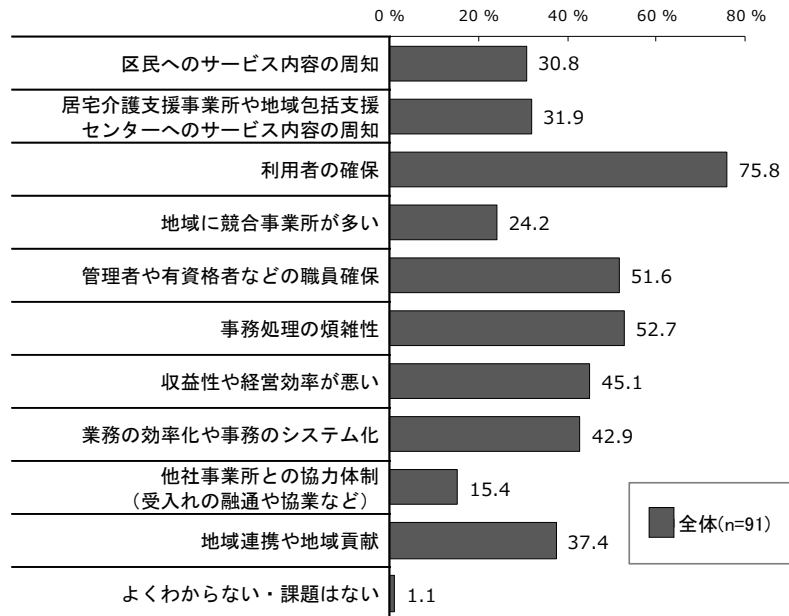
○今後の事業拡大について、「考えていない」(62.6%)が最も高く、次いで「検討中である(関心がある)」(25.3%)の順となっている。



(5) 事業所運営の課題

○事業所運営の課題は、「利用者の確保」(75.8%)が最も高く、次いで「事務処理の煩雑性」(52.7%)の順となっている。

(複数回答)



(6) 運営推進会議について

①開催状況 (令和7年度)

○運営推進会議の開催数は、「2回」(70.3%)が最も高く、次いで「1回」(26.4%)の順となっている。

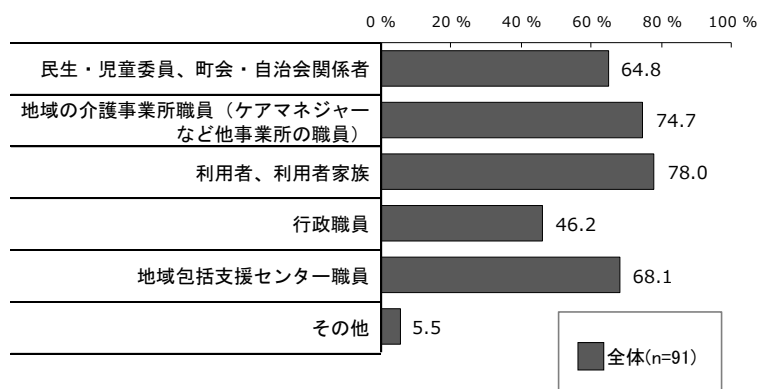
	n	0回	1回	2回	3~4回	5~6回
運営推進会議の開催数	91	2.2	26.4	70.3	1.1	0.0

※おおむね6か月に1回以上開催することとされているが、調査回答時点での開催数を回答している事業所がある。

②参加者の属性

○運営推進会議の参加者は、「利用者、利用者家族」(78.0%)が最も高く、次いで「地域の介護事業所職員 (ケアマネジャーなど他事業所の職員)」(74.7%)の順となっている。

(複数回答)



(7) 地域交流の取組状況

①取組と今後の意向

○地域との交流を図るために取り組んでいることは、「ない」と回答した事業所が50.5%となっている。

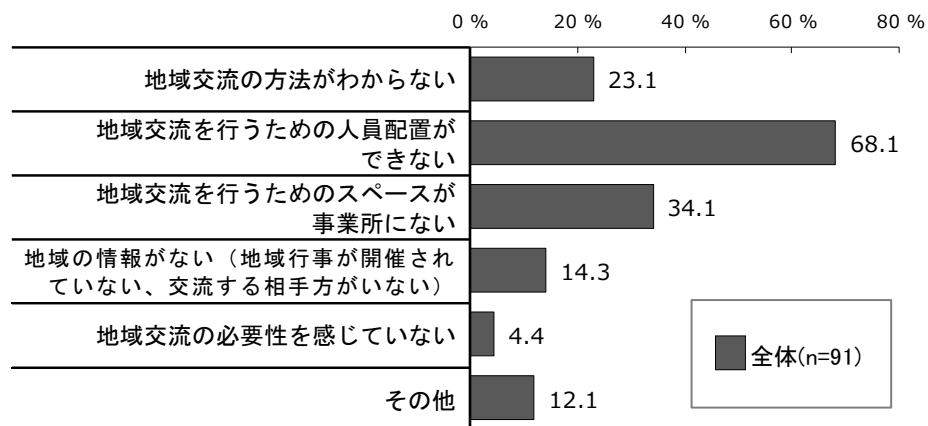
○「ない」と回答した事業所の今後の取組予定は、「検討中」が60.9%となっている。

	(%)		⇒	(%)				
	ある	ない		ある	検討中	ない	その他	
全体(n=91)	49.5	50.5		10.9	60.9	23.9	4.3	

②地域交流の課題

○地域交流を進める上での課題は、「地域交流を行うための人員配置ができない」(68.1%)が最も高く、次いで「地域交流を行うためのスペースが事業所にない」(34.1%)の順となっている。

(複数回答)



10. 認知症対応型通所介護

(1) 契約者数等

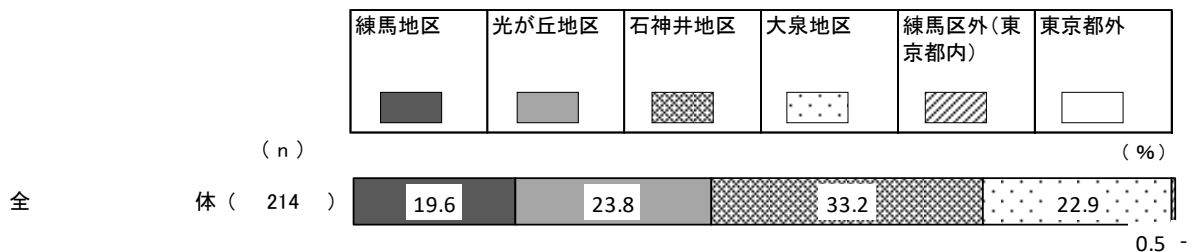
①契約者数

○契約者数は「21人以上」(50.0%)が最も高く、次いで「16人～20人」(30.0%)の順となっている。

	n	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21人以上
契約者数	10	10.0	0.0	10.0	30.0	50.0

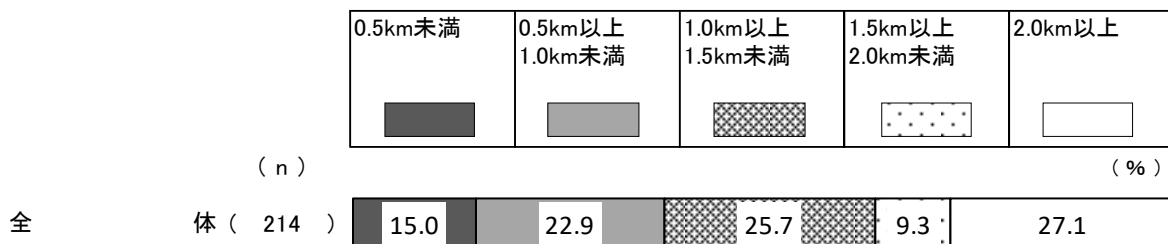
②基本地区別

○契約者数を基本地区別で見ると、「石神井地区」(33.2%)が最も高く、次いで「光が丘地区」(23.8%)の順となっている。



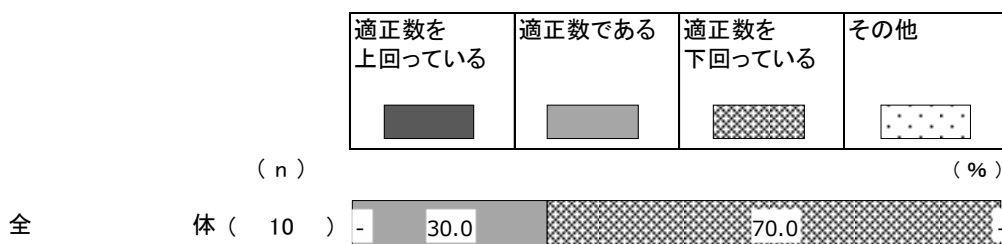
③事業所からの距離別

○契約者数を事業所からの距離別で見ると、「2.0km以上」(27.1%)が最も高く、次いで「1.0km以上1.5km未満」(25.7%)の順となっている。



(2) 利用者数の妥当性

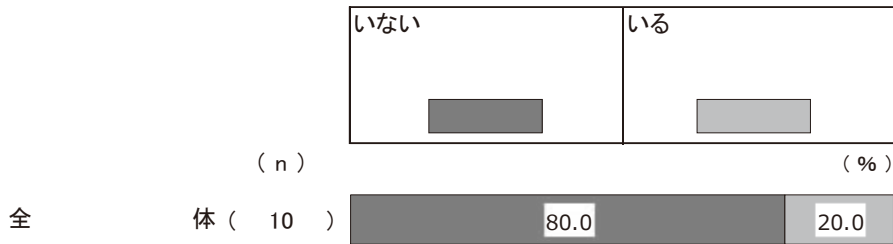
○利用者数の妥当性について、「適正数を下回っている」(70.0%)が最も高く、次いで「適正数である」(30.0%)の順となっている。



(3) 利用待機者数

①利用待機者数の有無

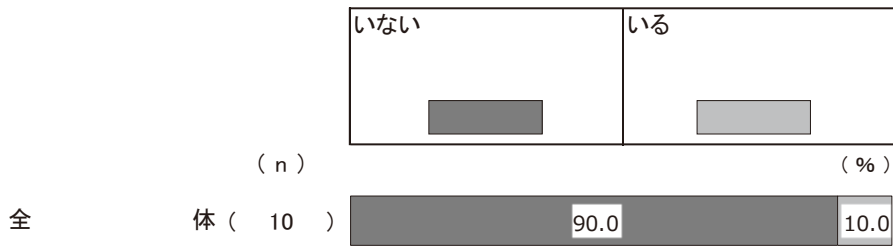
- 利用待機者は「いない」と回答した事業所が80.0%となっている。
- 「いる」と回答した事業所の待機者数は「1人」が100.0%となっている。



	n	1人	2~3人	4~5人	6~9人	10人以上
利用待機者数	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

②定員上限による断りの実態

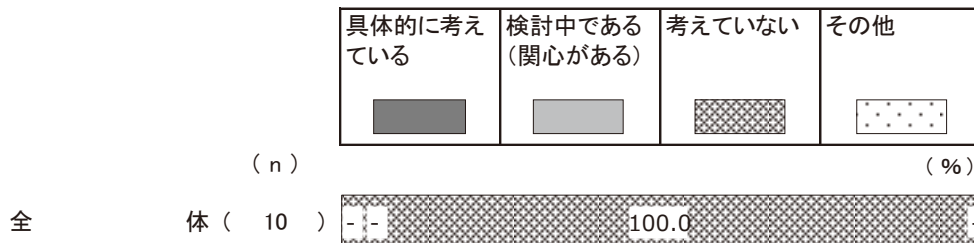
- 定員上限により利用を断った方は「いない」と回答した事業所が90.0%となっている。
- 「いる」と回答した事業所の定員上限により断った方は、「10人以上」となっている。



	n	1人	2~3人	4~5人	6~9人	10人以上
定員上限による断り数	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

(4) 今後の事業拡大の検討状況

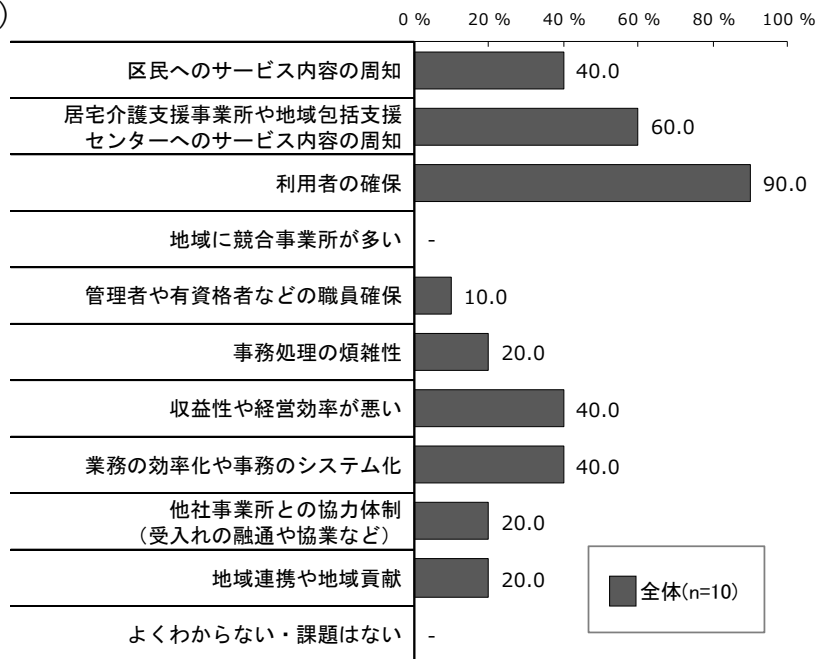
- 今後の事業拡大について、すべての事業所が「考えていない」と回答している。



(5) 事業所運営の課題

○事業所運営の課題は、「利用者の確保」(90.0%)が最も高く、次いで「居宅介護支援事業所や地域包括支援センターへのサービス内容の周知」(60.0%)の順となっている。

(複数回答)



(6) 運営推進会議について

①開催状況(令和7年度)

○運営推進会議の開催数は、「2回」(70.0%)が最も高く、次いで「1回」(30.0%)の順となっている。

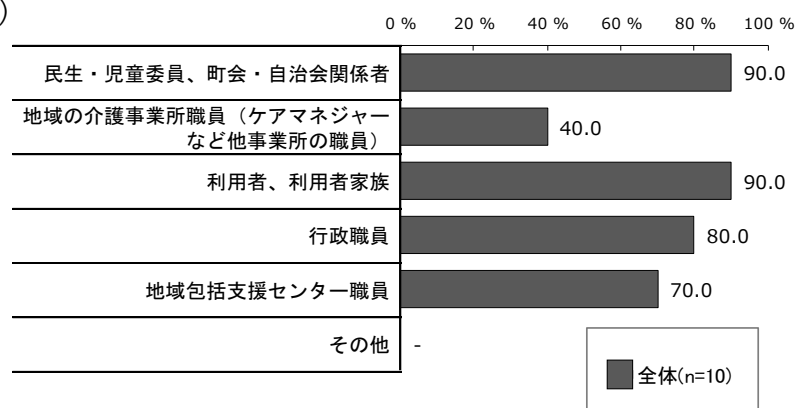
	n	0回	1回	2回	3~4回	5~6回
運営推進会議の開催数	10	0.0	30.0	70.0	0.0	0.0

※おおむね6か月に1回以上開催することとされているが、調査回答時点での開催数を回答している事業所がある。

②参加者の属性

○運営推進会議の参加者は、「民生・児童委員、町会・自治会関係者」および「利用者、利用者家族」(ともに90.0%)が最も高く、次いで「行政職員」(80.0%)の順となっている。

(複数回答)



(7) 地域交流の取組状況

①取組と今後の意向

○地域との交流を図るために取り組んでいることは、「ある」と回答した事業所が80.0%となっている。

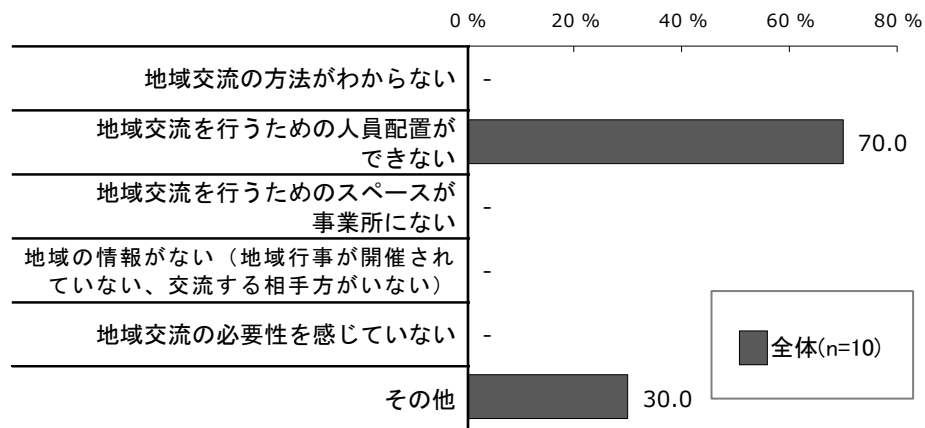
○「ない」と回答したいずれの事業所も、今後の取組予定は「検討中」としている。

	(%)		⇒	(%)				
	ある	ない		ある	検討中	ない	その他	
全体(n=10)	80.0	20.0		0.0	100.0	0.0	0.0	

②地域交流の課題

○地域交流を進める上での課題は、「地域交流を行うための人員配置ができない」(70.0%)が最も高く、次いで「その他」(30.0%)の順となっている。

(複数回答)



11. 小規模多機能型居宅介護

(1) 契約者数等

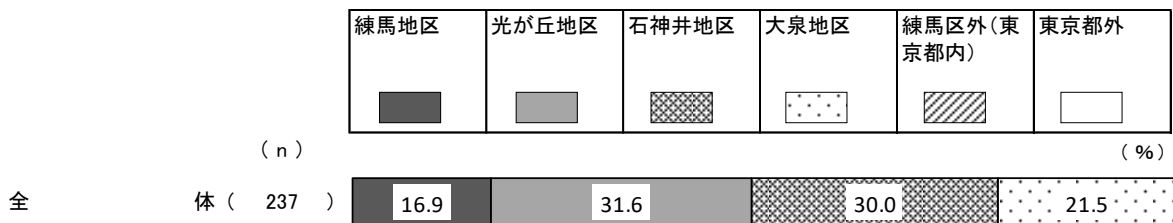
①契約者数

○契約者数は「21人以上」(46.2%)が最も高く、次いで「16~20人」(38.5%)の順となっている。

	n	1~5人	6~10人	11~15人	16~20人	21人以上
契約者数	13	7.7	0.0	7.7	38.5	46.2

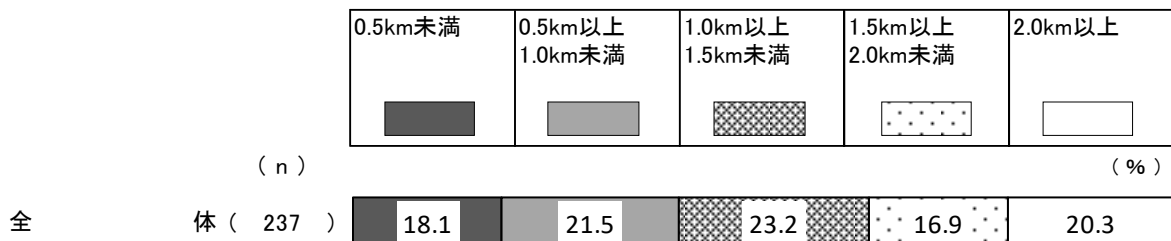
②基本地区別

○契約者数を基本地区別で見ると、「光が丘地区」(31.6%)が最も高く、次いで「石神井地区」(30.0%)の順となっている。



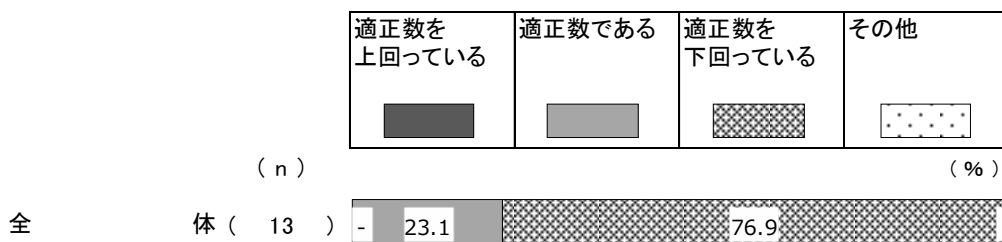
③事業所からの距離別

○契約者数を事業所からの距離別で見ると、「1.0km以上1.5km未満」(23.2%)が最も高く、次いで「0.5km以上1.0km未満」(21.5%)の順となっている。



(2) 利用者数の妥当性

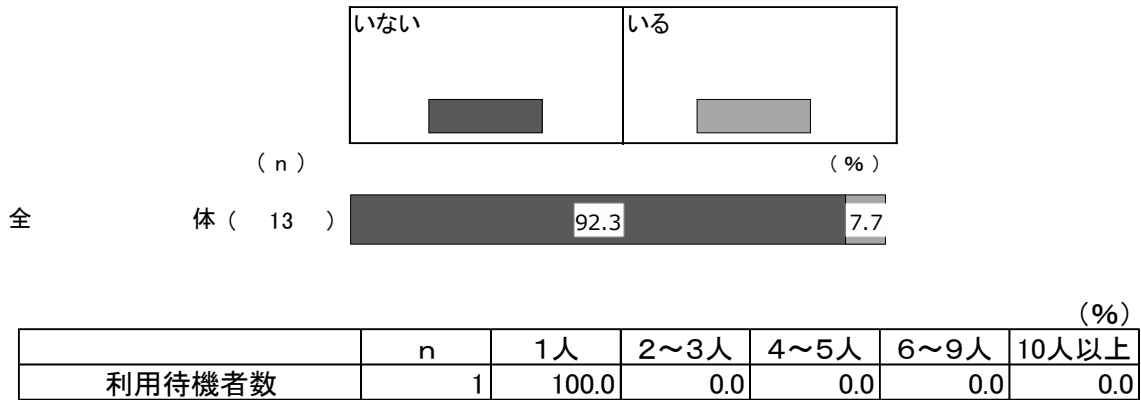
○利用者数の妥当性について、「適正数を下回っている」(76.9%)が最も高く、次いで「適正数である」(23.1%)の順となっている。



(3) 利用待機者数

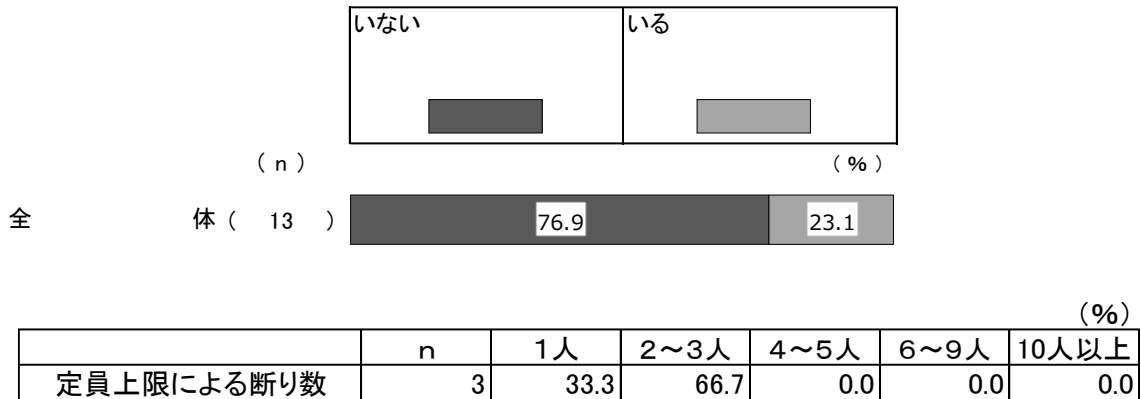
①利用待機者数の有無

- 利用待機者は、「いない」と回答した事業所が92.3%となっている。
- 「いる」と回答した事業所の待機者数は、「1人」となっている。



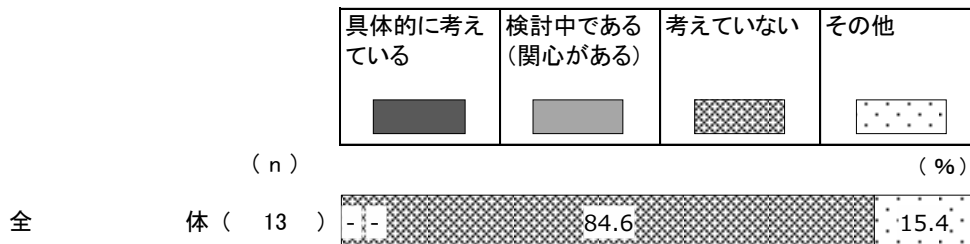
②定員上限による断りの実態

- 定員上限により利用を断った方は、「いない」と回答した事業所が76.9%となっている。
- 「いる」と回答した事業所で、定員上限により断った方は「2~3人」が66.7%となっている。



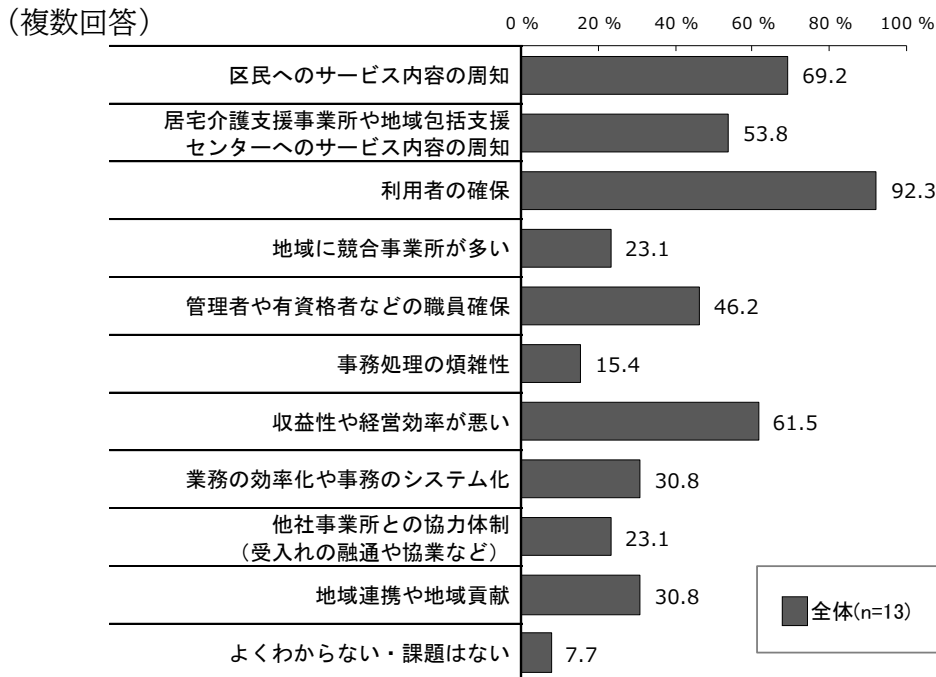
(4) 今後の事業拡大の検討状況

- 今後の事業拡大について、「考えていない」(84.6%)が最も高く、次いで「その他」(15.4%)の順となっている。



(5) 事業所運営の課題

○事業所運営の課題は、「利用者の確保」(92.3%)が最も高く、次いで「区民へのサービス内容の周知」(69.2%)の順となっている。



(6) 運営推進会議について

①開催状況(令和7年度)

○運営推進会議の開催数は、「5～6回」(84.6%)が最も高く、次いで「3～4回」(15.4%)の順となっている。

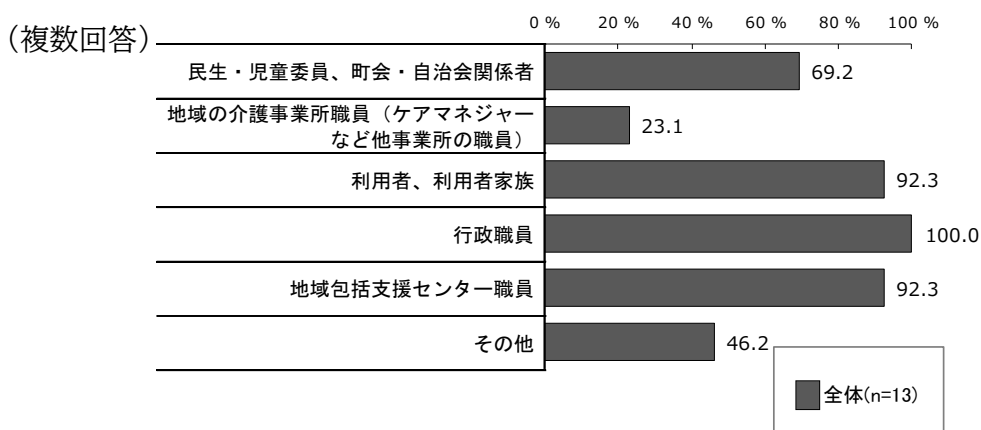
	n	0回	1回	2回	3～4回	5～6回
運営推進会議の開催数	13	0.0	0.0	0.0	15.4	84.6

(%)

※おおむね6か月に1回以上開催することとされているが、調査回答時点での開催数を回答している事業所がある。

②参加者の属性

○運営推進会議の参加者は、「行政職員」(100.0%)が最も高く、次いで「利用者、利用者家族」および「地域包括支援センター職員」(ともに92.3%)の順となっている。



(7) 地域交流の取組状況

①取組と今後の意向

○地域との交流を図るために取り組んでいることは、「ある」と回答した事業所が92.3%となっている。

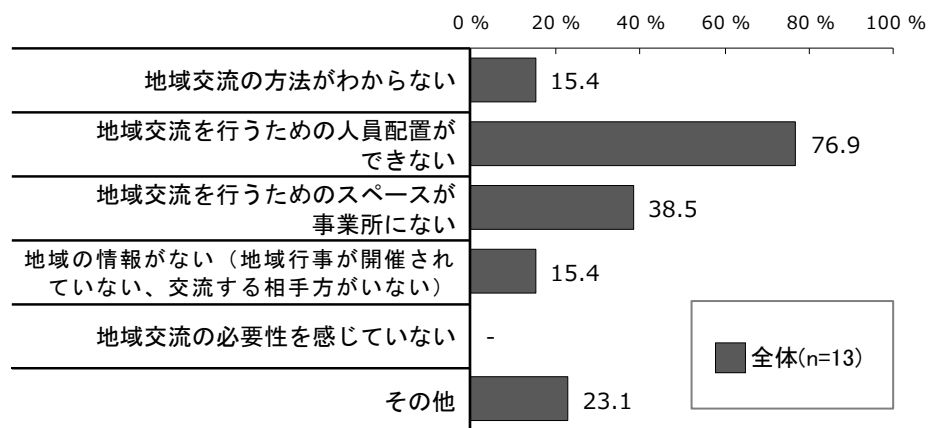
○「ない」と回答した事業所の今後の取組予定は、「検討中」となっている。

(%)			(%)					
	ある	ない		ある	検討中	ない	その他	
全体(n=13)	92.3	7.7	⇒	全体(n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0

②地域交流の課題

○地域交流を進める上での課題は、「地域交流を行うための人員配置ができない」(76.9%)が最も高く、次いで「地域交流を行うためのスペースが事務所にない」(38.5%)の順となっている。

(複数回答)



12. 看護小規模多機能型居宅介護

(1) 契約者数等

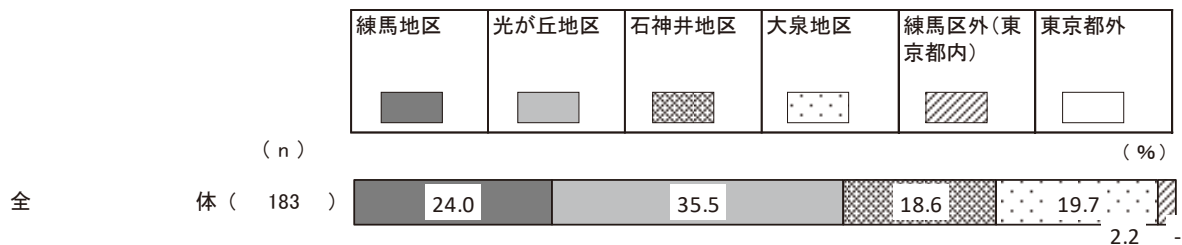
① 契約者数

○契約者数は「16～20人」(50.0%)が最も高く、次いで「21人以上」(30.0%)の順となっている。

	n	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21人以上
契約者数	10	0.0	10.0	10.0	50.0	30.0

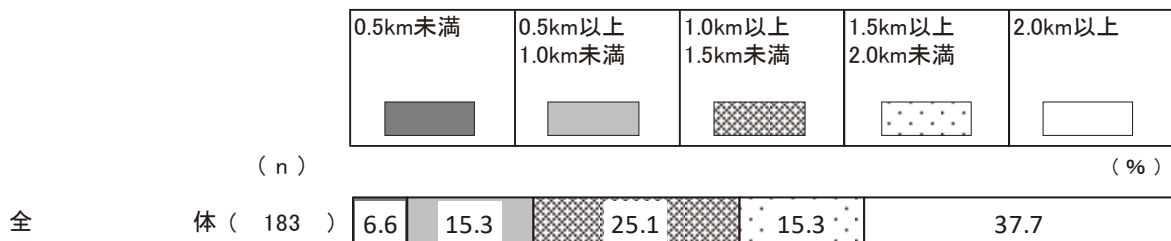
② 基本地区別

○契約者数を基本地区別で見ると、「光が丘地区」(35.5%)が最も高く、次いで「練馬地区」(24.0%)の順となっている。



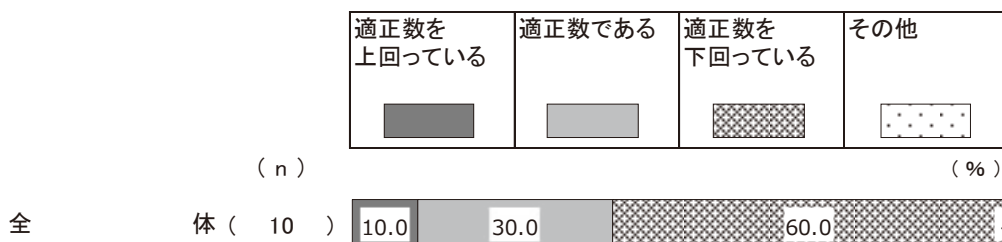
③ 事業所からの距離別

○契約者数を事業所からの距離別で見ると、「2.0km以上」(37.7%)が最も高く、次いで「1.0km以上1.5km未満」(25.1%)の順となっている。



(2) 利用者数の妥当性

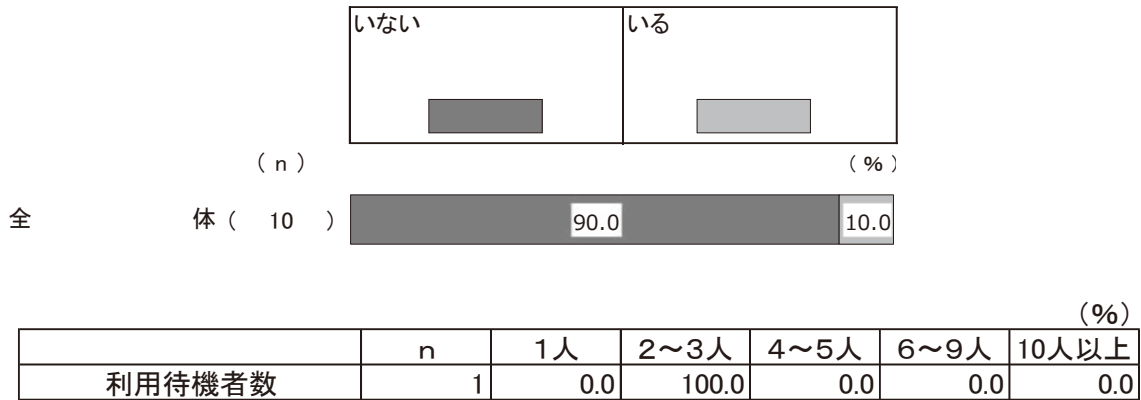
○利用者数の妥当性について、「適正数を下回っている」(60.0%)が最も高く、次いで「適正数である」(30.0%)の順となっている。



(3) 利用待機者数

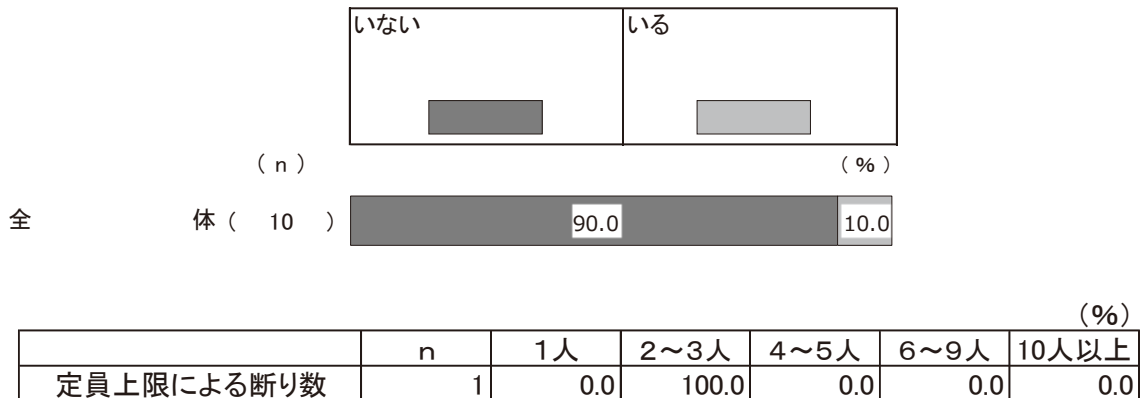
①利用待機者数の有無

- 利用待機者は、「いない」と回答した事業所が90.0%となっている。
- 「いる」と回答した事業所の待機人数は、「2～3人」が100.0%となっている。



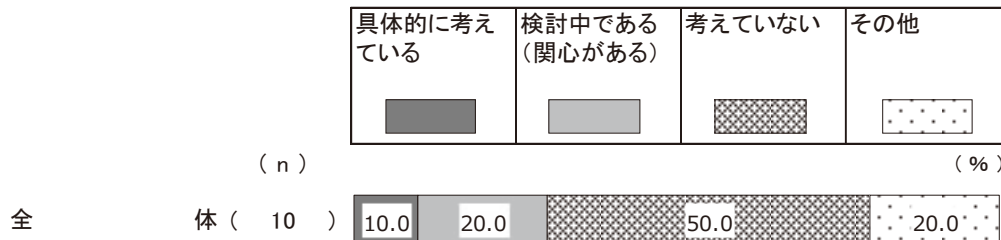
②定員上限による断りの実態

- 定員上限により利用を断った方は、「いない」と回答した事業所が90.0%となっている。
- 「いる」と回答した事業所の定員上限により断った方は、「2～3人」となっている。



(4) 今後の事業拡大の検討状況

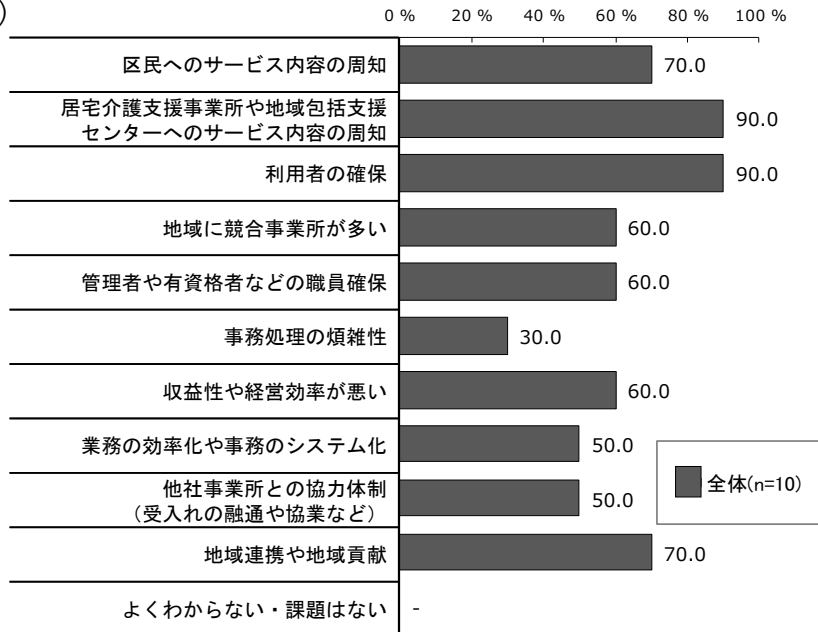
- 今後の事業拡大について、「考えていない」(50.0%)が最も高く、次いで「検討中である(関心がある)」および「その他」(ともに20.0%)の順となっている。



(5) 事業所運営の課題

○事業所運営の課題は、「居宅介護支援事業所や地域包括支援センターへのサービス内容の周知」および「利用者の確保」（ともに90.0%）が最も高く、次いで「区民へのサービス内容の周知」および「地域連携や地域貢献」（ともに70.0%）の順となっている。

(複数回答)



(6) 運営推進会議について

①開催状況（令和7年度）

○運営推進会議の開催数は、「5～6回」（80.0%）が最も高く、次いで「3～4回」（20.0%）の順となっている。

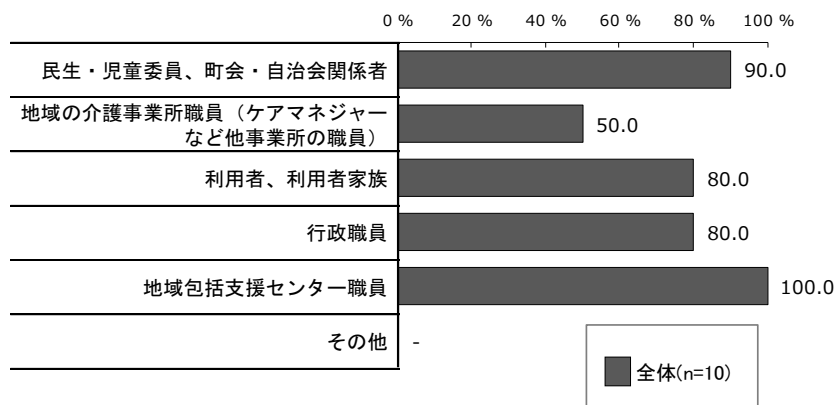
	n	0回	1回	2回	3～4回	5～6回
運営推進会議の開催数	10	0.0	0.0	0.0	20.0	80.0

※おおむね6か月に1回以上開催することとされているが、調査回答時点での開催数を回答している事業所がある。

②参加者の属性

○運営推進会議の参加者は、「地域包括支援センター職員」（100.0%）が最も高く、次いで「民生・児童委員、町会・自治会関係者」（90.0%）の順となっている。

(複数回答)



(7) 地域交流の取組状況

①取組と今後の意向

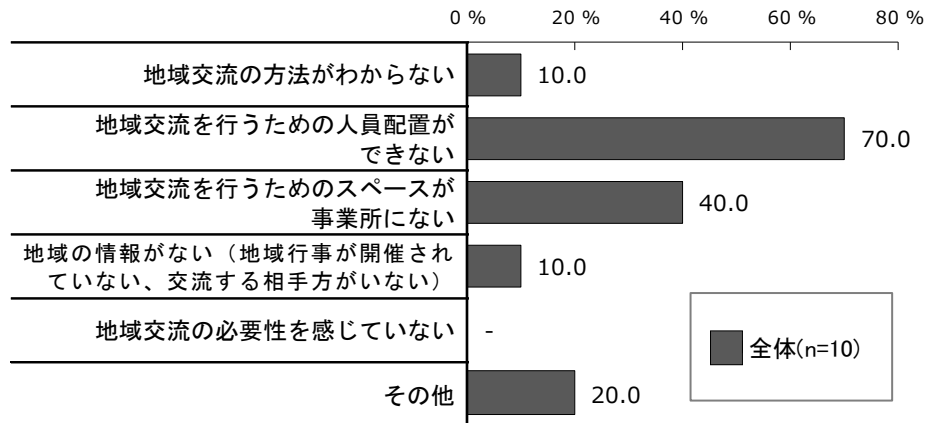
○地域との交流を図るために取り組んでいることは、すべての事業所が「ある」と回答している。

	(%)	
	ある	ない
全体(n=10)	100	0

②地域交流の課題

○地域交流を進める上での課題は、「地域交流を行うための人員配置ができない」(70.0%)が最も高く、次いで「地域交流を行うためのスペースが事務所にない」(40.0%)の順となっている。

(複数回答)



13. 認知症対応型共同生活介護

(1) 契約者数等

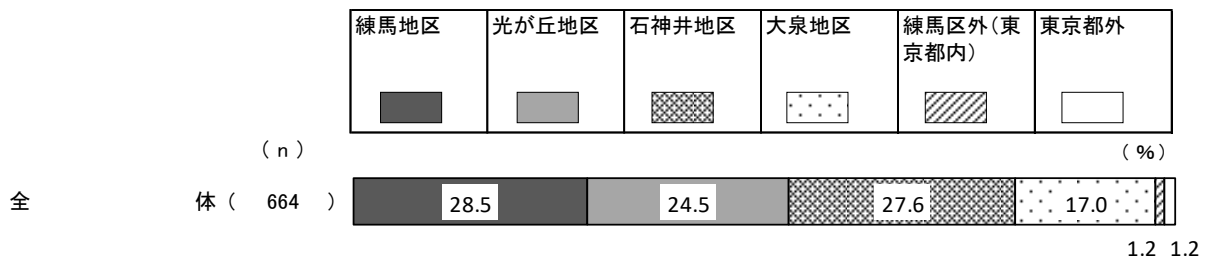
①契約者数

○契約者数は「16～20人」(76.9%)が最も高く、次いで「6～10人」(15.4%)の順となっている。

	n	1～5人	6～10人	11～15人	16～20人	21人以上
契約者数	39	0.0	15.4	0.0	76.9	7.7

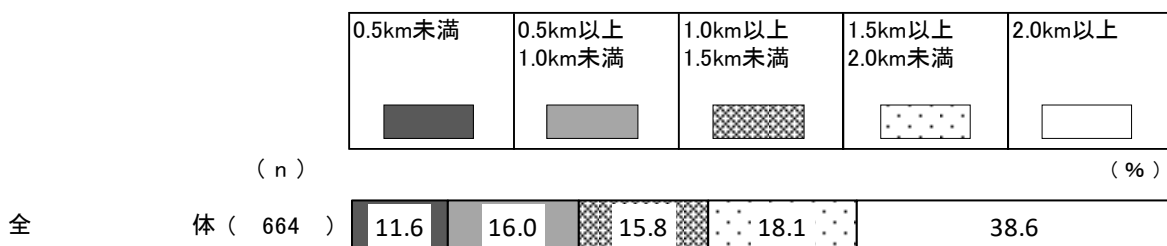
②基本地区別

○契約者数を基本地区別で見ると、「練馬地区」(28.5%)が最も高く、次いで「石神井地区」(27.6%)の順となっている。



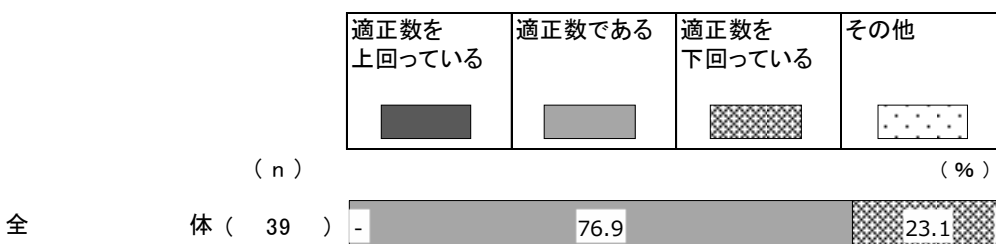
③事業所からの距離別

○契約者数を事業所からの距離別で見ると、「2.0km以上」(38.6%)が最も高く、次いで「1.5km以上2.0km未満」(18.1%)の順となっている。



(2) 利用者数の妥当性

○利用者数の妥当性について、「適正数である」(76.9%)が最も高く、次いで「適正数を下回っている」(23.1%)の順となっている。

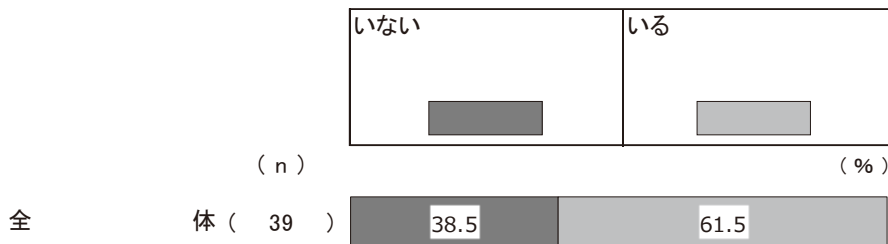


(3) 利用待機者数

①利用待機者数の有無

○利用待機者は、「いる」と回答した事業所が61.5%となっている。

○「いる」と回答した事業所の待機者数は、「2～3人」が37.5%となっている。

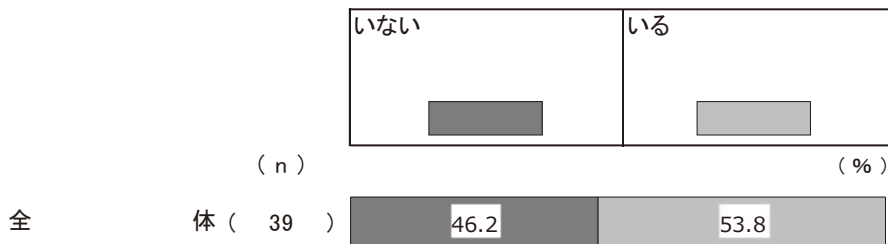


	(%)					
	n	1人	2～3人	4～5人	6～9人	10人以上
利用待機者数	24	20.8	37.5	20.8	16.7	4.2

②定員上限による断りの実態

○定員上限により利用を断った方は、「いる」と回答した事業所が53.8%となっている。

○「いる」と回答した事業所で、定員上限により断った方は「2～3人」が最も高く42.9%となっている。



	(%)					
	n	1人	2～3人	4～5人	6～9人	10人以上
定員上限による断り数	21	19.0	42.9	19.0	14.3	4.8

(4) 退所状況（令和7年実績）

①令和7年中の退所者数

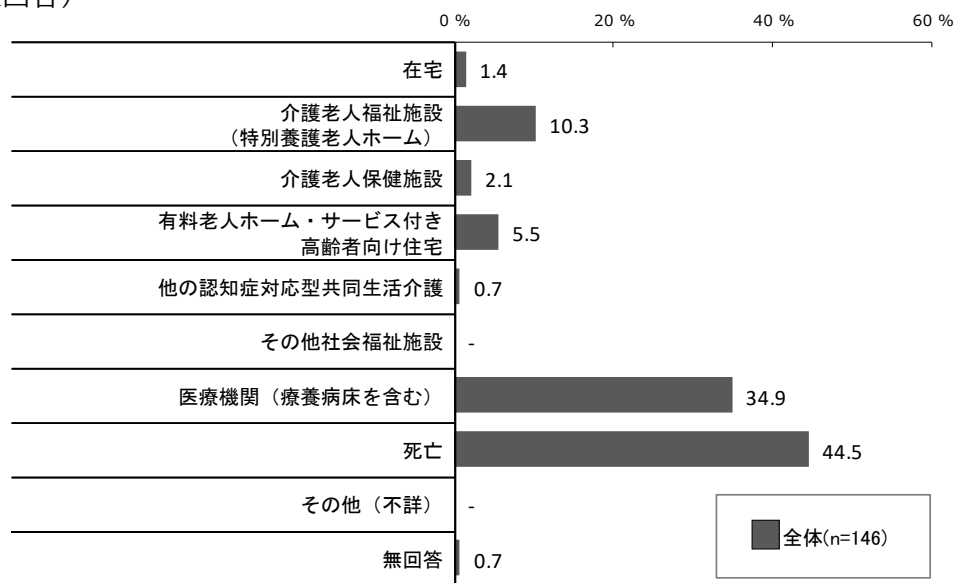
○退所者数は、「2～3人」（33.3%）が最も高く、次いで「4～5人」（25.6%）の順となっている。

(%)							
	n	0人	1人	2～3人	4～5人	6～9人	10人以上
令和7年中の退所者数	39	5.1	15.4	33.3	25.6	17.9	2.6

②退所後の行き先

○退所後の行先について、「死亡」（44.5%）が最も高く、次いで「医療機関（療養病床を含む）」（34.9%）の順となっている。

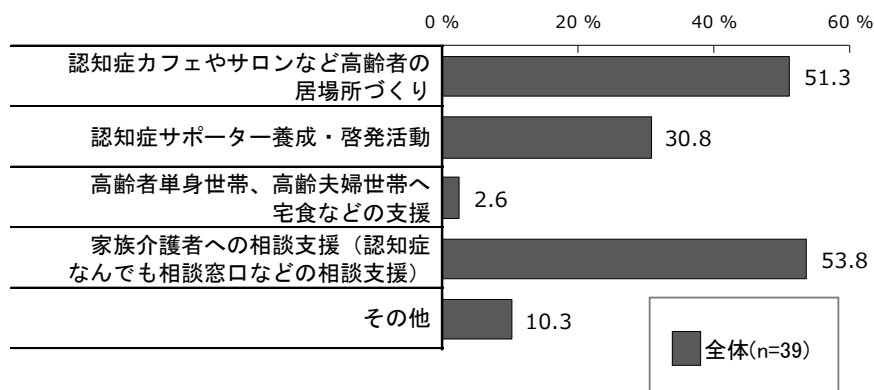
（複数回答）



(5) 多機能化に向けて取り組みたい事業

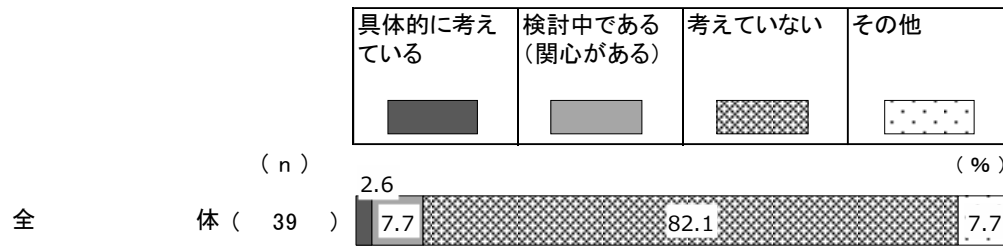
○多機能化に向けて取り組みたい事業について、「家族介護者への相談支援（認知症なんでも相談窓口などの相談支援）」（53.8%）が最も高く、次いで「認知症カフェやサロンなど高齢者の居場所づくり」（51.3%）の順となっている。

（複数回答）



(6) 今後の事業拡大の検討状況

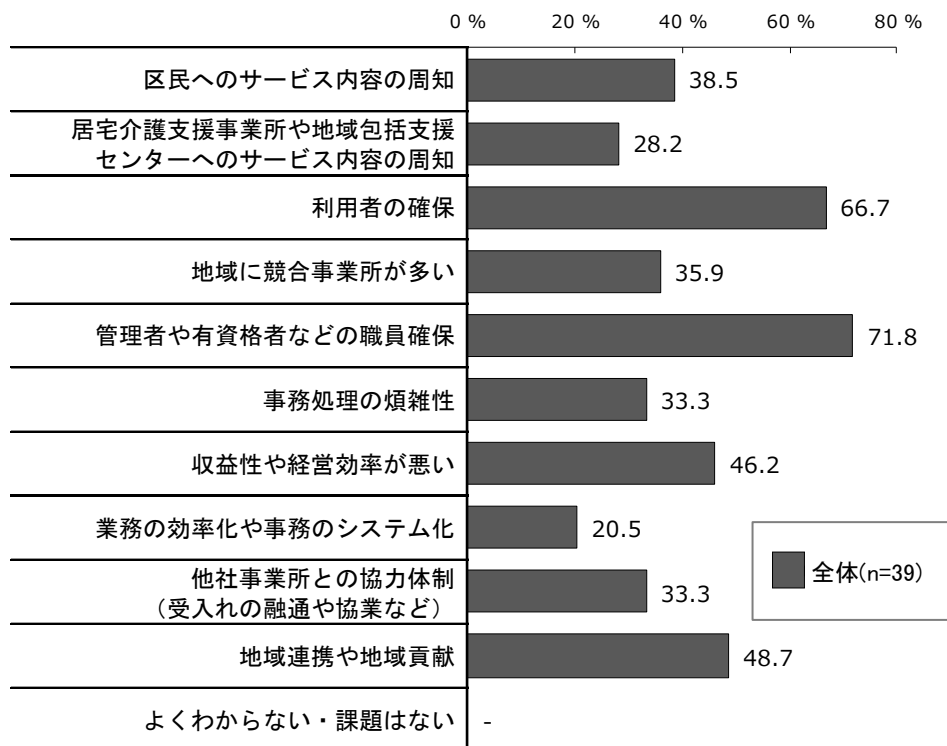
○今後の事業拡大について、「考えていない」(82.1%)が最も高く、次いで「検討中である(関心がある)」および「その他」(ともに7.7%)の順となっている。



(7) 事業所運営の課題

○事業所運営の課題は、「管理者や有資格者などの職員確保」(71.8%)が最も高く、次いで「利用者の確保」(66.7%)の順となっている。

(複数回答)



(8) 運営推進会議について

①開催状況（令和7年度）

○運営推進会議の開催数は、「5～6回」（94.9%）が最も高く、次いで「3～4回」（5.1%）の順となっている。

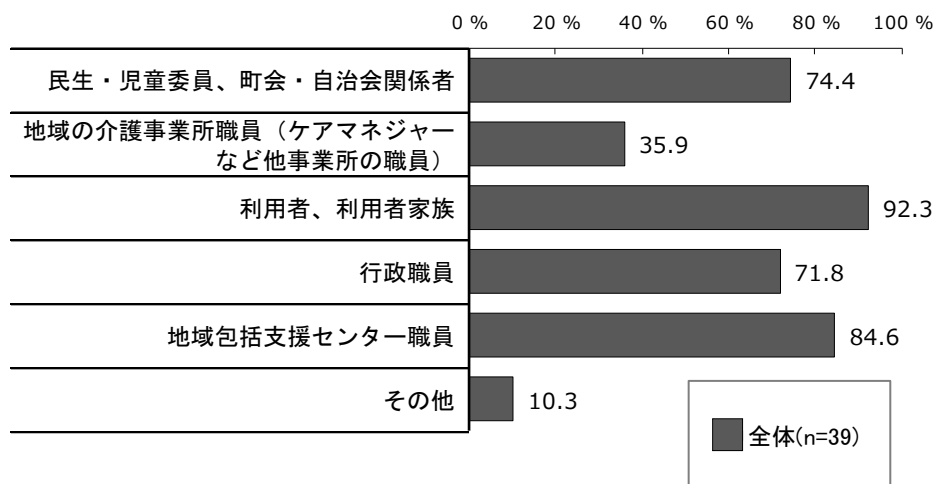
	n	0回	1回	2回	3～4回	5～6回
運営推進会議の開催数	39	0.0	0.0	0.0	5.1	94.9

※おおむね6か月に1回以上開催することとされているが、調査回答時点での開催数を回答している事業所がある。

②参加者の属性

○運営推進会議の参加者は、「利用者、利用者家族」（92.3%）が最も高く、次いで「包括支援センター職員」（84.6%）の順となっている。

（複数回答）



(9) 地域交流の取組状況

①取組と今後の意向

○地域との交流を図るために取り組んでいることは、「ある」と回答した事業所が79.5%となっている。

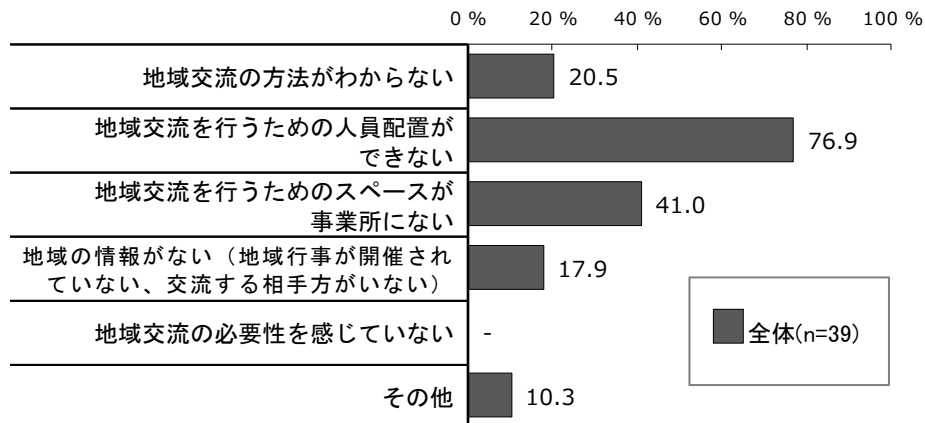
○「ない」と回答した事業所の今後の取組予定は、「検討中」が75.0%となっている。

	(%)		⇒	(%)				
	ある	ない		ある	検討中	ない	その他	
全体(n=39)	79.5	20.5		25.0	75.0	0.0	0.0	

②地域交流の課題

○地域交流を進める上での課題は、「地域交流を行うための人員配置ができない」(76.9%)が最も高く、次いで「地域交流を行うためのスペースが事務所にない」(41.0%)の順となっている。

(複数回答)



第6章 參考資料

練馬区高齢者基礎調査

◆ 調査へのご協力をお願い ◆

日頃から、練馬区政にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。区では、新たな「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定に着手しています。この調査は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、高齢者の方々から、日頃の生活状況や区の高齢者施策に対するご意見・ご希望などをお聞きし、計画に反映するために実施します。

調査の対象者として、区内にお住まいの要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の方々から2,500人、55～64歳の方々から800人を無作為に選び、調査票を送付させていただきます。なお、令和7年10月1日現在の情報を基に調査票を送付しています。転居等により行き違いが生じる場合がありますが、ご了承ください。

本調査で得られた情報につきましては、計画策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。当該情報については、区で適切に管理し、個人が特定される形での公表や、他の目的での使用はいたしません。ご協力くださいますようお願いいたします。

令和7年11月 練馬区

◆ 調査票のご記入にあたって ◆

- この調査票および返信用封筒へのお名前のご記入は不要です。
- 調査票上の「あなた」とは、封筒に印刷されたあて名ご本人を指します。
- できる限り、対象者ご本人がご回答ください。なお、対象者ご本人お一人での回答が難しい場合は、ご家族の方などにお手伝いいただき、対象者ご本人の意見を聞いた上で代わりにご回答ください。
- 紙の調査票（本紙）に直接記入する方法と、オンラインで回答する方法の2種類からいづれかを選択してください（両方回答する必要はありません）。具体的な回答方法は裏面に記載しています。
- 12月12日（金）までに、ご回答ください。

この調査は、株式会社日本能率協会総合研究所に委託して実施しています。調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【調査委託元】 練馬区 高齢施策担当部 高齢社会対策課 計画係

【調査実施・お問い合わせ先】

株式会社日本能率協会総合研究所 福祉・医療・労働政策研究部

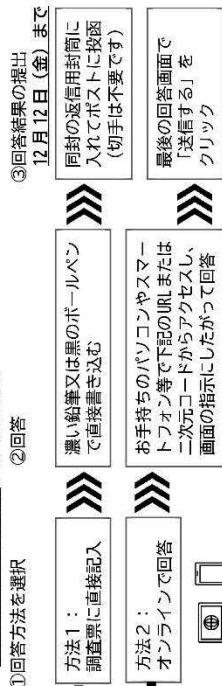
電話：0120-550-156（フリーダイヤル）

（受付：10時～12時、13時～17時（12月15日（月）までのいずれも平日））

メールアドレス：h.policy@mar.co.jp

◆ 回答方法 ◆

●回答方法は、紙の調査票に直接記入する方法と、オンラインで回答する方法の2種類からいづれかを選択してください。



【方法1：調査票に直接記入】の方

1. 黒い鉛筆又は黒のボールペンでこの調査票に直接書き込んでください。
 - 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。質問文にある「○は1つ」「あてはまるものすべてに○」などの指示にしたがってご回答ください。また、ご意見や数字などを直接ご記入いただく質問もあります。
 - 質問の回答が、「その他」にあてはまる場合は、() 内になるべく具体的にその内容をご回答ください。
2. ご記入いただきましたら、12月12日（金）までに、同封の返信用封筒にてご返送ください。切手は不要です。そのままご投函ください。

【方法2：オンラインで回答】の方

1. お手持ちのパソコンやスマートフォン等で下記のURLを入力いただくか、あるいは二次元コードを読み取ってください。

URL : <https://rdc.dstyleweb.com/mgc3/j8it38/>

2. 最初の画面でIDとパスワードを入力してください。
 - ※ID、パスワードは、ランダムに振り分けられており、個人の特定はできませんので、安心してご回答ください。

ID : _____ パスワード : _____

3. 画面の指示にしたがって回答してください。
 - 回答は、あてはまる選択肢のチェックボックスをクリックしてください。質問文にある「○は1つ」「あてはまるものすべてに○」などの指示にしたがってご回答ください。また、ご意見や数字などを直接入力いただく質問もあります。
 - 質問の回答が、「その他」にあてはまる場合は、() 内になるべく具体的にその内容を入力してください。
4. 最後の回答画面で「送信する」をクリックすると回答完了です。12月12日（金）までに、回答を完了してください。

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

- 1 あて名のご本人が記入
- 2 ご家族が記入 (あて名のご本人からみられた続柄)
- 3 その他 ()

◆あなたのご家族や生活状況について

問1 あなたの性別と、令和7年10月1日現在の満年齢を教えてください。

① 性別 (○は1つ) ② 年齢 (右詰めで記入)

1 男性 2 女性 歳

問2 あなたのお住まいはどちらですか。記入例のように、町名と丁目をご記入ください。

町名 丁目
 (記入例) 町名 光が丘 3 丁目

問3 家族構成をお教えてください。(○は1つ)

- 1 1人暮らし
- 2 夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)
- 3 夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)
- 4 子との2世帯
- 5 親との2世帯
- 6 親・子との3世帯
- 7 その他 ()

問4 あなたは、高齢者(65歳以上)の家族や親せき等の介護をしていますか。(○は1つ)

- 1 主たる介護者として、同居の家族等を介護している
- 2 主たる介護者ではないが、同居の家族等を介護している
- 3 主たる介護者として、別居の家族等を介護している
- 4 主たる介護者ではないが、別居の家族等を介護している
- 5 介護はしていない

問5 現在、あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。(○は1つ)

- 1 いる
- 2 いない (→問6へ進む)

(問5で、「1 いる」とお答えの方におたずねします。)

問5-1 あなたは、ご自身の子どものごこと、心配ごとが何かありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 子どもの仕事
- 2 子どもの家庭環境 (配偶者など家族との関係など)
- 3 子どもの経済状態
- 4 子どもの病氣・障害
- 5 子どものひきこもり
- 6 子どもによる暴力・暴言
- 7 その他 ()
- 8 特にない (→問6へ進む)

(問5-1で、1～7 (何らかの心配ごとがある)とお答えの方におたずねします。)

問5-1-1 ご自身の子どものご心配ごとについて、周囲に相談していますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 家族・親族
- 2 知人・友人
- 3 近所の人
- 4 警察
- 5 医療機関
- 6 保健相談所
- 7 地域包括支援センター
- 8 総合福祉事務所 (区役所)
- 9 その他 ()
- 10 相談していない
- 11 相談先がわからない

(すべての方におたずねします。)

問6 現在の暮らしの状況を経済的にみてどのよう感じていますか。(○は1つ)

- 1 大変苦しい
- 2 やや苦しい
- 3 ぶつう
- 4 ややゆとりがある
- 5 大変ゆとりがある

◆住まいについて

問7 あなたは現在どこで生活していますか。(○は1つ)

- 1 持家
- 2 賃貸住宅(高齢者向けの住宅、施設を除く)
- 3 シルバーピア
- 4 サービス付き高齢者向け住宅
- 5 都市型軽費老人ホーム
- 6 住宅型有料老人ホーム
- 7 介護付き有料老人ホーム
- 8 その他 ()

【高齢者向けの住宅・施設の用語説明一覧】

区分	施設などの名称	概要
住宅	①シルバークリア	バリアフリー化され、緊急通報システムなどが備わっている単身の高齢者または高齢者のみの世帯を対象とした賃貸住宅。
	②サービス付き高齢者向け住宅	バリアフリー化され、安否確認サービス、緊急時対応サービス、生活相談サービスなどの付いた高齢者向けの賃貸住宅。
施設	③都市型軽費老人ホーム	食事や安否確認のサービスが付いた、身体機能の低下などにより自立した生活に不安がある低所得の高齢者を対象とした施設。
	④住宅型	食事などの日常生活上のサービスは付くが、介護保険サービスは別契約で外部の事業所を利用する有料老人ホーム。
	⑤介護付き	介護保険サービスなどが付いた有料老人ホーム。介護が必要になって有料老人ホームも、そのホームが提供する介護保険サービスなどを利用できる。

問8 あなたは、これまで住まいへの入居を断られたことがありますか。(○は1つ)

- 1 ある
- 2 ない (→問9へ進む)

(問8で、「1 ある」とお答えの方におたずねします。)

問8-1 どのような理由で入居を断られましたか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 家族・親族が高齢のため 2 万一の時の身元引受人がいらないため)
 3 家賃の連帯保証人がいないため 4 その他 ()
 5 わからない

(すべての方におたずねします。)

問9 将来の住まいに関して、不安に感じていることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 高齢期の賃貸を断られる
 2 高齢期の賃貸を断られる以外で転居先が決まらない
 3 虚弱化した(身体が弱ってきた)ときの住居の構造
 4 世話をしてくれる人の存在
 5 家賃等を払い続けられない
 6 住宅の修繕費等必要な経費を払えなくなる
 7 現在住んでいる施設・住宅の建物が老朽化し、住み替えが必要になる
 8 その他 ()
 9 特にない

問10 介護が必要になった場合にどのような暮らし方を希望しますか。(○は1つ)

- 1 自宅で、介護保険のサービスを中心に利用したい
 2 自宅で、家族や親族などからの介護を中心に受けたい
 3 家族や親族などの家に住み替えて、介護保険のサービスを中心に利用したい
 4 家族や親族などの家に住み替えて、家族や親族などからの介護を中心に受けたい
 5 安否確認サービスのある住宅(シルバークラブ)に住み替えて、介護保険のサービスを利用したい
 6 安否確認と食事や入浴のサービスのあつ住宅(サービス付き高齢者向け住宅、都市型軽費老人ホーム、住宅型有料老人ホーム)に住み替えて、介護保険のサービスを利用したい
 7 介護保険サービスが受けられる施設・住宅(特別養護老人ホーム、介護付き有料老人ホーム、認知症高齢者グループホーム)に入りたい
 8 その他 ()
 9 わからない

◆外出状況について

問11 あなたは、積極的に外出をされていますか。(○は1つ)

- 1 積極的に外出している 2 なるべく外出するようにしている
 3 どちらともいえない 4 あまり外出しようとしていない
 5 自宅に閉じこもりがちである

問12 はつらつセンターや敬老館、街かどケアカフェ、地域集会施設(地区区民館・地域集会所)を利用していますか。(それぞれ○は1つ)

	利用している	利用したことはないが、名前を知っている	知らない
(回答例)	1	2	3
① はつらつセンター	1	2	3
② 敬老館	1	2	3
③ 街かどケアカフェ	1	2	3
④ 地域集会施設(地区区民館・地域集会所)	1	2	3

問13 あなたには、普段自宅以外で過ごす場所はありますか。(○は1つ)

※「普段自宅以外で過ごす場所」の例：区立施設(はつらつセンターや敬老館、街かどケアカフェ、地域集会所など)、喫茶店、銭湯など

- 1 ある 2 ない (→問14へ進む)

(問13で、「1 ある」とお答えの方におたずねします。)

問13-1 過ごしている場所と頻度を教えてください。(複数ある場合は最も頻度の多い場所)。

(場所(施設名)をご記入ください)

(○は1つ)

- 1 週に4回以上過ごしている
 2 週に2、3回程度過ごしている
 3 月に1、2回程度過ごしている
 4 その他 ()

(すべての方におたずねします。)

問14 外出する際利用する手段を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1	徒歩
2	車いす
3	電動三輪車
4	自転車
5	バイク、スクーター
6	自分で運転する自動車
7	家族などの運転する自動車
8	バス
9	電車
10	タクシー
11	その他 ()

問15 外出をためらってしまうような問題点がありますか。(あてはまるものすべてに○)

1	新型コロナウイルス感染に不安があること
2	電車やバスに乗ることが難しくなってきたこと
3	以前よりも歩くことが難しくなってきたこと(音信号の間に横断歩道を渡りきれない等)
4	道路に階段や段差、傾斜があったり、歩道が狭いこと
5	ベンチや椅子など休める場所が少ないこと
6	トイレが少ないこと、使いにくいこと
7	けがや病気のこと
8	外出したい場所がないこと
9	外出する気力が起きないこと
10	人との関わりが面倒なこと
11	一緒に外出する人がいないこと
12	お金がないこと
13	その他 ()
14	特に問題点はない

◆仕事や地域での活動について

問16 あなたは、現在、収入のある仕事をしていますか。(○は1つ)

1	週5日以上、仕事をしている	2	週3～4日、仕事をしている
3	週1～2日、仕事をしている	4	1か月に1日程度、仕事をしている
5	不定期に仕事をしている	6	仕事はしていない (→問16-2へ進む)

(問16で、1～5とお答えの方におたずねします。)

問16-1 何歳ぐらいたままで働きたいですか。(1日2時間や週1～2日など、勤務時間が短いまたは勤務日数が少ない仕事を含みます。)(○は1つ)

1	65歳まで	2	66～70歳まで	3	71～75歳まで
4	76～80歳まで	5	81～85歳まで	6	ずっと働きたい
7	これ以上働きたくない (→問17へ進む)	8	特に決めていない		

(問16-1で、1～6とお答えの方におたずねします。)

問16-1-1 働きたいのは、どのような理由からですか。(あてはまるものすべてに○)

1	生活費を得るため	2	小遣いを得るため
3	将来への蓄え(預貯金)のため	4	生きがいを得るため
5	持っている技術や経験を活かすため	6	健康のため
7	何もしないでいると退屈なため	8	その他 ()

【問17へ進んでください】

(問16で、「6.仕事はしていない」とお答えの方におたずねします。)

問16-2 週に何日程度であれば働きたいですか。(1日2時間や週1～2日など、勤務時間が短いまたは勤務日数が少ない仕事を含みます。)(○は1つ)

1	週5日以上	2	週3～4日	3	週1～2日
4	1か月に1日程度	5	不定期	6	働きたくない (→問17へ進む)

(問16-2で、1～5とお答えの方におたずねします。)

問16-2-1 1日に何時間程度であれば働きたいですか。(○は1つ)

1	8時間以上	2	5～8時間未満	3	3～5時間未満
4	1～3時間程度	5	1時間以内		

問16-2-2 どんな仕事をしてみたいですか。(あてはまるものすべてに○)

1	事務	2	販売・営業
3	接客	4	軽作業・単純作業
5	介護・医療	6	保育・教育
7	調理・調理補助	8	警備・保安
9	清掃・メンテナンス管理	10	配送・運搬
11	建築・土木	12	農林漁業
13	その他 ()	14	特になし
15	わからない		

(すべての方におたずねします。)

問17 地域活動(ボランティアや趣味・スポーツ関係のグループ、町内会・自治会・老人クラブなどの活動)にどのくらいの頻度で参加していますか。(○は1つ)

1	週4回以上	2	週2～3回	3	週1回
4	月1～3回	5	年に数回	6	参加していません (→問17-1へ進む)

（問17で、「6 参加していない」とお答えの方におたずねします。その他の方は、問18に進んでください。）

問17-1 あなたは、どのようなきっかけがあれば、地域活動に取り組もうと思えますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----|--|
| 1 | 活動や団体に関する情報の紹介や団体とのマッチングがあれば活動したい |
| 2 | 時間に余裕があれば活動したい |
| 3 | 知り合いがいれば活動したい |
| 4 | 世話人やリーダーがいれば活動したい |
| 5 | 関心・興味のあるテーマがあれば活動したい |
| 6 | 活動する場が身近なところがあれば活動したい |
| 7 | 健康状態がよくなったら活動したい |
| 8 | 現役世代のうちから高齢期のライブランを考えるための機会や情報の提供があれば活動したい |
| 9 | その他（ ） |
| 10 | 活動したくない・関心がない（→問18へ進む） |

（問17-1で、1～9とお答えの方におたずねします。）

問17-1-1 あなたは、今後、どのような分野で活動をしてみたいですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | | | | |
|---|-----------------|---|-----------|---|-----------|
| 1 | ボランティア活動・NPO活動 | 2 | 趣味関係のグループ | 3 | 学習・教養サークル |
| 4 | スポーツ関係のグループやクラブ | 5 | 老人クラブ | 6 | 町内会・自治会 |
| 7 | その他（ ） | 8 | 特にない | 9 | わからない |

（すべての方におたずねします。）

問18 次の①～③について、どのくらいの頻度で感じていますか。それぞれに回答してください。

① 自分には人との付き合いがないと感じることがありますか。（○は1つ）

- | | | | | | | | |
|---|-------|---|--------|---|------|---|------|
| 1 | 決してない | 2 | ほとんどない | 3 | 時々ある | 4 | 常にある |
|---|-------|---|--------|---|------|---|------|

② 自分は取り残されていると感じることがありますか。（○は1つ）

- | | | | | | | | |
|---|-------|---|--------|---|------|---|------|
| 1 | 決してない | 2 | ほとんどない | 3 | 時々ある | 4 | 常にある |
|---|-------|---|--------|---|------|---|------|

③ 自分以外の人たちから孤立していると感じることがありますか。（○は1つ）

- | | | | | | | | |
|---|-------|---|--------|---|------|---|------|
| 1 | 決してない | 2 | ほとんどない | 3 | 時々ある | 4 | 常にある |
|---|-------|---|--------|---|------|---|------|

◆健康について

問19 現在のあなたの健康状態はいかがですか。（○は1つ）

- | | | | | | | | |
|---|-------|---|------|---|---------|---|------|
| 1 | とてもよい | 2 | まあよい | 3 | あまりよくない | 4 | よくない |
|---|-------|---|------|---|---------|---|------|

問20 あなたは、現在のどの程度幸せですか。（○は1つ）
（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご回答ください）

- | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-------|
| とても不幸 | 0点 | 1点 | 2点 | 3点 | 4点 | 5点 | 6点 | 7点 | 8点 | 9点 | 10点 | とても幸せ |
|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-------|

◆介護予防・フレイル予防について

問21 あなたは、「フレイル」という言葉を知っていますか。（○は1つ）

- | | | | | | |
|---|---------|---|----------|---|------|
| 1 | よく知っている | 2 | 聞いたことはある | 3 | 知らない |
|---|---------|---|----------|---|------|
- ※フレイル：老化により心身機能の活力（筋力や認知機能など）や、社会的な活力（人との交流など）が低下し、要介護になる危険性が高まっている状態。

問22 あなたは、介護予防・フレイル予防につながる生活や活動に取り組んでいますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|---|--|
| 1 | 栄養不足にならないように、1日で多様な食品（肉・魚・野菜・乳製品等）を食べるようにしている |
| 2 | 何でもおいしく食べられるように、歯科検診を受けたり、お口の体操やマッサージュを行っている |
| 3 | 筋力や体力が落ちないように、運動・スポーツを行っている |
| 4 | 脳を活性化するために、知的活動を行ったり、新しいことにチャレンジしている |
| 5 | 人との交流を減らさないように、友人・知人との外出や、地域の活動（サークルなど）に参加している |
| 6 | 何もしていない（→問22-2へ進む） |
| 7 | わからない（→問23へ進む） |

（問22で、1～5とお答えの方におたずねします。）

問22-1 実際に取り組んでみて、効果があると感じていますか。（○は1つ）

- | | | | | | |
|---|--------------|---|------------|---|-----------|
| 1 | 効果を感じている | 2 | 少し効果を感じている | 3 | どちらともいえない |
| 4 | あまり効果を感じていない | 5 | 効果を感じていない | | |
- 【問23へ進んでください】

（問22で、「6 何もしていない」とお答えの方におたずねします。）

問22-2 介護予防・フレイル予防につながる生活や活動に取り組んでいない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | | |
|---|-------------------|---|---------------|
| 1 | 元気に過ごせているから | 2 | 時間に余裕がないから |
| 3 | 開催場所が身近なところにはないから | 4 | 人との関わりが煩わしいから |
| 5 | 一緒に参加する仲間がいないから | 6 | 費用がかかると感じるから |
| 7 | その他（ ） | | |

◆介護保険について

問23 介護保険は、介護が必要になった方も、尊厳を保持し、その方の有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができよう、社会みんなで支える制度です。その保険料は、区全体の介護保険サービスの利用状況や過去の実績などから、3年ごとに決まります。介護保険のサービスと保険料のバランスについて、あなたが最も重視する考え方に近いものはどれですか。(○は1つ)

- 1 保険料が多少高くなっても、特別養護老人ホームなどの施設整備や在宅サービスの充実を進めるべき
- 2 現在の施設や在宅サービスの水準は維持しつつ、保険料の上昇は高齢者人口の伸びなどによる影響の範囲に抑えるのが望ましい
- 3 施設整備も在宅サービスも新たな拡充は控え、保険料の負担をできるだけ軽くする方向がよい
- 4 わからない

問24 あなたは、日々の生活の中で介護保険料や健康保険料の負担についてどのように感じていますか。(○は1つ)

- 1 保険料が日々の暮らしを圧迫している
- 2 年々、保険料が高くなって、多少の負担と感じている
- 3 適正である(この程度の額ならいい)と思う
- 4 それほど負担とは感じない
- 5 わからない

◆医療について

問25 あなたは、自身の体調や口腔ケア、服薬などについて相談できる「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬局」を持っていますか。(それぞれ○は1つ)

- | | | | | | | | |
|---|-------------|---|----|---|-----|---|-------|
| ① | かかりつけ医・・・ | 1 | いる | 2 | いない | 3 | わからない |
| ② | かかりつけ歯科医・・・ | 1 | いる | 2 | いない | 3 | わからない |
| ③ | かかりつけ薬局・・・ | 1 | ある | 2 | ない | 3 | わからない |

問26 あなたは、現在、病院・医院(診療所・クリニック)への受診はどのようにされていますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|----------------|---|-----------------|
| 1 | 通院している | 2 | 通院と往診の両方を利用している |
| 3 | 訪問診療・往診を利用している | 4 | 受診していない |

問27 あなたは、脳卒中の後遺症や末期がんなどで長期療養が必要になった場合、病院などへの入院・入所はしないで、自宅で生活したいと思いませんか。(○は1つ)

- 1 現在、在宅医療や介護を受けている
- 2 在宅医療や介護を希望する(実現可能だと思う)
- 3 在宅医療や介護を希望するが、実現は難しいと思う
- 4 在宅医療や介護を希望しない
- 5 わからない(→問28へ進む)

〔問27で3または4とお答えの方におたずねします。〕

- 問27-1 それはなぜですか。(○は3つまで)
- 1 介護してくれる家族がいらないから
 - 2 介護してくれる家族などに負担をかけるから
 - 3 急に病状が変わったときの対応が不安だから
 - 4 在宅でどのような医療や介護を受けられるかわからないから
 - 5 在宅での体調悪化時にすぐに入院できるかわからないから
 - 6 療養できる居住環境(部屋やトイレ等)が整っていないから
 - 7 往診してくれる医師がいらないから
 - 8 地域の訪問看護・介護体制が整っていないから
 - 9 経済的な負担が大きいから
 - 10 その他()
 - 11 特に理由はない

〔すべての方におたずねします。〕

問28 リハビリ療養を目的に入院したことがありますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|----|---|-------------|
| 1 | ある | 2 | ない(→問29へ進む) |
|---|----|---|-------------|

※リハビリ療養：脳梗塞や脳出血、骨折等による急性期の治療後に在宅復帰を目的にリハビリを行うこと

〔問28で、「1 ある」とお答えの方におたずねします。〕

問28-1 リハビリ療養を目的に、一番最近入院した医療機関はどこにありましたか。(○は1つ)

- | | | | | | |
|---|----|---|-----------------|---|-----|
| 1 | 区内 | 2 | 近隣区(板橋区、北区、豊島区) | 3 | その他 |
|---|----|---|-----------------|---|-----|

※近隣区：東京都保健医療計画で定められている「区西北部保健医療圏」に含まれる自治体のうち、練馬区以外の区(板橋区、北区、豊島区)を指します。

問28-2 リハビリ療養目的の入院にあたり、その医療機関を選んだ理由は何か。

- | | | | | | |
|----------------|-------------|---|---------------|---|---------------------|
| (あてはまるものすべてに○) | | | | | |
| 1 | かかりつけ医からの紹介 | 2 | 入院していた病院からの紹介 | 3 | 自宅に近いなど退院後の通院に便利だから |
| 4 | 専門性が高いから | 5 | その他() | 6 | 特に理由はない |

(すべての方におたずねします。)

問29 ご自身が今後、人生の最終段階も含め、受けたい医療・介護、受けたくない医療・介護について、家族や医療・介護スタッフ等と話し合っていますか。(○は1つ)

- | | | | |
|--------------|-------------|----------------|------------|
| 1 詳しく話し合っている | 2 一応話し合っている | 3 ほとんど話し合っていない | 4 話し合っていない |
|--------------|-------------|----------------|------------|
- (→問29-2へ進む)

(問29で、1または2とお答えの方におたずねします。)

- 問29-1 話し合っている相手はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)
- | | | |
|----------|-----------|--------------|
| 1 家族・親族 | 2 友人・知人 | 3 かかりつけ医・主治医 |
| 4 看護師 | 5 ケアマネジャー | 6 ホームヘルパー |
| 7 介護施設職員 | 8 その他() | |
- 【問30へ進んでください】

(問29で、3または4とお答えの方におたずねします。)

問29-2 話し合っていない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|-----------------------------|------------------|-------------------|
| 1 話し合いたくないから | 2 話し合う必要性を感じないから | 3 話し合うきっかけがなかったから |
| 4 知識がないため、何を話し合っているかわからないから | 5 その他() | 6 特に理由はない |

(すべての方におたずねします。)

問30 あなたは人生の最期をどこで迎えたいと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------------|---|
| 1 自宅 | 2 子供など親族の家 |
| 3 介護保険で利用できる施設 (特別養護老人ホーム等) | 4 サービス付き高齢者住宅・有料老人ホーム・都市型監費老人ホーム等の高齢者向け住宅 |
| 5 ホスピス (緩和ケア病棟) | 6 5以外の医療機関 |
| 7 その他() | 8 わからない |

問31 終末期および死後の手続き等で不安なことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1 死後の公共料金の解約や役所への届け出 | 2 遺品整理 |
| 3 金融機関への連絡 | 4 預貯金、不動産などの財産管理 |
| 5 葬儀に関すること | 6 相続に関すること |
| 7 お墓に関すること | 8 その他() |
| 9 特にない | |

13

問32 あなたが、入院や介護施設等へ入所するときに、身元保証人が必要になったらどんな方にお願いますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| 1 家族・親族 | 2 知人・友人 |
| 3 民間の身元保証サービス (法人・団体など) | 4 その他() |
| 5 お願いでできる人はいない (→問33へ進む) | 6 わからない (→問33へ進む) |

(問32で、1～4とお答えの方におたずねします。)

問32-1 どのような方をお願ひしたいですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------------------------|
| 1 入院・入所時の身元保証 (契約書への署名など) |
| 2 緊急時の連絡先としての対応 |
| 3 医療・介護に関する意思決定の代行 |
| 4 入院・入所中の生活支援 (洗濯物の受け渡し、差し入れなど) |
| 5 退院・退所時の手続きや引き取り |
| 6 費用の支払いに関する保証 |
| 7 死亡時の対応 (遺体の引き取り、葬儀など) |
| 8 その他() |
| 9 わからない |

(すべての方におたずねします。)

問33 死後の手続き等をお願ひできる方はどなたですか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------------------|--|
| 1 家族・親族 | 2 知人・友人 |
| 3 法律・行政関係の専門家 (弁護士・司法書士・行政書士など) | 4 代行業者・サービス (葬儀の手配や遺品整理、役所への届出を行うサービス) |
| 5 施設の職員や介護サービス責任者 | 6 その他() |
| 7 お願ひできる人はいない | 8 わからない |

問34 終活に興味はありますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---------|--------|---------|--------|
| 1 大いにある | 2 少しある | 3 あまりない | 4 全くない |
|---------|--------|---------|--------|

問35 実際に終活を行うとすると、何を手伝ってもらいたいですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------|-----------------|
| 1 遺言の作成 | 2 エンディングノートの作成 |
| 3 契約関係の整理 | 4 身の回りの持ち物などの整理 |
| 5 お墓・葬儀の準備 | 6 デジタル遺品の整理 |
| 7 その他() | 8 特にない |

14

問36 終活に関して、相談するとしたら誰にしたいですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 家族や親族
- 2 区役所や地域包括支援センターなど行政の窓口
- 3 終活相談窓口(練馬区社会福祉協議会)
- 4 弁護士や行政書士、終活アドバイザーなど民間のサービス
- 5 その他()
- 6 相談せず、すべて自分で行いたい

問37 終活に関して、区が支援をするとしたらどのようなことを求めたいですか。

- (あてはまるものすべてに○)
- 1 専門の相談窓口の設置
 - 2 終活に関するセミナーやイベントの開催
 - 3 弁護士など民間事業者への相談料等に対する補助
 - 4 運営書やエンディングノートなどの保管場所の登録サービス
 - 5 その他()
 - 6 わからない
 - 7 特にない

◆たすけあいについて

問38 あなたが、もし高齢や病気、事故などで日常生活が不自由になったとき、地域の人のためにどんな手助けをしてほしいですか。(○は3つまで)

- 1 安否確認の声かけ
- 2 話し相手や相談相手
- 3 炊事・洗濯・掃除などの手伝い
- 4 ちょっとした買い物やごみ出し
- 5 子どもの預かり
- 6 外出の手助けや通院の送迎
- 7 災害時の手助け
- 8 その他()
- 9 特にない

問39 (高齢者のみならず)地域住民が安心して暮らすことができよう、地域の支え合いとして、あなたご自身ができることは何ですか。(○は3つまで)

- 1 安否確認の声かけ
- 2 話し相手や相談相手
- 3 炊事・洗濯・掃除などの手伝い
- 4 ちょっとした買い物やごみ出し
- 5 子どもの預かり
- 6 外出の手助けや通院の送迎
- 7 災害時の手助け
- 8 認知症の方を見かけたときの声かけ
- 9 その他()
- 10 特にない

問40 あなたは、成年後見制度を知っていますか。(○は1つ)

- 1 名称も内容も知らない
- 2 名称は聞いたことがある
- 3 初めて聞いた

※成年後見制度：認知症や知的障害、精神障害などにより判断能力が十分でない方のために、成年後見人等が本人の意思決定を助け、生活や財産などの権利を守るための制度です。

問41 あなたやあなたの家族が、判断能力が十分でなくなった場合、成年後見制度を利用したいと思いませんか。(○は1つ)

- 1 既に利用している
- 2 利用してみたい
- 3 制度の内容がよく理解できていないため、利用したくない
- 4 利用方法がわからないため、利用したくない
- 5 家族などが支援してくれるため、利用したくない
- 6 その他()
- 7 わからない

◆区の保健福祉施策について

問42 日常生活の中での困りごとはありますか。(○は3つまで)

- 1 食事の準備
- 2 掃除や洗濯
- 3 ごみの分別やごみ出し
- 4 庭の掃除や手入れ
- 5 買い物(荷物を持って帰ることも含む)
- 6 バスや電車、車を使っての外出
- 7 通院や薬を取りに行くこと
- 8 銀行や郵便局での手続き
- 9 区役所などの手続き
- 10 生活に必要な情報を得ること
- 11 隣近所との付き合い
- 12 話し相手がいないこと
- 13 電球交換および蛍光灯の交換
- 14 軽易な家具および荷物の移動
- 15 荷物整理・片付け
- 16 その他()
- 17 特に困っていることはない

問43 あなたが日常生活で何か困ったことがあった時の相談先はどこですか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 家族・親族
- 2 知人・友人
- 3 かかりつけ医
- 4 かかりつけ医以外の医療機関(薬局等)
- 5 ケアマネジャー
- 6 介護家族の会や認知症カフェ
- 7 民生・児童委員
- 8 地域包括支援センター
- 9 保健相談所
- 10 社会福祉協議会(地域福祉コーディネーターなど)
- 11 その他()
- 12 そのような相談先はない

問44 あなたは、何歳以上が高齢者だと思いますか。(○は1つ)

- 1 60歳以上
- 2 65歳以上
- 3 70歳以上
- 4 75歳以上
- 5 80歳以上
- 6 その他()
- 7 わからない

問45 あなたは、将来に対してどのようなことに不安がありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 健康 (自分や家族が介護を必要とする状態になること等)
- 2 生計 (経済的に苦しくなること等)
- 3 防犯・防災 (災害時の避難場所がわからない等)
- 4 住居 (老朽化、バリアフリーでない等)
- 5 家族・親族との関係 (連絡を取り合っていない等)
- 6 隣近所との関係 (困ったときに助け合える関係でない等)
- 7 預貯金などの管理
- 8 1人暮らしになること
- 9 老後への漠然とした不安
- 10 その他 ()
- 11 不安なことはない

問46 あなたは、地域包括支援センターをご存知ですか。(○は1つ)

- 1 現在利用している
- 2 利用したことがある
- 3 名前は知っているが、利用したことはない
- 4 知らない

【3または4とお答えの方は問47へ進んでください】

(問46で、1または2とお答えの方におたずねします。)

- 問46-1 あなたは、地域包括支援センターに満足していますか。(○は1つ)
- 1 満足している
 - 2 やや満足している
 - 3 ぶつう
 - 4 やや不満である
 - 5 不満である

(すべての方におたずねします。)

問47 あなたは、地域包括支援センターにどのような役割を期待しますか。(○は3つまで)

- 1 要支援者などを対象に、適切な介護予防サービスの利用を促進する
- 2 個々の高齢者に必要な支援内容を把握し、適切なサービスなどの利用につなげる
- 3 高齢者の虐待防止・早期対応や権利擁護を図る
- 4 ケアマネジャーへの日常的個別指導・相談
- 5 地域の関係者が高齢者に関する地域課題などを検討するための地域ケア会議の充実
- 6 在宅医療・介護連携の推進
- 7 認知症の早期発見・早期対応などの認知症施策の推進
- 8 地域の社会資源の把握・開発および社会資源と人的資源のマッチング体制の整備
- 9 その他 ()
- 10 わからない
- 11 特にならない

17

問48 あなたは、保健福祉や介護保険に関する知識・情報を何から得ていますか。(○は3つまで)

- 1 ねりま区報
- 2 練馬区ホームページ
- 3 地域包括支援センター
- 4 「わたしの便利帳」「高齢者の生活ガイド」など区の刊行物
- 5 社会福祉協議会の相談窓口
- 6 回覧板・掲示板
- 7 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ
- 8 インターネット
- 9 練馬区公式SNS※ (X (旧Twitter)、Facebook、YouTube、Instagram、LINE)
- 10 家族・友人
- 11 病院などの医療機関
- 12 その他 ()
- 13 特にならない

※SNS：「Social Networking Service (ソーシャルネットワーキングサービス)」の略で、登録された利用者が交流できるWebサイトの会員制サービスのこと。

問49 もし、あなたの周囲で高齢者への虐待がわかったら、どこに相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 家族・親族
- 2 知人・友人
- 3 警察
- 4 医療機関
- 5 地域包括支援センター
- 6 総合福祉事務所 (区役所)
- 7 その他 ()
- 8 わからない

問50 あなたは、高齢者への虐待を防止するために、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 介護される側と介護する側の相互理解の促進
- 2 地域における見守りや普段からの声かけ
- 3 気軽に相談できる窓口の充実
- 4 介護に関する情報提供の充実
- 5 認知症に関する理解の促進
- 6 介護保険サービスの充実
- 7 介護する家族同士の集い
- 8 介護者がリフレッシュできる機会の充実
- 9 経済的な支援
- 10 その他 ()
- 11 わからない
- 12 特にならない

問51 あなたは、認知症についてどの程度関心がありますか。(○は1つ)

- 1 とても関心がある
- 2 まあまあ関心がある
- 3 あまり関心がない
- 4 まったく関心がない
- 5 初めて聞いた (→問52へ進む)

【3または4とお答えの方は問51-2へ進んでください】

18

(問51で、1または2とお答えの方におたずねします。)

問51-1 認知症に関心がある理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 自分や自分の家族が認知症になるかもしれないから
- 2 自分の家族に認知症になった人がいるから
- 3 知人や知人の家族で認知症になった人を知っているから
- 4 身近な地域、職場などで認知症になった人がいるから
- 5 福祉や介護に関連した仕事をしているから
- 6 その他 ()

(問51で、3または4とお答えの方におたずねします。)

問51-2 認知症に関心がない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 自分や自分の家族が認知症にならないと思うから
- 2 認知症についての情報を得る機会が普段ないから
- 3 認知症のことはできれば考えたくないから
- 4 その他 ()

(すべての方におたずねします。)

問52 認知症について、どのような印象をお持ちですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 認知症はだれもがなりうるものである
- 2 認知症は自分とは関係ない
- 3 認知症になってからも、自分なりにできることがある
- 4 認知症になると、自分では何もできなくなる
- 5 認知症になっても、地域の中で自分らしく希望を持って暮らし続けることができる
- 6 認知症になると、地域の中で自分らしく希望を持って暮らし続けることができなくなる
- 7 その他 ()
- 8 特に印象はない

問53 あなたやご家族が認知症ではないかと感じたとき、どこに相談しますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 家族・親族
- 2 知人・友人
- 3 かかりつけ医
- 4 精神科などの専門医
- 5 ケアマネジャー
- 6 介護家族の会や認知症カフェ
- 7 民生・児童委員
- 8 地域包括支援センター
- 9 保健相談所
- 10 社会福祉協議会
- 11 その他 ()
- 12 相談しない

問54 あなたは、認知症に関わる施策として、どのようなことが必要だと思いますか。

(○は3つまで)

- 1 認知症の兆候を早期に発見できる仕組みづくり
- 2 医療と介護保険サービスの連携による認知症の人の支える仕組みづくり
- 3 認知症について正しい知識を得るための講習会や情報提供
- 4 認知症の本人の体験や心情を本人の言葉で聞くことができる講演会
- 5 地域での見守りなど、日常的な支え合い
- 6 本人や家族が気軽に相談できる場所や共に活動できる居場所の整備
- 7 認知症の本人が自らの気持ちや必要としていることを話し合える場や機会の提供
- 8 認知症高齢者グループホームの整備など、介護保険サービスの充実
- 9 認知症の本人が利用する事業所の認知症ケアの質の向上
- 10 介護している家族の負担の軽減
- 11 認知症予防についての講習会や情報提供
- 12 介護保険制度や成年後見制度、その他の利用できるサービスに関する情報提供
- 13 権利擁護センター「ほっとサポートねりま」からの支援
- 14 その他 ()
- 15 わからない
- 16 特にない

問55 あなたが認知症について、気になる項目は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 認知症に関する相談先
- 2 認知症の診断や治療の受診先
- 3 認知症の兆候を早期に見出す方法
- 4 認知症の兆候を早期に見出す方法
- 5 認知症の兆候を早期に見出す方法
- 6 認知症の兆候を早期に見出す方法
- 7 認知症の人の介護の仕方
- 8 認知症の人の介護の仕方
- 9 認知症の人の介護の仕方
- 10 認知症の人の介護の仕方
- 11 認知症の人の介護の仕方
- 12 認知症の人の介護の仕方
- 13 認知症の人の介護の仕方
- 14 認知症の人の介護の仕方
- 15 認知症の人の介護の仕方
- 16 認知症の人の介護の仕方

問56① 区や関係機関、団体が実施している認知症に関する取組のうち、あなたが利用（参加）したことがあるものや知っているものは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

② 区や関係機関、団体が実施している認知症に関する取組のうち、あなたが利用（参加）したいものは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

	① 利用（参加）しているものや知っているものすべてに○	② 利用（参加）したいものすべてに○
区や関係機関、団体が実施している認知症に関する取組名		
1 認知症ガイドブック	1	1
2 認知症なんでも相談窓口	2	2
3 もの忘れ検診	3	3
4 認知症予防に関する講座	4	4
5 認知症予防講演会	5	5
6 認知症カフェ	6	6
7 本人ミーティング	7	7
8 認知症疾患医療センターにおける専門医療相談	8	8
9 認知症高齢者位置情報提供サービス利用料の助成	9	9
10 認知症サポーター養成講座	10	10
11 チームオレジンジ活動	11	11
12 「N-impro（ニンプロ）」を活用した認知症対応研修	12	12
13 認知症予防プログラム	13	13
14 いずれもあてはまらない	14	14

問57 日常生活に必要な情報を得る際に、あなたはパソコンなどの情報通信の機器（ICT機器）をどの程度お使いですか。（それぞれ○は1つ）

- ①パソコン..... 1 よく使う 2 まあ使う 3 使わない 4 持っていない
- ②スマートフォン..... 1 よく使う 2 まあ使う 3 使わない 4 持っていない
- ③タブレット型端末※ 1 よく使う 2 まあ使う 3 使わない 4 持っていない

※タブレット型端末：ノート型パソコンで持ち運びでき、ディスプレイなどの表示部分にタッチパネルを搭載したコンピュータの総称

（問57の①～③で、1つでも1または2とお答えした方におたずねします。）

問57-1-1 ICT機器を使用していて困っていることばありますか。（○は3つまで）

- 1 機能・サービスが複雑である 2 機器の操作が難しい
- 3 機器の接続方法がわかりづらい 4 個人情報等の不正利用や詐欺サイト接続等の不安
- 5 通信料金等の維持費が高い 6 以前できた操作方法を忘れてしまう
- 7 文字が読みにくい 8 教えてくれる人、相談する人がいない
- 9 その他（ ） 10 特にない

問57-1-2 ICT機器の使用について相談できる相手・場所はありますか。

（○は3つまで）

- 1 家族・親族
- 2 知人・友人
- 3 メーカー・販売店
- 4 民間のパソコン・スマホ教室
- 5 区のスマホ教室・相談会
- 6 その他（ ）
- 7 特にない

問57-1-3 ICT機器で使いたい機能は何ですか。（○は3つまで）

- 1 ウェブサイトの閲覧 2 メール
- 3 SNS※ 4 区役所などへのオンライン申請
- 5 ネットショッピング、キャッシュレス決済 6 動画視聴
- 7 写真撮影 8 地図・乗換案内
- 9 健康管理（健康アプリの活用など） 10 スケジュール管理
- 11 その他（ ） 12 特にない

※SNS：Facebook（フェイスブック）「X（エックス）」（旧Twitter）「Instagram（インスタグラム）」「YouTube（ユーチューブ）」「LINE（ライン）」など。

（問57の①～③で、すべて「4 持っていない」とお答えした方におたずねします。）

問57-2 ICT機器を持っていない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 利用する必要性を感じないから
- 2 機器の購入費が高いから
- 3 通信費の負担が大きいため
- 4 機器の操作方法や設定方法などが分からないから
- 5 セキュリティに不安があるから
- 6 その他（ ）

練馬区高齢者基礎調査

◆ 調査へのご協力をお願い ◆

日頃から、練馬区政にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。区では、新たな「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定に着手しています。この調査は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、高齢者の方々から、日頃の生活状況や区の高齢者施策に対するご意見・ご希望などをお聞きし、計画に反映するために実施します。

調査の対象者として、区内にお住まいの要支援・要介護認定を受けているあるいは総合事業の対象となった65歳以上の方々から6,500人を無作為に選び、調査票を送付させていただきます。なお、令和7年10月1日現在の情報を基に調査票を送付しています。転居等により行き違いが生じる場合がありますが、ご了承ください。

本調査で得られた情報につきましては、計画策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。当該情報については、区で適切に管理し、個人が特定される形の公表や、他の目的での使用はいたしません。ご協力くださいますようお願いいたします。

令和7年11月 練馬区

◆ 調査票のご記入にあたって ◆

- この調査票および返信用封筒へのお名前のご記入は不要です。
- 調査票上の「あなた」とは、封筒に印刷されたあて名ご本人を指します。
- できる限り、対象者ご本人がご回答ください。なお、対象者ご本人お一人での回答が難しい場合は、ご家族の方などにお手伝いいただき、対象者ご本人の意見を聞いた上で代わりにご回答ください。
- 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。質問文にある「○は1つ」「あてはまるものすべてに○」などの指示にしたがってご回答ください。また、ご意見や数字などを直接ご記入いただく質問もあります。
- 質問の回答が、「その他」にあてはまる場合は、() 内になるべく具体的にその内容をご回答ください。
- ご記入いただきましたら、**12月12日(金)まで**に、同封の返信用封筒にてご返送ください。切手は不要ですので、そのままご投函ください。

この調査は、株式会社日本能率協会総合研究所に委託して実施しています。調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【調査委託元】 練馬区 高齢施策担当部 高齢社会対策課 計画係

【調査実施・お問い合わせ先】

株式会社日本能率協会総合研究所 福祉・医療・労働政策研究部

電話：0120-550-156 (フリーダイヤル)

(受付：10時～12時、13時～17時 (12月15日(月)までのいずれも平日))

メール：h_policy@mar.co.jp

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

- 1 あて名のご本人が記入
- 2 ご家族が記入 (あて名のご本人からみられた経路)
- 3 その他 ()

◆あなたのご家族や生活状況について

問1 あなたの性別と、令和7年10月1日現在の満年齢を教えてください。

① 性別 (○は1つ) ② 年齢 (右詰めで記入)

1 男性	2 女性	歳
------	------	---

問2 あなたのお住まいはどちらですか。記入例のように、町名と丁目をご記入ください。

町名	丁目
(記入例) 町名 光が丘	3 丁目

問3 家族構成をお教えてください。(○は1つ)

- 1 1人暮らし
- 2 夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)
- 3 夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)
- 4 子との2世帯
- 5 親との2世帯
- 6 親・子との3世帯
- 7 その他 ()

(すべての方におたずねします。)

問4 現在、あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。(○は1つ)

- 1 いる
- 2 いない (→問5へ進む)

(問4で、「1 いる」とお答えの方におたずねします。)

問4-1 あなたは、ご自身の子どものごことで、心配ごとが何かありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 子どもの仕事
- 2 子どもの家庭環境 (配偶者など家族との関係など)
- 3 子どもの経済状態
- 4 子どもの病気・障害
- 5 子どものひきこもり
- 6 子どもによる暴力・暴言
- 7 その他 ()
- 8 特になし (→問5へ進む)

(問4-1で、1～7(何らかの心配ごとがある)とお答えの方におたずねします。)
 問4-1-1 ご自身の子どもへの心配ごとについて、周囲に相談していますか。
 (あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|----|------------|----|--------------|
| 1 | 家族・親族 | 2 | 知人・友人 |
| 3 | 近所の人 | 4 | 警察 |
| 5 | 医療機関 | 6 | 保健相談所 |
| 7 | 地域包括支援センター | 8 | 総合福祉事務所(区役所) |
| 9 | その他() | 10 | 相談していない |
| 11 | 相談先がわからない | | |

(すべての方におたずねします。)

問5 現在の暮らしの状況を経済的にみてどのよう感じていますか。(○は1つ)

- | | | | | | |
|---|----------|---|----------|---|-----|
| 1 | 大変苦しい | 2 | やや苦しい | 3 | ふつう |
| 4 | ややゆとりがある | 5 | 大変ゆとりがある | | |

問6 あなたは、成年後見制度を知っていますか。(○は1つ)

- | | | | | | |
|---|-------------|---|-------------|---|--------|
| 1 | 名称も内容も知っている | 2 | 名称は聞いたことがある | 3 | 初めて聞いた |
|---|-------------|---|-------------|---|--------|

※成年後見制度：認知症や知的障害、精神障害などにより判断能力が十分でない方のために、成年後見人等が本人の意思決定を助け、生活や財産などの権利を守るための制度です。

問7 あなたやあなたの家族が、判断能力が十分でなくなってきた場合、成年後見制度を利用したいと思えますか。(○は1つ)

- | | |
|---|----------------------------|
| 1 | 既に利用している |
| 2 | 利用してみたい |
| 3 | 制度の内容がよく理解できていないため、利用したくない |
| 4 | 利用方法がわからないため、利用したくない |
| 5 | 家族などが支援できるため、利用したくない |
| 6 | その他() |
| 7 | わからない |

◆住まいについて

問8 あなたは現在どこで生活していますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|---------------|----|----------------------|
| 1 | 持家 | 2 | 賃貸住宅(高齢者向けの住宅、施設を除く) |
| 3 | シルバピア | 4 | サービス付き高齢者向け住宅 |
| 5 | 都市型高齢者老人ホーム | 6 | 住宅型有料老人ホーム |
| 7 | 介護付き有料老人ホーム | 8 | 特別養護老人ホーム |
| 9 | 認知症高齢者グループホーム | 10 | その他() |

(高齢者向けの住宅・施設の利用説明一覧)

区分	施設などの名称	概要
住宅	①シルバピア	バリアフリー化され、緊急通報システムなどが備わっている単身の高齢者または高齢者のみの世帯を対象とした賃貸住宅
	②サービス付き高齢者向け住宅	バリアフリー化され、安否確認サービス、緊急時対応サービス、生活相談サービスなどの付いた高齢者向けの賃貸住宅
施設	③都市型高齢者老人ホーム	食事や安否確認のサービスが付いた、身体機能の低下などにより自立した生活に不安がある低所得の高齢者を対象とした施設
	④住宅型有料老人ホーム	食事などの日常生活上のサービスは付くが、介護保険サービスは別契約で外部の事業所を利用する有料老人ホーム
	⑤介護付き有料老人ホーム	介護保険サービスなどが付いた有料老人ホーム。介護が必要になってからも、そのホームが提供する介護保険サービスなどを利用できる
	⑥特別養護老人ホーム	常時介護が必要で家庭での生活が困難な人が、介護や身の回りの世話を受けながら生活する施設
	⑦認知症高齢者グループホーム	認知症高齢者が少人数で、家庭的な雰囲気のもとで介護や身の回りの世話を受けながら共同生活を営む住まい

問9 あなたは、これまで住まいへの入居を断られたことがありますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|----|---|-------------|
| 1 | ある | 2 | ない(→問10へ進む) |
|---|----|---|-------------|

(問9で、「1.ある」とお答えの方におたずねします。)

- 問9-1 どのような理由で入居を断られましたか。(あてはまるものすべてに○)
- | | | | |
|---|------------------|---|--------------------|
| 1 | 家族・親族が高齢のため | 2 | 万一の時の身元引受人がいなかったため |
| 3 | 家賃の連帯保証人がいなかったため | 4 | その他() |
| 5 | わからない | | |

(すべての方におたずねします。)

問10 将来の住まいに関して、不安に感じていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|---------------------------------|
| 1 | 高齢期の賃貸を断られる |
| 2 | 高齢期の賃貸を断られる以外で転居先が決まらない |
| 3 | 虚弱化した(身体が弱ってきた)ときの住居の構造 |
| 4 | 世話をしてくれる人の存在 |
| 5 | 家賃等を払い続けられない |
| 6 | 住宅の修繕費等必要な経費を払えなくなる |
| 7 | 現在住んでいる施設・住宅の建物が老朽化し、住み替えが必要になる |
| 8 | その他() |
| 9 | 特になし |

問11 介護が必要になった場合（介護がすでに必要な方についてはこれから）どのような暮らし方を希望しますか。(○は1つ)

- 1 自宅で、介護保険のサービスを中心に利用したい
- 2 自宅で、家族や親族などからの介護を中心に受けたい
- 3 家族や親族などの家に住み替えて、介護保険のサービスを中心に利用したい
- 4 家族や親族などの家に住み替えて、家族や親族などからの介護を中心に受けたい
- 5 安否確認サービスの有る住宅（シルバークリア）に住み替えて、介護保険のサービスを利用したい
- 6 安否確認と食事や入浴のサービスの有る住宅（サービス付き高齢者向け住宅、都市型軽費老人ホーム、住宅型有料老人ホーム）に住み替えて、介護保険のサービスを利用したい
- 7 介護保険サービスが受けられる施設・住宅（特別養護老人ホーム、介護付き有料老人ホーム、認知症高齢者グループホーム）に入りたい
- 8 その他（)
- 9 わからない

◆外出状況について

問12 外出をためらってしまうような問題はありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 新型コロナウイルス感染に不安があること
- 2 電車やバスに乗ることが難しくなってきたこと
- 3 以前よりも歩くことが難しくなってきたこと（青信号の間に横断歩道を渡りきれない等）
- 4 道路に階段や段差、傾斜があったり、歩道が狭いこと
- 5 ベンチや椅子など休める場所が少ないこと
- 6 トイレが少ないこと、使いにくいこと
- 7 けがや病気のことで
- 8 外出したい場所がないこと
- 9 外出する気力が起きないこと
- 10 人との関わりが面倒なこと
- 11 一緒に外出する人がいないこと
- 12 お金がないこと
- 13 その他（)
- 14 特に問題点はない

◆仕事や地域での活動について

問13 地域活動（ボランティアや趣味・スポーツ関係のグループ、町内会・自治会、老人クラブなどの活動）にどのくらいの頻度で参加していますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------|---------|-----------|
| 1 週4回以上 | 2 週2～3回 | 3 週1回 |
| 4 月1～3回 | 5 年に数回 | 6 参加していない |

問14 次の①～③について、どのくらいの頻度で感じていますか。それぞれに回答してください。

- ① 自分には人との付き合いがないと感じることがありますか。(○は1つ)

1 決してない	2 ほとんどない	3 時々ある	4 常にある
---------	----------	--------	--------
- ② 自分は取り残されていると感じることがありますか。(○は1つ)

1 決してない	2 ほとんどない	3 時々ある	4 常にある
---------	----------	--------	--------
- ③ 自分は他の人たちから孤立していると感じることがありますか。(○は1つ)

1 決してない	2 ほとんどない	3 時々ある	4 常にある
---------	----------	--------	--------

◆健康について

問15 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

1 とてもよい	2 まあよい	3 あまりよくない	4 よくない
---------	--------	-----------	--------

問16 あなたは、現在のどの程度幸せですか。(○は1つ)
 「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご回答ください

- | | |
|-------|-------|
| とても不幸 | とても幸せ |
| 0点 | 10点 |
| 1点 | 9点 |
| 2点 | 8点 |
| 3点 | 7点 |
| 4点 | 6点 |
| 5点 | 5点 |
| 6点 | 4点 |
| 7点 | 3点 |
| 8点 | 2点 |
| 9点 | 1点 |

◆医療について

問17 あなたは、自身の体調や口腔ケア、服薬などについて相談できる「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬局」を持っていますか。(それぞれ○は1つ)

- | | | | |
|---------------|------|-------|---------|
| ① かかりつけ医・・・ | 1 いる | 2 いない | 3 わからない |
| ② かかりつけ歯科医・・・ | 1 いる | 2 いない | 3 わからない |
| ③ かかりつけ薬局・・・ | 1 ある | 2 ない | 3 わからない |

問18 あなたは、現在、病院・医院（診療所・クリニック）への受診はどのようにされていますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 通院している | 2 通院と往診の両方を利用している |
| 3 訪問診療・往診を利用していない | 4 受診していない |

問19 あなたは、要介護度が高くなったり、脳卒中の後遺症や末期がんなどで長期療養が必要になったりした場合でも、病院などへの入院・入所はしないで、自宅で生活したいと思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|---|-------------------------|-------------|
| 1 | 現在、在宅医療や介護を受けている | } (→問20へ進む) |
| 2 | 在宅医療や介護を希望する(実現可能だと思う) | |
| 3 | 在宅医療や介護を希望するが、実現は難しいと思う | |
| 4 | 在宅医療や介護を希望しない | |
| 5 | わからない(→問20へ進む) | |

(問19で、3または4とお答えの方におたずねします。)

- 問19-1 それはなぜですか。(○は3つまで)
- | | |
|----|-----------------------------|
| 1 | 介護してくれる家族がいらないから |
| 2 | 介護してくれる家族などに負担をかけるから |
| 3 | 急に病状が変わったときの対応が不安だから |
| 4 | 在宅でのような医療や介護を受けられるかわからないから |
| 5 | 在宅での体調悪化時にすぐ入院できるかわからないから |
| 6 | 療養できる居住環境(部屋やトイレ等)が整っていないから |
| 7 | 往診してくれる医師がいらないから |
| 8 | 地域の訪問看護・介護体制が整っていないから |
| 9 | 経済的な負担が大きすぎるから |
| 10 | その他() |
| 11 | 特に理由はない |

(すべての方におたずねします。)

問20 どのようなサービスや条件を整えば、介護が必要になっても今の家での生活を続けられると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----|---|
| 1 | 24時間365日必要に応じて、定期的かつ随時に、自宅でヘルパーや看護師に食事・入浴などの介助や緊急時に対応してもらえる |
| 2 | 24時間365日必要に応じて、計画的あるいは随時に、自宅で医師に診療してもらえる |
| 3 | 施設へ通うことを中心に、自宅へ訪問してもらったり、施設へ泊まったりするなど、柔軟に対応してもらえる |
| 4 | 認知症に配慮した介護保険サービスが整っている |
| 5 | リハビリができる入院施設が整備されている |
| 6 | 体調急変時に一時的に入院できる体制が整っている |
| 7 | デイサービスやショートステイを利用したいときに利用できる |
| 8 | 段差の解消や手すりなど、住まいの構造や設備がバリアフリーになっている |
| 9 | 配食や買い物、ごみ出しなどの生活面を支援してもらえる |
| 10 | 声かけや見守りについても身近に相談できる体制が整っている |
| 11 | 家族が理解・協力してくれる |
| 12 | その他() |
| 13 | わからない |
| 14 | わからない |
| 15 | 特にない |

問21 リハビリ療養を目的に入院したことがありますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|----|---|-------------|
| 1 | ある | 2 | ない(→問22へ進む) |
|---|----|---|-------------|

※リハビリ療養：脳梗塞や脳出血、骨折等による急性期の治療後に在宅復帰を目的にリハビリを行うこと

(問21で、「1 ある」とお答えの方におたずねします。)

問21-1 リハビリ療養を目的に、一番最近入院した医療機関はどこにありましたか。(○は1つ)

- | | | | | | |
|---|----|---|-----------------|---|-----|
| 1 | 区内 | 2 | 近隣区(板橋区、北区、豊島区) | 3 | その他 |
|---|----|---|-----------------|---|-----|

※近隣区：東京都保健医療計画で定められている「区西北部東横医療圏」に含まれる自治体のうち、練馬区以外の区(板橋区、北区、豊島区)を指します。

問21-2 リハビリ療養目的の入院にあたり、その医療機関を選んだ理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|---|---------------------|---|---------------|
| 1 | かかりつけ医からの紹介 | 2 | 入院していた病院からの紹介 |
| 3 | 自宅に近いなど退院後の通院に便利だから | 4 | 専門性が高いから |
| 5 | その他() | 6 | 特に理由はない |

(すべての方におたずねします。)

問22 ご自身が今後、人生の最終段階も含め、受けたい医療・介護、受けたくない医療・介護について、家族や医療・介護スタッフ等と話し合っていますか。(○は1つ)

- | | | | |
|-------------|--------------|---|-----------|
| 1 | 詳しく話し合っている | 2 | 一応話し合っている |
| 3 | ほとんど話し合っていない | 4 | 話し合っていない |
| (→問22-2へ進む) | | | |

(問22で、1または2とお答えの方におたずねします。)

問22-1 話し合っている相手はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | | | |
|---|--------|---|---------|---------------|------------|
| 1 | 家族・親族 | 2 | 友人・知人 | 3 | かかりつけ医・主治医 |
| 4 | 看護師 | 5 | ケアマネジャー | 6 | ホームヘルパー |
| 7 | 介護施設職員 | 8 | その他() | 【問23へ進むてください】 | |

(問22で、3または4とお答えの方におたずねします。)

問22-2 話し合ったことがない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|---|-----------------|---|---------------------------|
| 1 | 話し合いたくないから | 2 | 話し合う必要性を感じないから |
| 3 | 話し合うきっかけがなかったから | 4 | 知識がないため、何を話し合っているかわからないから |
| 5 | その他() | 6 | 特に理由はない |

(すべての方におたずねします。)

問23 あなたは人生の最期をどこで迎えたいと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|---|---|
| 1 | 自宅 |
| 2 | 子供など親族の家 |
| 3 | 介護施設で利用できる施設(特別養護老人ホーム等) |
| 4 | サービス付き高齢者住宅・有料老人ホーム・都市型軽費老人ホーム等の高齢者向け住宅 |
| 5 | ホスピス(緩和ケア病棟) |
| 6 | 5以外の医療機関 |

- 7 その他 ()
8 わからない

問24 終末期および死後の手続き等で不安なことはありませんか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 死後の公共料金の解約や役所への届け出
2 遺品整理
3 金融機関への連絡
4 預貯金、不動産などの財産管理
5 葬儀に関すること
6 相続に関すること
7 お墓に関すること
8 その他 ()
9 特になし

問25 あなたが、入院や介護施設等へ入所するときに、身元保証人が必要になったらどう
な方をお願いしますか。(○は1つ)

- 1 家族・親族
2 知人・友人
3 民間の身元保証サービス(法人・団体など)
4 その他 ()
5 お願いでいる人はいない(→問26へ進む)
6 わからない(→問26へ進む)

(問25で、1～4とお答えの方におたずねします。)

問25-1 どのようなことをお願いしたいですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 入院・入所時の身元保証(契約書への署名など)
2 緊急時の連絡先としての対応
3 医療・介護に関する意思決定の代行
4 入院・入所中の生活支援(洗濯物の受け渡し、差し入れなど)
5 退院・退所時の手続きや引き取り
6 費用の支払いに関する保証
7 死亡時の対応(遺体の引き取り、葬儀など)
8 その他 ()
9 わからない

(すべての方におたずねします。)

問26 死後の手続き等をお願いできる方はどなたですか。(○は1つ)

- 1 家族・親族
2 知人・友人
3 法律・行政関係の専門家(弁護士・司法書士・行政書士など)
4 代行業者・サービス(葬儀の手配や遺品整理、役所への届出を行うサービス)
5 施設の職員や介護サービス責任者
6 その他 ()
7 お願いでいる人はいない
8 わからない

問27 終活に興味はありますか。(○は1つ)

- 1 大いにある
2 少しある
3 あまりない
4 全くない

問28 実際に終活を行うとすると、何を手伝ってもらいたいですか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 遺言の作成
2 エンディングノートの作成
3 契約関係の整理
4 身の回りの持ち物などの整理
5 お墓・葬儀の準備
6 デジタル遺品の整理
7 その他 ()
8 特になし

問29 終活に関して、相談するとしたら誰にしたいですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 家族や親族
2 区役所や地域包括支援センターなど行政の窓口
3 終活相談窓口(練馬区社会福祉協議会)
4 弁護士や行政書士、終活アドバイザーなど民間のサービス
5 その他 ()
6 相談せず、すべて自分でやりたい

問30 終活に関して、区が支援をされるとしたらどのようなことを求めたいですか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 専門の相談窓口の設置
2 終活に関するセミナーやイベントの開催
3 弁護士など民間事業者への相談料等に対する補助
4 遺言書やエンディングノートなどの保管場所の登録サービス
5 その他 ()
6 わからない
7 特になし

◆介護保険について

問31 あなたの現在の要介護度は、次のうちどれですか。(○は1つ)

- 1 要支援1
2 要支援2
3 要介護1
4 要介護2
5 要介護3
6 要介護4
7 要介護5
8 総合事業対象者
9 わからない

問32 あなたが、介護保険の要介護認定を申請した主な原因は、次のうちどれですか。
(○は1つ)

- 1 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)
2 心臓病
3 がん(悪性新生物)
4 呼吸器の病気(肺炎腫・肺炎等)
5 関節の病気(リウマチ等)
6 認知症(アルツハイマー病等)
7 パーキンソン病
8 糖尿病
9 視覚・聴覚障害
10 骨折・転倒
11 脊椎損傷
12 高齢による衰弱
13 その他 ()
14 わからない

問33 以下のサービスについて、知っているサービスと利用しているサービスに○をつけてください。利用していない場合は、「24 いずれも利用していない」を選択してください。利用しているサービスについては、満足度についてもご記入ください。

サービス名	A : 知っているサービス (あてはまるものすべてに○)	B : 利用しているサービス (あてはまるものすべてに○)	C : 満足度 (左の選択肢から1つ選択して丸数字を記入) (①満足、②やや満足、③ふつう、④やや不満、⑤不満)
(回答例) 1 訪問介護 (ホームヘルプサービス)	①	①	()
2 訪問入浴介護	1	1	()
3 訪問リハビリテーション	2	2	()
4 訪問看護	3	3	()
5 居宅療養管理指導	4	4	()
6 通所介護 (デイサービス、地域密着型通所介護を含む)	5	5	()
7 通所リハビリテーション (デイケア)	6	6	()
8 短期入所生活介護 (ショートステイ)	7	7	()
9 短期入所療養介護 (医療型ショートステイ)	8	8	()
10 福祉用具貸与・購入	9	9	()
11 住宅改修	10	10	()
12 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	11	11	()
13 介護老人保健施設	12	12	()
14 介護医療院	13	13	()
15 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 (24時間対応の訪問サービス)	14	14	()
16 夜間対応型訪問介護	15	15	()
17 小規模多機能型居宅介護 (通い・訪問・泊まりなどを組み合わせたサービス)	16	16	()
18 看護小規模多機能型居宅介護 (小規模多機能型居宅介護と看護を組み合わせたサービス)	17	17	()
19 認知症対応型通所介護	18	18	()
20 認知症対応型共同生活介護 (認知症高齢者グループホーム)	19	19	()
21 有料老人ホーム	20	20	()
22 都市型軽費老人ホーム	21	21	()
23 サービス付き高齢者向け住宅	22	22	()
24 いずれも利用していない (→問34へ進む)	23	23	()

(問33で、1～23とお答えの方におたずねします。)
問33-1 現在、介護保険サービスの支給限度額に対して、どの程度利用していますか。
(○は1つ)

1 自費負担分を含めて限度額以上に利用している	}	(→問34へ進む)
2 ほとんど限度額いっぱい利用している		
3 限度額まで利用していない		
4 わからない (→問34へ進む)		

(問33-1で、「3 限度額まで利用していない」とお答えの方におたずねします。)

問33-1-1 限度額まで利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 利用中のサービスで間に合っているから
2 家族介護により、多く利用せずに済んでいるから
3 利用料の負担が大きくなるから
4 希望するサービスが利用できるから
5 他に利用したいサービスがないから
6 その他 ()

【問34へ進んでください】

(問33で、「24 いずれも利用していない」とお答えの方におたずねします。)

問33-2 介護保険サービスを利用されていない理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1 病院や診療所に入院中
2 家族などの介護がある
3 自分で身の回りのことをするよう努力している
4 介護保険サービスを使うほど具合が悪くない
5 できるだけ他人の世話になりたくない
6 介護保険サービスの使い方がわからない
7 利用しようとしたが、事業者から断られた
8 使いたい介護保険サービスがない
9 近くに介護保険サービス事業者がない
10 他人が家に入ること抵抗がある
11 介護保険サービスの料金が高い
12 介護保険外のサービスを使っている
13 介護保険制度に不満がある
14 その他 ()

【問34へ進んでください】

(介護保険サービスを利用されている方におたずねします。)

問34 あなたは、ケアマネジャーに満足していますか。(○は1つ)

1 満足している	2 やや満足している	3 不満
4 やや不満である	5 不満である	

問35 あなたは、ケアマネジャーについてどのよう感じていますか。次の①～⑨について、あなたの気持ちをお答えください。(○はそれぞれの質問①～⑨に1つ)

	そう思う	どちらともいえない	そう思わない
①(介護予防) ケアプラン作成前に親身に話を聞いてくれる	1	2	3
②複数のサービス事業所を紹介し、選べるようにしてくれる	1	2	3
③介護保険以外の福祉区のサービスなどの情報も提供してくれる	1	2	3
④サービス内容や利用料について、わかりやすく説明してくれる	1	2	3
⑤月1回程度、定期的に訪問して様子や満足度を確認してくれる	1	2	3
⑥サービス事業者との間に入り、連絡や調整を行ってくれる	1	2	3
⑦自分の意向と異なる必要なサービスを勧められたことはない	1	2	3
⑧ケアプラン以外の介護や生活全般についても相談に乗ってくれる	1	2	3
⑨家族や友人・知人にも、同じケアマネジャーをお薦めできる	1	2	3

問36 あなたは、介護保険サービスを利用するようになって変わったことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1 体が動くようになった	()
2 すぐに疲れを感じなくなった	()
3 筋肉や関節などの痛みが減った、感じなくなった	()
4 自分もやれはできる、という自信がついた	()
5 食事が楽しくなった	()
6 一緒に参加する仲間ができた	()
7 人と接するのがおっくうでなくなった	()
8 その他 ()	()
9 利用する以前と特に変変わった点はない	()

(すべての方におたずねします。)

問37 要介護状態になっても、リハビリをはじめとした様々な介護保険サービスを利用することにより、心身の維持向上に努めることが大切です。要介護度が改善することについて、あなたはどのように考えていますか。(○は1つ)

1 改善して、介護保険サービスの利用を減らし、自立した生活を送りたい	()
2 改善したいが、介護保険サービスの利用量の減少と内容の変更が不安	()
3 介護保険サービスの利用量の減少・内容の変更になるため改善したくない	()
4 改善するとは思えない	()
5 その他 ()	()
6 わからない	()

問38 介護保険は、介護が必要になった方も、尊厳を保持し、その方の有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、社会みんなが支える制度です。その保険料は、区全体の介護保険サービスの利用状況や過去の実績などから、3年ごとに決まります。介護保険のサービスと保険料のバランスについて、あなたが最も重視する考え方に近いものはどれですか。(○は1つ)

1 保険料が多少高くなっても、特別介護老人ホームなどの施設整備や在宅サービスの充実を進めるべき	()
2 現在の施設や在宅サービスの水準は維持しつつ、保険料の上昇は高齢者人口の伸びなどによる影響の範囲に抑えるのが望ましい	()
3 施設整備も在宅サービスも新たな拡充は控え、保険料の負担をできるだけ軽くする方向がよい	()
4 わからない	()

問39 あなたは、日々の生活の中で介護保険料や健康保険料の負担についてどのように感じていますか。(○は1つ)

1 保険料が日々の暮らしを圧迫している	()
2 年々、保険料が高くなって、多少の負担と感じている	()
3 適正である(この程度の額ならいい)と思う	()
4 それほど負担とは感じない	()
5 わからない	()

問40 あなたは、介護保険サービスの利用料(食費や娯楽費など実費負担は除く)についてどのように感じていますか。(○は1つ)

1 負担と感じる	2 多少負担と感じる	3 どちらともいえない
4 それほど負担とは感じない	5 負担とは感じない	6 わからない

◆区の保健福祉施策について

問41 日常生活の中でのお困りごとはありますか。(○は3つまで)

1 食事の準備	2 掃除や洗濯
3 ごみの分別やごみ出し	4 庭の掃除や手入れ
5 買い物(荷物を持って帰ることも含む)	6 バスや電車、車を使っての外出
7 通院や薬を取りに行くこと	8 銀行や郵便局での手続き
9 区役所などでの手続き	10 生活に必要な情報を得ること
11 隣近所との付き合い	12 話し相手がいらないこと
13 電球交換および蛍光灯の交換	14 軽易な家具および荷物の移動
15 荷物整理・片付け	16 その他()
17 特に困っていることはない	

問42 あなたは、何歳以上が高齢者だと思いますか。(○は1つ)

1 60歳以上	2 65歳以上	3 70歳以上
4 75歳以上	5 80歳以上	6 その他()
7 わからない		

問43 あなたは、将来に対してどのようなことに不安がありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----|-----------------------------|
| 1 | 健康 (自分や家族が介護を必要とする状態になること等) |
| 2 | 生計 (経済的に苦しくなること等) |
| 3 | 防犯・防災 (災害時の避難場所がわからない等) |
| 4 | 住居 (老朽化、バリアフリーでない等) |
| 5 | 家族・親族との関係 (連絡を取り合っていない等) |
| 6 | 隣近所との関係 (困ったときに助け合える関係でない等) |
| 7 | 預貯金などの管理 |
| 8 | 1人暮らしになること |
| 9 | 老後への漠然とした不安 |
| 10 | その他 () |
| 11 | 不安なことはない |

問44 あなたは、地域包括支援センターをご存知ですか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|---------------------|---|-----------|
| 1 | 現在利用している | 2 | 利用したことがある |
| 3 | 名前は知っているが、利用したことはない | 4 | 知らない |

[3または4とお答えの方は問45へ進んでください]

(問44で、1または2とお答えの方におたずねします。)

問44-1 あなたは、地域包括支援センターに満足していますか。(○は1つ)

- | | | | | | |
|---|---------|---|----------|---|-----|
| 1 | 満足している | 2 | やや満足している | 3 | ふつう |
| 4 | やや不満である | 5 | 不満である | | |

(すべての方におたずねします。)

問45 あなたは、地域包括支援センターにどのような役割を期待しますか。(○は3つまで)

- | | |
|----|---------------------------------------|
| 1 | 要支援者などを対象に、適切な介護予防サービスの利用を促進する |
| 2 | 個々の高齢者に必要な支援内容を把握し、適切なサービスの利用につなげる |
| 3 | 高齢者の虐待防止・早期対応や権利擁護を図る |
| 4 | ケアマネジャーへの日常的個別指導・相談 |
| 5 | 地域の関係者が高齢者に関する地域課題などを検討するための地域ケア会議の充実 |
| 6 | 在宅医療・介護連携の推進 |
| 7 | 認知症の早期発見・早期対応などの認知症施策の推進 |
| 8 | 地域の社会資源の把握・開発および社会資源と人的資源のマッチング体制の整備 |
| 9 | その他 () |
| 10 | わからない |
| 11 | 特になし |

問46 あなたは、保健福祉や介護保険に関する知識・情報を何から得ていますか。
(○は3つまで)

- | | |
|----|---|
| 1 | ねりま区報 |
| 2 | 練馬区ホームページ |
| 3 | 地域包括支援センター |
| 4 | 「わたしの便利帳」 「高齢者の生活ガイド」 などの刊行物 |
| 5 | 社会福祉協議会の相談窓口 |
| 6 | 回覧板・掲示板 |
| 7 | 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ |
| 8 | インターネット |
| 9 | 練馬区公式SNS※ (X (旧 Twitter)、Facebook、YouTube、Instagram、LINE) |
| 10 | 家族・友人 |
| 11 | 病院などの医療機関 |
| 12 | その他 () |
| 13 | 特になし |

※SNS：「Social Networking Service (ソーシャルネットワーキングサービス)」の略で、登録された利用者が同士が交流できるWebサイトの会員制サービスのこと。

問47 もし、あなたの周囲で高齢者への虐待がわかったら、どこに相談しますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|---|------------|---|---------------|
| 1 | 家族・親族 | 2 | 知人・友人 |
| 3 | 警察 | 4 | 医療機関 |
| 5 | 地域包括支援センター | 6 | 総合福祉事務所 (区役所) |
| 7 | その他 () | 8 | わからない |

問48 あなたは、高齢者への虐待を防止するために、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----|----------------------|
| 1 | 介護される側と介護する側の相互理解の促進 |
| 2 | 地域における見守りやふだんからの声かけ |
| 3 | 気軽に相談できる窓口の充実 |
| 4 | 介護に関する情報提供の充実 |
| 5 | 認知症に関する理解の促進 |
| 6 | 介護保険サービスの充実 |
| 7 | 介護する家族同士の集い |
| 8 | 介護者がリフレッシュできる機会の充実 |
| 9 | 経済的な支援 |
| 10 | その他 () |
| 11 | わからない |
| 12 | 特になし |

問49 あなたは、認知症についてどの程度関心がありますか。(○は1つ)

- | | | | | | |
|---|-----------|---|------------------|---|----------|
| 1 | とても関心がある | 2 | まあまあ関心がある | 3 | あまり関心がない |
| 4 | まったく関心がない | 5 | 初めて聞いた (→問50へ進む) | | |

[3または4とお答えの方は問49-2へ進んでください]

(問49で、1または2とお答えの方におたずねします。)

問49-1 認知症に関心がある理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 自分や自分の家族が認知症になるかもしれないから
- 2 自分の家族に認知症になった人がいるから
- 3 知人や知人の家族で認知症になった人を知っているから
- 4 身近な地域、職場などで認知症になった人がいるから
- 5 福祉や介護に関連した仕事をしているから
- 6 その他 ()

(問49で、3または4とお答えの方におたずねします。)

問49-2 認知症に関心がない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 自分や自分の家族は認知症にならないと思うから
- 2 認知症についての情報を得る機会が普段ないから
- 3 認知症のことはできれば考えたくないから
- 4 その他 ()

(すべての方におたずねします。)

問50 認知症について、どのような印象をお持ちですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 認知症はだれもがなりうるものである
- 2 認知症は自分とは関係ない
- 3 認知症は自分と関係ない
- 4 認知症は自分と関係ない
- 5 認知症は自分と関係ない
- 6 認知症は自分と関係ない
- 7 認知症は自分と関係ない
- 8 特に関心はない

問51 あなたやご家族が認知症ではないかと感じたとき、どこに相談しますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|-------------|--------------|-----------------|
| 1 家族・親族 | 2 知人・友人 | 3 かかりつけ医 |
| 4 精神科などの専門医 | 5 ケアマネジャー | 6 介護家族の会や認知症カフェ |
| 7 民生・児童委員 | 8 地域包括支援センター | 9 保健相談所 |
| 10 社会福祉協議会 | 11 その他 () | 12 相談しない |

17

問52 あなたは、認知症に関わる施策として、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

- 1 認知症の兆候を早期に発見できる仕組みづくり
- 2 医療と介護保険サービスの連携による認知症の人の支える仕組みづくり
- 3 認知症について正しい知識を得るための講習会や情報提供
- 4 認知症の本人の体験や心情を本人の言葉で聞くことができる講演会
- 5 地域での見守りなど、日常的な支え合い
- 6 本人や家族が気軽に相談できる場所や共に活動できる居場所の整備
- 7 認知症の高齢者グループホームの整備など、介護保険サービスの充実
- 8 認知症の本人が利用する事業所の認知症ケアの質の向上
- 9 介護している家族の負担の軽減
- 10 認知症予防についての講習会や情報提供
- 11 介護保険制度や成年後見制度、その他の利用できるサービスに関する情報提供
- 12 権利擁護センター「ほっとサポートねりま」からの支援
- 13 その他 ()
- 14 わからない
- 15 特にない
- 16 特にない

問53 あなたが認知症について、気になる項目は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1 認知症に関する相談先 | 2 認知症の診断や治療の受診先 |
| 3 認知症の治療に関する情報 | 4 認知症の症状に関する情報 |
| 5 認知症の予防に効果的な方法 | 6 認知症の兆候を早期に発見する方法 |
| 7 認知症の人の介護の仕方 | 8 認知症の人の家族を支える地域の活動 |
| 9 その他 () | 10 特にない |

18

- 問54① 区や関係機関、団体が実施している認知症に関する取組のうち、あなたが利用（参加）したことがあるものや知っているものは何ですか。（あてはまるものすべてに○）
- ② 区や関係機関、団体が実施している認知症に関する取組のうち、あなたが利用（参加）したいものは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

	① 利用（参加）したことがあるものや知っているものすべてに○	② 利用（参加）したいものすべてに○
区や関係機関、団体が実施している認知症に関する取組名		
1 認知症ガイドブック	1	1
2 認知症なんでも相談窓口	2	2
3 もの忘れ検診	3	3
4 認知症予防に関する講座	4	4
5 認知症予防講演会	5	5
6 認知症カフェ	6	6
7 本人ミーティング	7	7
8 認知症疾患医療センターにおける専門医療相談	8	8
9 認知症高齢者位置情報提供サービス利用料の助成	9	9
10 認知症サポーター養成講座	10	10
11 チームオレレンジ活動	11	11
12 「U-impro（ニアプロ）」を活用した認知症対応研修	12	12
13 認知症予防プログラム	13	13
14 いずれもあてはまらない	14	14

- 問55 日常生活に必要な情報を得る際に、あなたはパソコンなどの情報通信の機器（ICT機器）をどの程度お使いですか。（それぞれ○は1つ）

① パソコン	1 よく使う	2 まあ使う	3 使わない	4 持っていない
② スマートフォン	1 よく使う	2 まあ使う	3 使わない	4 持っていない
③ タブレット端末※	1 よく使う	2 まあ使う	3 使わない	4 持っていない

※タブレット型端末：ノート型サイズで持ち運びでき、ディスプレイなどの表示部分にタッチパネルを搭載したコンピュータの総称

（問55の①～③で、すべて「4 持っていない」とお答えした方におたずねします。）

問55-1 ICT機器を持っていない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1 利用する必要性を感じないから	
2 機器の購入費が高いから	
3 通信費の負担が大きいため	
4 機器の操作方法や設定方法などが分からないから	
5 セキュリティに不安があるから	
6 その他（ ）	

（すべての方におたずねします。）

問56 あなたは、高齢者のための施策として、今後どのようなことにご力を入れてほしいと思いますか。最も力を入れてほしいものを選んでください。（○は3つまで）

1 生きがいづくり・社会参加への支援	
2 就労支援	
3 健康管理・健康づくりへの支援	
4 急性期の病院から在宅生活へつなぐ回復期リハビリテーション病棟の整備	
5 在宅療養を受けている患者の緊急時の入院を受け入れる病床の整備	
6 介護が必要にならないようにする介護予防・認知症予防の充実	
7 公共的建物や道路、公園などのバリアフリー化	
8 高齢者が住みやすい住宅への支援	
9 介護が必要な高齢者に対するサービスの実施	
10 地域におけるボランティア活動・組織への支援	
11 特別養護老人ホームなどの介護施設への支援	
12 認知症高齢者への支援	
13 定期的な安否確認のための見守り	
14 住まいへの入居や入院・手術、施設への入所、亡くなった後の諸手続き等における、身元保証サービス等の充実	
15 介護している家族への支援	
16 防犯・防災対策	
17 その他（ ）	
18 わからない	
19 特にない	

問62 あて名のご本人が介護保険サービスを利用されているとき、介護者ご自身はどのようなにお感じですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 本人がうれしそうにしており、満足である
- 2 サービス利用中は介護者自身もリフレッシュでき、ありがたい
- 3 本人よりも介護者の方がサービス利用を増やしたい、と感じるときがある
- 4 本人と介護者間で、サービス利用について意見が一致しないときがある
- 5 サービス利用後、本人が気分を害したり、具合が悪くなったりすることがあり、サービス内容などに不満がある
- 6 本人がサービス利用を嫌がることもあり、介護者としてつらいときがある
- 7 異性のスタッフの対応に不安を感じるときがある
- 8 その他 ()

問63 在宅での介護について、困ったり、負担に感じていることはありますか。

- (あてはまるものすべてに○)
- 1 本人に正確な症状を伝えるのが難しい
 - 2 来客の際に気を遣う
 - 3 日中、家を空けることに不安を感じる
 - 4 本人の言動が理解できないことがある
 - 5 本人に受診を勧めても同意してもらえない
 - 6 適切な対応や介護方法がわからない
 - 7 介護を家族など他の人に任せてよいか、悩むことがある
 - 8 誰に、何を、どのように相談すればよいかわからない
 - 9 家族や親族に介護を協力してもらえない
 - 10 家の構造が介護をするのに適していない
 - 11 サービスを利用したら本人の状態が悪化した(したことがある)
 - 12 排せつ介助等の夜間の対応が負担に感じる
 - 13 身体的につらい(腰痛や肩こり等)
 - 14 精神的なストレスがたまっている
 - 15 自分の用事を済ませることができない
 - 16 自分の自由になる時間が持てない
 - 17 先々のことを考える余裕がない
 - 18 経済的につらいと感じたときがある
 - 19 その他 ()
 - 20 特に困っていることはない

問64 介護をしていてつらい時、どこ(だれ)に相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 家族・親族
- 2 近所の人
- 3 民生・児童委員
- 4 ボランティア
- 5 介護家族の会や認知症カフェ
- 6 社会福祉協議会
- 7 ケアマネジャー
- 8 医師・医療機関
- 9 在宅サービスを行っているホームヘルパー・訪問看護士等
- 10 地域包括支援センター
- 11 その他 ()
- 12 どこにも(誰にも)相談していない
- 13 つらい時はない

問65 在宅での介護を継続していくうえで、介護者ご自身が受けたい支援はありますか。

- (あてはまるものすべてに○)
- 1 介護者が気軽に休憩にとれるサービス(一時入所など)
 - 2 介護者が旅行などの休養がとれるサービス(一定期間の入所など)
 - 3 介護者の身体的負担(腰痛や肩こり等)を軽減するサービス(マッサージ等)
 - 4 介護の悩みを個別に相談できるサービス(相談会など)
 - 5 介護の悩みを個別に相談できるサービス(電話や自宅等への訪問)
 - 6 介護者同士で話ができる機会の提供
 - 7 介護の技術が学べる研修・講座
 - 8 介護に関する定期的な情報提供
 - 9 その他 ()
 - 10 特にない

ご協力ありがとうございました。12月12日(金)までに同封の返信用封筒でご返送ください。切手は不要ですので、そのままご返函ください。

なお、この調査票および返信用封筒へのお名前のご記入は不要です。

練馬区高齢者基礎調査

④

◆ 調査へのご協力をお願い ◆

日頃から、練馬区政にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。区では、新たな「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定に着手しています。この調査は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らして続けられるよう、特別養護老人ホームの入所申込者の皆さまを対象に、生活場所や申し込みの理由、入所を希望する時期などの現在の状況およびニーズを把握させていただき、計画に反映するために実施します。調査の対象者として、特別養護老人ホームの入所申込者の方全員を対象に、調査票を送付させていただきます。なお、令和7年8月末現在の情報を基に調査票を送付しています。転居等により行き違いが生じる場合がありますが、ご了承ください。

ご回答いただいた内容は、統計情報の作成のみで使用します。個人が特定される形での公表や、他の目的での使用はいたしません。ご協力くださいますようお願いいたします。なお、調査のご回答内容により、待機の順番が変わることはありません。ご了解ください。

令和7年11月 練馬区

◆ 調査票のご記入にあたって ◆

- この調査票および返信用封筒へのお名前のご記入は不要です。
- 調査票上の「あなた」とは、封筒に印刷されたあて名ご本人を指します。
- できる限り、対象者ご本人がご回答ください。なお、対象者ご本人お一人での回答が難しい場合は、ご家族の方などにお手伝いいただき、対象者ご本人の意見を聞いた上で代わりにご回答ください。
- 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。質問文にある「○は1つ」「あてはまるものすべてに○」などの指示にしたがってご回答ください。また、ご意見や数字などを直接ご記入いただく質問もあります。
- 質問の回答が、「その他」にあてはまる場合は、() 内になるべく具体的にその内容をご回答ください。
- 対象者ご本人が不在や体調などの何らかの事情により回答できない場合には、下の枠内のいずれかに○印をつけてご返送ください。

- | | | |
|--------------------|------|-------|
| 1 入院・入所中で意思表示ができない | 2 転居 | 3 その他 |
|--------------------|------|-------|
- ご記入いただきましたら、**12月12日(金)まで**に、同封の返信用封筒にてご返送ください。切手は不要です。そのままご投函ください。

この調査は、株式会社日本能率協会総合研究所に委託して実施しています。調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【調査委託元】 練馬区 高齢施策担当部 高齢社会対策課 計画係

【調査実施・お問い合わせ先】

株式会社日本能率協会総合研究所 福祉・医療・労働政策研究部

電話：0120-550-156 (フリーダイヤル)

(受付：10時～12時、13時～17時 (12月15日(月)までのいずれも平日))

メール：h.policy@nar.co.jp

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|-----|
| 1 あて名のご本人が記入 | () |
| 2 ご家族が記入 (あて名のご本人からみられた続柄) | () |
| 3 その他 | () |

◆あなたのご家族や生活状況について

問1 あなたの性別と、令和7年10月1日現在の満年齢を教えてください。

- ① 性別 (○は1つ) ② 年齢 (右詰めで記入)

1 男性	2 女性	年齢	歳
------	------	----	---

問2 あなたの現在のお住まいはどちらですか。記入例のように、町名と丁目をご記入ください。

町名	丁目
(記入例) 【練馬区内の場合】 町名のみ	光が丘
【練馬区外の場合】 都道府県から	●●県●●市

問3 家族構成をお教えてください。(○は1つ)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1 1人暮らし | 2 夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上) |
| 3 夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下) | 4 子との2世帯 |
| 5 親との2世帯 | 6 親・子との3世帯 |
| 7 その他 () | |

問4 現在、あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。(○は1つ)

- | | |
|------|-------|
| 1 いる | 2 いない |
|------|-------|

問5 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

- | | |
|---------|------------|
| 1 大変苦しい | 2 やや苦しい |
| 3 ぶつう | 4 ややゆとりがある |
| | 5 大変ゆとりがある |

問6 あなたは現在どこで生活していますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1 自宅 (家族などとの同居も含む) | 2 介護老人保健施設 |
| 3 病院に入院中 | 4 介護医療院 |
| 5 認知症高齢者グループホーム | 6 有料老人ホーム |
| 7 都市型軽費老人ホーム | 8 サービス付き高齢者向け住宅 |
| 9 特別養護老人ホーム | 10 その他 () |

◆あなたの心身の状況について

問7 あなたの現在の要介護度は、次のうちどれですか。(○は1つ)

- | | | |
|--------|--------|---------|
| 1 要介護1 | 2 要介護2 | 3 要介護3 |
| 4 要介護4 | 5 要介護5 | 6 わからない |

問8 あなたは、現在、次にあげるような医療器具を利用したり、医療処置を受けたりしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------|---------------|
| 1 胃ろう・経管栄養 | 2 気管切開 |
| 3 インスリン注射 | 4 尿管カテーテル |
| 5 人工肛門 | 6 在宅酸素 |
| 7 ペースメーカー | 8 人工透析 |
| 9 たんの吸引 | 10 褥瘡(床ずれ)の処置 |
| 11 その他() | 12 あてはまるものはない |

問9 医師から認知症と診断されたことがありますか。(○は1つ)

- | |
|--|
| 1 認知症専門医(物忘れ外来、老年内科、精神科、心療内科、神経内科等)に診断されたことがある |
| 2 認知症専門医以外(かかりつけ医等)に診断されたことがある |
| 3 医師ではないが、認定調査員による認定調査で指摘されたことがある |
| 4 診断されたことはない |

◆特別養護老人ホーム入所申込状況について

問10 特別養護老人ホームの入所を最初に申し込んだのはいつですか。

西暦 年 月

問11 あなたが入所したい特別養護老人ホームは、どのタイプですか。(○は1つ)

- | |
|---|
| 1 多床室(2~4人部屋で、費用が安い) |
| 2 従来型個室(共用のリビングを併設していない個室で、多床室に比べて費用が高い) |
| 3 ユニット型個室(共用のリビングを併設している個室で、従来型個室に比べて費用が高い) |
| 4 どちらでもよい |

問12 問11のご回答の理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|------------------------------|
| 1 居室や設備の形態が自分の生活スタイルに合っているから |
| 2 希望に合った形の介護を受けられるから |
| 3 費用負担の面を考慮して |
| 4 急な体調の変化など、緊急の際に安心だから |
| 5 入居したいと考えている施設がそのタイプだから |
| 6 なるべく早く早く入居したいから |
| 7 特にこだわりがないから |
| 8 その他() |

問13 特別養護老人ホームへの入所申し込みはどなたが決定しましたか。(○は1つ)

- | | | | |
|------|-------|--------|----------|
| 1 本人 | 2 配偶者 | 3 子 | 4 子の配偶者 |
| 5 親 | 6 孫 | 7 兄弟姉妹 | 8 その他() |

問14 入所申し込みをした特別養護老人ホームの情報はどこで入手されましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|----------------------|
| 1 ケアマネジャー |
| 2 地域包括支援センター |
| 3 練馬区役所 |
| 4 入所(入院)している(いた)施設職員 |
| 5 医師・医療機関 |
| 6 社会福祉協議会 |
| 7 親族・友人等 |
| 8 インターネット |
| 9 特別養護老人ホーム |
| 10 その他() |

問15 入所申し込みをした特別養護老人ホームを選択した理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-----------------------------------|
| 1 自宅から近い |
| 2 家族が面会に来る際に交通が便利 |
| 3 居室タイプ(多床室、ユニット型等)が希望と合っている |
| 4 併設のデイサービスなど、同じ法人の介護保険サービスを受けていた |
| 5 必要な介護保険サービスが受けられる(介護専門職が十分いる) |
| 6 必要な介護保険外サービスが受けられる |
| 7 必要な医療処置を受けられる |
| 8 自立支援に向けたリハビリなどの機能訓練サービスが受けられる |
| 9 日中のプログラムが充実している |
| 10 緊急時にも対応が可能である(24時間対応が可能である) |
| 11 施設の防犯・見守りがしっかりしている |
| 12 職員が親切で対応が良い |
| 13 施設が新しい |
| 14 部屋や建物の環境が充実している |
| 15 見守をして、施設の雰囲気良かった |
| 16 栄養管理の行き届いた食事が食べられる |
| 17 おいしい食事が食べられる |
| 18 料金が安い |
| 19 最期までいられる(現在の入所施設には期臨があるため) |
| 20 話し相手やクラブ活動など仲間との交流がある |
| 21 ケアマネジャーに勧められた |
| 22 知人・友人に勧められた |
| 23 すぐに入所できそうだから |
| 24 その他() |
| 25 特に理由はない |

問16 あなたが特別養護老人ホームを申し込んだ理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

- 1 将来の介護に不安を感じるため
- 2 1人暮らしで介護する同居の家族がいないため
- 3 家族が働いており、介護する家族がいないため
- 4 家族が精神的・身体的に疲れているため
- 5 現在の住居がバリアフリー化されていないため
- 6 ショートステイ（短期入所生活介護）が必要なきに使用しないため
- 7 デイサービス（通所介護）が必要なきに使用しないため
- 8 24時間の住居ヘルプサービス（訪問介護）が必要なきに使用しないため
- 9 現在の在宅サービスの内容に不満があるため
- 10 その他（ ）

問17 あなたが施設サービス等に期待することは何か。(あてはまるものすべてに○)

- 1 専門的な介護が受けられること
- 2 24時間体制で介護が受けられること
- 3 医療と介護の両方の支援が受けられること
- 4 掃除、洗濯などの家事を代わりにやってくれること
- 5 防犯、防災面などで安心できること
- 6 孤独にならないこと
- 7 在宅の介護保険サービスより費用が安くなること
- 8 その他（ ）
- 9 特にない

問18 あなたは、練馬区外の特別養護老人ホームに申し込んでいますか。(○は1つ)

- 1 申し込んでいる
- 2 申し込んでいない (→問18-2へ進む)

(問18で、「1 申し込んでいる」とお答えの方におたずねします。)

問18-1 申し込んでいる特別養護老人ホームはどこにありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 都内 (23区内)
- 2 都内 (23区外)
- 3 埼玉県
- 4 千葉県
- 5 神奈川県
- 6 その他（ ）

【問19へ進んでください】

(問18で、「2 申し込んでいない」とお答えの方におたずねします。)

問18-2 練馬区外の特別養護老人ホームに申し込まない理由は何ですか。(○は1つ)

- 1 特別養護老人ホームに家族が訪ねてくるのが遠くなるため
- 2 区内の特別養護老人ホームしか申し込みできないと思っていたため
- 3 区外にどのような特別養護老人ホームの施設があるか知らないため
- 4 その他（ ）

(すべての方におたずねします。)

問19 申し込んでいる特別養護老人ホームから「入所できます」という連絡がきた場合、あなたは入所しますか。(○は1つ)

- 1 すぐに入所する
- 2 複数の施設に申し込んでおり、最も希望する施設であれば入所する
- 3 すぐには決められない
- 4 まだ自宅で暮らさるため、お断りする

問20 申し込んでいる特別養護老人ホームから「入所できます」という連絡があった際に、断ったことはありませんか。(○は1つ)

- 1 ある
- 2 ない (→問21へ進む)

(問20で、「1 ある」とお答えの方におたずねします。)

問20-1 どのような理由で入所の案内を断りましたか。(○は1つ)

- 1 入院中だったため
- 2 通院中だったため
- 3 風邪などで一時的に体調を崩していたため
- 4 介護老人保健施設に入所していたため
- 5 介護医療院に入所していたため
- 6 まだ自宅で暮らしたかったため
- 7 その他（ ）

(すべての方におたずねします。)

問21 どのくらいの時期に入所を希望しますか。(○は1つ)

- 1 すぐに入所したい (→問22へ進む)
- 2 6か月以内に入所したい
- 3 1年以内に入所したい
- 4 いつかは入所したい
- 5 その他（ ）

(問21で、「2～5とお答えの方におたずねします。)

問21-1 早期の入所を希望しない理由は何ですか。(○は1つ)

- 1 入所のための準備期間が必要なため
- 2 入所待ちの期間を見込んで早めに申し込んだため
- 3 入所を迷っているため
- 4 その他（ ）

(すべての方におたずねします。)

問22 あなたが、現在特別養護老人ホーム以外に申し込みされている施設、もしくは、今後利用を検討している施設などがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 介護老人保健施設
- 2 一般の病院 (医療保険での入院)
- 3 介護医療院
- 4 認知症高齢者グループホーム
- 5 有料老人ホーム
- 6 都市型軽費老人ホーム
- 7 サービス付き高齢者向け住宅
- 8 その他（ ）
- 9 特にない (→問22-2へ進む)

(問22で、「1～8とお答えの方におたずねします。)

問22-1 今後入所したい施設を、次の中から3つ以内で順位を付けて選び、右の欄にそれぞれ選択肢の番号を記入してください。(記入は3つまで)

- | | |
|------------------------|-----|
| 1 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム) | 第1位 |
| 2 介護老人保健施設 | |
| 3 一般の病院 (医療保険での入院) | 第2位 |
| 4 介護医療院 | |
| 5 認知症高齢者グループホーム | 第3位 |
| 6 有料老人ホーム | |
| 7 都市型軽費老人ホーム | |
| 8 サービス付き高齢者向け住宅 | |
| 9 その他（ ） | |

【問23へ進んでください】

(問22で、「9 特にない」とお答えの方におたずねします。)

問22-2 このような施設などの申し込みをしない理由は何か。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 すでに特別養護老人ホーム以外の施設に入所しているため
- 2 特別養護老人ホーム以外の施設がわからないため
- 3 特別養護老人ホーム以外の施設は経済的に入れないため
- 4 特別養護老人ホーム以外の施設では希望するサービスを受けられないため
- 5 入所待ちの期間を見込んで早めに申し込んだが、現在は自宅で生活できるため
- 6 その他 ()

(すべての方におたずねします。)

問23 あなたが希望する在宅サービスの提供や制度の充実が見込めるのであれば、自宅での生活を希望しますか。(○は1つ)

- 1 ぜひ、今の家で生活を続けたい
- 2 可能な限り今の家で生活を続けたい
- 3 いくつかは特別養護老人ホームに入所したい
- 4 なるべく早く特別養護老人ホームに入所したい (→問24へ進む)

(問23で、1～3とお答えの方におたずねします。)

問23-1 どのような在宅サービスを利用すれば、今の家での生活を続けられると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 24時間365日必要に応じて、定期的かつ随時に、自宅でヘルパーや看護士に食事・入浴などの介助や緊急時に対応してもらえらる
- 2 24時間365日必要に応じて、計画的あるいは随時に、自宅で医師に診療してもらえらる
- 3 施設へ通うことを中心に、自宅へ訪問してもらったり、施設へ泊まったりするなど、柔軟に対応してもらえらる
- 4 認知症に配慮した介護保険サービスが整っている
- 5 在宅生活ができるよう、専門家にリハビリをしてもらえらる
- 6 デイサービスやショートステイを利用したいときに利用できる
- 7 段差の解消や手すりなど、住まいの構造や設備がバリアフリーになっている
- 8 配食や買い物、ごみ出しなどの生活面を支援してもらえらる
- 9 困ったときいつでも身近に相談できる体制が整っている
- 10 声かけや見守りをしてもらえるなど地域の理解や支えがある
- 11 家族が理解・協力してくれる
- 12 その他 ()
- 13 特にない

◆介護について

(すべての方におたずねします。)

問24 以下のサービスについて、知っているサービスと利用しているサービスに○をつけ、利用していない場合は、「24 いずれも利用していない」を選択してください。利用しているサービスについては、満足度についてもご記入ください。

サービス名	A : 知っているサービス (あてはまるものすべてに○)	B : 利用しているサービス (あてはまるものすべてに○)	C : 満足度 (左の選択肢から1つ選択して丸数字を記入) ①満足 ②やや満足 ③ふつう ④やや不満 ⑤不満
(回答例) 1 訪問介護 (ホームヘルプサービス)	①	①	(②)
1 訪問介護 (ホームヘルプサービス)	1	1	()
2 訪問入浴介護	2	2	()
3 訪問リハビリテーション	3	3	()
4 訪問看護	4	4	()
5 居宅療養管理指導	5	5	()
6 通所介護 (デイサービス、地域密着型通所介護を含む)	6	6	()
7 通所リハビリテーション (デイケア)	7	7	()
8 短期入所生活介護 (ショートステイ)	8	8	()
9 短期入所療養介護 (医療型ショートステイ)	9	9	()
10 福祉用具貸与・購入	10	10	()
11 住宅改修	11	11	()
12 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	12	12	()
13 介護老人保健施設	13	13	()
14 介護医療院	14	14	()
15 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 (24時間対応の訪問サービス)	15	15	()
16 夜間対応型訪問介護	16	16	()
17 小規模多機能型居宅介護 (通い・訪問・泊まりなどを組み合わせたサービス)	17	17	()
18 看護小規模多機能型居宅介護 (小規模多機能型居宅介護を組み合わせたサービス)	18	18	()
19 認知症対応型通所介護	19	19	()
20 認知症対応型共同生活介護 (認知症高齢者グループホーム)	20	20	()
21 有料老人ホーム	21	21	()
22 都市型軽費老人ホーム	22	22	()
23 サービス付き高齢者向け住宅	23	23	()
24 いずれも利用していない (→問26へ進む)			()

(問24で、1～23とお答えの方におたずねします。)

問25 現在、介護保険サービスの支給限度額に対して、どの程度利用していますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------------|-------------|
| 1 自費負担分を含めて限度額以上に利用している | } (→問26へ進む) |
| 2 ほとんど限度額いっぱい利用している | |
| 3 限度額まで利用していない | |
| 4 わからない (→問26へ進む) | |

(問25で、「3 限度額まで利用していない」とお答えの方におたずねします。)

問25-1 限度額まで利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------|
| 1 利用中のサービスの間に合っているから |
| 2 家族介護により、多く利用せずに済んでいるから |
| 3 利用料の負担が大きくなるから |
| 4 希望するサービスが利用できないから |
| 5 他に利用したいサービスがないから |
| 6 その他 () |

(すべての方におたずねします。)

問26 ご自身が今後、人生の最終段階も含め、受けたい医療・介護、受けたくない医療・介護について、家族や医療・介護スタッフ等と話し合っていますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 詳しく話し合っている | } (→問26-2へ進む) |
| 2 一応話し合っている | |
| 3 ほとんど話し合っていない | |
| 4 話し合っていない | |

(問26で、1または2とお答えの方におたずねします。)

問26-1 話し合っている相手は誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|----------|-----------|--------------|
| 1 家族・親族 | 2 友人・知人 | 3 かかりつけ医・主治医 |
| 4 看護師 | 5 ケアマネジャー | 6 ホームヘルパー |
| 7 介護施設職員 | 8 その他 () | |
- 【問27へ進んでください】

(問26で、3または4とお答えの方におたずねします。)

問26-2 話し合っていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-----------------------------|
| 1 話し合いたくないから |
| 2 話し合う必要性を感じないから |
| 3 話し合うきっかけがなかったから |
| 4 知識がないため、何を話し合っているかわからないから |
| 5 その他 () |
| 6 特に理由はない |

(すべての方におたずねします。)

問27 あなたは人生の最期をどこで迎えたいと思いますか。(○は1つ)

- | |
|---|
| 1 自宅 |
| 2 子供など親族の家 |
| 3 介護保険で利用できる施設 (特別介護老人ホーム等) |
| 4 サービス付き高齢者住宅・有料老人ホーム・都市型軽費老人ホーム等の高齢者向け住宅 |
| 5 ホスピス (緩和ケア病棟) |
| 6 5以外の医療機関 |
| 7 その他 () |
| 8 わからない |

問28 終末期および死後の事務で不安なことはありませんか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1 死後の公的料金の解約や役所への届け出 | 2 遺品整理 |
| 3 金融機関への連絡 | 4 預貯金、不動産などの財産管理 |
| 5 葬儀 | 6 相続 |
| 7 墓 | 8 その他 () |
| 9 特になし | |

問29 令和6年11月～令和7年10月の過去1年間にショートステイ (短期入所生活介護、もしくは短期入所療養介護) を利用しましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1 練馬区内事業所を利用した | 2 練馬区外事業所を利用した |
| 3 利用していない (→問29-4へ進む) | |

(問29で、1または2とお答えの方におたずねします。)

問29-1 ショートステイの利用目的は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|------------------------|
| 1 介護者や家族の心身の負担軽減のため |
| 2 介護者や家族の冠婚葬祭、旅行などのため |
| 3 介護者や家族の急病のため |
| 4 認知症への対応のため |
| 5 生活のリズムをつくる (取り戻す) ため |
| 6 夜間の見守りのため |
| 7 閉じこもり状態を防止するため |
| 8 施設の入所待ちのため |
| 9 その他 () |

問29-2 ショートステイは希望している時期に利用できていますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------------|--------------|-------------|
| 1 利用できている | 2 利用できるときが多い | 3 どちらともいえない |
| 4 利用できないうちが多い | 5 利用できない | |

問29-3 ショートステイは希望している施設を利用できていますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------------|--------------|-------------|
| 1 利用できている | 2 利用できるときが多い | 3 どちらともいえない |
| 4 利用できないうちが多い | 5 利用できない | |

(問29で、「3 利用していない」とお答えの方におたずねします。)

問29-4 ショートステイを利用しなかった理由は何か。(○は1つ)

- 1 そのサービスを知らなかったから
- 2 そのサービスは知っていたが、利用したい施設の定員に空きがなかったから
- 3 令和16年11月以前に利用したがサービスを利用したいと思わなかったから
- 4 必要だと思わなかったから
- 5 その他 ()

◆区の施策・情報について

(すべての方におたずねします。)

問30 高齢者保健福祉施策や介護保険について、ご意見やご要望がございましたら、下欄にご記入ください。

.....

.....

.....

.....

※この後、介護をしている方（介護者）へのアンケートへのアンケートにもご協力をお願いいたします。介護者がいない方は、ここで調査は終了です。

ご協力ありがとうございました。12月12日（金）までに同封の返信用封筒でご返送ください。切手は不要ですので、そのままご投函ください。

なお、この調査票および返信用封筒へのお名前のご記入は不要です。

ここからは介護をしている方（介護者）におたずねする質問です。

問31 主に介護している方は、あて名のご本人のご家族ですか。(○は1つ)

- 1 家族である (→問31-1へ進む)
- 2 家族ではない →以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

(問31で、「1 家族である」とお答えの方におたずねします。)

問31-1 あて名のご本人を主に介護しているご家族の性別・年齢・続柄・健康状態について、あてはまるものにそれぞれ○をつけてください。(それぞれ○は1つ)

性別 (○は1つ)	1 男性	2 女性	
年齢 (○は1つ)	1 20歳未満	2 20歳代	3 30歳代
	4 40歳代	5 50歳代	6 60歳代
	7 70歳代	8 80歳以上	
続柄 (○は1つ) *あて名ご本人からみれば続柄でお答えください。	1 夫	2 妻	3 息子
	4 娘	5 子の夫	6 子の妻
	7 親	8 孫	9 兄弟姉妹
	10 その他 ()		
健康状態 (○は1つ)	1 とてもよい	2 まあよい	
	3 あまりよくない	4 よくない	

問32 あて名のご本人の介護期間を教えてください。(○は1つ)

1 1年未満	2 1～3年未満	3 3～5年未満
4 5～8年未満	5 8～10年未満	6 10年以上

問33 主に介護している方の就労・就学状況を教えてください。(○は1つ)

1 正規社員	2 非正規社員
3 パート・アルバイト	4 学生 (→問34へ進む)
5 無職	6 その他 ()

(問33で、1～3、または5、6とお答えの方におたずねします。)

問33-1 主に介護している方の今後の就労意向を教えてください。(○は1つ)

1 現在と同様の形で働きたい	2 正規社員として働きたい
3 非正規社員として働きたい	4 パート・アルバイトとして働きたい
5 わからない	6 働きたくない

(すべての方におたずねします。)

問34 主に介護をしている方は、あて名のご本人の介護以外に育児（自分の子どもや孫の世話）や他の家族の方の介護もされていますか。(あてはまるものすべてに○)

1 自分の子の育児をしている	2 孫の世話をしている
3 近い兄弟姉妹の世話をしている	4 他の家族の介護や世話をしている
5 本人の介護のみしている	6 その他 ()

問35 あて名のご本人が介護保険サービスを利用されているとき、介護者ご自身はどのようなお感じですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 本人がうれしそうにしており、満足である
- 2 サービス利用中は介護者自身もリフレッシュでき、ありがたい
- 3 本人よりも介護者の方がサービス利用を増やしたい、と感じるときがある
- 4 本人と介護者として、サービス利用について意見が一致しないときがある
- 5 サービス利用後、本人が気分が害したり、具合が悪くなったりすることがあり、サービス内容などに不満がある
- 6 本人がサービス利用を嫌がることがあり、介護者としてつらいときがある
- 7 異性のスタッフの対応に不安を感じるときがある
- 8 その他 ()

問36 在宅での介護について、困ったり、負担に感じていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 本人に正確な症状を伝えるのが難しい
- 2 来客の際に気を遣う
- 3 日中、家を空けることに不安を感じる
- 4 本人の言動が理解できないことがある
- 5 本人に受診を勧めても同意してもらえない
- 6 適切な対応や介護方法がわからない
- 7 介護を家族など他の人に任せてよいか、悩むことがある
- 8 誰に、何を、どのように相談すればよいかわからない
- 9 家族や親族に介護を協力してもらえない
- 10 家の構造が介護をするのに適していない
- 11 サービスを利用したら本人の状態が悪化した(したことがある)
- 12 排せつ介助等の夜間の対応が負担に感じる
- 13 身体的につらい(腰痛や肩こり等)
- 14 精神的なストレスがたまっている
- 15 自分の用事を済ませることができない
- 16 自分の自由になる時間が持てない
- 17 先々のことを考え、余裕がない
- 18 経済的につらいと感じたときがある
- 19 その他 ()
- 20 特に困っていることはない

13

問37 介護をしていてつらい時、どこ(だれ)に相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 家族・親族
- 2 近所の人
- 3 民生・児童委員
- 4 ボランティア
- 5 介護家族の会や認知症カフェ
- 6 社会福祉協議会
- 7 ケアマネジャー
- 8 医師・医療機関
- 9 在宅サービスを行っているホームヘルパー・訪問看護師等
- 10 地域包括支援センター
- 11 その他 ()
- 12 どこにも(誰にも)相談していない
- 13 つらい時はない

問38 介護者ご自身の視点から、特別養護老人ホームを申し込んだ理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 将来の介護に不安を感じるため
- 2 働いており介護する家族がいないため
- 3 高齢あるいは病弱で、介護が困難なため
- 4 精神的に疲れているため
- 5 身体的に疲れているため
- 6 在宅サービスを使いたくはないため
- 7 地域に十分な介護保険サービス事業者がいないため
- 8 本人が1人暮らしで、介護する同居の家族がいないため
- 9 ショートステイ(短期入所生活介護)が必要なく使えないため
- 10 デイサービス(通所介護)が必要なく使えないため
- 11 24時間のホームヘルプ(訪問介護)サービスが必要なく使えないため
- 12 現在の在宅サービスの内容に不満があるため
- 13 その他 ()
- 14 特になし

問39 介護者ご自身の視点から、特別養護老人ホームに期待することは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 専門的な介護が受けられること
- 2 24時間体制で介護が受けられること
- 3 掃除、洗濯などの家事を代わりにやってくれること
- 4 防犯、防災面などで安心できること
- 5 孤独にならないこと
- 6 在宅の介護保険サービスより費用が安くなること
- 7 その他 ()
- 8 特になし

14

問40 在宅での介護を継続していくうえで、介護者ご自身が受けたい支援はありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----|-------------------------------------|
| 1 | 介護者が気軽に休息がとれるサービス（一時入所など） |
| 2 | 介護者が旅行などの休養がとれるサービス（一定期間の入所など） |
| 3 | 介護者の身体的負担（腰痛や肩こり等）を軽減するサービス（マッサージ等） |
| 4 | 介護の悩みを個別に相談できるサービス（相談会など） |
| 5 | 介護の悩みを個別に相談できるサービス（電話や自宅等への訪問） |
| 6 | 介護者同士で話ができる機会の提供 |
| 7 | 介護の技術が学べる研修・講座 |
| 8 | 介護に関する定期的な情報提供 |
| 9 | その他（ |
| 10 | 特にない |

ご協力ありがとうございました。12月12日（金）までに同封の返信用封筒でご返送ください。切手は不要です。そのまま投函ください。

なお、この調査票および返信用封筒へのお名前のご記入は不要です。

⑤ 練馬区介護サービス事業所調査

◆ 調査へのご協力をお願い

日頃から、練馬区政にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。区では、新たな「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定に着手しています。この調査は、誰も住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、区内で介護保険サービスを提供されているすべての事業所を対象に、事業展開の現状と今後、介護保険制度の見直しなどに関するご意見・ご要望などをお聞きし、計画に反映するために実施します。

ご回答いただいた内容は、統計情報の作成のみ 사용됩니다。事業所が特定される形の公表や、他の目的での使用はいたしませんので、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和7年11月 練馬区

◆ 調査票のご記入にあたって

- この調査票および返信用封筒へのお名前のご記入は不要です。
- 調査票は、送付した封筒の宛名に記載されているサービス種別ごとに発送していただきます。複数の調査票をお届けした事業所においては、お手数ですが、サービス種別ごとに調査票を作成してください。
- 特にことわりのない場合、令和7年10月1日時点の状況についてご記入ください。
- 紙の調査票（本紙）に直接記入する方法と、オンラインで回答する方法の2種類からいずれかを選択してください（両方回答する必要はありません）。具体的な回答方法は裏面に記載しています。
- 12月12日（金）までに、ご回答ください。

この調査は、株式会社日本能率協会総合研究所に委託して実施しています。調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【調査委託元】 練馬区 高齢施策担当部 高齢社会対策課 計画係

【調査実施・お問い合わせ先】

株式会社日本能率協会総合研究所 福祉・医療・労働政策研究部

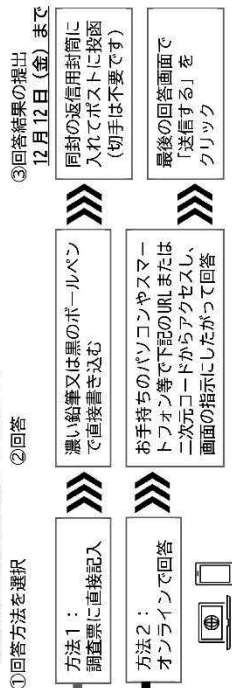
電話：0120-344-343（フリーダイヤル）

（受付：10時～12時、13時～17時（12月15日（月）までのいずれも平日））

メールアドレス：h.polic@mar.co.jp

◆ 回答方法

- 回答方法は、紙の調査票に直接記入する方法と、オンラインで回答する方法の2種類からいずれかを選択してください。



【方法1：調査票に直接記入】の方

1. 黒い鉛筆又は黒のボールペンでこの調査票に直接書き込んでください。
 - 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。質問文にある「○は1つ」「あてはまるものすべてに○」などの指示にしたがってご回答ください。また、**漢字や数字などを直接ご記入いただく質問もあります。**
 - 質問の回答が、「その他」にあてはまる場合は、（ ）内になるべく具体的にその内容をご回答ください。
2. ご記入いただきましたら、**12月12日（金）まで**に、同封の返信用封筒にてご返送ください。切手は不要です。そのままご投函ください。

【方法2：オンラインで回答】の方

1. お手持ちのパソコンやスマートフォン等で下記のURLを入力いただくか、あるいは二次元コードを読み取ってください。

URL : <https://rdc.dstyleweb.com/hmmc/yetpkg/>

2. 最初の画面でIDとパスワードを入力してください。

※ID、パスワードは、ランダムに振り分けられており、事業所の特定はできませんので、安心してご回答ください。

ID： パスワード：

3. 画面の指示にしたがって回答してください。

●回答は、あてはまる選択肢のチェックボックスをクリックしてください。質問文にある「○は1つ」「あてはまるものすべてに○」などの指示にしたがってご回答ください。また、**漢字や数字などを直接入力いただく質問もあります。**

●質問の回答が、「その他」にあてはまる場合は、（ ）内になるべく具体的にその内容を入力してください。

4. 最後の回答画面で「送信する」をクリックすると回答完了です。

12月12日（金）までに、回答を完了してください。

◆基本情報

問1 貴事業所が現在実施しているサービスは、つぎのどれですか。(〇は1つ)

- 1 居宅介護支援※
 - 2 訪問介護 (総合事業含む)
 - 3 訪問入浴介護※
 - 4 訪問看護※
 - 5 訪問リハビリテーション※
 - 6 通所介護 (総合事業含む)
 - 7 通所リハビリテーション※
 - 8 短期入所生活介護※
 - 9 短期入所療養介護※
 - 10 福祉用具貸与・販売※
 - 11 特定施設入居者生活介護※
 - 12 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
 - 13 夜間対応型訪問介護
 - 14 認知症対応型通所介護※
 - 15 地域密着型通所介護 (総合事業含む)
 - 16 小規模多機能型居宅介護※
 - 17 特定施設入居者生活介護
 - 18 認知症対応型共同生活介護※
 - 19 介護老人福祉施設
 - 20 介護老人保健施設
 - 21 介護医療院
- ※は、介護予防を含む

問2 運営主体は、つぎのどれですか。(〇は1つ)

- 1 企業 (株式会社・合同会社等)
- 2 社会福祉法人
- 3 医療法人
- 4 NPO法人
- 5 その他 ()

問3 運営主体の従業員数は、つぎのどれですか。(〇は1つ)

- 1 4人以下
- 2 5人以上9人以下
- 3 10人以上19人以下
- 4 20人以上49人以下
- 5 50人以上99人以下
- 6 100人以上

※ 職種や役職等に関係なく、雇用関係のある在籍者の総数 (常勤労働者換算ではない) です。(介護関係職種のみならず、管理者、事務職、調理員、栄養士、送迎運転手、清掃員等も含めて含みます。) 役員、派遣労働者、委託従事者は含みません。

問4 貴事業所の住所地に該当する基本地区は、つぎのどれですか。(〇は1つ)

- 1 練馬地区 (〒176 の地域)
- 2 石神井地区 (〒177 の地域)
- 3 大泉地区 (〒178 の地域)
- 4 光が丘地区 (〒179 の地域)

問5 令和7年10月1日時点の貴事業所の利用者数 (練馬区民以外も含む) について、要介護度別にご記入ください。(要支援1・2と総合事業対象者が重複しないようにご記入ください。)

- ① 要支援1・・・人
- ② 要支援2・・・人
- ③ 要介護1・・・人
- ④ 要介護2・・・人
- ⑤ 要介護3・・・人
- ⑥ 要介護4・・・人
- ⑦ 要介護5・・・人
- ⑧ 総合事業対象者※・・・人

※は、基本チェックリストの結果、サービス・活動事業対象者に該当すると判定された方

問6 上記の利用者のうち、貴事業所を1年以上継続される方は、令和6年10月1日時点と比較して、要介護度はどのように変化していますか。

(例 要介護から要介護2へ変化した場合は「改善」として、人数を計算してください)

- ① 改善・・・人
- ② 維持・・・人
- ③ 悪化・・・人

(通所介護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、短期入所療養介護、特定施設入居者生活介護、認知症対応型通所介護、地域密着型通所介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院)におたずねします。上記以外の事業所は問8に進んでください。)

問7 令和7年10月1日時点の貴事業所の定員数と稼働状況についておたずねします。(時間帯によって利用者を入れ替えている場合は、合計の人数でご記入ください。小規模多機能型居宅介護および看護小規模多機能型居宅介護は、定員数欄に登録定員をご記入のうえ、通い定員と宿泊定員もお答えください。)

- ① 定員数・・・人 (通い定員)人 (宿泊定員)人
- ② 令和7年9月の平均利用者数・・・人

※ ②の平均利用者数は、①の定員数を超えない範囲でご記入ください。

◆事業所の従事者・人材育成について

(すべての事業所におたずねします。)

問8 貴事業所の介護保険の指定介護サービス事業に従事する者は何人ですか。(令和6年9月30日時点、令和7年9月30日現在)

※該当者がいない場合は、「0」(ゼロ)をご記入ください。	無期雇用職員 (注2)		合計	合計のうち練馬区内在住者
	令和6年	令和7年		
介護保険の指定介護サービス事業に従事する従業員数 (注1)	人	人	人	人
	人	人	人	人

(注1) 介護保険の指定介護サービス事業に従事する従業員数は、職種や役職等に関係なく、介護保険の指定介護サービス事業に従事する者の総数です。管理者、介護事務職、調理員、栄養士、送迎運転手等を含みます。ただし、派遣労働者、委託従事者、単発アルバイト・マッチングアプリを通じた従業者は含みません。

(注2) 無期雇用職員・有期雇用職員とは
・無期雇用職員とは、労働時間数にかかわらず雇用期間の定めがない者。
(本調査では、有期労働契約より無期労働契約に転換した者も含む。)
・有期雇用職員とは、無期雇用職員以外の労働者。(派遣労働者、委託業務従事者、単発アルバイト・マッチングアプリを通じた従業者を除く。)

問11 貴事業所では、従業員の職種別過不足の状況はつぎのうちのどれにあてはまりますか。それぞれの職種への配置の過不足状況を記入してください。（それぞれの職種で、「ある・ない」のどちらかに○、「ある」場合は「過不足状況」で1つに○）

回答例	当該職種の配置	過不足状況		
		過剰	適正	不足 やや不足 大いに不足
	① ある 2. ない	7	2	4 5
ア. 訪問介護員	1. ある 2. ない	1	2	3 4 5
イ. サービス提供責任者	1. ある 2. ない	1	2	3 4 5
ウ. 介護職員	1. ある 2. ない	1	2	3 4 5
エ. 看護職員	1. ある 2. ない	1	2	3 4 5
オ. 生活相談員	1. ある 2. ない	1	2	3 4 5
カ. PT・OT・ST等	1. ある 2. ない	1	2	3 4 5
キ. 介護支援専門員	1. ある 2. ない	1	2	3 4 5
ク. 事務職員	1. ある 2. ない	1	2	3 4 5
ケ. 介護助手	1. ある 2. ない	1	2	3 4 5
コ. 調理員	1. ある 2. ない	1	2	3 4 5
サ. ドライバー	1. ある 2. ない	1	2	3 4 5

問12 全体でみて、貴事業所の従業員の過不足状況はいかがですか。（○は1つ）

1 過剰	2 適正	3 やや不足	4 不足	5 大いに不足
------	------	--------	------	---------

〔1または2とお答えの事業所は問13へ進んでください〕

（問12で、3～5とお答えの事業所におたずねします。）

問12-1 不足している理由、原因は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1 採用が困難だから	2 離職率が高い（定着率が低い）から
3 事業拡大により必要人数が増加したから	4 その他（ ）

〔2～4とお答えの事業所は問13へ進んでください〕

（問12-1で、「1 採用が困難だから」とお答えの事業所におたずねします。）

問12-1-1 採用が困難な理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1 他産業に比べて、労働条件等が良くないから)
2 介護の仕事に不安・マイナスイメージを持つ方が多いから	
3 同業他社との人材獲得競争が激しいから	
4 その他（ ）	

（すべての事業所におたずねします。）

問13 貴事業所の以下の外部人材サービスの受入れ状況についておたずねします。それぞれのサービスを活用した受入れの有無をお答えいただき、「1 受け入れている」場合は「職種別受入れ人数」をご記入ください。（令和7年9月30日現在）
※それぞれのサービスで「受け入れている・受け入れていない」どちらかに○、「受け入れている」場合は「職種別受入れ人数」に人数をご記入ください。（該当者がいない場合は、「0」（ゼロ）をご記入ください。）
なお、「エ. 単業アルバイトマッチングアプリ」については、令和7年9月に受け入れた実人数をご記入ください。

回答例	受入れ状況	職種別受入れ人数				合計
		訪問介護員	介護職員	看護職員	事務職員	
ア. 派遣会社	1 受け入れている 2 受け入れていない	2人	1人	1人	0人	4人
イ. 委託会社	1 受け入れている 2 受け入れていない	人	人	人	人	人
ウ. 紹介会社	1 受け入れている 2 受け入れていない	人	人	人	人	人
エ. 単業アルバイトマッチングアプリ	1 受け入れている 2 受け入れていない	人	人	人	人	人

（問13のア～エで、1つでも「1 受け入れている」とお答えの事業所におたずねします。）

問13-1 外部人材サービスを活用する上での課題は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1 採用コストが高い)
2 定着率が低い	
3 スキル・経験が不足している人材が多い	
4 シフト調整や業務引き継ぎが困難	
5 利用システムや契約手続きが煩雑	
6 チームワークやコミュニケーションなど関係性の構築が難しい	
7 その他（ ）	
8 特に課題はない	

(すべての事業所におたずねします。)

問14 貴事業所の現在の従業員の設定状況について、どのように関われますか。
(○は1つ)

- | | |
|---|--------------------|
| 1 | 定着率が低くて困っている |
| 2 | 定着率は低いですが、特に困っていない |
| 3 | 定着率は低くない |

問15 貴事業所では、介護人材の確保において、どのような工夫を行っていますか。

- (あてはまるものすべてに○)
- | | |
|---|---------------------------------------|
| 1 | 求人の際に、仕事そのものの魅力や労働条件を掲載する等求人内容を工夫している |
| 2 | 採用について、従来より多くコストをかけている |
| 3 | 自事業所の理念やアピールポイントを、HP等を介して対外的に発信している |
| 4 | 採用説明会や職場体験を実施している |
| 5 | 内定後のフォローをしっかり行っている |
| 6 | 子育て支援を行っている(子供預かり所を設ける、保育費用支援等) |
| 7 | 練馬福祉人材育成・研修センターが実施する就職相談・面接会に参加している |
| 8 | その他() |

問16 従業員の研修・教育などに関して困っていることは何ですか。

- (あてはまるものすべてに○)
- | | |
|----|-------------------------|
| 1 | 人材育成のための時間がない |
| 2 | 人材育成のための費用に余裕がない |
| 3 | 従業員の自己啓発への意欲が低い |
| 4 | 事業所や法人内における人材育成の優先順位が低い |
| 5 | 指導のできる人材が少なく、または、いない |
| 6 | 採用時期が別々で効率的な育成ができない |
| 7 | 育成してもすぐに辞めてしまう |
| 8 | 研修を受講させる人的な余裕がない |
| 9 | その他() |
| 10 | 特にない |

問17 貴事業所では、従業員の早期離職防止や定着促進のためにどのような方策をとっていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----|-------------------------------|
| 1 | 労働時間(時間帯・総労働時間)の希望を聞いている |
| 2 | 育児・介護などの休暇制度の活用を奨励している |
| 3 | 能力や仕事ぶりを評価し、配置や処遇に反映している |
| 4 | 心身の健康管理に力を入れている |
| 5 | 福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている |
| 6 | キャリアに応じた給与体系を整備している |
| 7 | 新人の指導担当・アドバイザーを置いている |
| 8 | 子育て支援(託児所を設ける、保育費用の助成等)を行っている |
| 9 | その他() |
| 10 | 特に何もしていない |

9

問18 貴事業所では、つぎの加算を取得していますか。(それぞれあてはまるものに○)

ア. 介護職員等処遇改善加算	
1	介護職員等処遇改善加算 (I)
2	介護職員等処遇改善加算 (II)
3	介護職員等処遇改善加算 (III)
4	介護職員等処遇改善加算 (IV)
5	介護職員等処遇改善加算は取得していない
6	サービス種別が介護職員等処遇改善加算の対象となっていない
イ. 生産性向上推進体制加算	
1	生産性向上推進体制加算 (I)
2	生産性向上推進体制加算 (II)
3	生産性向上推進体制加算は取得していない
4	サービス種別が生産性向上推進体制加算の対象となっていない

(問18で、「ア. 5 介護職員等処遇改善加算は取得していない」とお答えの事業所におたずねします。)

問18-1 取得していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|---------------|
| 1 | 加算の要件を満たさないから |
| 2 | 書類手続などが複雑だから |
| 3 | 日常の業務が忙しいから |
| 4 | 加算の必要性を感じないから |
| 5 | その他() |

(問18で、「イ. 3 生産性向上推進体制加算は取得していない」とお答えの事業所におたずねします。)

問18-2 取得していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|-------------------|
| 1 | 委員会の設置に手間がかかるから |
| 2 | 導入機器の初期費用が負担だから |
| 3 | 職員間の適切な役割分担が難しいから |
| 4 | 業務改善の効果が測りづらいから |
| 5 | その他() |

(すべての事業所におたずねします。)

問19 貴事業所の外国人介護人材の活用状況についておたずねします。(○は1つ)

- | | |
|---|-------------------|
| 1 | 活用している(→問19-1へ進む) |
| 2 | 活用を予定している |
| 3 | 検討している |
| 4 | 関心はあるが、検討段階にはない |
| 5 | 予定はない |
| 6 | わからない |

[2~6とお答えの事業所は問20へ進んでください]

10

(問19で、「1 活用している」とお答えの事業所におたずねします。)
 問19-1 令和7年9月30日現在、下記の1～6の在留資格で、介護の仕事をしている外国人労働者はいますか。該当する選択肢番号に○をし、併せて人数もご記入ください。(あてはまるものすべてに○)

(記入例)	① EPA (経済連携協定) による受け入れ	2人
1 在留資格「EPA (経済連携協定)」による受け入れ		2人
2 在留資格「介護」		人
3 技能実習生		人
4 在留資格「特定技能1号」		人
5 留学生		人
6 その他		人

問19-2 その方の国籍と人数をご記入ください。(数値を記入)

1 インドネシア	人	2 ミャンマー	人
3 ベトナム	人	4 フィリピン	人
5 ネパール	人	6 中国	人
7 その他	人		人

(すべての事業所におたずねします。)

問20 介護人材として外国人を受け入れるに当たり、課題と思われるものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 日本人職員との会話等における意志疎通に支障がある	
2 利用者等との会話等における意志疎通に支障がある	
3 日本語文章力・読解力の不足等により、業務に支障がある	
4 生活習慣等の違いにより、業務に支障がある	
5 帰国等による長期休暇により、業務に支障がある	
6 ストレス等により、すぐに離職してしまう不安がある	
7 日本語習得や日本文化理解などに対するコストがかかる	
8 住居確保の支障に対するコストがかかる	
9 受け入れ方法や活用方法がわからない	
10 その他	()
11 わからない	
12 課題はない	

問21 外国人介護人材の活用について、図に期待する支援は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 日本語教育や介護用語の研修支援	
2 外国人介護人材向けの生活支援 (住居、交通、地域情報など)	
3 受入れ施設向けの研修やマニュアルの提供	
4 外国人介護人材とのコミュニケーション支援 (通訳、翻訳など)	
5 他施設との情報共有やネットワークづくりの支援	
6 外国人介護人材の定着支援 (キャリアパス、メンタルケアなど)	
7 採用に関する助成金や補助制度の拡充	
8 その他	()
9 特に期待している支援はない	

問22 貴事業所で、人材確保・育成・定着に向けて、今後行いたい取組は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 介護技術等に関する研修	2 事業所のイメージアップ (PR等)
3 賃金水準の向上	4 勤務条件・職場環境の改善
5 福利厚生等の改善・充実	6 外国人介護人材の活用
7 外部人材サービスの活用	8 介護ロボットの導入
9 ICT機器の導入	10 その他
11 いずれも取り組みたいと思わない	()

※介護ロボットの種類：移乗介助分野、移動支援分野、排泄支援分野、見守り・コミュニケーション分野、入浴支援分野、移動介助分野、介護業務支援分野、機能訓練支援分野、食事・栄養管理支援分野、認知症生活支援・認知症ケア支援分野

問23 練馬福祉人材育成・研修センターの研修について、貴事業所の人材育成等への効果はありますか。(○は1つ)

1 効果がある	2 一部、効果がある
3 あまり効果がない	4 効果がない
5 センターを利用したことがない	6 わからない

[1～4、6とお答えの事業所は問24へ進んでください]

(問23で、「5 センターを利用したことがない」とお答えの事業所におたずねします。)

問23-1 利用したことのない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 センターがあることを知らなかった	2 利用方法がわからない
3 利用したい研修内容がない	4 利用したいが時間的余裕がない
5 利用したいが代替職員が確保できない	6 その他

◆苦情対応・カスタマーハラメントについて

(すべての事業所におたずねします。)

問24 サービス提供困難時 (利用者からの過大な要求等) には、どのように対応していますか。(あてはまるものすべてに○)

1 関係する事業所 (居宅介護支援事業部等) に連絡を取り、適切な対応を図っている	
2 行政 (地域包括支援センターを含む) などと連携をとり、適切な対応を図っている	
3 他の介護事業所を紹介している	
4 その他	()

問25 直近1年間で、利用者からどのような苦情を受けましたか。(○は3つまで)

- | | | | |
|---|-------------|---|-------------------|
| 1 | サービス利用時間が短い | 2 | サービス利用回数が少ない(減った) |
| 3 | サービスの種類が少ない | 4 | サービス内容に不満がある |
| 5 | サービスが利用しづらい | 6 | サービス提供スタッフが不慣れがある |
| 7 | その他() | 8 | 特に目立つ苦情はない |

問26 寄せられた苦情をどのように対応しましたか。(○は1つ)

- | | |
|---|--|
| 1 | 事業所内ではほぼ対応した |
| 2 | 内部で解決できないものについては、関係機関へ連絡を取るなど、連携して対応した |
| 3 | その他() |

問27 貴事業所の従業員に対する利用者・家族等からのカスタマー・ハラスメント(セクハラ、パワハラ、マタハラ等)の発生状況について、どのようにして把握していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|---|----------|---|--------------------|
| 1 | 従業員からの報告 | 2 | 従業員の相談・苦情窓口 |
| 3 | 介護記録等の確認 | 4 | 事業所内の会議等 |
| 5 | その他() | 6 | 特に把握していない(→問28へ進む) |

(問27で、1～5とお答えの事業所におたずねします。)

問27-1 過去1年間に、貴事業所の従業員に対する利用者・家族等からのカスタマー・ハラスメント(セクハラ、パワハラ、マタハラ等)について、従業員等から相談や報告等がありましたか。(○は1つ)

- | | | | | | |
|---|-----|---|------|---|---------|
| 1 | あった | 2 | なかった | 3 | 把握していない |
|---|-----|---|------|---|---------|

問27-2 カスタマー・ハラスメントに対してどのような対応をしましたか。

- | | |
|----------------|---------------------------------|
| (あてはまるものすべてに○) | |
| 1 | 利用者や家族に注意・指導を行った |
| 2 | 利用者へのサービス提供の一時停止や契約解除等の措置をとった |
| 3 | 職員のソフトや担当変更等の配慮を行った |
| 4 | 法人本部へ報告した |
| 5 | 担当のケアマネジャーへ報告した |
| 6 | 行政(地域包括支援センターを含む)へ報告した |
| 7 | 東京都介護職員カスタマー・ハラスメント総合相談窓口にご相談した |
| 8 | その他() |
| 9 | 対応していない |

(すべての事業所におたずねします。)

問28 カスタマー・ハラスメントに対して、区に期待する支援は何ですか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|-----------------|---|------------------|
| 1 | 区民(利用者・家族等)への啓発 | 2 | ハラスメント対策のマニュアル整備 |
| 3 | ハラスメント対策の研修 | 4 | 相談体制の構築 |
| 5 | その他() | 6 | 特にない |

◆サービスの質の向上について

問29 貴事業所では、サービスの第三者評価を受審していますか。受審している場合は、受審された評価方式をお答えください。(○は1つ)

- | | | | |
|------------|--------|------------------|---------|
| 1 | 受審している | 2 | 受審していない |
| (受審した評価方式) | | 1 東京都福祉サービス第三者評価 | |
| | | 2 その他() | |

問30 サービスの質の向上のために、どのような取組を行っていますか。

- | | |
|----------------|---|
| (あてはまるものすべてに○) | |
| 1 | サービス提供のガイドライン、マニュアルを作成している |
| 2 | 事故防止のためにヒヤリ・ハット事例の収集・共有を図っている |
| 3 | 利用者や家族に対し満足度調査を行っている |
| 4 | 積極的に外部評価を受けている(I・S・O、第三者評価等) |
| 5 | 独自の自己評価を実施している |
| 6 | 管理者が直接サービス提供の状況を確認し指導している |
| 7 | 現場のスタッフが自発的に多問題事例(介護以外の生活問題等)に関するケース検討会などを行っている |
| 8 | 現場スタッフに任せている |
| 9 | 意見箱を設置している |
| 10 | 各種研修会、学習会・セミナーの実施や参加 |
| 11 | その他() |
| 12 | 特に行っていない |

問31 サービス提供を通して利用者の身に起こり得る事故(例:転倒・誤嚥)について、貴事業所で事故防止や、同様の事故を繰り返さないために講じている取組はどのようなものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|---|--------------|---|------------------|
| 1 | 事故防止マニュアルの作成 | 2 | 事故防止研修の実施 |
| 3 | ヒヤリ・ハット報告の徹底 | 4 | 事故発生時の対応マニュアルの作成 |
| 5 | 応急処置技能研修の実施 | 6 | 感染症予防マニュアルの作成 |
| 7 | その他() | 8 | 特にない |

◆事業所運営について

問32 貴事業所では、介護保険外サービスを提供していますか。(○は1つ)

- | | | | | | |
|---|--------|---|-----------|---|------------------|
| 1 | 提供している | 2 | 提供を検討している | 3 | 提供していない(→問33へ進む) |
|---|--------|---|-----------|---|------------------|

(問32で、1または2と回答した事業所におたずねします。)

問32-1 つぎの介護保険外サービスのうち、貴事業所で提供中あるいは提供を検討しているものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----|--|
| 1 | 介護保険サービスの上乗せ・付加価値付与サービス
(支給限度基準額を超えて利用したサービス、介護保険サービスに付加価値をつけるサービス) |
| 2 | 家事援助等サービス
(掃除、洗濯、調理、買い物などの代行、ごみ出し、簡単な大工仕事、庭仕事、ペットの散歩等) |
| 3 | 訪問サービス
(訪問理美容サービス、訪問マッサージ、訪問趣味講座、訪問生活健康相談等) |
| 4 | 配食サービス
(調理した食事を居住地(自宅や施設等)まで配達するサービス) |
| 5 | 物販等サービス
(日常生活用品や食材の通信販売・移動販売又は貸与・お届け等) |
| 6 | 安否確認・緊急通報サービス
(定期訪問サービス、定期的な電話サービス、緊急通報・安否確認機器販売・貸与・設置) |
| 7 | 移動支援・付き添いサービス
(移送サービス、通院・入院・外出付き添い等) |
| 8 | 通い・サロンサービス
(喫茶・レストラン、会食サービス、生活健康講座・相談・指導サービス、趣味講座・レクリエーション等) |
| 9 | 金銭管理・契約代行サービス
(成年後見、葬儀対応、葬儀代支、残存家財整理、身元保証支援、金銭管理に関わる支援等) |
| 10 | その他() |

(すべての事業所におたずねします。)

問33 貴事業所では、以下の間接業務について、現在どのように処理されていますか。
(それぞれあてはまるものすべてに○)

業務内容	処理担当
ア. 会計処理 (毎月の介護報酬の集計および国保連への請求事務は除く)	1 自事業所の事務職員 2 自事業所の事務職員以外 3 本社の担当部署 4 税理士へ委託 5 その他()
イ. 社会保険手続	1 自事業所の事務職員 2 自事業所の事務職員以外 3 本社の担当部署 4 社会保険労務士へ委託 5 その他()
ウ. 指定権者への各種申請手続 (指定・変更・加算等の届出)	1 自事業所の事務職員 2 自事業所の事務職員以外 3 本社の担当部署 4 外部委託 5 その他() 6 実施していない

15

問34 貴事業所では、間接業務や送迎業務の共同処理についてのどのようにお考えですか。
(○は1つ)

- | | | | |
|---|--------------------|---|-----------|
| 1 | 興味がある | } | (→問35へ進む) |
| 2 | 負担が軽減されるのであれば興味がある | | |
| 3 | 興味がない | | |

(問34で、「3 興味がない」と回答した事業所におたずねします。)

問34-1 対応を考えていない理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|-------------------------|
| 1 | 自事業所で十分に対応できているから |
| 2 | 他事業所との連携に不安があるから |
| 3 | 情報共有や調整に手間がかかりそうだから |
| 4 | 業務の質や対応スピードが低下する懸念があるから |
| 5 | コスト面でのメリットが感じられないから |
| 6 | 個人情報や機密情報の取り扱いに不安があるから |
| 7 | 共同処理の仕組みやメリットがよく分からないから |
| 8 | その他() |

(すべての事業所におたずねします。)

問35 貴事業所では、要医療、認知症、障害などを有する利用者に対して、どのような対応を図っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|-----------------------------------|
| 1 | 専門スタッフを配置している |
| 2 | 専門の関係機関と常に連携をとり、緊急時の対応ができるようにしている |
| 3 | 人材の募集・確保を図っている |
| 4 | その他() |
| 5 | 特段の対応は図っていない |

問36 貴事業所では、以下のケアへの対応はどのようにお考えですか。
(それぞれ○は1つ)

	すでに実施している	検討段階である	対応は考えていない	その他
ア. ターミナルケア	1	2	3	4
イ. 医療的ケア (介護職員によるたんの吸引および経管栄養など)	1	2	3	4

問37 ACPについて、どのような取組を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|---|------------------|---|------------------|
| 1 | 利用者と話し合いをしている | 2 | 事業所内で勉強会等を実施している |
| 3 | 事業所外の勉強会等に参加している | 4 | 取組に向けて準備をしている |
| 5 | その他() | 6 | 特に取組んでいない |

※ACP(アドバンス・ケア・プランニング)について
ACP(アドバンス・ケア・プランニング)とは、「ましまのときのために 医療やケアについて、前もって考え、家族や医療・介護チームと繰り返し話し合い、共有すること」です。

16

問38 医療機関との連携について、貴事業所として取り組んでいることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 医療機関から利用者の健康管理や処置について助言を受けている
- 2 往診をしてくれる医師・医療機関がある
- 3 急変時の受入れを依頼できる病院を確保している
- 4 提携病院があり、入院を受け入れてもらっている
- 5 職員への研修講師などをお願いしている
- 6 ケースカンファレンスへの参加
- 7 緊急時の対応
- 8 その他 ()
- 9 法人内で医療機関も経営しており、連携の問題はない
- 10 特になし

問39 医療機関との連携を進める上での課題は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 医療機関の協力が得られない
- 2 情報共有システムが確立されていない
- 3 共有すべき情報がわからない
- 4 連携のための事務負担が大きい
- 5 連携の必要性を感じていない
- 6 個人情報保護に基づく情報提供の同意手続きが難しい
- 7 その他 ()

問40 事業所を運営する上での課題は何ですか。(○は3つまで)

- 1 新規利用者の獲得が困難
- 2 利用者1人あたりの利用料が少ない
- 3 設備・スタッフなどが不足し量的に利用者のニーズに答えられない
- 4 利用者や家族が介護保険制度やサービスをよく理解していない
- 5 利用者の身体状況の把握が難しい
- 6 利用者からの苦情や事故への対応
- 7 訪問や送迎が非効率(エリアが広い等)
- 8 入居者の認知症が重度化した場合の対応
- 9 スタッフの確保
- 10 スタッフが短期間で離職してしまう
- 11 スタッフの人材育成
- 12 責任者など中堅人材の確保・育成
- 13 他のサービス事業所との競合が激しい
- 14 他職種との連携
- 15 他のサービス事業所との連携
- 16 医療機関との連携
- 17 介護報酬が低い
- 18 その他 ()
- 19 特に課題はない

17

◆介護予防・日常生活支援総合事業について

問41 国において、令和9年の介護保険制度改正に向け、「要介護1・2」の訪問介護、通所介護を「介護予防・日常生活支援総合事業」に移行することについて議論されています。移行された場合、どのような効果・影響があると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 要介護3以上の、より介護の必要性が高い人のサービスが充実する
- 2 要介護1・2の方への支援が不十分となり、利用者の状態が悪化する
- 3 介護費用が抑えられ、介護保険制度が持続可能なものとなる
- 4 要介護1・2の方への支援が不十分となり、長期的に見て介護費用のさらなる増大を招く
- 5 地域の実情に合ったサービス提供が可能となる
- 6 総合事業のサービス需要が増加することにより、サービス提供体制が整わなくなる
- 7 介護報酬が減ることにより、経営が成り立たなくなる
- 8 地域包括支援センターによるケアプラン作成に係る業務が増加することで、センターの運営に支障が生じる
- 9 制度が複雑化し、利用者への説明が難しくなる
- 10 総合事業の指定を受けていない介護サービス事業所を、利用者が継続して利用できなくなる
- 11 今まで通りの支援を受けられなくなり、家族介護者への負担が増す
- 12 その他 ()
- 13 効果・影響はない

◆地域との関わりについて

問42 貴事業所では、地域の各種団体や組織(民生・児童委員、町会・自治会、地区社協等)との関わりはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 事業所(施設も含む)の近隣の団体や組織との関わりがある
- 2 利用者の居住地域の団体や組織との関わりがある
- 3 特になし (→問43へ進む)

(問42で、1または2とお答えの事業所におたずねします。)

問42-1 それは、どのような団体・組織ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 民生・児童委員
- 2 町会・自治会
- 3 学校・保育園等
- 4 老人クラブ
- 5 社会福祉協議会
- 6 商店、商店街
- 7 ボランティア・NPO団体
- 8 マンション・団地の管理組合
- 9 その他 ()

18

問42-2 問42-1の団体・組織とは、どのように関わっていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 介護や福祉についての専門知識や情報の提供・共有
- 2 地域の集まりへの参加
- 3 事業所側の雇い入れへの招待 (施設内の行事等)
- 4 事業所 (施設) 内の機能の開放 (会議室等)
- 5 その他 ()

(すべての事業所におたずねします。)

問43 貴事業所で受け入れられているボランティアの人数についておたずねします。直近1カ月間に受け入れたボランティア人数 (延べ人数、短期/長期/長期は問わない) をお答えください。

- ① ボランティア人数.....人
- ② ボランティア人数のうち65歳以上の高齢者数.....人

(問43の①で、1人以上ボランティアを受け入れているとお答えの事業所におたずねします。)

問43-1 練馬区社会福祉協議会のボランティアセンター・コーナーなどのような連携をとっていますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 ボランティアの紹介を受けたことがある
- 2 ボランティア募集の相談をしたことがある
- 3 ボランティアに関する情報提供を受けたことがある
- 4 ボランティアセンター主催の研修・講座に参加したことがある
- 5 活動報告や相談など、定期的な情報交換を行っている
- 6 その他 ()
- 7 連携はとっていない

(すべての事業所におたずねします。)

問44 貴事業所でボランティアを受け入れる際の課題は何ですか。(○は3つまで)

- 1 プライバシーや個人情報保護が難しい
- 2 ボランティアに任せられる業務の決定が難しい
- 3 個人の差が大きく業務を教えることが難しい
- 4 受入れ体制 (指導・監督) が整えられない
- 5 利用者や家族からの信頼を得られない
- 6 募集してもボランティアが集まらない
- 7 ボランティアの確保・手続きがわからない
- 8 その他 ()
- 9 ボランティアを受け入れる予定はない

問45 練馬区介護サービス事業者連絡協議会 (区内介護サービス事業所で構成される団体) に期待することは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 サービスの質の向上に関する取組
- 2 区や事業者間の連携強化に関する取組
- 3 介護従事者の労働環境の向上に関する取組
- 4 介護人材対策に関する取組 (人材創出や介護業界離れの防止など)
- 5 職員の質の向上のための研修の充実
- 6 その他 ()
- 7 特になし

問46 貴事業所では、つぎのようなICT機器を活用していますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 記録から介護保険請求までを一元化したシステムを利用している
- 2 給与計算、シフト管理、勤怠管理を一元化したシステムを利用している
- 3 グループウェア等のシステムで事業所内の報告・連絡・相談を行っている
- 4 パソコンで利用者情報 (ケアプラン、介護記録等) を共有している
- 5 タブレット端末等で利用者情報 (ケアプラン、介護記録等) を共有している
- 6 情報共有システム等を用いて他事業者とデータ連携している
- 7 その他 ()
- 8 いずれも行っていない

問47 貴事業所の介護ロボットの活用状況についておたずねします。(それぞれ○は1つ)

	既に導入済みである	今後、導入予定がある	導入に向けて検討中である	関心はあるが、具体的な検討はしていない	導入の予定はない	わからない
ア. 移乗介助分野	1	2	3	4	5	6
イ. 移動支援分野	1	2	3	4	5	6
ウ. 排泄支援分野	1	2	3	4	5	6
エ. 見守り・コミュニケーション分野	1	2	3	4	5	6
オ. 入浴支援分野	1	2	3	4	5	6
カ. 介護業務支援分野	1	2	3	4	5	6
キ. 機能訓練支援分野	1	2	3	4	5	6
ク. 食事・栄養管理支援分野	1	2	3	4	5	6
ク. 認知症生活支援・認知症ケア支援分野	1	2	3	4	5	6

※ 各分野における詳細の定義については、厚生労働省HP『「ロボット技術の介護利用における重点分野」を改訂しました』 (https://www.mhlw.go.jp/stf/juutenbunnya_r0kaiitei_00001.html) を参照

問48 ICT機器や介護ロボットなどの導入や利用についてのどのような課題・問題があると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1	導入コストが高い	
2	どのような介護ロボットやICT機器があるかわからない	
3	ケアに介護ロボットを活用することに違和感を覚える	
4	技術的に使いこなせるか心配である	
5	誤作動の不安がある	
6	設置や保管等に場所をとられてしまう	
7	清掃や消耗品管理などの維持管理が大変である	
8	投資に見合うだけの効果がない(事業規模から考えて必要ない)	
9	介護現場の実態に合う介護ロボットやICT機器がない、現場の役に立つものがない	
10	その他()	
11	課題・問題は特になし	

次の問49～問61は、居宅介護支援事業所の方への質問です。居宅介護支援事業所以外の方は24ページの間62へ進んでください。

居宅介護支援事業所の方にお聞きします。

問49 今後さらに整備が必要と思われるサービスはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1	居宅介護支援	2	訪問介護(総合事業含む)
3	訪問入浴介護※	4	訪問看護※
5	訪問リハビリテーション※	6	通所介護(総合事業含む)
7	通所リハビリテーション※	8	短期入所生活介護※
9	短期入所療養介護※	10	特定施設入居者生活介護※
11	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	12	夜間対応型訪問介護
13	認知症対応型通所介護※	14	地域密着型通所介護(総合事業含む)
15	小規模多機能型居宅介護※	16	看護小規模多機能型居宅介護
17	認知症対応型共同生活介護※	18	介護老人福祉施設
19	介護老人保健施設	20	介護医療院
21	居宅介護予防支援		※は、介護予防を含む

問50 以下のサービスの利用者数(需要)に対する事業所数・施設数(供給)の関係について、どのように思われますか。(それぞれ○は1つ)

サービス名	需給状況	多すぎる	やや多い	適正である	やや不足している	不足している
ア.小規模多機能型居宅介護		1	2	3	4	5
イ.看護小規模多機能型居宅介護		1	2	3	4	5
ウ.定期巡回・随時対応型訪問介護看護		1	2	3	4	5
エ.認知症対応型共同生活介護		1	2	3	4	5
オ.訪問看護ステーション		1	2	3	4	5
カ.通所介護		1	2	3	4	5

サービス名	需給状況	多すぎる	やや多い	適正である	やや不足している	不足している
キ.地域密着型通所介護		1	2	3	4	5
ク.ショートステイ		1	2	3	4	5
ケ.都市型軽費老人ホーム		1	2	3	4	5

問51 利用者へのサービス提案において、(看護)小規模多機能型居宅介護の利用が考えられる場合には、どのように対応しますか。(○は1つ)

1	(看護)小規模多機能型居宅介護事業所の連絡先の紹介を行っている
2	(看護)小規模多機能型居宅介護事業所に連絡を取り、利用者を紹介している
3	自法人内で(看護)小規模多機能型居宅介護事業所を実施している、まずそこを紹介している
4	基本的に(看護)小規模多機能型居宅介護は紹介せず、複数のサービスを組み合わせるなどにより対応している
5	その他()
6	特に具体的な対応はしていない

問52 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の課題やニーズとして、考えられるものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1	利用者がサービスの内容や利用方法を知らない
2	ホームヘルパーがかわることを利用者が好まない
3	ケアマネジャーがサービスの内容や利用方法を知らない
4	要支援1・2の方の利用ができない
5	訪問介護や訪問看護のサービスで十分である
6	夜間対応型訪問介護のサービスで十分である
7	夜間の訪問介護のニーズは少ない
8	利用者の家の鍵を事業者に預けるなど、事業者が訪問することに不安がある
9	利用料金が定額制であるため、利用回数が少ないと割高になってしまう
10	よくわからない
11	その他()

問53 令和6年11月～令和7年10月の過去1年間で以下のサービスの利用を希望した際の要入れ状況についておたずねします。(それぞれ○は1つ)

サービス名	希望者はほぼすべて利用できた	希望者の多くは利用できたが、断られることもあった	希望者の一部しか利用できず、断られることが多かった	利用を希望したケースがなかった
ア.ショートステイ	1	2	3	4
イ.都市型軽費老人ホーム	1	2	3	4

問54 利用者へのサービス提案において、介護医療院を選択肢として挙げたことはありますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1 よくある | 2 時々ある |
| 3 ほとんどない (→問54-1へ進む) | 4 一度もない (→問54-1へ進む) |

(問54で、「3 ほとんどない」or「4 一度もない」をお答えの事業所におたずねします。)

問54-1 紹介しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1 近隣に介護医療院がない | 2 入所要件が厳しい |
| 3 利用者・家族の希望に合わない | 4 情報が少なく紹介しづらい |
| 5 他の施設(特養・老健等)を優先している | 6 区内にあることを知らなかった |
| 7 その他 () | |

(すべての事業所におたずねします。)

問55 区内のケアマネジャーの質についてどのような感じていますか(貴事業所のケアマネジャーを含む)。(○は1つ)

- | |
|----------------------------------|
| 1 利用者本位の自立支援に向けたケアマネジメントができている |
| 2 概ね利用者本位の自立支援に向けたケアマネジメントができている |
| 3 利用者本位の自立支援に向けたケアマネジメントができていない |
| 4 個人による差が大きく、一概には言えない |
| 5 その他 () |
| 6 わからない |

問56 自立・軽度化への取組について、どのような課題を感じていますか。(○は1つ)

- | |
|----------------------------------|
| 1 利用者の意欲がない |
| 2 介護保険サービスの支給限度額が低くなることを利用者が好まない |
| 3 自立・軽度化の取組に対する事業所へのインセンティブが足りない |
| 4 事業所側の自立・軽度化への意思が薄い |
| 5 その他 () |

問57 ケアマネジャーの質の向上を図るために必要だと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 レベルや経験年数、テーマ別の研修 | 2 事業所でのOJT(職場内研修) |
| 3 ペテランのケアマネジャーによる指導 | 4 事例を使った検討会 |
| 5 個人の意識の向上 | 6 主任ケアマネジャーの質の向上 |
| 7 自分たちの支援が何を目標としている | 8 その他 () |
| 9 のかを区と共有する機会 | |

問58 貴事業所のケアマネジャーの質の向上における課題は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-----------------------------|
| 1 業務多忙のため、研修を受講する時間がない |
| 2 講師、内容、費用などの面で魅力的な研修内容がない |
| 3 事業所でのOJT(職場内研修)の体制が整っていない |
| 4 地域の課題を把握しきれていない |
| 5 その他 () |

問59 貴事業所では、地域包括支援センターとどのような連携をとっていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------------------|
| 1 地域支援事業での連携 |
| 2 ケアマネジャーに対する日常的な個別指導・相談 |
| 3 地域におけるケアマネジャーのネットワーク |
| 4 支援困難事例についての個別指導・相談 |
| 5 支援を必要とする高齢者の早期発見・情報共有 |
| 6 高齢者虐待や権利擁護についての相談や情報交換等 |
| 7 その他 () |
| 8 特になし |

問60 医療機関との入院支援・調整における課題を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|----------------------------------|
| 1 医療機関によって、入院支援・調整の対応が異なる |
| 2 入院時に、医療機関に対して十分な情報提供ができていない |
| 3 退院前カンファレンスが十分にできていない |
| 4 退院時に、医療機関から十分な情報提供がない |
| 5 退院時に、利用者・家族が病状等について十分に理解できていない |
| 6 退院時に、在宅医と円滑な連携がとれていない |
| 7 転院時の調整ができていない |
| 8 その他 () |
| 9 特になし |

問61 在宅での看取りにおいて、連携できる医師は複数人いますか。(○は1つ)

- | | |
|------|-------|
| 1 いる | 2 いない |
|------|-------|

◆介護保険制度について

問62 介護保険制度に対する意見やご要望がございましたら、下欄にご記入ください。

ご協力ありがとうございます。12月12日(金)までに同封の返信用封筒でご返送ください。切手は不要ですので、そのままご返函ください。
なお、この調査票および返信用封筒へのお名前のご記入は不要です。

練馬区高齢者基礎調査

◆ 調査へのご協力をお願い ◆

日頃から、練馬区政にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。区では、新たな「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定に着手しています。この調査は、厚生労働省の介護予防・日常生活圏域ニーズ調査手法により実施するもので、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らして続けられるよう、高齢者の方々から、日頃の生活状況や健康状態などをお聞きし、計画に反映するため実施します。

調査の対象者は、区内にお住まいの65歳以上の方から3,900人（要介護1～5の方を除く）を無作為に選び、調査票を送付させていただきます。なお、令和7年10月1日現在の情報を基に調査票を送付しています。転居等により行き違いが生じる場合がありますが、ご了承ください。

本調査で得られた情報につきましては、性別・年代・居住地域等の情報を統計的に処理して分析を行い、計画策定と効果評価の目的で利用いたします。当該情報については、区で適切に管理し、個人が特定される形での公表はいたしません。なお、本調査で得られた統計データを厚生労働省の管理する区外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。ご協力いただきますようお願いいたします。

令和7年11月 練馬区
◆ 調査票のご記入にあたって ◆

- この調査票および返信用封筒へのお名前のご記入は不要です。
- 調査票上の「あなた」とは、封筒に印刷されたあて名ご本人を指します。
- できる限り、対象者ご本人がご回答ください。なお、対象者ご本人お一人での回答が難しい場合は、ご家族の方などにお手伝いいただき、対象者ご本人の意見を聞いた上で代わりにご回答ください。
- 紙の調査票（本紙）に直接記入する方法と、オンラインで回答する方法の2種類からいずれかを選択してください（両方回答する必要はありません）。具体的な回答方法は裏面に記載しています。
- 12月12日（金）までに、ご回答ください。

この調査は、株式会社日本能率協会総合研究所に委託して実施しています。調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【調査委託元】 練馬区 高齢施策担当部 高齢社会対策課 計画係

【調査実施・お問い合わせ先】

株式会社日本能率協会総合研究所 福祉・医療・労働政策研究部

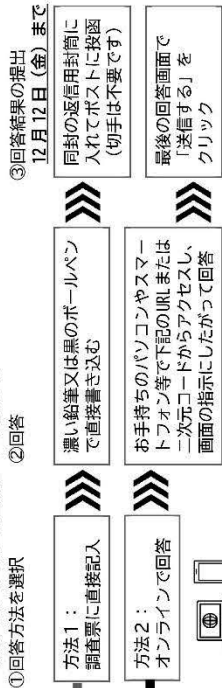
電話：0120-550-156（フリーダイヤル）

（受付：10時～12時、13時～17時（12月15日（月）までのいずれも平日））

メール：h_policy@mar.co.jp

◆ 回答方法 ◆

●回答方法は、紙の調査票に直接記入する方法と、オンラインで回答する方法の2種類からいずれかを選択してください。



【方法1：調査票に直接記入】の方

1. 濃い鉛筆又は黒のボールペンでこの調査票に直接書き込んでください。
 - 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。質問文にある「○」は1つ「あてはまるものすべてに○」などの指示にしたがってご回答ください。また、ご意見や数字などを直接ご記入いただく質問もあります。
 - 質問の回答が、「その他」にあてはまる場合は、() 内になるべく具体的にその内容をご回答ください。
2. ご記入いただきましたら、12月12日（金）までに、同封の返信用封筒にてご返送ください。切手は不要ですので、そのままご投函ください。

【方法2：オンラインで回答】の方

1. お手持ちのパソコンやスマートフォン等で下記のURLを入力いただくか、あるいは二次元コードを読み取ってください。

URL : <https://rdc.dstyleweb.com/c83m/tffwfe/>



2. 最初の画面でIDとパスワードを入力してください。
 - ※調査結果は統計的に処理をするため、個人の回答内容が公表されることはありません。

ID： パスワード：

3. 画面の指示にしたがって回答してください。
 - 回答は、あてはまる選択肢のチェックボックスをクリックしてください。質問文にある「○は1つ」「あてはまるものすべてに○」などの指示にしたがってご回答ください。また、ご意見や数字などを直接入力いただく質問もあります。
 - 質問の回答が、「その他」にあてはまる場合は、() 内になるべく具体的にその内容を入力してください。

4. 最後の回答画面で「送信する」をクリックすると回答完了です。
12月12日（金）までに、回答を完了してください。

記入日	令和 7年 月 日
-----	-----------

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

1	あて名のご本人が記入
2	ご家族が記入（あて名のご本人からみられた続柄： ）
3	その他

◆あなたのご家族や生活状況について

問1 あなたの性別と、令和7年10月1日現在の満年齢を教えてください。

① 性別 (○は1つ) ② 年齢 (右詰めで記入)

1	男性	2	女性			歳
---	----	---	----	--	--	---

問2 あなたのお住まいはどちらですか。記入例のように、町名と丁目をご記入ください。

町名 丁目

(記入例) 町名 光が丘 3丁目

問3 家族構成をお教えてください。(○は1つ)

1	1人暮らし	2	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)
3	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	4	息子・娘との2世帯
5	その他		

問4 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)

1	介護・介助は必要ない
2	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3	現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

問5 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

1	大変苦しい	2	やや苦しい
3	ふつう	4	ややゆとりがある
		5	大変ゆとりがある

◆からだを動かすことについて

問6 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)

1	できるし、している	2	できるけどしていない	3	できない
---	-----------	---	------------	---	------

問7 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)

1	できるし、している	2	できるけどしていない	3	できない
---	-----------	---	------------	---	------

問8 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ)

1	できるし、している	2	できるけどしていない	3	できない
---	-----------	---	------------	---	------

問9 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)

1	何度もある	2	1度ある	3	ない
---	-------	---	------	---	----

問10 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

1	とても不安である	2	やや不安である	3	あまり不安でない	4	不安でない
---	----------	---	---------	---	----------	---	-------

問11 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)

1	ほとんど外出しない	2	週1回	3	週2～4回	4	週5回以上
---	-----------	---	-----	---	-------	---	-------

問12 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

1	とても減っている	2	減っている	3	あまり減っていない	4	減っていない
---	----------	---	-------	---	-----------	---	--------

◆食べることについて

問13 身長・体重 (整数を右詰めで記入)

身長	<input type="text"/>	cm	体重	<input type="text"/>	kg
----	----------------------	----	----	----------------------	----

問14 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----

問15 お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つ)

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----

問16 口の渇きが気になりますか。(○は1つ)

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----

問17 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。○は1つ)

1	自分の歯は20本以上、かつ入れ歯をなし	2	自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
3	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯をなし	4	自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

問18 口の体操・だ液腺マッサージなどの口腔ケアの方法を知っていますか。(○は1つ)

1	知っていて、習慣的にやっている	2	知っていて、時々やっている
3	知っているが、やっていない	4	名前は聞いたことがあるが、やり方は知らない
5	知らない		

問19 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----

問20 どなたかと食事をもとにする機会はありますか。(○は1つ)

1 毎日ある	2 週に何度かある	3 月に何度かある
4 年に何度かある	5 ほとんどない	

◆毎日の生活について

問21 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)

1 はい	2 いいえ
------	-------

問22 バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)。(○は1つ)

1 できるし、している	2 できるけどしていない	3 できない
-------------	--------------	--------

問23 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。(○は1つ)

1 できるし、している	2 できるけどしていない	3 できない
-------------	--------------	--------

問24 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)

1 できるし、している	2 できるけどしていない	3 できない
-------------	--------------	--------

問25 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)

1 できるし、している	2 できるけどしていない	3 できない
-------------	--------------	--------

問26 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)

1 できるし、している	2 できるけどしていない	3 できない
-------------	--------------	--------

◆地域での活動について

問27 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

1 是非参加したい	2 参加してもよい	3 参加したくない	4 既に参加している
-----------	-----------	-----------	------------

問28 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

1 是非参加したい	2 参加してもよい	3 参加したくない	4 既に参加している
-----------	-----------	-----------	------------

問29 以下のような会・グループなどにどのくらいの頻度で参加していますか。

※① - ⑧それぞれに回答してください。(それぞれ○は1つ)

	週4回以上	週2回~3回	週1回	月1回~3回	年に数回	参加して いない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ 介護予防のための通いの場(※)	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

※ 街かどケアカフェ、いきいきデザインサービスなど

◆たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

問30 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(○はいくつでも)

1 配偶者	2 同居の子ども	3 別居の子ども
4 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5 近隣	6 友人
7 その他()	8 そのような人はいない	

問31 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(○はいくつでも)

1 配偶者	2 同居の子ども	3 別居の子ども
4 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5 近隣	6 友人
7 その他()	8 そのような人はいない	

問32 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(○はいくつでも)

1 配偶者	2 同居の子ども	3 別居の子ども
4 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5 近隣	6 友人
7 その他()	8 そのような人はいない	

問33 反対に、看病や世話をしてあげる人(○はいくつでも)

1 配偶者	2 同居の子ども	3 別居の子ども
4 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5 近隣	6 友人
7 その他()	8 そのような人はいない	

◆健康について

問34 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

- 1 とてもよい 2 まあよい 3 あまりよくない 4 よくない

問35 あなたは、現在のどの程度幸せですか。(○は1つ)

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご回答ください)

とても不幸	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	とても幸せ
-------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-------

問36 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○は1つ)

- 1 はい 2 いいえ

問37 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめる感じがよくなりましたか。(○は1つ)

- 1 はい 2 いいえ

問38 タバコは吸っていますか。(○は1つ)

- 1 はば毎日吸っている 2 時々吸っている
3 吸っていたがやめた 4 もともと吸っていない

問39 現在治療中、または後遺症のある病気がありますか。(○はいくつでも)

1	ない	2	高血圧
3	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	4	心臓病
5	糖尿病	6	高脂血症 (脂質異常)
7	呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	8	胃腸・肝臓・胆のうの病気
9	腎臓・前立腺の病気	10	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)
11	外傷 (転倒・骨折等)	12	がん (悪性新生物)
13	血液・免疫の病気	14	うつ病
15	認知症 (アルツハイマー病等)	16	パーキンソン病
17	目の病気	18	耳の病気
19	その他 ()		

◆認知症にかかる相談窓口の把握について

問40 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つ)

- 1 はい 2 いいえ

問41 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

- 1 はい 2 いいえ

ご協力ありがとうございました。12月12日(金)までに同封の返信用封筒でご返送ください。切手は不要ですので、そのままご返函ください。
なお、この調査票および返信用封筒へのお名前のご記入は不要です。

B票

主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目

※主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入(問票の該当する番号に○)をお願い致します。

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)

1. フルタイムで働いている } 問2~問4へ
2. パートタイムで働いている }
3. 働いていない } 問4へ
4. 主な介護者に確認しないと、わからない }

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」、「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1」、「2」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか(複数選択可)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、選出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取っている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2~4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問3 問1で「1」、「2」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか(1つを選択)

1. 問題なく、続けていける
2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. 主な介護者に確認しないと、わからない

● ことから再び、全員の方にお伺いします。

問4 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

【身体介護】

1. 日中の排泄
2. 夜間の排泄
3. 食事の介助(食べると時)
4. 入浴・洗身
5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)
6. 衣服の着脱
7. 屋内の移乗・移動
8. 外出の付き添い、送迎等
9. 服薬
10. 認知症状への対応
11. 医療前での対応(経栄養、ストーマ等)

【生活援助】

12. 食事の準備(調理等)
13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)

14. 金銭管理や生活前に必要な諸手続き

【その他】

15. その他
16. 不安に感じていることは、特になし
17. 主な介護者に確認しないと、わからない

【特養】施設整備調査アンケート (Word 版)

Q1. 施設名を教えてください (必須)

施設名

Q2. 運営法人を教えてください (必須)

運営法人名

Q3. 施設情報を記入してください (必須)

施設所在地	施設長名	事務担当者名
-------	------	--------

Q4. 貴施設の看護職員数 (常勤換算) を教えてください ※令和7年12月末日現在 (必須)

看護職員数 (人)

Q5. 貴施設の介護職員数 (常勤換算) を教えてください ※令和7年12月末日現在 (必須)

介護職員数 (人)

Q6. 令和5年～令和7年の12月末日現在の要介護度利用人数を教えてください (必須)

年度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
令和5年					
令和6年					
令和7年					

Q7. Q6の「令和7年12月末日現在の利用者」のうち、医療機関～入院中の者の人数を記入してください。 (必須)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5

Q8. Q6の「令和7年12月末日現在の利用者」について、入所前の住所地別に人数を記入してください。 (必須)

群馬県	群馬 (23区)	都内 (その他)	都外

Q9. Q8の「群馬県内からの入所者」について、基本地区別に人数を記入してください。 (必須)

※ 基本地区別の合計数は Q8 で入力した群馬県の数字と一致するようにしてください

群馬地区 (〒176)	石神井地区 (〒177)	大泉地区 (〒178)	光が丘地区 (〒179)

Q10. 令和7年1月1日から令和7年12月31日までの新規入所者数を記入してください。 (必須)

入所者数 (人)

Q11. Q10の新規入所者について、入所者ごとの入所基準ポイント、入所待機期間および入所前の生活場所を記入してください (必須)

※ 複数人いる場合は、行を追加して適宜記入してください。

入所ポイント	待機日数	生活場所 (在宅・病院等)

Q13. 令和7年1月1日から令和7年12月31日までの退所者数を記入してください。 (必須)

退所者数 (人)

Q14. Q13の退所者について、退所後の行き先別に人数を記入してください。 (必須)

※ 行き先別の合計数は Q13 で入力した退所者数と一致するようにしてください。

在宅	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	介護医療院	有料老人ホーム・サ高住	認知症GH	都市型高齢者ホーム	養護老人ホーム	医療機関 (療養病棟含む)	死亡 (病院・診療所)	死亡 (施設内)	その他

Q15. Q13の退所者について、貴施設における入所期間について、年数別に人数を記入してください (必須)

※合計数はQ13で入力した退所者数と一致するようにしてください。

1年未満	1～2年	2～3年	3～4年	4～5年	5～6年	6～7年	7～8年	8～9年	9～10年	10年以上
------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	-------

Q16. 入所申込者のうち、13ポイント以上で申込から1年以上経過している方について、長期化している理由として考えられるものをお選びください (必須)

※複数選択可

- ポイントの高い順に入所案内しているが、順番が回ってこない
- 在在を希望
- 医療行為が必要のため受入が困難
- 入院中・通院中
- 他施設に入所希望
- その他 ()

Q17. 待機者名簿(練馬区民)に掲載されている申込者は何人いますか ※令和7年12月末日現在 (必須)

人数(人)	
-------	--

Q18. Q17のうち、受入困難者、入所案内したが辞退をした方、申込から半年以上経過したかつ入所判定委員会の対象外となっている方はそれぞれ何人いますか ※令和7年12月末日現在 (必須)

受入困難者	辞退者	対象外
-------	-----	-----

Q19. 貴施設では、普段、地域交流スペースや会議室などを地域の住民や団体の活動のために活用していますか。 (必須)

- はい
- いいえ
- 検討中

「はい」を選んだ場合、活用方法や頻度について記入してください。

活用方法・頻度(自由記述)	
---------------	--

Q20. 医療行為受入状況についてお答えください ○受入可 △条件付 ＊受入不可 (必須)

胃ろう	経鼻栄養	経口	点滴	膀胱ろう	バルーン	導尿	人工肛門	在宅酸素	気管切開	痰吸引	リンイスリ	褥瘡	血糖測定	感染症
-----	------	----	----	------	------	----	------	------	------	-----	-------	----	------	-----

Q21. 貴施設では、大規模改修(経費2億円以上)の実施予定はありますか。 (必須)

- ある
- ない
- 検討中

「ある」と答えた施設にお尋ねします。実施予定はいつ頃になりますか。

- 1年以内
- 3年以内
- 5年以内
- 10年以内
- 10年後以降

Q22. 貴施設では、改築の予定はありますか (必須)

- ある
- ない
- 検討中

「ある」と答えた施設にお尋ねします。実施予定はいつ頃になりますか。

- 1年以内
- 3年以内
- 5年以内
- 10年以内
- 10年後以降

「ある」と答えた施設にお尋ねします。改築する場合、代替地を確保する予定はありますか

- ある
- ない
- 検討中

Q23. 特別養護老人ホームの利用者数(需要)に対する施設数(供給)の関係についてどのように思われますか。あてはまるものに1つ選んでください (必須)

- 施設が多すぎる
- 施設がやや多い
- 適正な数である
- 施設がやや不足している
- 施設が不足している

Q24. 入所申込者のスムーズな入所に向けて、施設(法人)で工夫している点がございましたら、ご記入ください

自由記述	
------	--

Q25. 練馬区の高齢者福祉・介護保険分野における施策・事業について、ご意見・ご要望等がございましたら下記へご記入ください(自由回答)

自由記述	
------	--

Q26. メールアドレスをご入力ください (必須)

人数(人)	
-------	--

【短期入所者生活介護】施設整備調査（Word版）

※LoGo フォームの設定を原文まま Word で編集しやすいように再構成しています。

Q1. 施設名を教えてください 必須

施設名

Q2. 運営法人を教えてください 必須

運営法人名

Q3. 貴施設について教えてください 必須

施設所在地	施設長名

Q4. 令和5年～令和7年の12月末現在の要介護度・要支援度利用人数を教えてください

年度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5

Q5. Q4の「令和7年12月末現在の利用者」のうち、利用日数が連続して30日を超えている利用者数を記入してください 必須

人数

Q6. Q4の「令和7年12月末現在の利用者」について、入所前の住所地別に人数を記入してください

練馬区	都内（23区）	都内（その他）	都外

Q7. Q6の「練馬区内からの入所者」について、基本地区別に人数を記入してください

練馬地区	石神井地区	大泉地区	光が丘地区

Q8. 定員の超過を理由に利用を断った人数をわかる範囲で記入してください

令和5年	令和6年	令和7年

Q9. ショートステイの利用者数（需要）に対する施設数（供給）の関係についてどのように思われますか。あてはまるものに1つ選んでください 必須

施設が多すぎる 施設がやや多い 適正な施設数である 施設がやや不足している 施設が不足している

Q10. 特別養護老人ホームへの転換意向はありますか 必須

ある ない 検討中

Q10. 「ある」と答えた施設にお尋ねします。実施予定はいつ頃になりますか。

1年以内 3年以内 5年以内 10年以内 10年後以降

Q11. 練馬区の高齢者福祉・介護保険分野における施策・事業について、ご意見・ご要望等がございましたら下記へご記入ください（自由回答）

自由記述

Q12. メールアドレスをご記入ください 必須

メールアドレス	メールアドレス（確認）

【老健】施設整備調査アンケート (Word 版)

※ LoGo フォームの設問を原文まま Word で編集しやすいように再構成しています。

Q1. 施設名を教えてください 必須

施設名

Q2. 運営法人を教えてください 必須

運営法人名

Q3. 貴施設について教えてください

施設所在地	施設長名
-------	------

Q4. 貴施設の看護職員数 (常勤換算) を教えてください ※令和7年12月末現在 必須

看護職員数

Q5. 貴施設の介護職員数 (常勤換算) を教えてください ※令和7年12月末現在 必須

介護職員数

Q6. 令和5年～令和7年の12月末現在の要介護度別利用人数を教えてください

年度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5

Q7. Q6の「令和7年12月末現在の利用者」のうち、医療機関へ入院中の者の人数を記入してください。

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5

Q8. Q6の「令和7年12月末現在の利用者」について、入所前の住所別別に人数を記入してください。

練馬区	都内 (23区)	都内 (その他)	都外

Q9. Q8の「練馬区内からの入所者」について、基本地区別に人数を記入してください。
練馬地区 (〒176) 石神井地区 (〒177) 大泉地区 (〒178) 光が丘地区 (〒179)

練馬地区	石神井地区	大泉地区	光が丘地区

Q10. 令和7年1月1日から令和7年12月31日までの新規入所者数を記入してください。

入所者数

Q11. Q10 Q9の入所者について、貴施設入所前の生活場別に人数を記入してください。

在宅	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	介護医療院	有料老人ホーム・サ高住	認知症老人ホーム	都市型高齢者ホーム	要介護老人ホーム	医療機関 (療養病室含む)	その他

Q12. 令和7年1月1日から令和7年12月31日までの退所者数を記入してください。

退所者数

Q13. Q12の退所者について、平均在所日数を教えてください

平均在所日数

Q14. Q12の退所者について、退所後の行き先別に人数を記入してください。

在宅	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	介護医療院	有料老人ホーム・サ高住	認知症老人ホーム	都市型高齢者ホーム	養護老人ホーム	医療機関 (療養病室含む)	死亡 (病院・診療所)	死亡 (施設内)	その他

Q15. 貴施設における「回転率」を記入してください ※令和7年12月分の介護報酬請求時に使用した数値を記入してください 必須

回転率

Q16. 貴施設における「在宅復帰率」を記入してください ※令和7年12月分の介護報酬請求時に使用した数値を記入してください 必須

在宅復帰率 (%)

Q17. 貴施設における「入所申込者(待機者)数」を記入してください ※令和7年12月末現在の人数を記入してください 必須

待機者数

Q18. 貴施設では、普段、地域交流スペースや会議室などを地域の住民や団体の活動のために活用していますか。 必須

はい いいえ 検討中

「はい」を選んだ場合、活用方法や頻度について記入してください。

活用方法・頻度 (自由記述)

Q19. 医療行為受入状況についてお答えください ○受入可 △条件付 ＊受入不可 必須

胃ろう	経鼻栄養	IVH	点滴	膀胱ろう	バルーン	尿管	人工肛門	在宅酸素	気管切開	経吸引	インスリン	血糖測定	感染症

Q20. 貴施設では、下記の届出はされていますか 必須

在宅強化型 在宅復帰・在宅療養支援機能加算

Q21. 貴施設では、大規模改修(経費2億円以上)の実施予定はありますか。 必須

ある ない 検討中

Q22. 練馬区の高齢者福祉・介護保険分野における施策・事業について、ご意見・ご要望等がございましたら下記へご記入ください (自由回答)

自由記述

Q23. メールアドレスをご記入ください 必須

メールアドレス	メールアドレス (確認)

【サ高住】施設整備調査アンケート (Word 版)

※ LoGo フォームの設問を原文まま Word で編集しやすいように再構成しています。

Q1. 施設名を教えてください 必須

施設名

Q2. 運営法人について教えてください 必須

運営法人名

Q3. 貴施設の情報を記入してください
施設所在地 施設長名 施設メールアドレス 必須

施設所在地	施設長名
-------	------

Q4. 運営形態を1つお選びください (特定施設入居者生活介護) 必須

指定あり 指定なし

Q5. 令和5年～令和7年の12月末現在の要介護度別利用人数を教えてください

年度	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5

Q6. Q5の「令和7年12月末現在の利用者」について、入所前の住所地別に人数を記入してください

練馬区	都内 (23区)	都内 (その他)	都外
-----	----------	----------	----

Q7. Q6の「練馬区内からの入所者」について、基本地区別に人数を記入してください

練馬地区	石神井地区	大泉地区	光が丘地区
------	-------	------	-------

Q8. 令和7年1月1日から令和7年12月31日までの新規入所者数を記入してください

入所者数

Q9. Q8の入所者について、貴施設入所前の生活場所別に人数を記入してください

在宅	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	介護老人保健施設	介護老人ホーム・サ高住	認知症GH	都市型軽費老人ホーム	養護老人ホーム	医療機関 (療養病床含む)	その他
----	-----------	----------	----------	-------------	-------	------------	---------	---------------	-----

Q10. 令和7年1月1日から令和7年12月31日までの退所者数を記入してください

退所者数

Q11. Q10の退所者について、退所後の行き先別に人数を記入してください

在宅	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	介護老人ホーム・サ高住	有科老人ホーム・サ高住	認知症GH	都市型軽費老人ホーム	養護老人ホーム	医療機関 (療養病床含む)	死亡 (施設内)	死亡 (施設外)	その他
----	-----------	----------	-------------	-------------	-------	------------	---------	---------------	----------	----------	-----

Q12. Q10の退所者について、入所期間 (年数別) を記入してください

1年未満	1～2年	2～3年	3～4年	4～5年	5～6年	6～7年	7～8年	8～9年	9～10年	10年以上
------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	-------

Q13. 練馬区の高齢者福祉・介護保険分野における施策・事業について、ご意見・ご要望等がございましたら下記へご記入ください (自由回答)

自由記述

Q14. メールアドレスをご記入ください 必須

メールアドレス	メールアドレス (確認)
---------	--------------

【有料老人ホーム】施設整備調査 (Word 版)

※ LoGo フォームの設定を原文まま Word で編集しやすいうように再構成しています。

Q1. 施設名を教えてください 必須

施設名

Q2. 運営法人を教えてください 必須

運営法人名

Q3. 貴施設について教えてください 必須

施設所在地	施設長名
-------	------

Q4. 運営形態を1つお選びください 必須

介護専用型 混合型 (自立・要支援・要介護入所可) 混合型 (要支援・要介護入所可)
 住宅型

Q5. 令和5年～令和7年の12月末現在の要介護度別利用人数を教えてください

年度	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
				1	2	3	4	5

Q6. Q5の「令和7年12月末現在の利用者」のうち、医療機関へ入院中の者の人数を記入してください

自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5

Q7. Q5の「令和7年12月末現在の利用者」について、入所前の住所別別に人数を記入してください

練馬区	都内 (23区)	都内 (その他)	都外

Q8. Q7の「練馬区内からの入所者」について、基本地区別に人数を記入してください
 練馬地区 (〒176) 石神井地区 (〒177) 大泉地区 (〒178) 光が丘地区 (〒179)

練馬地区	石神井地区	大泉地区	光が丘地区

Q9. 令和7年1月1日から令和7年12月31日までの新規入所者数を記入してください

入所者数

Q10. Q9の新規入所者について、貴施設入所前の生活場所別に人数を記入してください

在宅	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	介護医療院	有料老人ホーム・サマ・サ高住	認知症GH	都市型軽費老人ホーム	養護老人ホーム	医療機関 (療養病床含む)	その他

Q11. 令和7年1月1日から令和7年12月31日までの退所者数を記入してください

退所者数

Q12. Q11の退所者について、退所後の行き先別に人数を記入してください

在宅	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	介護医療院	有料老人ホーム・サ高住	認知症GH	都市型軽費老人ホーム	養護老人ホーム	医療機関 (療養病床含む)	死亡 (病院・診療所)	死亡 (施設内)	その他

Q13. Q11の退所者について、入所期間 (年数別) を記入してください

1年未満	1～2年	2～3年	3～4年	4～5年	5～6年	6～7年	7～8年	8～9年	9～10年	10年以上

Q14. 貴施設では、普段、地域交流スペースや会議室などを地域の住民や団体の活動のために活用していますか 必須

はい いいえ 検討中

「はい」を選んだ場合、活用方法や頻度について記入してください。

活用方法・頻度 (自由記述)

Q15. 医療行為受入状況についてお答えください ○受入可 △条件付 ✕受入不可 必須

胃ろう	鼻栄養	IVH	点滴	膀胱ろう	バルーン	導尿	人工肛門	在宅酸素	気管切開	痰吸引	インスリン	血糖測定	感染症

Q16. 練馬区の高齢者福祉・介護保険分野における施策・事業について、ご意見・ご要望等がございましたら下記へご記入ください。(自由回答)

自由記述

Q17. メールアドレスをご記入ください 必須

メールアドレス	メールアドレス (確認)

【都市型】施設整備調査 (Word 版)

※ LoGo フォームの設定を原文まま Word で編集しやすいように再構成しています。

Q1. 施設名を教えてください 必須

施設名

Q2. 運営法人を教えてください 必須

運営法人名

Q3. 貴施設について教えてください
施設所在地 施設長名 必須

施設所在地	施設長名
-------	------

Q4. 貴施設の看護職員数 (常勤換算) を教えてください ※令和7年12月末現在 必須

看護職員数

Q5. 貴施設の介護職員数 (常勤換算) を教えてください ※令和7年12月末現在 必須

介護職員数

Q6. 貴施設の入所者数を教えてください ※令和7年12月末現在 必須

入所者数

Q7. 貴施設の年齢別入所者数を教えてください ※令和7年12月末現在

60～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90 歳以上
---------	---------	---------	---------	---------	---------	--------

Q8. 令和5年～令和7年の12月末現在の要介護度別利用人数を教えてください

年度	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5

Q9. Q6の「令和7年12月末現在の利用者」のうち、医療機関へ入院中の者の人数を記入してください

年度	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5

Q10. Q6の「令和7年12月末現在の利用者」について、基本地区別に人数を記入してください

純馬地区	右神井地区	大泉地区	光が丘地区
------	-------	------	-------

Q11. 令和7年1月1日から令和7年12月31日までの新規入所者数を記入してください

新規入所者数

Q12. Q11の新規入所者について、入所待機期間および入所前の生活場所を記入してください

待機期間	生活場所

Q13. 令和7年1月1日から令和7年12月31日までの退所者数を記入してください

退所者数

Q14. Q13の退所者について、退所後の行き先別に人数を記入してください

在宅	特別 養護 老人 ホーム	介護 老人 保健 施設	介護 医療 院	介護 老人 ホーム ・ サ高 住	有料 老人 ホーム	認知 症 GH	都市 型 老 人 ホ ー ム	養護 老人 ホ ー ム	医療 機関 (療 養病 床含 む)	死亡 (病 院・ 診療 所)	死亡 (施 設 内)	その 他
----	-----------------------	----------------------	---------------	---------------------------------	-----------------	---------------	----------------------------------	-------------------------	----------------------------------	----------------------------	---------------------	---------

Q15. Q13の退所者について、入所期間 (年数別) を記入してください

1年末 満	1～2 年	2～3 年	3～4 年	4～5 年	5～6 年	6～7 年	7～8 年	8～9 年	9～ 10年	10年 以上
----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	-----------	-----------

Q16. 貴施設への入所申込者のうち、申込から1年以上経過している方について、長期化している理由として考えられるものをお選びください。(複数選択可)

- ポイントの高い順に案内しているが、空室がなく順番が回ってこない
- 住宅を希望
- 施設で受入が困難
- 入院中・通院中
- 他施設に入所希望
- その他

Q17. 1つの空室に対して、入所申込者へのご案内は、平均何人くらいに連絡しましたか(令和7年1月～令和7年12月)

平均人数

Q18. 都市型経費老人ホームの利用者数(需要)に対する施設数(供給)の関係についてどのようになっていますか。あてはまるものに1つ選んでください 必須

- 施設が多すぎる
- 施設がやや多い
- 適正な数である
- 施設がやや不足している
- 施設が不足している

Q19. 練馬区の高齢者福祉・介護保険分野における施設・事業について、ご意見・ご要望等がございましたら下記へご記入ください(自由回答)

自由記述

Q20. メールアドレスをご記入ください 必須

メールアドレス
メールアドレス(確認)

地域密着型サービスの施設整備に関する調査（調査票）

問1 貴事業所について伺います。

事業所名	事業所番号
サービス種別 (〇をつけてください)	1 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 2 夜間対応型訪問介護 3 (介護予防)認知症対応型通所介護 4 地域密着型通所介護 5 (介護予防)小規模多機能型居宅介護 6 看護小規模多機能型居宅介護 7 (介護予防)認知症対応型共同生活介護
回答者氏名	回答者連絡先
	— —

問2 令和7年12月末日時点の貴事業所の利用状況について伺います。

(1) 利用者数を記入してください。

・定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護

① 契約者数 …… 人

・地域密着型通所介護(総合事業を含む)

① 定員数 …… 人

② 契約者数 …… 人

③ 1日当たりの平均利用者数 …… 人

※単位が複数ある場合、①～③は全単位の合計数としてください。

・(介護予防)認知症対応型通所介護

① 定員数 …… 人

② 契約者数 …… 人

③ 1日当たりの平均利用者数 …… 人

※単位が複数ある場合、①～③は全単位の合計数としてください。

・(介護予防)小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護

① 登録定員数 …… 人

② 契約者数 …… 人

③ 通い定員数 …… 人

④ 通いの1日当たりの平均利用者数 …… 人

⑤ 宿泊定員数 …… 人

⑥ 宿泊の1日当たりの平均利用者数 …… 人

・(介護予防)認知症対応型共同生活介護

① 定員数 …… 人

② 契約者数 (入居者数) …… 人

※ユニットが複数ある場合、①・②は全ユニットの合計数としてください。

1

(2) 基本地区ごとの契約者数を記入してください。

基本地区 (〒176)	石神井地区 (〒177)	大泉地区 (〒178)	光が丘地区 (〒179)	他区市町村	都内 他区市町村	都外	合計
人	人	人	人	人	人	人	人

※合計人数が問2(1)で回答した契約者数と合致するようにしてください。

※(介護予防)認知症対応型共同生活介護は、入居者の元の住所についてご回答ください。

(3) 事業所からのおおよその距離別契約者数(練馬区民以外も含む)を記入してください。

① 0.5km未満 …… 人

② 0.5km以上1.0km未満 …… 人

③ 1.0km以上1.5km未満 …… 人

④ 1.5km以上2.0km未満 …… 人

⑤ 2.0km以上 …… 人

合計 …… 人

※合計人数が問2(1)で回答した契約者数と合致するようにしてください。

※(介護予防)認知症対応型共同生活介護は、入居者の元の住所についてご回答ください。

問3 サービス提供の質と、収支の安定性の両方を確保する観点を踏まえ、現在の貴事業所の利用者数について、どのように思いますか。(〇は1つ)

1 適正数を上回っている	2 適正数である
3 適正数を下回っている	4 その他()

その理由として考えられるものがあればご記入ください。

[]

問4 貴事業所における利用待機者数などについて伺います。

(1) 令和7年12月末日現在、利用待機者はいますか。(〇は1つ)

1 いらない	2 いる
人	人

(2) この1年で受入上限(定員等)に達したことを理由に、利用をお断りした方はいましたか。(〇は1つ)

1 いらない	2 いる
人	人

2

問5・問6は介護予防認知症対応型共同生活介護に伺います。
その他のサービス種別は問7へ進んでください。

問5 貴事業所の退所者について伺います。

(1) 令和7年中(令和7年1月1日～12月31日)の退所者数 …… 〇 人

(2) (1)の退所者について、退所後の行先別に人数を記入してください。

① 家族	〇 人	④ 有料老人ホーム・ サービス付き高齢者 向け住宅	〇 人	⑦ 医療機関 (療養病床を含む)	〇 人
② 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	〇 人	⑤ 他の認知症対応型 共同生活介護	〇 人	⑧ 死亡	〇 人
③ 介護老人保健施設	〇 人	⑥ その他(不詳) 社会福祉施設	〇 人	⑨ その他(不詳)	〇 人

※①～⑨の合計人数が問5(1)で回答した退所者数と合致するようにしてください。

問6 (介護予防)認知症対応型共同生活介護の多機能化に向けて、取り組んでいる事業・今後
取り組みたい事業はありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 認知症カフェやサロンなど高齢者の居場所づくり
- 2 認知症サポーター養成・啓発活動
- 3 高齢者単身世帯、高齢夫婦世帯へ定食などの支援
- 4 家族介護者への相談支援(認知症なんでも相談窓口などの相談支援)
- 5 その他()

問7以降は全サービス種別に伺います。

問7 今後、練馬区において事業拡大(事業所増、ユニット増、サテライト型の実施など)を考えて
いますか。(○は1つ)

- 1 具体的に考えている
- 2 検討中である(関心がある)
- 3 考えていない
- 4 その他()

その理由として考えられるもの、具体的に検討している内容があればご記入ください。

[]

問8 事業所を運営していく上での課題は何だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 区民へのサービス内容の周知
- 2 居宅介護支援事業所や地域包括支援センターへのサービス内容の周知
- 3 利用者の確保
- 4 地域に適合事業所が多い
- 5 管理者や有資格者などの職員確保
- 6 事務処理の煩雑性
- 7 収益性や経営効率が悪い
- 8 業務の効率化や事務のシステム化
- 9 他社事業所との協力体制(受入れの融通や協業など)
- 10 地域連携や地域貢献
- 11 よくわからない・課題はない

その課題を解決するための方法について、ご意見があればご記入ください。

[]

その他、事業所を運営する上での困りごとなどがあればご記入ください。

[]

問9 運営推進会議(介護・医療連携推進会議)について伺います。

- (1) 令和7年度の開催回数は何回ですか。 …… 〇 回
- (2) どのような方が参加していますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 民生・児童委員、町会・自治会関係者
- 2 地域の介護事業所職員(ケアマネジャーなど他事業所の職員)
- 3 利用者、利用者家族
- 4 行政職員
- 5 地域包括支援センター職員
- 6 その他()

問10 地域交流について伺います。

(1) 地域との交流を図るために取り組んでいること(地域行事への参加、街かどケアカフェの実施など)はありますか。(○は1つ)

1 ある	⇒ 問11に進んでください。
2 ない	

(2) (1) で「2」でないど回答した事業所に伺います。
今後、取り組む予定はありますか。(○は1つ)

1 ある	2 検討中
3 ない	4 その他()

問11 地域との交流を進める上での課題は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 地域交流の方法がわからない
2 地域交流を行うための人員配置ができない
3 地域交流を行うためのスペースが事業所になく
4 地域の情報がない(地域行事が開催されていない、交流する相手方がいない)
5 地域交流の必要性を感じていない
6 その他()

問12 練馬区の高齢者福祉・介護保険分野における施策・事業について、ご意見・ご要望などがあればご記入ください(自由回答)

--

質問は以上です。ご回答ありがとうございました。

練馬区高齢者基礎調査等報告書

令和8年（2026年）3月 発行

編集・発行

練馬区 高齢施策担当部 高齢社会対策課
〒176-8501 東京都練馬区豊玉北6丁目12番1号
電話：03-5984-4584（直通）
